都城市文化財調査報告書　第86集

加治屋Ｂ遺跡（平安時代～近世編）

かじやびーいせき

県営ほ場整備事業横市地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2008年3月17日

宮崎県都城市教育委員会

序　文

本書は、県営の農業基盤整備事業に伴い、受託事業として都城市教育委員会が平成13・14年度の２ヵ年にわたって発掘調査を実施した加治屋Ｂ遺跡に関する成果報告書の下巻（平安時代～近世編）です。

都城市の横市地区では、県営担い手育成基盤整備事業（現在は県営経営体育成基盤整備事業に移行）に先立つ埋蔵文化財の発掘調査を平成８年度から継続的に実施しており、これまでにも数々の成果を報告しています。

加治屋Ｂ遺跡では、弥生時代の集落跡や南九州で最大級の中世館跡が見つかるなど、多くの貴重な成果が得られました。その一端については市の広報誌や新聞・テレビを通じて機会あるごとにご紹介してきたところです。また、平成13年度に実施した遺跡の見学会におきましては多数の方々に現地にお越しいただき、古代のロマンに触れていただくことができました。

いまだけがすべてという風潮が高まっている昨今ですが、過去を知ることによって先人の知恵や後の世代のためにしてくれた配慮を理解することができますし、文化財を後世へ伝えることは、過去と未来のかけはしを作ることにもなります。都城盆地で生活していく都城市民は一体となって、先人が守り育てたこの地域の文化・財産を継承し、将来に引き継いでいく責務があり、そのことが今後予想される厳しい地域間競争を生き抜く原動力につながっていくことにもなると思われます。

本書の刊行によって、こうした地域の文化財に対する理解と認識がますます深くなることを願うとともに、今回の成果が学術研究の発展に少しでも寄与できれば幸いです。最後になりましたが、発掘調査に従事していただいた市民の皆様をはじめ、関係各機関の方々には多大なご理解ご協力をいただきました。心から感謝の意を表します。

2008年３月

都城市教育委員会
教育長 **玉利　譲**

例　言

1．本書は、県営農業基盤整備事業（平成13年度は「県営担い手育成基盤整備事業横市地区」、平成14年度は「県営ほ場整備事業横市地区」）に伴い都城市教育委員会が平成13・14年度に実施した加治屋Ｂ遺跡の発掘調査報告書である。

2．本書に使用したレベル数値は海抜絶対高で、基準方位は真北である。

3．本書の遺物番号は通し番号とし、本文・挿図・写真の番号は一致する。

4．土層と遺物（青磁・白磁等の陶磁器を除く）の色調は『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修）2001年度前期版を参考にした。

5．現場における遺構の実測は、作業員の協力を得て矢部喜多夫・桒畑光博・下田代清海・外山（旧姓原田）亜紀子・外山隆之・津曲千賀子が行ったが、中世遺構の一部及び全体図作成を有限会社ジパング・サーベイに委託した。遺構実測図の製図は外山（亜）が中心となって行って、桒畑が補佐した。

6．本書に掲載した石器の一部の実測・製図は、埋蔵文化財サポートシステムに委託した。

7．遺構の写真撮影は桒畑・下田代・外山（亜）・外山（隆）が中心となり、一部、矢部の協力を得た。遺物の写真撮影は、下田代が行った。また、遺構の空撮は九州航空株式会社に委託した。

8．植物珪酸体分析等の各種自然科学分析については、株式会社古環境研究所に、炭化米のDNA分析を株式会社ジェネテックに、鍛冶関連遺物の金属学的調査を九州テクノリサーチ・TACセンターに委託した。また、平安時代及び中世の遺構調査所見については、平成18年度まで都城市文化財課嘱託の外山亜紀子氏に委託した。

10. 本書の執筆・編集は寺師・下田代・外山（亜）・桒畑があたった。

11. 現地における発掘調査および報告書作成にあたっては下記の方々よりご助言・ご協力をいただいた。
伊藤　晃（岡山県古代吉備文化財センター）、大庭康時（福岡市教育委員会）、大盛祐子（都城市文化財課嘱託）、重永卓爾（都城市史編さん専門委員）、柴田博子（宮崎産業経営大学）、鋤柄俊夫（同志社大学）、高橋照彦（大阪大学）、丹治康明（神戸市教育委員会）、中野晴久（常滑市民俗資料館）、永山修一（ラ・サール学園）、堀田孝博（宮崎県埋蔵文化財センター）、村上恭通（愛媛大学）

12. 発掘調査で出土した遺物とすべての記録（写真・図面など）は都城市教育委員会で保管している。

13. 平成19年度報告書刊行年度の調査組織

- 調査主体者　宮崎県都城市教育委員会
- 調査責任者　教育長　玉利　譲
- 調査事務局　教育部長　岩崎　透
  - 文化財課長　高野隆志
  - 文化財課課長補佐　新宮髙弘
  - 文化財課副主幹　矢部喜多夫
  - 文化財課事務嘱託　押川涼子（平成19年９月30日まで）
  - 齋藤麗子（平成19年11月１日から）
- 調査担当者　文化財課副主幹　寺師雄二
  - 山田生涯学習課副主幹　桒畑光博
  - 文化財課嘱託　下田代清海
  - 元文化財課嘱託　外山亜紀子
- 整理作業従事者　奥　登根子、新屋美佳、水光弘子、八谷邦枝、福岡八重子、槇尾恵美子、水元美紀子

本文目次

第３章　発掘調査の成果

第４節　平安時代の成果…… 1
１．平安時代の遺構…… 1
（１）溝状遺構…… 1
（２）道跡…… 1
（３）掘立柱建物跡…… 1
（４）竪穴状遺構…… 4
（５）土坑……14
（６）焼土坑……15
（７）その他の遺構……15
２．平安時代の遺物……21
（１）平安時代の土師器・黒色土器……21
（２）墨書土器・線刻土器……21
（３）平安時代の須恵器……30
（４）国産施釉陶器……30
（５）貿易陶磁器……30
（６）その他の土器・土製品……35
（７）石器・石製品……35
（８）軽石製品……35
（９）鉄製品……38
第５節　中世の成果……39
１．中世の遺構……39
（１）溝状遺構……39
（２）道跡……40
（３）掘立柱建物跡……40
（４）竪穴状遺構……55
（５）土坑……55
（６）石組遺構……81
（７）その他の遺構……83
２．中世の遺物…… 105
（１）中世の土師器…… 105
（２）国産陶器…… 117
（３）貿易陶磁器…… 122
（４）滑石製品…… 131
（５）その他の土器・土製品…… 133
（６）石器・石製品…… 133
（７）軽石製品…… 136
（８）鉄製品…… 136
（９）銅製品…… 140
（10）金属加工関連遺物…… 140
（11）銭貨…… 140
第６節　近世の成果…… 143
１．近世の遺構…… 143
２．近世の遺物…… 143
第７節　歴史時代のまとめ…… 177
１．平安時代について…… 177
２．中世について…… 178
３．近世について…… 181
４．横市川流域の平安時代～
中世の遺跡群の概観と加治屋Ｂ遺跡の
中世遺構の位置付け…… 181

付編　自然科学分析…… 209
第１章　加治屋遺跡における
樹種同定…… 209
第２章　加治屋遺跡における
植物珪酸体分析…… 213
第３章　加治屋遺跡における
珪藻分析…… 224
第４章　加治屋遺跡における
リン・カルシウム分析分析… 227
第５章　横市地区遺跡群から出土した
イネ種子の遺伝形質…… 230
第６章　横市地区遺跡群における
鍛冶関連遺物・鉄器の
金属学的調査…… 240

◎報告書抄録…… 250

表目次

表１　出土遺物観察表（1～70）…… 147
表２　出土遺物観察表（71～140）…… 148
表３　出土遺物観察表（141～210）…… 149
表４　出土遺物観察表（211～280）…… 150
表５　出土遺物観察表（281～350）…… 151
表６　出土遺物観察表（351～420）…… 152
表７　出土遺物観察表（421～490）…… 153
表８　出土遺物観察表（491～560）…… 154
表９　出土遺物観察表（561～630）…… 155
表10　出土遺物観察表（631～700）…… 156
表11　出土遺物観察表（701～770）…… 157
表12　出土遺物観察表（771～840）…… 158
表13　出土遺物観察表（841～910）…… 159
表14　出土遺物観察表（911～980）…… 160
表15　出土遺物観察表（981～1050）…… 161
表16　出土遺物観察表（1051～1190）…… 163
表17　出土遺物観察表（1191～1260）…… 164
表18　出土遺物観察表（1261～1330）…… 165
表19　出土遺物観察表（1081～1140）…… 164
表20　出土遺物観察表（1331～1400）…… 166
表21　出土遺物観察表（1401～1470）…… 167
表22　出土遺物観察表（1471～1540）…… 168
表23　出土遺物観察表（1541～1610）…… 169
表24　出土遺物観察表（1611～1680）…… 170
表25　出土遺物観察表（1681～1701）…… 171
表26　遺構観察表掘立柱建物跡（平安）…… 172
表27　遺構観察表掘立柱建物跡（中世１）… 172
表28　遺構観察表掘立柱建物跡（中世２）… 173
表29　遺構観察表掘立柱建物跡（中世３）… 174
表30　遺構観察表土坑（平安）…… 174
表31　遺構観察表土坑（中世１）…… 174
表32　遺構観察表土坑（中世２）…… 175
表33　遺構観察表土坑（中世３）…… 176
表34　遺構観察表道跡・竪穴状遺構・
　　その他の遺構（平安）…… 176
表35　遺構観察表道跡・竪穴状遺構・
　　その他の遺構（中世）…… 176

挿図目次

図１　調査区域図…… 2
図２　主要遺構全体図…… 3
図３　遺構分布図……5～6
図４　溝状遺構(SD)・道跡(SF)実測図(1)　…7～8
図５　溝状遺構(SD)・道跡(SF)実測図(2)　9～10
図６　溝状遺構(SD)・道跡(SF)実測図(3)　……11
図７　掘立柱建物跡(SB)実測図(1)　……12
図８　掘立柱建物跡(SB)実測図(2)　……13
図９　掘立柱建物跡(SB)実測図(3)　……14
図10　掘立柱建物跡(SB)実測図(4)　……15
図11　竪穴状遺構(SA)実測図(1)　……16
図12　竪穴状遺構(SA)実測図(2)　……17
図13　竪穴状遺構(SA)実測図(3)　……18
図14　土坑(SC)実測図(1)　……19
図15　土坑(SC)実測図(2)　……20
図16　焼土坑(SN)実測図　……20
図17　その他の遺構実測図……20
図18　平安時代の土師器(1)……22
図19　平安時代の土師器(2)……23
図20　平安時代の土師器(3)……24
図21　平安時代の土師器(4)……25
図22　平安時代の土師器(5)……26
図23　平安時代の土師器(6)……27
図24　平安時代の土師器(7)……28
図25　黒色土器……29
図26　墨書土器……31
図27　平安時代の須恵器(1)……31
図28　平安時代の須恵器(2)……32
図29　平安時代の須恵器(3)……33
図30　緑釉陶器……34
図31　貿易陶磁器(1)……34
図32　貿易陶磁器(2)……36
図33　その他の土器・土製品……36
図34　石器・石製品……37

図35　軽石製品(1)……37
図36　軽石製品(2)……38
図37　鉄製品……38
図38　遺構分布図(1)……41～42
図39　遺構分布図(2)……43～44
図40　溝状遺構(SD)実測図(1)……47～48
図41　溝状遺構(SD)実測図(2)……49～50
図42　溝状遺構(SD)・道跡(SF)実測図(3)　51～52
図43　溝状遺構(SD)実測図(4)……53～54
図44　掘立柱建物(SB)実測図(1)……57
図45　掘立柱建物(SB)実測図(2)……58
図46　掘立柱建物(SB)実測図(3)……59
図47　掘立柱建物(SB)実測図(4)……60
図48　掘立柱建物(SB)実測図(5)……61
図49　掘立柱建物(SB)実測図(6)……62
図50　掘立柱建物(SB)実測図(7)……63
図51　掘立柱建物(SB)実測図(8)……64
図52　掘立柱建物(SB)実測図(9)……65
図53　掘立柱建物(SB)実測図(10)……66
図54　掘立柱建物(SB)実測図(11)……67
図55　掘立柱建物(SB)実測図(12)……68
図56　掘立柱建物(SB)実測図(13)……69
図57　掘立柱建物(SB)実測図(14)……70
図58　掘立柱建物(SB)実測図(15)……71
図59　掘立柱建物(SB)実測図(16)……73
図60　掘立柱建物(SB)実測図(17)……73
図61　掘立柱建物(SB)実測図(18)……74
図62　掘立柱建物(SB)実測図(19)……75
図63　掘立柱建物(SB)実測図(20)……76
図64　掘立柱建物(SB)実測図(21)……77
図65　掘立柱建物(SB)実測図(22)……78
図66　掘立柱建物(SB)実測図(23)……79
図67　掘立柱建物(SB)実測図(24)……80
図68　竪穴状遺構(SA)実測図……82
図69　土坑(SC)実測図(1)……84
図70　土坑(SC)実測図(2)……85
図71　土坑(SC)実測図(3)……86
図72　土坑(SC)実測図(4)……87
図73　土坑(SC)実測図(5)……88
図74　土坑(SC)実測図(6)……89
図75　土坑(SC)実測図(7)……90
図76　土坑(SC)実測図(8)……91
図77　土坑(SC)実測図(9)……92
図78　土坑(SC)実測図(10)……93
図79　土坑(SC)実測図(11)……94
図80　土坑(SC)実測図(12)……95
図81　土坑(SC)実測図(13)……96
図82　土坑(SC)実測図(14)……97
図83　土坑(SC)実測図(15)……98
図84　土坑(SC)実測図(16)……99
図85　土坑(SC)実測図(17)……100
図86　土坑(SC)実測図(18)……101
図87　土坑・石組遺構(SC)実測図(19)……102
図88　石組遺構(SC)……103
図89　その他の遺構……104
図90　中世の土師器(1)……106
図91　中世の土師器(2)……107
図92　中世の土師器(3)……108
図93　中世の土師器(4)……109
図94　中世の土師器(5)……110
図95　中世の土師器(6)……111
図96　中世の土師器(7)……112
図97　中世の土師器(8)……113
図98　中世の土師器(9)……114
図99　中世の土師器(10)……115
図100　中世の土師器(11)……116
図101　中世の土師器(12)……118
図102　国産陶器(1)……118
図103　国産陶器(2)……119
図104　国産陶器(3)……120
図105　国産陶器(4)……121
図106　国産陶器(5)……123
図107　貿易陶磁器(1)……123
図108　貿易陶磁器(2)……125
図109　貿易陶磁器(3)……125
図110　貿易陶磁器(4)……127
図111　貿易陶磁器(5)……128
図112　貿易陶磁器(6)……130
図113　貿易陶磁器(7)……132
図114　滑石製品……132
図115　その他の土器・土製品……134
図116　石器・石製品(1)……134
図117　石器・石製品(2)……135
図118　石器・石製品(3)……137
図119　軽石製品(1)……137
図120　軽石製品(2)……138

図121 軽石製品(3)…… 139
図122 鉄製品(1)…… 139
図123 鉄製品(2)…… 141
図124 銅製品…… 141
図125 金属加工関連遺物…… 142
図126 銭貨…… 142
図127 近世遺構全体図…… 145
図128 近世の遺物…… 146
図129 調査区北東部の
平安時代主要遺構変遷案…… 178
図130 中世主要遺構変遷案…… 180
図131 横市川流域の遺跡分布図…… 181

写真目次

写真１ 遺跡遠景…… 183
写真２ 平安時代・中世遺構遠景…… 184
写真３ 平安時代遺構・遺物出土状況(1)…… 185
写真４ 平安時代遺構・遺物出土状況(2)…… 186
写真５ 平安時代遺構・遺物出土状況(3)…… 187
写真６ 平安時代遺構・遺物出土状況(4)…… 188
写真７ 平安時代遺構…… 189
写真８ 平安時代遺構・遺物出土状況(5)…… 190
写真９ 中世遺構・遺物出土状況(1)…… 191
写真10 中世遺構・遺物出土状況(2)…… 192
写真11 中世遺構・遺物出土状況(3)…… 193
写真12 中世遺構・遺物出土状況(4)…… 194
写真13 中世遺構…… 195
写真14 中世遺構・遺物出土状況(5)…… 196
写真15 中世遺構・遺物出土状況(6)…… 197
写真16 中世遺構・遺物出土状況(7)…… 198
写真17 中世遺構・遺物出土状況(8)…… 199
写真18 中世遺構・遺物出土状況(9)…… 200
写真19 平安時代の遺物(1)…… 201
写真20 平安時代の遺物(2)…… 202
写真21 中世の遺物(1)…… 203
写真22 中世の遺物(2)…… 204
写真23 中世の遺物(3)…… 205
写真24 中世の遺物(4)…… 206
写真25 中世の遺物(5)…… 207
写真26 中世の遺物(6)…… 208
写真27 近世の遺物…… 208

第３章　発掘調査の成果

第４節　平安時代の成果

１．平安時代の遺構

古代の遺構は主に２次調査区の北東部に集中しており、それ以外の調査区ではわずかに溝状遺構や道跡を確認できたのみである。また古代の出土遺物も遺構が確認された地域にほぼ限定されており、中世の遺構が多く確認された南西区（第１次調査南区）からは出土しなかった。

（１）溝状遺構

古代の溝状遺構は**SD19・SD27・SD29・SD31・SD32・SD34**である。主な溝状遺構のみ述べていく。

SD27

G-14からＪ-13区まで検出された遺構で、G-15区でＬ字に曲がって走行している。検出面からの深さは約15cmで、Ｉ-14区で**SD25**に切られる。

SD29

Ｅ・Ｆ-14区で検出され、南北方向に走行する。検出面からの深さは約10～20cmである。土層を観察したところ、遺構の北側のみ、下層に暗褐色の砂質シルト土を確認した。

（２）道跡

ある一定の層厚を有する硬化層が連なり、帯状の硬化面を形成する遺構を道跡とした。**SF１・SF３・SF４・SF５・SF６・SF７・SF８・SF９・SF10**である。

SF３（SD17・SD18）

O-13区からQ-15区で検出され、北西から南東方向に走行する。当初は溝状遺構として検出したが、下層で幅約40cm、厚さが約15cmの、断面形がレンズ状の硬化層を確認したため、道跡とした。**SF４**を切っている。

SF４

Q-15区で**SD19**と並行して検出された。黒色土に黄色軽石を混ぜて硬化させている。幅は約40cmで、厚さが約10cm、断面形がレンズ状の硬化層である。**SD19**に切られる。

SF７（SD30）・SF10

溝状遺構として検出されたが、下層で硬化層が確認されたため道跡とした。**SF７・SF10**は黄色軽石を黒色シルト土に混ぜて硬化させている。**SF10**は５b層期の硬化層で、Ｆ-14区で**SF７**に合流し一本となる。**SF10**上層からは口径９cmの糸切離底の土師器小皿（**274**）が出土しており、中世初頭まで機能していた可能性がある。

（３）掘立柱建物跡

古代の掘立柱建物跡は15棟（**SB95・96・97・98・99・100・103・104・105・106・107・108・109・110・111**）確認された。すべて２次調査区の北東部からの検出である。掘立柱建物跡は建物どうしが切り合っていることや、土坑などの他の遺構とも切り合っていることからある程度の時期幅が推定される。15棟のうち、身舎の規模が桁行３間・梁間２間のパターンが９棟と、一番多く占めている。

掘立柱建物跡の主軸方向は、南北方向が９棟、東西方向が６棟である。また主軸方位から建物跡はおおよそ次の３つのグループに分けられる。

Ａ群：N-24°～25°-Eと直交するN-114°-Eの建物群＝**SB104・106・109・110・111**

Ｂ群：N-20°～22°-Eと直交するN-107°～108°-Eの建物群＝**SB97・103・105・108**

Ｃ群：N-８°～12°-Eと直交するN-100°～102°-Eの建物群＝**SB95・96・98・99・100・107**

SB103

Ｉ-15・Ｉ-16区で検出された。身舎の規模が桁行３間・梁間２間の古代建物跡で唯一の総柱建物跡であ

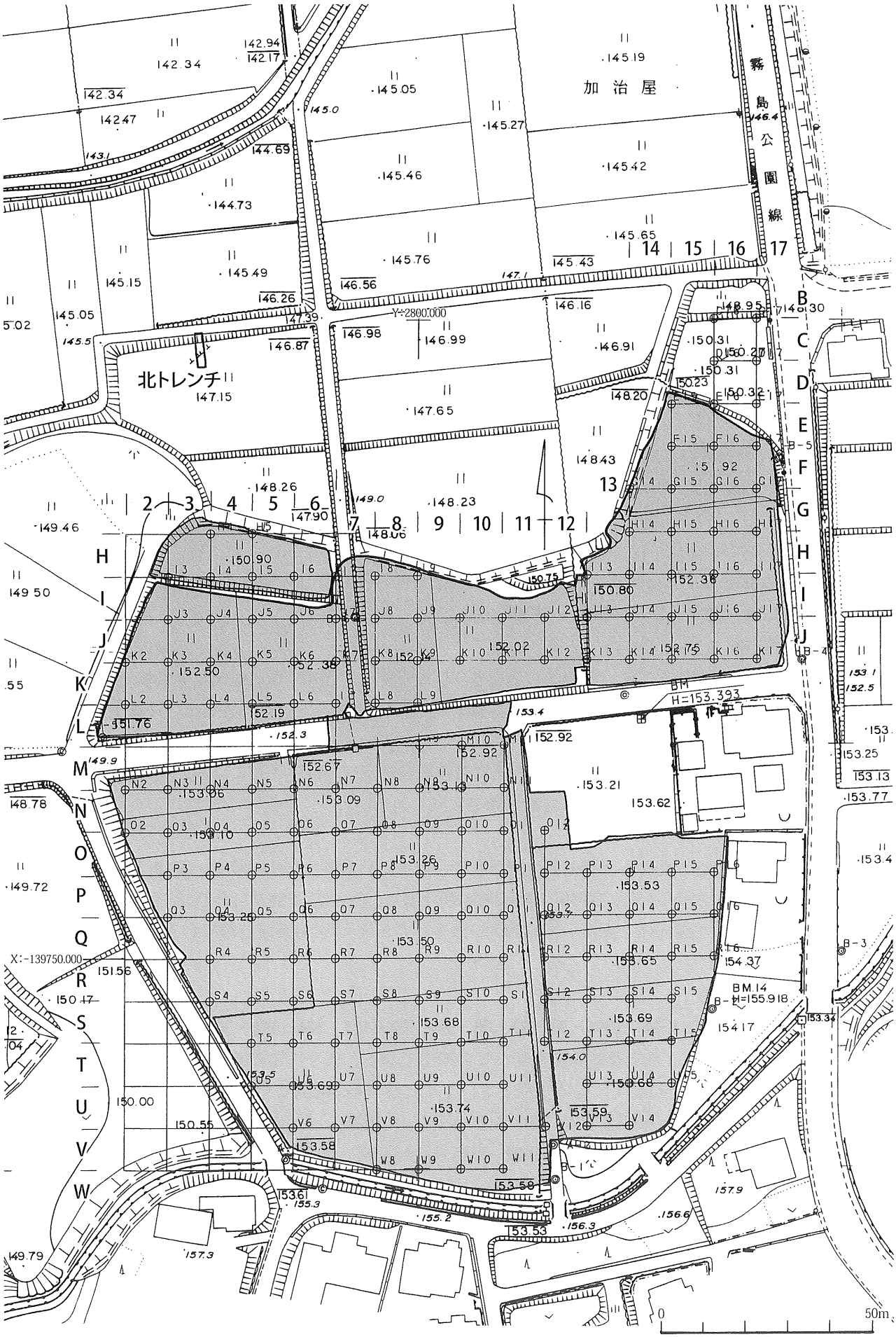

加治屋
霧島公園線
北トレンチ
147.15
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W
X:-139750.000
Y:+28000.000
BM
H=153.393
BM.14
H=155.918
0
50m

図１　調査区域図

る。西側の柱穴が**SD25**に切られる。身舎柱穴の掘り方はほぼ円形であり、径は38～64㎝で、深さは52～84㎝である。南西の柱穴の土層断面を観察すると、ピット掘り形の片方にややルーズな御池軽石が堆積し、その内側に軟質な黒色系シルト土が確認された。これは、内側の黒色シルト土が柱の腐った部分と考えられ、周囲の軽石は柱周囲の埋め土であると考えられる。またほかの柱穴の上部からは鉄滓が出土している。

SB104

H-15区を中心に検出され、柱穴は**SD27**や**SF８**等と切り合っている。身舎の規模は桁行５間・梁間２間で、身舎の規模では一番大きい建物である。庇は確認されなかった。

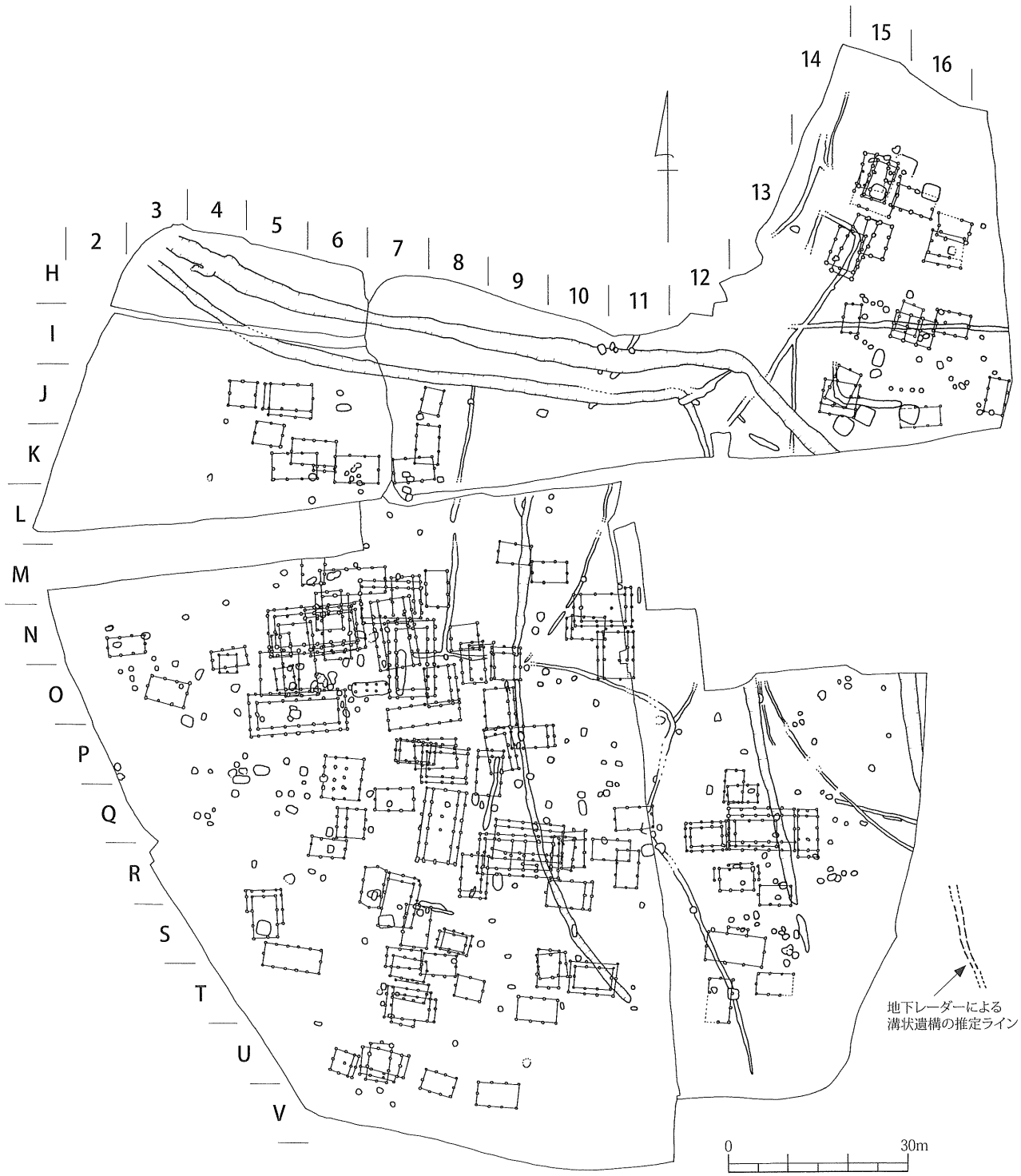


図２　主要遺構全体図

SB105

F-15・G-15区で検出され、柱穴は**SA 8**等と切りあっている。身舎の規模は桁行４間・梁間２間で、四面に庇が付くと思われる。身舎内からは柱穴が１基確認され、その柱穴の埋土上部からは土師器が出土している。

SB107

H-16区を中心に検出され、身舎の規模は桁行３間・梁間２間と思われるが、近世の撹乱により柱穴の一部は検出できなかった。南面には庇が付く。身舎内に**SN 1**が検出されたが、同時期のものかは断定できない。

SB108

G-16区で検出され、身舎の規模は桁行２間・梁間２間である。桁行の柱間は一定ではなく、やや偏りがみられる。身舎内に**SQ 1**が検出されたが、同時期のものかは断定できない。

SB110

F-15・G-15区で検出され、**SA 8**を切り、**SF10**に切られている。身舎の規模は桁行３間・梁間２間で、庇は確認されなかった。東側の柱穴で土層を観察すると、ピット掘り形の片方および下層にはルーズな堆積の御池軽石が認められ、その内側には非常に軟質な黒色シルト土が観察された。これは、黒色シルト土が柱の腐った部分であり、軽石は柱の周囲を埋めた土と思われる。

（４）竪穴状遺構

古代の竪穴状遺構は北東部から６基が確認された。

SA 4

K-14区に位置し、平面プランは隅丸方形である。埋土は２層に分かれ、上層は５c層である。遺構の四隅にピットを持つ。

SA 5

J-15・K-15区に位置し、平面プランは隅丸方形である。埋土は黒色系シルト土で、一部近世包含層の２層による撹乱を受ける。壁際に８基のピットを確認し、そのうちの６基には御池軽石ブロックの堆積がみられた。

SA 6

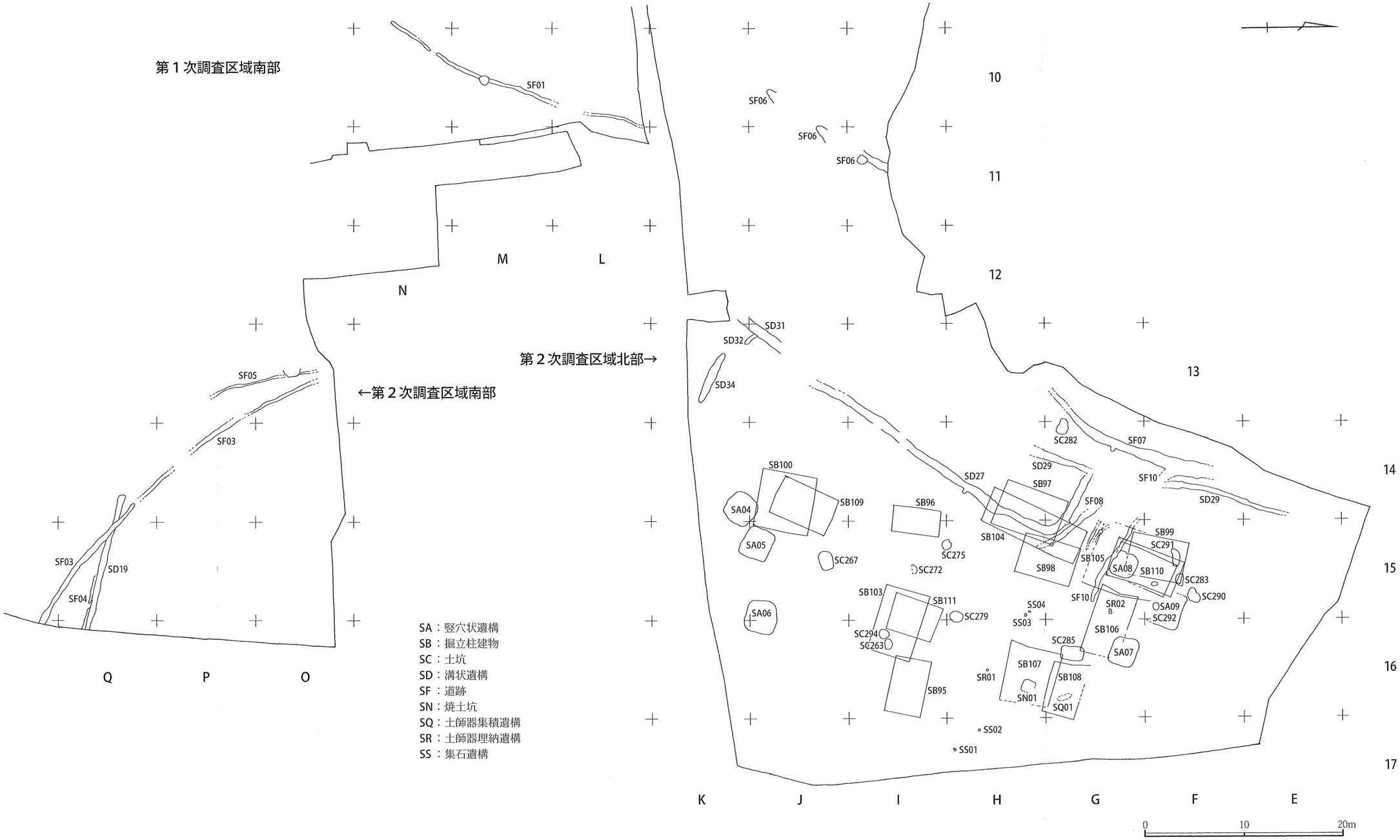
J-15・J-16区に位置し、平面プランは隅丸方形である。軽石・礫・炭化材・焼土が中央から出土している。炭化材は直径約４㎝で、比較的しっかりと残存していた。埋土の堆積状況を観察すると、いったん埋没した後に掘り直された痕跡が認められ、木灰を含むシルト層の上に軽石・炭化材・橙色の焼土が堆積している。この炭化材（ヤブツバキ）で年代測定を行ったところ、960±60年BP（１σ：AD1020～1180）の数値が得られた。また壁際からはピットが７基確認された。ピット埋土には２タイプあり、ひとつは黒色土のみの埋土で、もうひとつは濁った軽石入りの埋土である。

SA 7

G-16区に位置し、平面プランは隅丸方形である。深さは検出面より約85㎝と深めで、北西部は近世包含層の３層の掘り込みにより壊されている。埋土は黒色系の砂質シルトと黒色系の粘質シルトが交互に堆積している。底面の北東隅・南東隅からは完形の土師器（**10**・**21**）が１点ずつ出土した。

SA 8

G-15区に位置し、平面プランは隅丸方形である。検出面からの深さは113㎝で、**SA 7**とよく似た形態である。埋土は黒色系シルト土と、炭化物を含む灰色のシルト土の薄層に交互に堆積しており、土層断面で堆積状況がはっきりと見えるほどであった。検出面から約20㎝下で黒色シルト土の硬化した層が一面を覆っており、まるで床面のようであった。この硬化した層をはずすと、中層からは越州青磁片（**411**）が、底面直上からは土師器３点（**14**・**16**・**53**）が出土した。



SA：竪穴状遺構
SB：掘立柱建物
SC：土坑
SD：溝状遺構
SF：道跡
SN：焼土坑
SQ：土師器集積遺構
SR：土師器埋納遺構
SS：集石遺構

図３　遺構分布図

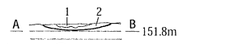
J I H G F E

13 14 15 16 17

SD27 SD25 SD29 SF07 SF10 SF08

SD25 ①

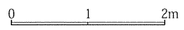
1 黒褐色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
　2よりややソフト



SD25 ②

1 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
　やや柔らかい

※SD25は中世前期の遺構



SD27 ①

1 昭和期の耕地整理時の造成土
2 黒褐色シルト層
　8㎜以下の黄色軽石を含む　やや固い
3 黒褐色シルト層
　8㎜以下の黄色軽石を含む　やや柔らかい
4 黄色軽石ブロック

SD27 ②

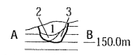
1 黒褐色シルト層
　8㎜以下の黄色軽石を含む　やや固い

SD27 ③

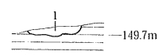
1 黒褐色シルト層
　8㎜以下の黄色軽石を含む　やや固い

SD27 ④

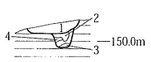
1 黒褐色シルト層
　8㎜以下の黄色軽石を含む　やや固い



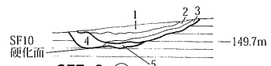
SD29 ①



SF7 ①



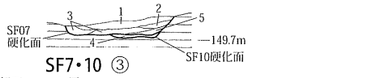
SD29 ②



SF7・8 ②

SD29 ③

1 黒色砂質シルト層　1.2cm以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
2 黒褐色砂質シルト層　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含みややハード
3 黒褐色砂質シルト層　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含みややソフト
4 黄色軽石ブロック



SF7・10 ③

1 5a層
2 褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
3 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
4 黒色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含み硬化している
5 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含み硬化している

0 1 2m

0 5 10m

図４　溝状遺構（SD）・道跡（SF）実測図(1)

O N M L K J I

SF01

SF01

SF01

SF01 A B

10

SF06 A B①

SC256 A B②

SF06

11

SD31 A A

SD32 A B B

SD34 A B

12

13

0 5 10m

A 1 B 152.2m

SD31

1 黒色微粘質シルト層
3㎜以下の黄色軽石を含む

A 1 B 152.3m

SF01

1 黒色シルト層　硬化層　赤褐色軽石を含む

A 1 B 152.2m

SD32

1 黒色微粘質シルト層
2㎜以下の黄色軽石を含む

1 2 3
A B 150.6m

SF06 ①

1 黒褐色微粘質シルト層　1㎝以下の黄色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　4㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒褐色微粘質シルト層　4㎜以下の黄色軽石を含む

A 1 2 B 152.3m

SD34

1 黒色微粘質シルト層
3㎜以下の黄色軽石を含む
2 黄色軽石ブロックに黒色シルトが混ざる

3 2 1 4 5
150.6m A B
SC256

SF06 ②

1 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黄褐色微細粒軽石のブロック
3 黄色軽石ブロックに黒色シルトが混ざる
4 黒褐色微粘質シルト層　6㎜以下の黄色軽石を含む
5 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

0 1 2m

図５　溝状遺構（SD）・道跡（SF）実測図(2)

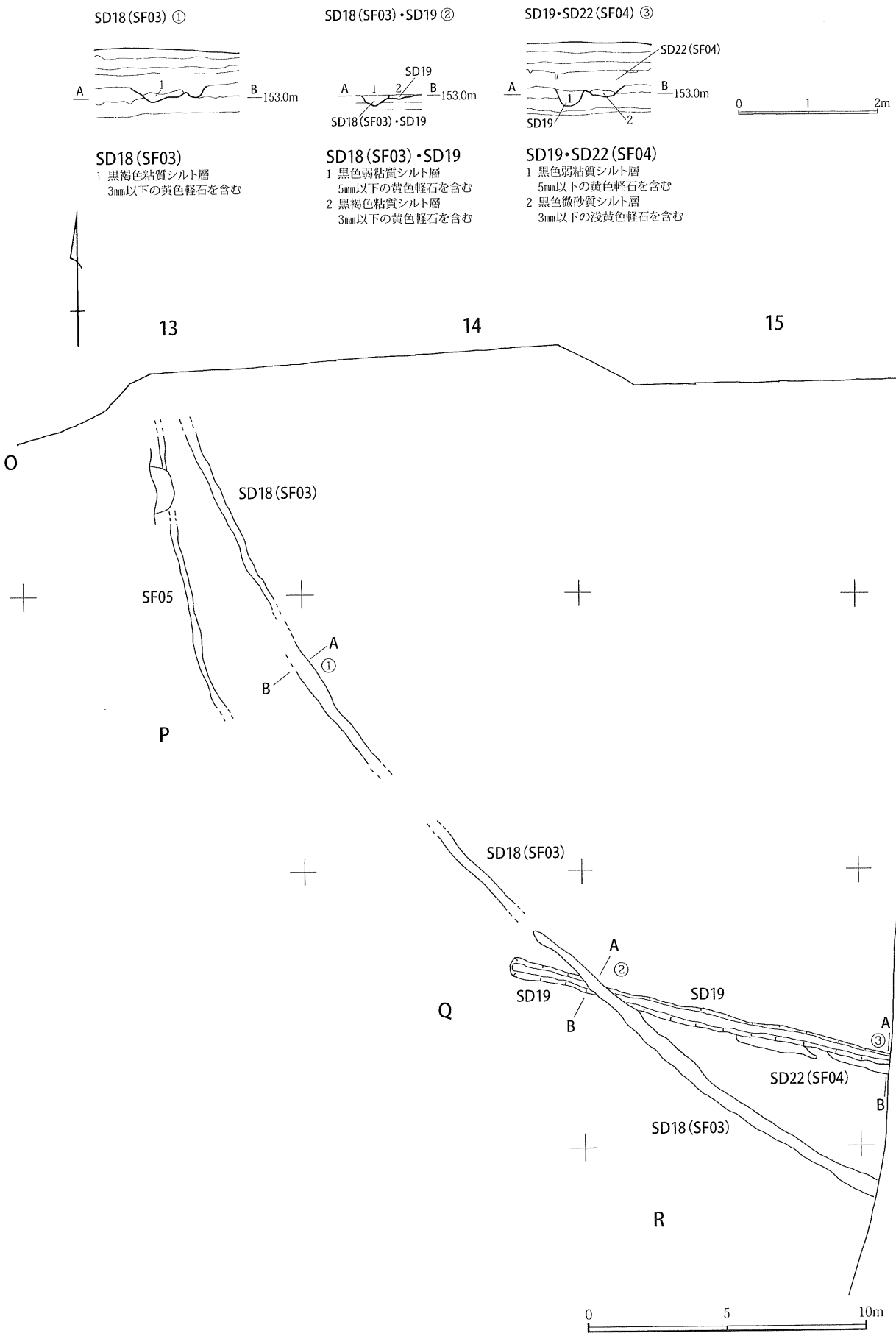


図6　溝状遺構（SD）・道跡（SF）実測図(3)

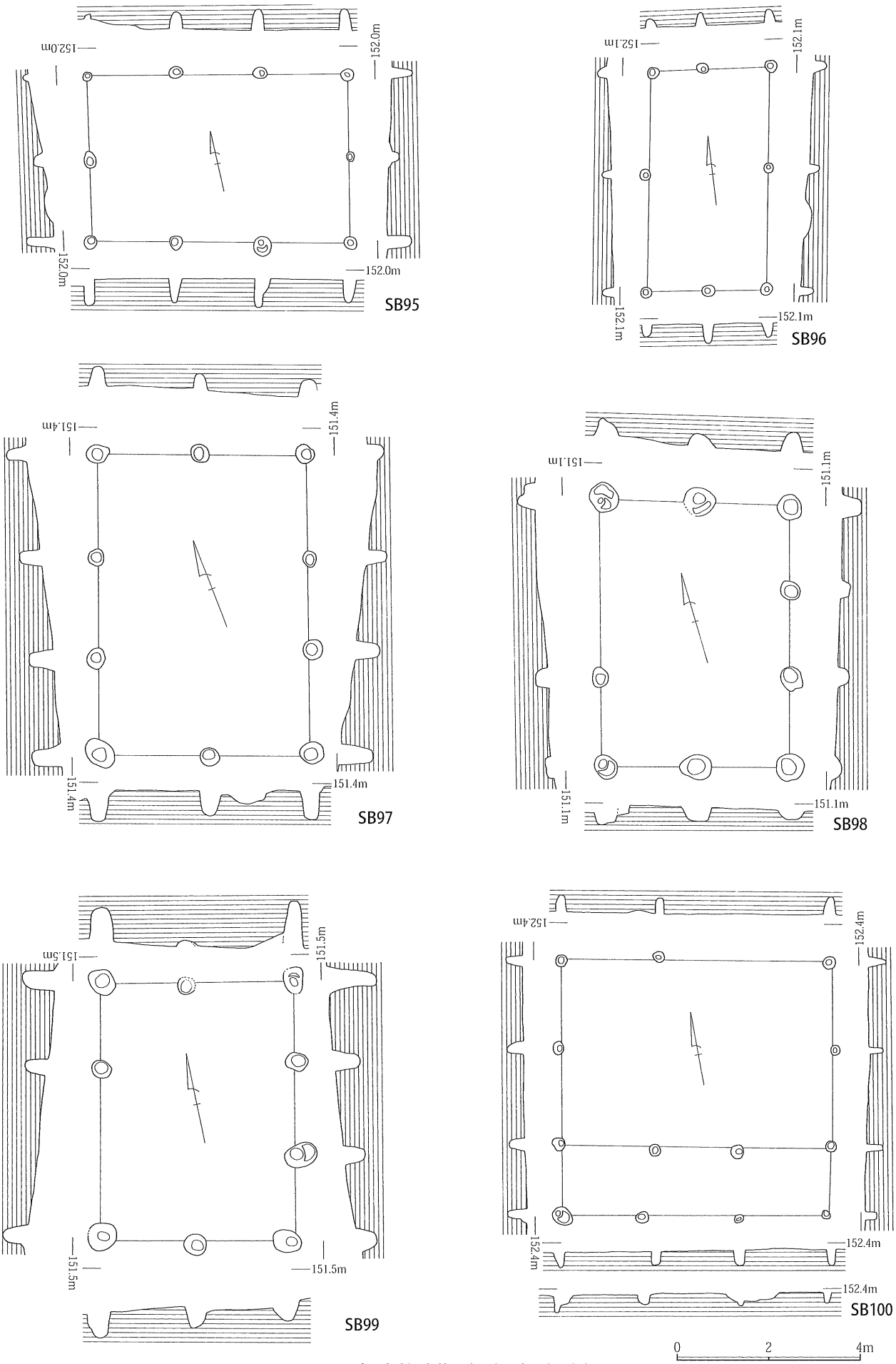


図７　掘立柱建物（SB）実測図(1)

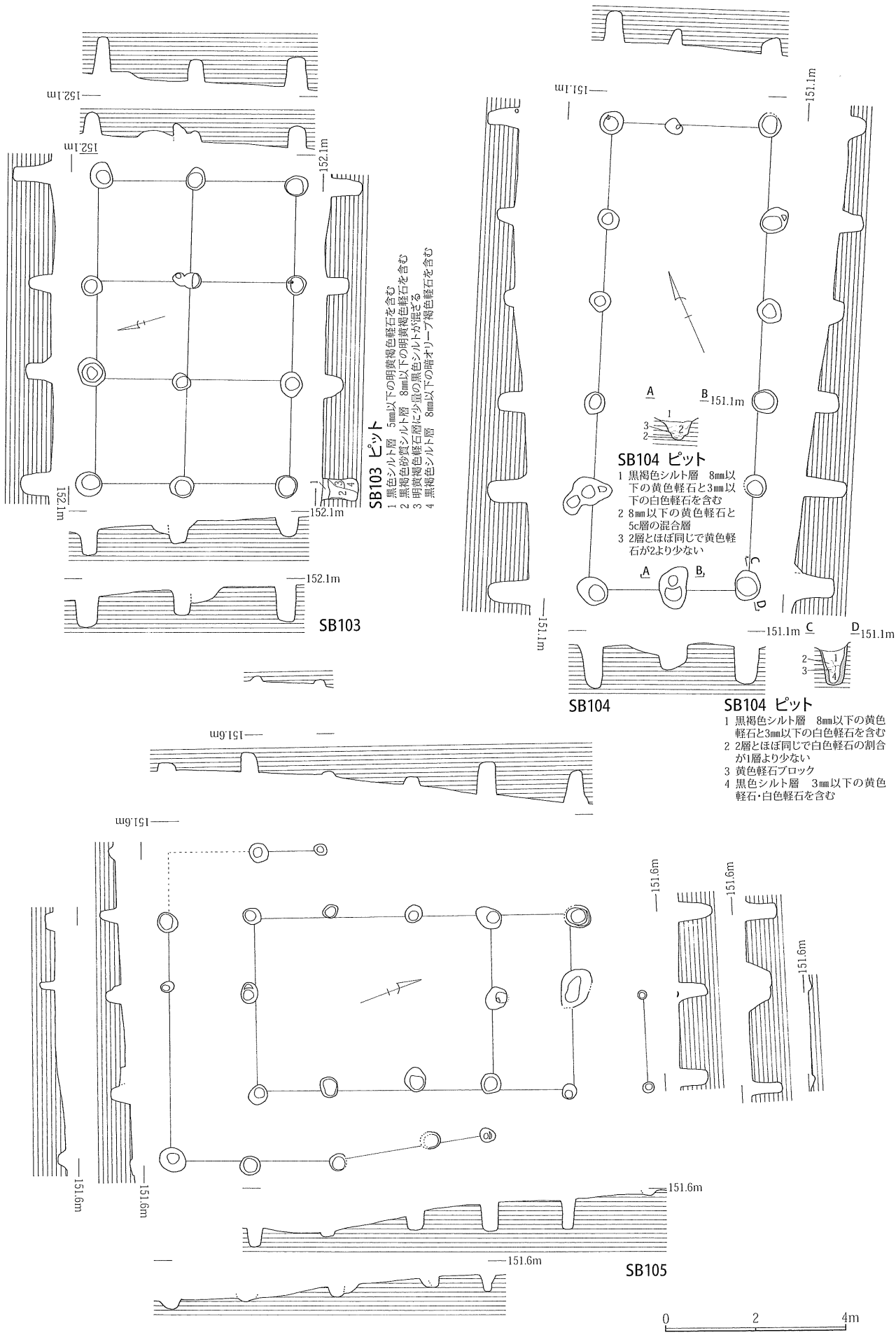


図８　掘立柱建物（SB）実測図(2)

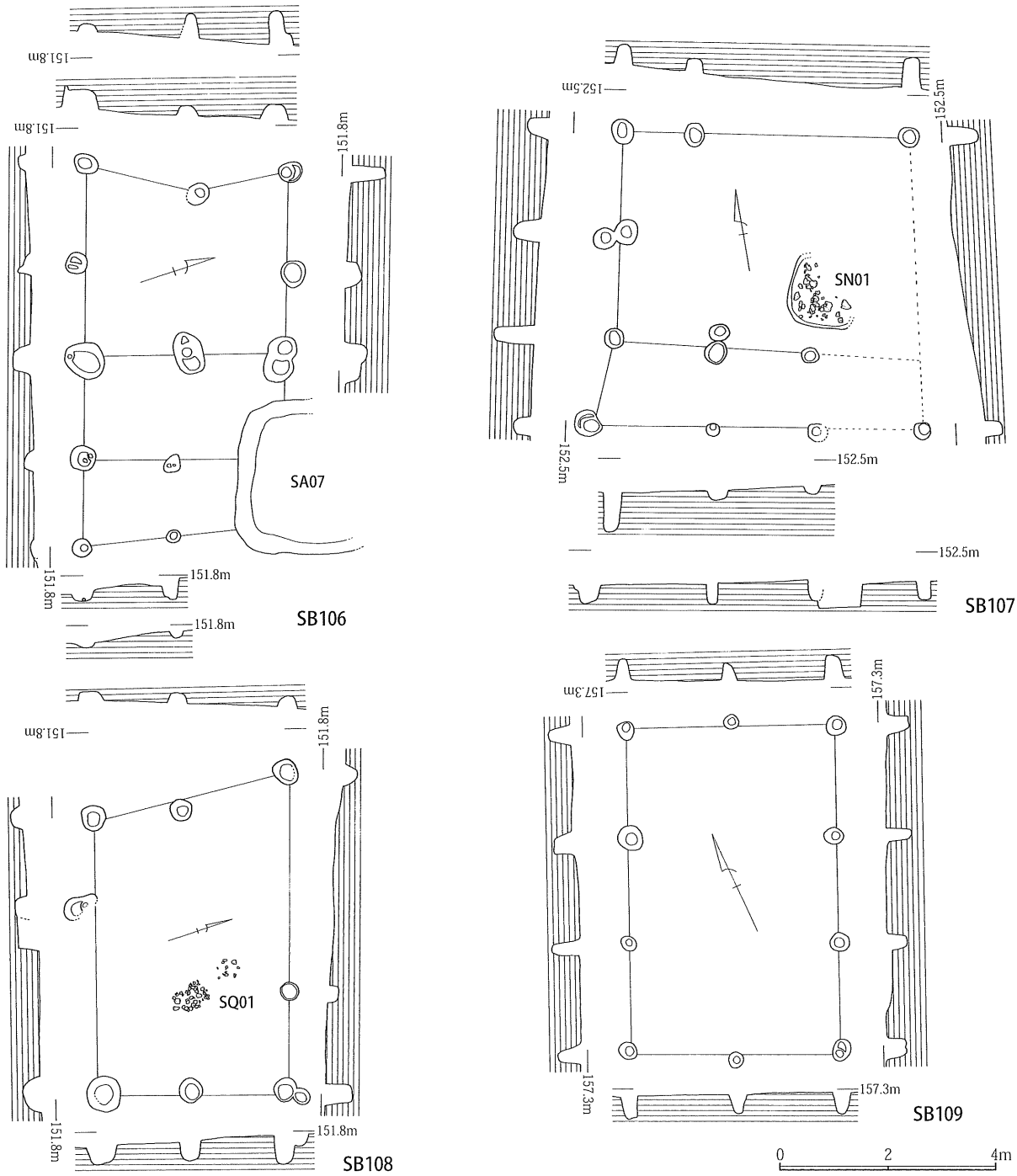


図９　掘立柱建物（SB）実測図(3)

（５）土坑

古代の土坑は14基確認した。掘立柱建物跡と同じくすべて北東部からの検出である。

SC275

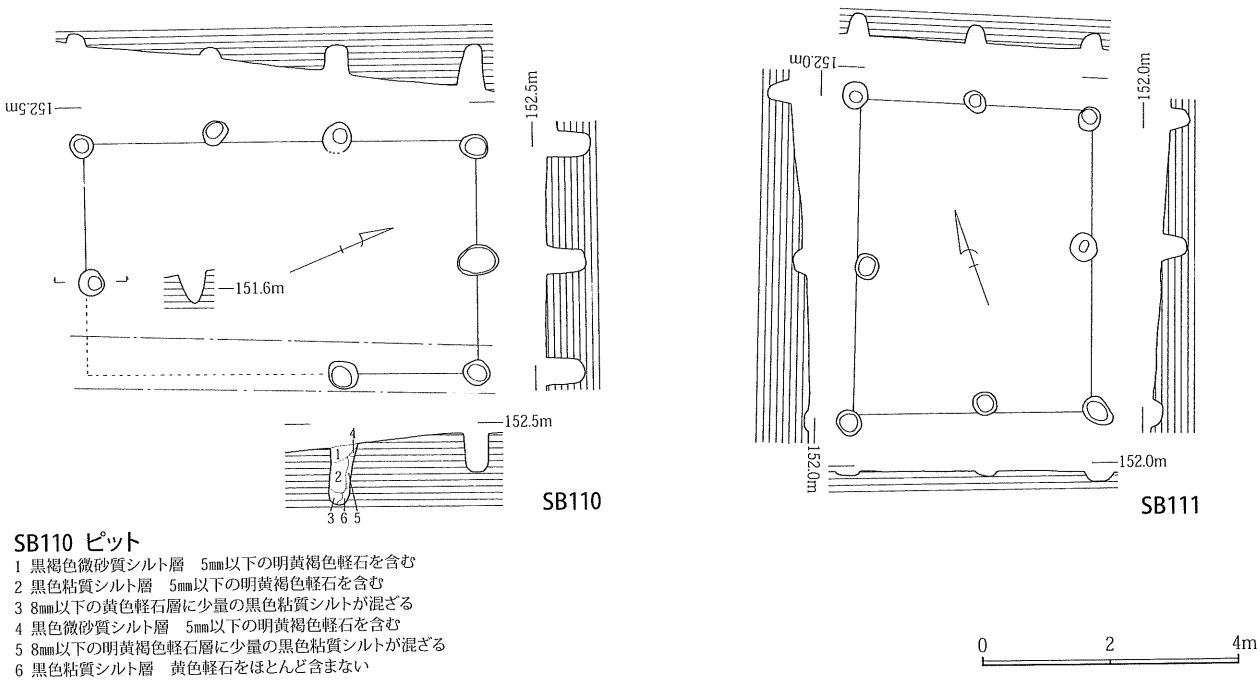
Ⅰ-15区で検出され、平面プランは楕円形である。床面でピット状の落ち込みが確認された。埋土は黒色系のシルト土で、そのうち上層は砂質のシルト土であった。

SC279

H-15区で検出され、平面のプランは楕円形である。床面にピット状の落ち込みが確認された。

SC285

G-16区で検出され、平面プランは長方形である。検出面からの深さは８㎝と浅い。土坑内からは炭化米が床面より約５㎝浮いた状態で出土した。炭化米の放射性炭素年代測定値は、1130±50年BP（1σ：AD880



SB110 ピット
1 黒褐色微砂質シルト層　5㎜以下の明黄褐色軽石を含む
2 黒色粘質シルト層　5㎜以下の明黄褐色軽石を含む
3 8㎜以下の黄色軽石層に少量の黒色粘質シルトが混ざる
4 黒色微砂質シルト層　5㎜以下の明黄褐色軽石を含む
5 8㎜以下の明黄褐色軽石層に少量の黒色粘質シルトが混ざる
6 黒色粘質シルト層　黄色軽石をほとんど含まない

図10　掘立柱建物（SB）実測図(4)

～980）である。

（6）焼土坑

SN 1

H-16区で検出された。平面プランは方形と思われるが、一部を近世の撹乱により壊されている。土師器や赤く変色した軽石などが多く出土した。埋土は粘土やきめ細かい橙色シルト、それらを含む黒色系シルト土である。最下層には炭化材を含んでいた。南側の床面で約10㎝の落ち込みが確認された。

（7）その他の遺構

土師器集積遺構（SQ）が１基、土師器埋納遺構（SR）が２基、集石遺構（SS）が４基である。

SQ 1

G-16区で検出した土師器集積遺構である。土師器・粘土塊・軽石が集中して出土したが、その下に掘り込みは確認されなかった。

SR 1

H-16区で検出した土器埋納遺構である。深さ約15㎝のピット内に完形の土師器が口を合わせ、横にした状態で埋納されていた（**24・26**）。

SS 1・2・3・4

H-15・H-17・Ⅰ-17区の５b層内から検出された集石遺構で、４基を確認した。礫の大きさは直径が２～７㎝程で、それらが集まって直径が約15～40㎝の集石遺構を成している。礫はいずれも被熱痕跡は認められなかった。そのうち、**SS 2**からは須恵器片が出土している。

（文責：外山亜紀子）

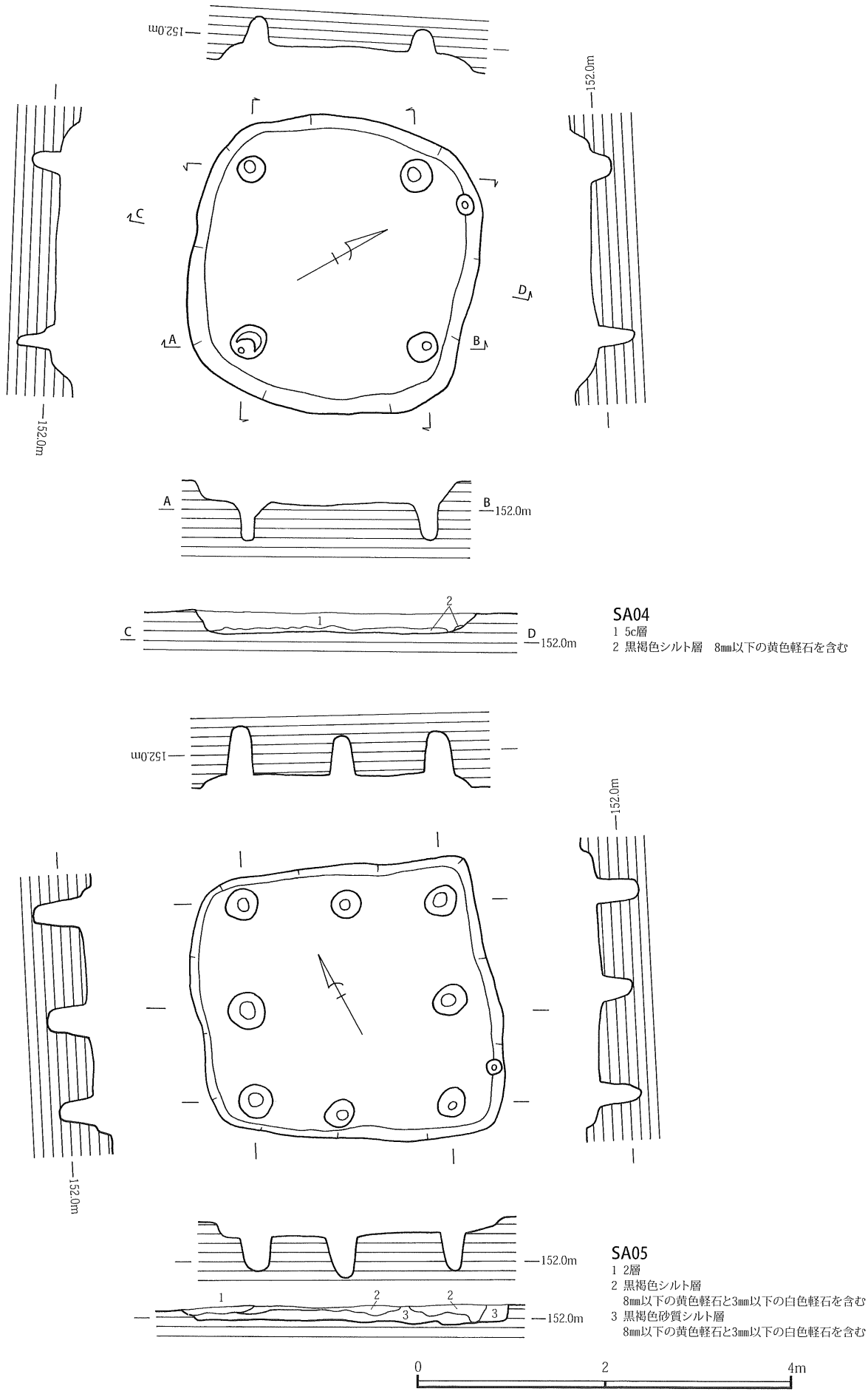


図11　竪穴状遺構（SA）実測図(1)

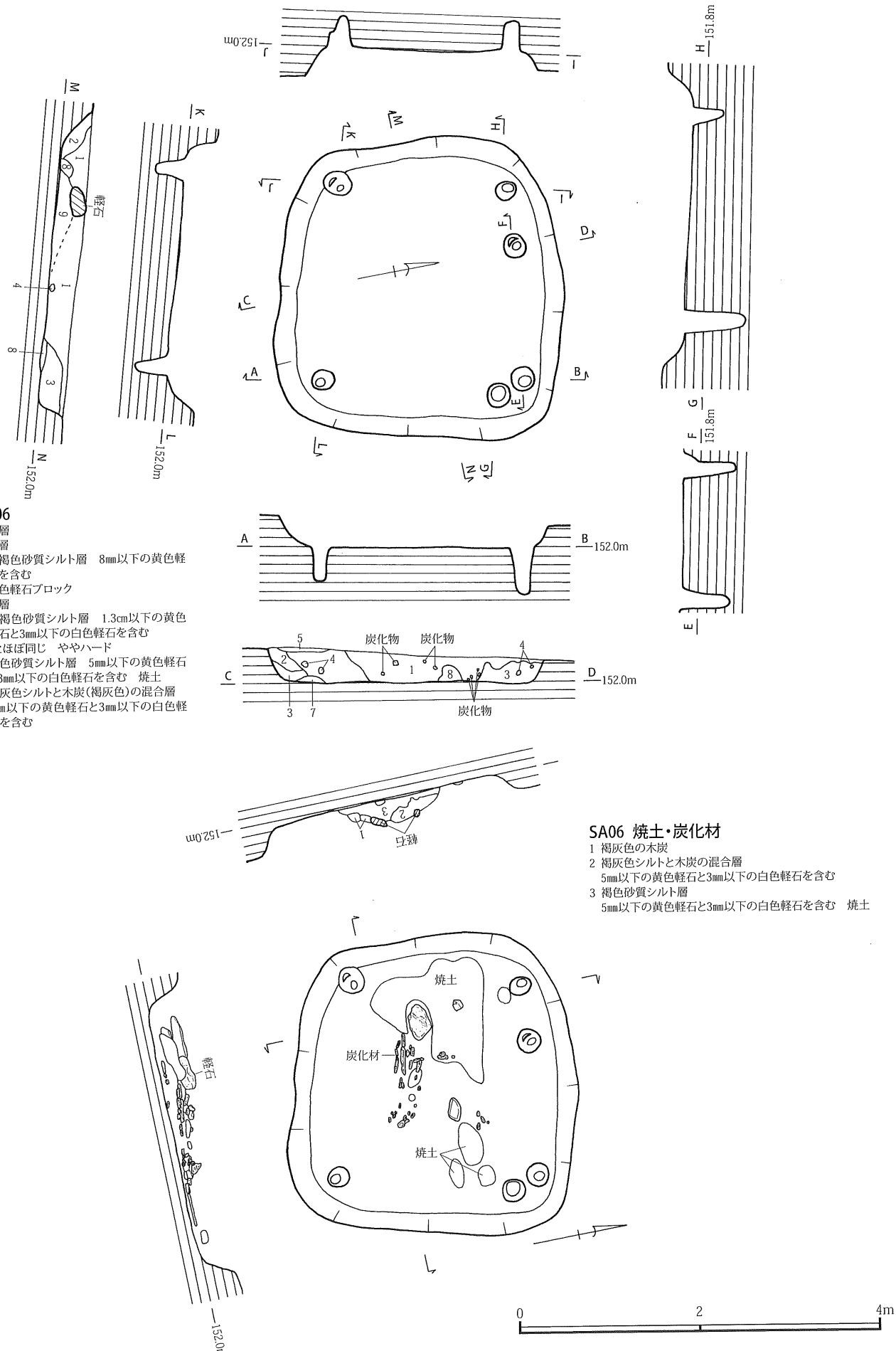
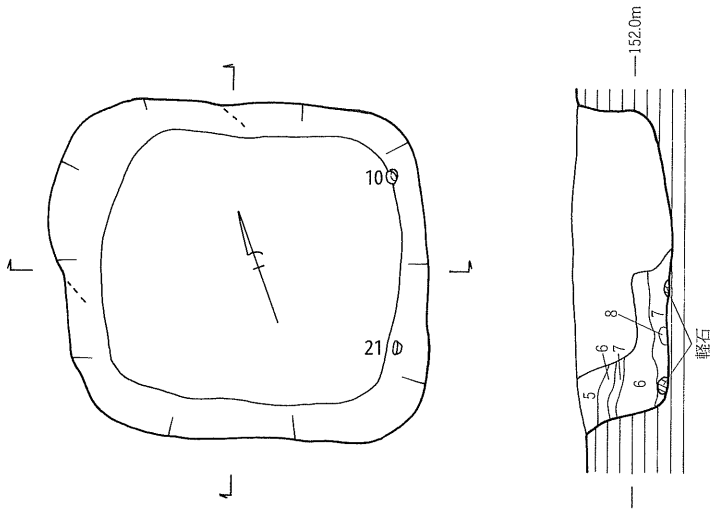
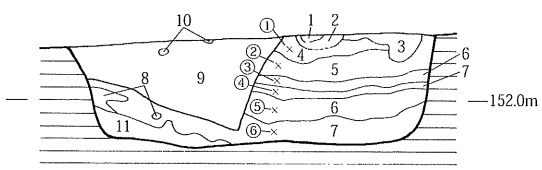


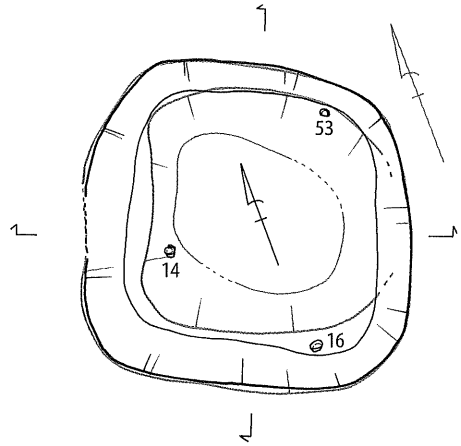
図12　竪穴状遺構（SA）実測図(2)

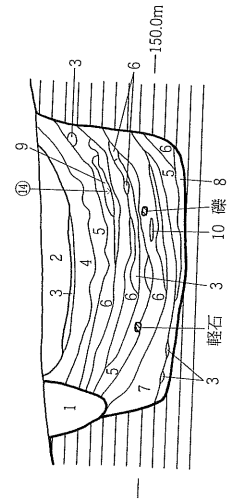


SA07
1 明赤褐色砂質土　焼土
2 1と褐灰色砂質土の混合層
8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
3 黒褐色砂質シルト層
8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む　ややソフト
4 黒褐色砂質シルト層
8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
5 黒褐色砂質シルト層
8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
6 黒褐色砂質シルト層
8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む　ややハード
7 黒色粘質シルト層
8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
8 黄色軽石ブロック
9 3とほぼ同じ　上部に白色軽石、下部に黄色軽石を含む
10 色砂質火山灰層　桜島文明軽石
11 褐色砂質土と8㎜以下の黄色軽石の混合層

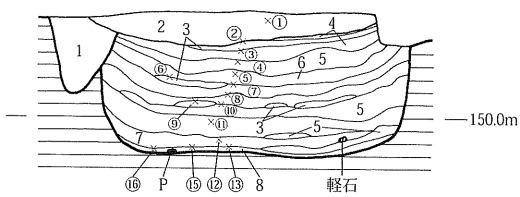


①～⑥：土壌サンプリング

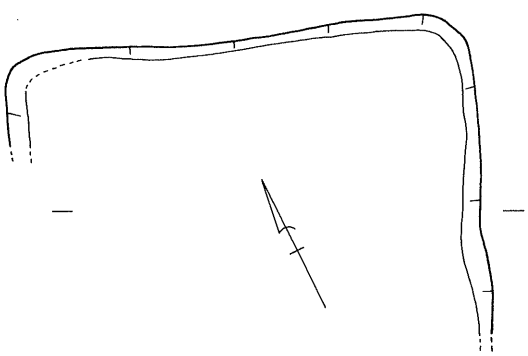




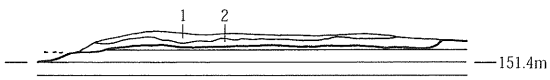
SA08
1 黒褐色シルト層
8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む　ややハード
2 黒褐色シルト層
8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
3 灰色焼灰層
5㎜以下の炭化物を含む
4 黒褐色シルトと8㎜以下の黄色軽石の混合層
5 黒褐色シルト層
8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む　ややハード
6 黒褐色シルト層
8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む　ややソフト
7 黒色シルト層
8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
8 3とにぶい赤褐色粘質シルトの混合層
9 にぶい赤褐色砂質土　焼土?
10 明褐灰色粘質土



①～⑯：土壌サンプリング



SA09
1 2層
2 5c層



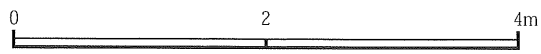
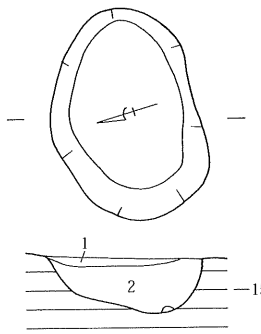
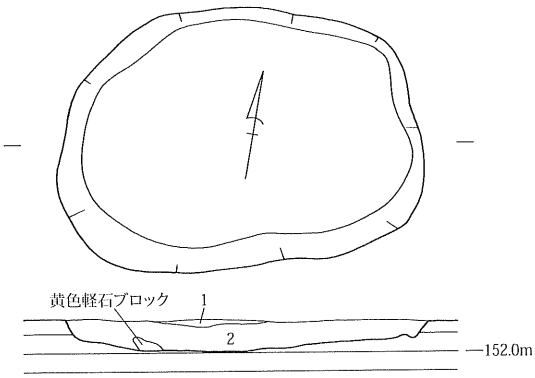


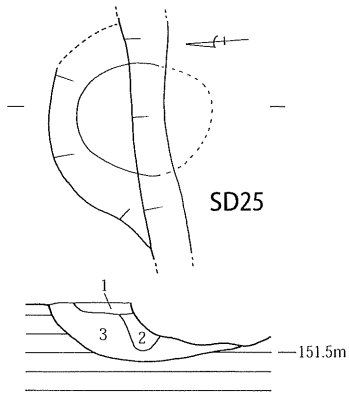
図13　竪穴状遺構（SA）実測図(3)



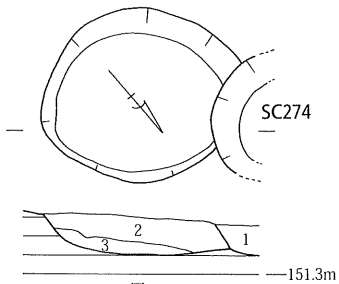
SC263
1 5a層
2 黒褐色砂質シルト層　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む



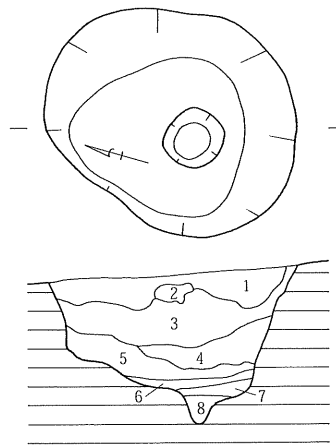
SC267　1 5a層
2 黒褐色砂質シルト層　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む



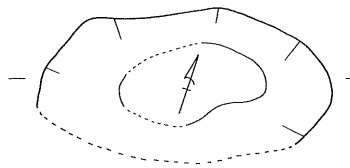
SC272
1 黒褐色シルト層　5㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
2 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む　ややハード
3 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む　ややソフト



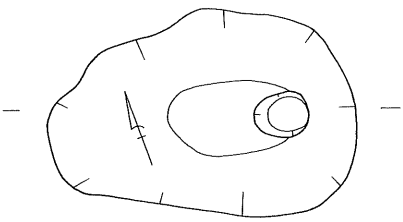
SC275　1 5a層
2 黒褐色砂質シルト　1cm以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
3 5c層

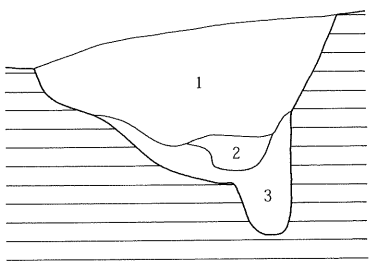


SC279
1 5a層
2 黄色軽石ブロック
3 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
4 黒褐色砂質シルト層　1cm以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
5 黒色シルト層に黄色軽石が混ざる
6 4とほぼ同じ　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
7 黒色シルト層　5㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
8 黒褐色シルト層　5㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む

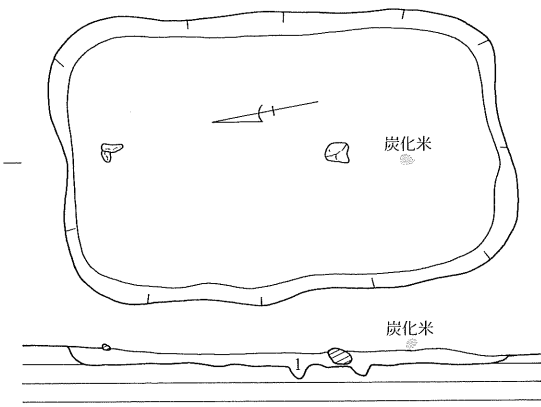


SC281

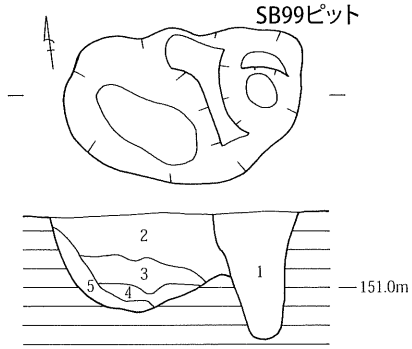




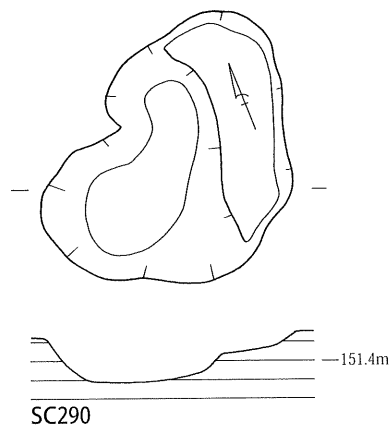
SC282
1 黒褐色砂質シルト　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
2 黒褐色シルト　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
3 黒色シルト　5㎜以下の黄色軽石を含む



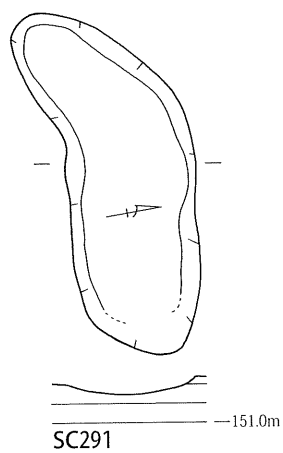
SC285
1 5c層



SC283
1 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
3 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
4 黒色シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
5 黒色シルト層と1cm以下の黄色軽石の混合層



SC290



SC291

0　1　2m

図14　土坑（SC）実測図(1)

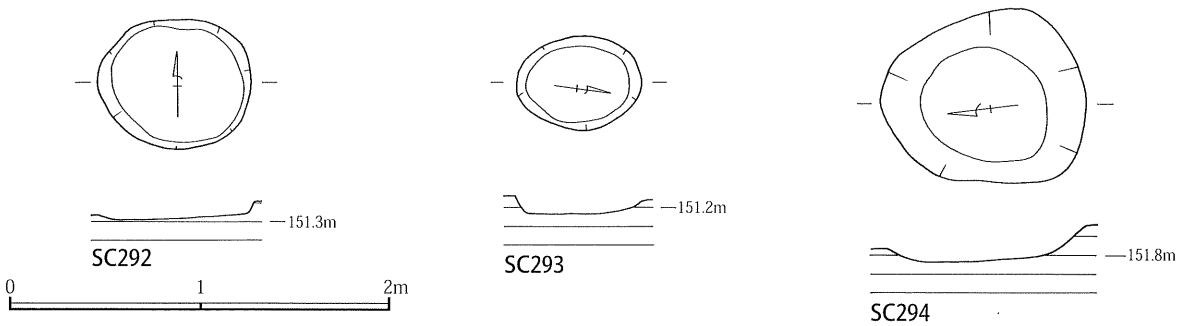


図15　土坑（SC）実測図(2)

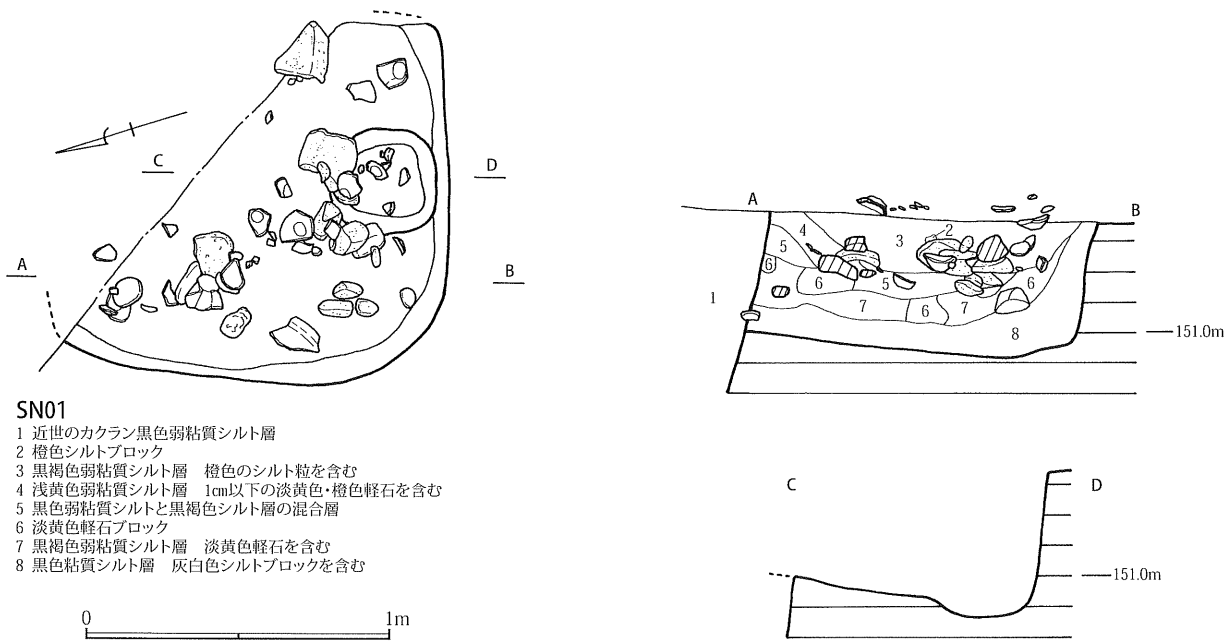


図16　焼土坑（SN）実測図

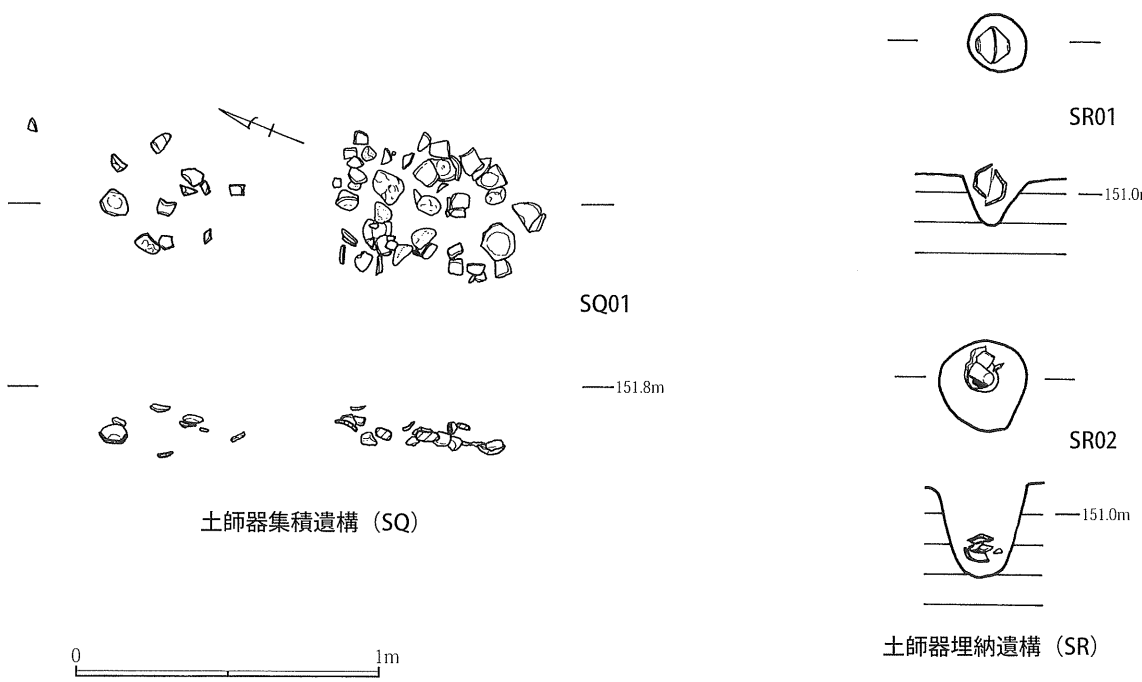


図17　その他の遺構実測図

2．平安時代の遺物

（1）平安時代の土師器（図18～24）

1～**219**は坏である。底部の切り離し技法は、確認できる器については、全てヘラ切りによるものである。**18**は底面に不明圧痕をのこす。**24**・**25**は底面に板状圧痕、**26**は簾状圧痕をのこしている。**61**は底面に板状圧痕をのこしている。**64**は底面が著しく剥落しており、観察が不可能であった。**65**は底面に不明圧痕をのこしている。**74**は側面に穿孔、内外面にはススの付着がみられた。灯明皿として使用されたのではないかと思われる。**78**は外面の一部にススの付着が認められる。**101**は底面に、**115**は内外面に著しくスス付着。**149**は底面に板状圧痕、**162**は不明圧痕をのこしている。**169**・**170**は底部が円盤高台状を呈す。**171**は底面に板状圧痕をのこす。**183**は底面の一部にスス付着。**186**・**210**は底部が円盤高台状を呈す。

220～**230**は坏か椀の口縁部ないし口縁～体部片である。

231～**273**は高台付椀である。**237**は口縁部内面の一部が黒色化している。**240**は外面にスス付着。**242**は底面に未穿孔あり。**243**は内外面の一部にスス付着。**258**は高台の貼り付け痕を明瞭にのこす。**261**は底部内面に３条の線刻が認められる。**270**は外面の一部、**272**は内面に著しくスス付着。

274・**275**は小皿で、いわゆる「かわらけ」である。底部切り離し技法は、**274**は糸切り、**275**はヘラ切りによるものである。

276～**302**は甕である。**276**は外面全体に著しくスス付着。**278**・**279**は外面全体にススの付着がみられ、内面にはケズリ痕を明瞭にのこしている。**280**は外面の器面調整が粗く輪積痕がみてとれ、内面にはケズリ痕を明瞭にのこしている。**281**・**282**は内面にケズリ痕を明瞭にのこす。**283**は外面全体にススの付着がみられ、内面にはケズリ痕を明瞭にのこす。**285**は外面にスス付着。**293**は外面に部分的なススの付着が認められた。**294**は外面に指頭痕をのこす。**295**は外面に、**297**は内外面にスス付着。**298**は内面にケズリ痕を明瞭にのこす。**299**は内面が全体的に剥落している。**300**は外面の一部にわずかなススの付着がみられ、内面全体に炭化物が付着している。**301**は外面全体に著しくススが付着し、内面にはケズリ痕を明瞭にのこしている。**302**は外面にスス付着。

303は小壺の口縁部片と思われる。

304は甑の底部片である。外面の一部にススの付着がみられ、内面にはケズリ痕を明瞭にのこす。

305は土師器の坏ないし高台付椀の底部片を紡錘車に二次転用したものである。

（2）黒色土器（図25）

306～**322**は器の内面のみ炭素を吸着させた黒色土器Ａ類の高台付椀である。**306**は口縁部外面に２条の線刻、高台部外面に１条の線刻が認められる。

323は黒色土器Ａ類の坏であり、底部が円盤状を呈す。

324～**340**は黒色土器Ａ類の高台付椀である。**324**は底部が円盤状を呈し、**325**・**332**・**336**は高台内底面に菊花状調整痕をのこしている。

341は黒色土器Ａ類の甕である。

342・**343**は器の内外面に炭素を吸着させた黒色土器Ｂ類の高台付椀である。

（3）墨書土器（図26）

344～**354**は土師器の坏か椀、高台付椀ないし甕に墨書が施された、墨書土器である。**344**は高台付椀の口縁～底部片であり、底面に文字の一部か記号と思われる墨書が認められる。**345**は高台付椀の口縁～体部片であり、外面に「上中」の墨書が施されている。**346**は坏か椀の口縁部片であり、外面に「上中」と思われる墨書が施されている。**347**は甕の口縁部片であり、内面に文字か記号の一部と思われる墨書が認められる。**348**～**350**は坏か椀の口縁部片であり、外面に文字の一部と思われる墨書が認められる。**351**は坏か椀の体部

図18　平安時代の土師器(1)

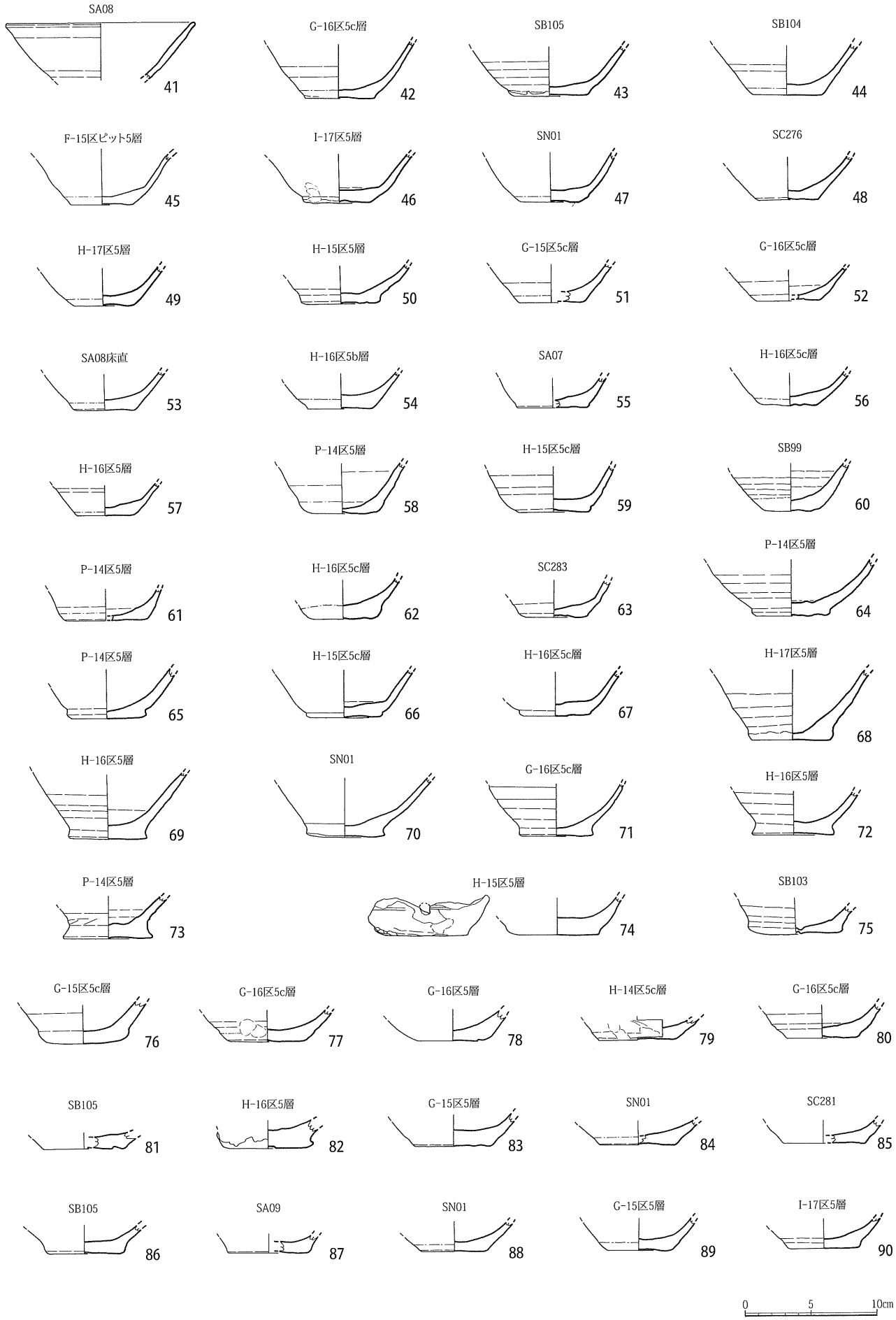


図19　平安時代の土師器(2)

図20　平安時代の土師器(3)

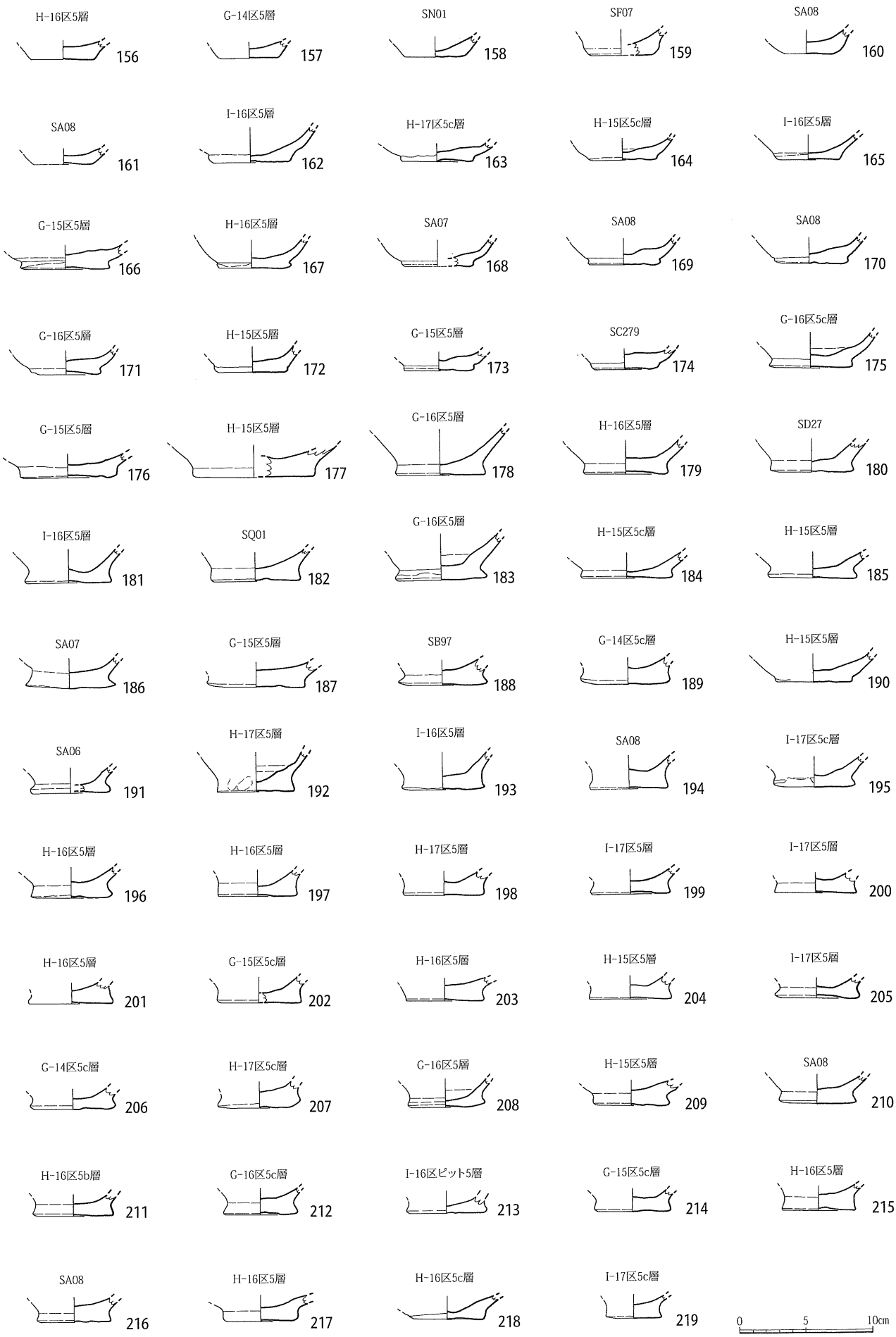


図21　平安時代の土師器(4)

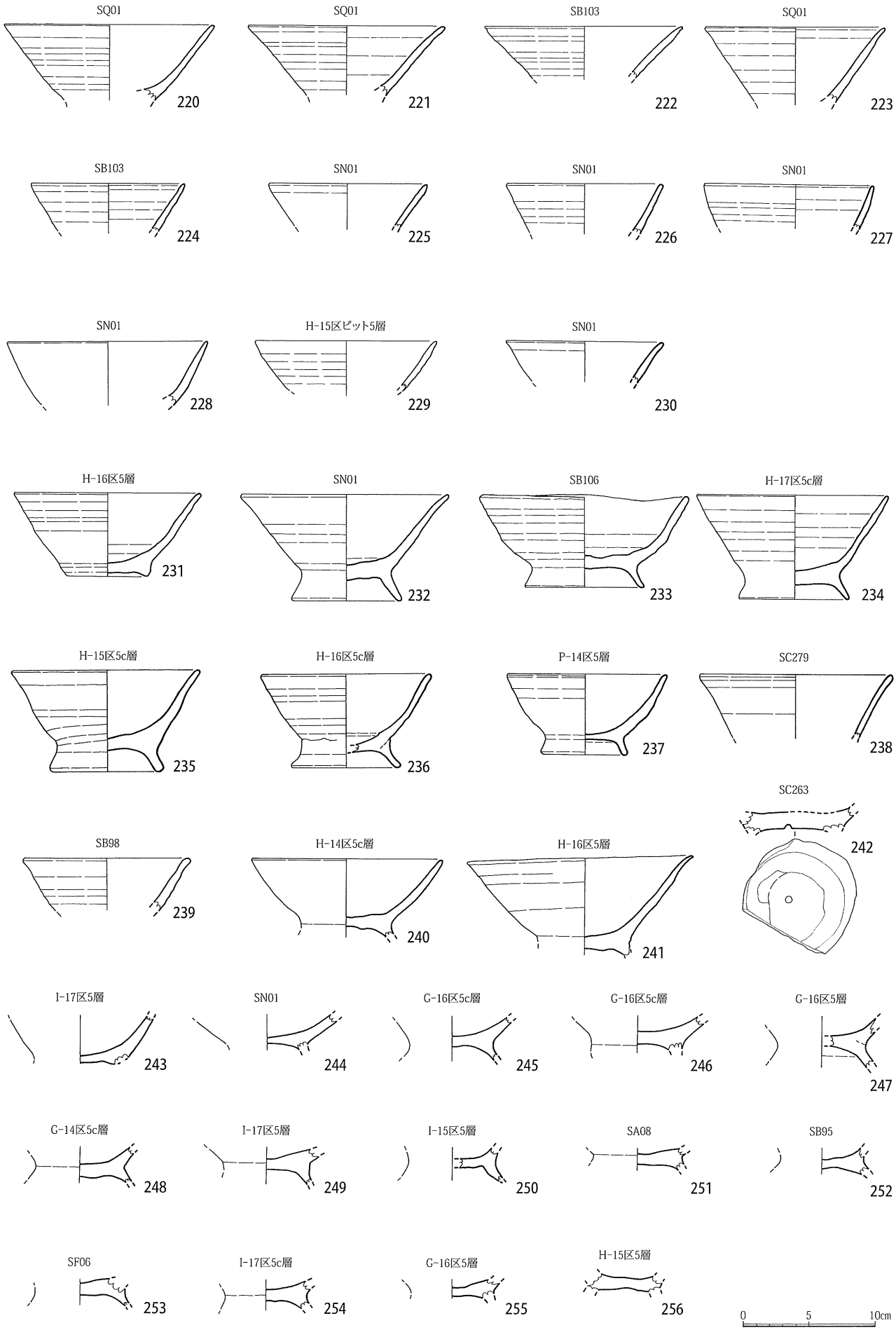


図22　平安時代の土師器(5)

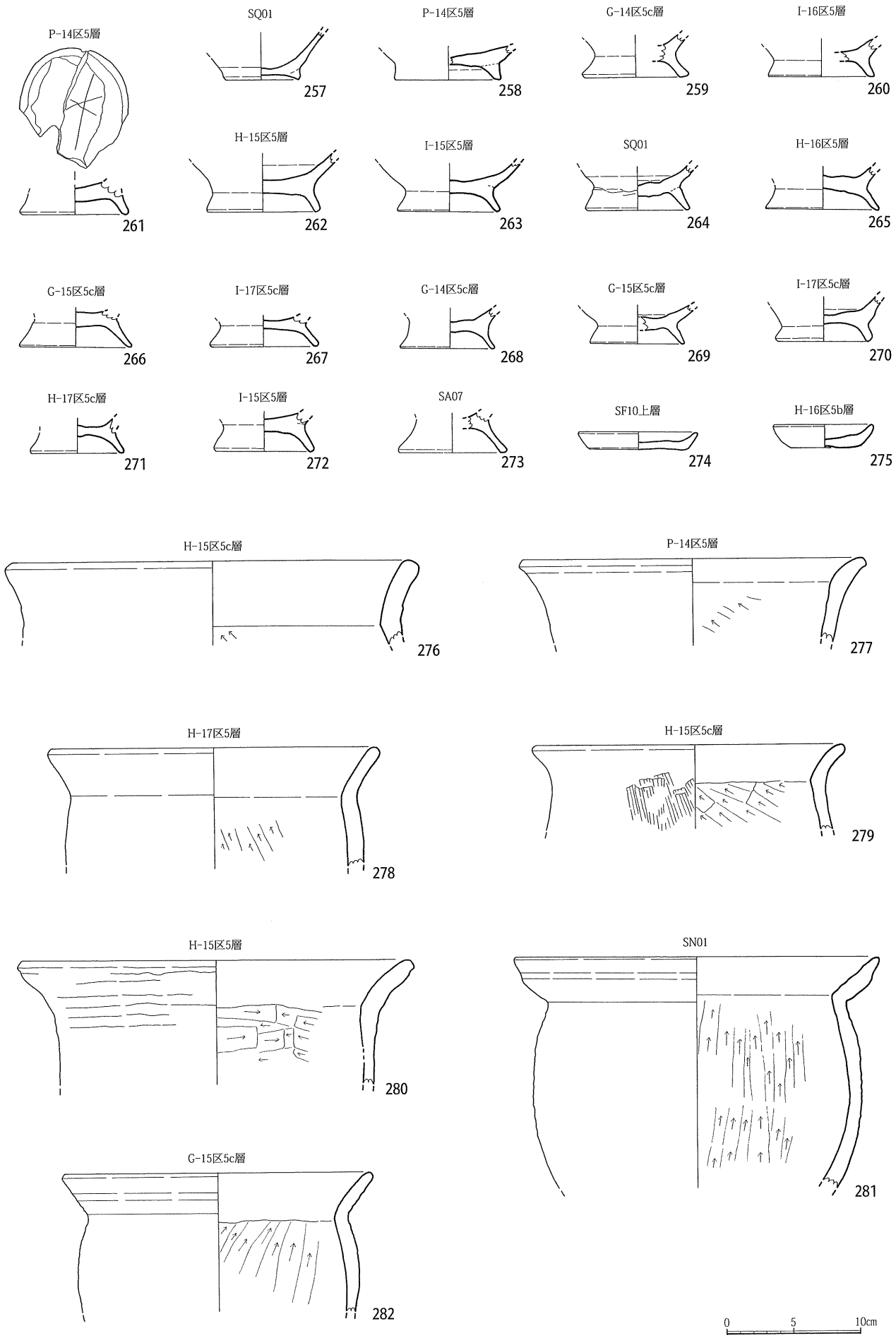


図23　平安時代の土師器(6)

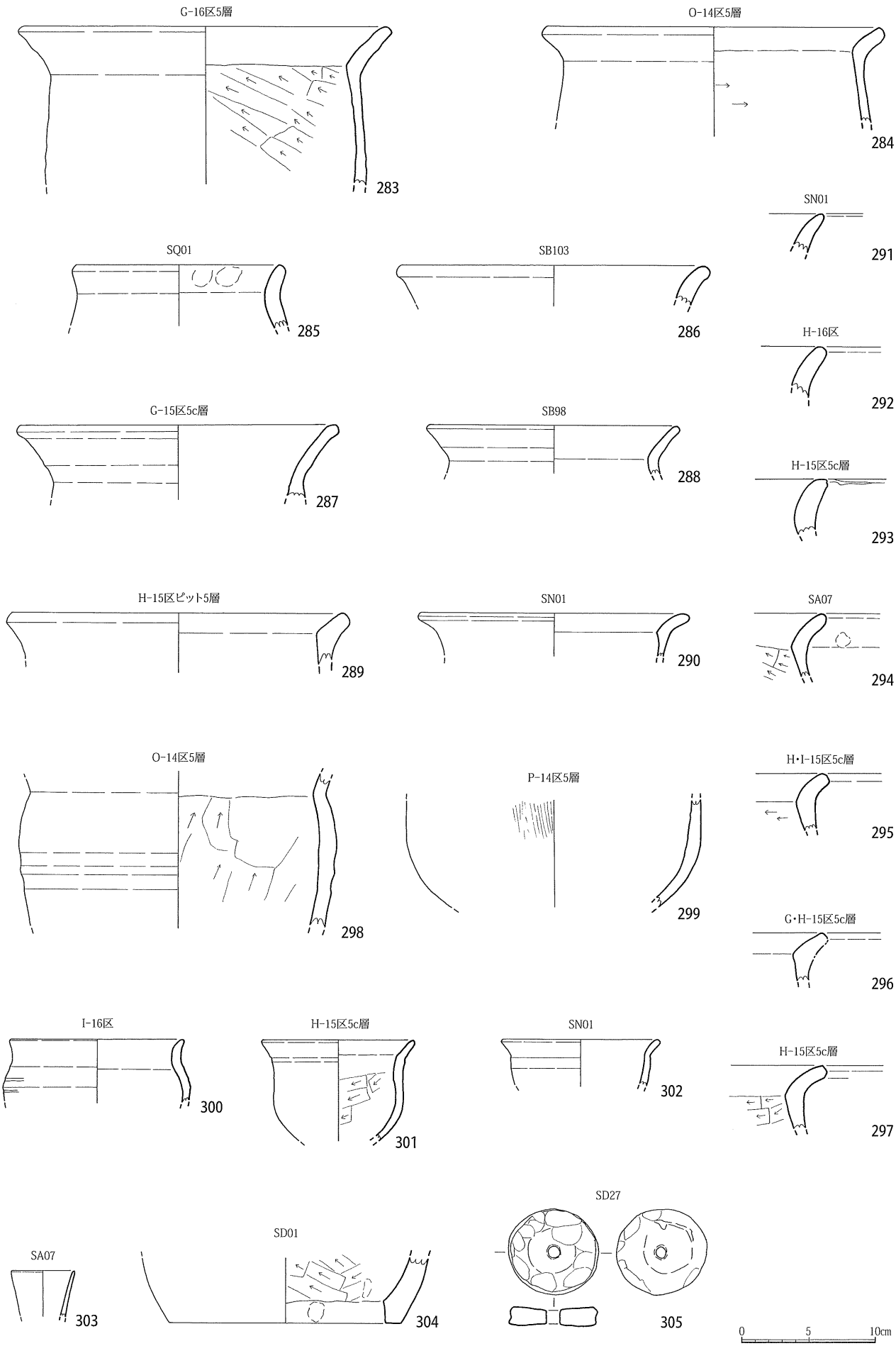


図24　平安時代の土師器(7)

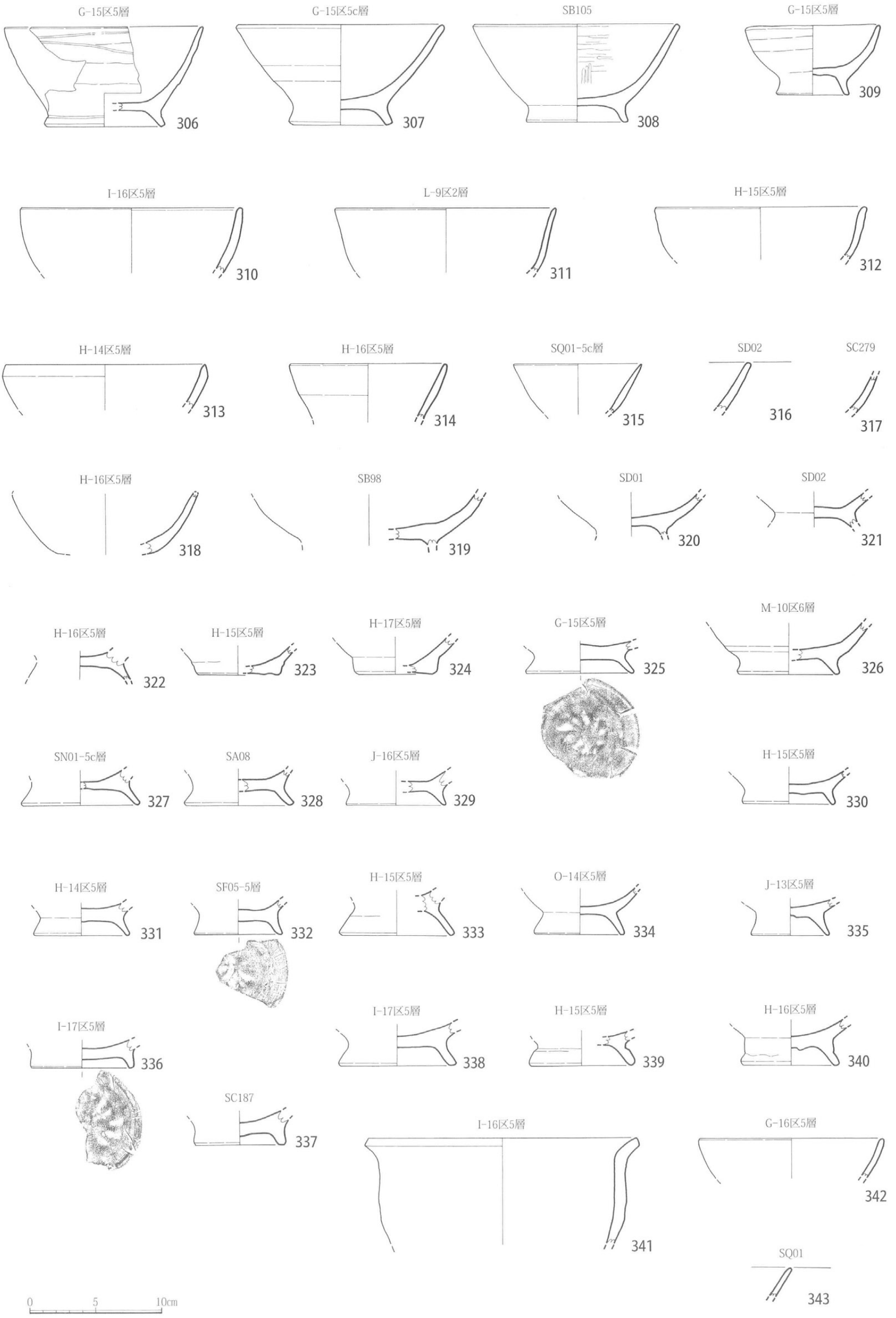

G-15区5層
306
G-15区5c層
307
SB105
308
G-15区5層
309
I-16区5層
310
L-9区2層
311
H-15区5層
312
H-14区5層
313
H-16区5層
314
SQ01-5c層
315
SD02
316
SC279
317
H-16区5層
318
SB98
319
SD01
320
SD02
321
H-16区5層
322
H-15区5層
323
H-17区5層
324
G-15区5層
325
326
SN01-5c層
327
SA08
328
J-16区5層
329
H-15区5層
330
H-14区5層
331
SF05-5層
332
H-15区5層
333
O-14区5層
334
J-13区5層
335
I-17区5層
336
I-17区5層
338
H-15区5層
339
H-16区5層
340
SC187
337
I-16区5層
341
G-16区5層
342
SQ01
343
0
5
10cm

図25　黒色土器

片であり、外面に倒位した文字と思われる墨書が認められる。**352・353**は坏か椀の体部片であり、外面に文字の一部と思われる墨書が認められる。**354**は坏か椀の体部片であり、外面に文字か記号の一部と思われる墨書が認められる。**347～354**は何れも部分的であり、判読不能である。

土師器・黒色土器・墨書土器の坏・椀の器種分類については、形態からではなく用途上から、高台が付くもの全てを高台付椀とし、付かないものを坏とした。

（4）平安時代の須恵器（図27～29）

355・356は坏身の口縁部片である。

357～372・374・375は甕である。口縁部の形態により、実測図を順次掲載した。（レイアウトの都合上、一部例外あり） **373**は甕か壺の胴部片である。

376～389は壺である。**376**は壺の口縁・肩部片であり、外面に自然釉がかかる。**379・381**は短頸壺の口縁部片である。**384・385**は耳付壺の肩～胴部片であり、**384**は外面に自然釉がかかる。**389**は**385**と同一個体で、耳付壺の底部片である。

390は横瓶の口縁～頸部片である。

391は甕の胴部内面を、硯として二次転用した転用硯であり、使用面である内面には赤色顔料の付着が認められる。

（5）緑釉陶器（図30）

392は小坏か小碗の口縁部片である。**393・394**は小坏の口縁部・底部片である。**394**は削り出しの円盤高台をもち、内外面の釉が著しく剥離している。京都洛北タイプである。

395は京都産洛西系椀の口縁部片である。**396**は京都産洛西系小型椀の口縁部片と思われる。**397・398**は椀の口縁部片と思われる。**399**は椀の底部片であり、貼り付け有段輪高台をもつ。近江系で、10世紀中頃までと比定される。**400**は椀の底部片であり、削り出しの幅広輪高台をもつ。京都産洛西系で、９世紀末のものである。**401**は椀の底部片であり、削り出しの輪高台をもつ。京都産洛西系である。

402・403は京都産洛西系段皿の口縁部片である。**404・407**は京都産洛西系皿の口縁部片と思われる。**405**は皿の口縁部片である。東海系で、９世紀末のものである。**406**は皿の口縁部片で、端反り口縁である。京都洛西型である。**408**は皿の口縁部片と思われる。**409**は京都産洛西系皿の口縁部片である。**410**は皿の底部片であり、削り出しの輪高台をもち、内面見込みに砂目痕をのこす。京都産洛西系である。

（6）貿易陶磁器（図31・32）

411～421は越州窯系青磁である。**411**は椀の口縁～底部片であり、内面見込みに目痕をのこし、また内面見込みが重ね焼きにより変色している。椀Ⅰ－２ウ類に相当し、９世紀後半のものである。**412・413**は椀の口縁～底部片であり、円盤高台をもち体部外面下位は無釉である。釉にムラがあり、内面に目痕をのこしている。椀Ⅱ－２b類に相当し、８世紀末から10世紀中頃にかけてのものである。**414**は椀の口縁～体部片であり、体部外面は無釉である。釉にムラがあり、内面に目痕をのこしている。椀Ⅱ類に相当し、８世紀末から10世紀中頃にかけてのものである。**415**は輪花椀の口縁部片であり、釉にムラがある。椀Ⅱ－２類に相当し、８世紀末から10世紀中頃にかけてのものである。**416**は椀の口縁部片、**417**は椀の体部片であり、**416・417**共に釉の発色は良好で、胎土も精良である。椀Ⅰ類に相当し、８世紀末から10世紀中頃にかけてのものである。**418**は椀の体部片である。椀Ⅰ類に相当し、８世紀末から10世紀中頃にかけてのものである。**419**は椀の底部片であり、底部内外面に目痕をのこし、高台部外面を斜めにカットしている。椀Ⅰ－２ウ類に相当し、８世紀末から10世紀中頃にかけてのものである。**420**は椀の底部片であり、輪高台をもち全面施釉されている。椀Ⅱ類に相当し、８世紀末から10世紀中頃にかけてのものである。椀Ⅱ類の中でも特殊な例である。

421は越州窯系青磁壺（蓋）の天井～底部片である。化粧掛けが行なわれ、釉に著しくムラがある。Ⅱ類

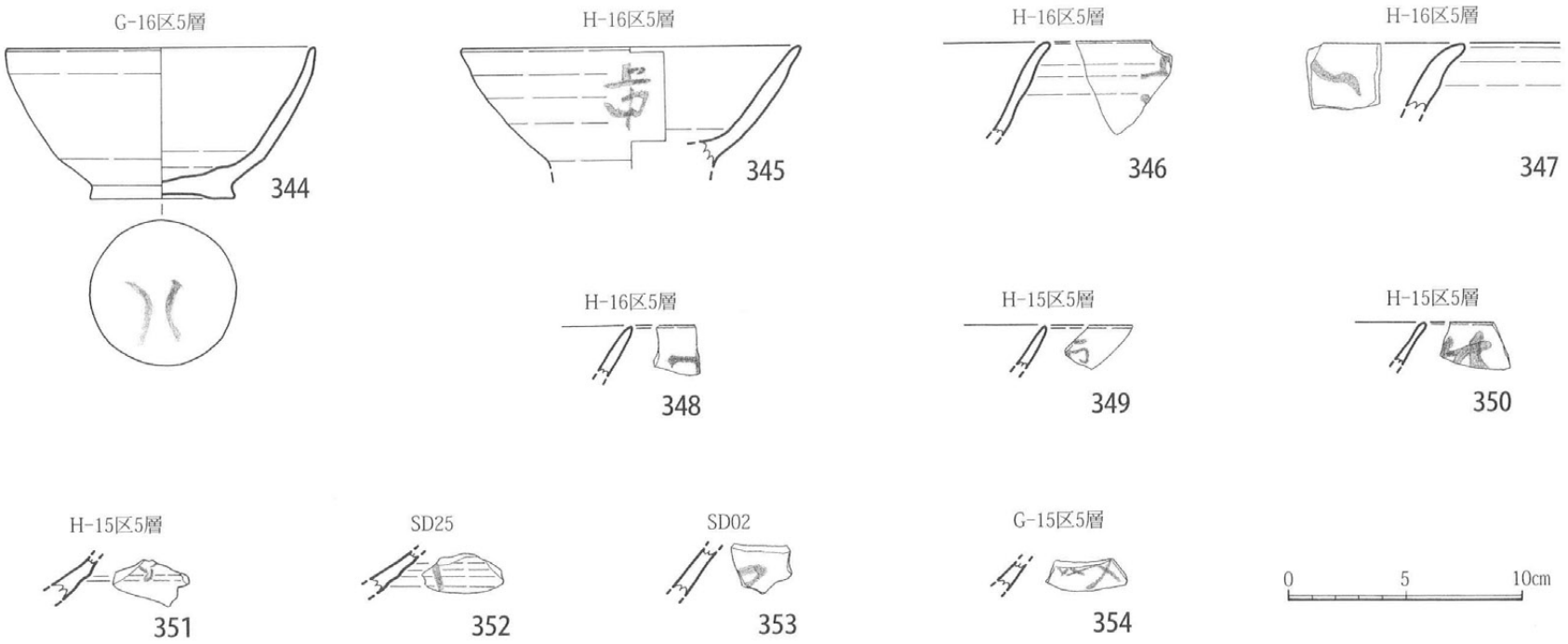
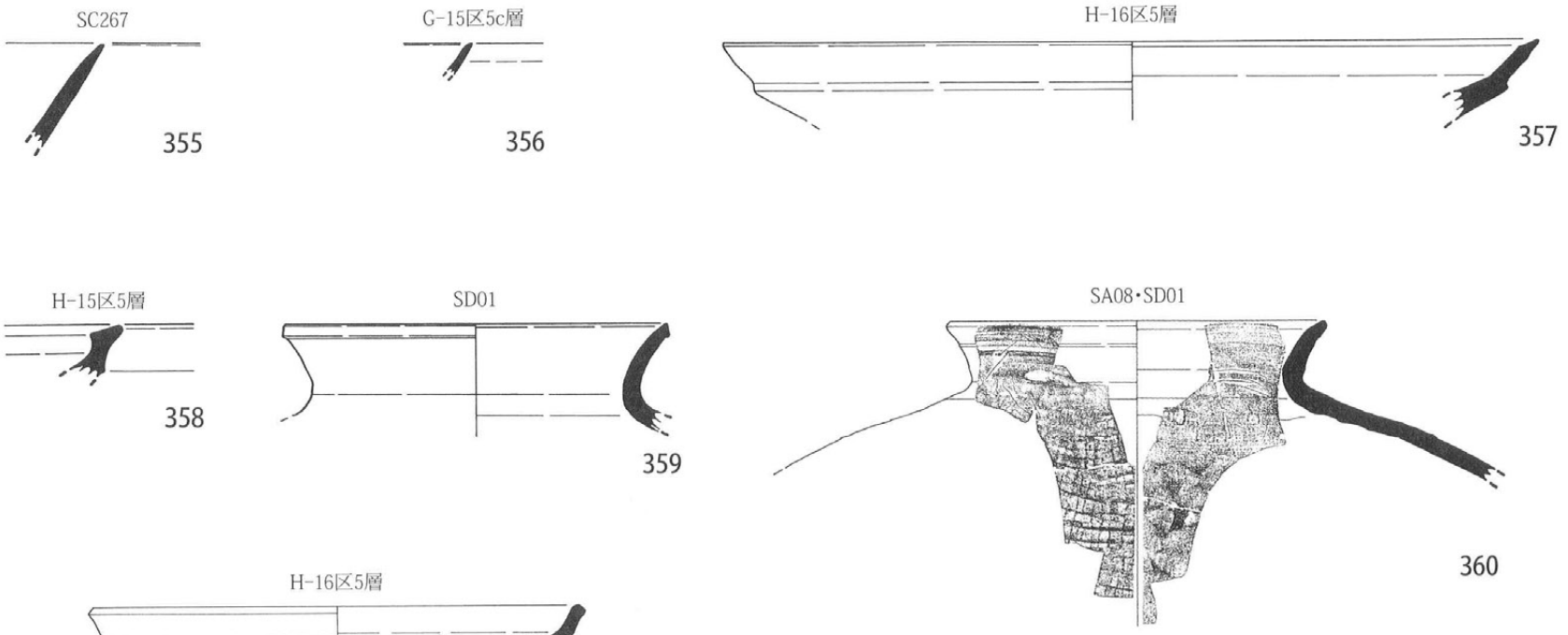


図26　墨書土器



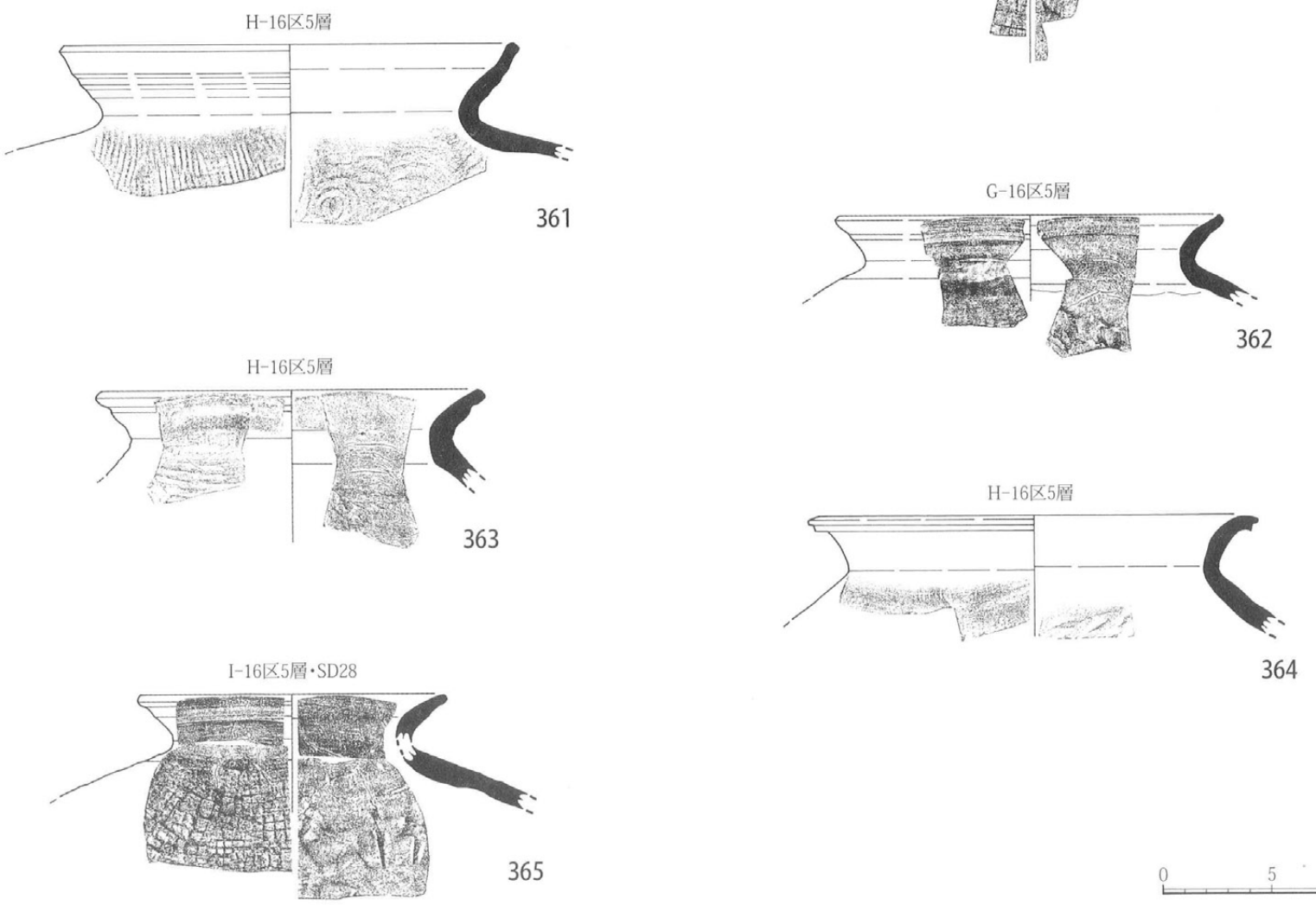


図27　平安時代の須恵器(1)

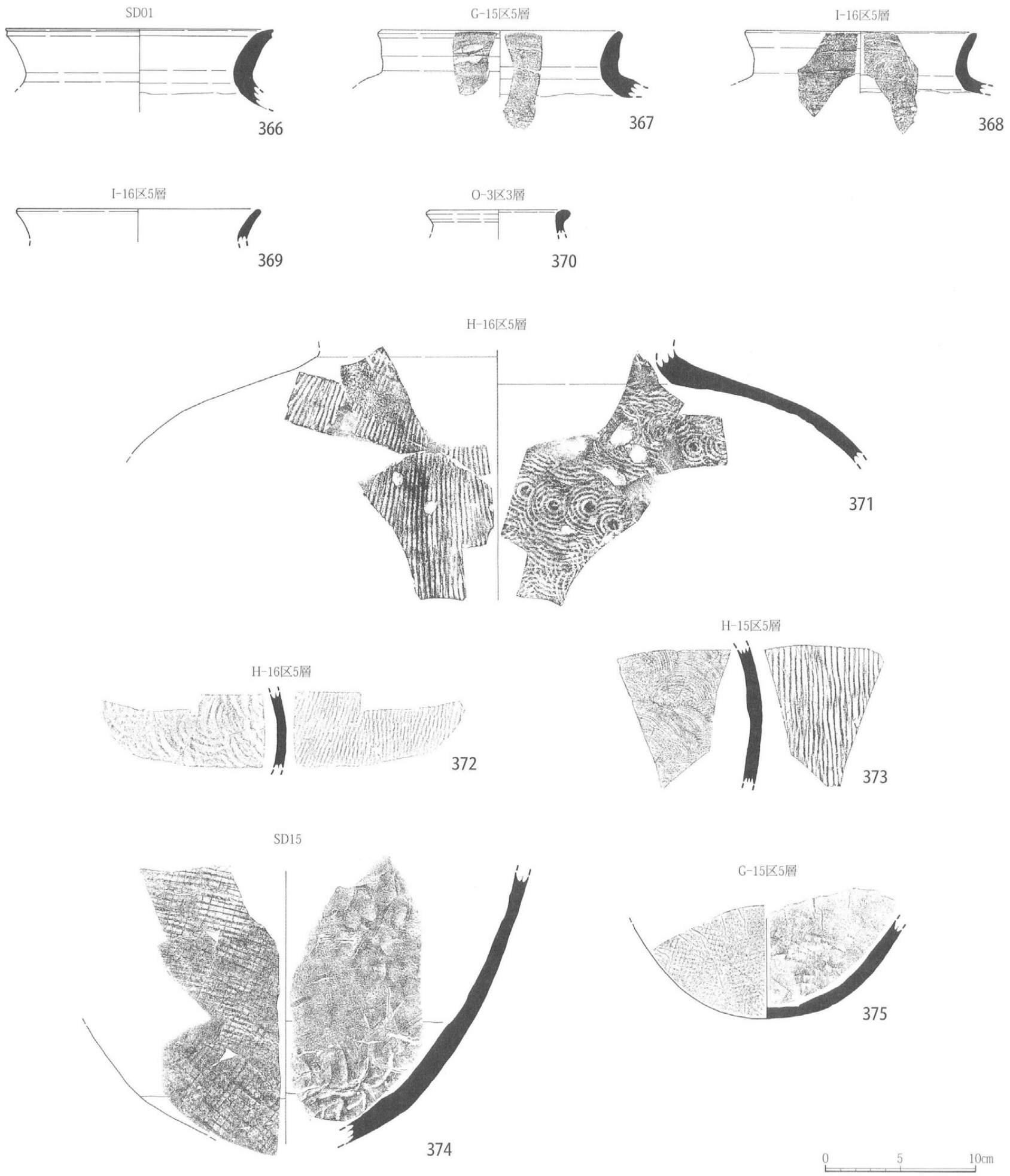


図28　平安時代の須恵器(2)

に相当し、８世紀末～10世紀中頃にかけてのものである。

422～**441**は白磁である。**422**は椀の口縁～体部片であり、玉縁口縁をもつ。体部外面に回転ヘラケズリ痕をのこし、外面下位は無釉である。椀Ⅳ類に相当し、11世紀後半から12世紀前半にかけてのものである。**423**は椀の口縁～体部片、**424**は椀の口縁部片であり、**423**・**424**共に玉縁口縁をもつ。椀Ⅳ類に相当し、11世紀後半から12世紀前半にかけてのものである。**425**は椀の口縁部片であり、玉縁口縁をもつ。椀Ⅰ－１類に相当し、８世紀末から９世紀前半にかけてのものである。**426**～**431**は椀の口縁部片であり、玉縁口縁をもつ。椀Ⅳ類に相当し、11世紀後半から12世紀前半にかけてのものである。**432**は椀の口縁部片であり、内面に環状の沈線がみられ、外面は口縁端部近くまでヘラケズリされる。椀Ⅴ－１類に相当し、11世紀後半から12世

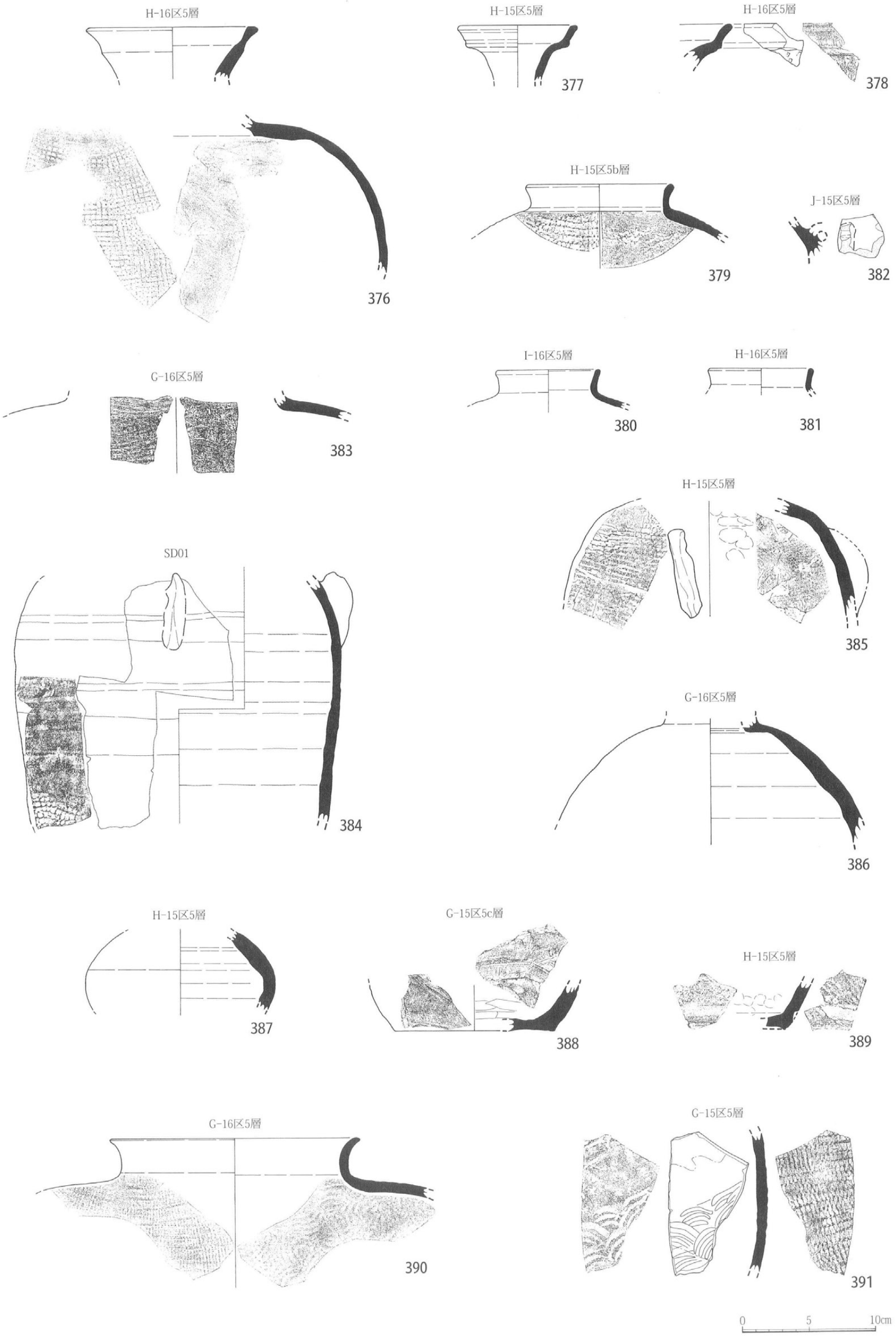


図29　平安時代の須恵器(3)

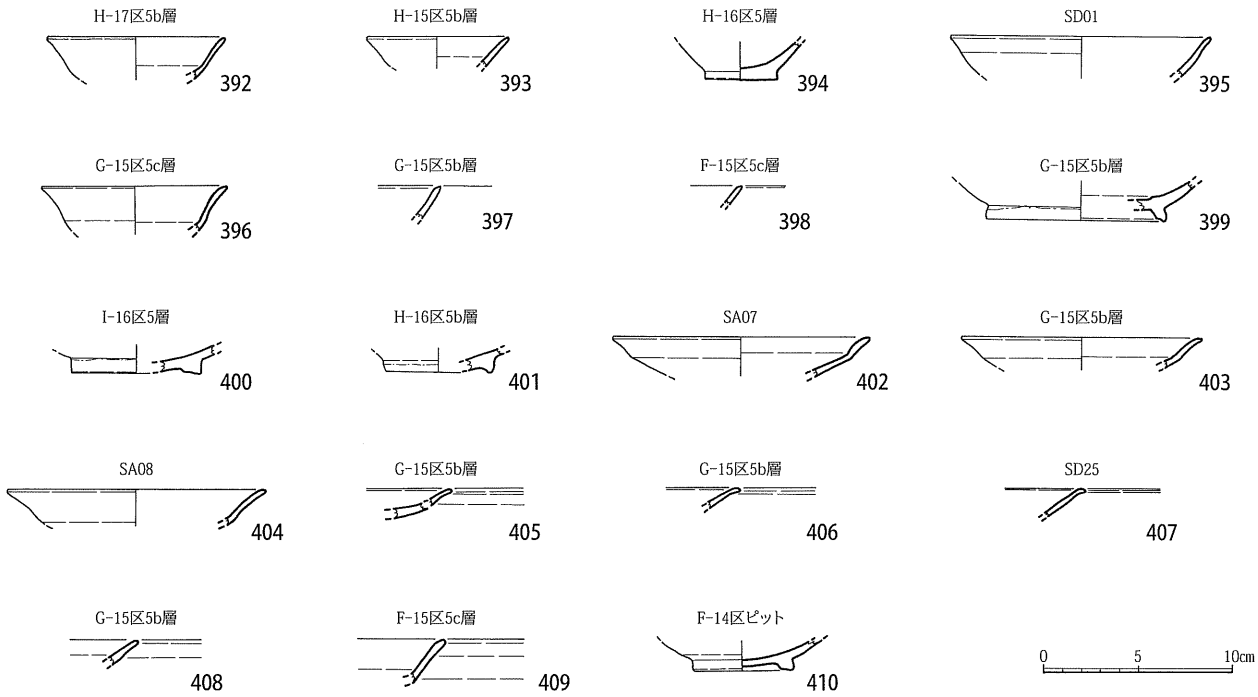


図30　緑釉陶器

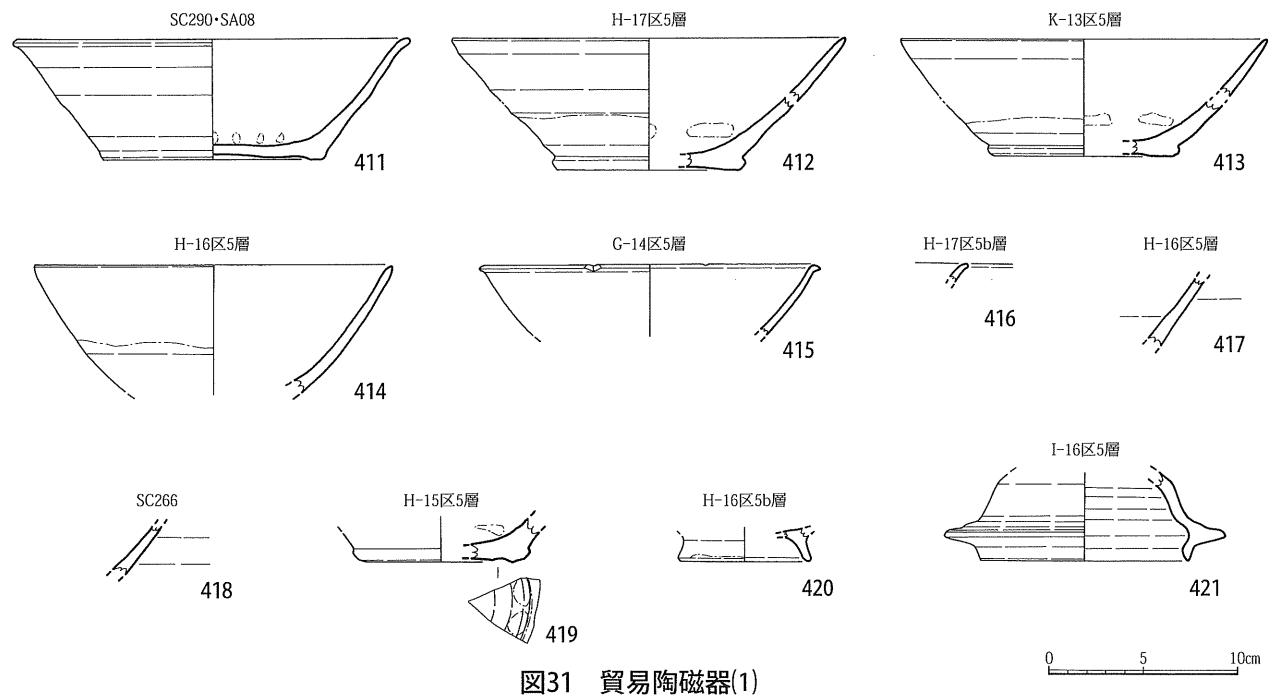


図31　貿易陶磁器(1)

紀前半にかけてのものである。**433**は椀の口縁部片であり、玉縁口縁をもつ。11世紀後半から12世紀前半にかけてのものである。**434**は椀の体部片である。椀Ⅴ類に相当し、11世紀後半から12世紀にかけての所産と思われる。**435**は椀の体部片である。椀Ⅳ類に相当し、11世紀後半から12世紀前半にかけてのものである。**436**は椀の体～底部片であり、内面に沈線が認められ、外面下位から底面にかけて無釉である。椀Ⅳ－１a類に相当し、11世紀後半から12世紀前半にかけてのものである。**437**は椀の底部片であり、内面に環状の沈線が認められる。椀Ⅳ－１a類に相当し、11世紀後半から12世紀前半にかけてのものである。**438**は椀の底部片であり、内面に沈線がみられ、外面は無釉である。椀Ⅳ－１a類に相当し、11世紀後半から12世紀前半にかけてのものである。**439**は椀の底部片であり、内面に環状の沈線が認められ、高台部は無釉である。椀Ⅴ類に

相当し、11世紀後半から12世紀にかけてのものである。

440は水注の肩～底部片であり、高台内面に「大示花押」の墨書が施されている。12世紀代のものである。

441は小壺の胴部片であり、広東省系ないし福建省系の所産である。壺Ⅱ類か壺Ⅳ類に相当し、11世紀後半から12世紀前半にかけてのものである。

（7）その他の土器・土製品（図33）

442～**448**は固形塩生産（焼塩）および運搬を目的とした製塩土器である。いずれも焼塩壺の体部片であり、内面に布痕をとどめている。小破片であり、詳細は不明である。

449～**451**は土錘である。**449**は欠損品であり、断面不整楕円形の穿孔が為され、孔径は最大5.5㎜・最小4.0㎜である。**450**は欠損品であり、断面不整円形の穿孔が為され、孔径は最大5.0㎜・最小5.0㎜である。**451**はほぼ完形品であり、表裏面に断面Ｖ字形の溝が施されている。

452は土製の用途不明品であり、扁平な球状を呈し、２ヶ所に未穿孔が認められる。

453・**454**は用途不明の粘土塊である。竪穴状遺構の二次床下より出土しており、床材の可能性も考えられる。

（8）石器・石製品（図34）

455は磨・敲石の完形品であり、全面に磨痕をのこし、表面の中心部に敲打痕が認められる。

456は磨石の完形品であり、扁平な平面円形で表面に磨痕をのこす。**457**は磨石の完形品と思われ、扁平な球状を呈し全面が研磨されている。

458は端部が欠損した砥石であり、表裏面、左右側面、上方側面に研磨痕をのこす。**459**は端部が欠損した砥石であり、表面、左右側面に研磨痕をのこし、先端部にツブレ（使用痕？）が認められる。**460**は砥石の完形品であり、表裏面に研磨痕をのこす。

461は３面が欠損した台石であり、上面に磨痕および部分的な敲打痕が認められる。

462は２面が欠損した石皿と思われ、上面の一部に磨痕およびススの付着がみられる。

463は石製錘具の巡方である。史料にみられる「雑石腰帯」であり、全面が非常に良く研磨されており、光沢がある。裏面の４ヶ所に装着用の潜り穴がみられるが、いずれも未貫通であり、未製品の可能性もある。黒色を呈する頁岩製で重量27.0ｇである。

464は用途不明の石製品であり、球状に研磨整形している。

（9）軽石製品（図35・36）

465は断面台形に加工整形され、一部が欠損している。性格は不明である。

466は四角柱状に加工整形されている。柱の１側面に被熱の痕跡をのこしていることから、竈の支柱である可能性も考えられる。

467～**471**は用途不明品である。**467**は表裏面の一部にススの付着がみられ、穿孔の痕跡も認められる。**468**は２面が平坦に加工整形され、内１面にススの付着がみられる。**469**は１面に穿孔加工痕跡をのこす。**470**は２面が加工整形され、表面に部分的なススの付着がみられる。**471**は３面が平坦に加工整形されている。１ヶ所に加工痕であるノミ痕跡をのこし、帯状にススが付着している。

（10）鉄製品（図37）

472は毛抜きと思われ、一部が欠損している。全体に錆ぶくれが認められる。**473**は一部が欠損した用途不明品であり、全体に錆ぶくれが認められる。

紙面スペースの都合上、遺物所見を簡略的に記述した。形態・法量など詳細は遺物実測図および遺物観察表を参考にしてもらいたい。

（文責：下田代清海）

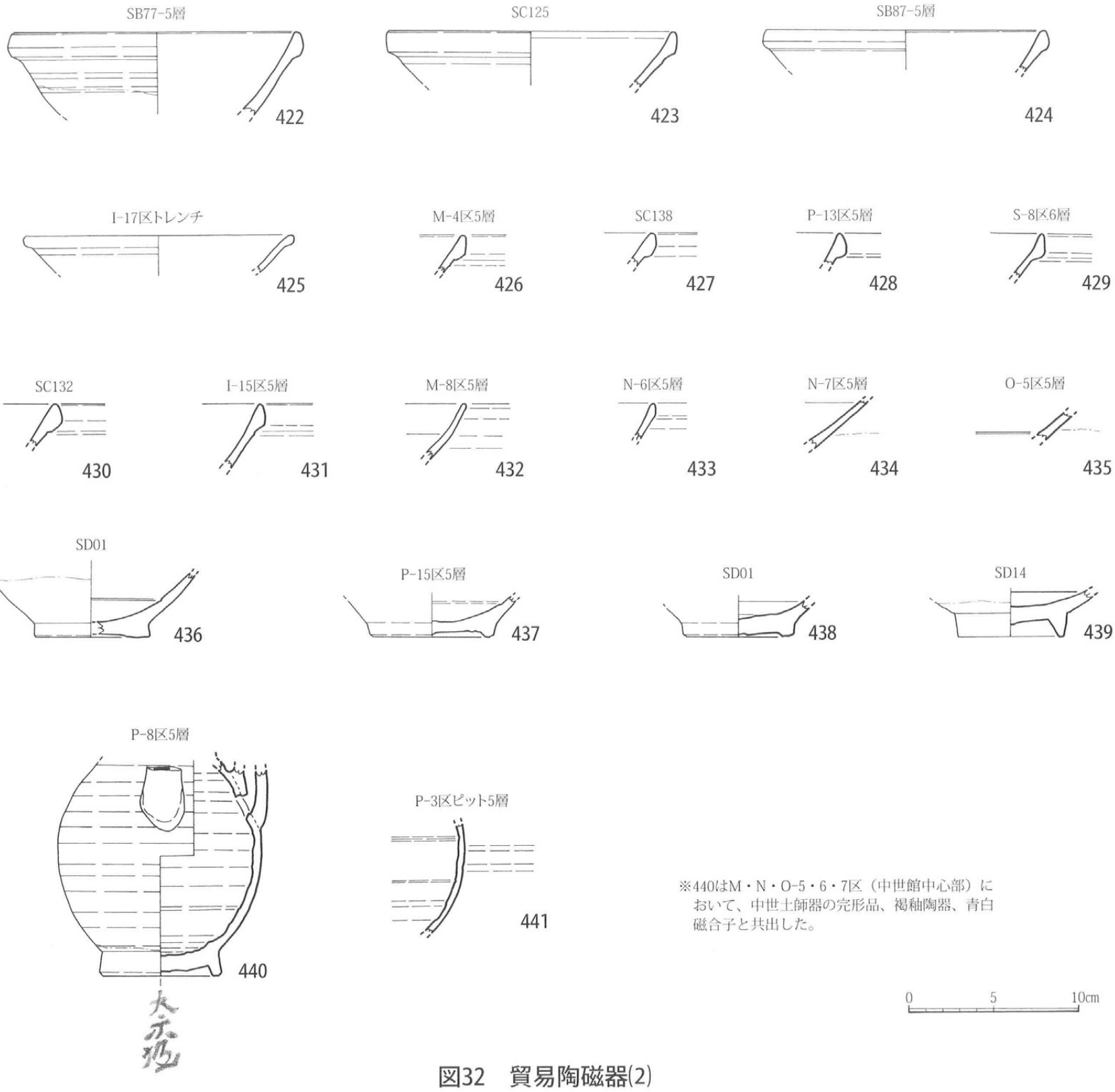


図32　貿易陶磁器(2)

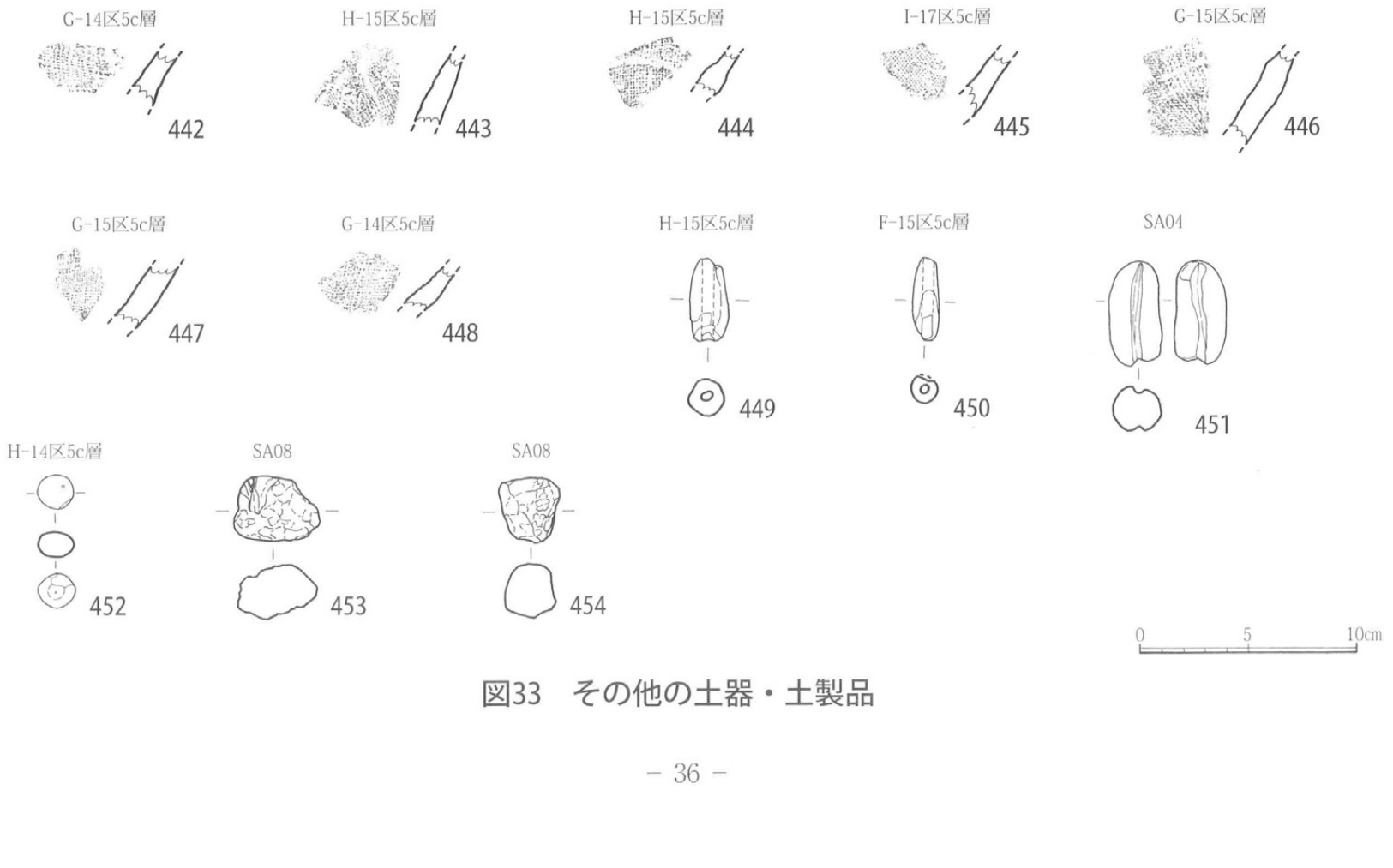


図33　その他の土器・土製品

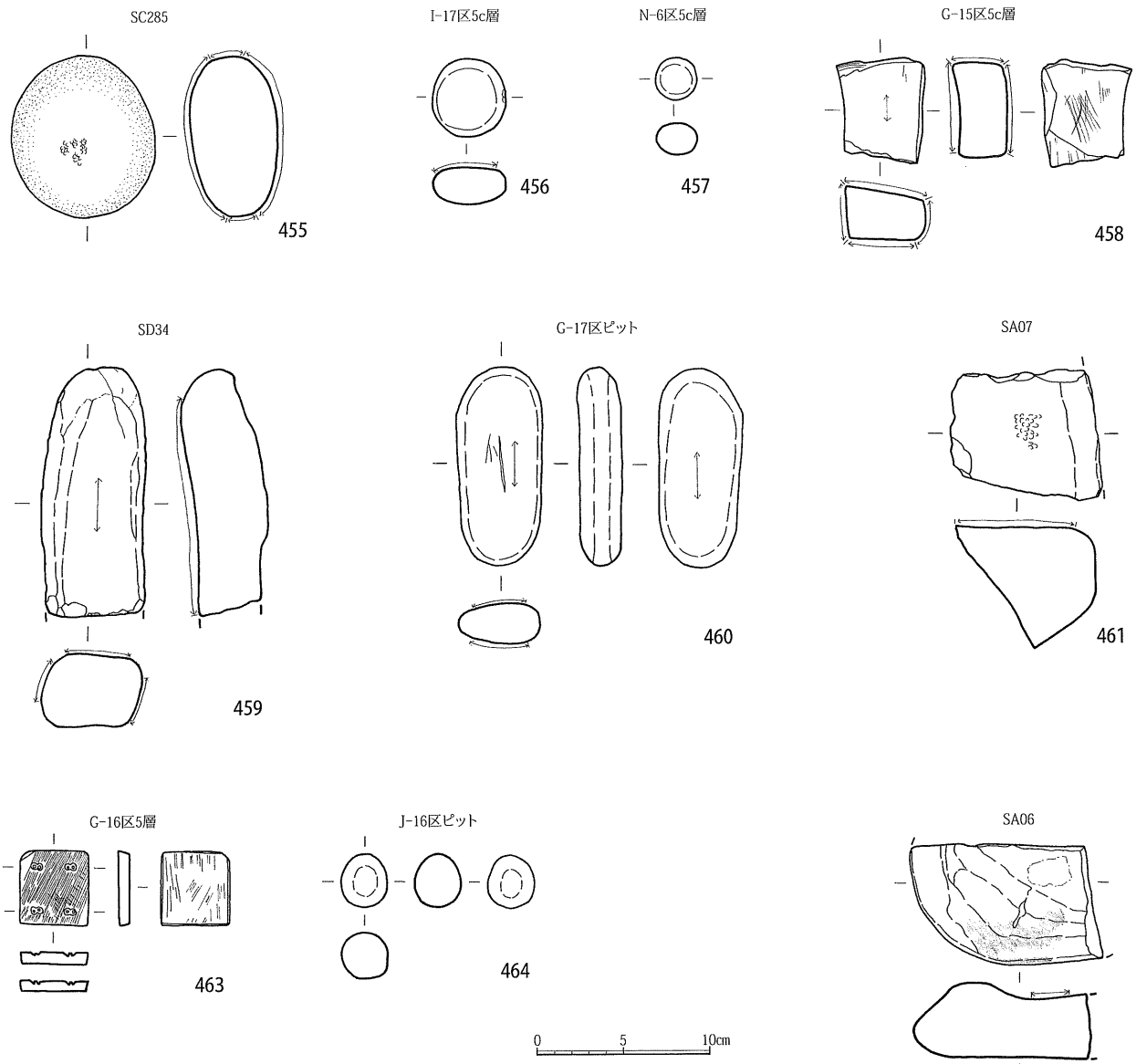


図34　石器・石製品

図35　軽石製品(1)

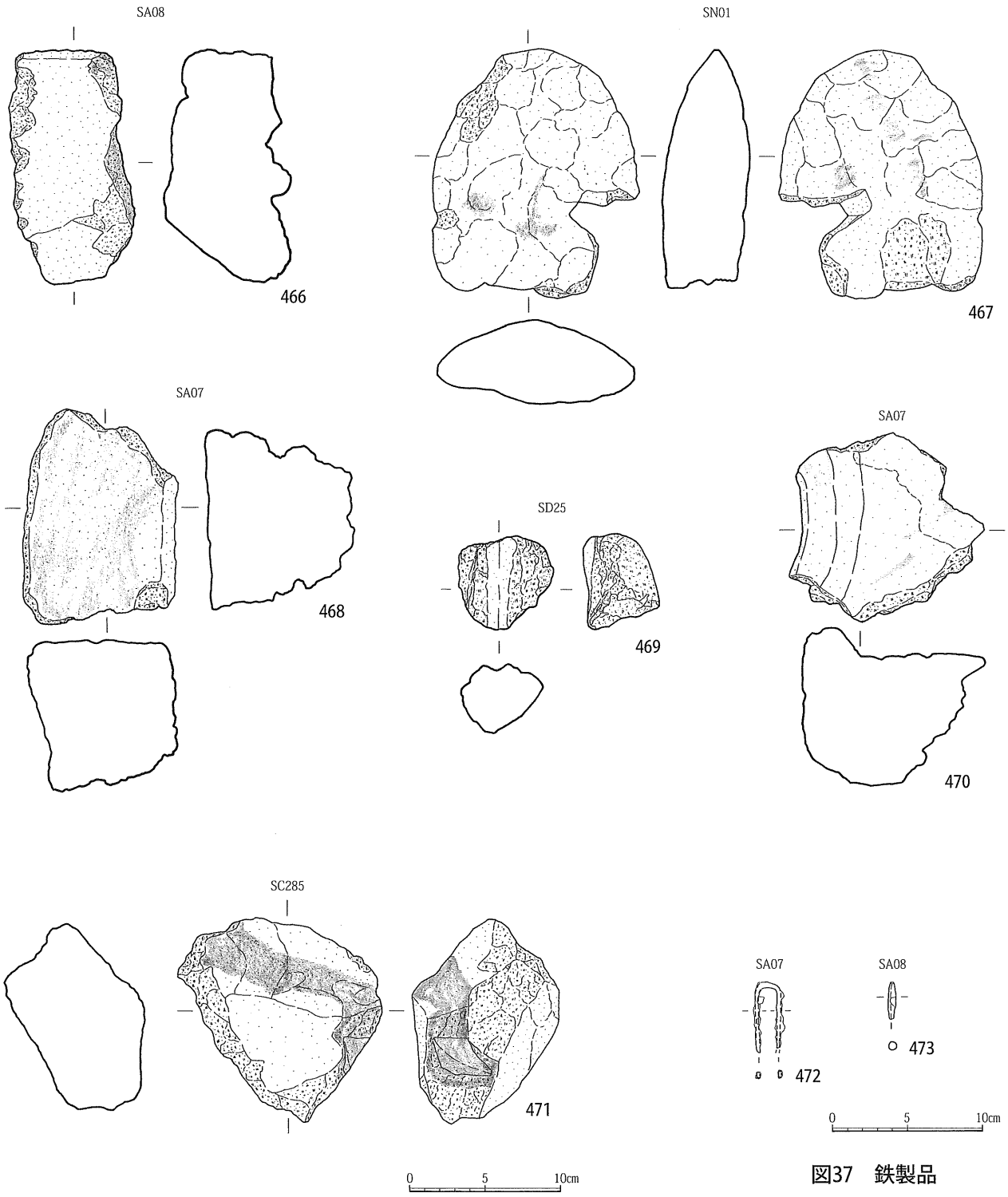


図36　軽石製品(2)

図37　鉄製品

• 貿易陶磁器の編年・分類は「太宰府土器型式と国産陶器・貿易陶磁器編年〔2000.２補訂〕」（太宰府市教育委員会2000『太宰府条坊跡ＸＶ－陶磁器分類編－』）に依った。

1．中世の遺構

（1）溝状遺構

中世の溝状遺構は**SD1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・20・21・23・24・25・26・28**の22条が確認された。そのうちの主なものだけを述べる。

SD1・SD14

SD1はG-3区からK-14区まで検出され、1次調査区から2次調査区までまたがっていた。調査区の北側を東西方向に走り、J-13区で南東に折れ、ゆるいL字状をなす。最大幅は5.5mで、検出面からの深さは最大で1.6mである。南東に折れてすぐ調査区外のため途切れるが、O-15区で検出された**SD14**とつながると思われる。**SD1**の総延長は117mであるが、**SD14**を足せば約180mである。**SD14**の南側、調査区外の畑の数地点で地下レーダー探査を行なったところ、溝状の落ち込みが確認され、南側の山際（シラス台地）まで溝が延びていることが推定された。これにより**SD1**と**SD14**が館跡の北から東を囲っていることが判明した。その規模は南北140m、東西140mとなり、囲まれていることで館跡は外部から独立した形態となっている。断面形はU字状あるいは逆台形状をなし、土層の堆積状態から少なくとも5回は掘り直した可能性がある。埋土は黒色系シルト土を基本として、砂や黄色軽石、アカホヤの堆積もみられる。埋土の中層や下層に硬化層が確認されることから、溝底を道路として使用した可能性があり、またそれは掘り直された後にもその性格を継続していたようである。特にI-8区より東側では硬化層がよく残っており、平面的に捉えることができた。I-7区では中層に人頭大以下の軽石や、土師器・炭化材・焼土が出土しており、これらを取り除いた下に硬化層が部分的に出土した。またJ-13区で、下層の硬化層は少しずつ登り始め、K-14区で溝が南に張り出した部分に階段状につながっている。これは溝内から館跡への入り口として使用されたと思われる。また全体的にみて出土遺物は少ない状況である。

SD2・SD15・SD16

H-3区からK-12区まで検出され、**SD1**と同じくL字状に走行し、J-12区で南東に折れるまで**SD1**とほぼ並行している。L字に折れてすぐ東側は調査区外のため途切れるが、**SD15・SD16**とつながるものと思われる。南東に折れてからは**SD1・SD14**と並行せず、西寄りに走行する。最大幅は約2.7mで、深さは最大で約1mである。総延長は約100mで、延長である**SD15・SD16**を足せば約184mになる。断面形は主にU字状であるが、掘り直しの痕跡がみられるため、溝の南側で部分的に段差がつく。土層を観察した結果、堆積状況が4段階に分かれており、少なくとも4回の掘り直しが行なわれたと思われる。埋土は基本的には黒色系シルト土であるが、最下層は褐濁した黄色軽石に黒色土が混ざった軽石層であり、全体的に崩れやすい層である。またJ-8区からJ-11区にかけては上層にアカホヤを含む黒色土が堆積している。**SD2**は自然堆積のアカホヤ（11層）まで掘り込んでいないことから、**SD1**の掘削時のアカホヤが**SD2**の埋没時に流れ込んだものと思われる。遺物は上層から下層にかけて土師器や青磁が出土しており、特に1次調査区と2次調査区の境界であるJ-7・J-8区の最上層からは、坏や小皿などの土師器が多く出土した。

SD4

調査区を南北に走行する溝である。幅は1～1.5m、深さは約30cm、断面形はU字状で、埋土は黒色シルト土である。S-10区で**SC159**を、T-10区で**SB22**をそれぞれ切っている。O-9区で北側は途切れており、その北に位置する**SD3**につながるかは不明である。

SD5・SD21

SD5はO-9区からP-2区までは東西に走行し、そこで南西に折れ、O-11区で今度は南東に折れるという溝である。1次調査では**SD5**として、2次調査では**SD21**として検出したが、調査区断面を観察した結果、この2本はつながることが判明した。

SD7

SD7は**SD6**を切っており、すぐ北側に位置する**SD13**とは連続している可能性がある。

SD10

SD10は最大幅2.5m、深さ約50cm、総延長６ｍで、断面形は逆台形である。埋土は基本的に黒色系シルト土で土師器片や灰白色シルト土を多く含んでいた。溝底にはピットが並んでいたが、溝に伴うかは不明である。

SD14

SD１で述べたように、**SD14**は**SD１**につながるものと思われる溝である。断面形は逆台形で最大幅は約3.4m、検出面からの深さは約90cmである。埋土は基本的に黒色系シルト土で、部分的に黄色軽石の層が堆積する。最下層には砂層が堆積している。溝の上層には５b層が堆積しており、この層から常滑焼の鉢が出土した。

SD15

SD２で述べたように、**SD15**は**SD２**につながるものと思われる溝である。断面形は逆台形で、最大幅は2.05m、検出面からの深さは約60cmである。南にいくほど浅くなり、Ｓ-14区でいったん途切れるが、そのすぐ南に位置する**SD16**とつながるものと思われる。埋土は基本的に黒色系シルト土である。**SB83**と**SB86**のピットに切られる。部分的ではあるが溝底は硬化している。Ｐ-13区では溝の下層が堆積した後に掘られたピットがあり、そのピットが埋まった上には溝の上層が堆積していた。同じようなピットが列をなして数基検出されたことから、溝に伴う入り口施設ではないかと思われる。またこのピット付近の溝底は硬化していた。

SD24

SD２を切り、**SD１**に切られる溝である。幅1.3m、深さ約45cmで、埋土には黄色軽石のブロックを含む。

SD25

Ｉ-14区からＩ-17区で検出され、東西方向に走行する。深さ30～40cmと浅い遺構である。

（２）道跡

中世の道跡は１条確認された。

SF２

Ｓ-８区で**SD11**の埋土を覆うように検出された。幅は約30cmで、調査区内で約４ｍ確認された。**SB50**を**SD11**が切り、**SD11**を**SF２**が切る。

（３）掘立柱建物跡

中世の掘立柱建物跡は97棟確認された。**SB94**・**SB112**以外はすべてＬ字に区画された**SD１**・**SD14**より内側（南西）で検出された。建物跡が多く検出された第１次調査の南ブロックの北側一帯（Ｍ・Ｎ・Ｏ-５・６・７区）では、遺構検出のための５層を掘り下げる過程で、全体に黄色軽石粒をまんべんなく含む黒色土が広がるだけでその下にあるはずの６層との判別が困難であり、遺構を把握するのが容易ではなかった。結果的にこの地点では中世の建物跡が何棟も切りあった状態であることが判明し、大型の建物跡も多く確認された。また同区では出土遺物も格段に多い状況で、完形を含む土師器の坏や小皿が多量に出土し、貿易陶磁器や国産陶磁器等もまとまって出土した。

掘立柱建物跡の身舎の規模は、小さいもので桁行２間・梁間１間で、最大規模は桁行８間・梁間２間（**SB77**）である。一番多いプランは桁行３間・梁間２間の建物跡で、プラン全容が確認できた97棟のうち、59棟がこのプランである。この59棟のうち、34棟は桁行３間・梁間２間で庇なし建物跡である。つまり全建物跡の約３分の１が３間×２間・庇なしの建物跡であり、これが加治屋Ｂ遺跡における掘立柱建物跡の普遍的なプランと思われる。また97棟のうち、ほとんどが側柱のみの建物跡であるが、総柱建物跡が７棟確認された。その他に、側柱建物跡の身舎内に柱を持つが総柱建物跡にならない建物跡が13棟（**SB29**や**SB31**など）確認されたことも注目する点である。

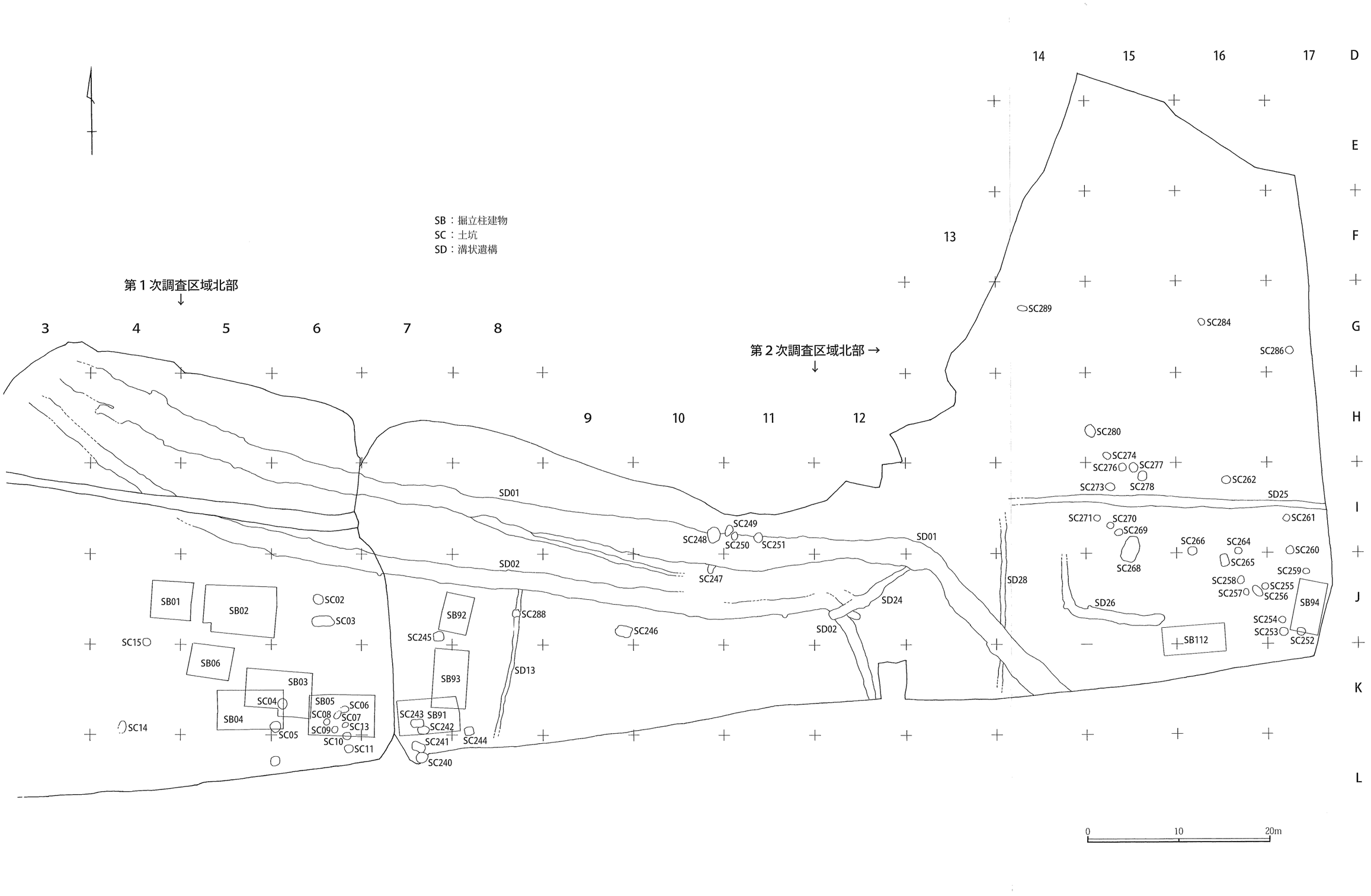

SB：掘立柱建物
SC：土坑
SD：溝状遺構
第１次調査区域北部
第２次調査区域北部 →
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
D
E
F
G
H
I
J
K
L
SB01
SB02
SB03
SB04
SB05
SB06
SB91
SB92
SB93
SB94
SB112
SC02
SC03
SC04
SC05
SC06
SC07
SC08
SC09
SC10
SC11
SC13
SC14
SC15
SC240
SC241
SC242
SC243
SC244
SC245
SC246
SC247
SC248
SC249
SC250
SC251
SC253
SC254
SC255
SC256
SC257
SC258
SC259
SC260
SC261
SC262
SC264
SC265
SC266
SC268
SC269
SC270
SC271
SC273
SC274
SC276
SC277
SC278
SC280
SC284
SC286
SC288
SC289
SD01
SD02
SD13
SD24
SD25
SD26
SD28
0
10
20m

図38　遺構分布図(1)

SA：竪穴状遺構
SB：掘立柱建物
SC：土坑・石組土坑
SD：溝状遺構
SF：道跡
SI：焼土遺構
SJ：石積遺構

第２次調査区域南部 ↓

第１次調査区域南部 →

0 10 20m

図39　遺構分布図(2)

中世の掘立柱建物跡の主軸方向は南北方向が39棟、東西方向が58棟で、東西方向の建物跡のほうが多い。また主軸方位から建物跡は以下の４つにグルーピングできる。

A群：N-11°～16°-Eと直交するN-74°～79°-Wの建物群

（**SB８・９・10・12・17・18・21・34・74・78・80・94**の計12棟）

B群：N-2°～9°-Eと直交するN-81°～88°-Wの建物群

（**SB１・２・３・６・７・11・12・13・15・16・19・20・23・24・25・27・28・29・31・32・33・38・39・40・48・49・50・52・59・61・68・75・82・90・92・93・102**の計37棟）

C群：N-0°～5°-Wと直交するN-85°～90°-Eの建物群

（**SB４・５・14・26・30・35・36・37・41・42・43・44・45・47・51・54・55・56・60・62・63・64・67・71・73・76・77・79・81・83・84・85・86・87・88・89・91・101・112**の計39棟）

D群：N-7°～10°-Wと直交するN-80°～83°-Eの建物群

（**SB46・53・57・58・65・66・69・70・72**の計９棟）

である。

このうち、集落をＬ字に区画する**SD１**より外側に位置するＣ群の**SB112**とＡ群の**SB94**を除くと、Ａ・Ｂ・Ｄ群の建物跡は**SD１・SD14**および**SD２・SD15**の範囲内におさまっているが、Ｃ群の建物は**SD15**よりも外側（東側）に位置している。このうち、Ｃ群の**SB83・86**の柱穴の土層断面を観察したところ、この掘立柱建物跡が**SD15**の埋土を切っていることから、Ｃ群の時期には**SD15**を埋めて屋敷を東へ拡張したものと思われる。またＣ群の建物跡が39棟と他のグループより多いことから、このＣ群の時期が加治屋Ｂ遺跡の中世の最盛期と思われる。

以下に主な建物跡のみ述べていく。

SB７

身舎の規模は桁行３間・梁間２間である。東側の梁間の束柱は検出面から浅かったため、確認できなかった。南側の桁行の柱穴からは軽石が、北側の桁行の柱穴からは角礫・砥石・完形の土師皿が出土した。土師皿は柱抜き取り後の埋納かと思われる。

SB10

身舎の規模は桁行２間・梁間２間の総柱建物で、東側に一面庇が付く。柱穴の中に軽石がはいっているものもあった。

SB15

身舎の規模は桁行３間・梁間２間で、四面に庇が付くが、南面の柱穴は整然に並んではない。５基の柱穴で灰白色・橙色の砂質シルト土と、植物繊維質のものが混入した壁土状の塊が出土したほか、軽石や礫が根石として使用されていた。壁土状の塊は柱穴の周囲から柱穴内に落ち込むような状態で出土している。また柱穴内からは鎬蓮弁の青磁碗（**1387**）が出土した。

SB18・19・20

この３棟は切りあっているが、身舎の規模（３間×２間・庇なし）も柱間もよく似ていることから、建て替えた建物と考えられる。

SB29

身舎の規模は桁行５間・梁間２間で、東側と西側に庇が付く。他の３間×２間の建物と比較すると、柱間が広く、柱穴の規模も大きい建物である。身舎の側柱内からは、総柱建物にはならないが柱穴を２基確認した。柱穴のひとつからは根石が出土している。また、南側の柱穴は楕円形に間延びしていることから、柱を抜き取った跡と考えられる。

SB31

身舎の規模は桁行５間・梁間２間で、四面に庇が付く。**SB29**と同様に、比較的柱間が広く、柱穴の規模も大きい。身舎の内側からは総柱建物にならない柱穴が確認されている。また南側の桁行に沿って２基の柱

穴が確認されており、これは入り口施設の可能性がある。このような形態はこの**SB31**のみである。南側の柱穴上部からは、組まれた軽石が出土しており、この軽石は火を受けたためか赤く変色していた。この柱穴の内部からは鉄製品が出土している。**SD４**や**SC50**と切りあっているが、新旧は不明である。

SB38

身舎の規模は桁行５間・梁間２間で、南・北側の二面に庇が付く。身舎の南端の柱穴がややずれて位置している。**SC158**や**SD４**と切りあっているが、新旧は不明である。

SB47

身舎の規模は桁行５間・梁間２間で、四面に庇が付く。北側の柱穴のそばには**SJ２**が位置し、溝状遺構**SD７・９・10**とは切り合っている。柱穴からは柱を固定する軽石や、常滑片や東播系須恵器片が出土している。柱穴は全体的に深くしっかりと掘られている。

SB52

身舎の規模は桁行３間・梁間２間で、四面に庇が付く。身舎の内側に、総柱建物とはならないが柱穴を１基もつ。規格や方位が**SB22**とよく似ているが、**SB52**のほうが面積はやや大きい。柱穴内に根固め用の礫が入っているものがあった。**SB59**とセット関係の可能性がある。

SB62

身舎の規模は桁行２間・梁間２間である。柱穴内に根石と思われる軽石・礫が入っているものがあった。**SB77**と並んで位置していることから、**SB77**に連結する副屋の可能性がある。**SB77**は総柱建物であるが、**SB62**は側柱建物である。

SB65

身舎の規模は桁行６間・梁間２間で、四面庇が付く。確認された掘立柱建物跡の中でもっとも大きい総面積（115.3㎡）を持つ建物である。北側の庇と南側の庇の幅を比較すると、北側に比べて南側のほうが張り出している。柱穴の規模・柱間は他の建物に比べて大きく、根固め用の礫や軽石、輸入陶磁器片や、埋納された完形の土師器などが多く出土した。

SB77

身舎の規模は桁行８間・梁間２間の庇は無い総柱建物である。総柱建物跡のなかでもっとも大きい面積（64.14㎡）をもつ。柱穴の規模は大きく、柱穴内に遺物や根固め用の軽石が含まれているものが多かった。**SB62**とセット関係の可能性がある。

SB79

身舎の規模は桁行６間・梁間２間で、四面に庇が付く。**SB65**と規模・方位がほぼ同じであるが、面積やピットの規模は**SB79**のほうが若干小さい。柱穴からは輸入陶磁器等は出土しなかったが、庇の柱穴の中からは炭化物が出土している。石組土坑の**SC125**を建物内に持つが、建物と土坑の軸が異なることから切りあいと考えられる。

SB80

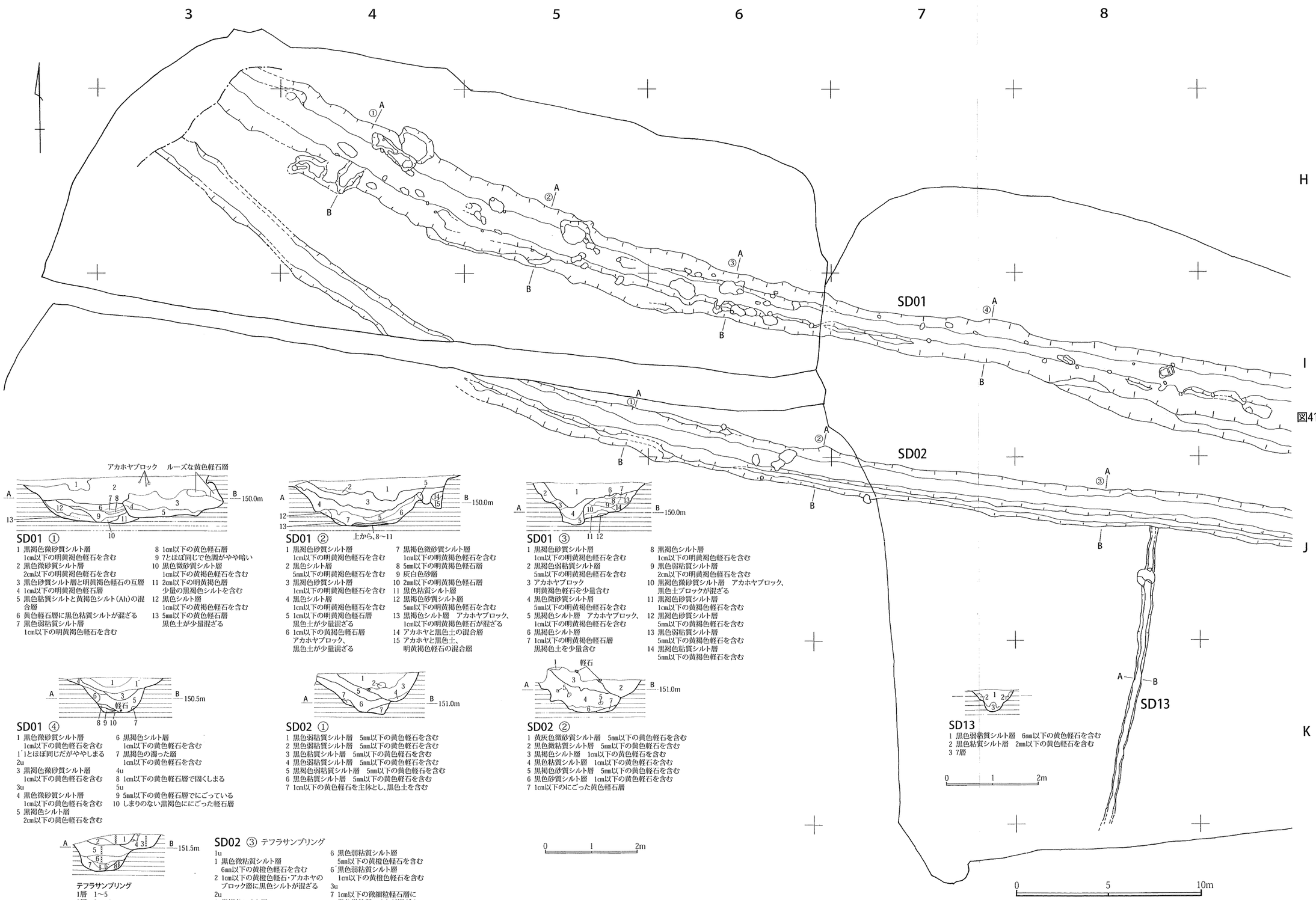
身舎の規模は桁行３間・梁間２間で、梁間の束柱がやや外側に開いており、棟持柱建物跡の形態である。身舎内に石組土坑の**SC60**をもつが、建物跡と土坑の軸は異なることから、切りあいと考えられる。

SB82

身舎の規模は桁行３間・梁間２間で、北側に一部庇が付く。桁行の柱間が３m以上あり、身舎の面積は同規模の建物跡の中では大きい。柱穴も深く掘られており、南側の柱穴の中には赤色化した軽石や礫が詰まっているものもあった。

SB83

身舎の規模は桁行３間・梁間２間で、南側の一部分に庇が付く。溝状遺構である**SD15**を柱穴が切っていることから、溝が埋まった後に掘立柱建物跡が東へ拡大したことが判明した。



SD01 ①

1 黒褐色微砂質シルト層
1cm以下の明黄褐色軽石を含む
2 黒色微砂質シルト層
2cm以下の明黄褐色軽石を含む
3 黒色砂質シルト層と明黄褐色軽石の互層
4 1cm以下の明黄褐色軽石層
5 黒色粘質シルトと黄褐色シルト(Ah)の混合層
6 黄色軽石層に黒色粘質シルトが混ざる
7 黒色弱粘質シルト層
1cm以下の明黄褐色軽石を含む
8 1cm以下の黄色軽石層
9 7とほぼ同じで色調がやや暗い
10 黒色微砂質シルト層
1cm以下の黄褐色軽石を含む
11 2cm以下の明黄褐色層
少量の黒褐色シルトを含む
12 黒色シルト層
1cm以下の黄褐色軽石を含む
13 5mm以下の黄色軽石層
黒色土が少量混ざる

SD01 ②

1 黒褐色砂質シルト層
1cm以下の明黄褐色軽石を含む
2 黒色シルト層
5mm以下の明黄褐色軽石を含む
3 黒褐色砂質シルト層
1cm以下の明黄褐色軽石を含む
4 黒色シルト層
1cm以下の明黄褐色軽石を含む
5 1cm以下の明黄褐色軽石層
黒色土が少量混ざる
6 1cm以下の黄褐色軽石層
アカホヤブロック、
黒色土が少量混ざる
7 黒褐色微砂質シルト層
1cm以下の明黄褐色軽石を含む
8 5mm以下の明黄褐色軽石層
9 灰白色砂層
10 2mm以下の明黄褐色軽石層
11 黒色粘質シルト層
12 黒褐色砂質シルト層
5mm以下の明黄褐色軽石を含む
13 黒褐色シルト層　アカホヤブロック、
1cm以下の明黄褐色軽石が混ざる
14 アカホヤと黒色土の混合層
15 アカホヤと黒色土、
明黄褐色軽石の混合層

SD01 ③

1 黒褐色砂質シルト層
1cm以下の明黄褐色軽石を含む
2 黒褐色弱粘質シルト層
5mm以下の明黄褐色軽石を含む
3 アカホヤブロック
明黄褐色軽石を少量含む
4 黒色微砂質シルト層
5mm以下の明黄褐色軽石を含む
5 黒褐色シルト層　アカホヤブロック、
1cm以下の明黄褐色軽石を含む
6 黒褐色シルト層
7 1cm以下の明黄褐色軽石層
黒褐色土を少量含む
8 黒褐色シルト層
1cm以下の明黄褐色軽石を含む
9 黒色弱粘質シルト層
2cm以下の明黄褐色軽石を含む
10 黒褐色微砂質シルト層　アカホヤブロック、
黒色土ブロックが混ざる
11 黒褐色砂質シルト層
1cm以下の黄褐色軽石を含む
12 黒褐色砂質シルト層
5mm以下の黄褐色軽石を含む
13 黒色弱粘質シルト層
5mm以下の黄褐色軽石を含む
14 黒褐色粘質シルト層
5mm以下の黄褐色軽石を含む

SD01 ④

1 黒色微砂質シルト層
1cm以下の黄色軽石を含む
1´ 1とほぼ同じだがややしまる
2u
3 黒褐色微砂質シルト層
1cm以下の黄色軽石を含む
3u
4 黒色微砂質シルト層
1cm以下の黄色軽石を含む
5 黒褐色シルト層
2cm以下の黄色軽石を含む
6 黒褐色シルト層
1cm以下の黄色軽石を含む
7 黒褐色の濁った層
1cm以下の黄色軽石を含む
4u
8 1cm以下の黄色軽石層で固くしまる
5u
9 5mm以下の黄色軽石層でにごっている
10 しまりのない黒褐色ににごった軽石層

SD02 ①

1 黒色弱粘質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
3 黒色粘質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
4 黒色弱粘質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
5 黒褐色弱粘質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
6 黒色粘質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
7 1cm以下の黄色軽石を主体とし、黒色土を含む

SD02 ②

1 黄灰色微砂質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
3 黒褐色シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
4 黒色粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
5 黒褐色砂質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
6 黒色砂質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
7 1cm以下のにごった黄色軽石層

テフラサンプリング
1層　1～5
3層　9～14
5層　15～18
6層　19～21
6´層　22～23
7層　24
8層　25～28

SD02 ③ テフラサンプリング

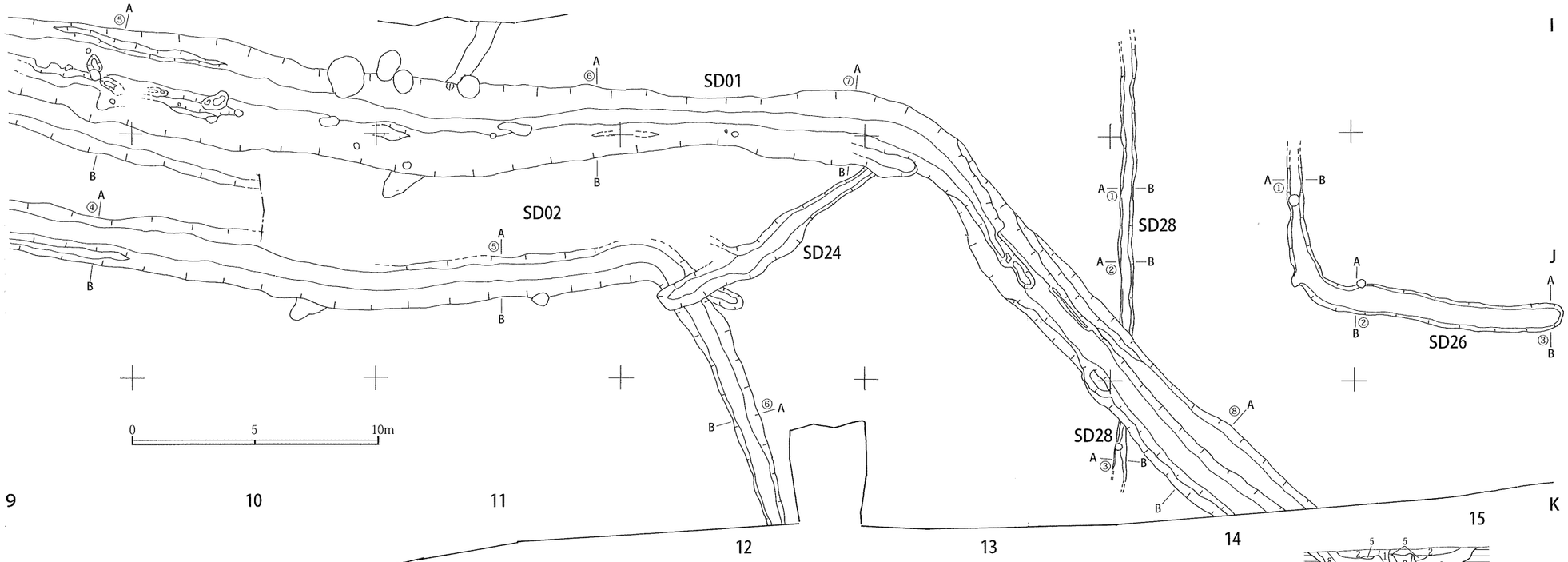
1u
1 黒色微粘質シルト層
6mm以下の黄橙色軽石を含む
2 1cm以下の黄橙色軽石・アカホヤのブロック層に黒色シルトが混ざる
2u
3 黒褐色シルト層
8mm以下の黄橙色軽石を含む
4 褐灰色砂質シルトのブロック
3u
5 黒色微粘質シルト層
5mm以下の黄橙色軽石を含む
6 黒色弱粘質シルト層
5mm以下の黄橙色軽石を含む
6´ 黒色弱粘質シルト層
1cm以下の黄橙色軽石を含む
3u
7 1cm以下の微細粒軽石層に
黒色微粘質シルトが混ざる
4u
8 全体が褐濁した1cm以下の黄色軽石層

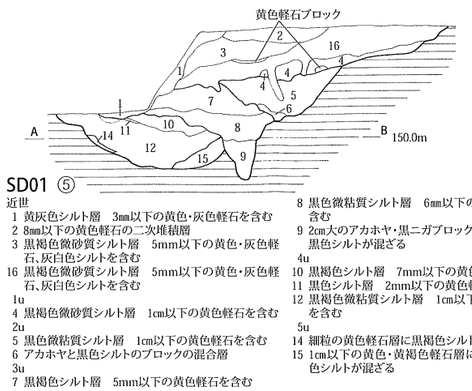
SD13

1 黒色弱粘質シルト層　6mm以下の黄色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　2mm以下の黄色軽石を含む
3 7層

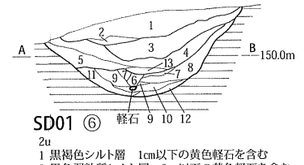
図40　溝状遺構（SD）実測図(1)

図40

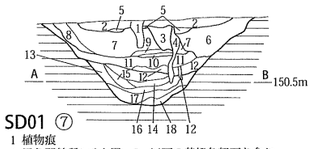




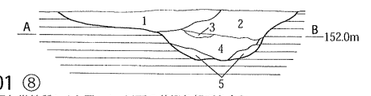
SD01 ⑤
近世
1 黄灰色シルト層　3㎜以下の黄色・灰色軽石を含む
2 8㎜以下の黄色軽石の二次堆積層
3 黒褐色微砂質シルト層　5㎜以下の黄色・灰色軽石、灰白色シルトを含む
16 黒褐色微砂質シルト層　5㎜以下の黄色・灰色軽石、灰白色シルトを含む
1u
4 黒褐色微砂質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
2u
5 黒色微粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
6 アカホヤと黒色シルトのブロックの混合層
3u
7 黒褐色シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
8 黒色微粘質シルト層　6㎜以下の黄色軽石を含む
9 2cm大のアカホヤ・黒ニガブロックに黄色軽石・黒色シルトが混ざる
4u
10 黒褐色シルト層　7mm以下の黄色軽石を含む
11 黒色シルト層　2mm以下の黄色軽石を含む
12 黒褐色微粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
5u
14 細粒の黄色軽石層に黒褐色シルトが混ざる
15 1cm以下の黄色・黄褐色軽石層に若干の黒褐色シルトが混ざる



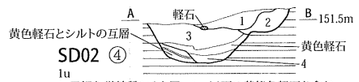
SD01 ⑥
2u
1 黒褐色シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層　6㎜以下の黄色軽石を含む
3u
3 黒色弱粘質シルト層　7㎜以下の黄色軽石を含む
4u
4 黒褐色弱粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
5 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
5u
6 黒色弱粘質シルト層　7㎜以下の黄褐色軽石を含む
7 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄褐色軽石を含む
8 7㎜以下の黄褐色・黄色軽石層に若干の黒色シルトが混ざる
9 黒褐色砂質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
10 1.5cm以下の黄橙色軽石層に若干の黒褐色シルトが混ざる
11 4㎜以下の黄色軽石層に若干の黒褐色シルトが混ざる
12 3㎜以下の黄橙色軽石層に若干の黒褐色シルトが混ざる
4u
13 黒褐色微粘質シルト層　6㎜以下の黄色軽石を含む



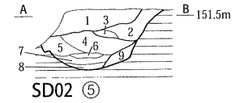
SD01 ⑦
1 植物痕
2 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄橙色軽石を含む
3 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄橙色軽石を含む
4 植物痕
5 黒褐色微粘質シルト層　5㎜以下の黄橙色軽石を含む
2u
6 黒褐色微粘質シルト層　8㎜以下の黄橙色軽石を含む
3u
7 黒褐色微粘質シルト層　1cm以下の黄橙色・黄色軽石を含む
8 6㎜以下の淡黄色・浅黄色軽石層に黒褐色シルトが若干混ざる
9 黒褐色微粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
10 黒色弱粘質シルト層　6㎜以下の黄橙色軽石を含む
11 黒褐色微粘質シルト層　4㎜以下の黄色軽石を含む
12 黒色微粘質シルト層　1.2cm以下の黄色軽石を含む
5u
13 黄褐色軽石層に若干の黒褐色シルトが混ざる
14 黒褐色微粘質シルト層　4㎜以下の黄褐色軽石を含む
15 1cm以下の黄褐色軽石層に黒褐色シルトが混ざる
16 黒色砂質シルト層　3㎜以下の黄褐色軽石を多く含む
17 1cm以下の黄褐色軽石層
18 7㎜～1.5cm大の黄褐色軽石層



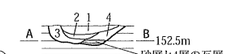
SD01 ⑧
1 黒褐色微粘質シルト層　4㎜以下の黄橙色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄橙色軽石を含む
3 黒色微粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
4 黒色弱粘質シルト層　3㎜以下の黄橙色軽石を含む
5 黒褐色微粘質シルト層　3㎜以下の黄橙色軽石を多量に含む



SD02 ④
1u
1 黒褐色微粘質シルト層　5㎜以下の黄橙色軽石を含む
2u
2 黒褐色シルト層　6㎜以下の黄橙色軽石を含む
3u
3 黒褐色微粘質シルト層　5㎜以下の黄橙色軽石を含む
4 1cm以下の黄橙色・黄褐色軽石層に黒色シルトが混ざる

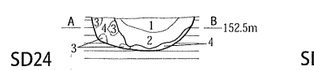


SD02 ⑤
1u
1 黒褐色微粘質シルト層　5㎜以下の黄橙色軽石を含む
2u
2 黒褐色微粘質シルト層　4㎜以下の黄橙色軽石を含む
3 黒褐色微粘質シルト層　4㎜以下の黄橙色軽石を含む
2よりしまる
3u
4 黒褐色弱粘質シルト層　6㎜以下の黄橙色軽石を含む
5 黒褐色微粘質シルト層　5㎜以下の黄橙色軽石を含む
6 2㎜以下の黄橙色軽石層に黒色シルトが混ざる
7 5㎜以下の黄橙色軽石層に黒色粘質シルトが混ざる
8 黒褐色粘質シルト層　1cm以下の黄褐色軽石を若干含む
4u
9 2㎜以下の黄褐色軽石層に黒色シルトが混ざる

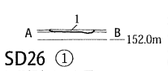


SD02 ⑥
1 黒褐色微粘質シルト層　4㎜以下の黄橙色軽石を含む
2 黒褐色微粘質シルト層　1cm以下の黄橙色軽石を含む
3 黒褐色微粘質シルト層　6㎜以下の黄橙色軽石を含む
4u
4 1cm以下の黄橙色・黄褐色軽石層に黄灰色シルトが混ざる

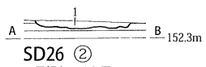
SD23
1 灰黄色火山灰質シルト層
2 黒褐色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



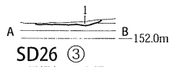
SD24
1 黒褐色シルト層　4㎜以下の黄橙色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　6㎜以下の黄橙色軽石を含む
3 黄色軽石のブロック
4 黒褐色微粘質シルト層　4㎜以下の黄橙色軽石を含む



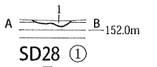
SD26 ①
1 黒褐色シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



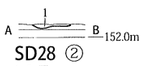
SD26 ②
1 黒褐色シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



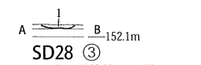
SD26 ③
1 黒褐色シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



SD28 ①
1 5a層



SD28 ②
1 5a層



SD28 ③
1 黒褐色微粘質シルト層
3㎜以下の黄色軽石を含む

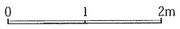


図41　溝状遺構（SD）実測図(2)

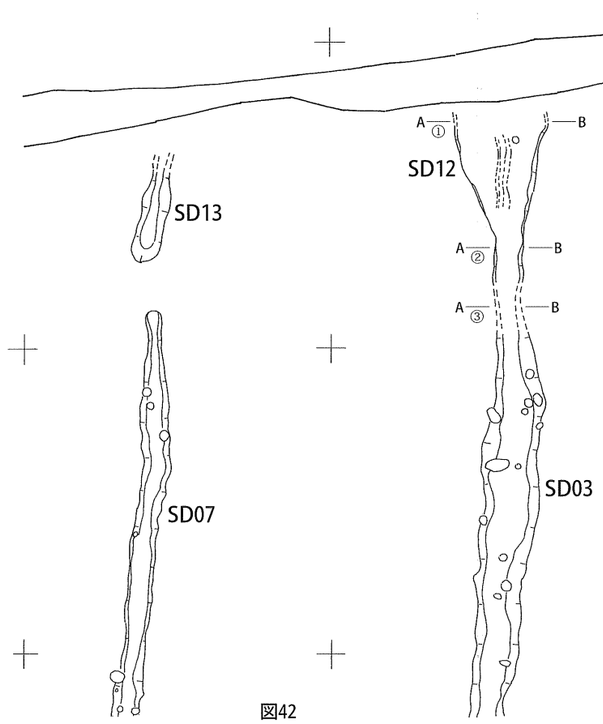
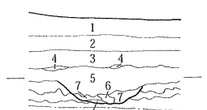


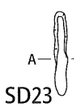
図42

SD03とSD12 ①
1 黒色弱粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を含む　SD03
2 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒色弱粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を含む
4 黒褐色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む＝6層

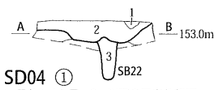
SD03とSD12の切りあい ②
1 黒色弱粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を含む　SD03
2 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む　SD03
3 黒色弱粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を含む　SD12



SD03 ③
1 黄灰色砂質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
2 淡い黄灰色砂質シルト層　5㎜以下の灰白色軽石を含む
3 黄灰色砂質シルト層　5㎜以下の灰白色軽石を含む
4 黒色粘質シルト層　5㎜以下の灰白色軽石を含む
5 黒色粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
6 5とほぼ同じで黒味が強い
7 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
8 5とほぼ同じでしまる

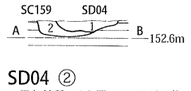


T S R Q P O N



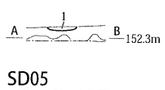
SD04 ①

1 黒色シルト層　3㎜以下の灰白色軽石（桜島文明軽石）を含む
2 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



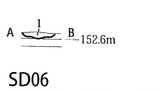
SD04 ②

1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む



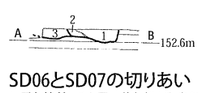
SD05

1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



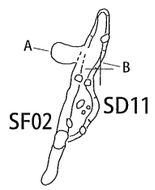
SD06

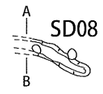
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

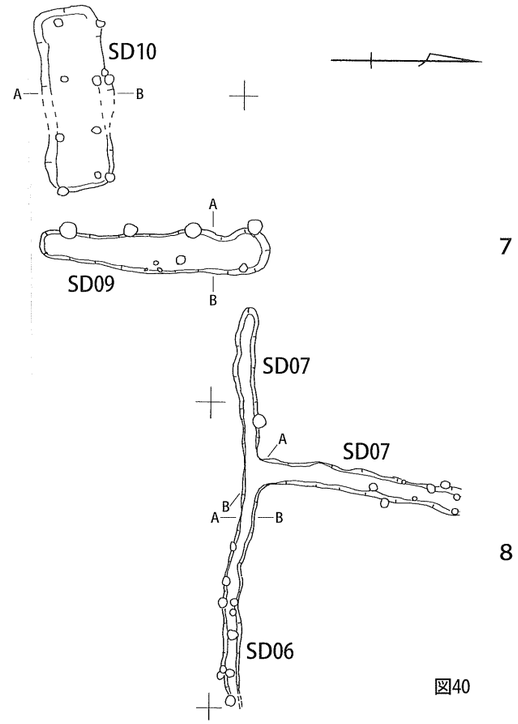


SD06とSD07の切りあい

1 黒色粘質シルト層　黄色軽石を含む
2 黄色軽石ブロック
3 黒色弱粘質シルト層　黄色軽石を含む

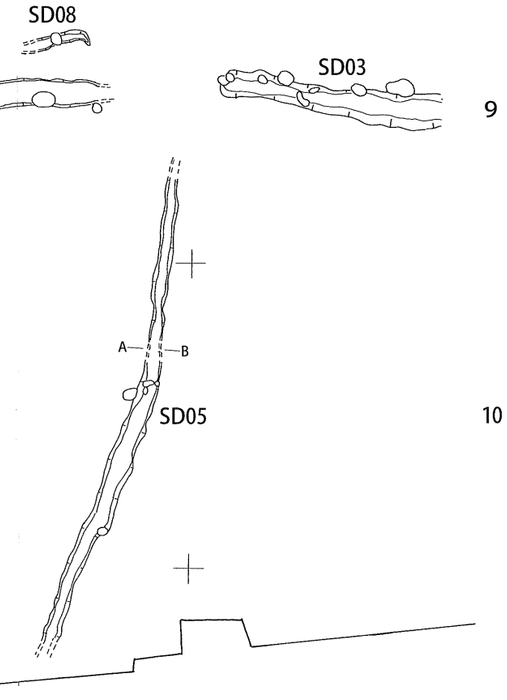






7

8

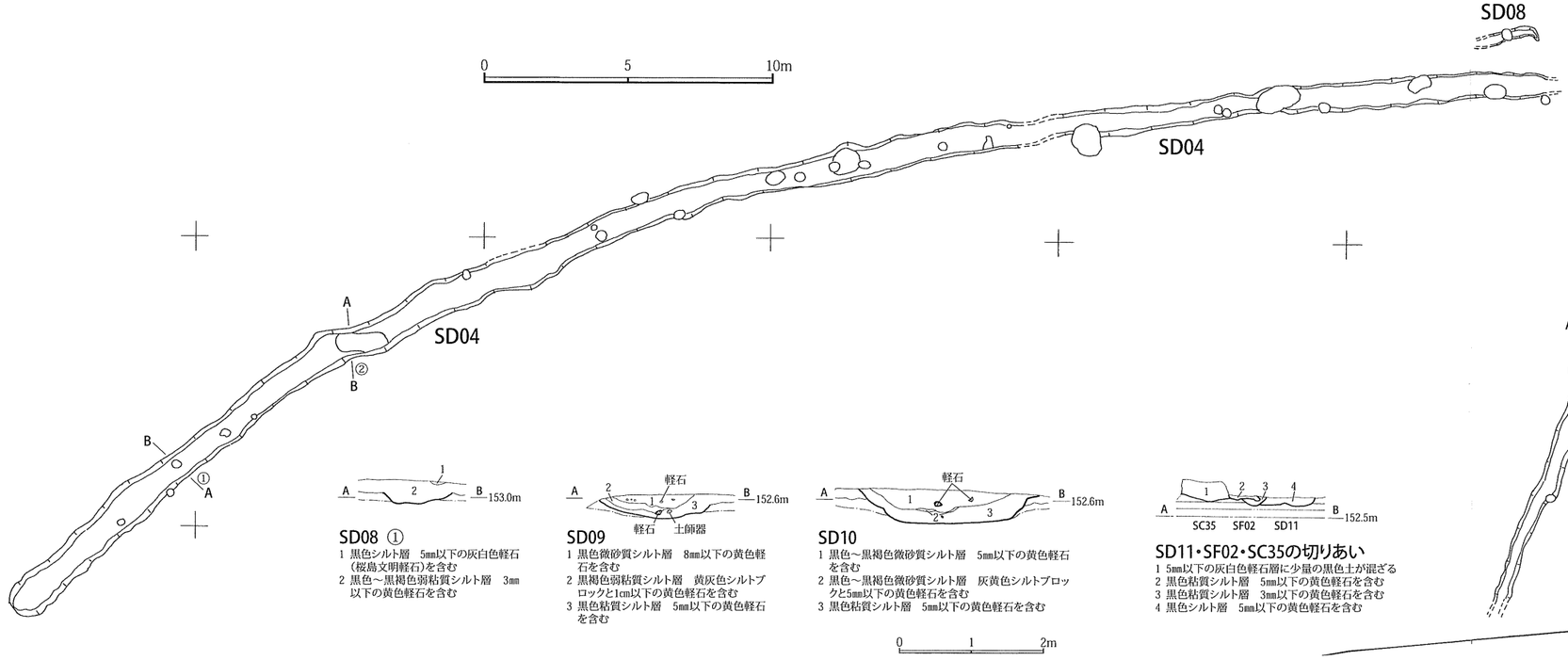


9

10

11

図40



SD08 ①

1 黒色シルト層　5㎜以下の灰白色軽石（桜島文明軽石）を含む
2 黒色～黒褐色弱粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む

SD09

1 黒色微砂質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色弱粘質シルト層　黄灰色シルトブロックと1cm以下の黄色軽石を含む
3 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

SD10

1 黒色～黒褐色微砂質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色～黒褐色微砂質シルト層　灰黄色シルトブロックと5㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

SD11・SF02・SC35の切りあい

1 5㎜以下の灰白色軽石層に少量の黒色土が混ざる
2 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
4 黒色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

図42　溝状遺構（SD）・道路（SF）実測図(3)

U T S R Q P O

11

12

13

14

15

SD05

SD05

SD20

SD21

SD16

SB86

SD15

SD14

0 1 2m

0 5 10m

SD21 ①
1 黒褐色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色シルト層

SD21 ②
1 黒褐色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

SD14
1 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
3 黒褐色砂質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を含む
4 黒色シルト層　5㎜以下の明黄褐色軽石を含む
5 1cm以下の黄色軽石層
6 黒色砂質シルト層　2㎜以下の明黄褐色軽石を含む
7 黒色砂質シルト層　1cm以下の明黄褐色軽石をブロック状に含む
8 1㎜程度の暗褐色軽石層(流れ込みか)

SD15とSB86の切りあい ①
1 黒色弱粘質シルト層　2㎜以下の明黄褐色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　4㎜以下の明黄褐色軽石を含む
3 黒色弱粘質シルト層　3㎜以下の明黄褐色軽石を含む

SD15 ②
1 黒褐色微砂質シルト層　1cm以下の明黄褐色軽石を含む
2 黒色シルト層　1cm以下の明黄褐色軽石を含む

SD16
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

図43　溝状遺構（SD）実測図(4)

SB94

身舎の規模は桁行３間・梁間２間で、溝状遺構**SD１**より東側に位置する建物である。

（４）竪穴状遺構

竪穴状遺構は４基確認された。

SA１

S－７区に位置し、平面プランは隅丸方形である。検出面からの深さは約26cmである。

SA２

R－11区で東側が**SD21**（**SD５**）に切られる。遺構の中央、上層で人頭大以上の軽石が数点出土している。遺構南西部が床面より一段高くなっており、出入り口の可能性がある。

SA３

S－５区に位置し、平面プランは隅丸方形である。埋土は黒色系シルト土で、床面直上からは焼土としっかりした炭化材が出土した。ピットが３基確認され、そのうち南北の２基は床面からの深さが約100～120cmである。また南のピットの掘り方は外側（南側）に傾いて掘られていた。

SA10

T－12・T－13区に位置し、平面プランは隅丸方形である。**SD21**（**SD５**）を切って、**SB102**のピットに切られる。遺構の四隅にはピットを持っている。焼土や灰、炭化材が床面から出土している。遺構の南西部の立ち上がりは緩やかで、出入り口の可能性がある。

（５）土坑

土坑は調査区全体で280基を確認した。平面プランは円形・楕円形・隅丸方形・長方形などがあるが、機能・性格については不明なものが多い。そのうちのおもな土坑のみを述べていく。

SC１

平面プランは楕円形で、土坑の北側から底部外面に墨書のある同安窯系の小皿１点と土師小皿１点が床面から５cm浮いた状態で出土した。

SC３

平面プランは長方形の比較的大きな土坑である。埋土は基本的には黒色シルト土で、上層から常滑焼の鉢片が出土した。土坑の東側のみ段差がつく。

SC37

平面プランは楕円形である。土坑内には20cm大の軽石や粘質ブロックが詰め込まれていた。土坑の西側には段差がつく。

SC43

平面プランは長方形の土坑である。南側は一部ピットに切られ、西側には若干の段差がつく。北側に床面から数cm浮いた状態で土師器の坏２点と小皿３点が出土していることから、土壙墓と思われる。土師器の下は御池軽石混じりの黒色土が堆積していた。土坑の埋土は大きく分けて、きめ細かい黒色土の最下層、塊状の御池軽石のブロックを含む中層と、黒色土の上層である。このうち、下層は人為的に埋め戻された土であり、上層と中層は凹レンズ状に堆積している。このうち中層は土坑掘削時の土塊を含む土を埋め戻しに利用したものと思われる。土坑に埋められた棺がのちに腐って土坑内で埋土とも陥没した後、その上に黒色土が自然堆積したと思われる。出土遺物は土師器のみで、釘などの鉄製品は出土していない。

SC44

平面プランは楕円形の土坑である。埋土は基本的に黒色系シルト土であるが、２層は黄褐色シルト土がＶ字状に堆積している。また３層で段差がつくことから、埋土１・２・３は掘りなおした可能性がある。４層は水分を多く含んだ黒色土である。

SC45

土坑の上半部は楕円形に掘り込まれ、下半部は不定形な掘り込みを持つ。土坑の南には弥生土器の鉢（完形）が据えられていた。ただし土器は中世の層から出土しているため、中世の時期に土坑に据えた可能性がある。

SC46

平面プランは方形で、投棄されたように人頭大の軽石が上層から出土している。この軽石の中には一部面取りされたようなもの含まれる。また土坑上部から鏑蓮弁の体部下半が１点出土している。

SC48

平面プランは円形で、人頭大以下の軽石や礫・黄灰色粘質土が上・中層に含まれる。下層は水分を多く含み、黒色味の強い粘質土である。

SC56

平面プランは楕円形で、深さが98cmと深めの土坑である。**SD４**と切りあい関係にあるが、新旧は不明である。

SC70

深さ99cmの土坑である。土師器片・礫片が土坑全体に含まれており、鉄製の鈴（**1633**）も出土した。埋土は下層のほうが御池軽石を多く含む。

SC90

平面プランは長方形で、検出した段階で20cm程の軽石と灰・炭化物が黒色シルトに混ざっていた。その下層では黒色シルトのみの埋土となり、最下層には安山岩の礫が含まれていた。

SC98

SC98は**SC99**を切っている。**SC98**の埋土には軽石や礫が含まれていた。

SC99

埋土には灰褐色の粘土が含まれていた。

SC100

平面プランは長方形である。鏑蓮弁が１点と常滑焼１点・古銭が１点・土師器が多数出土した。このうち常滑焼は**SC132**から出土した破片と接合する。

SC120

南北に長軸を持つ長方形の土坑で、西端に土師器が床面より約30cm浮いた状態でやや集中して出土した。

SC132

平面プランは長方形で、長軸は東西方向である。北側のみに軽石・礫・完形の土師器１点・白磁１点が床面より５～15cm浮いた状態で出土した。

SC138

平面プランは方形のプランである。完形の土師器・東播系須恵器・土師器転用品・礫・軽石・滑石・鉄製品などが出土した。出土レベルは床面より５cm浮いた状態である。埋土は基本的に黒色系シルト土であるが、繊維質の白色軽石や、明黄褐色のシルトを含んでいる。土坑内は南北に対してピットをもつため、竪穴状遺構の可能性もある。柱穴の深さは床面より約20cmである。

SC140

平面プランは楕円形で、埋土は２層に分かれる。上層中に多数の土師器と灰を含んでいることから、土坑廃棄後に一括投棄された可能性がある。下層からは土師器が伏せた状態で出土している。また土坑外（東側）からも完形に近い土師器が出土している。

SC159

長楕円形の土坑で**SD４**が土坑を切っている。土坑内からは鉄製の紡錘車（**1629**）が出土し、また土坑北側のみからほぼ完形の土師器４枚が床面より５cmほど浮いた状態で出土した。土坑墓と思われる。

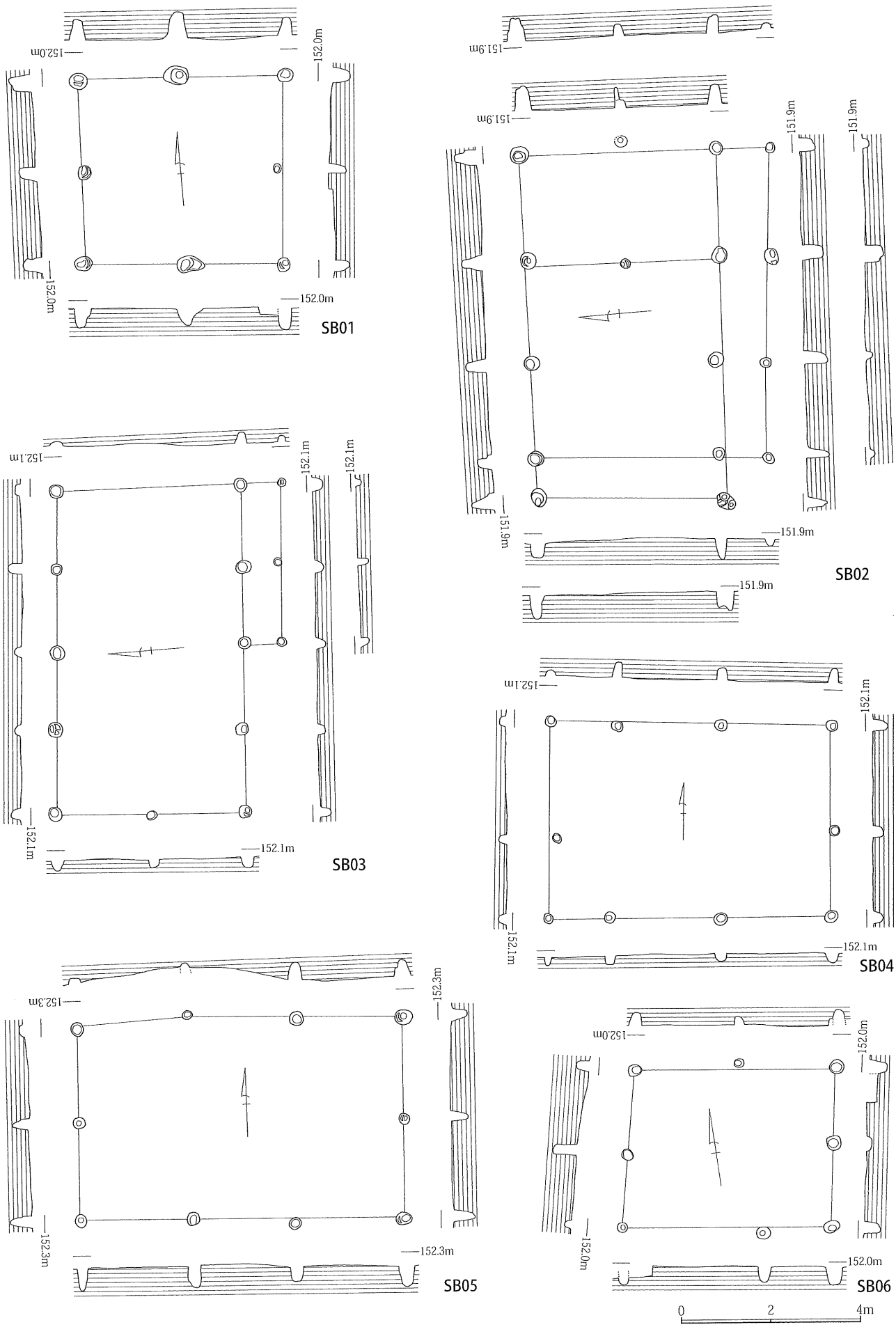


図44　掘立柱建物（SB）実測図(1)

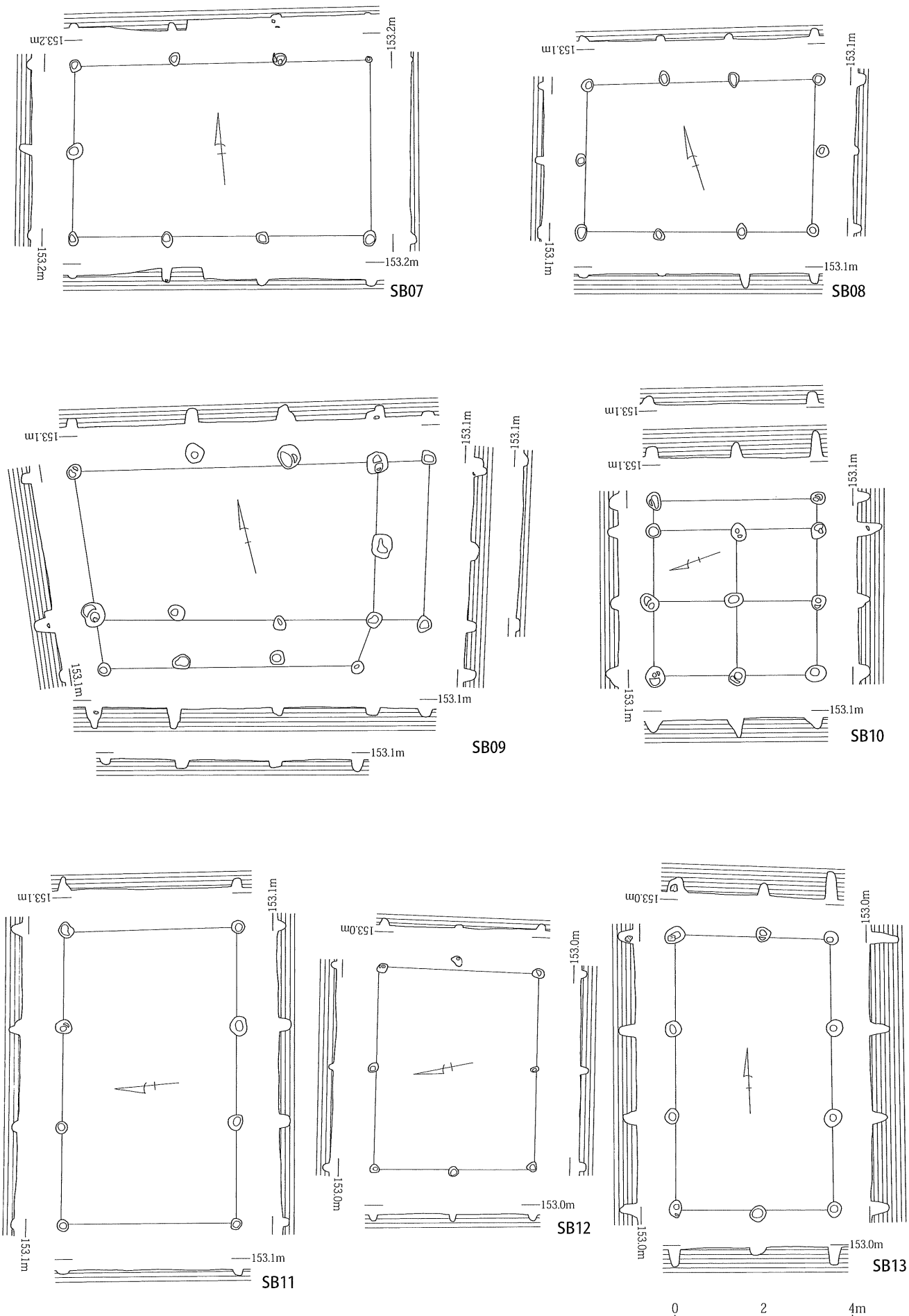


図45　掘立柱建物（SB）実測図(2)

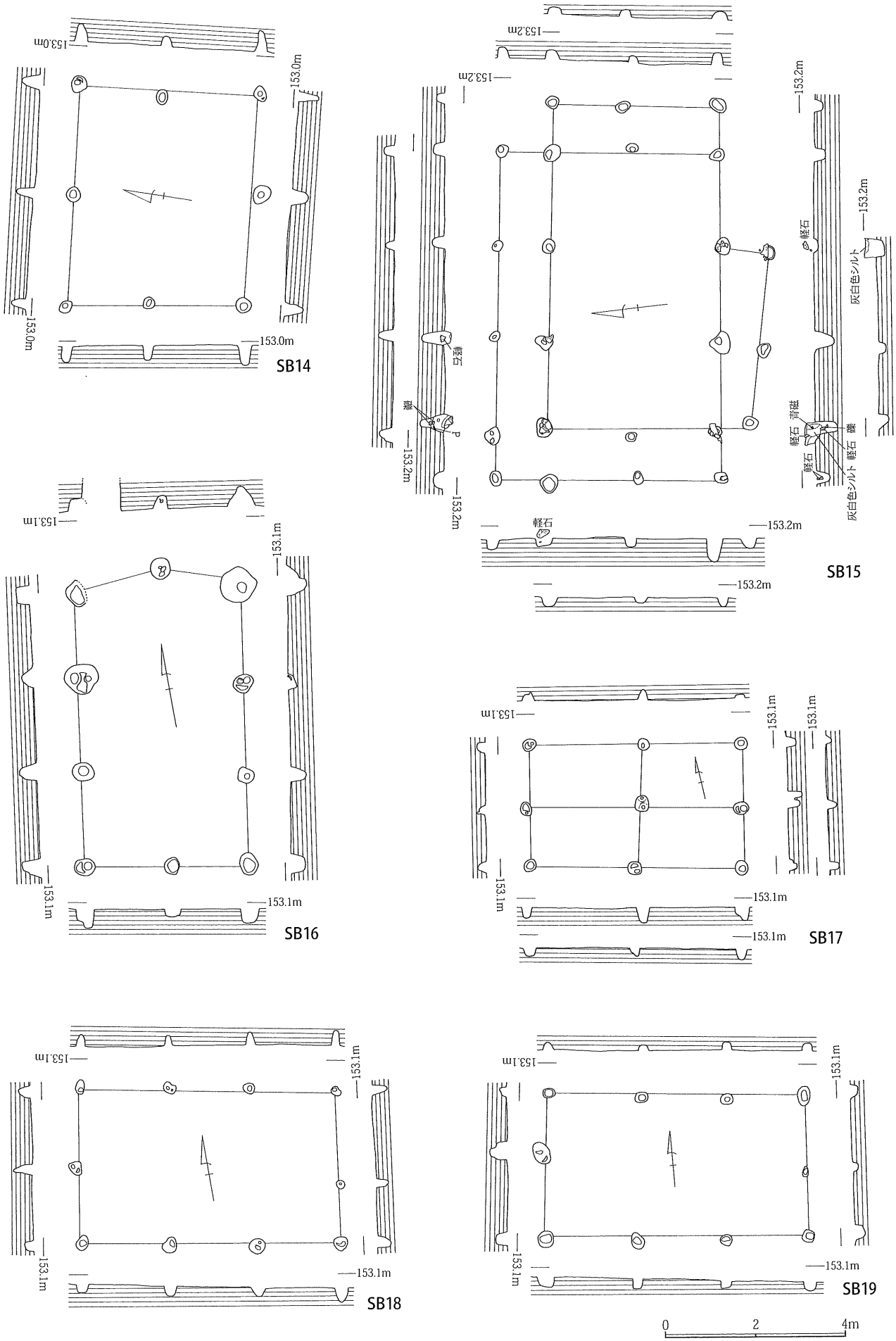


図46　掘立柱建物（SB）実測図(3)

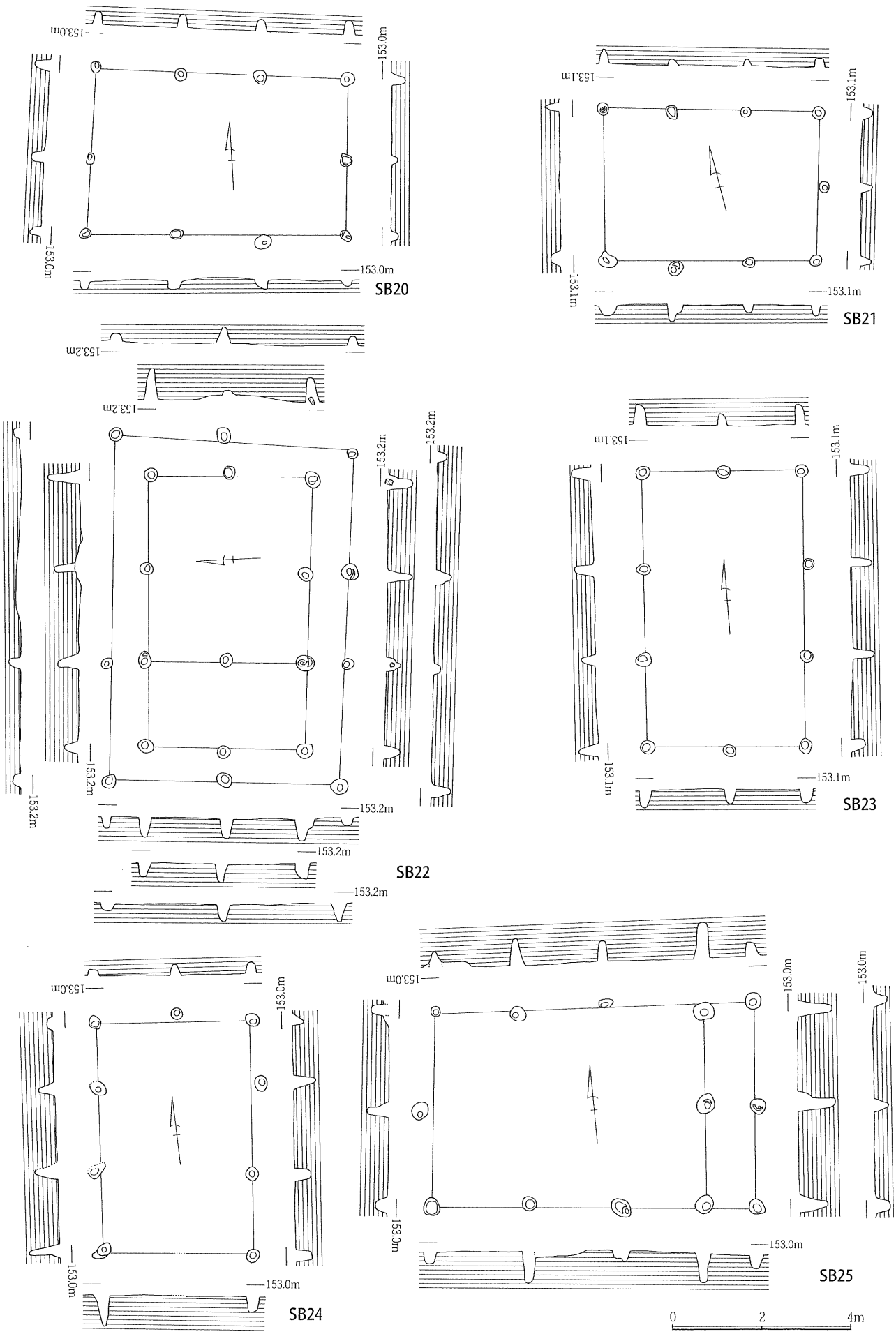


図47　掘立柱建物（SB）実測図(4)

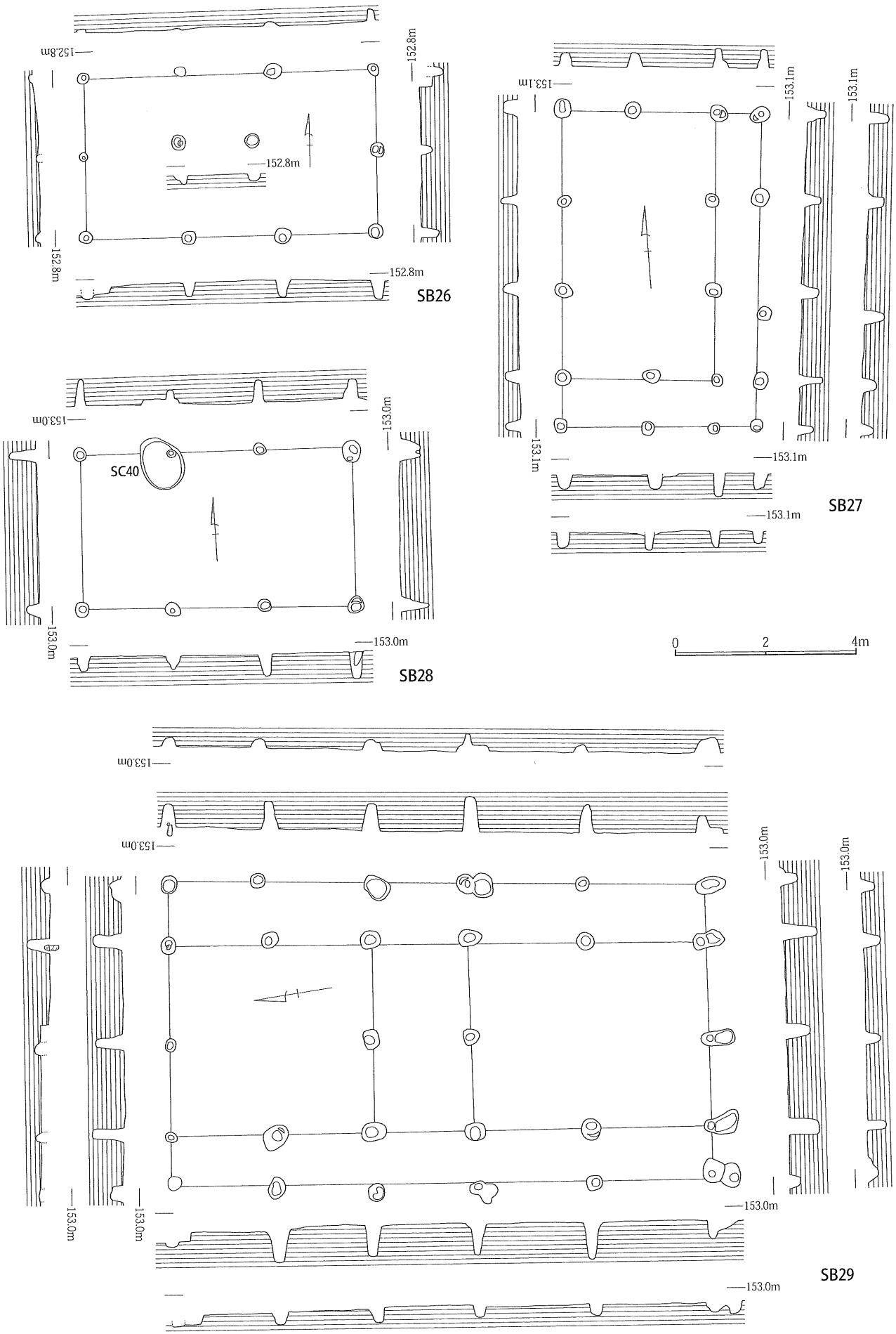


図48　掘立柱建物（SB）実測図(5)

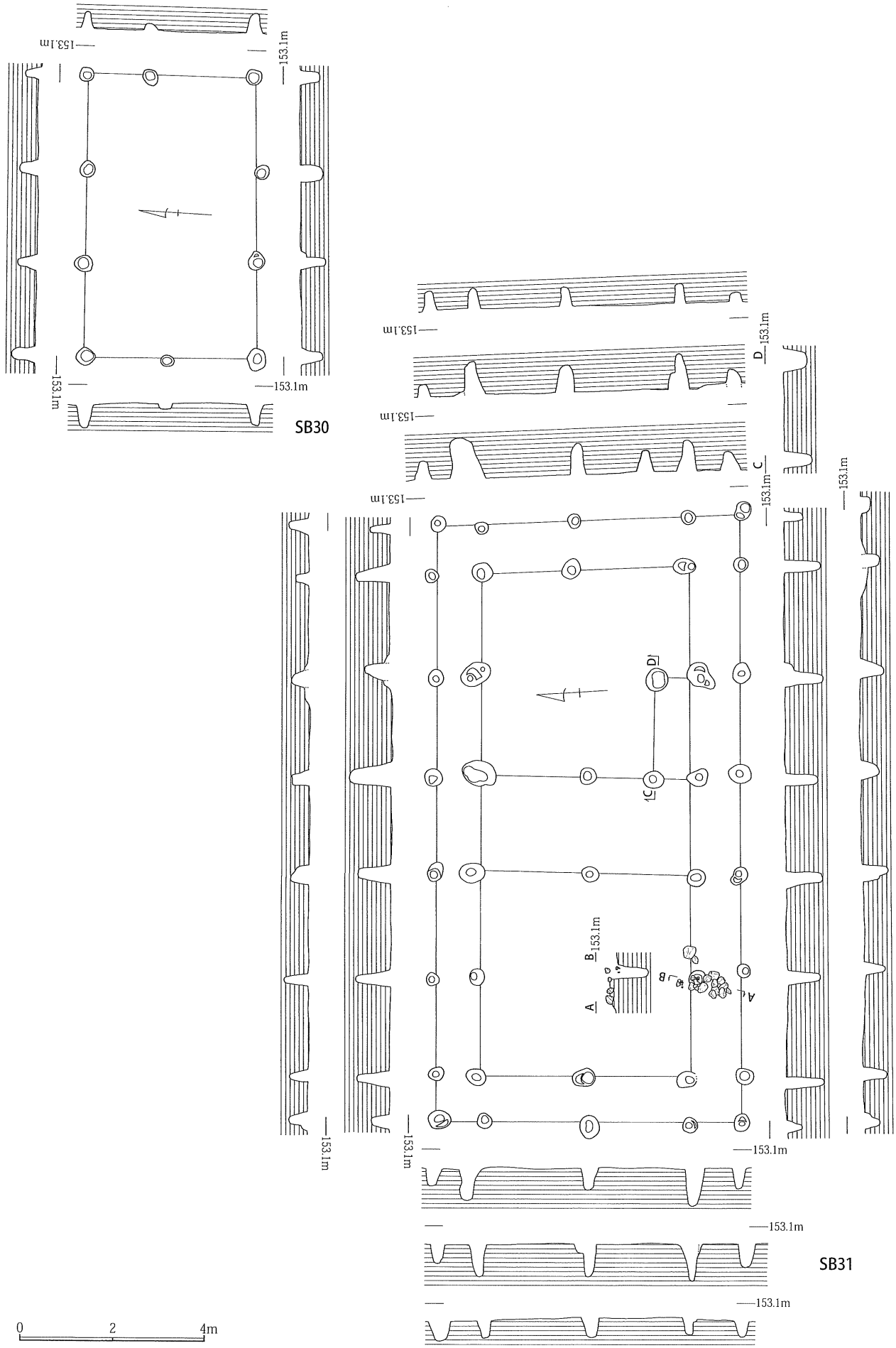


図49　掘立柱建物（SB）実測図(6)

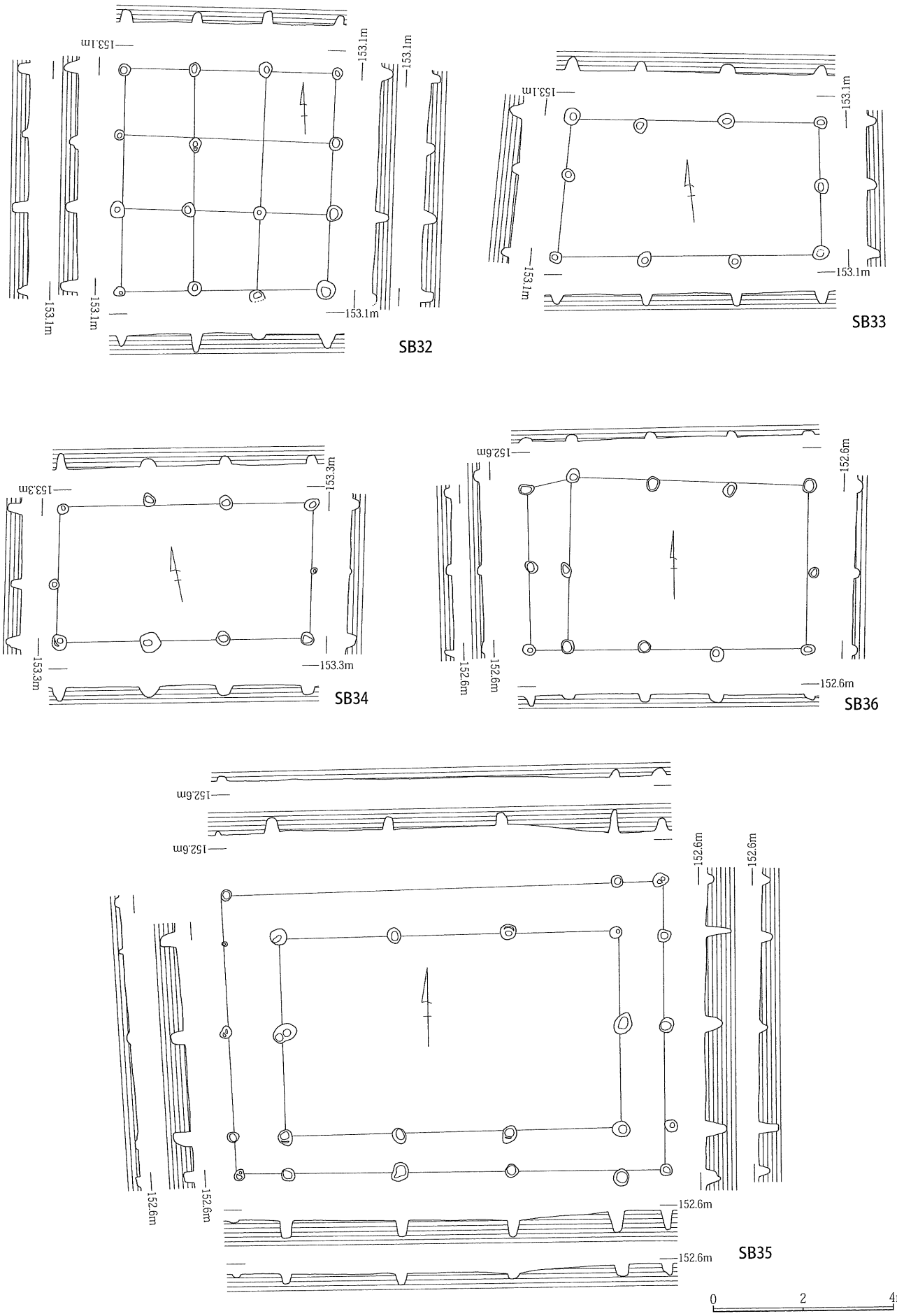


図50　掘立柱建物（SB）実測図(7)

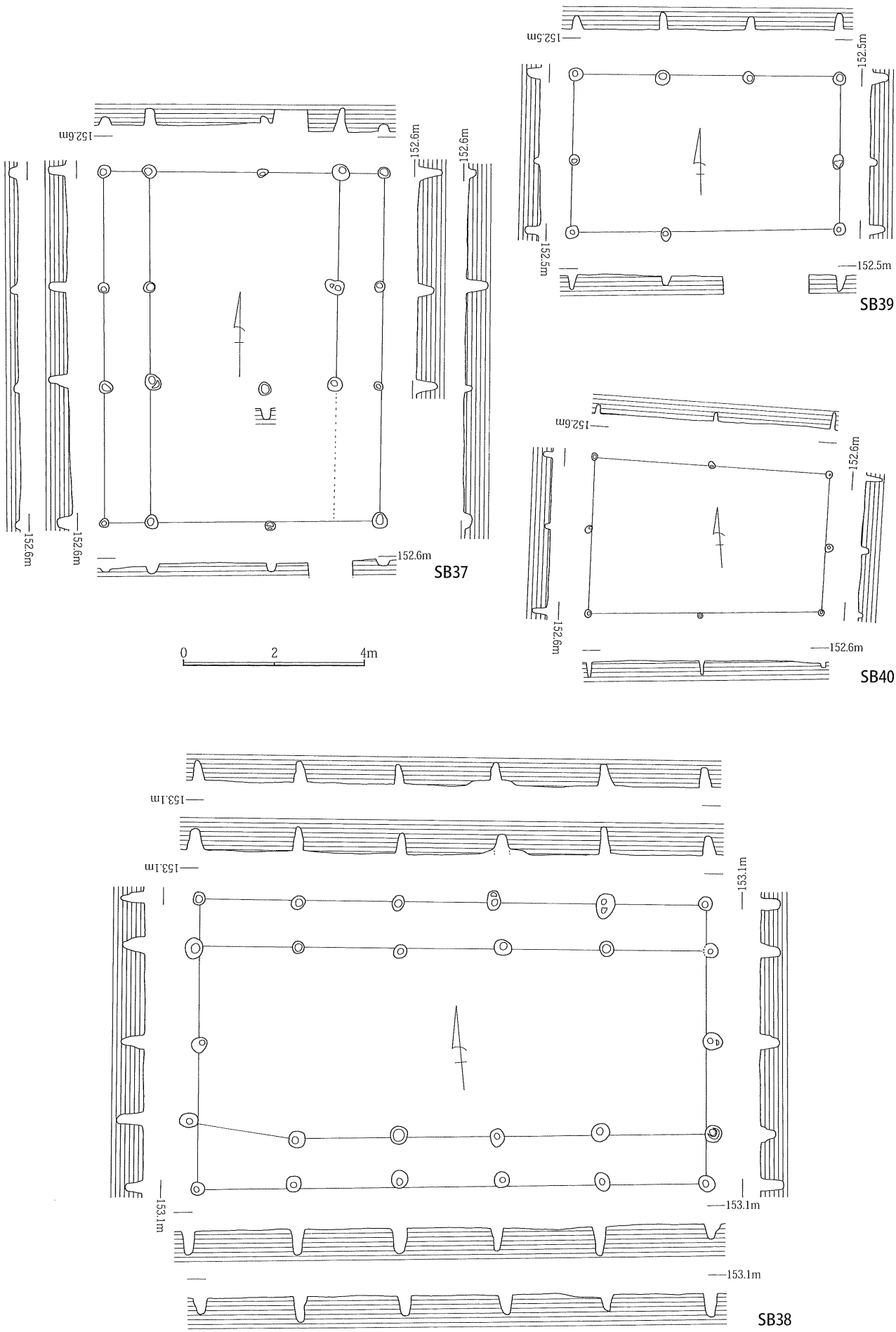


図51　掘立柱建物（SB）実測図(8)

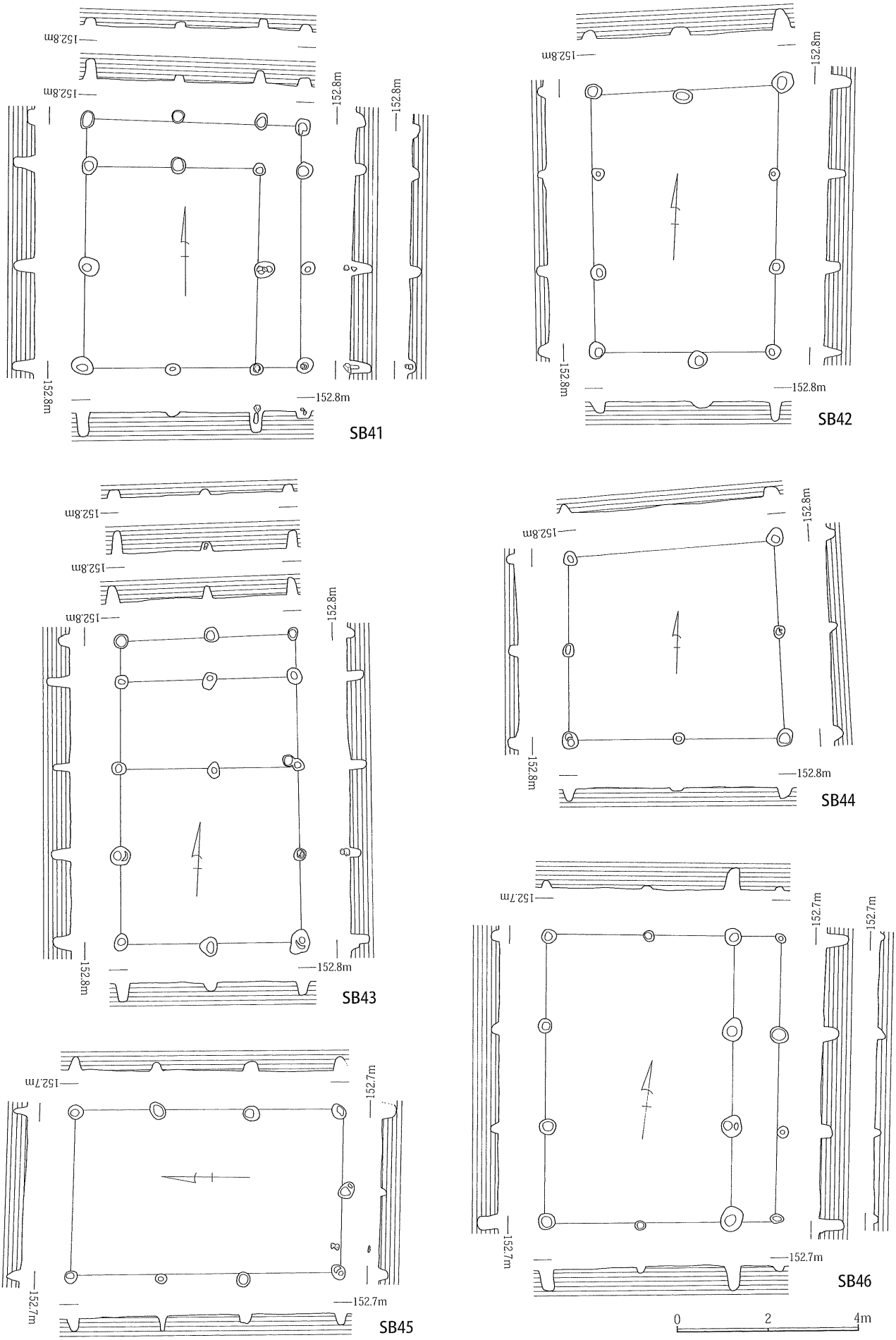


図52　掘立柱建物（SB）実測図(9)

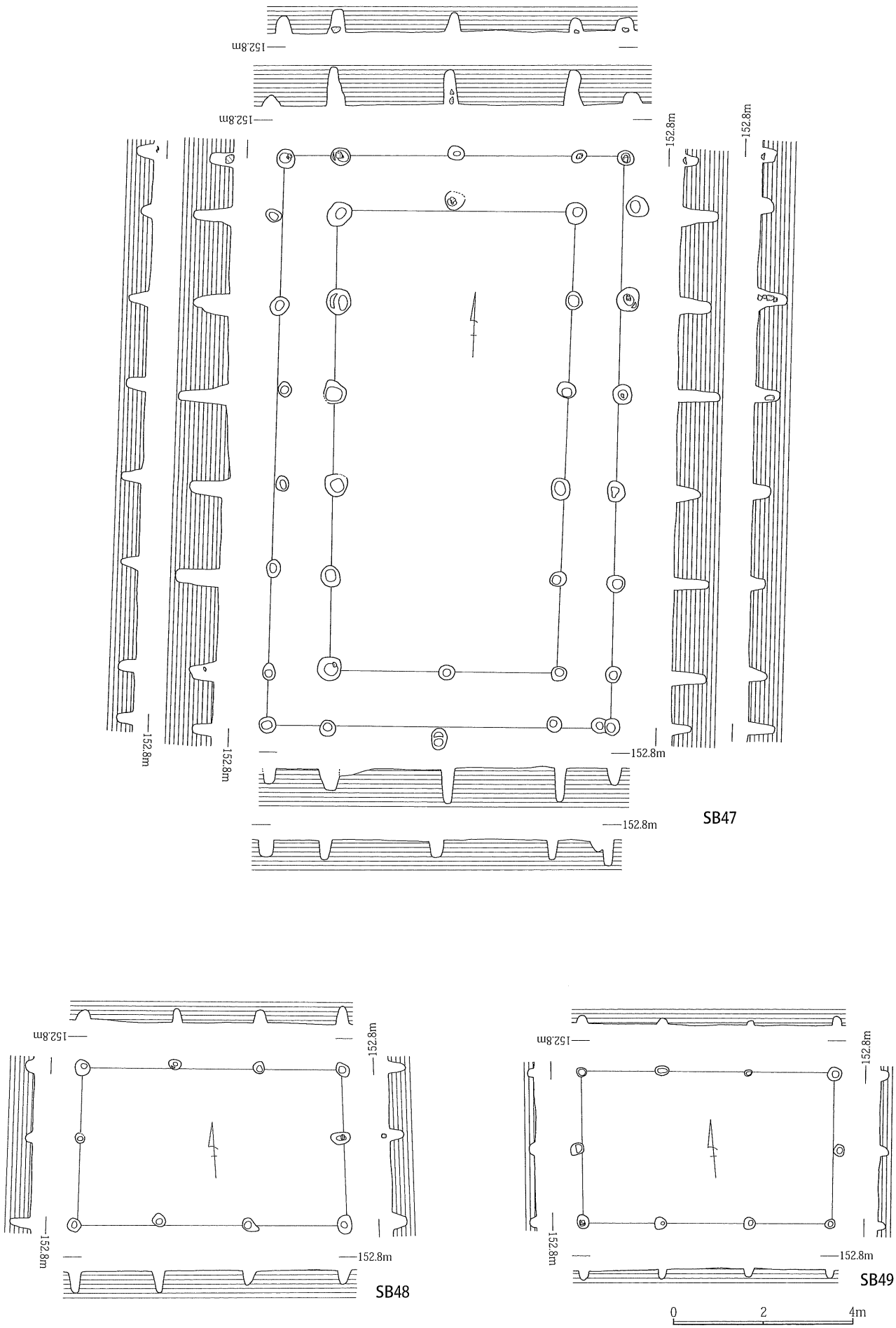
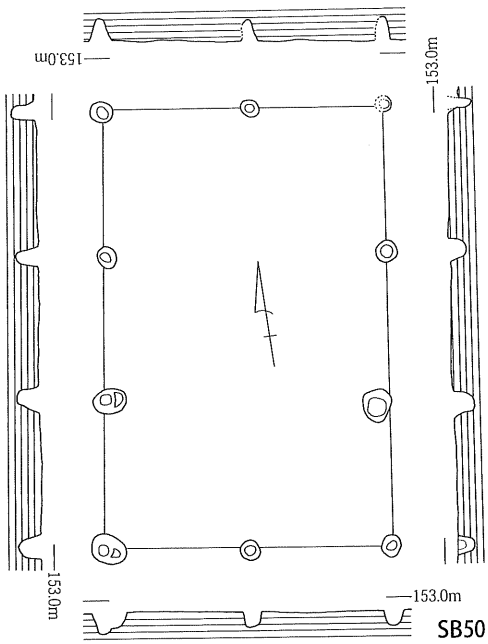
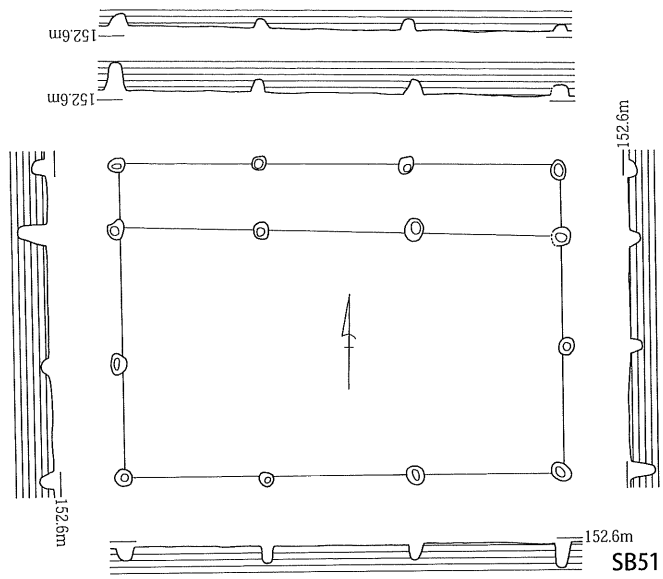
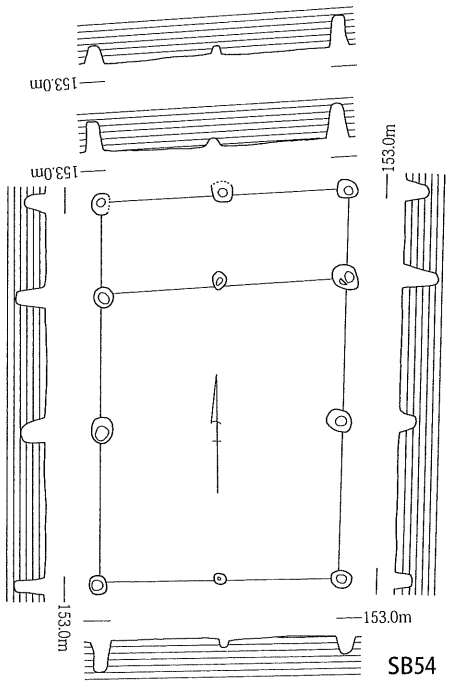
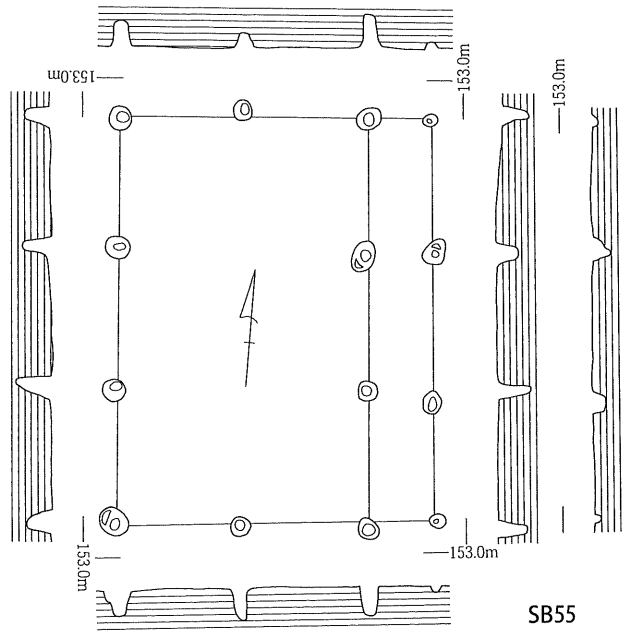


図53　掘立柱建物（SB）実測図(10)









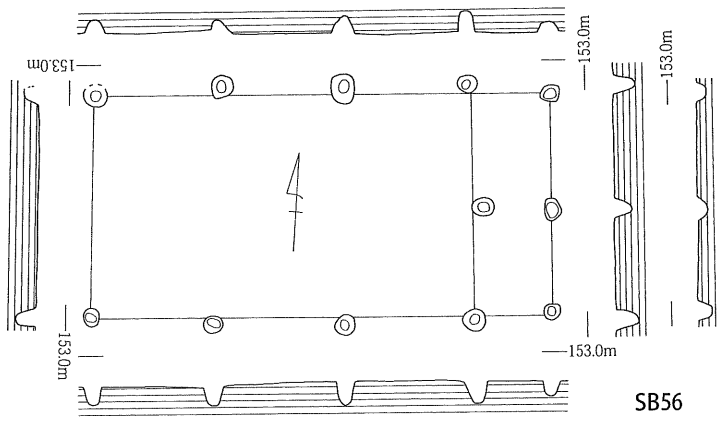
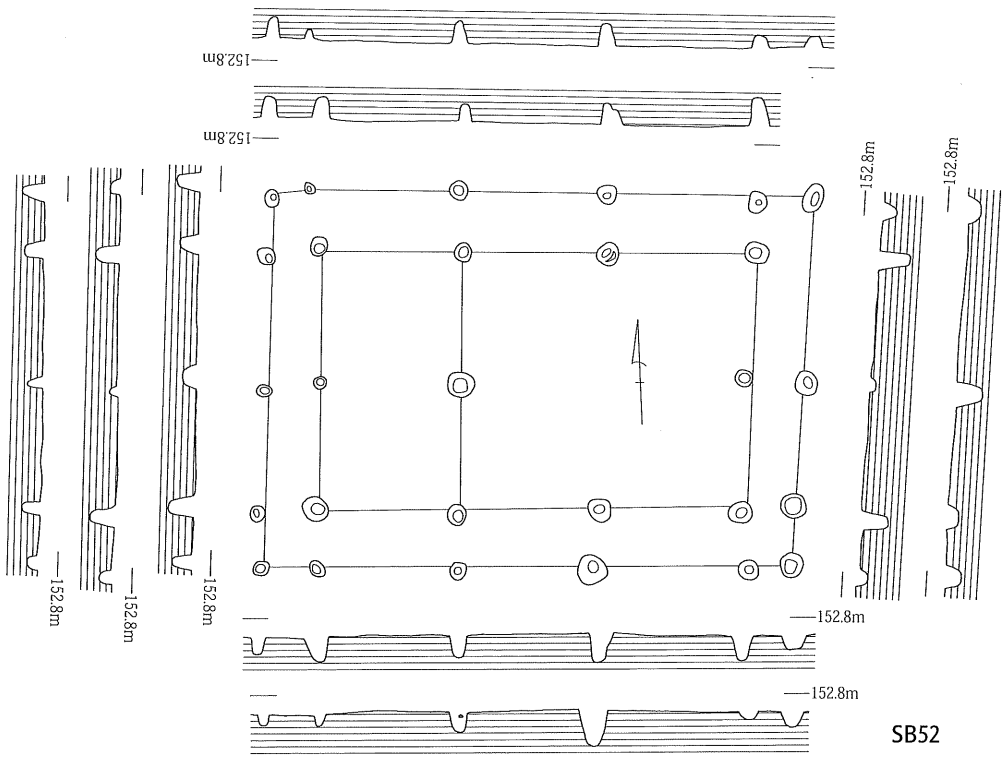


図54　掘立柱建物（SB）実測図(11)



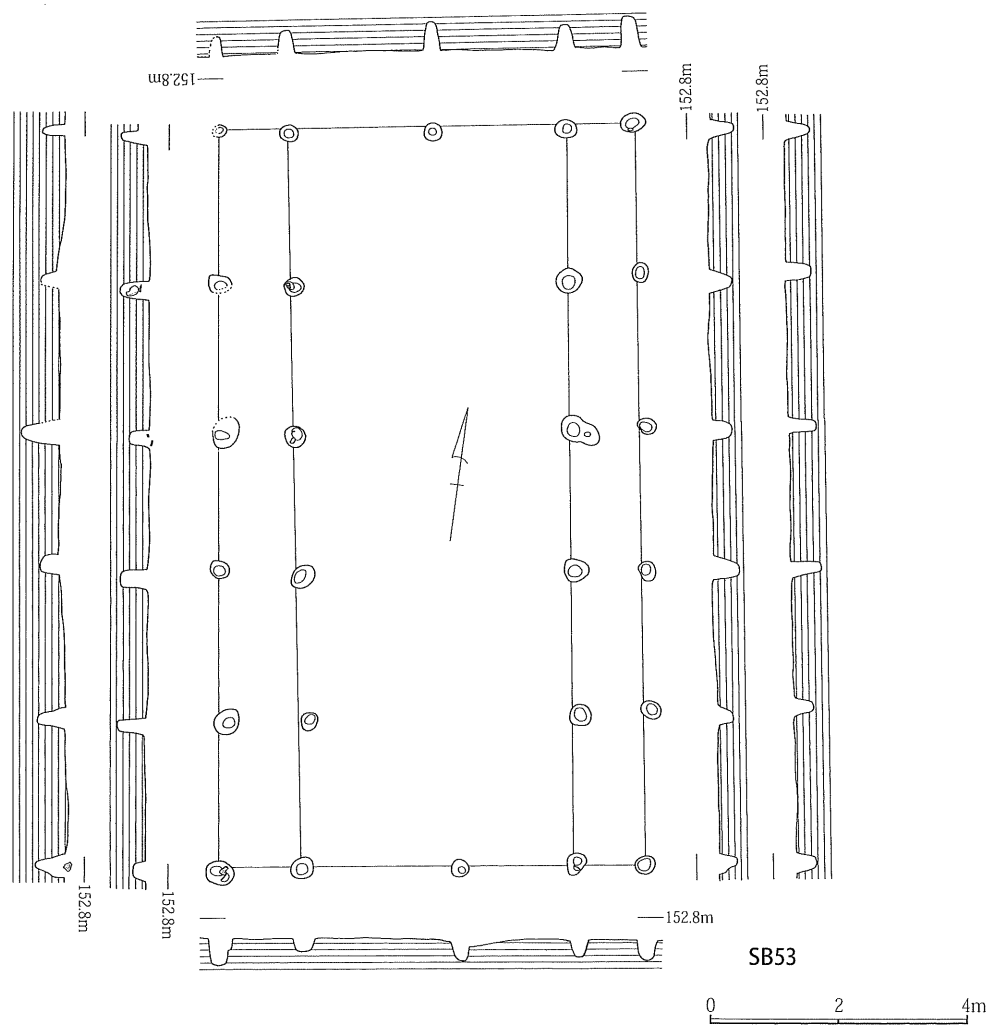


図55　掘立柱建物（SB）実測図(12)

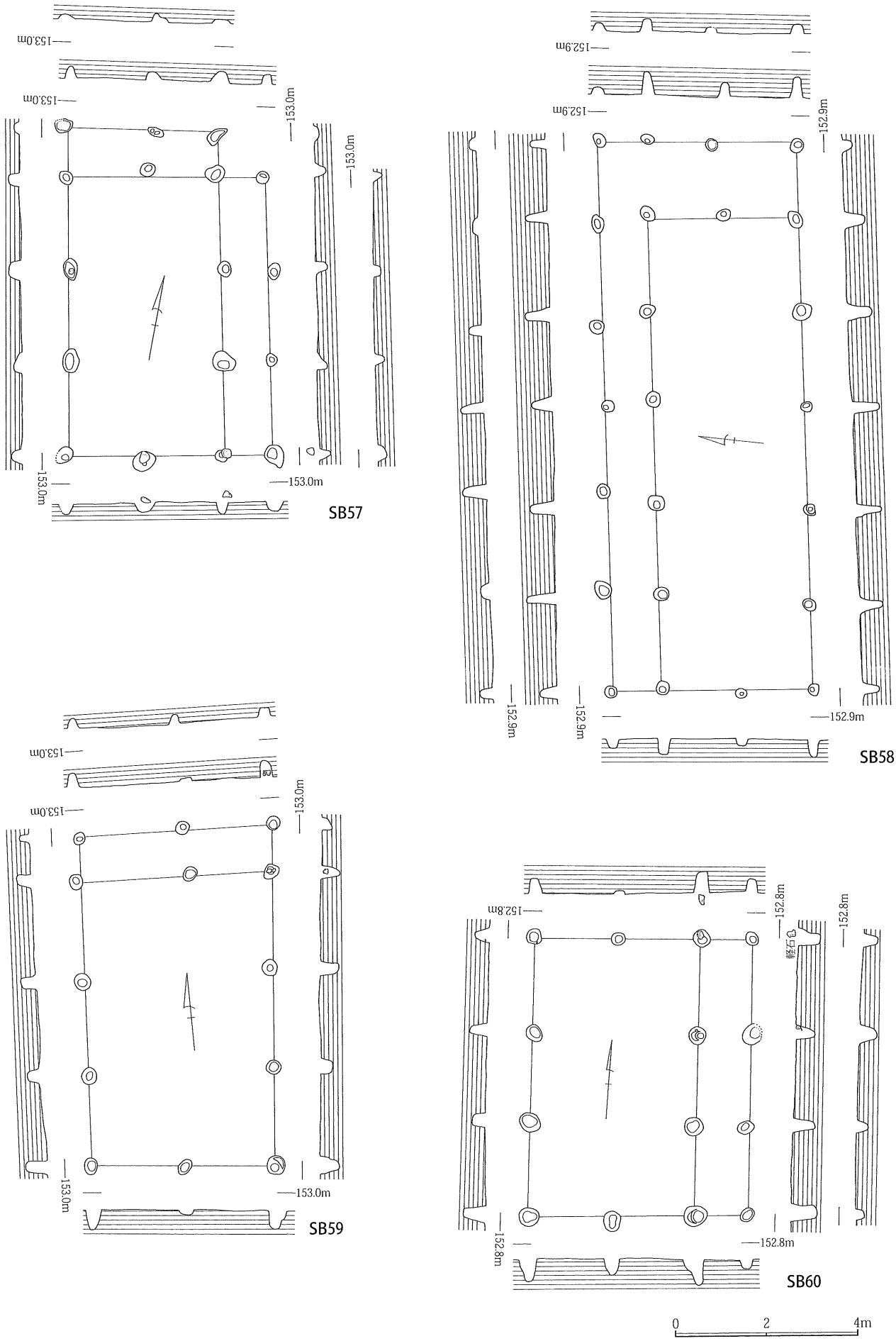
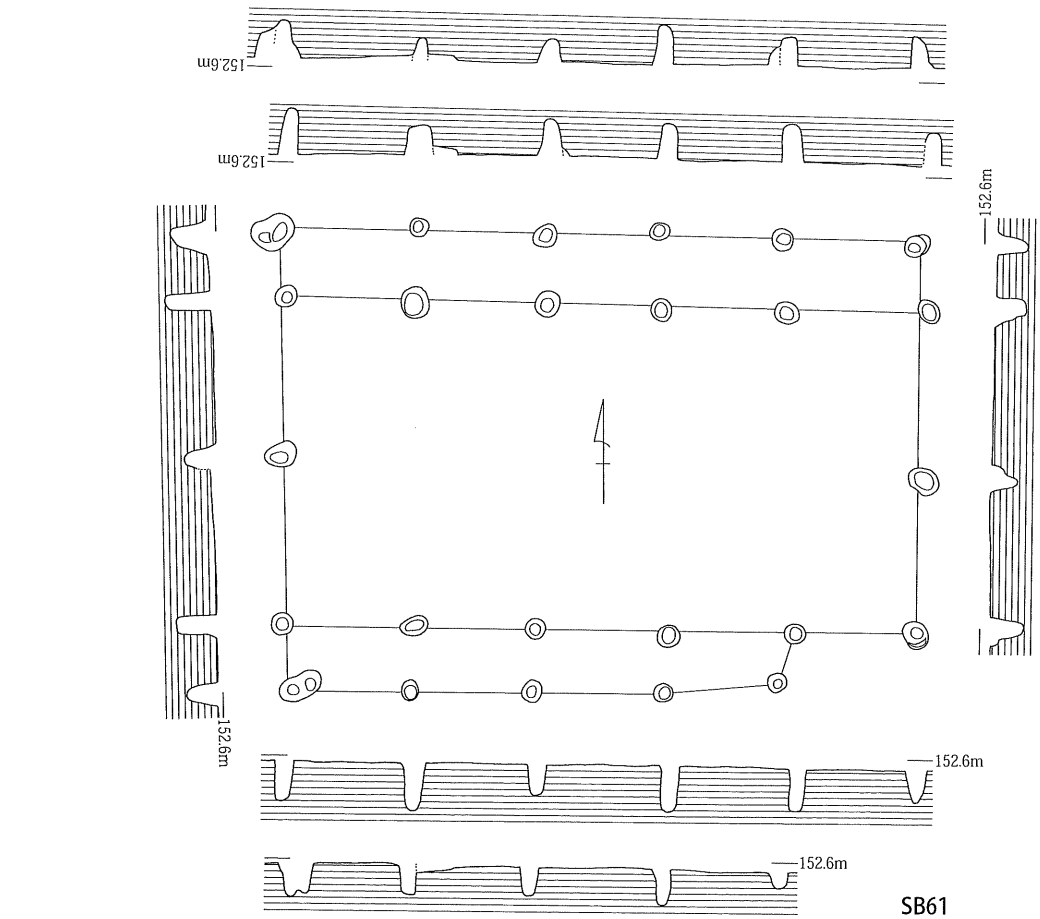
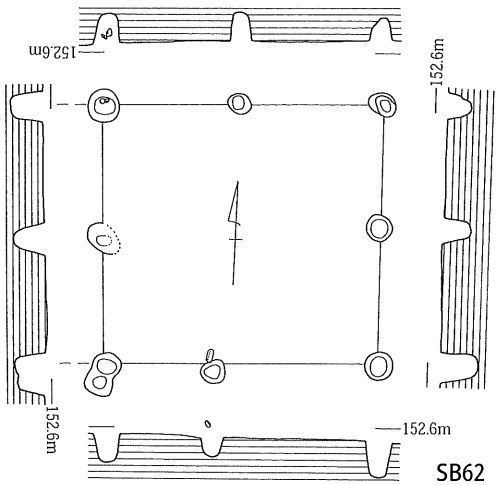
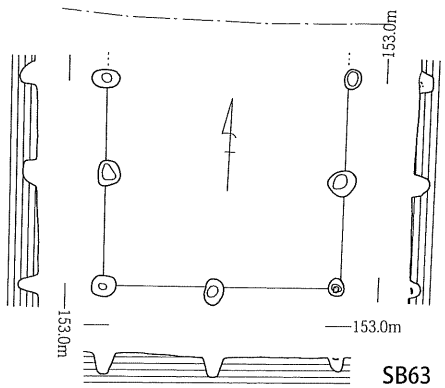


図56　掘立柱建物（SB）実測図(13)







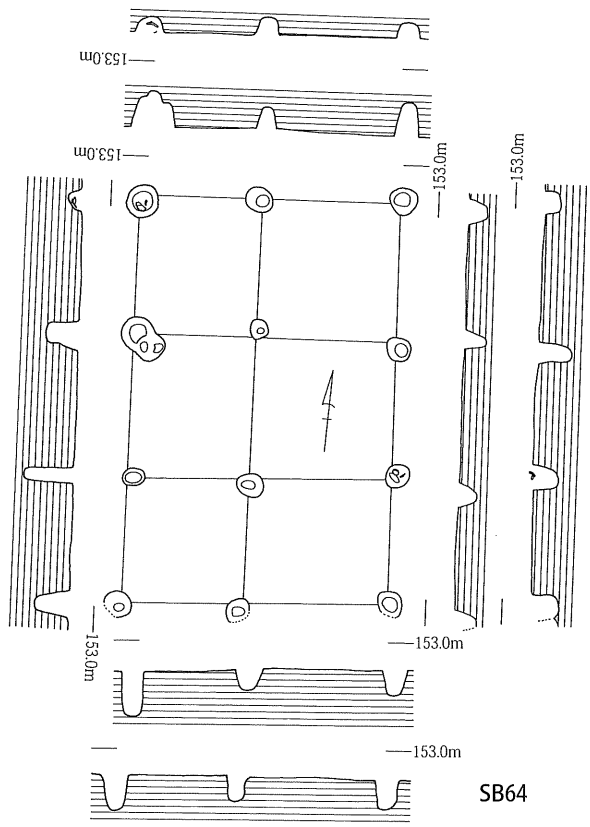


図57　掘立柱建物（SB）実測図(14)

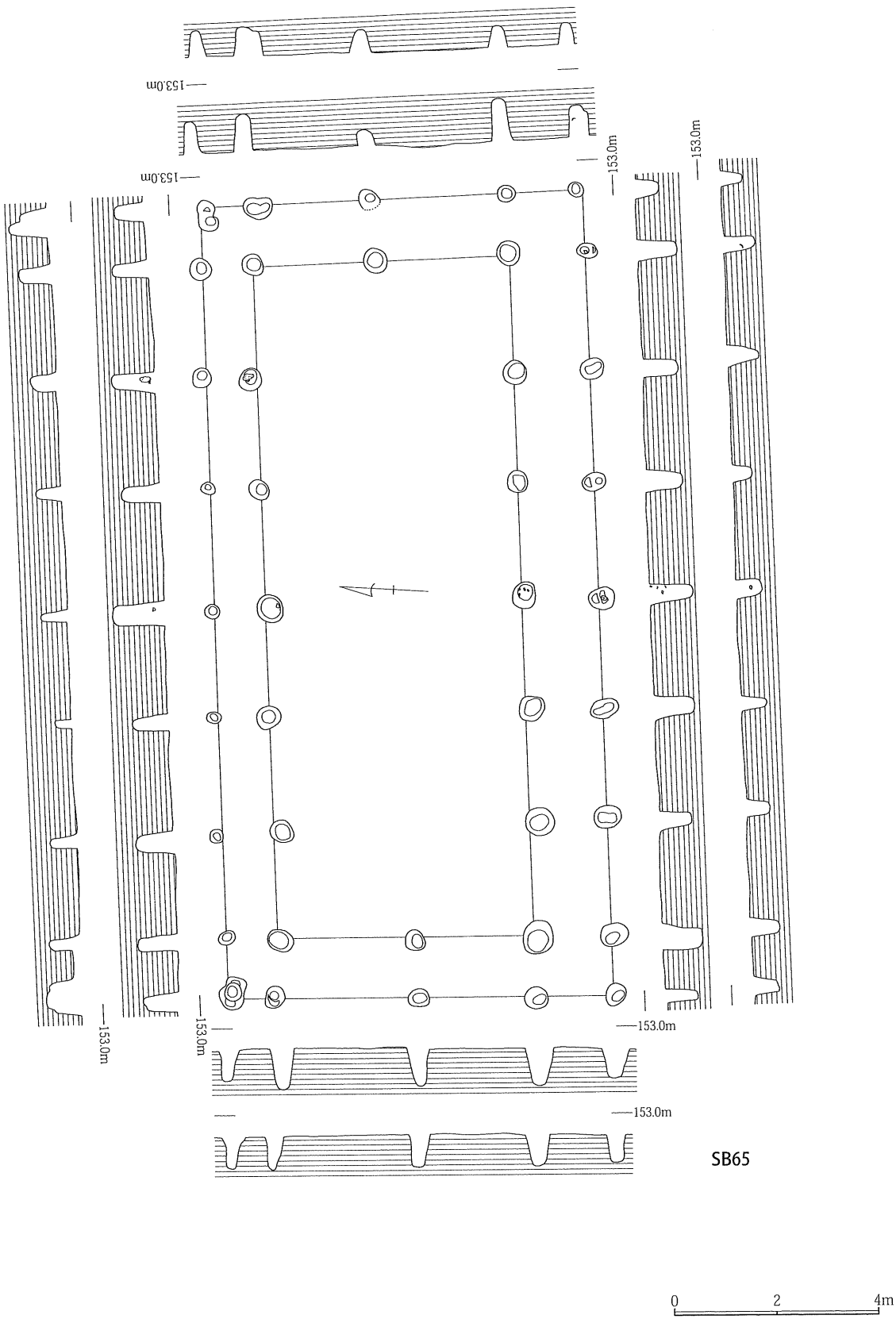


図58　掘立柱建物（SB）実測図(15)

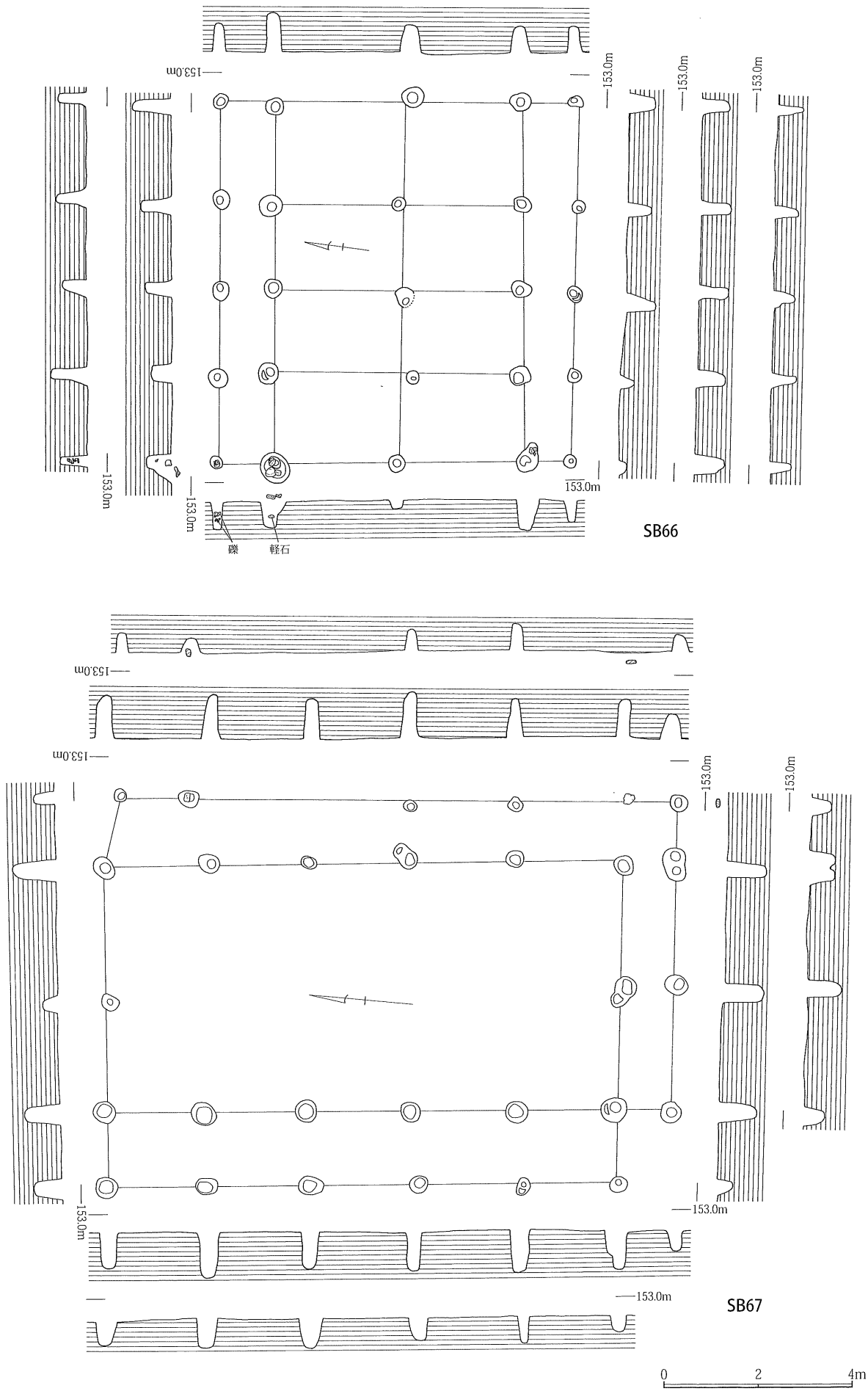


図59　掘立柱建物（SB）実測図(16)

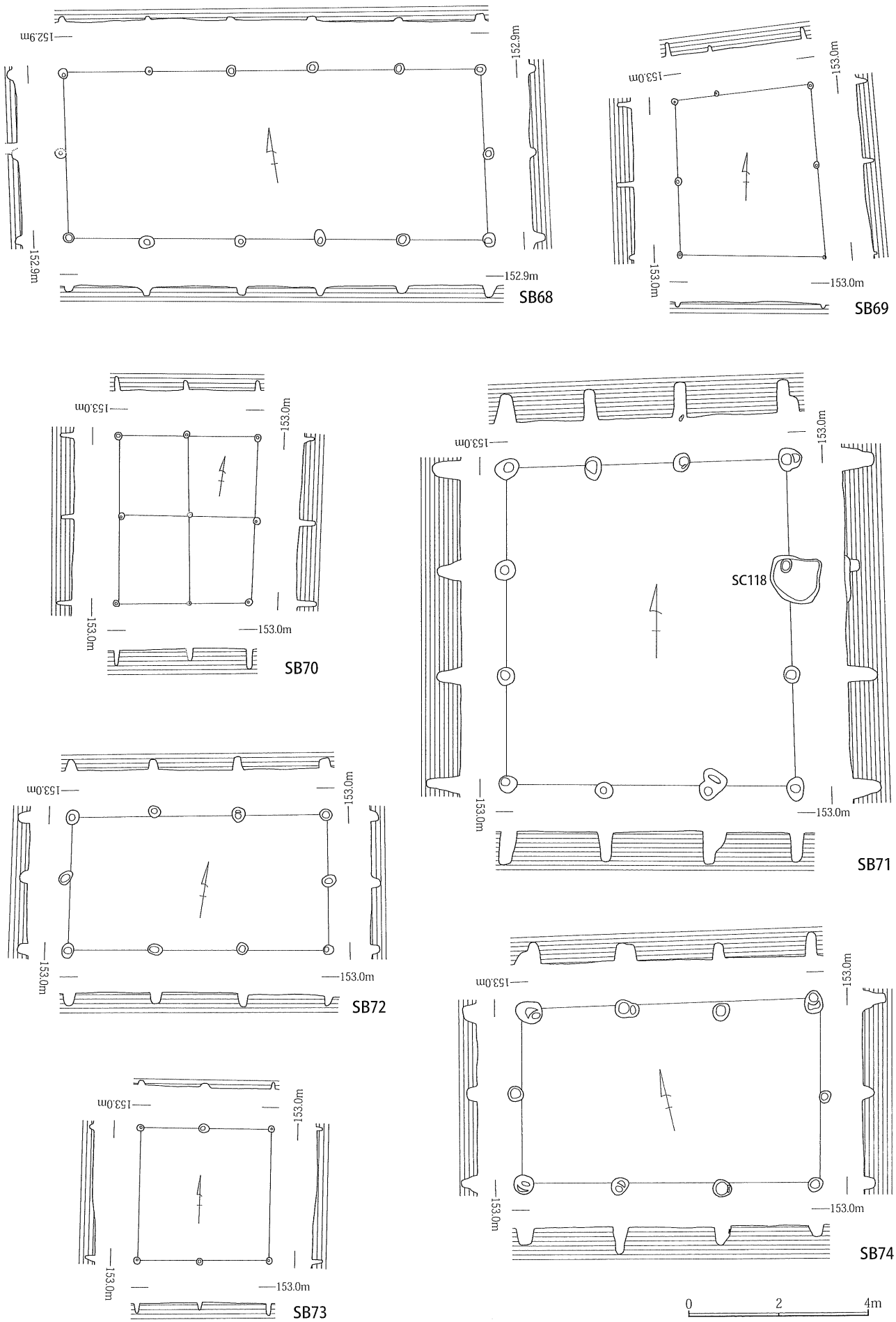
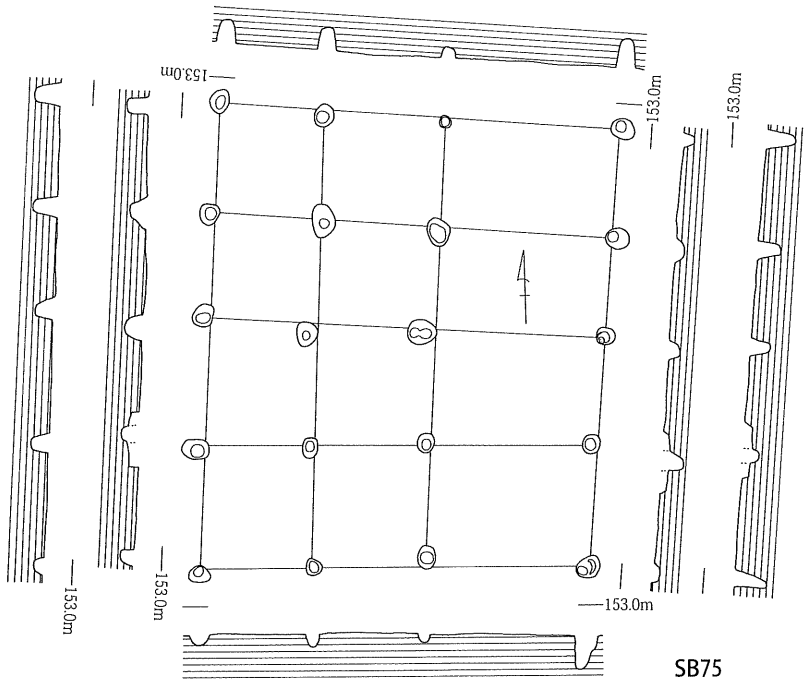
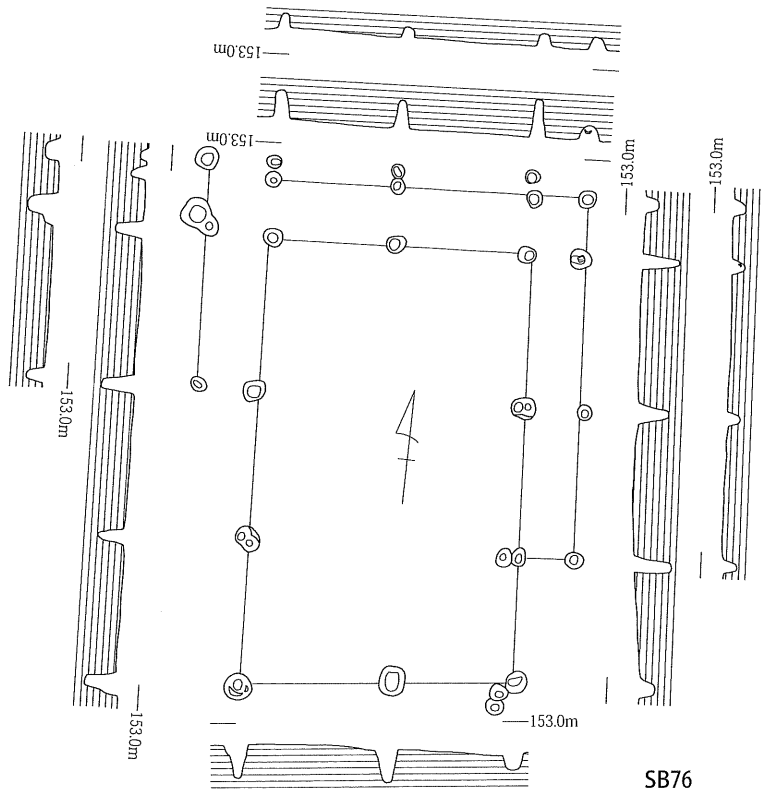


図60　掘立柱建物（SB）実測図(17)





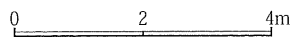


図61　掘立柱建物（SB）実測図(18)

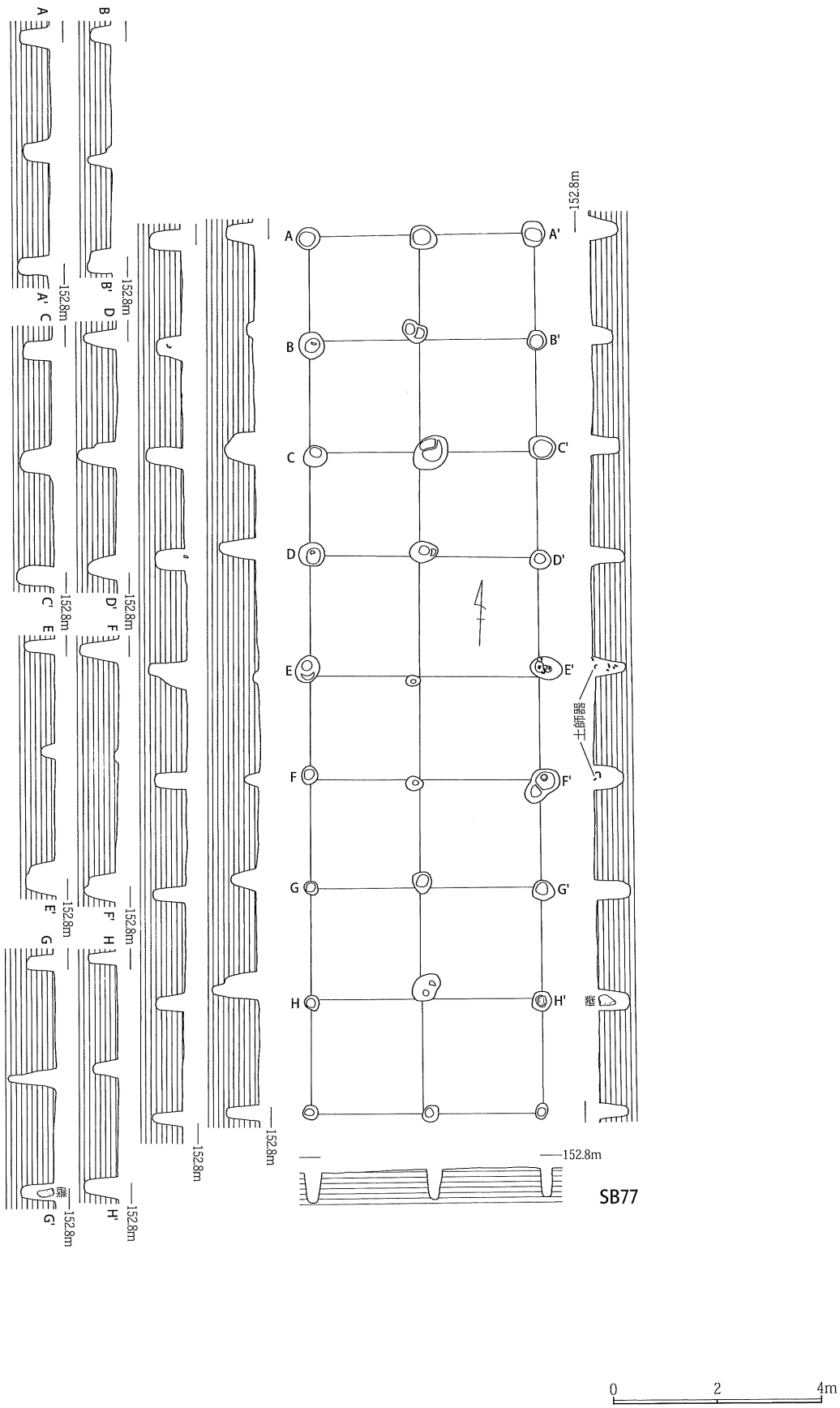


図62　掘立柱建物（SB）実測図(19)

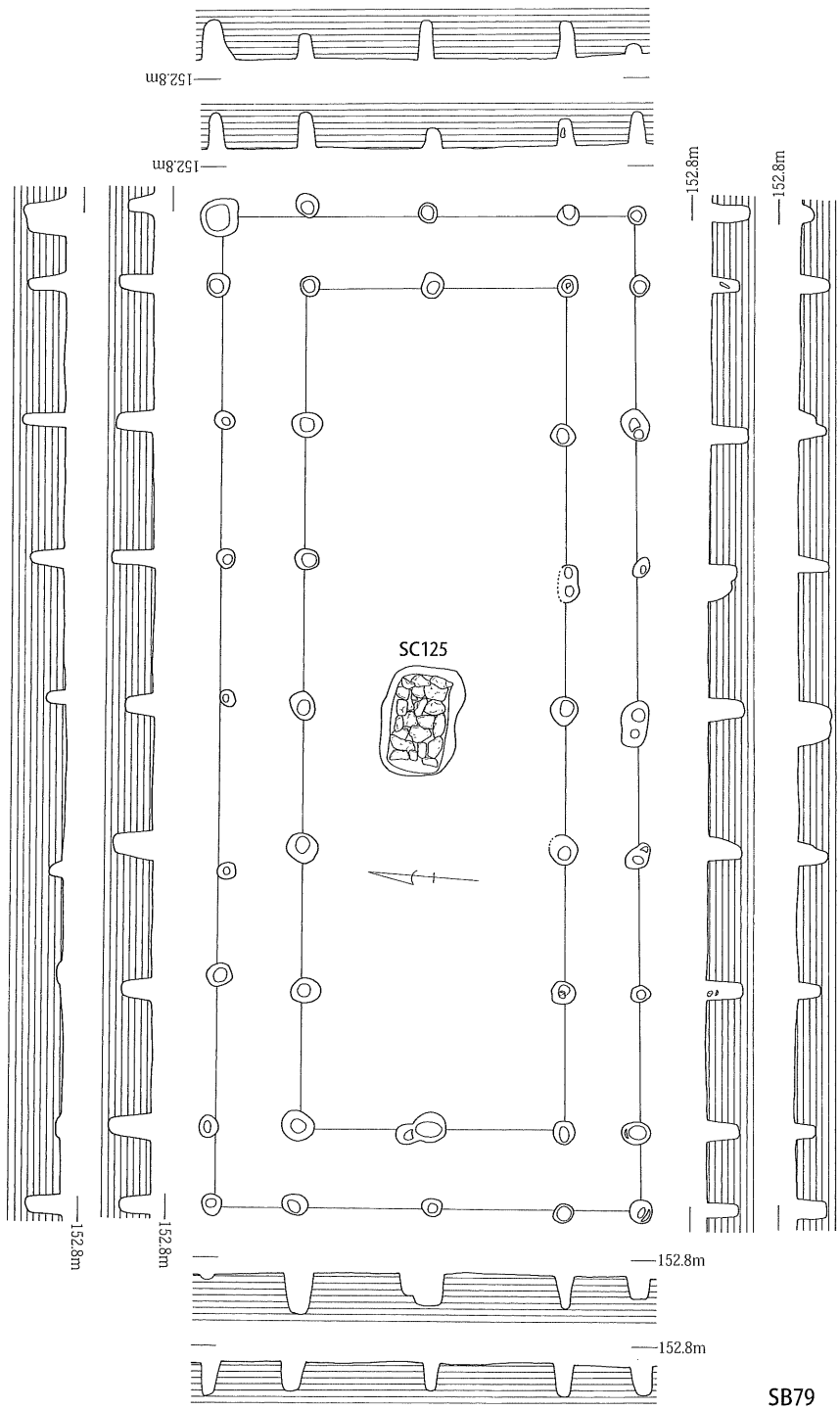


図63　掘立柱建物（SB）実測図(20)

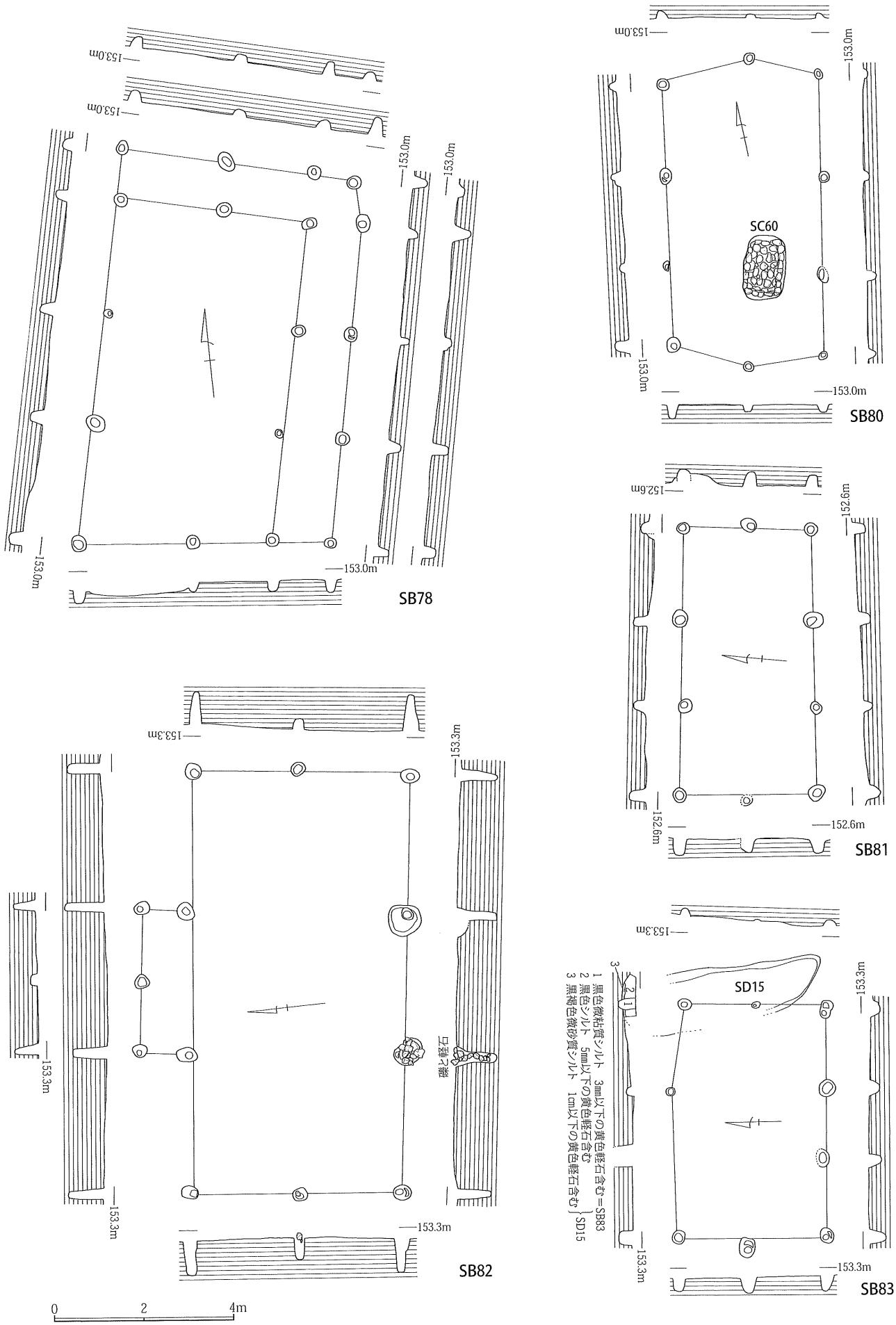


図64　掘立柱建物（SB）実測図(21)

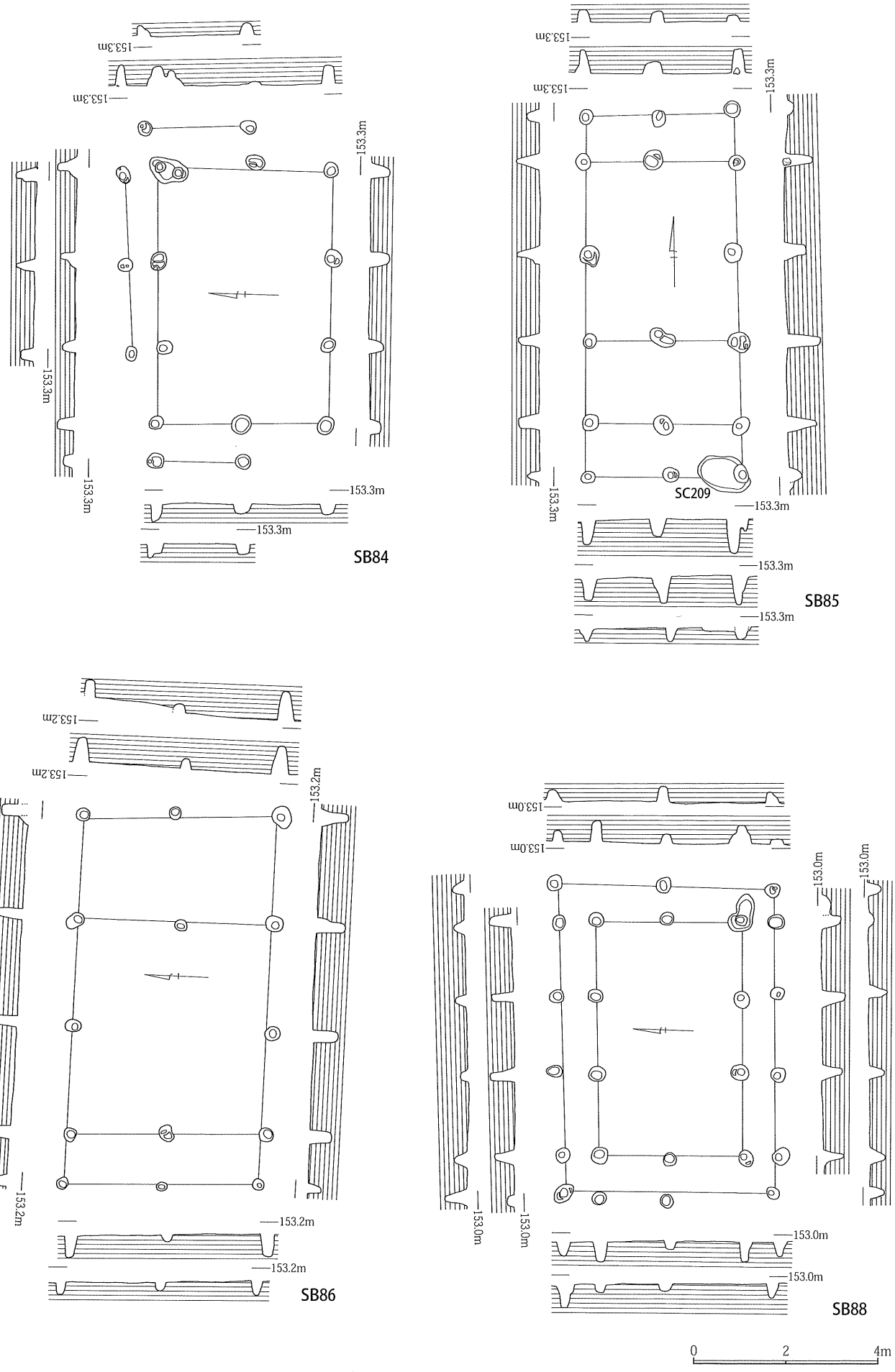
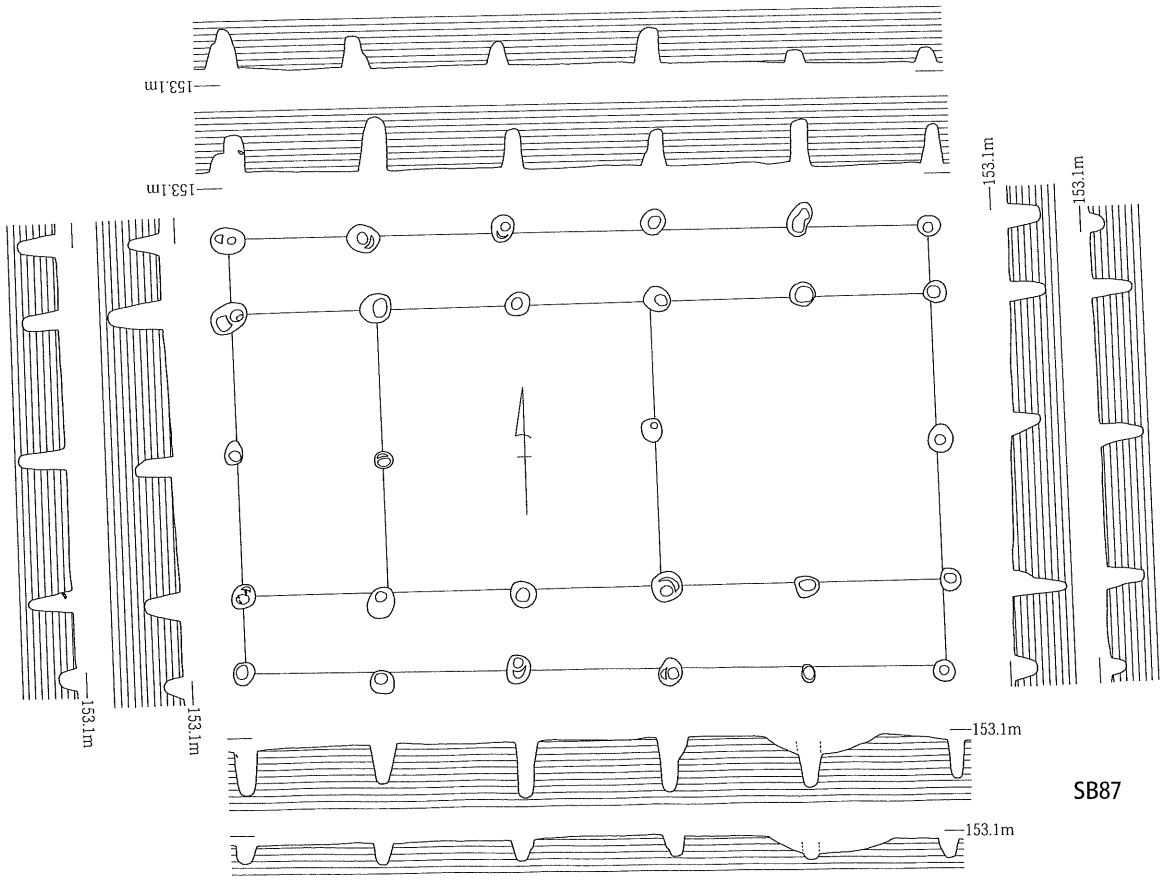
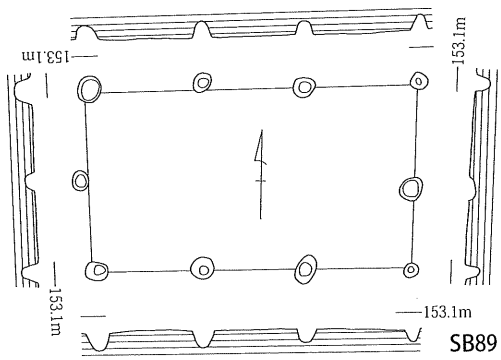
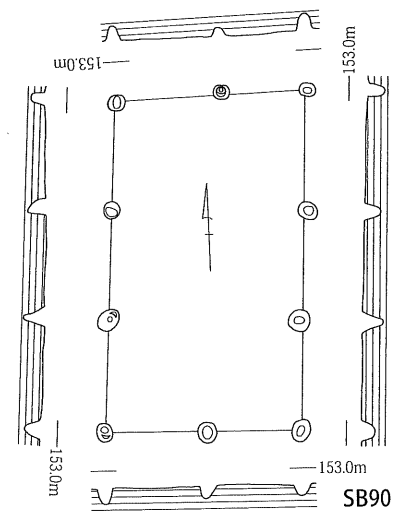
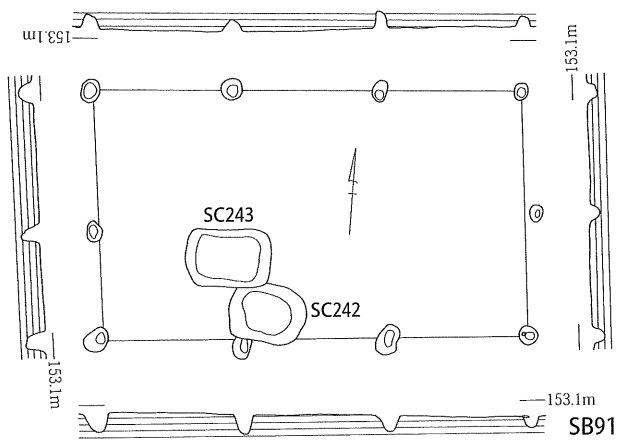


図65　掘立柱建物（SB）実測図(22)









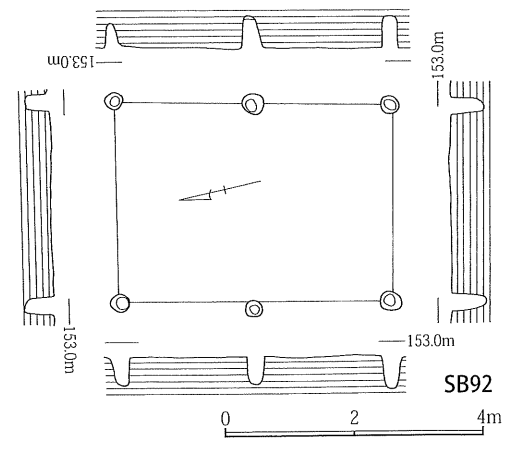
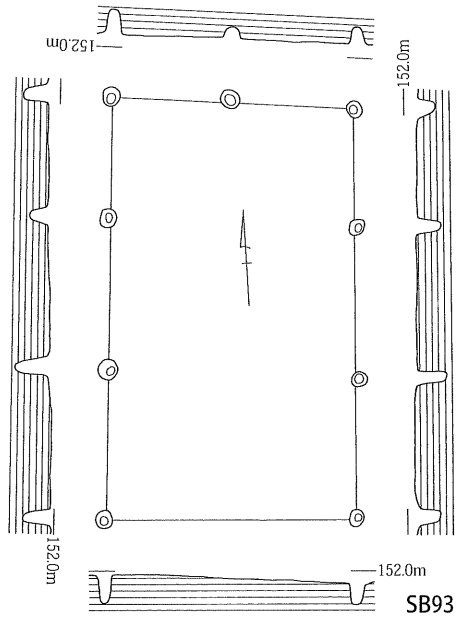
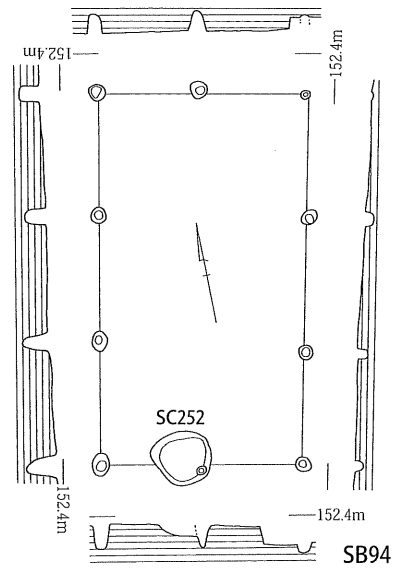
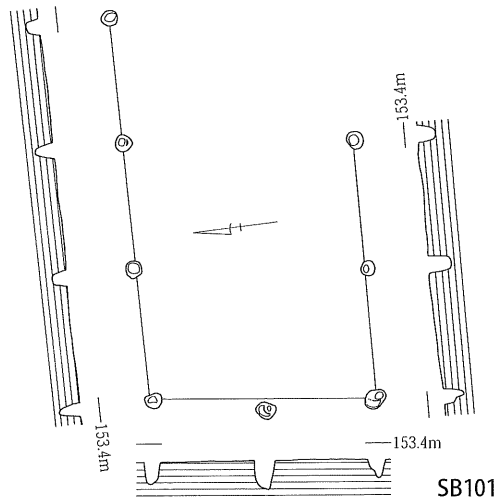
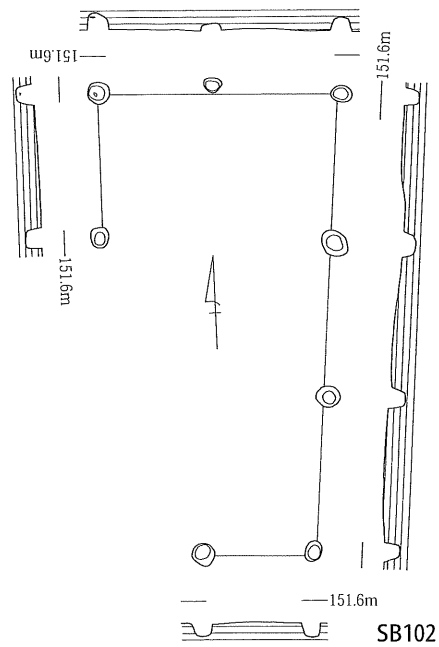


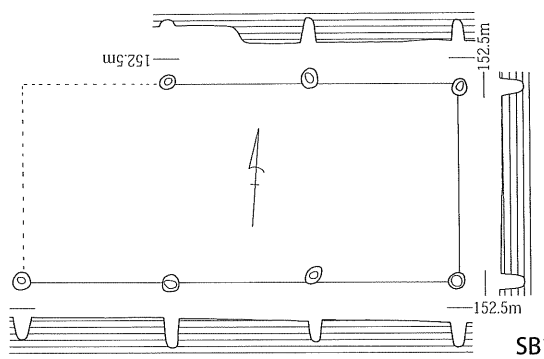
図66　掘立柱建物（SB）実測図(23)











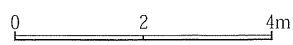


図67　掘立柱建物（SB）実測図(24)

SC187

３基の土坑の切り合いで、**SC187**と**SC189**を**SC188**が切っている。**SC187**は近世ピットと**SC188**に切られるため平面プランは不明である。

SC188

平面プランは円形の土坑で、埋土に炭化材（タケ亜科）・青磁・白磁・軽石・礫を含む。上層のタケ亜科の放射性炭素年代測定値は、760±60年BP（1σ：AD1260～1300）であった。

SC190

平面プランは方形の土坑で検出面からの深さは約1.3mである。埋土は基本的に黒色系シルト土である。埋土４はやわらかく水分を含んだような粘質シルト土で、埋土５は黒く濁った崩れやすい御池軽石である。土坑床面から深さ約10cmのピット状の落ち込みが確認された。

SC192

検出段階では楕円形プランであったが、完掘すると東西が袋状に膨らんだ土坑である。北西部の一部は近世土坑により破壊されているため、推定のラインである。床面からは壁材と思われる塊が１点、埋土から東播系須恵器が出土している。埋土は基本的には黒色系シルト土で、土坑内の壁際には袋状に膨らんだ壁や天井の崩れ落ちた御池軽石とやわらかいシルトが混ざって堆積している。最下層には黒色シルト土が薄く堆積している。調査区全体の中世の土坑でこの形態は**SC192**のみである。

SC241

平面プランは長方形で、埋土上層に粘土・灰・炭化材・軽石・礫が含まれる。

SC242

SB91を切り、**SC243**に切られる。埋土の上層には炭化材を含み、下層には薄く黒色シルトが堆積している。

SC245

検出面からの深さが1.06mとやや深めの土坑である。埋土には壁材・炭化物・灰・赤化した軽石が含まれていた。中層から出土した炭化材（ツブラジイ）の放射性炭素年代測定値は、710±60年BP（1σ：AD1270～1300）であった。

SC246

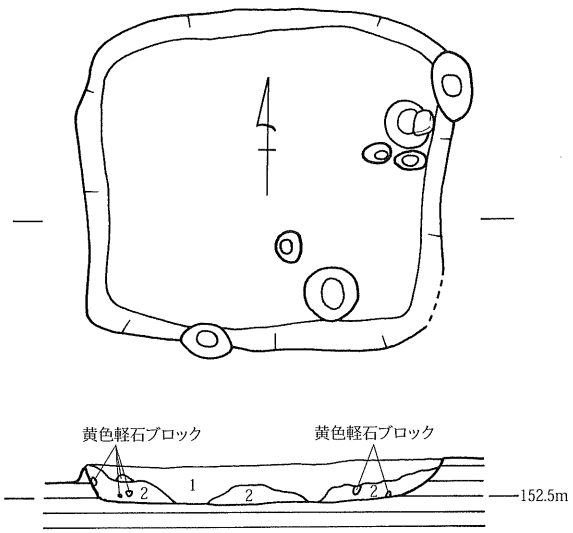
平面プランは長方形の土坑で、北東部にテラス状の段差がつく。埋土は基本的に黒色系のシルト土で、上層から銅製の華瓶１点（**1661**）と常滑片が１点出土した。

（６）石組遺構

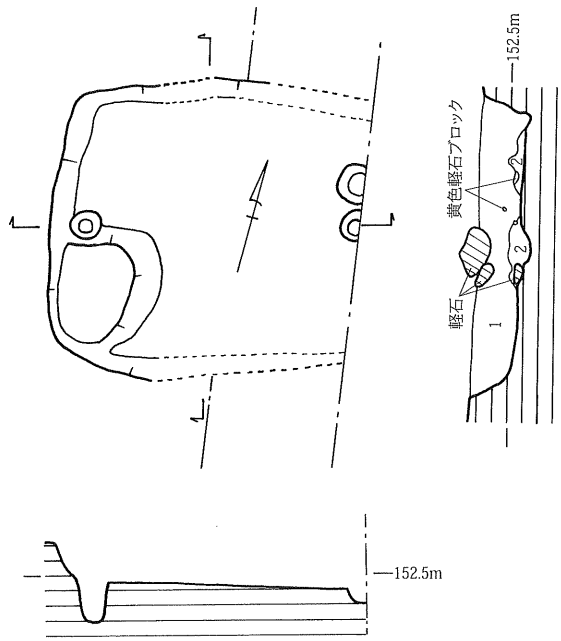
石組遺構は３基確認された。３基とも平面プランは長方形で同じであるが、使用する石がそれぞれ異なっている。

SC60

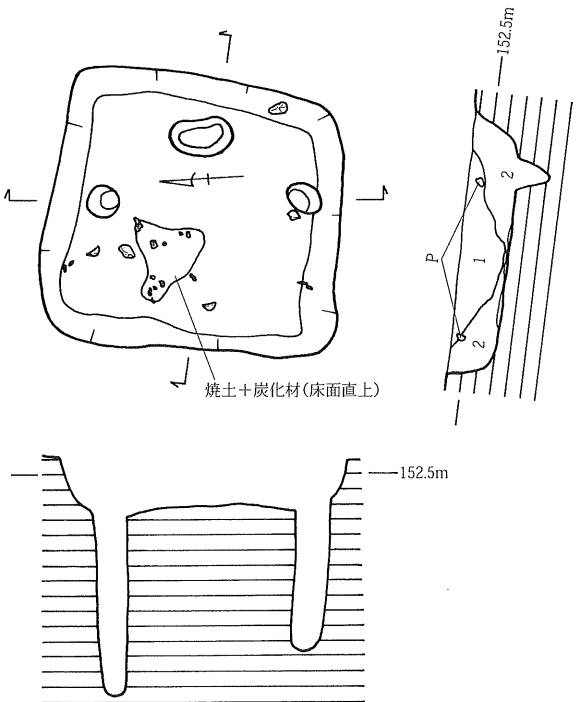
R－７区で検出され、平面プランは長方形で、**SC61**を切っている。土坑を掘り下げると、まず灰色の粘質土が混じる黒色土が検出され、その下層には礫を多く含んだ灰色の粘土層で、それらを除くと砂岩礫を箱型に積み上げた石組みが検出された。土坑の床から壁にかけては灰色～灰黄色の粘質土を積み上げ、それによって砂岩円礫（主に直径15cm）を固定している。礫は扁平なものを使用し、打ち欠いて出来る平らな面や、自然面でも平らな面を土坑の内側に向け方形を作り出している。これらの礫は土坑の内側を向いている面のみ赤く変色している。床面の礫の上には３～４cmの厚さで炭化物の層が堆積していた。壁はもう少し高く礫を積み上げたと思われるが、粘土と共に礫も崩れてしまい、土坑内部に流れ落ちていた。石組土坑は横市川流域では鶴喰遺跡や中尾遺跡で検出されたが、未だ用途は不明である。共通しているのは埋土に炭化物を含むこと、土坑内側に向く礫が赤く変色している点で、このことは内部で火を焚いたことが推測される。



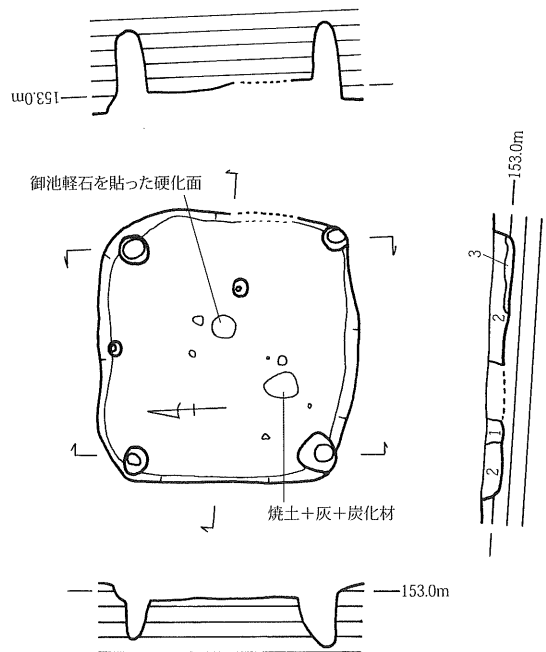
SA01
1 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



SA02
1 黒色微粘質シルト層　7㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



SA03
1 黒褐色シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
2 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



SA10
1 黄灰白砂質シルト層
2 黒褐色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む

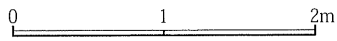


図68　竪穴状遺構（SA）実測図

SC125

O－５区で検出された平面プランが長方形の石組土坑で、**SC122・SC123**を切っている。上部と下部で異なる石組土坑で、それぞれ使用する石も異なる。上部石組みは深さ20cmから検出され、土坑の南側と西側に軽石が入っており、規則的に組まれていない。下部石組みは、扁平で厚さ約10cmの輝石安山岩を用い、土坑内を規則的に箱形に組んでいる。下部の石組土坑には、床面に敷かれた礫の上面に３～５cmの炭化物の層が堆積している。また土坑内面を向いている礫の表面は赤く変色しており、やはり土坑内部で火を使用した可能性がある。床や壁の礫を固定する粘質土は灰黄色弱粘質シルトで、桜島末吉軽石（Ｐ11）下の粘土層を使用し、礫を裏込めしたものと思われる。

SC130

Ｐ－５区で検出された。平面プランは基本的に長方形であるが、土坑の北側に浅い土坑が付随している。この土坑は他の石組土坑とは異なり、こぶし大の小さめの礫を箱形に組んでいる。しかし他の石組土坑と同じで、土坑内面を向く礫の表面は赤く変色しており、床面に敷かれた石の上面には炭化材の層が薄く堆積し、礫の表面にススがこびりついていた。また灰白色の粘土で礫が裏込めされている点も同じである。組まれた礫の中には、側面には見られなかったが、床面には礫に混ざってやや大きめの軽石と、チャートが少し入っていた。他の石組土坑に比べて礫が小さい分、組み上げるのに手間がかかる印象を受ける。

（７）その他の遺構は焼土遺構（SJ）が２基、石積遺構（SI）が３基、中世土師器集積遺構（SX）が１基と、その他に小溝状遺構群が確認された。

SJ1

Ｍ－７区で検出され、黄灰色シルト土を埋土に持つ焼土遺構である。比較的大きな軽石や、炭化物を含む。

SI2

Ｎ－７区で検出され、径が約15cmの軽石を積んでいる。それら軽石を除くと、ピット状の落ち込みが確認された。

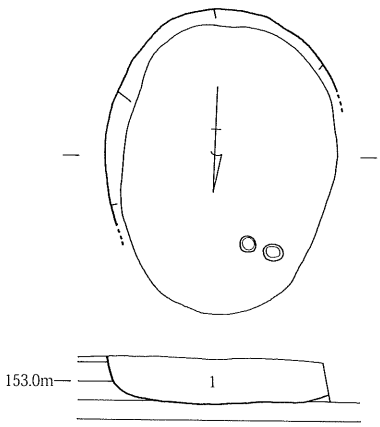
SX1

Ｎ－６区で検出した土師器集積遺構である。土師器群の下位には、落ち込みは確認されなかった。

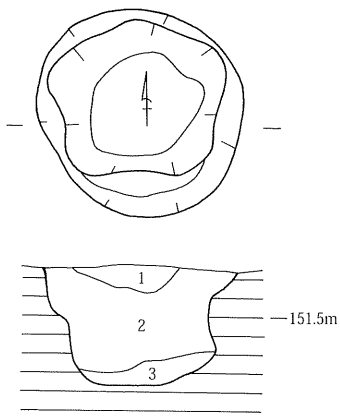
小溝状遺構群

第一次調査南区の東側の一部では、桜島文明軽石（４層：15世紀後半）を埋土とする小溝状遺構群が確認された。規則的な並びを呈しており、耕起痕とみられるが、写真による記録のみにとどめた。

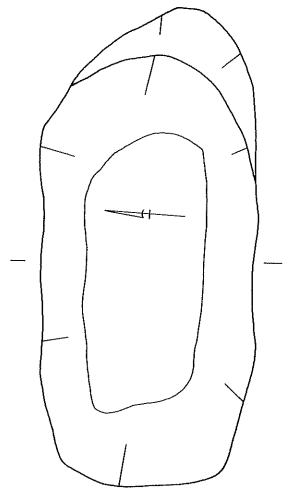
（文責：外山亜紀子）

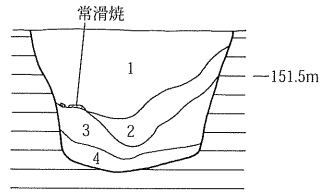


SC01
1 5層

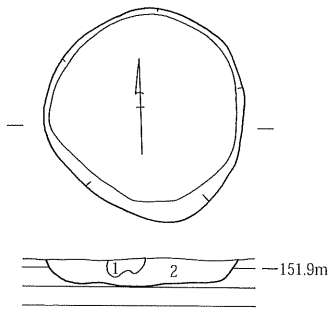


SC02
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒色微粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む

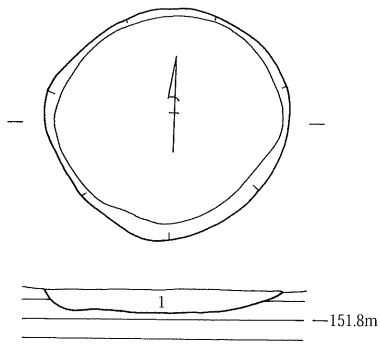




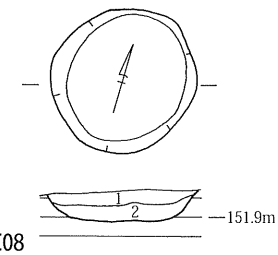
SC03
1 黒色弱粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
4 黒色微粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む



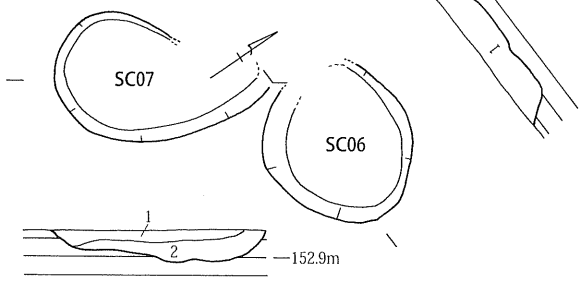
SC04
1 黒褐色シルト層　3㎜以下の黄色軽石、灰色シルトブロックを含む
2 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む



SC05
1 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む

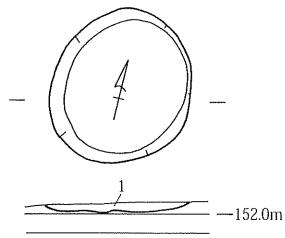


SC08
1 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

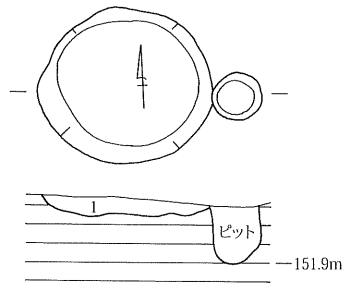


SC07
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

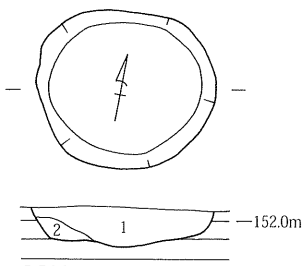
SC06
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



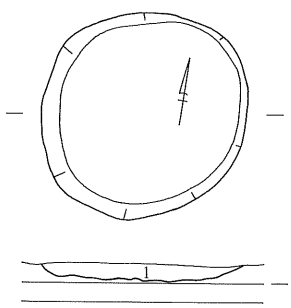
SC09
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



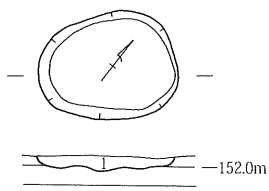
SC10
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



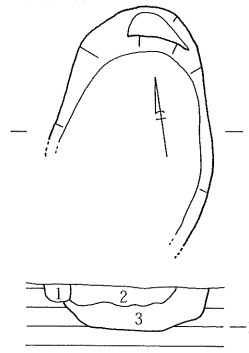
SC11
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む



SC12
1 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む



SC13
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



SC14
1 黄灰色砂質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

図69　土坑（SC）実測図(1)

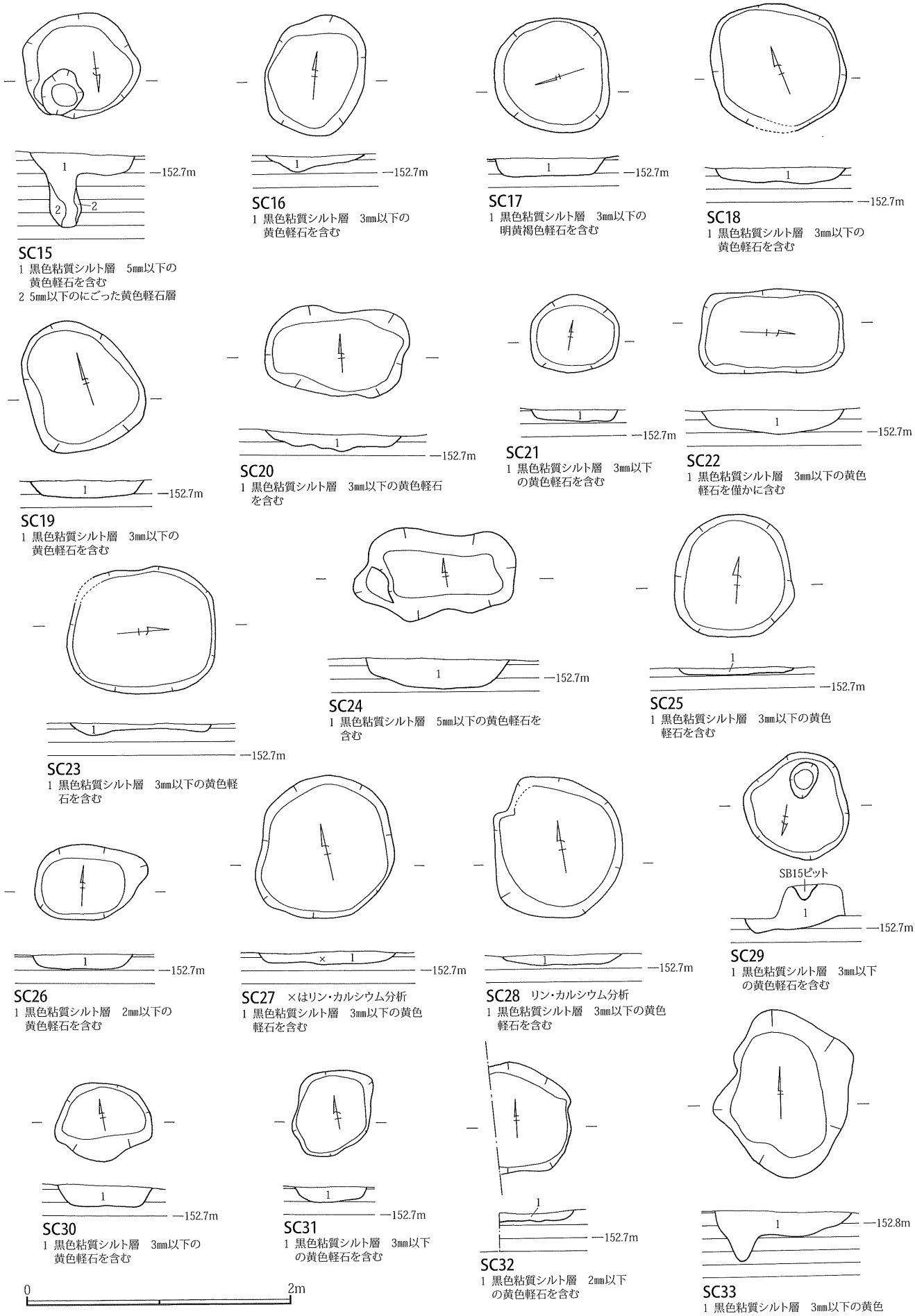
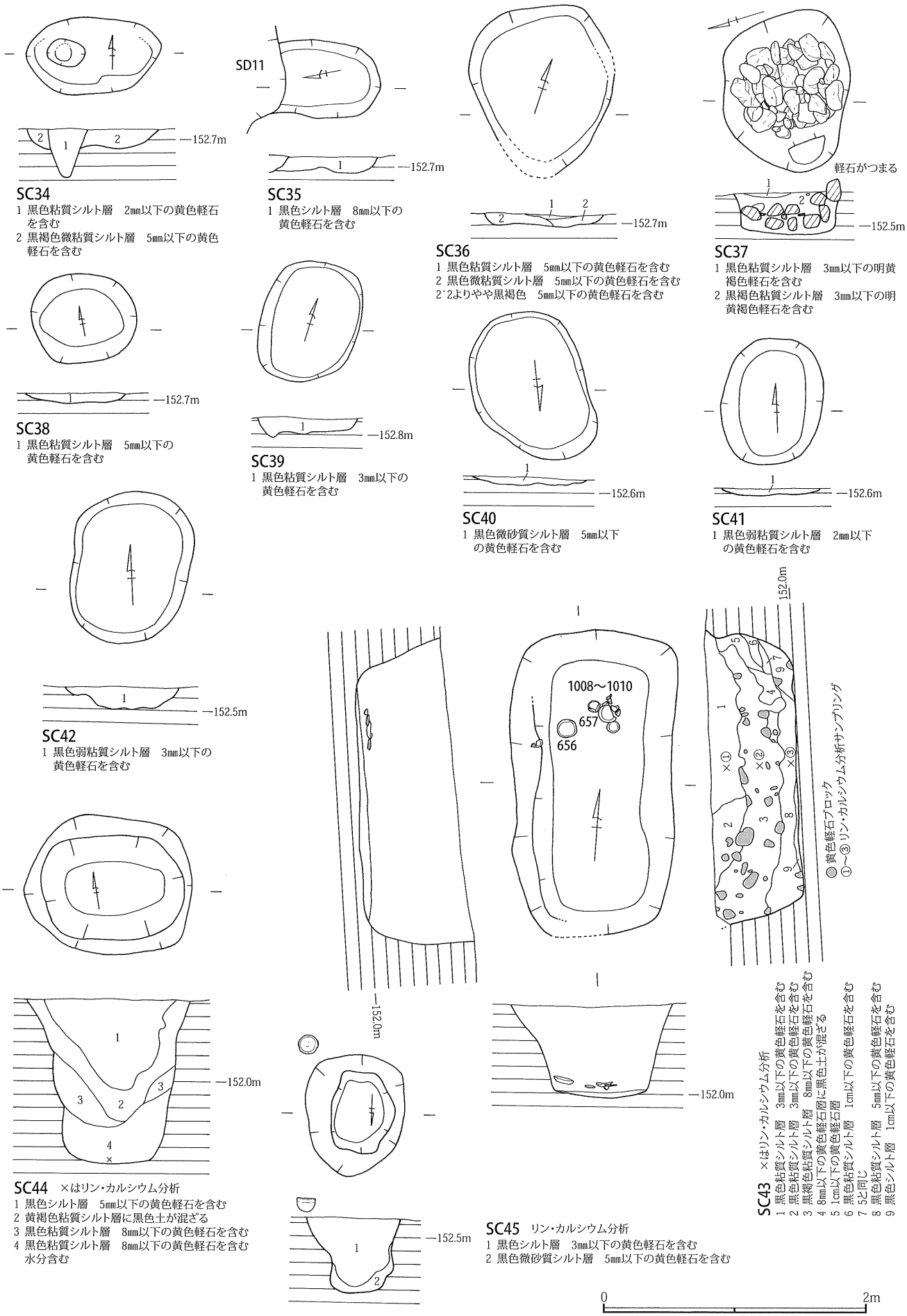


図70　土坑（SC）実測図(2)



SC34
1 黒色粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

SC35
1 黒色シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む

SC36
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2´2よりやや黒褐色　5㎜以下の黄色軽石を含む

SC37
1 黒色粘質シルト層　3㎜以下の明黄褐色軽石を含む
2 黒褐色粘質シルト層　3㎜以下の明黄褐色軽石を含む

SC38
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

SC39
1 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む

SC40
1 黒色微砂質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

SC41
1 黒色弱粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を含む

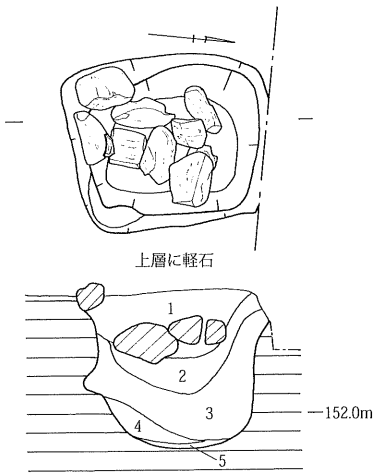
SC42
1 黒色弱粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む

SC43　×はリン・カルシウム分析
1 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒褐色粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
4 8㎜以下の黄色軽石層に黒色土が混ざる
5 1cm以下の黄色軽石層
6 黒色粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
7 5と同じ
8 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
9 黒色シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む

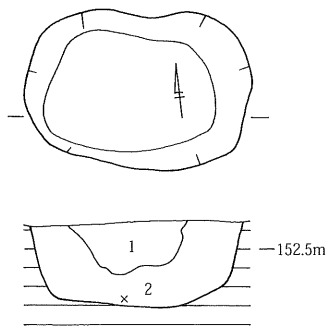
SC44　×はリン・カルシウム分析
1 黒色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黄褐色粘質シルト層に黒色土が混ざる
3 黒色粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
4 黒色粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む水分含む

SC45　リン・カルシウム分析
1 黒色シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色微砂質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

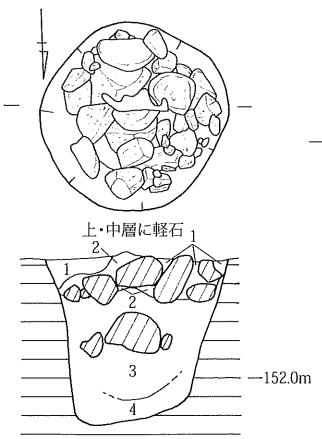
図71　土坑（SC）実測図(3)



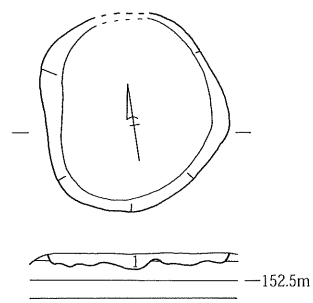
SC46 リン・カルシウム分析
1 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む　しまる
2 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
4 1cm以下のにごった黄色軽石層に黒色シルトを僅かに含む
5 1cm以下のにごった黄色軽石層と黒色シルトの混合層



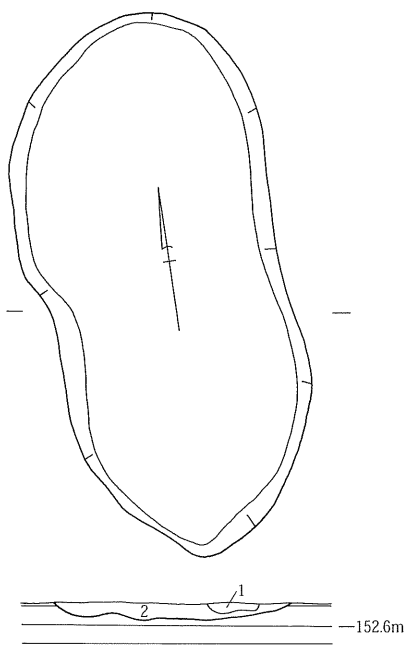
SC47 ×はリン・カルシウム分析
1 黒褐色微砂質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む



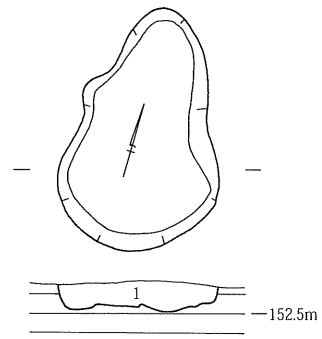
SC48
1 黒色シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
2 黄灰色粘質シルト層
3 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む　灰白色シルトを僅かに含む
4 最下部は黒味が強く水分を多く含む



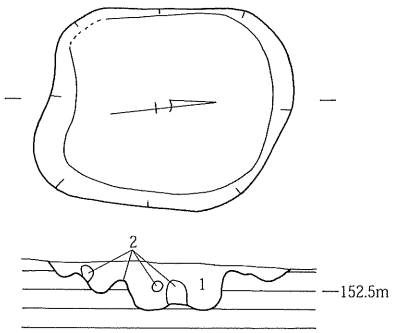
SC49
1 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



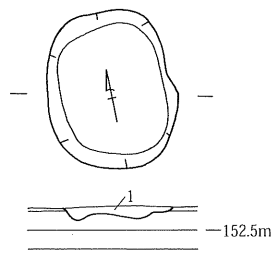
SC50
1 淡黄色シルト土　灰か?
2 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



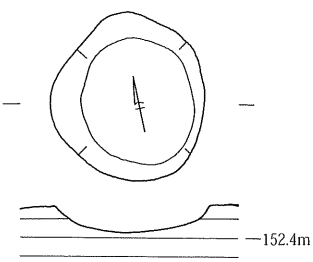
SC51
1 黒色弱粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む



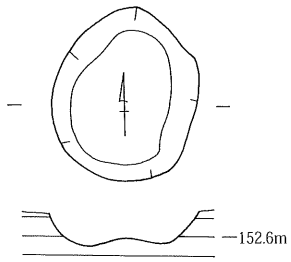
SC52
1 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 5㎜以下の黄色軽石を多く含む黒色シルト層



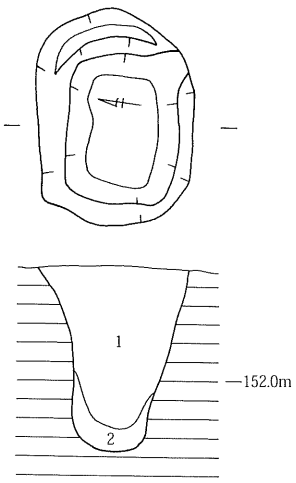
SC53
1 黒色弱粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む



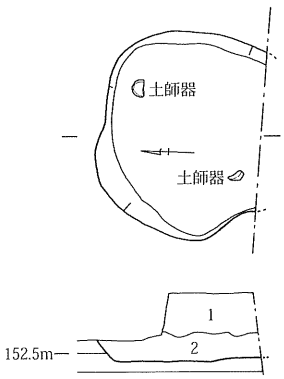
SC54
1 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



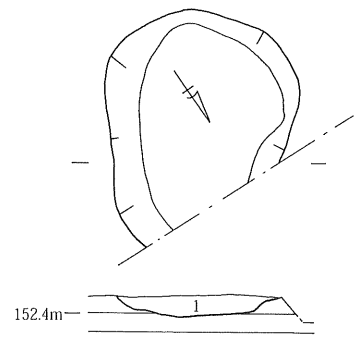
SC55



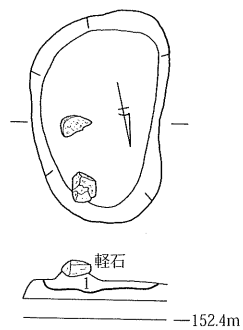
SC56
1 黒色粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む



SC57
1 黒色微粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



SC58
1 黒色微粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む



SC59
1 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

図72　土坑（SC）実測図(4)

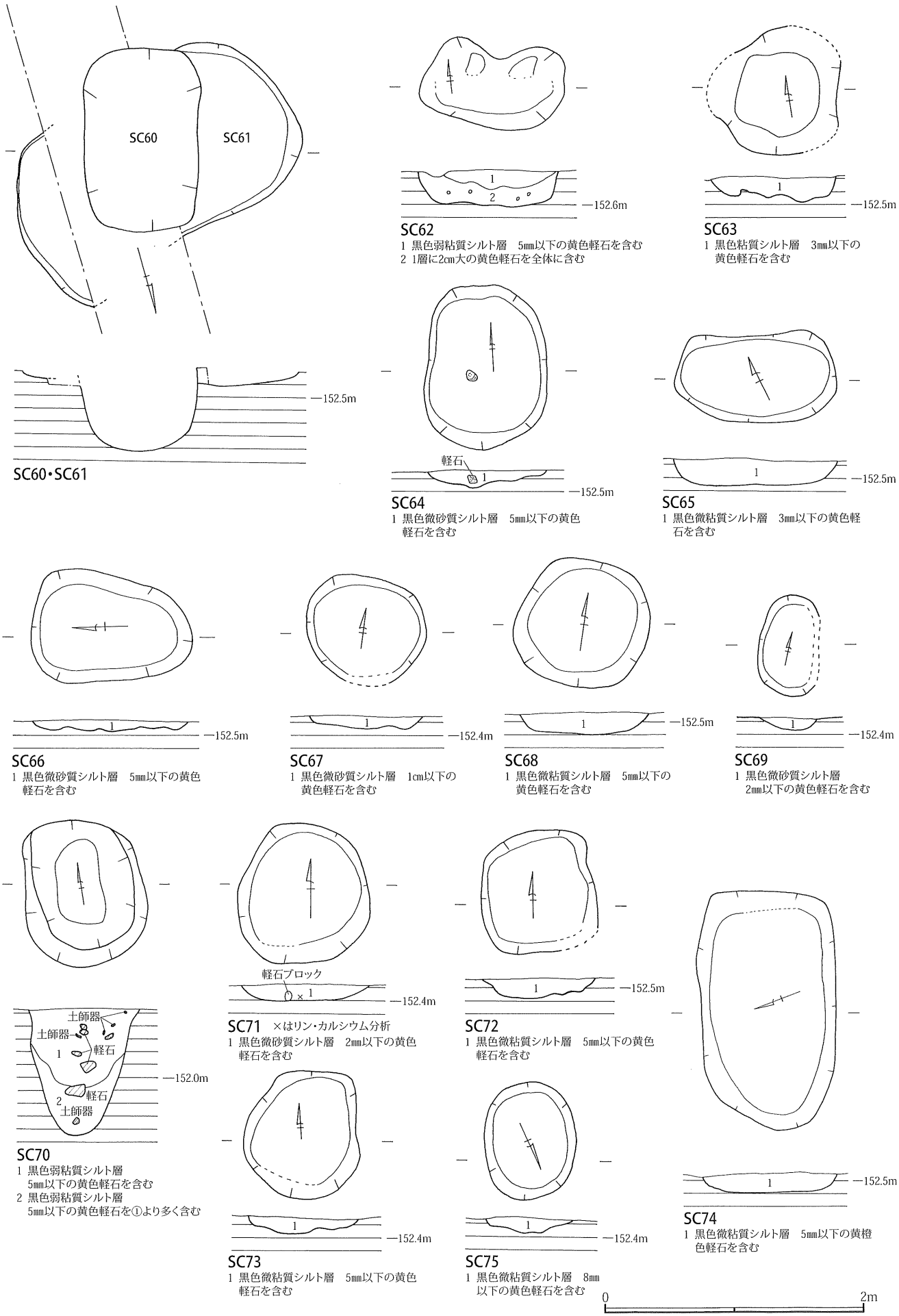
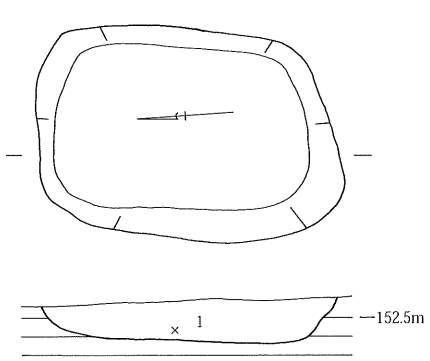
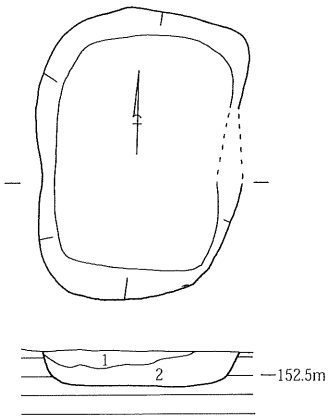


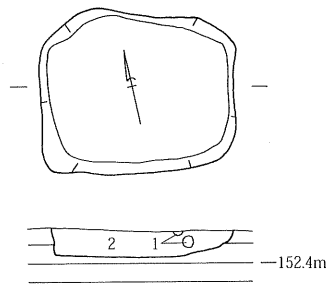
図73　土坑（SC）実測図(5)



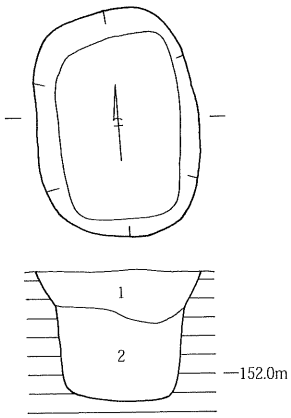
SC76 ×はリン・カルシウム分析
1 黒色微粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む



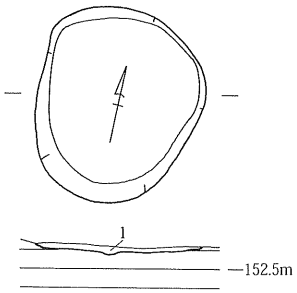
SC77 リン・カルシウム分析
1 黒色微粘質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色弱粘質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む



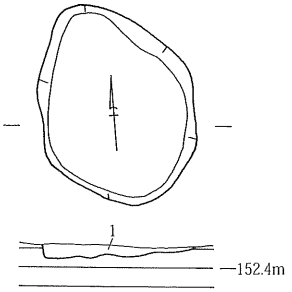
SC78
1 黒褐色シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
2 黒色粘質シルト層　3mm以下の黄色軽石を含む



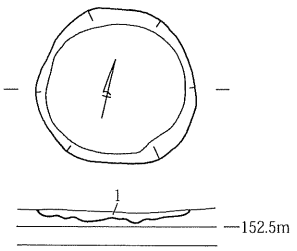
SC80 リン・カルシウム分析
1 黒色微粘質シルト層
5mm以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層
5mm以下の黄色軽石を含む



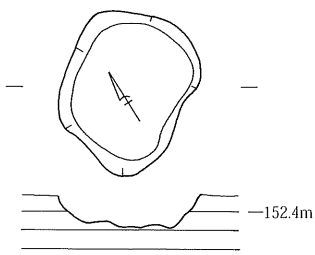
SC81
1 黒色弱粘質シルト層　3mm以下の
黄色軽石を含む



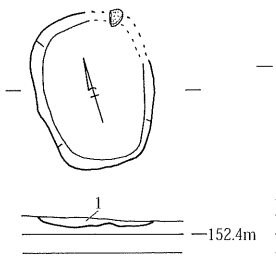
SC82 リン・カルシウム分析
1 黒色弱粘質シルト層　3mm以下の
黄色軽石を含む



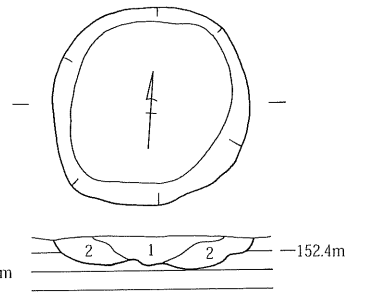
SC79
1 黒色粘質シルト層　3mm以下の
黄色軽石を含む



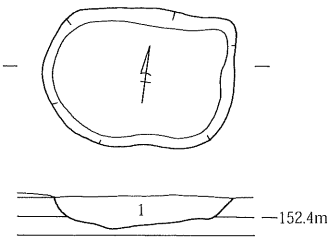
SC83



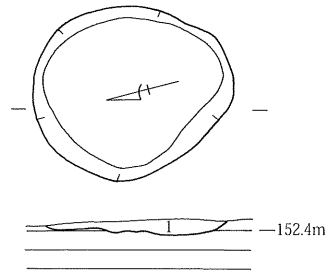
SC84
1 黒色弱粘質シルト層
2mm以下の黄色軽石を含む



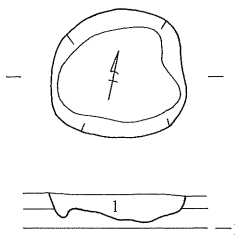
SC85
1 黒色弱粘質シルト層　2mm以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む



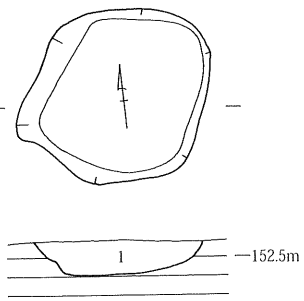
SC86
1 黒色弱粘質シルト層　5mm以下の
黄色軽石を含む



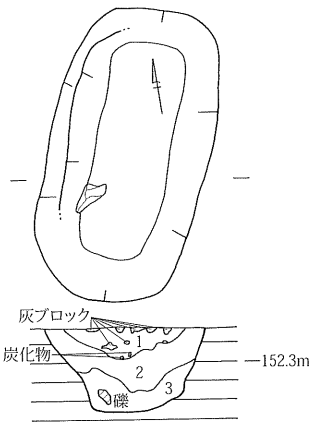
SC87
1 黒色弱粘質シルト層　6mm以下の
黄色軽石を含む



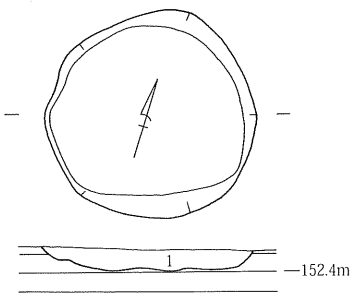
SC88
1 黒色弱粘質シルト層
2mm以下の黄色軽石を含む



SC89
1 黒色弱粘質シルト層　3mm以下の
黄色軽石を含む

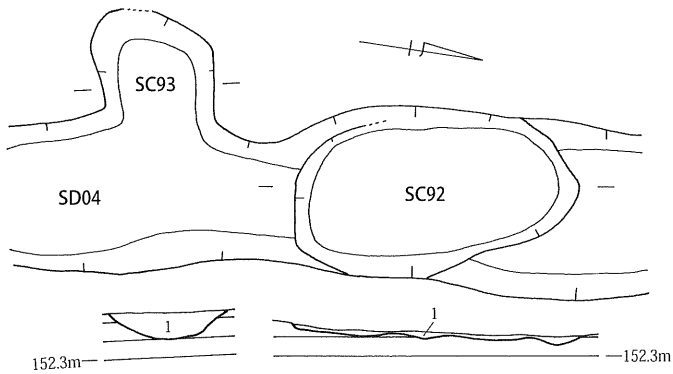


SC90
1 黒色粘質シルト層　2mm以下の黄色
軽石を含む
2 黒色粘質シルト層　5mm以下の黄色
軽石を含む
3 黒色粘質シルト層　5mm以下の黄色
軽石を含む



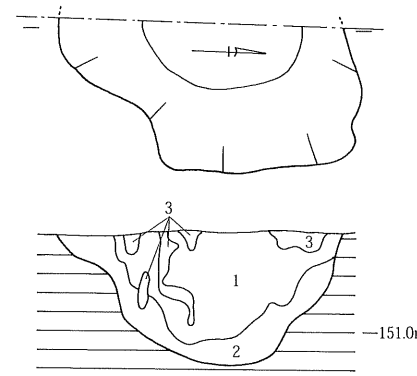
SC91
1 黒色微粘質シルト層　5mm以下の黄色
軽石を含む

図74　土坑（SC）実測図(6)

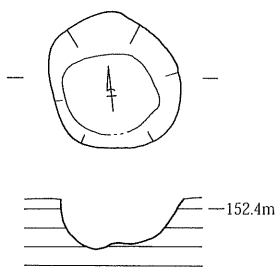


SC93
1 黒色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む

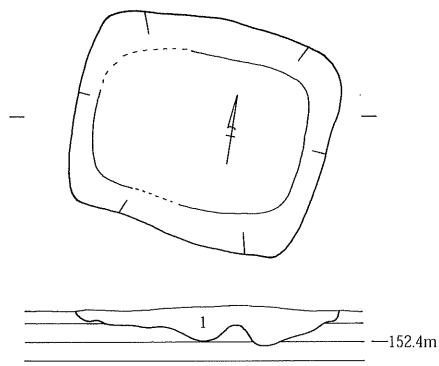
SC92
1 黒色弱粘質シルト層
3㎜以下の黄色軽石を含む



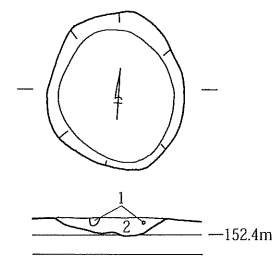
SC95
1 黒色微粘質シルト層　6㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
3 黒色弱粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む



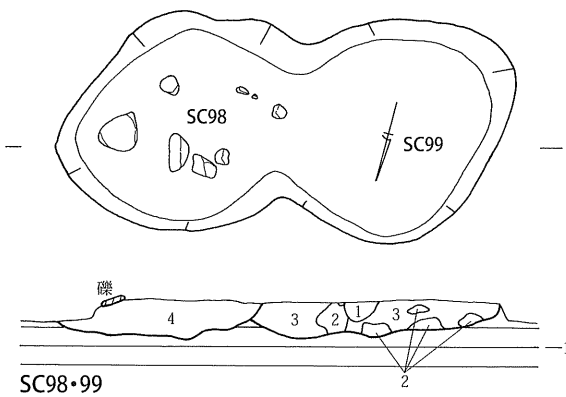
SC94



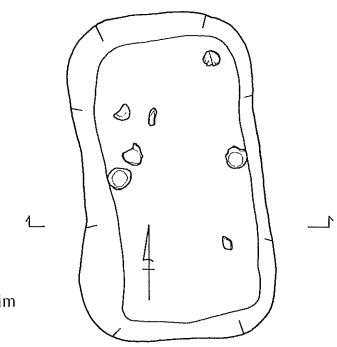
SC96
1 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

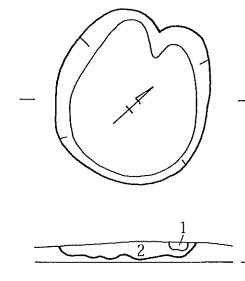


SC97
1 灰白色粘土塊
2 黒色微粘質シルト層　1cm以下の
黄色軽石を含む

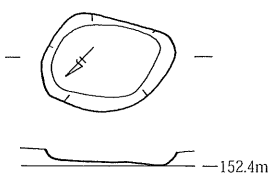


SC98・99
1 灰褐色シルト層　5㎜以下の橙色軽石を僅かに含む
2 1と黒色シルトの混合層
3 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
4 黒色弱粘質シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む

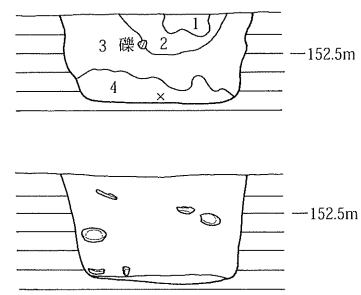




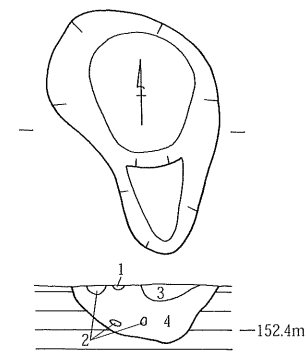
SC101
1 2層の混入
2 黒色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



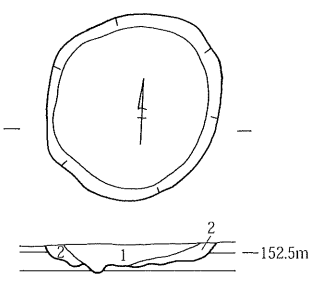
SC103



SC100 ×はリン・カルシウム分析
1 黒褐色微砂質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒色弱粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
4 黒色粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む



SC102
1 灰白色シルト層
2 5㎜以下の黄色軽石ブロック
3 明黄褐色シルトブロック層、1cm以下
の黄色軽石、黒褐色シルトの混合層
4 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄
色軽石を含む



SC104
1 黒色弱粘質シルト層　2㎜以下の
黄色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の
黄色軽石を含む

図75　土坑（SC）実測図(7)

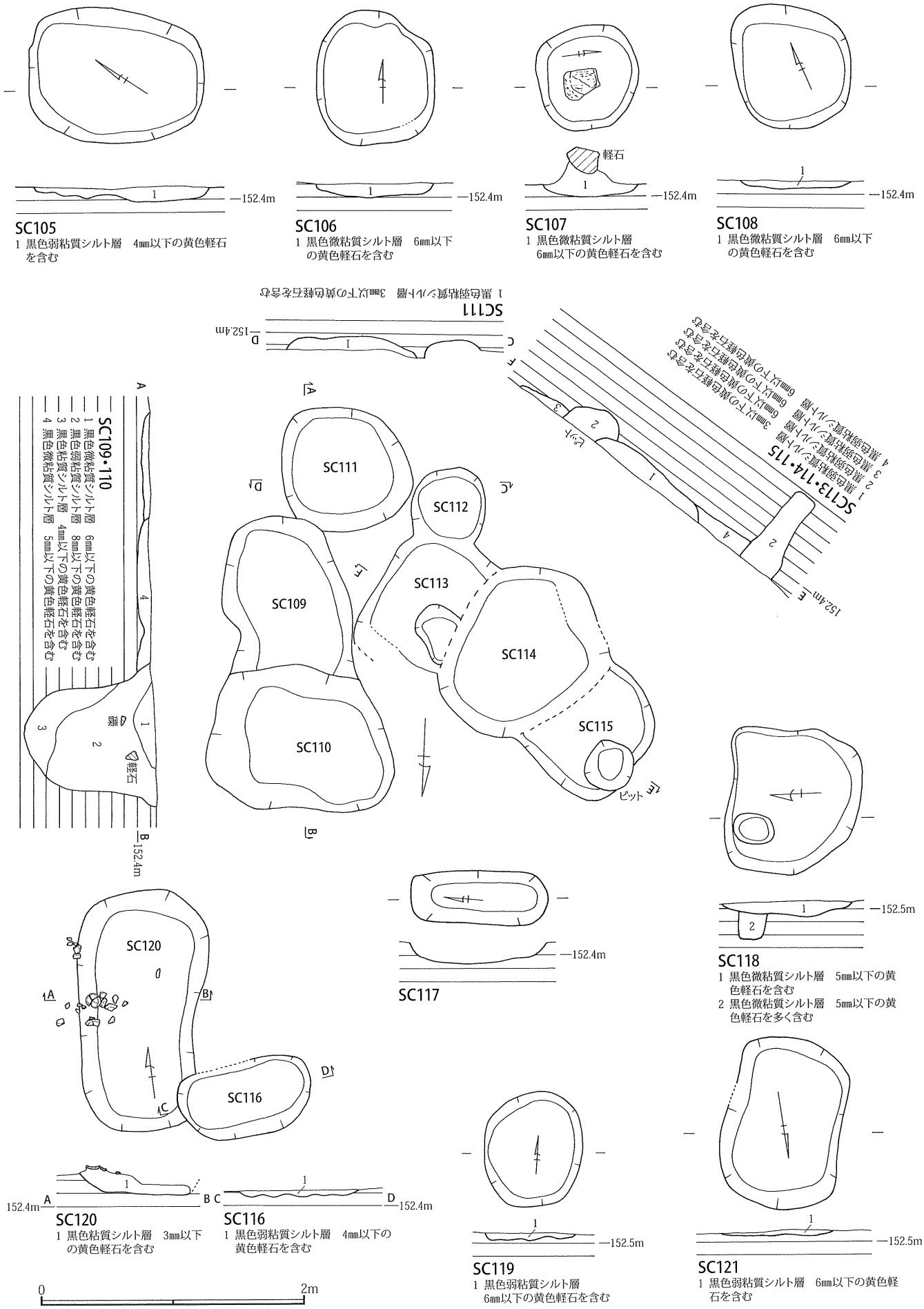


図76　土坑（SC）実測図(8)

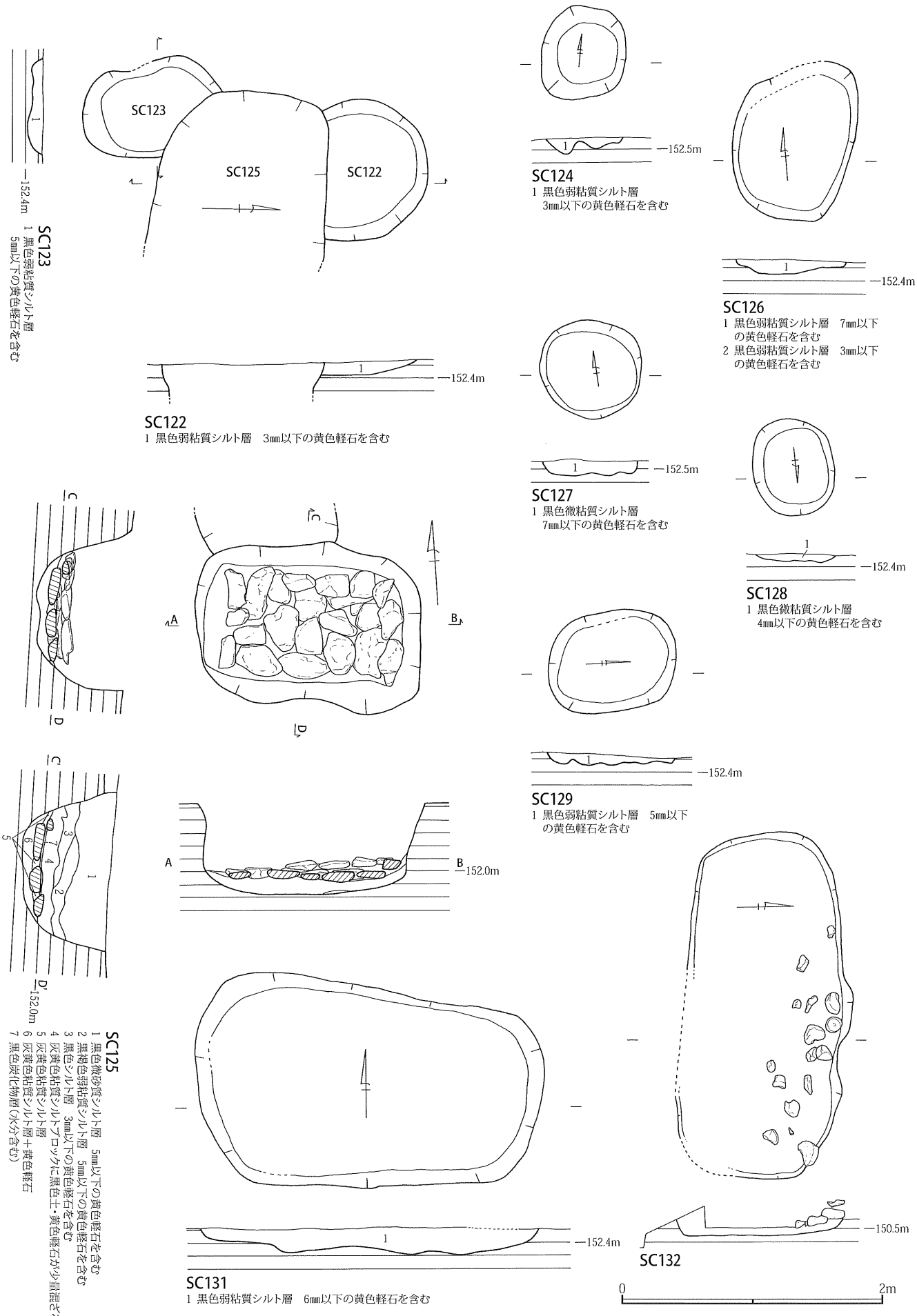
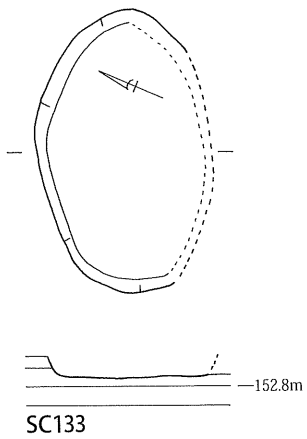
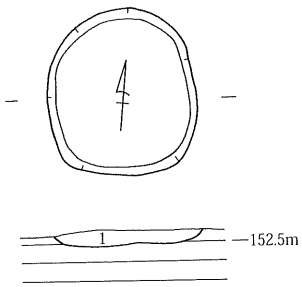


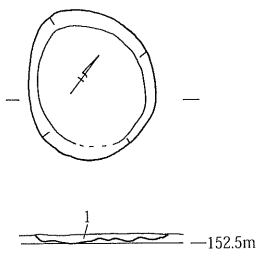
図77　土坑（SC）実測図(9)



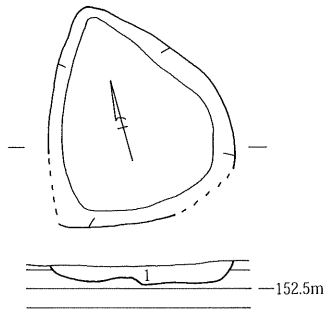
SC133



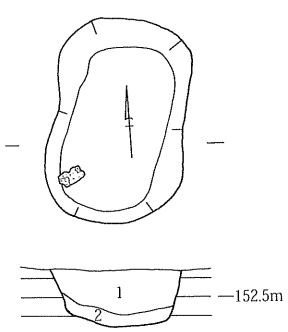
SC134
1 黒色微粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む



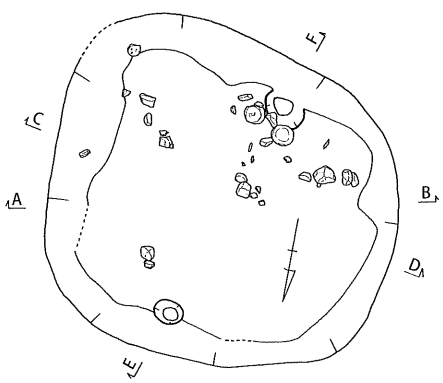
SC135
1 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

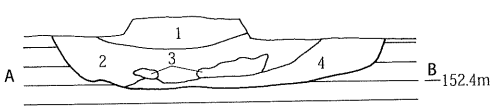


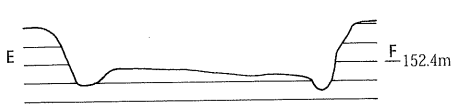
SC136
1 黒色弱粘質シルト層　7㎜以下の黄色軽石を含む



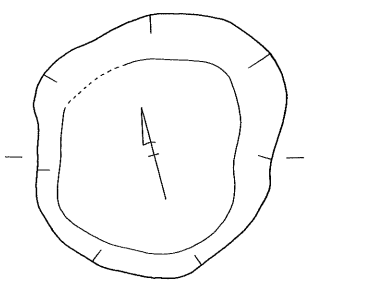
SC137
1 黒色弱粘質シルト層　6㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色微粘質シルト層　6㎜以下の黄色軽石を含む



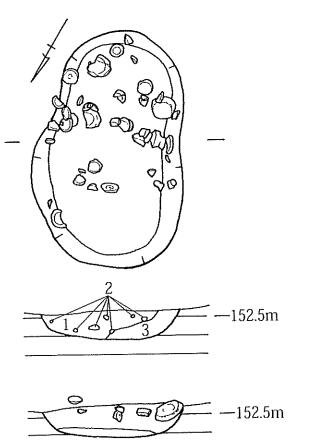




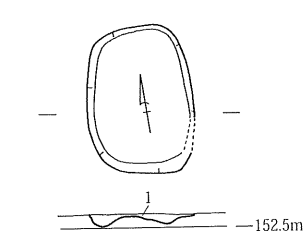
SC138
1 黒色微粘質シルト層　6㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色シルト層　3㎜以下の黄色軽石と細粒の白色軽石を含む
3 明黄褐色シルトと2の混合層　5㎜以下の黄色軽石を含む
4 黒色微粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む



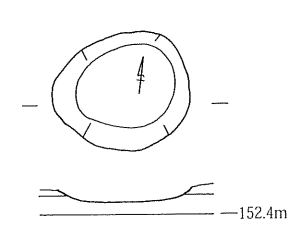
SC139
1 黒色シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色シルト層　7㎜以下の黄色軽石を含む



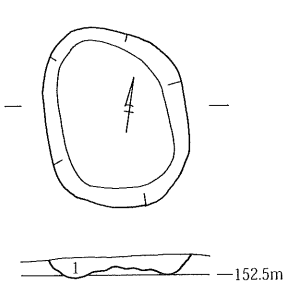
SC140
1 黒色シルト層　3㎜以下の黄色軽石を多く含む
2 灰色シルトブロック
3 黒色シルト層　細粒の黄色軽石を僅かに含む



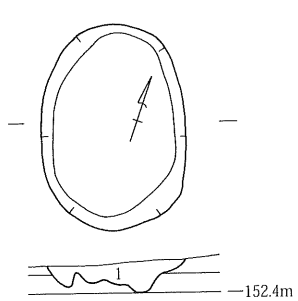
SC142
1 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



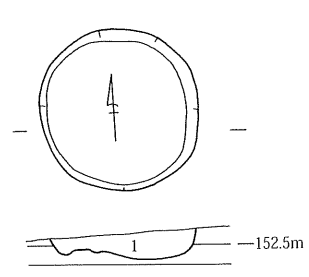
SC143



SC144
1 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



SC145
1 黒色微粘質シルト層　4㎜以下の黄色軽石を含む



SC146
1 黒色シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む

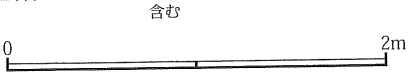


図78　土坑（SC）実測図(10)

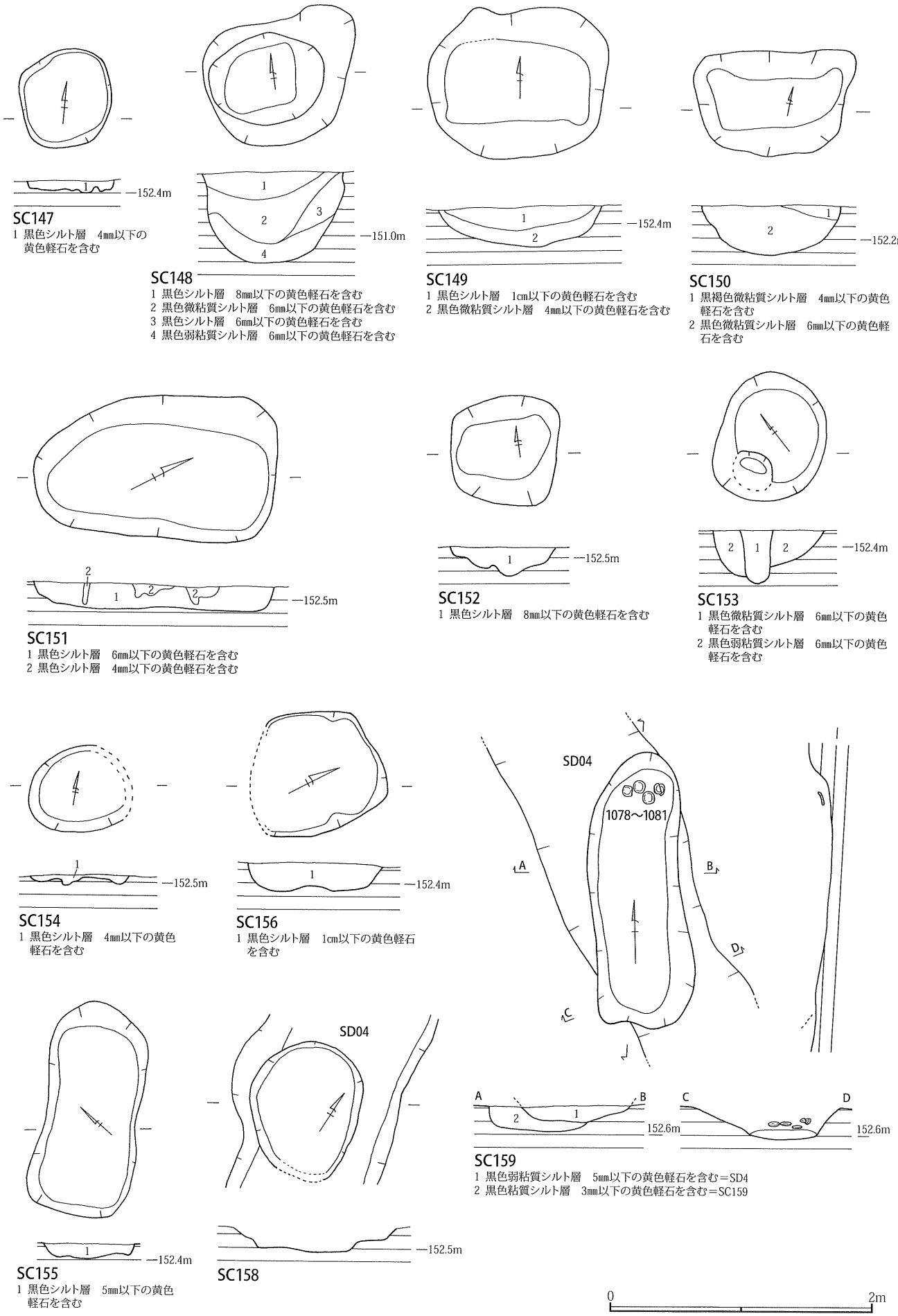
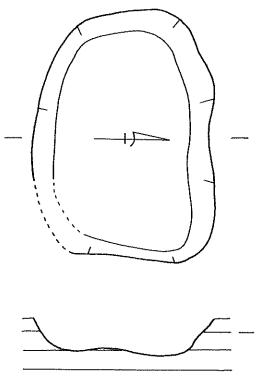
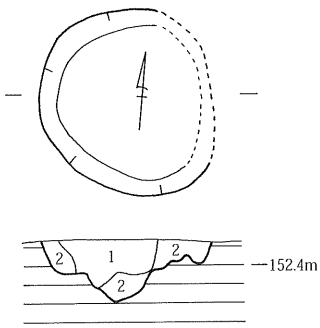


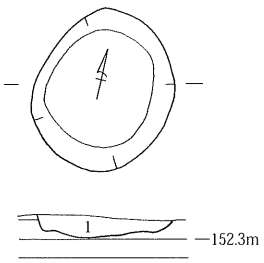
図79　土坑（SC）実測図(11)



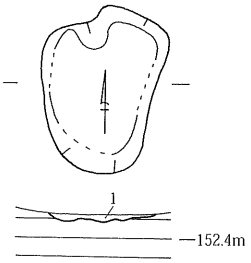
SC160



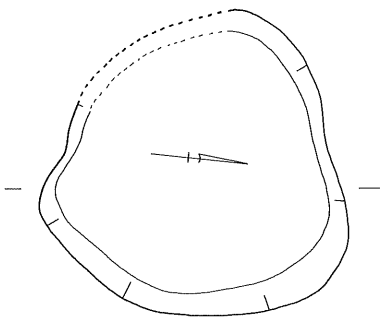
SC161
1 黒色シルト層　7㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

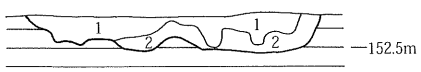


SC162
1 黒色シルト層　4㎜以下の
黄色軽石を含む

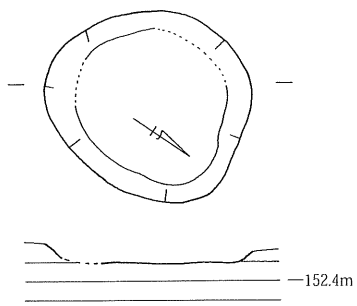


SC163
1 黒色微粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む

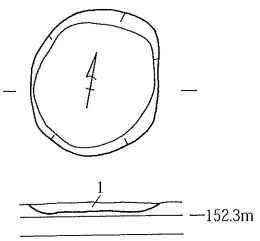




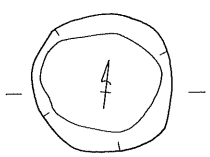
SC164
1 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
やや軽石が多い

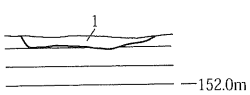


SC165

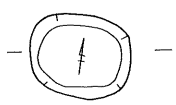


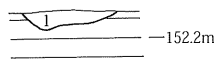
SC166
1 黒色微粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



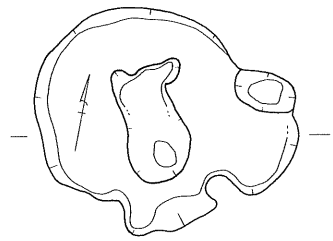


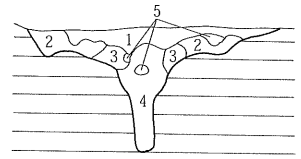
SC169
1 黒色微粘質シルト層
3㎜以下の黄色軽石を含む



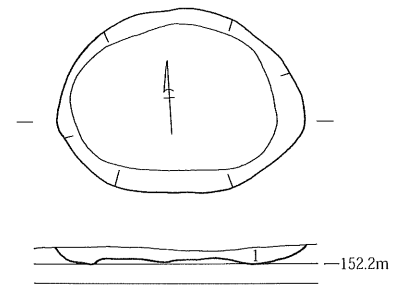


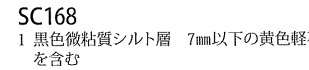
SC170
1 黒色微粘質シルト層
7㎜以下の黄色軽石を含む



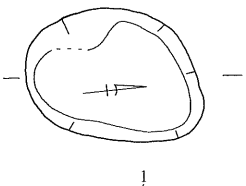


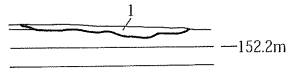
SC167
1 黒褐色微粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒褐色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を多く含む
4 黒褐色粘質シルト層　5層を多く含む
5 暗灰黄色粘土塊



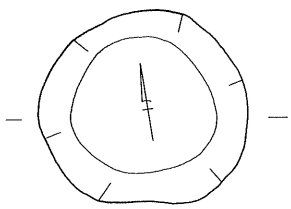


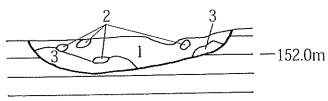
SC168
1 黒色微粘質シルト層　7㎜以下の黄色軽石
を含む



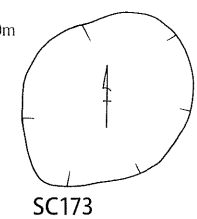


SC171
1 黒色微粘質シルト層
6㎜以下の黄色軽石を含む

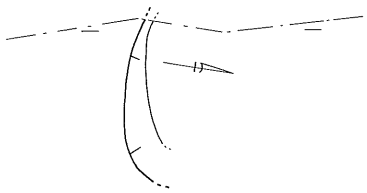


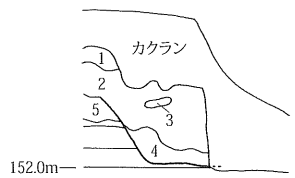


SC172
1 黒色シルト層　1cm以下の黄色・白
色軽石を含む
2 3㎜以下の黄色軽石ブロック
3 黒褐色シルト層　5㎜以下の黄色・
白色軽石を含む

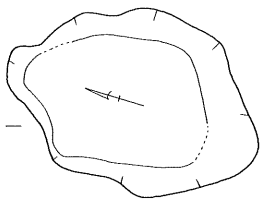


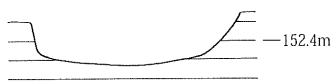
SC173





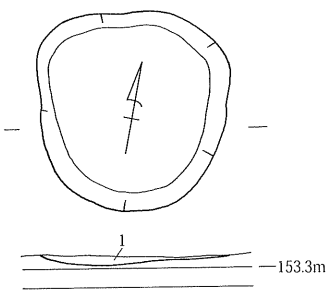
SC174
1 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄橙色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層　1cm以下の黄橙色・白色軽石を含む
3 灰黄褐色シルトのブロックを含む2層
4 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄橙色軽石を含む
5 黒褐色微粘質シルト層　9㎜以下の黄橙色軽石を含む



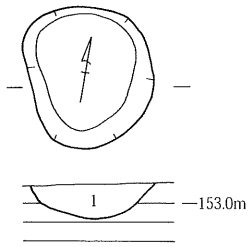


SC175

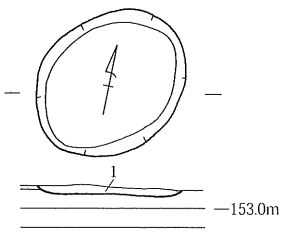
図80　土坑（SC）実測図(12)



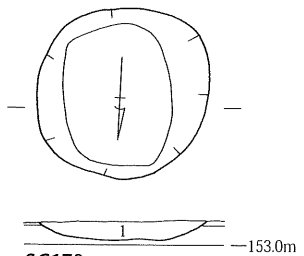
SC176
1 黒褐色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



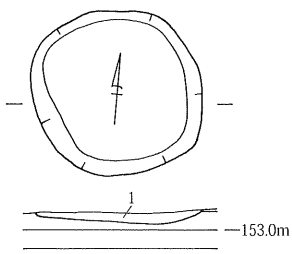
SC177
1 黒色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



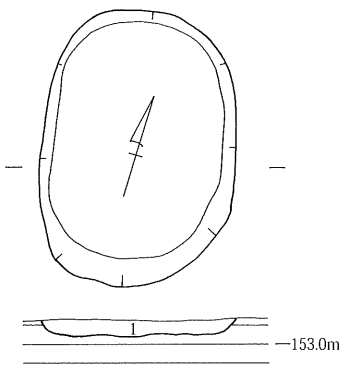
SC178
1 黒褐色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



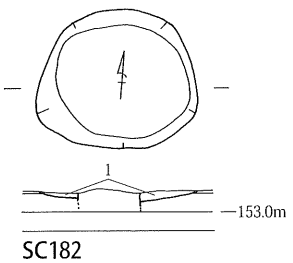
SC179
1 黒褐色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



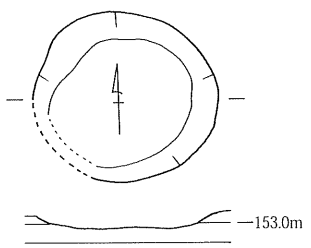
SC180
1 黒褐色微粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



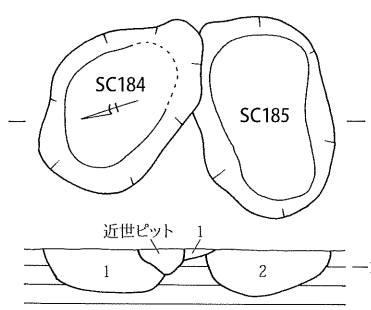
SC181
1 黒褐色弱粘質シルト層　8㎜以下の
黄色軽石を含む



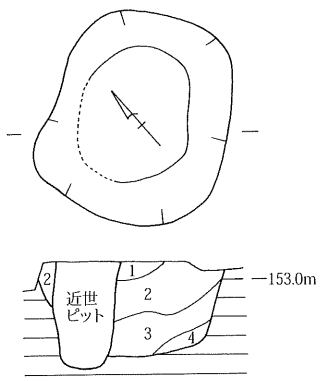
SC182
1 黒褐色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



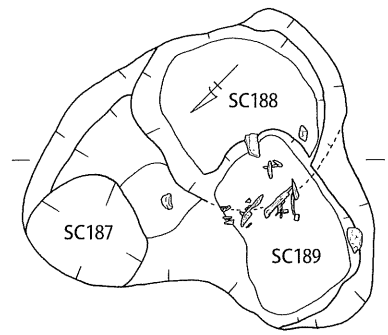
SC183

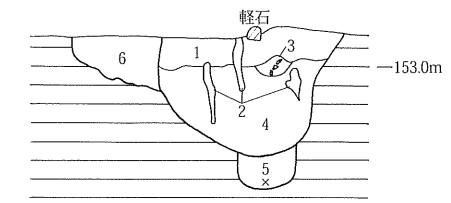


SC184・185
1 黒褐色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 1層よりやや黒味がかる層　8㎜以下の黄色軽石を含む

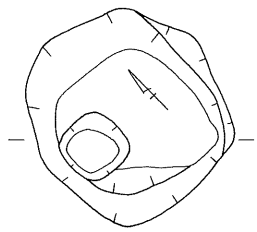


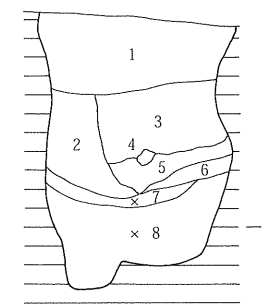
SC186　リン・カルシウム分析
1 黒褐色粘質シルト層　5㎜以下の明黄褐色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下のにぶい黄色軽石を含む
3 黒褐色シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
4 1cm以下の黄色軽石を主体とし、黒褐色シルトを含む層



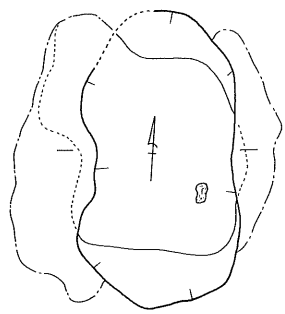


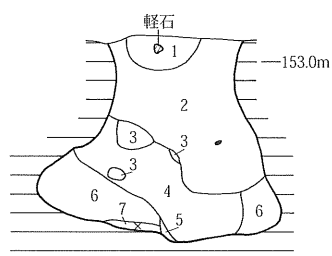
SC187・188・189　×はリン・カルシウム分析
1 黒褐色微粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石含む
2 黒色シルトの植物痕
3 炭化物を含む黒色シルト層　1㎜以下の黄色軽石と暗灰
黄色シルトを含む
3 黒色微粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を含む
4 黒色弱粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を含む
5 黒褐色微粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を含む
6 5層とほぼ同じでしまる



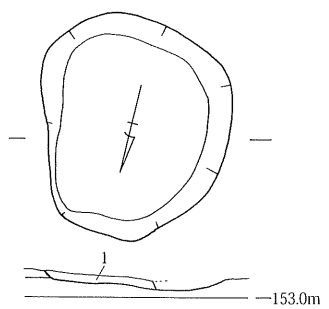


SC190×はリン・カルシウム分析
1 黒褐色微粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層
2㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒褐色微粘質シルト層
3㎜以下の黄色軽石を含む
4 褐色微細粒軽石に黒色シルト
が混じる
5 黒色弱粘質シルト層
微細粒軽石を僅かに含む
6 褐色2㎜以下の軽石層
7 黒色粘質シルト層
柔らかくべたつく
8 2㎜以下の黄色軽石層
少量の黒色シルトを含む



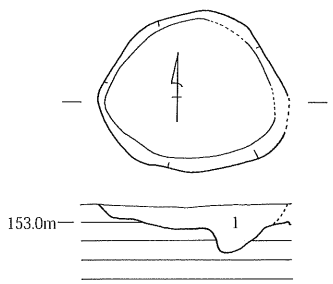


SC192
1 黒褐色微粘質シルト層　6㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層　4㎜以下の黄橙色軽石を含む
3 暗褐色の微細粒軽石に黒色シルトが混ざる層
4 黒色弱粘質シルト層　3㎜以下の黄橙色軽石含む
5 黒褐色の6～8mm大の軽石層
6 御池軽石層の中に黒褐色シルトが混ざった層
×は土壌サンプリング

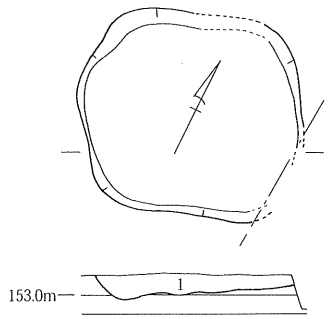


SC191
1 黒褐色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色
軽石を含む

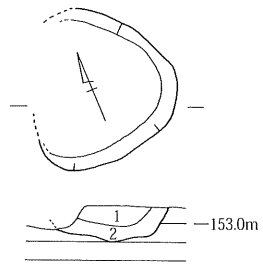
図81　土坑（SC）実測図(13)



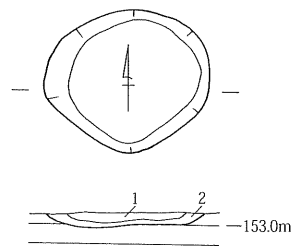
SC193
1 黒褐色粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



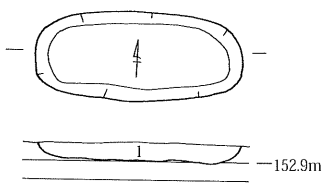
SC194
1 黒褐色粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



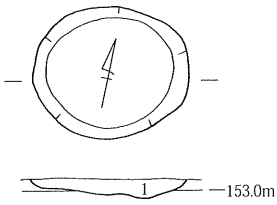
SC195
1 黒褐色粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



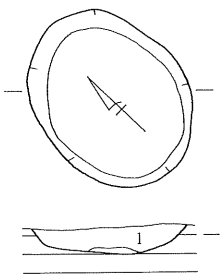
SC196
1 黒褐色シルト層　1.5cm以下の
荒い黄色軽石を含む
2 黒色粘質シルト層　5㎜以下の
黄色軽石を含む



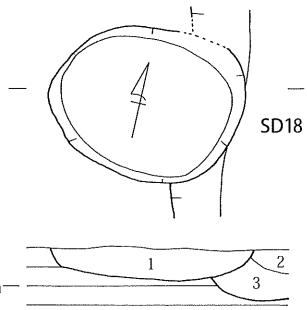
SC197
1 黒褐色粘質シルト層　5㎜以下の
黄色軽石を含む



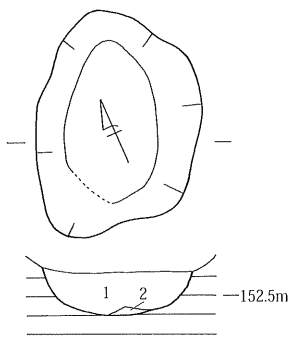
SC198
1 黒褐色シルト層　5㎜以下の
黄色軽石を含む



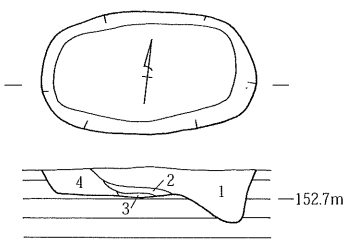
SC199
1 黒褐色粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



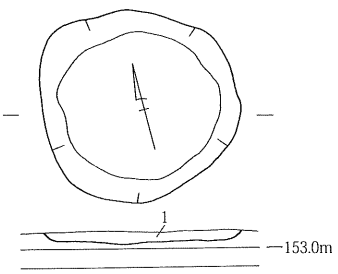
SC200
1 黒褐色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



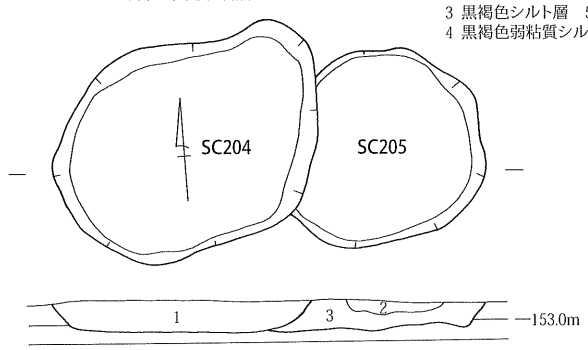
SC201
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 にごった5㎜以下の黄色軽石層



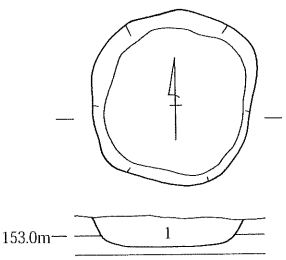
SC202
1 黒褐色シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
2 8㎜以下の黄色軽石層
3 黒褐色シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む
4 黒褐色弱粘質シルト層　5mm以下の黄色軽石を含む



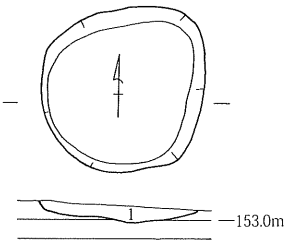
SC203
1 黒褐色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



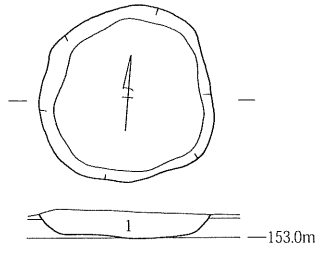
SC204・205
1 黒褐色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
3 黒褐色弱粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む



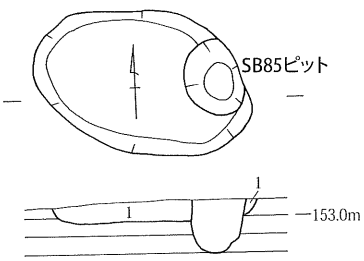
SC206
1 黒褐色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



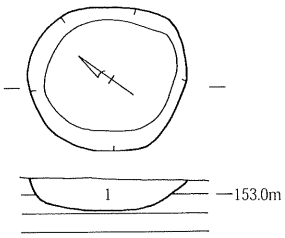
SC207
1 黒褐色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



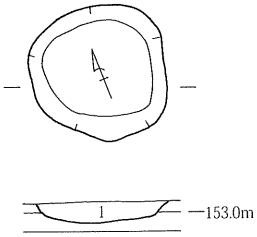
SC208
1 黒褐色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



SC209
1 黒褐色弱粘質シルト層　5㎜以下の
黄色軽石を含む



SC210
1 黒色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む



SC211
1 黒色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む

図82　土坑（SC）実測図(14)

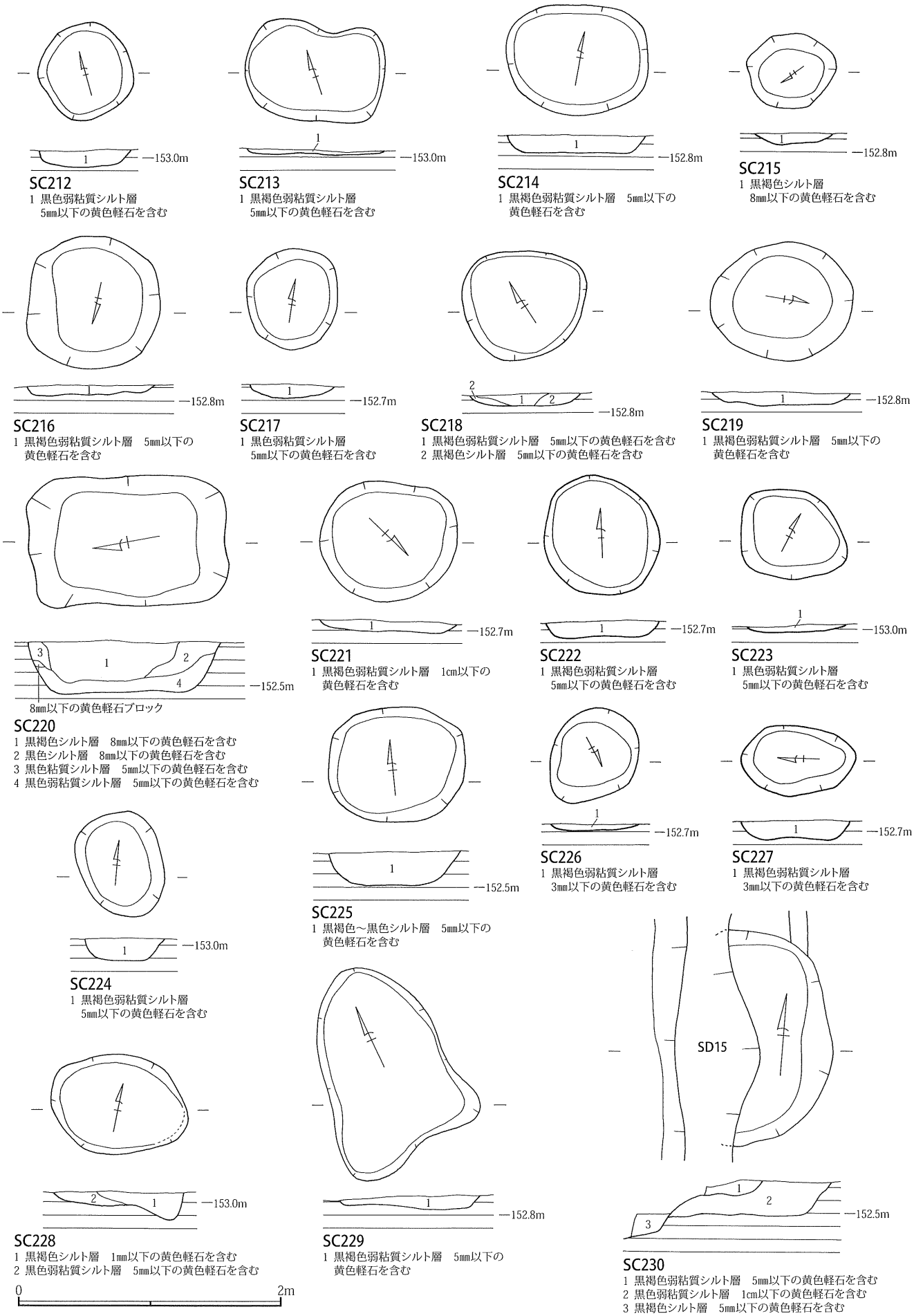
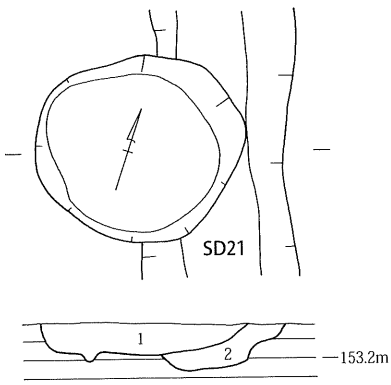
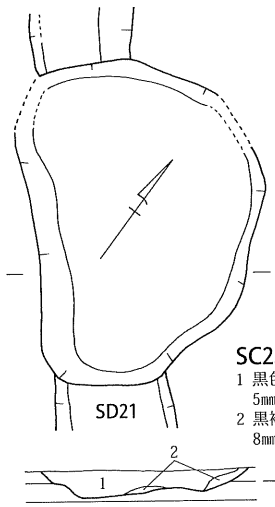


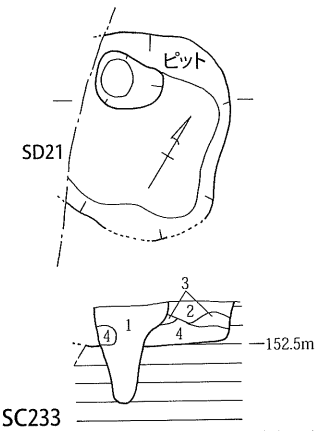
図83 土坑（SC）実測図(15)



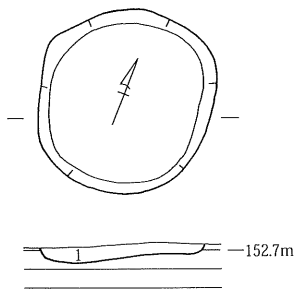
SC231
1 黒褐色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む



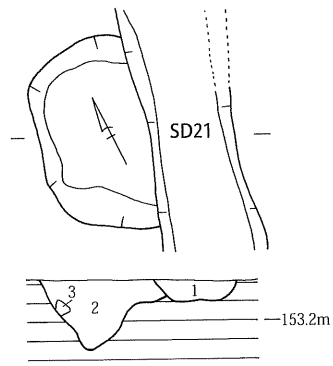
SC232
1 黒色弱粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色シルト層
8㎜以下の黄色軽石を含む



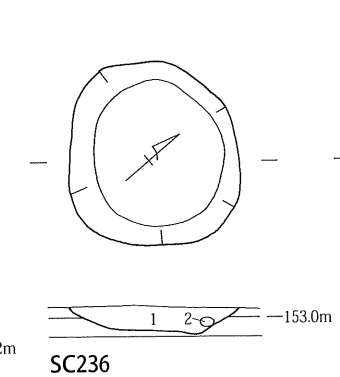
SC233
1 黒色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色シルト層　1cm以下の黄色軽石を含む
3 1cm以下の黄色軽石ブロック
4 2層と同じだがより固くしまる



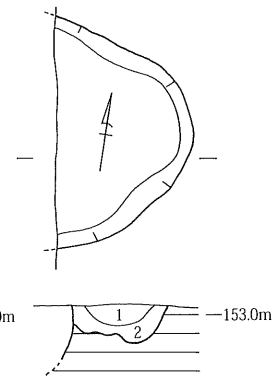
SC234
1 黒褐色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



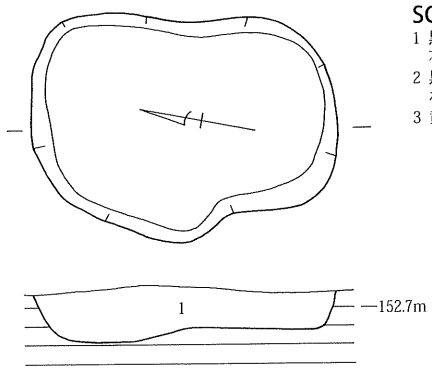
SC235
1 黒色粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
3 黄色軽石ブロック



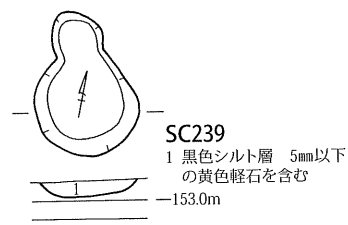
SC236
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



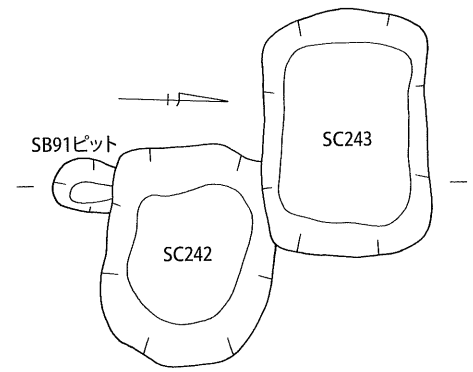
SC237
1 黒褐色弱粘質シルト
5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色弱粘質シルト
5㎜以下の黄色軽石を含む

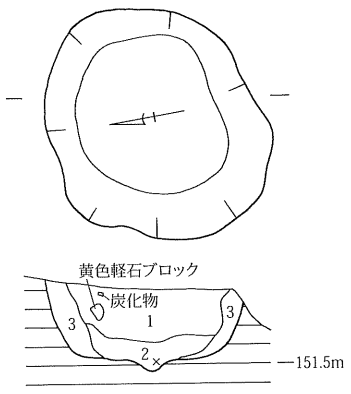


SC238
1 黒褐色弱粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

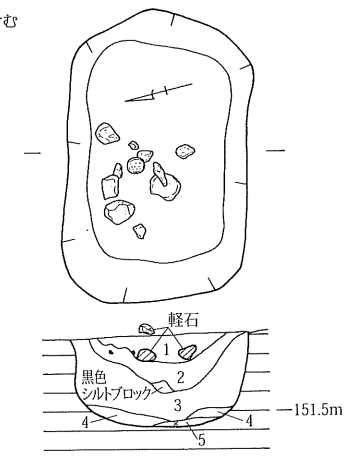


SC239
1 黒色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

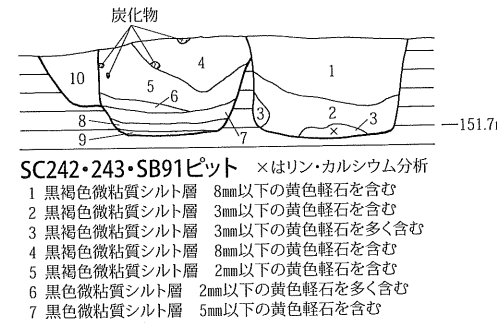




SC240　×はリン・カルシウム分析
1 黒褐色微粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石及び炭化物を含む
2 黒褐色微粘質シルト層
5㎜以下の黄色軽石を含む　1よりしまる
3 5㎜以下の黄色軽石を多量に含む黒褐色シルト層



SC241　×はリン・カルシウム分析
1 褐灰色～にぶい黄褐色の粘土層
灰及び炭化物と黒褐色シルトの混ざった層
2 黒褐色シルト層　褐灰色の灰と黄色軽石を含む
3 黒褐色微粘質シルト層　4㎜以下黄色軽石を含む
4 3㎜以下黄色軽石に黒褐色シルトが若干混じる層
5 黒色微粘質シルト層　ごく僅かの微細粒軽石を含む



SC242・243・SB91ピット　×はリン・カルシウム分析
1 黒褐色微粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒褐色微粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒褐色微粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を多く含む
4 黒褐色微粘質シルト層　8㎜以下の黄色軽石を含む
5 黒褐色微粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を含む
6 黒色微粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を多く含む
7 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
8 微細粒の黄色軽石層
9 黒色シルトのベルト
10 黒色弱粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む

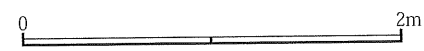
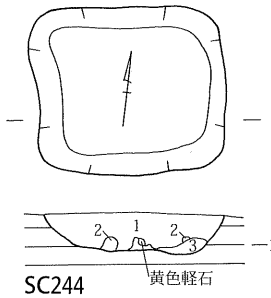
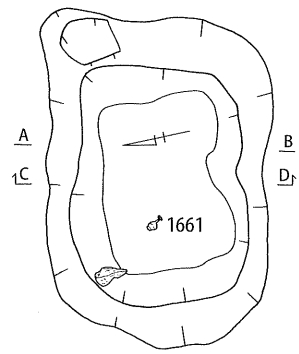


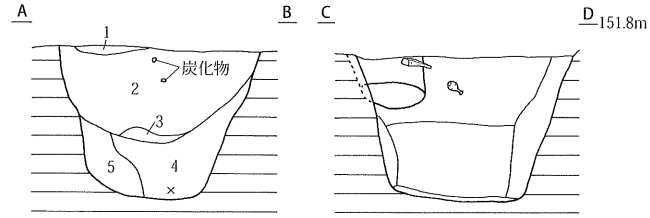
図84　土坑（SC）実測図(16)



SC244

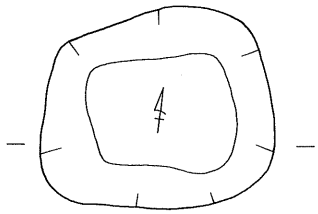
1 黒色微粘質シルト層　4㎜以下の淡黄色軽石と若干の白色軽石を含む
2 黄褐色微細粒の軽石層に2㎜以下の黄色軽石が混じる
3 1㎜以下の軽石層に黒色シルトが混じる

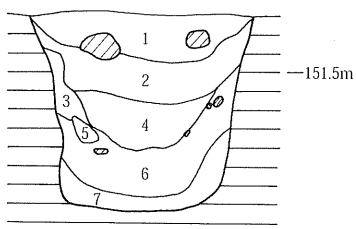




SC246　×はリン・カルシウム分析

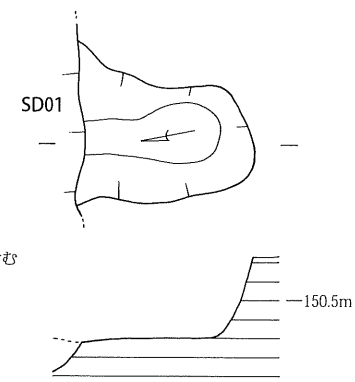
1 黒褐色シルト層　5㎜以下淡黄色軽石と若干の白色軽石を含む(カクランか?)
2 黒色微粘質シルト層　7㎜以下淡黄色軽石を含む
3 5㎜以下淡黄色～黄色の軽石層
4 黒褐色弱粘質シルト層　2㎜以下黄色軽石を含む
5 黒褐色シルトに2㎜以下黄色軽石が大量に混ざる層



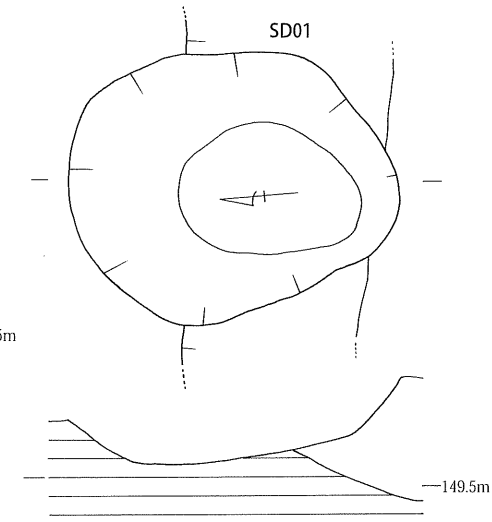


SC245　▨黄色軽石ブロック　　リン・カルシウム分析

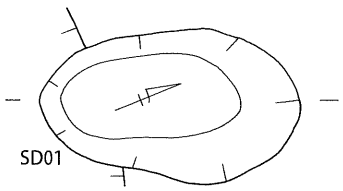
1 黒褐色微粘質シルト層　6㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒色弱粘質シルトと多量の黄色軽石の混合層
4 黒色微粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石を含む
5 壁材状のもの
6 黒褐色微粘質シルト層　2㎜以下の黄色軽石と炭化物を含む
7 5㎜以下の黄色軽石層に黒色シルトがやや混ざる

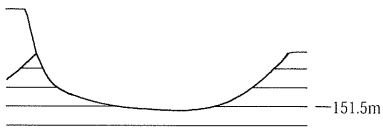


SC247

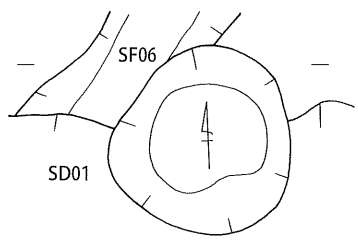


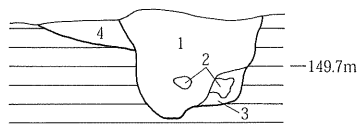
SC248





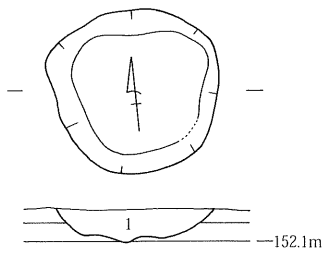
SC249





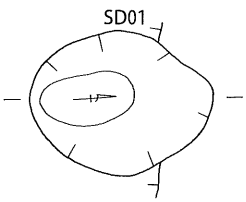
SC251

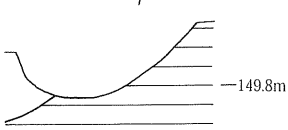
1 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 微細粒の黄褐色軽石ブロック
3 黄褐色軽石と黒色シルトの混合層
4 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む



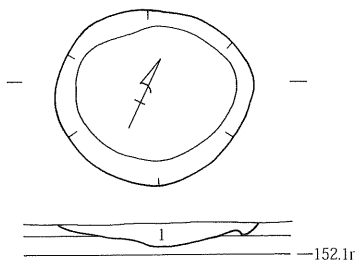
SC252

1 5a層





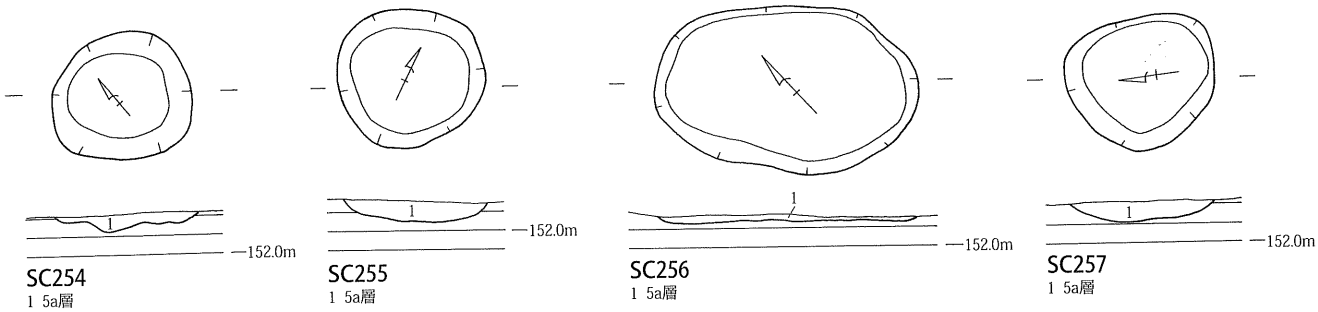
SC250



SC253

1 5a層

図85　土坑（SC）実測図(17)

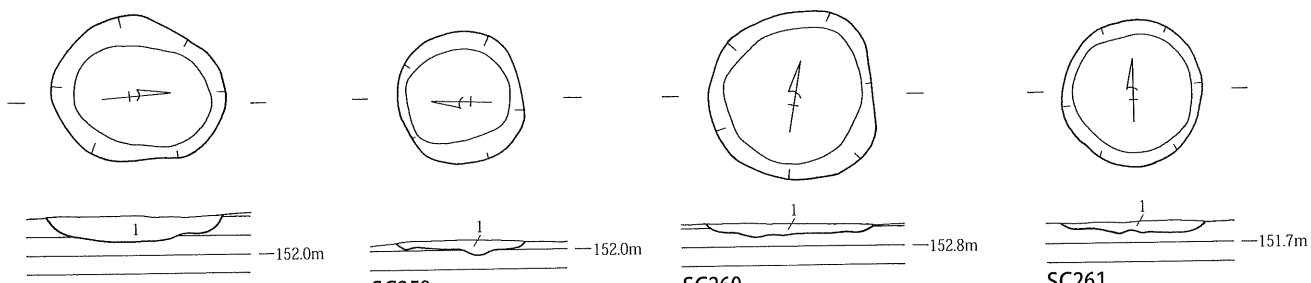


SC254
1 5a層

SC255
1 5a層

SC256
1 5a層

SC257
1 5a層

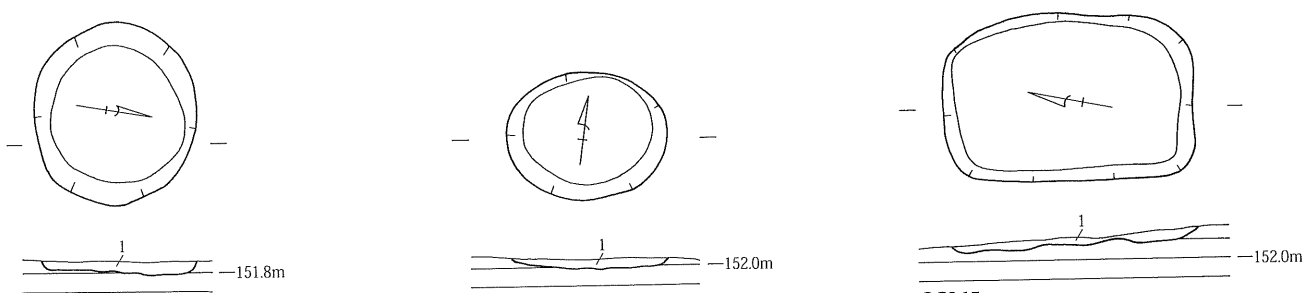


SC258
1 5a層

SC259
1 5a層

SC260
1 5a層

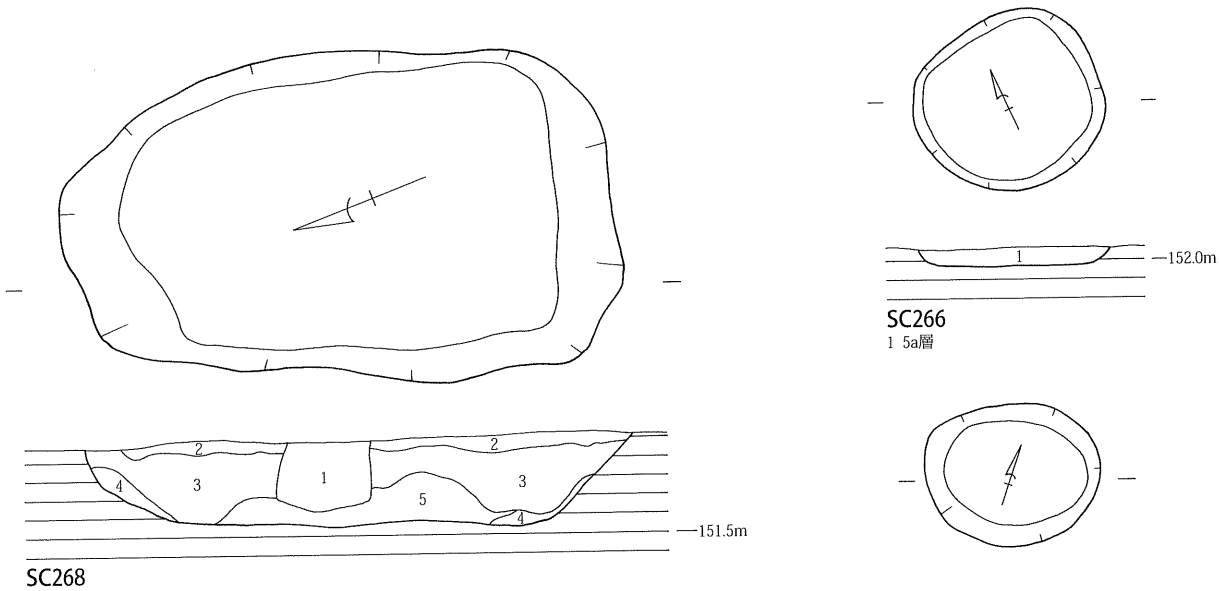
SC261
1 5a層



SC262
1 5a層

SC264
1 5a層

SC265
1 5a層



SC266
1 5a層

SC268
1 2層(カクラン)
2 5a層
3 黒褐色砂質シルト層　8㎜以下の黄色軽石と3㎜以下の白色軽石を含む
4 黒色砂質シルト層　1.5cm以下の黄色軽石を含む
5 黒褐色砂質シルトに8㎜以下の黄色軽石が混ざる

SC269
1 5a層
2 黄色軽石ブロック

図86　土坑（SC）実測図(18)

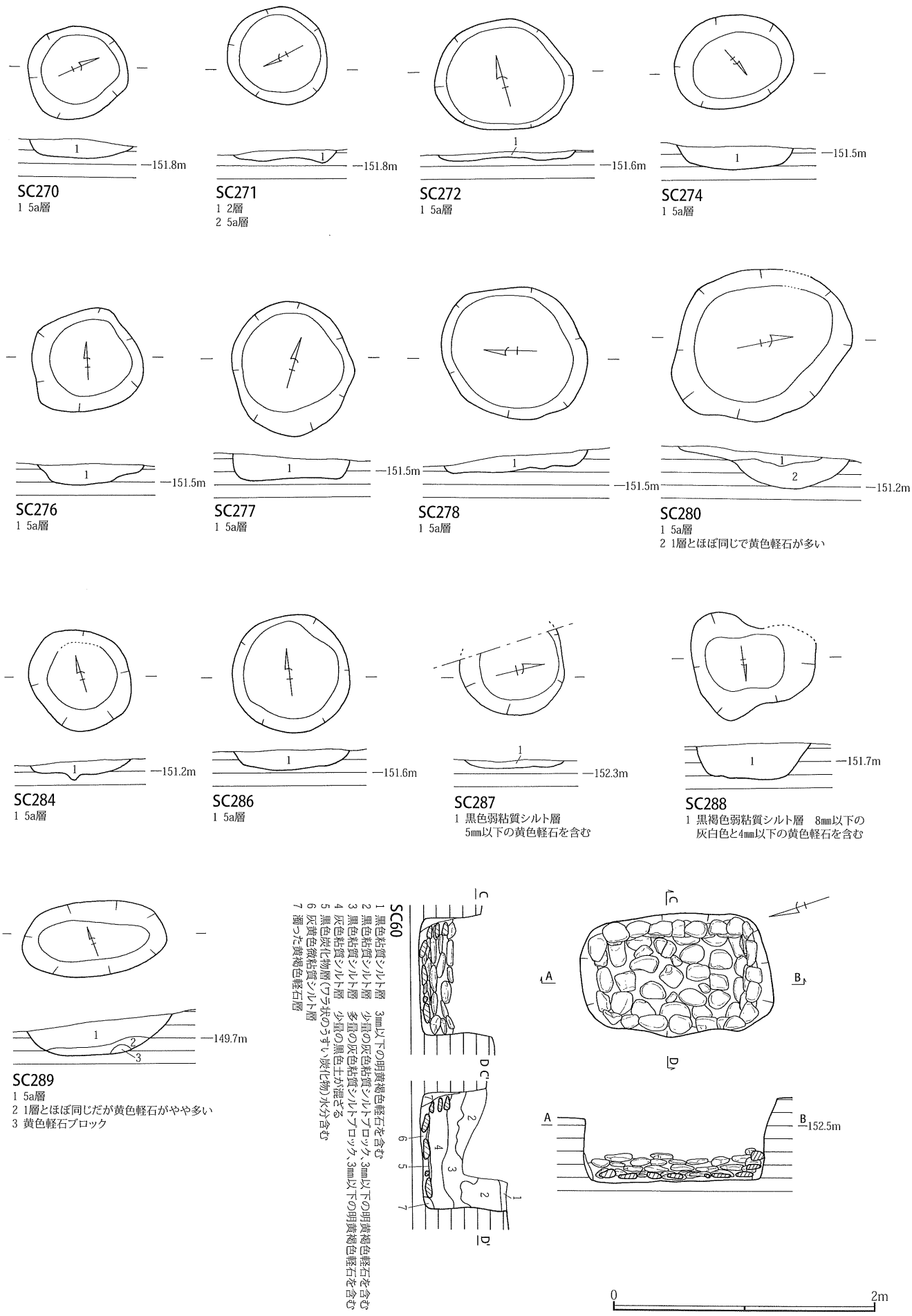
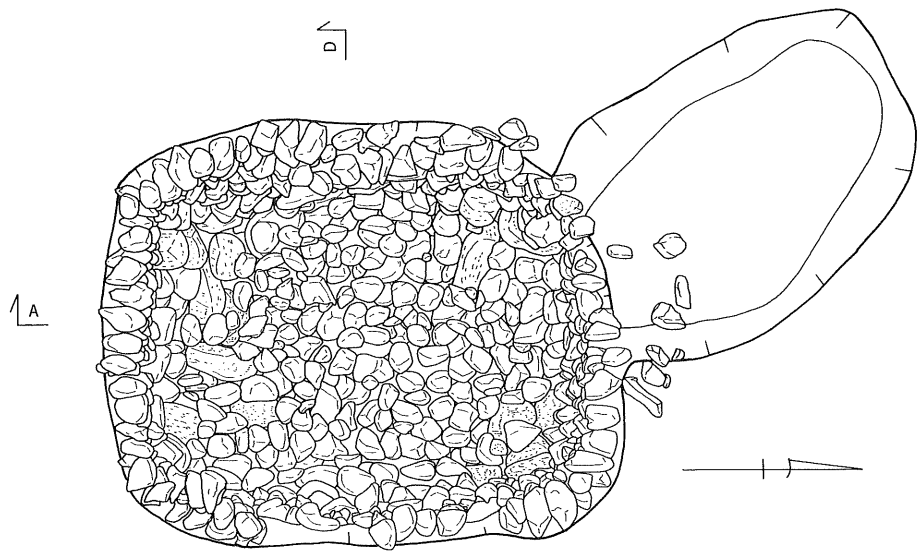
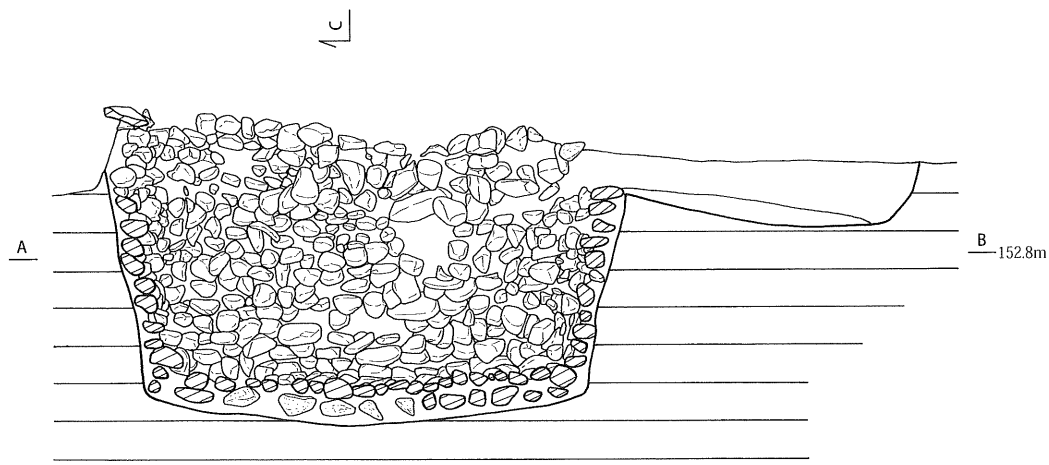
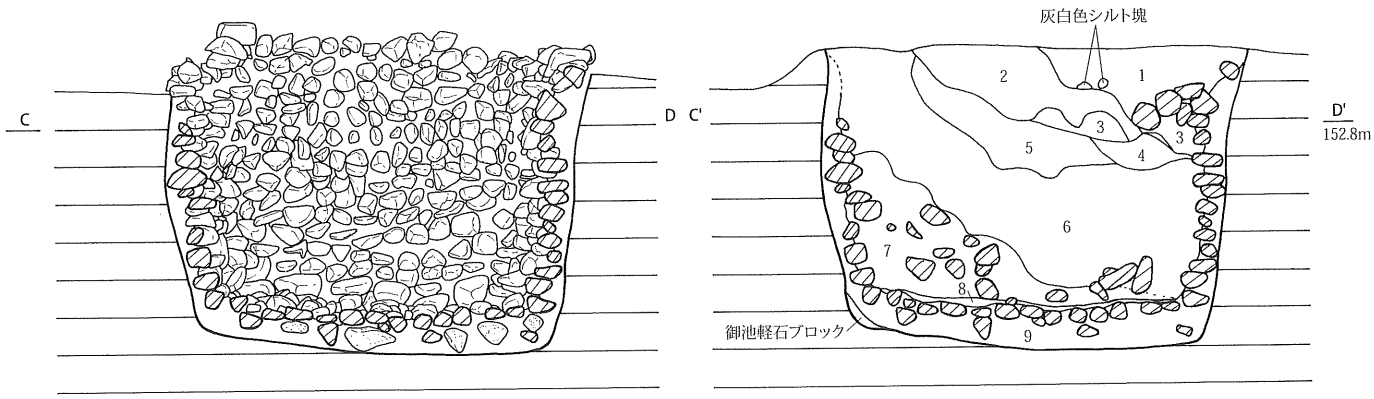


図87　土坑（SC）実測図(19)





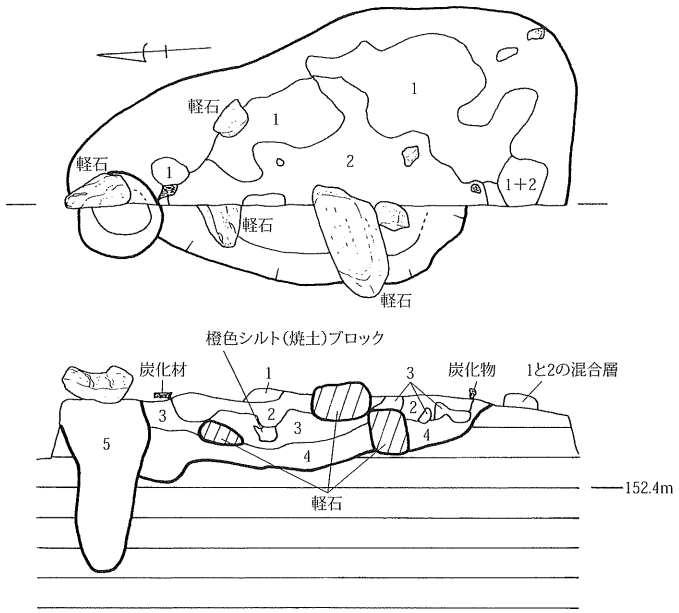


SC130

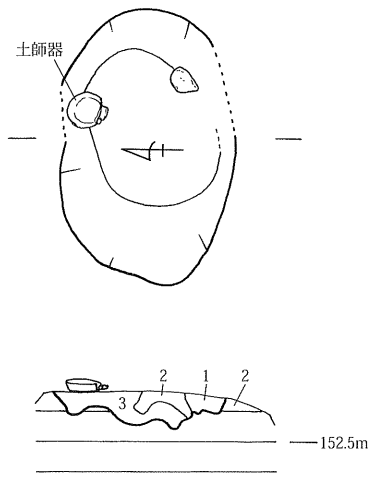
1 黒褐色微砂質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
2 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
3 黒色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
4 暗灰黄色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
5 黒色シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
6 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
7 4層と6層の混合層にこぶし大の砂岩礫が入る
8 炭化物を多量に含む黒色シルト層
9 にぶい黄橙色粘質土

図88　石組み土坑（SC）実測図

焼土遺構（SJ）

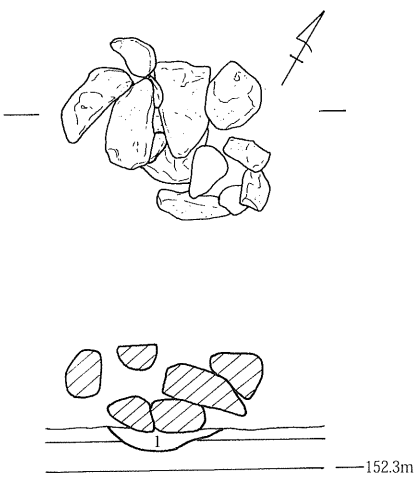


SJ01
1 黄灰色粘質シルト層
2 黒褐色粘質シルト層に黄灰色ブロックが混ざる
3 黄灰色粘質シルト層
4 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む
5 黒色微粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石を含む

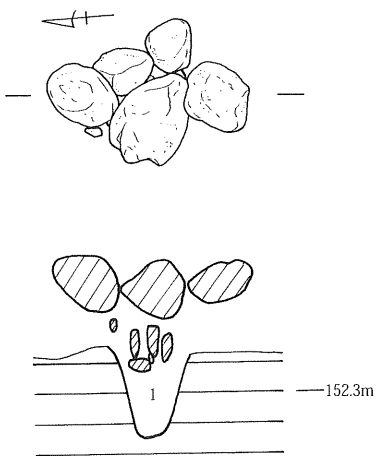


SJ02
1 暗黄灰色粘質シルト層　橙色の軽石ブロックを含む
2 黒色粘質シルトと暗黄灰色シルトブロックの混合層
3 黒色粘質シルト層　3㎜以下の黄色軽石を含む

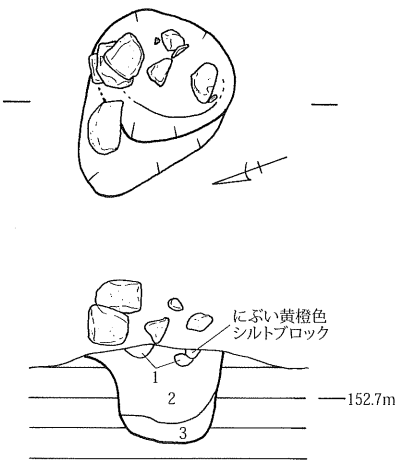
石積遺構（SI）



SI01
1 黒色粘質シルト層　5㎜以下の黄色軽石と灰白色シルトブロックを含む



SI02
1 黒色微粘質シルト層　4㎜以下の黄色軽石を含む



SI03
1 黒色弱粘質シルト層
2 黄灰色シルト層
3 黒褐色粘質シルト層　2層のブロックと2㎝以下の黄色軽石を含む

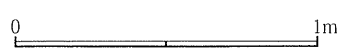


図89　その他の遺構

2．中世の遺物

（1）中世の土師器（図90～101）

474～824は坏である。底部切り離し技法は、確認できる器については、474～553・555～753・758～824が糸切り、554・754～757がヘラ切りによるものである。477は底面に板状圧痕をのこす。480は底面に簾状圧痕をのこす。483は底面に板状圧痕をのこす。490は底面に工具痕をのこしている。492・495・496・507～510・513・518・525・532は底面に板状圧痕をのこす。533・537は底面に簾状圧痕をのこす。540は底面に不明圧痕をのこす。547は底面に板状圧痕をのこす。567・573は底面に不明圧痕をのこす。601・605は底面に板状圧痕をのこす。611は底面に簾状圧痕をのこす。620は底面に板状圧痕をのこす。624・625は底面に簾状圧痕をのこす。633は底面に板状圧痕をのこす。636は底面に簾状圧痕をのこす。637・638は底面に板状圧痕をのこす。651・664は底面に簾状圧痕をのこす。665・666は底面に板状圧痕をのこす。671は底面に簾状圧痕をのこす。681・683・685・690・693・698は底面に不明圧痕をのこし、683はススの付着もみられる。700は底面に板状圧痕をのこす。701は底面に不明圧痕をのこす。704は底面に板状圧痕をのこす。732・734・738・740・747・749・750は底面に不明圧痕をのこす。760・762は底面に板状圧痕をのこす。765・766は底面に不明圧痕をのこす。770・773は底面に板状圧痕をのこす。774は底部からの立ち上がり部をヘラケズリによって仕上げており、内面にはススの付着が認められる。775は底面に不明圧痕をのこす。776～778は底面に板状圧痕をのこす。779～781は底面に不明圧痕をのこし、781は底部からの立ち上がり部をヘラケズリによって仕上げている。782は底面に板状圧痕をのこす。783は底部からの立ち上がり部をヘラケズリによって仕上げている。786・788・790・791は底面に板状圧痕をのこす。792は底面に不明圧痕をのこす。793・795・797は底面に板状圧痕をのこし、797は外面の一部にススの付着もみられる。798は底面に簾状圧痕をのこす。799・803は底面に不明圧痕をのこす。805は底面に板状圧痕をのこす。806は底面に簾状圧痕をのこす。807・809は底面に板状圧痕をのこす。810は外面全体にススの付着がみられる。811は底面に不明圧痕をのこす。812は底面に板状圧痕をのこす。813は底面に簾状圧痕をのこす。814は底面に板状圧痕をのこす。815は口縁部外面をヘラケズリによって仕上げている。818・822・823は底面に不明圧痕をのこす。

825～1242は小皿で、いわゆる「かわらけ」である。底部切り離し技法は825～1228・1230～1242が糸切り、1229がヘラ切りによるものである。834は底面に板状圧痕をのこす。844・855は底面に不明圧痕をのこす。863は板状圧痕をのこす。867・874は底面に不明圧痕をのこす。885・923・930は底面に板状圧痕をのこす。935は底面に指頭圧痕をのこす。940・955・957は底面に板状圧痕をのこす。958は底面に簾状圧痕をのこす。959は底面に不明圧痕をのこす。970・972・975～977は底面に板状圧痕をのこす。985は底面に簾状圧痕をのこす。993・1003・1016は底面に不明圧痕をのこす。1017は底面に簾状圧痕をのこす。1023・1026は底面に不明圧痕をのこす。1027は底面に簾状圧痕をのこす。1034～1037・1039・1040・1051・1085・1094・1095は底面に不明圧痕をのこす。1097はSC246から出土した小皿の口縁～底部片あり、同遺構からは銅製花瓶が共伴して出土した。1099は底面に不明圧痕をのこす。1100は底面に板状圧痕をのこす。1101・1103～1105は底面に不明圧痕をのこす。1106～1109・1111・1113は底面に板状圧痕をのこす。1115は底面に不明圧痕をのこす。1116は底面に板状圧痕をのこす。1117は底面に不明圧痕をのこす。1118・1119は底面に板状圧痕をのこす。1122・1132は底面に不明圧痕をのこす。1134・1135・1137は底面に板状圧痕をのこす。1138は底面に不明圧痕をのこす。1139は底面に板状圧痕をのこす。1140は底面に不明圧痕をのこす。1141は底面に板状圧痕をのこす。1143・1145～1149は底面に不明圧痕をのこす。1150は底面に簾状圧痕をのこし、底部の中心に穿孔がみられる。1151・1154は底面に板状圧痕をのこす。1155は底面に簾状圧痕をのこす。1156は底面に板状圧痕をのこす。1159・1160は底面に簾状圧痕をのこす。1161～1163は底面に不明圧痕をのこす。1164は底面に板状圧痕をのこす。1165・1166は底面に不明圧痕をのこす。1167は底面に板状圧痕をのこす。1168は底面に簾状圧痕をのこす。1170・1171・1174は底面に不明圧痕をのこす。1175は底面に簾状圧痕をのこす。1176は底面に不明圧痕をのこす。1178・1179は底面に板状圧痕をのこす。1182・1183は底面に不明圧

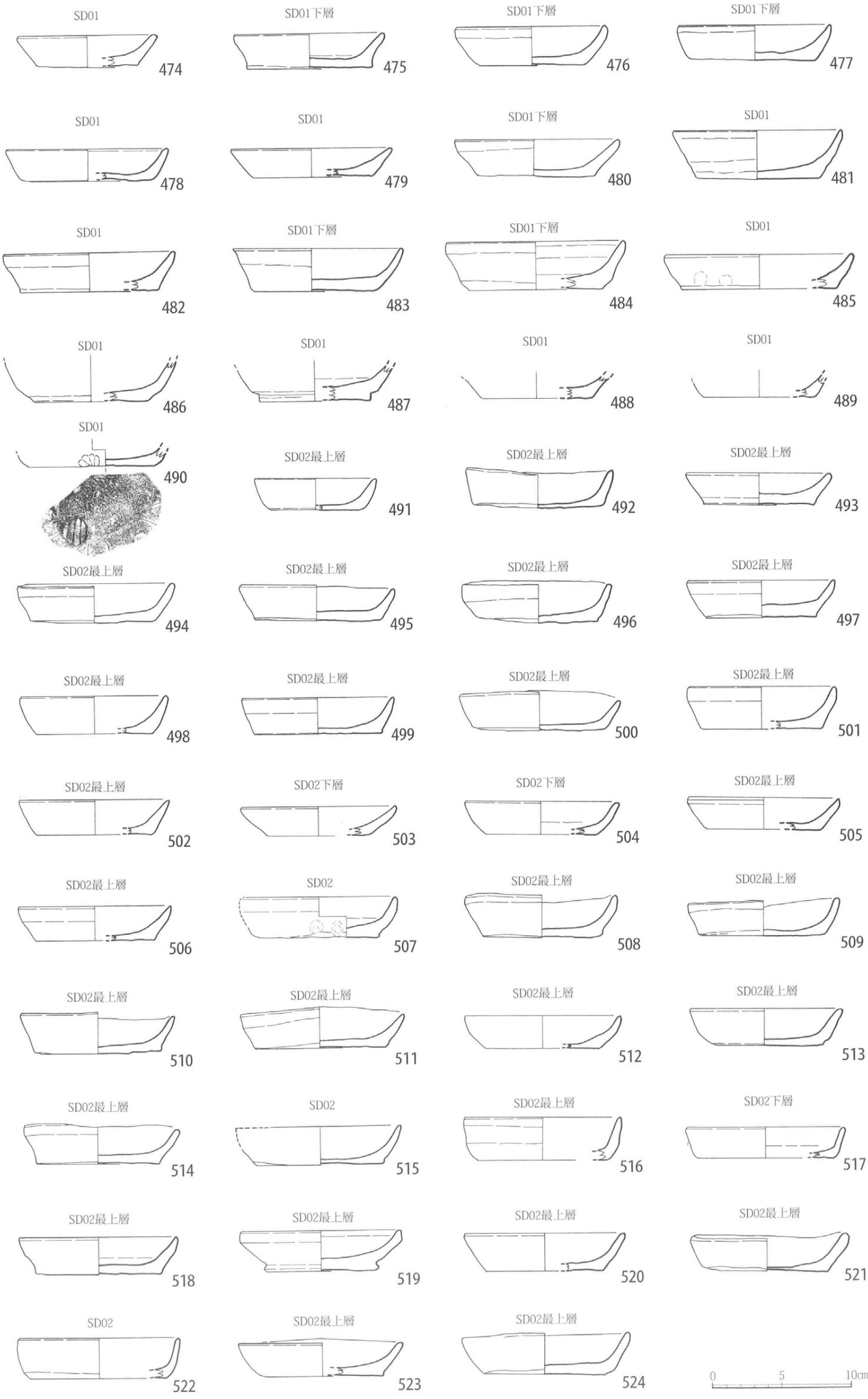

SD01
474
SD01下層
475
SD01下層
476
SD01下層
477
SD01
478
SD01
479
SD01下層
480
SD01
481
SD01
482
SD01下層
483
SD01下層
484
SD01
485
SD01
486
SD01
487
SD01
488
SD01
489
SD01
490
SD02最上層
491
SD02最上層
492
SD02最上層
493
SD02最上層
494
SD02最上層
495
SD02最上層
496
SD02最上層
497
SD02最上層
498
SD02最上層
499
SD02最上層
500
SD02最上層
501
SD02最上層
502
SD02下層
503
SD02下層
504
SD02最上層
505
SD02最上層
506
SD02
507
SD02最上層
508
SD02最上層
509
SD02最上層
510
SD02最上層
511
SD02最上層
512
SD02最上層
513
SD02最上層
514
SD02
515
SD02最上層
516
SD02下層
517
SD02最上層
518
SD02最上層
519
SD02最上層
520
SD02最上層
521
SD02
522
SD02最上層
523
SD02最上層
524
0
5
10cm

図90　中世の土師器(1)

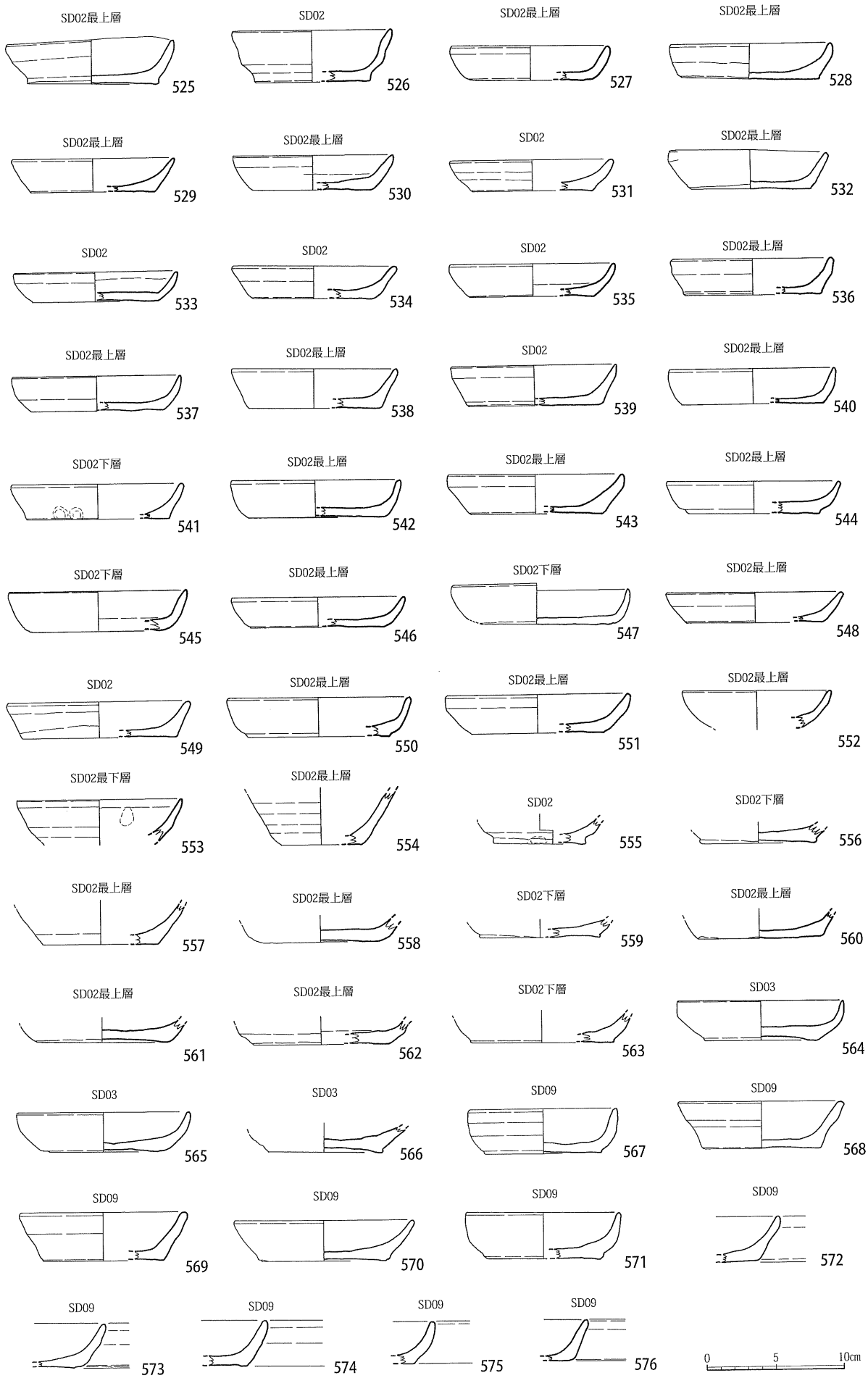

SD02最上層
525
SD02
526
SD02最上層
527
SD02最上層
528
SD02最上層
529
SD02最上層
530
SD02
531
SD02最上層
532
SD02
533
SD02
534
SD02
535
SD02最上層
536
SD02最上層
537
SD02最上層
538
SD02
539
SD02最上層
540
SD02下層
541
SD02最上層
542
SD02最上層
543
SD02最上層
544
SD02下層
545
SD02最上層
546
SD02下層
547
SD02最上層
548
SD02
549
SD02最上層
550
SD02最上層
551
SD02最上層
552
SD02最下層
553
SD02最上層
554
SD02
555
SD02下層
556
SD02最上層
557
SD02最上層
558
SD02下層
559
SD02最上層
560
SD02最上層
561
SD02最上層
562
SD02下層
563
SD03
564
SD03
565
SD03
566
SD09
567
SD09
568
SD09
569
SD09
570
SD09
571
SD09
572
SD09
573
SD09
574
SD09
575
SD09
576
0
5
10cm

図91　中世の土師器(2)

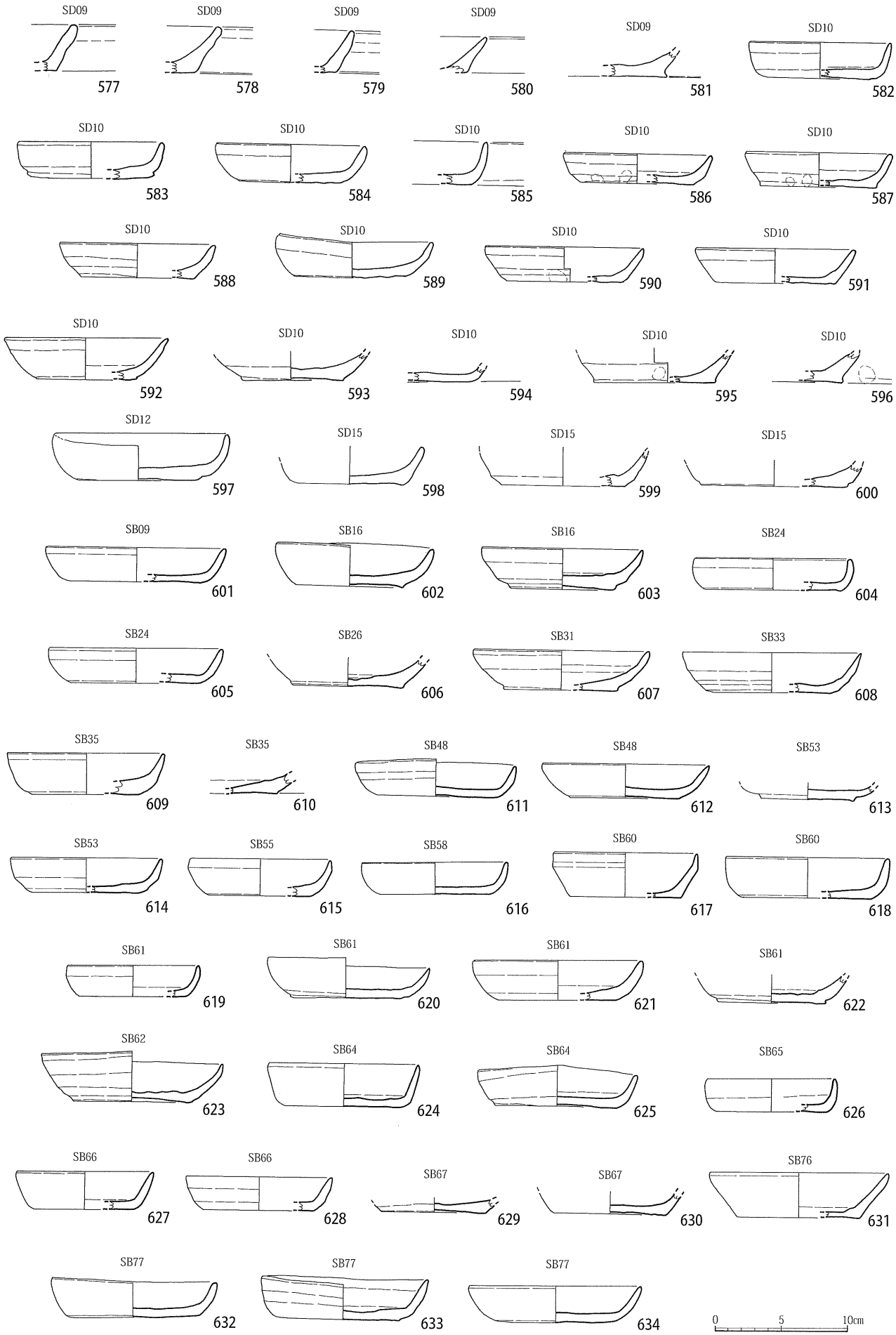

SD09 577
SD09 578
SD09 579
SD09 580
SD09 581
SD10 582
SD10 583
SD10 584
SD10 585
SD10 586
SD10 587
SD10 588
SD10 589
SD10 590
SD10 591
SD10 592
SD10 593
SD10 594
SD10 595
SD10 596
SD12 597
SD15 598
SD15 599
SD15 600
SB09 601
SB16 602
SB16 603
SB24 604
SB24 605
SB26 606
SB31 607
SB33 608
SB35 609
SB35 610
SB48 611
SB48 612
SB53 613
SB53 614
SB55 615
SB58 616
SB60 617
SB60 618
SB61 619
SB61 620
SB61 621
SB61 622
SB62 623
SB64 624
SB64 625
SB65 626
SB66 627
SB66 628
SB67 629
SB67 630
SB76 631
SB77 632
SB77 633
SB77 634
0 5 10cm

図92　中世の土師器(3)

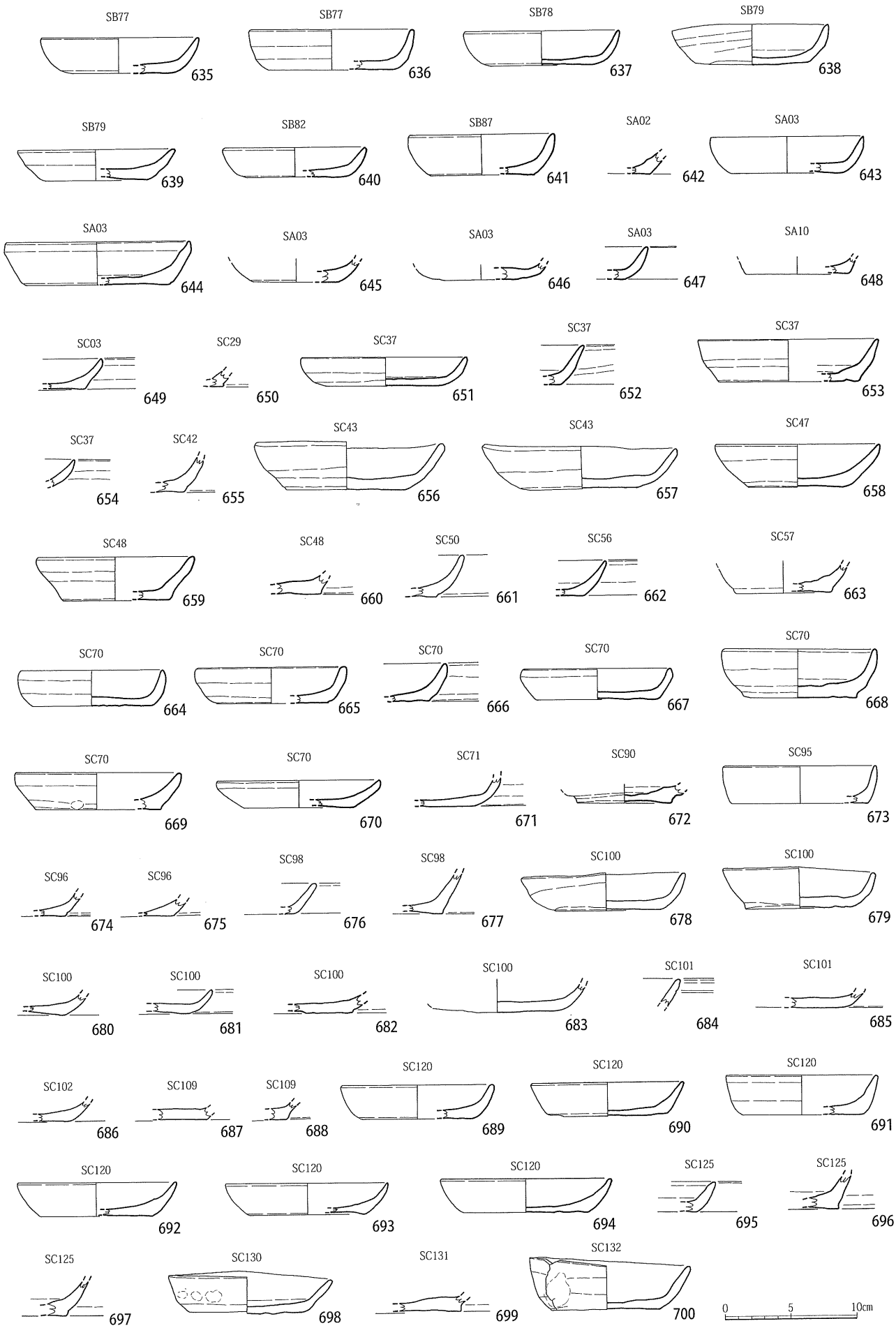

SB77
635
SB77
636
SB78
637
SB79
638
SB79
639
SB82
640
SB87
641
SA02
642
SA03
643
SA03
644
SA03
645
SA03
646
SA03
647
SA10
648
SC03
649
SC29
650
SC37
651
SC37
652
SC37
653
SC37
654
SC42
655
SC43
656
SC43
657
SC47
658
SC48
659
SC48
660
SC50
661
SC56
662
SC57
663
SC70
664
SC70
665
SC70
666
SC70
667
SC70
668
SC70
669
SC70
670
SC71
671
SC90
672
SC95
673
SC96
674
SC96
675
SC98
676
SC98
677
SC100
678
SC100
679
SC100
680
SC100
681
SC100
682
SC100
683
SC101
684
SC101
685
SC102
686
SC109
687
SC109
688
SC120
689
SC120
690
SC120
691
SC120
692
SC120
693
SC120
694
SC125
695
SC125
696
SC125
697
SC130
698
SC131
699
SC132
700
0
5
10cm

図93　中世の土師器(4)

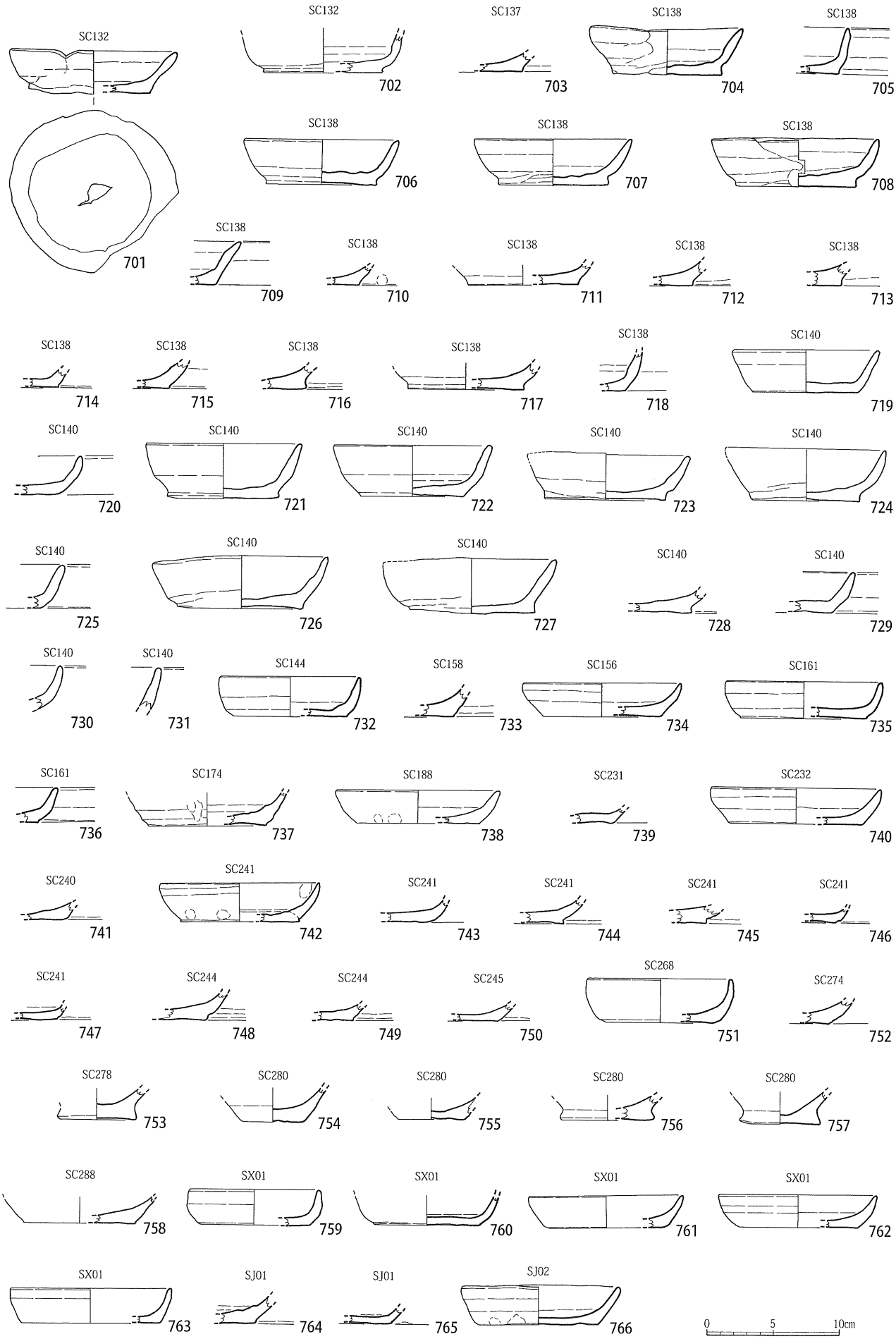

SC132
SC132
702
SC137
703
SC138
704
SC138
705
701
SC138
706
SC138
707
SC138
708
SC138
709
SC138
710
SC138
711
SC138
712
SC138
713
SC138
714
SC138
715
SC138
716
SC138
717
SC138
718
SC140
719
SC140
720
SC140
721
SC140
722
SC140
723
SC140
724
SC140
725
SC140
726
SC140
727
SC140
728
SC140
729
SC140
730
SC140
731
SC144
732
SC158
733
SC156
734
SC161
735
SC161
736
SC174
737
SC188
738
SC231
739
SC232
740
SC240
741
SC241
742
SC241
743
SC241
744
SC241
745
SC241
746
SC241
747
SC244
748
SC244
749
SC245
750
SC268
751
SC274
752
SC278
753
SC280
754
SC280
755
SC280
756
SC280
757
SC288
758
SX01
759
SX01
760
SX01
761
SX01
762
SX01
763
SJ01
764
SJ01
765
SJ02
766
0
5
10cm

図94　中世の土師器(5)

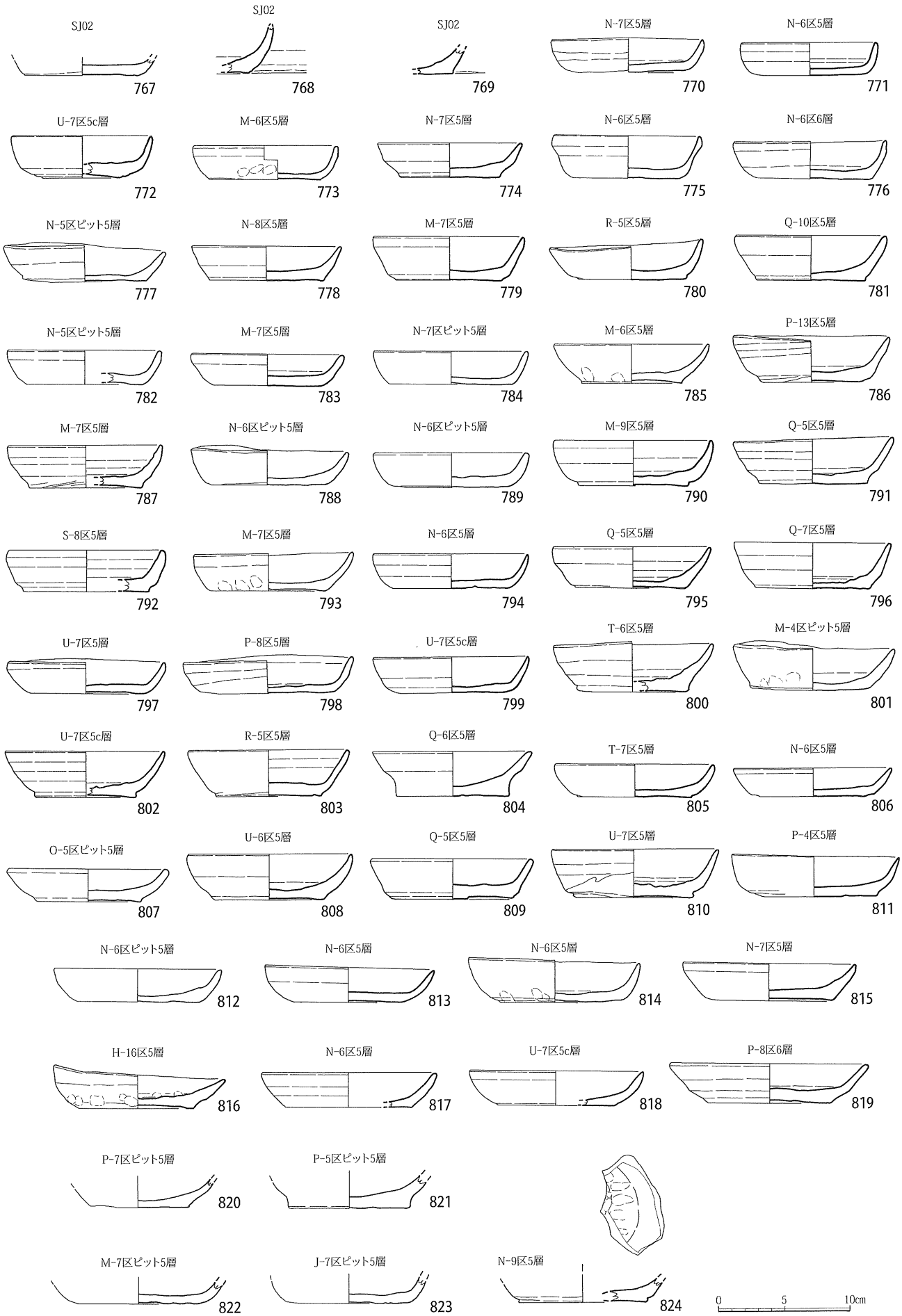

SJ02
767
SJ02
768
SJ02
769
N-7区5層
770
N-6区5層
771
U-7区5c層
772
M-6区5層
773
N-7区5層
774
N-6区5層
775
N-6区6層
776
N-5区ピット5層
777
N-8区5層
778
M-7区5層
779
R-5区5層
780
Q-10区5層
781
N-5区ピット5層
782
M-7区5層
783
N-7区ピット5層
784
M-6区5層
785
P-13区5層
786
M-7区5層
787
N-6区ピット5層
788
N-6区ピット5層
789
M-9区5層
790
Q-5区5層
791
S-8区5層
792
M-7区5層
793
N-6区5層
794
Q-5区5層
795
Q-7区5層
796
U-7区5層
797
P-8区5層
798
U-7区5c層
799
T-6区5層
800
M-4区ピット5層
801
U-7区5c層
802
R-5区5層
803
Q-6区5層
804
T-7区5層
805
N-6区5層
806
O-5区ピット5層
807
U-6区5層
808
Q-5区5層
809
U-7区5層
810
P-4区5層
811
N-6区ピット5層
812
N-6区5層
813
N-6区5層
814
N-7区5層
815
H-16区5層
816
N-6区5層
817
U-7区5c層
818
P-8区6層
819
P-7区ピット5層
820
P-5区ピット5層
821
M-7区ピット5層
822
J-7区ピット5層
823
N-9区5層
824
0
5
10cm

図95　中世の土師器(6)

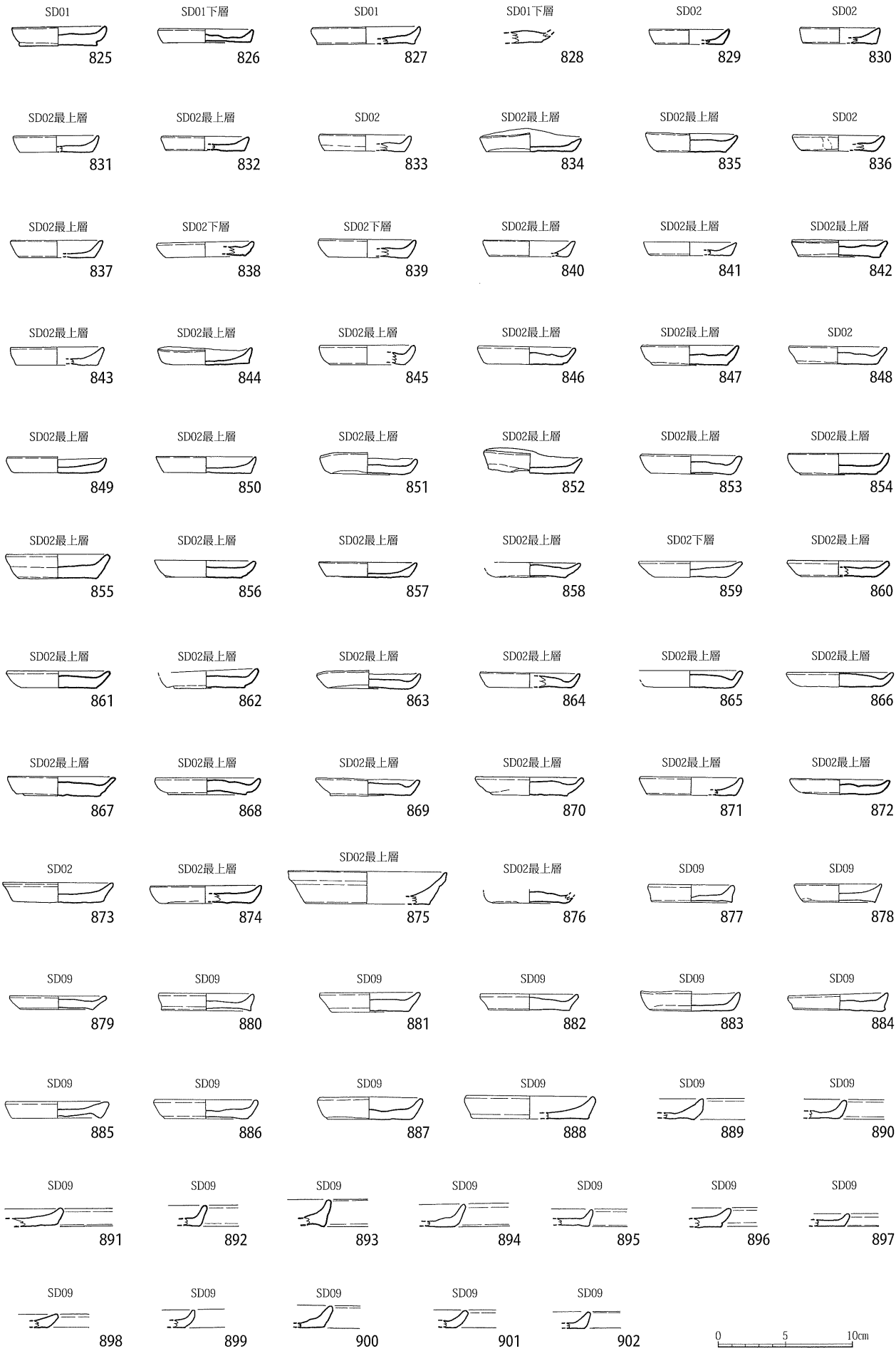

SD01
825
SD01下層
826
SD01
827
SD01下層
828
SD02
829
SD02
830
SD02最上層
831
SD02最上層
832
SD02
833
SD02最上層
834
SD02最上層
835
SD02
836
SD02最上層
837
SD02下層
838
SD02下層
839
SD02最上層
840
SD02最上層
841
SD02最上層
842
SD02最上層
843
SD02最上層
844
SD02最上層
845
SD02最上層
846
SD02最上層
847
SD02
848
SD02最上層
849
SD02最上層
850
SD02最上層
851
SD02最上層
852
SD02最上層
853
SD02最上層
854
SD02最上層
855
SD02最上層
856
SD02最上層
857
SD02最上層
858
SD02下層
859
SD02最上層
860
SD02最上層
861
SD02最上層
862
SD02最上層
863
SD02最上層
864
SD02最上層
865
SD02最上層
866
SD02最上層
867
SD02最上層
868
SD02最上層
869
SD02最上層
870
SD02最上層
871
SD02最上層
872
SD02
873
SD02最上層
874
SD02最上層
875
SD02最上層
876
SD09
877
SD09
878
SD09
879
SD09
880
SD09
881
SD09
882
SD09
883
SD09
884
SD09
885
SD09
886
SD09
887
SD09
888
SD09
889
SD09
890
SD09
891
SD09
892
SD09
893
SD09
894
SD09
895
SD09
896
SD09
897
SD09
898
SD09
899
SD09
900
SD09
901
SD09
902
0
5
10cm

図96　中世の土師器(7)

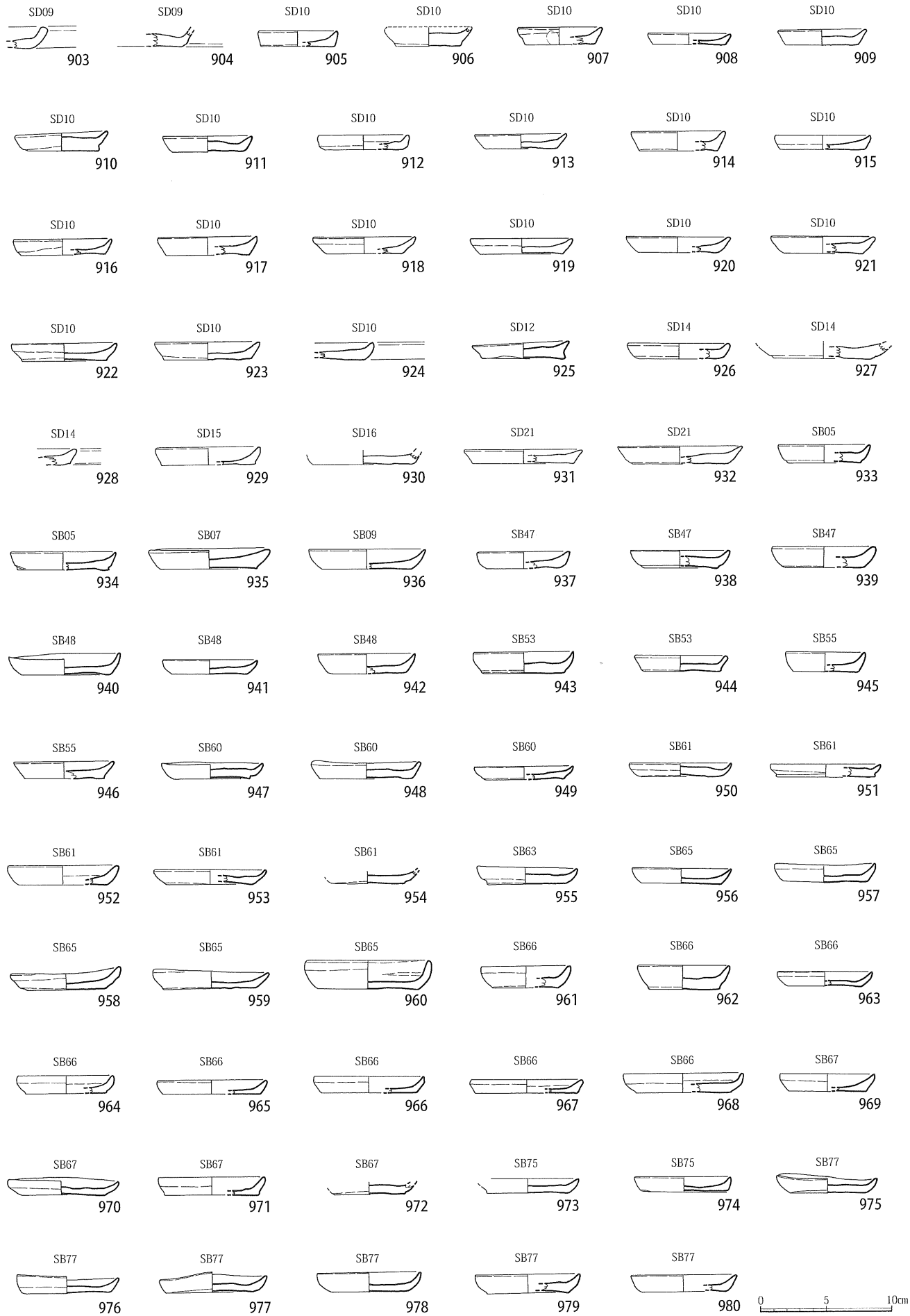

SD09 903
SD09 904
SD10 905
SD10 906
SD10 907
SD10 908
SD10 909
SD10 910
SD10 911
SD10 912
SD10 913
SD10 914
SD10 915
SD10 916
SD10 917
SD10 918
SD10 919
SD10 920
SD10 921
SD10 922
SD10 923
SD10 924
SD12 925
SD14 926
SD14 927
SD14 928
SD15 929
SD16 930
SD21 931
SD21 932
SB05 933
SB05 934
SB07 935
SB09 936
SB47 937
SB47 938
SB47 939
SB48 940
SB48 941
SB48 942
SB53 943
SB53 944
SB55 945
SB55 946
SB60 947
SB60 948
SB60 949
SB61 950
SB61 951
SB61 952
SB61 953
SB61 954
SB63 955
SB65 956
SB65 957
SB65 958
SB65 959
SB65 960
SB66 961
SB66 962
SB66 963
SB66 964
SB66 965
SB66 966
SB66 967
SB66 968
SB67 969
SB67 970
SB67 971
SB67 972
SB75 973
SB75 974
SB77 975
SB77 976
SB77 977
SB77 978
SB77 979
SB77 980
0 5 10cm

図97　中世の土師器(8)

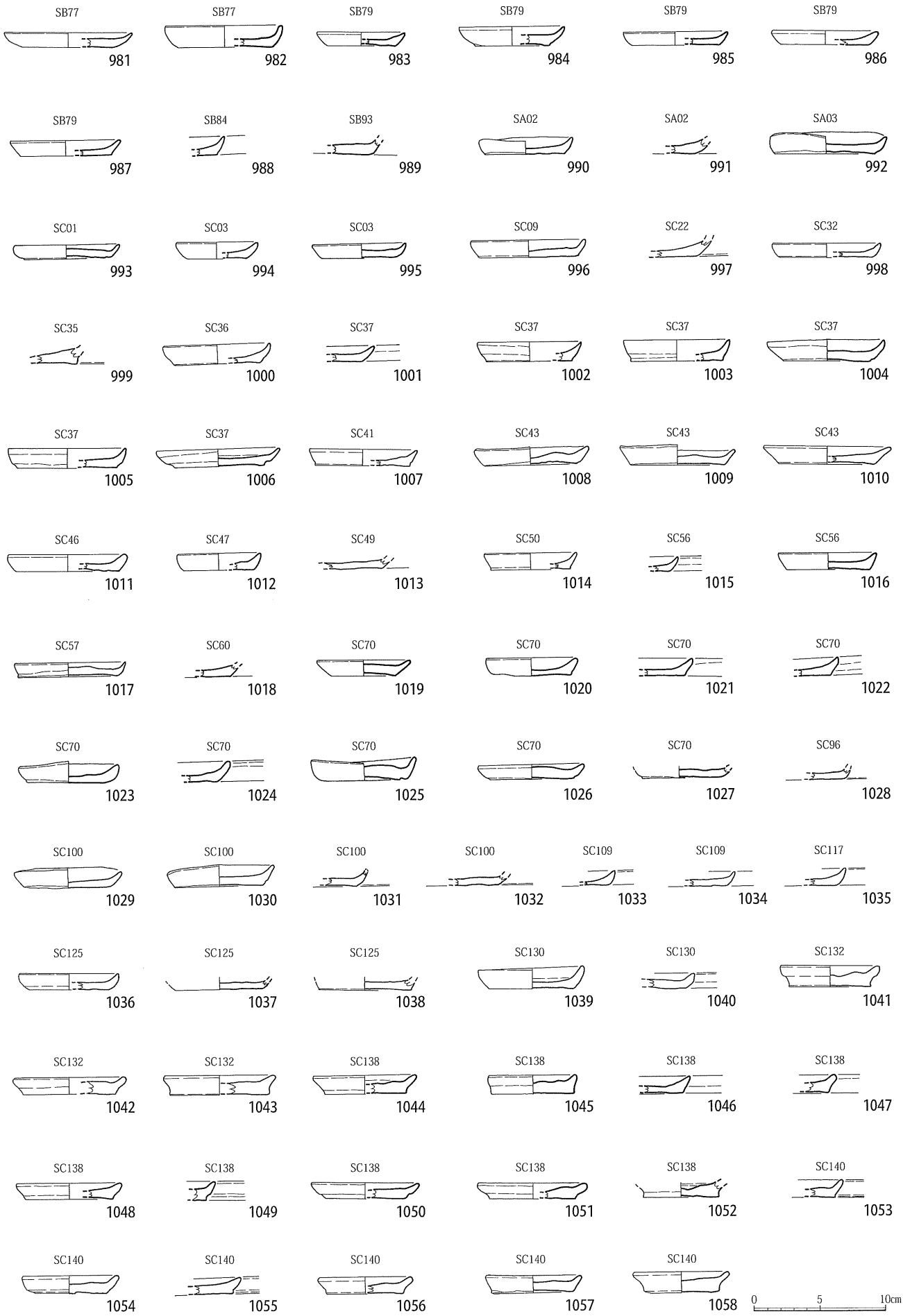

SB77 981
SB77 982
SB79 983
SB79 984
SB79 985
SB79 986
SB79 987
SB84 988
SB93 989
SA02 990
SA02 991
SA03 992
SC01 993
SC03 994
SC03 995
SC09 996
SC22 997
SC32 998
SC35 999
SC36 1000
SC37 1001
SC37 1002
SC37 1003
SC37 1004
SC37 1005
SC37 1006
SC41 1007
SC43 1008
SC43 1009
SC43 1010
SC46 1011
SC47 1012
SC49 1013
SC50 1014
SC56 1015
SC56 1016
SC57 1017
SC60 1018
SC70 1019
SC70 1020
SC70 1021
SC70 1022
SC70 1023
SC70 1024
SC70 1025
SC70 1026
SC70 1027
SC96 1028
SC100 1029
SC100 1030
SC100 1031
SC100 1032
SC109 1033
SC109 1034
SC117 1035
SC125 1036
SC125 1037
SC125 1038
SC130 1039
SC130 1040
SC132 1041
SC132 1042
SC132 1043
SC138 1044
SC138 1045
SC138 1046
SC138 1047
SC138 1048
SC138 1049
SC138 1050
SC138 1051
SC138 1052
SC140 1053
SC140 1054
SC140 1055
SC140 1056
SC140 1057
SC140 1058
0 5 10cm

図98　中世の土師器(9)

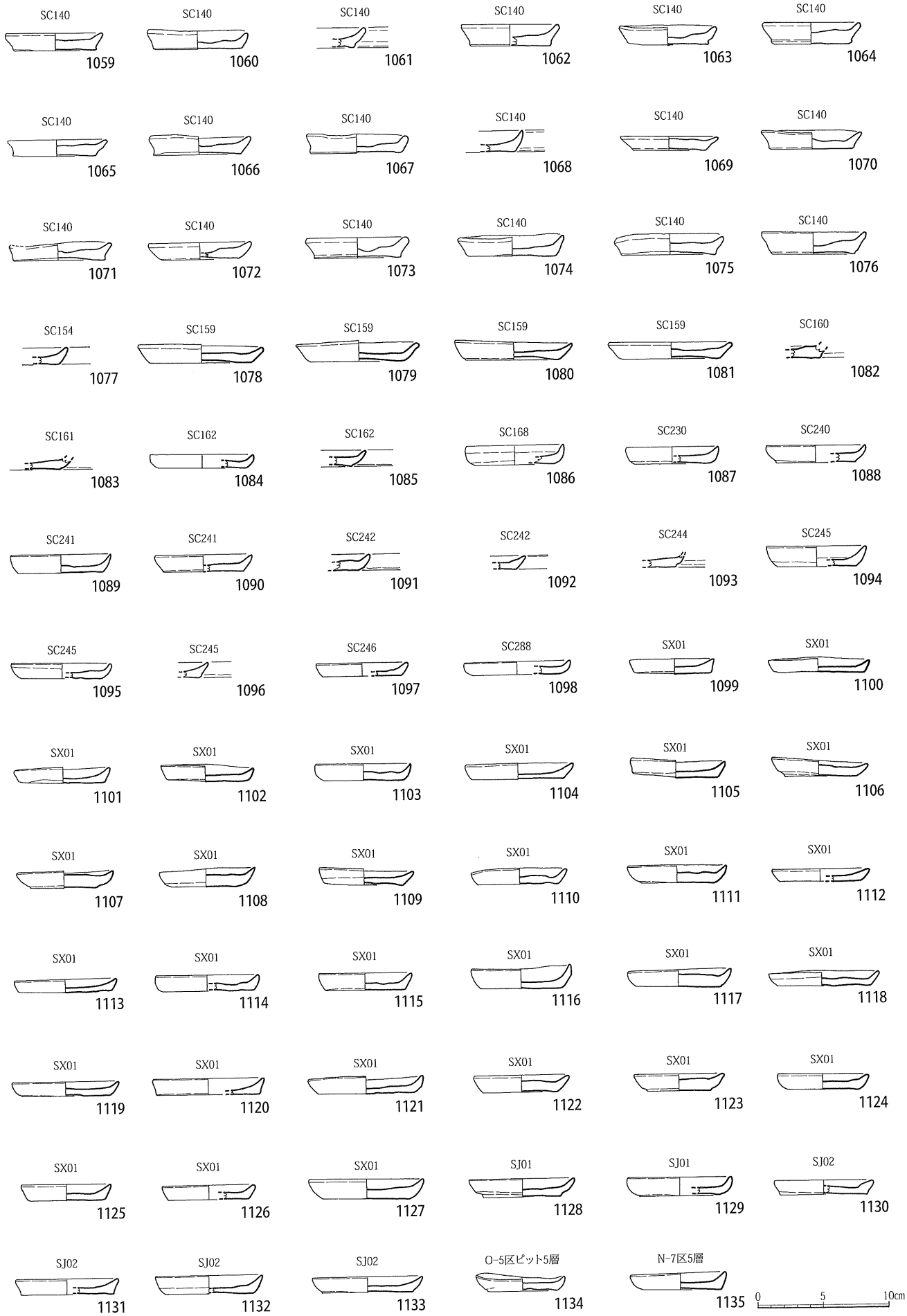


図99　中世の土師器(10)

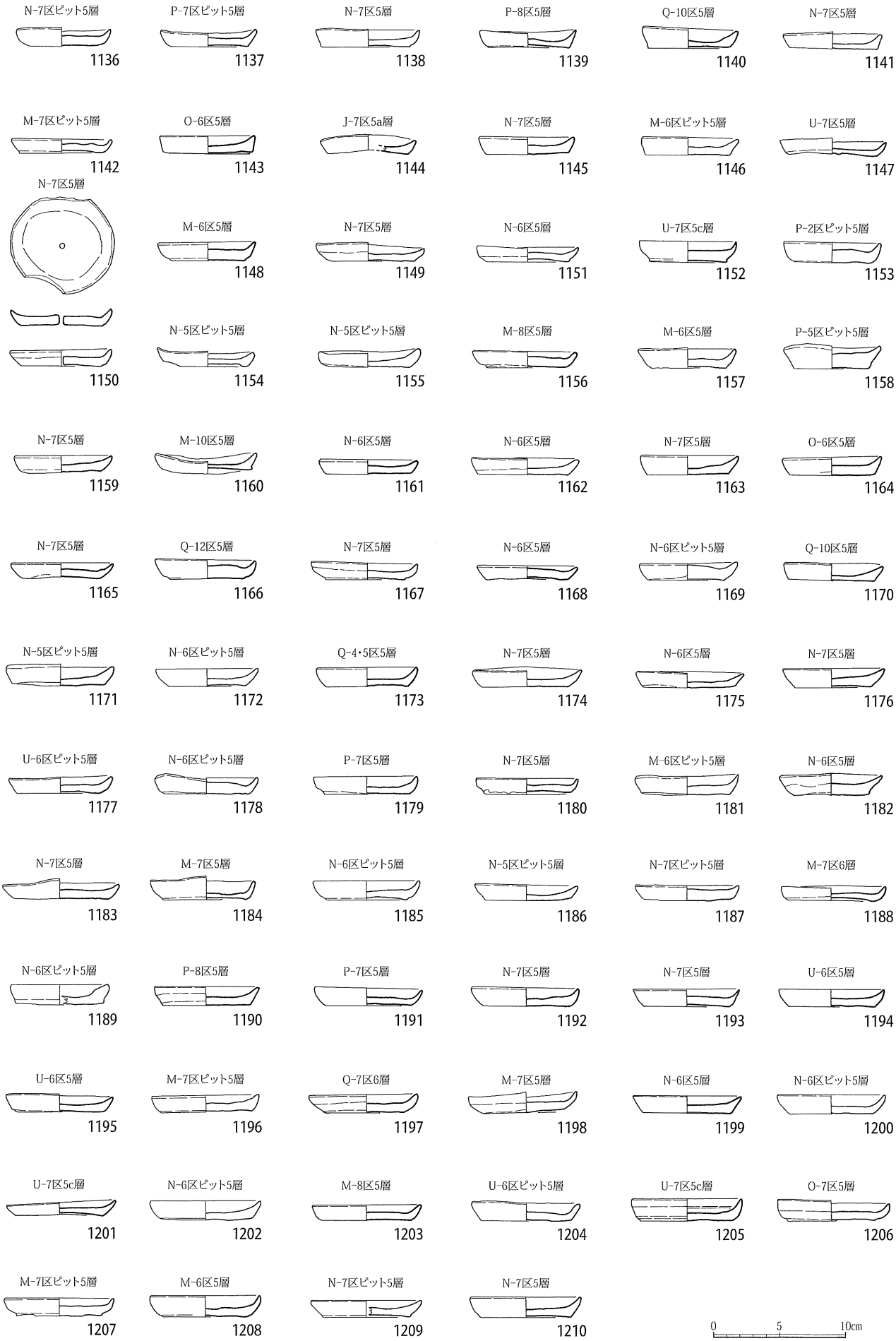


図100　中世の土師器(11)

痕をのこす。**1184**は底面に板状圧痕をのこす。**1186・1187**は底面に不明圧痕をのこす。**1188・1190・1191**は底面に板状圧痕をのこす。**1192**は底面に不明圧痕をのこす。**1195**は底面に板状圧痕をのこす。**1196・1197**は底面に不明圧痕をのこす。**1198・1200～1202**は底面に板状圧痕をのこす。**1205・1206**は底面に不明圧痕をのこす。**1208・1210・1212・1216～1220**は底面に板状圧痕をのこす。**1221**は底面に不明圧痕をのこす。**1223・1224**は底面に板状圧痕をのこす。**1225**は底面に簾状圧痕をのこす。**1226・1227**は底面に板状圧痕をのこす。**1229**は小皿で唯一、底部切り離し技法がヘラ切りによるもので流入品と考えられ、瀬戸内系土師器と思われる。**1230**は底面に板状圧痕をのこす。**1231・1235**は底面に不明圧痕をのこす。**1237**は底面に板状圧痕をのこす。**1238・1239**は底面に不明圧痕をのこす。**1241**は底面に板状圧痕をのこす。

1243～1247は土師器坏・椀・小皿を二次転用した紡錘車である。**1243・1245**は土師器坏の底部、**1244**は土師器椀の底部、**1246**は小皿の底部を二次転用している。**1247**は土師器坏の底部を二次転用しており、底面および底部内面に未穿孔がみられる。紡錘車の未製品と思われる。

1248は土師器坏の底部を二次転用した用途不明品で、２ヶ所に穿孔が認められる。

（２）国産陶器（図102～106）

1249～1306は東播系須恵器鉢・片口鉢である。**1249**は鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1251**は鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。魚住窯系と思われ、13世紀後半から14世紀前半にかけてのものである。**1252**は鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1254・1255**は鉢の口縁～体部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1256**は鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1257**は鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉が僅かにかかる。**1258**は片口鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1259・1260・1262～1264**は鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1266**は鉢の口縁部片であり、13世紀代のものである。**1268・1269**は鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1270**は鉢の口縁～体部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1271**は鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1272**は鉢の口縁～体部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1273・1274**は鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1275**は鉢の口縁部片であり、口唇部外面の一部に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。12世紀代のものである。**1276・1277・1287・1290・1292～1298**は鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1290**は14世紀代のものである。**1302**は片口鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉が極僅かにかかる。13世紀代のものである。**1303・1304・1306**は片口鉢の口縁部片であり、口唇部外面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。

1307・1308は東播系須恵器壺である。**1307**は口縁部片であり、12世紀から13世紀にかけてのものである。

1309～1316は常滑大甕である。**1309**は大甕の口縁・頸・肩・胴・底部片であり、肩部に格子目状の押印が施されている。５～６a型式に相当し、13世紀前半から第３四半期にかけてのものである。**1310**は大甕の口縁部片であり、内外面の一部に自然釉がかかる。６型式に相当し、13世紀後半のものである。**1311**は大甕の口縁・頸～肩部片であり、内外面に自然釉がかかる。５型式に相当し、13世紀前半のものである。**1312**は大甕の口縁～頸・肩部片である。５～６a型式に相当し、13世紀前半から第３四半期にかけてのものである。**1313**は大甕の口縁～頸・肩・胴・底部片であり、肩部外面から底部外面にかけて５段の桟状押印が施され、口縁部内外面および体部外面の一部に自然釉がかかる。３～４型式に相当し、12世紀末から13世紀初頭にかけてのものである。**1314**は大甕の口縁～肩部片であり、外面全体および口縁部内面の一部に自然釉がかかる。６型式に相当し、13世紀後半のものである。**1315**は大甕の口縁・頸・肩・胴・底部片であり、肩部外面から底部外面にかけて４段の桟状押印が施されている。**1316**は大甕の口縁・肩部片であり、外面に自然釉がかかる。５型式に相当し、13世紀前半のものである。

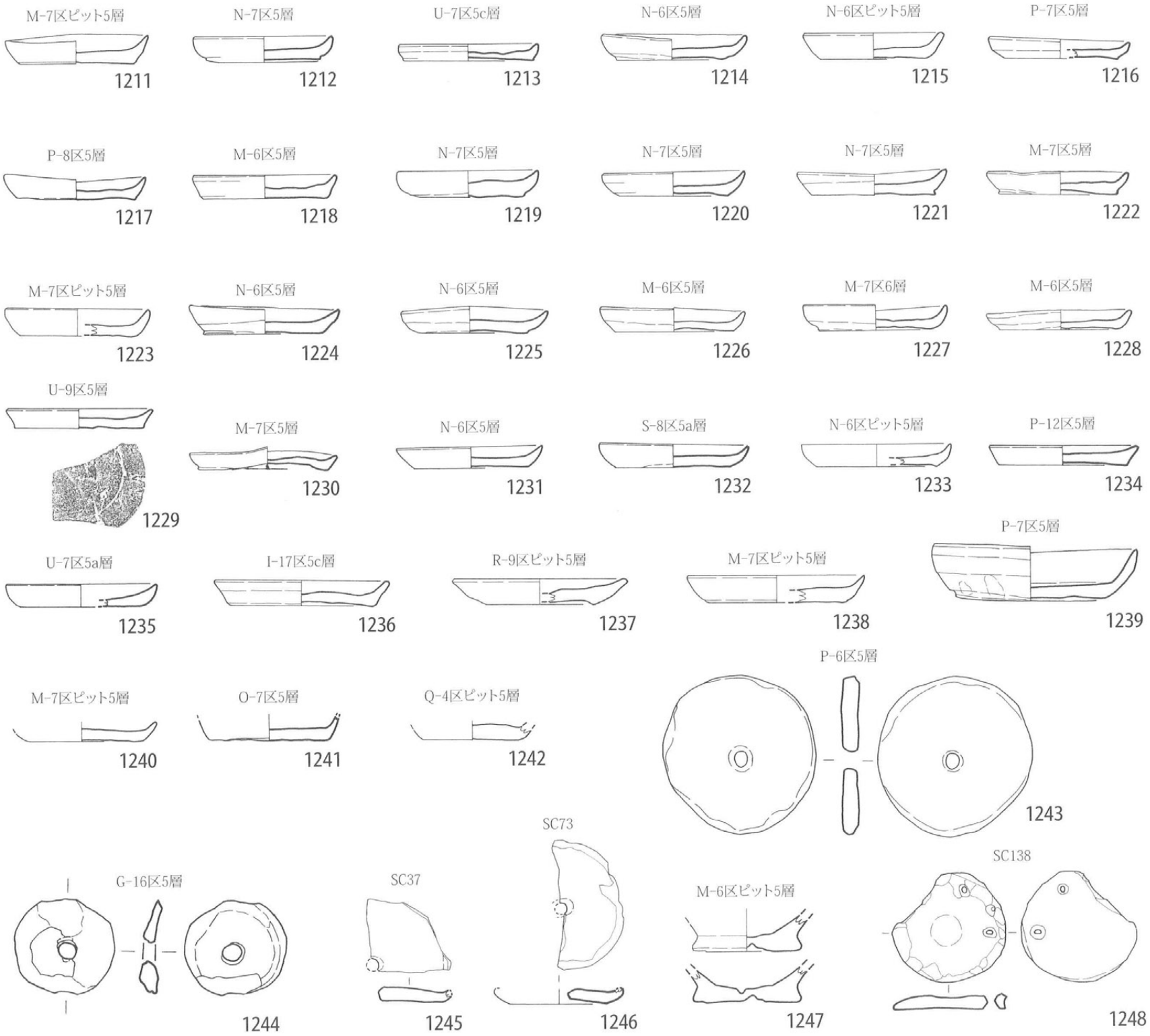


図101　中世の土師器(12)

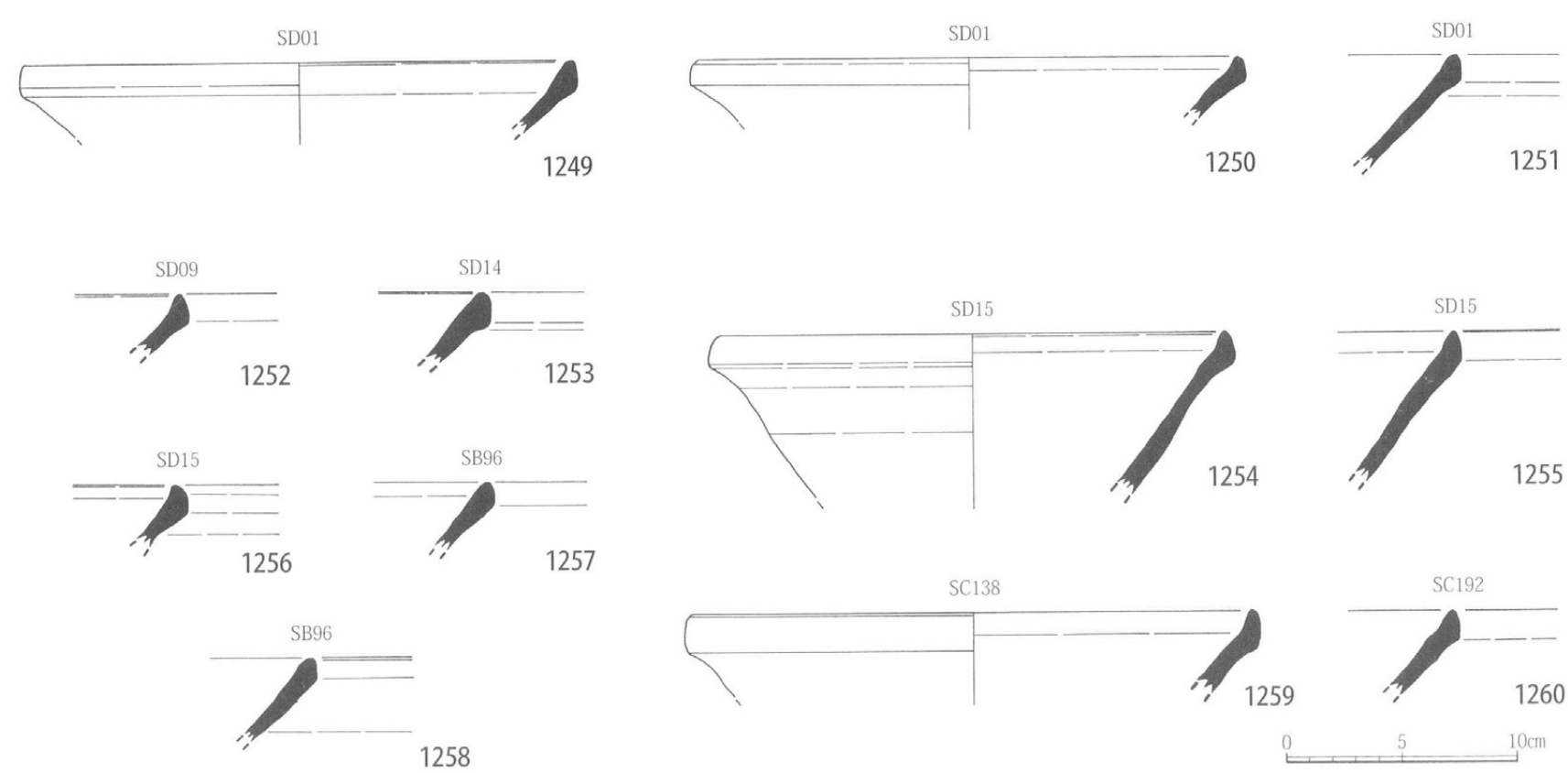


図102　国産陶器(1)

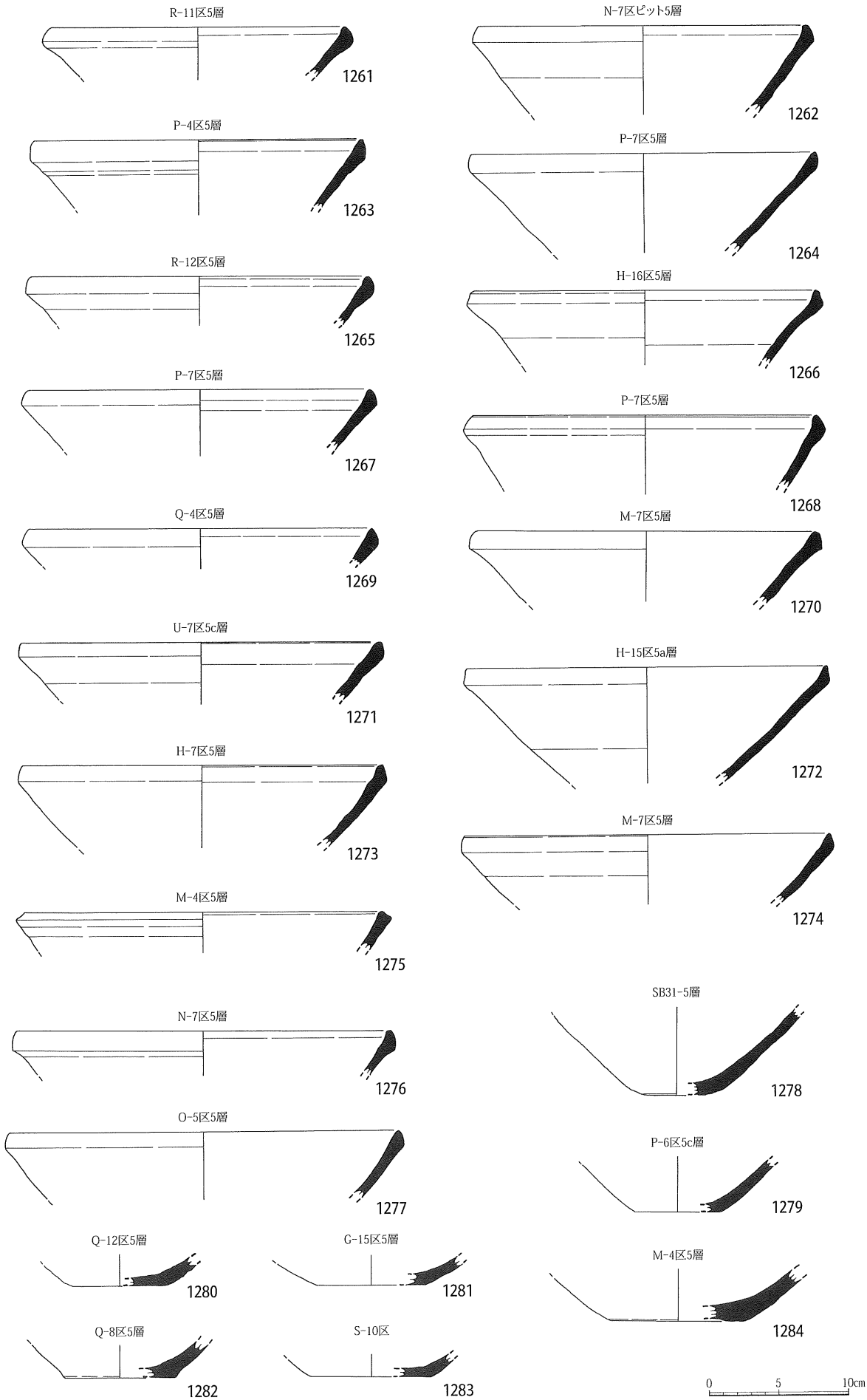

R-11区5層
1261
P-4区5層
1263
R-12区5層
1265
P-7区5層
1267
Q-4区5層
1269
U-7区5c層
1271
H-7区5層
1273
M-4区5層
1275
N-7区5層
1276
O-5区5層
1277
Q-12区5層
1280
G-15区5層
1281
Q-8区5層
1282
S-10区
1283
N-7区ピット5層
1262
P-7区5層
1264
H-16区5層
1266
P-7区5層
1268
M-7区5層
1270
H-15区5a層
1272
M-7区5層
1274
SB31-5層
1278
P-6区5c層
1279
M-4区5層
1284
0
5
10cm

図103　国産陶器(2)

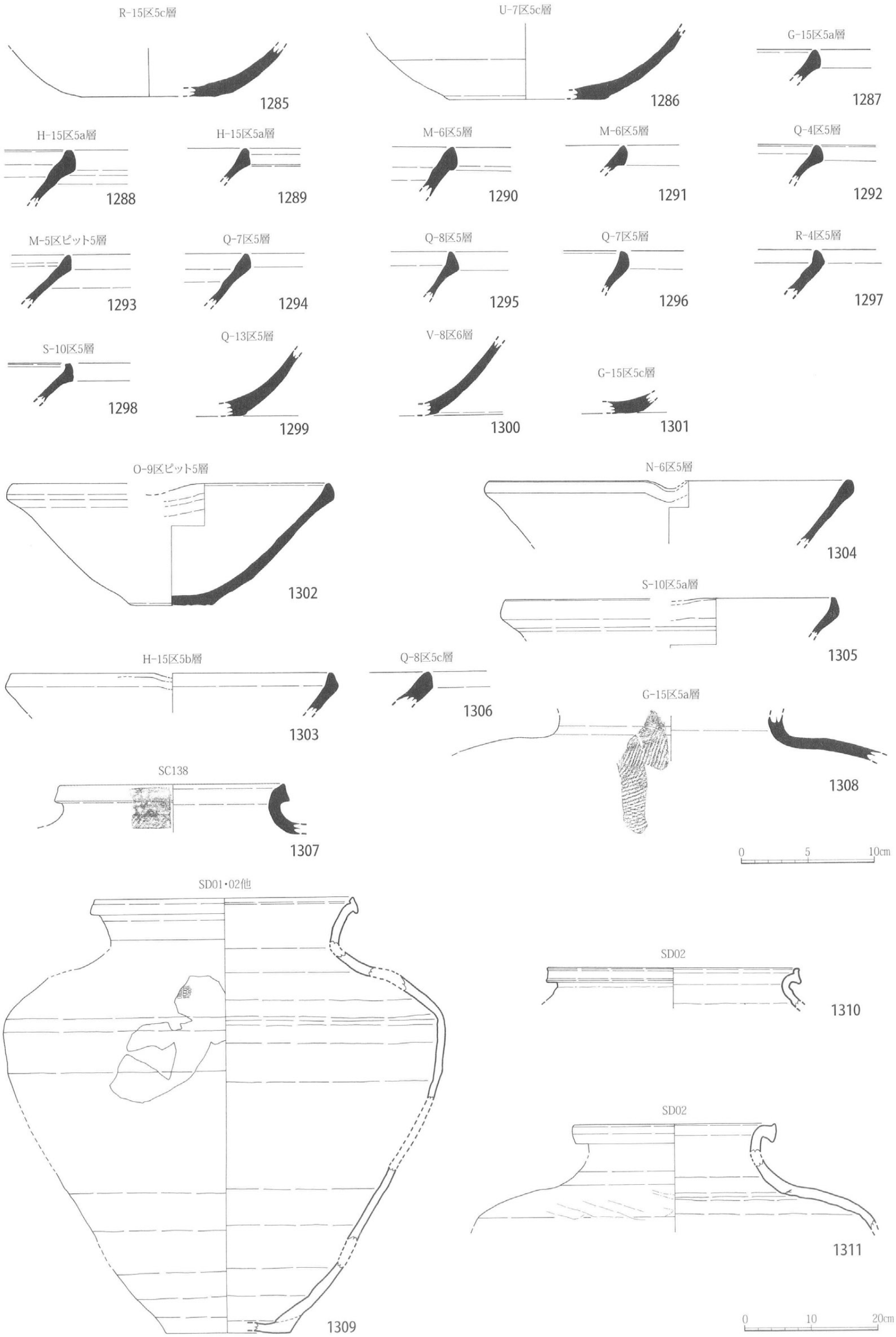
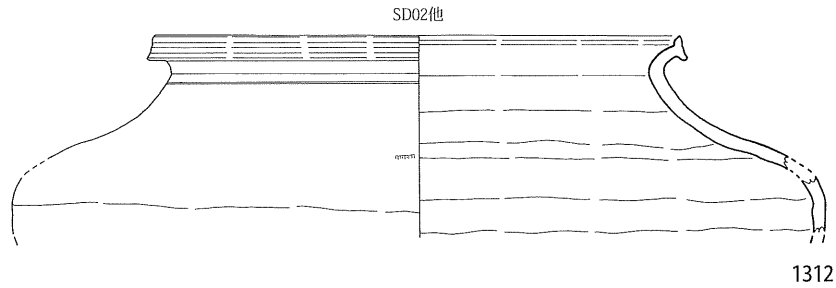
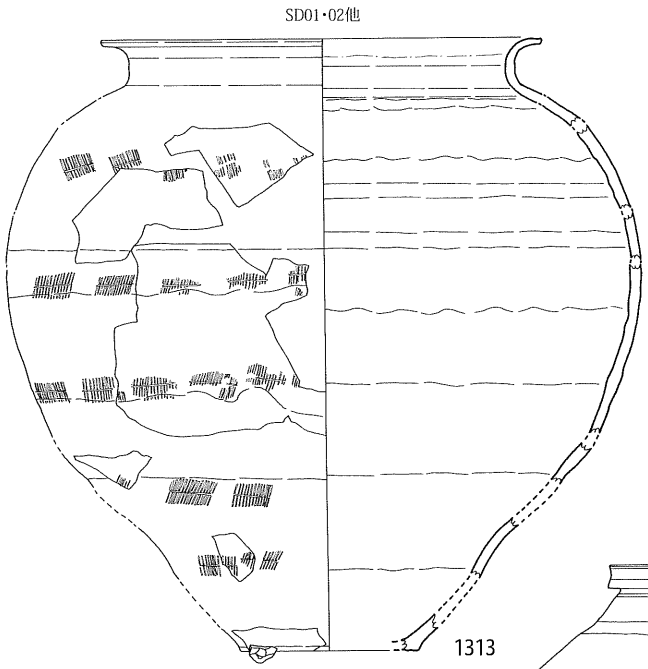

R-15区5c層
1285
U-7区5c層
1286
G-15区5a層
1287
H-15区5a層
1288
H-15区5a層
1289
M-6区5層
1290
M-6区5層
1291
Q-4区5層
1292
M-5区ピット5層
1293
Q-7区5層
1294
Q-8区5層
1295
Q-7区5層
1296
R-4区5層
1297
S-10区5層
1298
Q-13区5層
1299
V-8区6層
1300
G-15区5c層
1301
O-9区ピット5層
1302
H-15区5b層
1303
N-6区5層
1304
S-10区5a層
1305
Q-8区5c層
1306
G-15区5a層
1308
SC138
1307
0 5 10cm
SD01・02他
1309
SD02
1310
SD02
1311
0 10 20cm

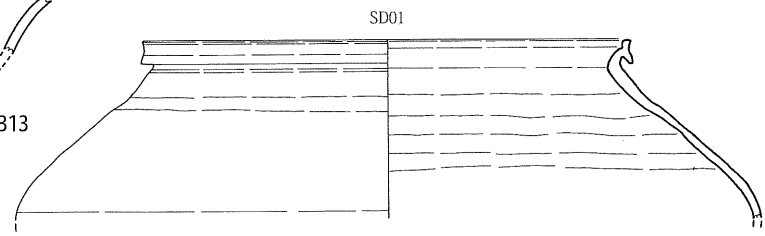
図104　国産陶器(3)



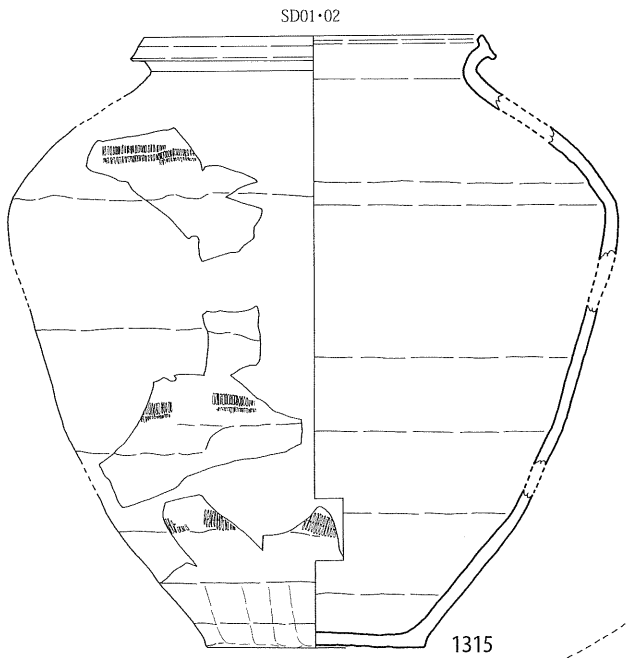
1312



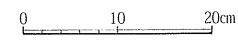
1313

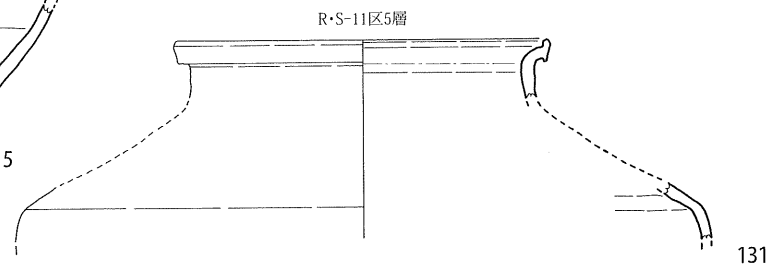


1314



1315





1316

図105　国産陶器(4)

1317は常滑甕か壺の破片と思われる。小破片であり、詳細は不明である。

1318～**1322**は常滑壺である。**1318**は壺の口縁～肩部片であり、肩部に２条の沈線が巡り、内外面に自然釉がかかる。３か４型式に相当し、12世紀末から13世紀初頭にかけてのものである。**1319**は壺の口縁部片であり、内外面の一部に自然釉がかかる。５か６a型式に相当し、13世紀前半から第３四半期にかけてのものである。**1320**は壺の肩部片であり、外面に１条の沈線が巡り、自然釉がかかる。５か６a型式に相当し、13世紀前半から第３四半期にかけてのものである。**1321**は壺の底部片であり、外面に自然釉の垂れがみられる。３か４型式に相当し、12世紀末から13世紀初頭にかけてのものである。**1322**は壺の底部片であり、内面の一部に自然釉がかかる。

1323～**1327**は常滑広口壺である。**1323**は広口壺の口縁～肩部片であり、肩部に格子目状の押印が施され、外面全体および口唇部内面の一部に自然釉がかかる。５型式に相当し、13世紀前半のものである。**1324**は広口壺の口縁～頸部片であり、外面および口唇部内面に自然釉がかかる。５型式に相当し、13世紀前半のものである。**1325**は広口壺の口縁部片であり、口縁の折返し痕が認められ、口唇部内面に自然釉がかかる。５～６a型式に相当し、13世紀前半から第３四半期にかけてのものである。**1326**は広口壺の口縁部片であり、口唇部内面に自然釉がかかる。５～６a型式に相当し、13世紀前半から第３四半期にかけてのものである。**1327**は広口壺の底部片で、内面に自然釉がかかる。５型式に相当し、13世紀代のものである。

1328～**1330**は常滑片口椀である。**1328**は片口椀の口縁～底部片である。生産および流通量共に少なく、６a型式に相当し、13世紀第３四半期のものである。**1329**は片口椀の口縁部片であり、外面に３条の沈線が認められる。**1330**は片口椀の口縁部片である。５型式に相当し、13世紀前半のものである。

1331は常滑玉縁口縁壺の頸～肩・胴・底部片であり、肩部に１条の沈線が巡り、自然釉がかかる。６a型式に相当し、13世紀第３四半期のものである。

1332～**1334**は常滑片口鉢である。**1332**は片口鉢の口縁～胴・底部片であり、口唇部上面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。６a型式に相当し、13世紀第３四半期のものである。**1333**は片口鉢の口縁部片であり、口唇部上面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。片口Ⅰ類６a型式に相当し、13世紀第３四半期のものである。**1334**は片口鉢の口縁部片であり、口唇部上面に沈線が巡る。

1335・**1336**は常滑捏鉢である。**1335**は捏鉢の口縁部片であり、内面に使用痕が認められる。**1336**は捏鉢の口縁部片であり、焼成不良品である。

1337・**1338**は常滑鉢である。**1337**は鉢の口縁部片であり、折曲げ口縁をもち、口唇部上面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。**1338**は鉢の口縁部片であり、折曲げ口縁をもち断面に痕跡をのこしている。また、口唇部上面に重ね焼きの痕跡である自然釉がかかる。

1339は常滑甕の胴部片を二次転用した砥石であり、表裏面に断面Ｖ字状の浅い溝がある。焼成不良品である。

1340は古瀬戸卸皿の口縁～体部片であり、口唇部から外面上位まで釉が著しく剥離し、外面下位に釉の刷毛塗り痕跡をのこす。古瀬戸前Ⅲ期に相当し、13世紀第３四半期のものである。

1341は古瀬戸瓶子の口縁部片である。古瀬戸前Ⅲ期に相当し、13世紀第３四半期のものである。

1342は国産陶器甕の底部片であり、外面にススの付着がみられる。在地系と思われる。

（３）貿易陶磁器（図107～113）

1343～**1345**は中国陶器合子である。**1343**は合子（蓋）の天井～口縁部片であり、褐釉が掛けられ、型物である。福建省系の所産で、13世紀代のものである。**1344**は合子（蓋）の口縁部片であり、褐釉が掛けられている。側面に線条文が施され、口唇部から内面下位は無釉である。**1345**は合子（身）の口縁部片であり、褐釉が掛けられ、型物である。角合子で平面八角形をなしていたと思われる。福建省系の所産で、13世紀代のものである。

1346は中国陶器壺か耳壺の肩部片であり、黄釉が掛けられている。12世紀から13世紀にかけてのものであ

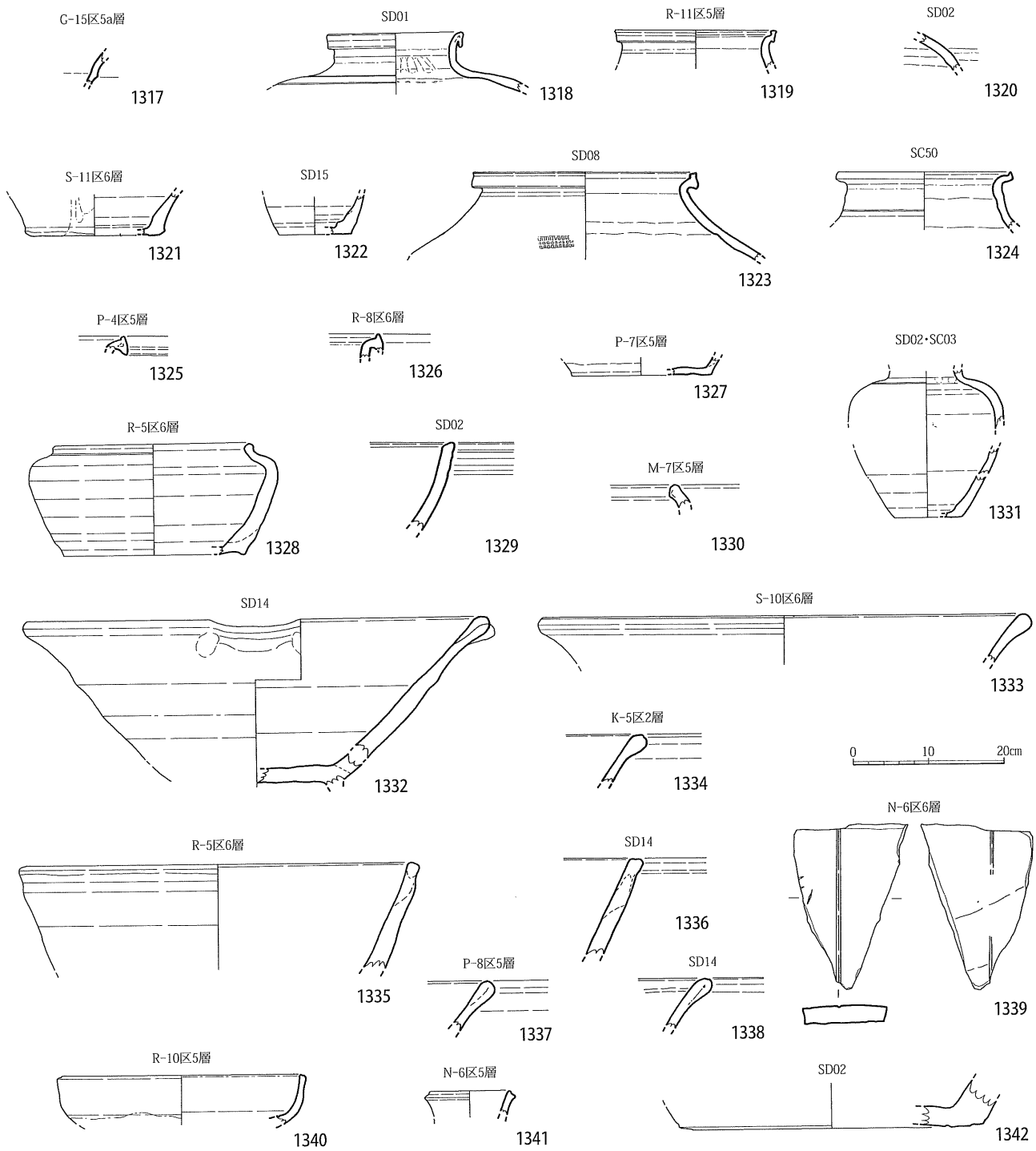


図106　国産陶器(5)

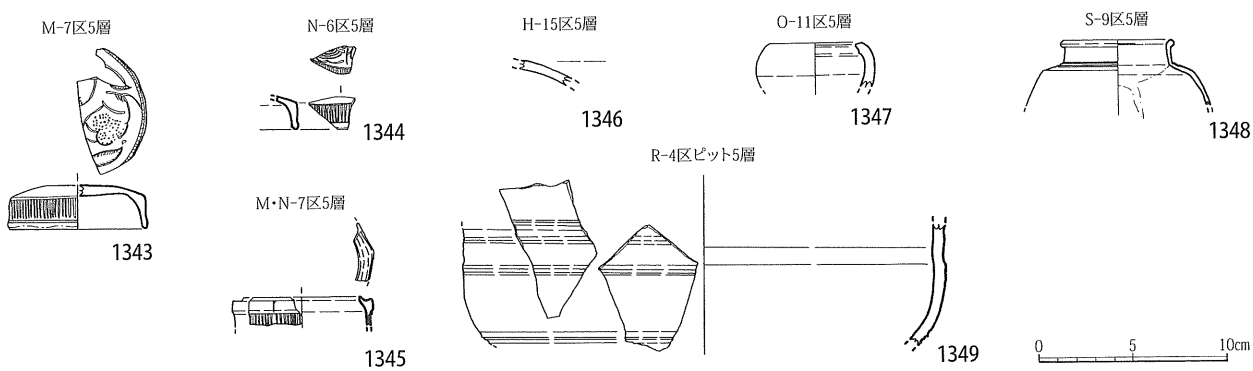


図107　貿易陶磁器(1)

る。

1347・1348は中国陶器茶入である。**1347**は茶入の口縁～体部片であり、褐釉が掛けられている。**1348**は茶入の口縁～胴部片であり、鉄釉が掛けられている。

1349は中国陶器鉢の体部片であり、褐釉が掛けられている。鉢Ⅳ類に相当し、13世紀から14世紀前半にかけてのものである。

1350～1357は中国陶器盤である。**1350**は盤の口縁～底部片であり、体部外面上位から内面にかけて施釉され、口唇部の釉が拭き取られている。口縁部内面に目痕をのこし、内面に鉄絵を有すが二次的被熱により不明瞭であり、また口縁端部が肥厚している。黄釉盤Ⅰ－２b類に相当し、口縁端部は鋭利さがなく玉縁状を呈しており、13世紀後半のものである。**1351**は盤の口縁～底部片であり、体部外面上位から内面にかけて施釉され、口唇部の釉が拭き取られている。内面に鉄絵を有し、口縁端部が肥厚している。**1352**は盤の口縁部片であり、口唇部の釉が拭き取られ、口縁部内面に目痕をのこす。黄釉盤Ⅰ－２類に相当し、口縁端部は鋭利さがなく玉縁状を呈しており、13世紀後半のものである。**1353**は盤の口縁部片であり、外面上位から内面にかけて施釉され、口唇部の釉が拭き取られている。また口縁部内面に目痕をのこしている。黄釉盤Ⅰ－２類に相当し、口縁端部は鋭利さがなく玉縁状を呈しており、13世紀後半のものである。**1354・1355**は盤の口縁部片であり、内外面に施釉され、口唇部の釉が拭き取られている。黄釉盤Ⅰ－２類に相当する。**1356**は盤の体～底部片であり、体部外面から内面にかけて施釉されている。内面に鉄絵を有すが二次的被熱により不明瞭である。黄釉盤Ⅰ－２b類に相当する。**1357**は盤の体～底部片であり、内面施釉、外面無釉で、内面に鉄絵を有す。黄釉盤Ⅰ－２b類に相当する。

1358～1441は龍泉窯系青磁椀・坏である。**1358・1359**は椀の口縁部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1360**は椀の底部片であり、内面見込みに環状の沈線が認められる。椀Ⅳ類に相当し、14世紀初頭から14世紀後半にかけてのものである。**1361**は椀の口縁～底部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。所々に二次的被熱の痕跡である釉の銀化がみられる。**1362**は椀の口縁～底部片であり、外面に鎬蓮弁文が施され、内面見込みには草花文の印刻が認められる。椀Ⅱ－ｃ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。高台部内面に文字か記号の墨書が施されている。**1363**は椀の口縁～底部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。所々に二次的被熱の痕跡である釉の銀化がみられる。**1364**は椀の口縁～体部片、**1365**は椀の底部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1366**は椀の体～底部片であり、外面に鎬蓮弁文が施され、内面見込みには幾何学花文の印刻が認められる。椀Ⅱ－ｃ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1367**は椀の体～底部片であり、外面に鎬蓮弁文が施され、内面見込みには草花文の印刻が認められる。椀Ⅱ－ｃ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1368**は椀の底部片であり、内面見込みに幾何学文の印刻が認められ、高台部内面に焼台の痕跡をのこす。椀Ⅱ－ｃ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1369**は椀の体～底部片であり、外面に片彫蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ａ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1370**は椀の体～底部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1371**は椀の口縁部片である。椀Ⅰ類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1372**は椀の口縁～体部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1373**は椀の体部片であり、外面に片彫蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ａ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1374**は椀の体部片であり、外面に櫛目、内面に片彫草花文が施されている。椀Ⅲ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1375**は椀の体～底部片であり、内面に片彫蓮花文、内面見込みに片彫花弁文が施されている。椀Ⅰ－２類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1376**は椀の体部片、**1377**は椀の口縁～底部片、**1378**は椀の口縁～体

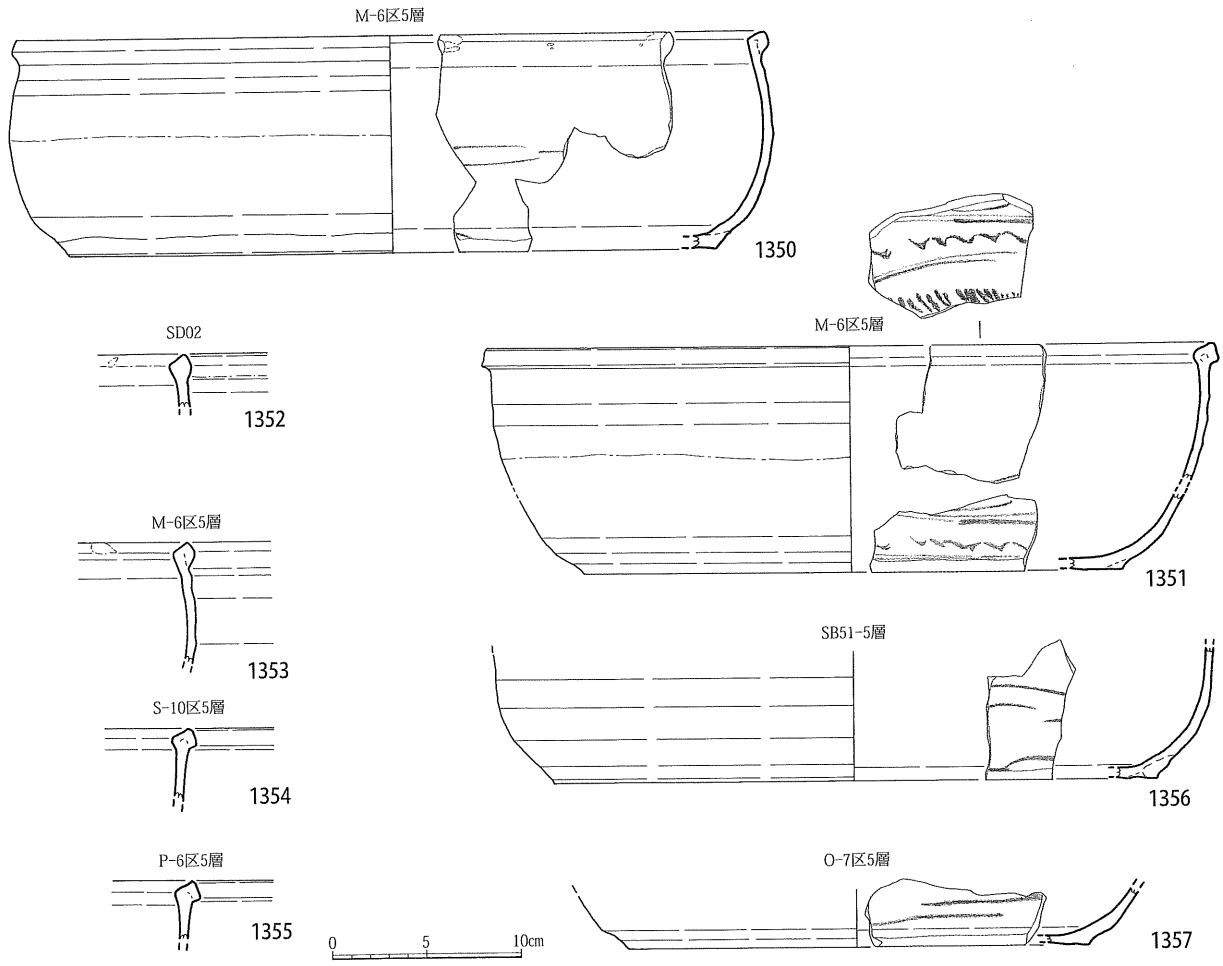


図108　貿易陶磁器(2)

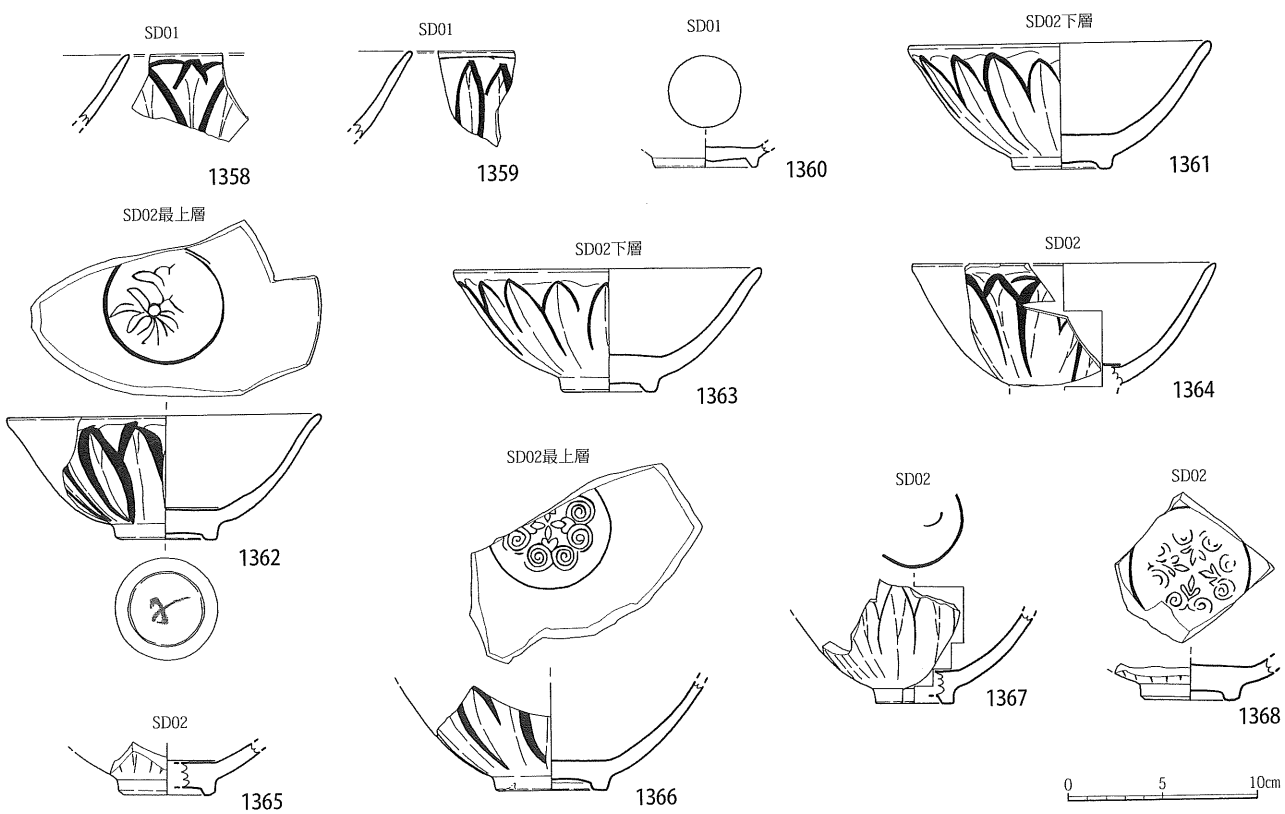


図109　貿易陶磁器(3)

部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1379**は椀の底部片であり、内面見込みに幾何学文が施されている。椀Ⅱ－ｃ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1380**は椀の底部片であり、外面に鎬蓮弁文が施され、内面に環状の沈線が認められる。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1381**は椀の口縁～底部片、**1382**は椀の底部片、**1383**～**1385**は椀の口縁部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1386**は椀の体部片であり、内面にヘラ描文が施されている。椀Ⅰ類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1387**・**1388**は椀の口縁～底部片、**1389**は椀の口縁～体部片、**1390**は椀の口縁部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1391**は椀の体部片である。椀Ⅰ類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1392**・**1394**・**1398**は椀の口縁～体部片、**1393**・**1397**・**1399**は椀の口縁部片、**1395**・**1396**は椀の体部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1400**は椀の体～底部片である。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1401**は椀の底部片であり、椀Ⅰ類か椀Ⅱ類に相当し、12世紀中頃から13世紀前半にかけてのものである。**1402**は椀の口縁部片である。椀Ⅰ類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1403**・**1405**は椀の口縁～底部片、**1404**は椀の口縁部、**1406**は椀の体部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1407**は椀の体部片であり、外面に櫛目の入った片彫蓮弁文、内面に片彫草花文が施されている。椀Ⅰ－６類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1408**・**1409**は椀の体部片、**1410**・**1411**は椀の底部片、**1412**～**1418**は口縁～体部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1419**は坏の口縁部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。坏Ⅲ－４類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1420**は椀の口縁部片である。椀Ⅰ－１b類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1421**は椀の口縁～体部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1422**は椀の口縁部片であり、外面に片彫蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ａ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1423**は椀の口縁部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅲ－２C類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1424**は椀の口縁～体部片、**1425**・**1426**は椀の口縁部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1427**は椀の口縁部片であり、外面に片彫蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ａ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1428**は椀の口縁部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1429**は椀の口縁部片である。椀Ⅰ－１類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1430**は椀の口縁～体部片、**1431**は椀の口縁部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1432**・**1433**は椀の口縁部片であり、内面に片彫草花文が施されている。椀Ⅰ類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1434**は椀の口縁部片であり、体部内面が櫛刃により分割される。椀Ⅰ－４類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1435**～**1439**は椀の口縁部片、**1440**・**1441**は椀の体部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。

1442は同安窯系青磁椀の体部片であり、内面に櫛描文が施されている。椀Ⅰ類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。

1443～**1450**は龍泉窯系青磁椀である。**1443**は椀の体部片であり、外面に片彫蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ａ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1444**は椀の底部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1445**は椀の底部片であり、内面見込みに草花文様の印刻が認められる。椀Ⅱ－ｃ類に相当し、13世紀中頃から14世紀

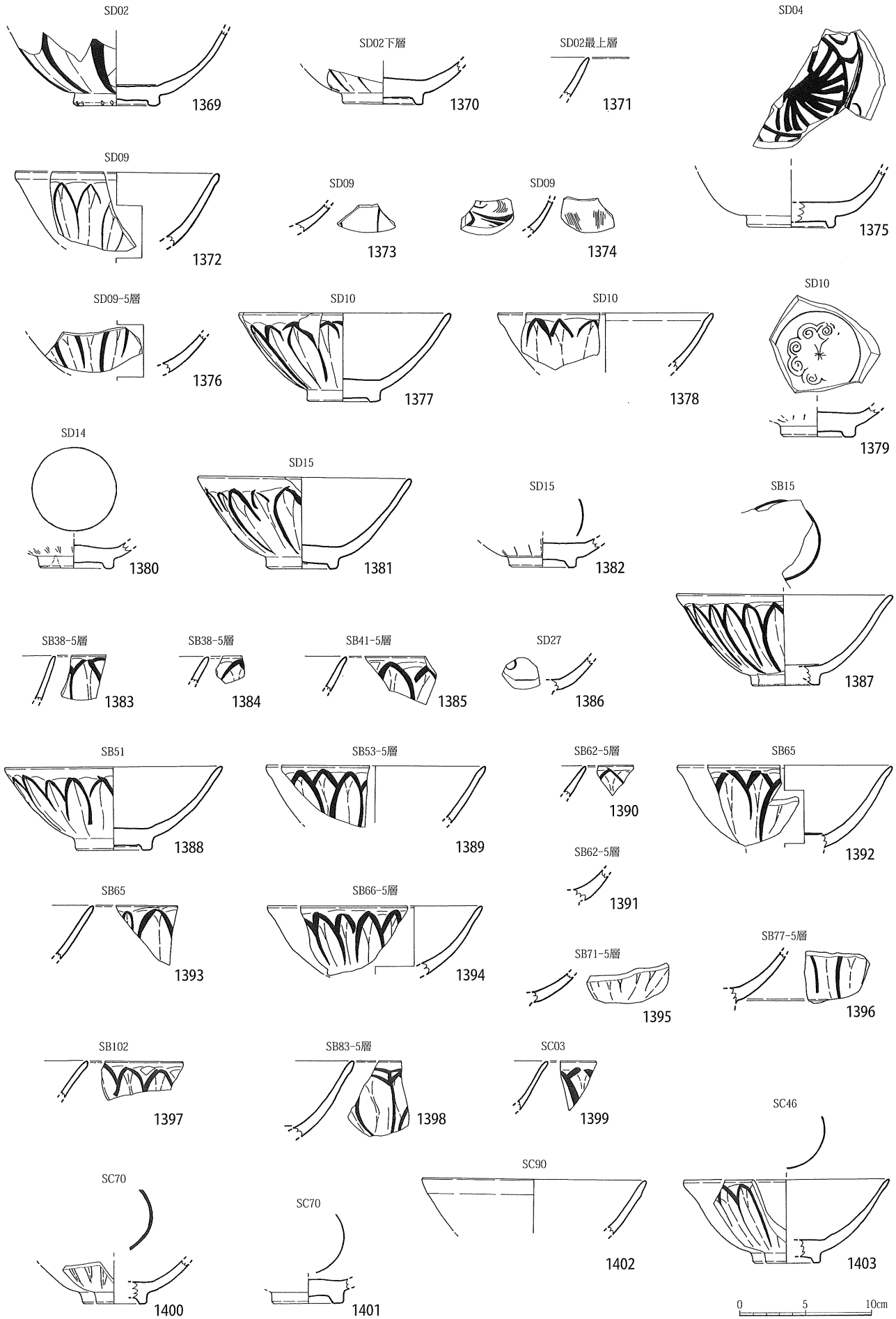

SD02
1369
SD02下層
1370
SD02最上層
1371
SD04
1375
SD09
1372
SD09
1373
SD09
1374
SD09-5層
1376
SD10
1377
SD10
1378
SD10
1379
SD14
1380
SD15
1381
SD15
1382
SB15
1387
SB38-5層
1383
SB38-5層
1384
SB41-5層
1385
SD27
1386
SB51
1388
SB53-5層
1389
SB62-5層
1390
SB65
1392
SB62-5層
1391
SB65
1393
SB66-5層
1394
SB71-5層
1395
SB77-5層
1396
SB102
1397
SB83-5層
1398
SC03
1399
SC46
1403
SC90
1402
SC70
1400
SC70
1401
0
5
10cm

図110　貿易陶磁器(4)

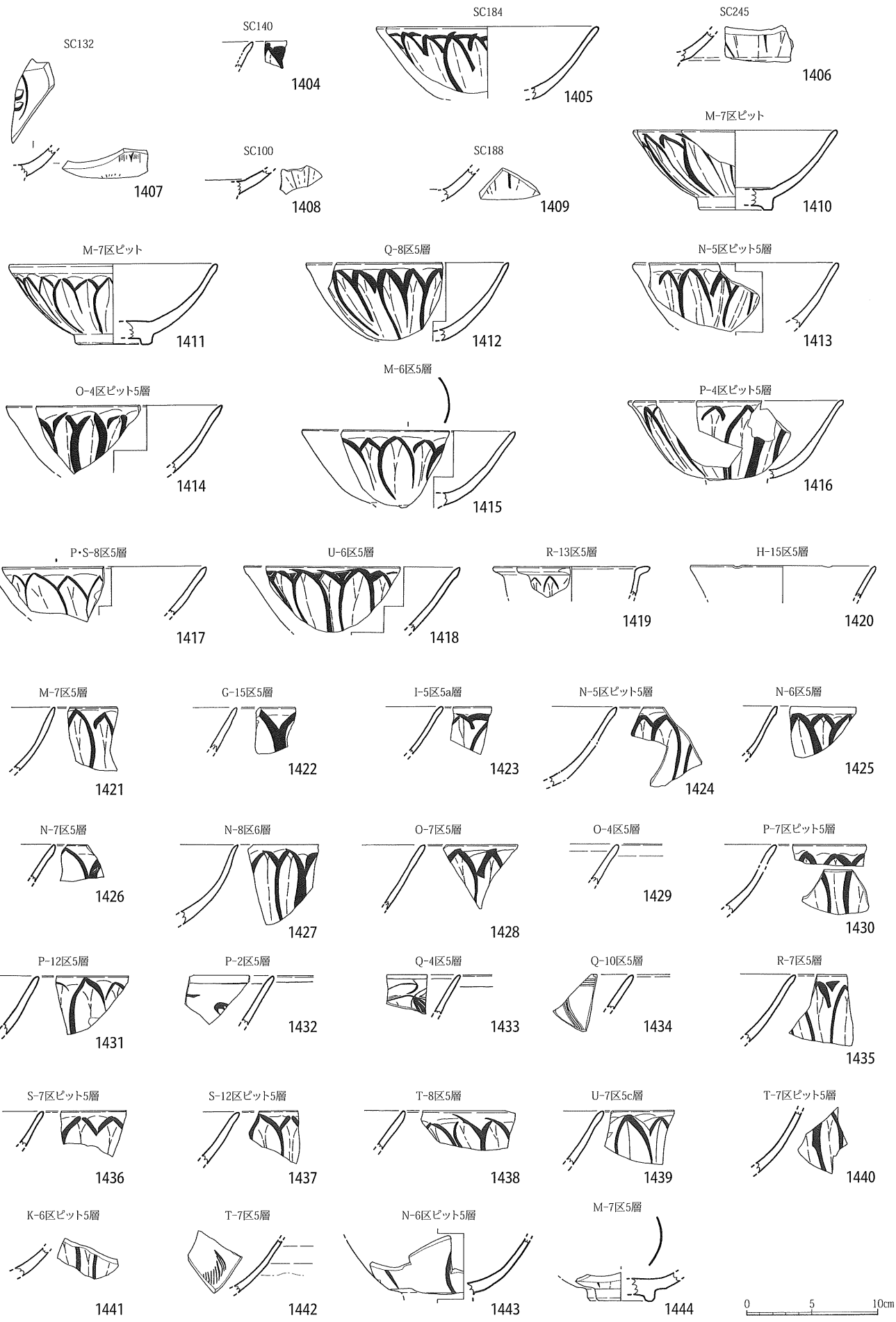

SC132
1407
SC140
1404
SC184
1405
SC245
1406
SC100
1408
SC188
1409
M-7区ピット
1410
M-7区ピット
1411
Q-8区5層
1412
N-5区ピット5層
1413
O-4区ピット5層
1414
M-6区5層
1415
P-4区ピット5層
1416
P・S-8区5層
1417
U-6区5層
1418
R-13区5層
1419
H-15区5層
1420
M-7区5層
1421
G-15区5層
1422
I-5区5a層
1423
N-5区ピット5層
1424
N-6区5層
1425
N-7区5層
1426
N-8区6層
1427
O-7区5層
1428
O-4区5層
1429
P-7区ピット5層
1430
P-12区5層
1431
P-2区5層
1432
Q-4区5層
1433
Q-10区5層
1434
R-7区5層
1435
S-7区ピット5層
1436
S-12区ピット5層
1437
T-8区5層
1438
U-7区5c層
1439
T-7区ピット5層
1440
K-6区ピット5層
1441
T-7区5層
1442
N-6区ピット5層
1443
M-7区5層
1444
0
5
10cm

図111　貿易陶磁器(5)

初頭にかけてのものである。**1446**は椀の底部片であり、外面に鎬蓮弁文が施され、内面見込には草花文の印刻が認められる。椀Ⅱ－ｃ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1447**は椀の底部片であり、内面見込みに幾何学文様の印刻が認められる。椀Ⅱ－ｃ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。**1448**は椀の底部片であり、外面に鎬蓮弁文が施され、内面見込みには花文様の印刻が認められる。椀Ⅱ－ｃ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1449・1450**は椀の底部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。椀Ⅱ－ｂ類に相当し、13世紀初頭から13世紀前半にかけてのものである。

1451は同安窯系青磁椀の底部片である。

1452・1453は龍泉窯系青磁小碗である。**1452**は小碗の口縁部片であり、小碗Ⅲ－１Ａ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1453**は輪花小碗の口縁～体部片であり、体部内面が櫛刃により分割されている。小碗Ⅰ－２類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。

1454は同安窯系青磁皿の口縁～底部片であり、体部外面下位は無釉である。皿Ⅰ－１ａ類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。

1455は龍泉窯系青磁皿の口縁部片であり、外面に釉垂れがみられる。皿Ⅰ類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。

1456～1459は同安窯系青磁皿である。**1456**は皿の底部片であり、底面の釉が掻き取られている。皿Ⅰ－２ｂ類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1457**は皿の体～底部片であり、底面は無釉で、内面見込みに櫛描文が施されている。皿Ⅰ－１ｂ類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1459**は小皿の完形品であり、底面に墨書が施されている。皿Ⅰ－１ａ類に相当し、12世紀中頃のものである。

1460は龍泉窯系青磁輪花皿の口縁部片である。皿Ⅳ類に相当し、14世紀初頭から14世紀後半にかけてのものである。

1461・1462は中国青磁小壺である。**1461**は小壺の体部片であり、内面に胴継ぎ痕をのこしている。

1463・1464は龍泉窯系青磁坏である。**1463**は坏の口縁部片であり、外面に鎬蓮弁文が施されている。坏Ⅲ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1464**は大坏の口縁～底部片であり、高台畳付は無釉で、露胎部分が赤色に発色している。坏Ⅲ－３ａ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。

1465～1472は白磁椀である。**1465～1468**は椀の口縁～体部片であり、口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。椀Ⅸ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。また、**1467**は体部内面に環状の沈線が認められる。**1469**は椀の体部片であり、内面に櫛刀ないしヘラによる草花文が施されている。**1470**は椀の底部片であり、高台部は無釉である。椀Ⅸ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1471**は椀の底部片であり、内面見込みの釉が環状に掻き取られている。椀Ⅷ類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。**1472**は椀の底部片であり、内面の釉が環状に掻き取られ、高台部は無釉である。椀Ⅷ類に相当し、12世紀中頃から12世紀後半にかけてのものである。

1473～1504は白磁皿である。**1473**は皿の口縁～底部片であり、底面はハケヌリ施釉されている。口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1474・1475**は皿の体～底部片であり、底面はハケヌリ施釉されている。皿Ⅸ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1476・1477**は皿の口縁～体部片であり、口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1478**は皿の口縁～底部片であり、底面はハケヌリ施釉されている。口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ－１ｄ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1479**は皿の口縁～底部片であり、口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ－１ａ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1480**は皿の口縁～体部片であり、口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭に

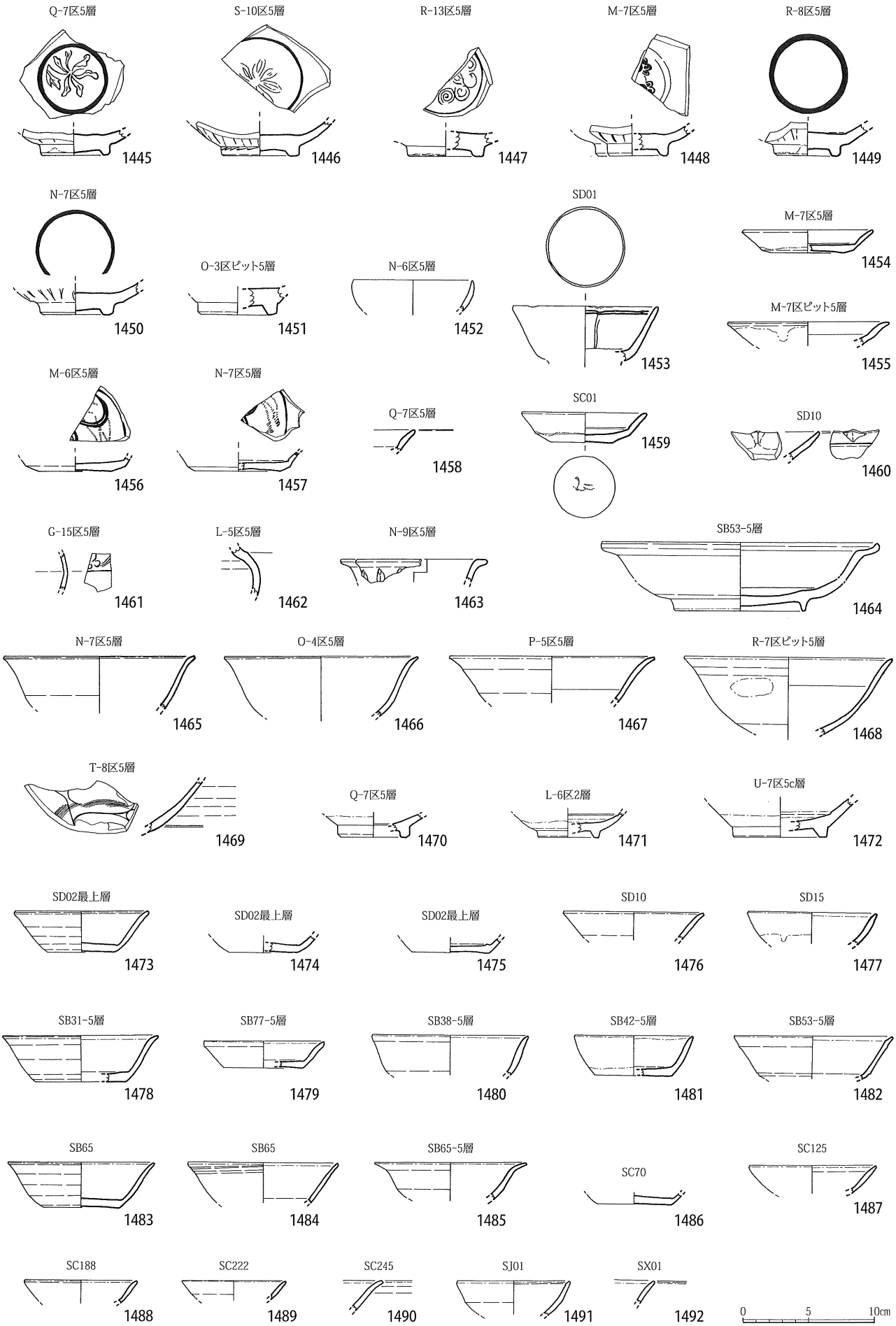

Q-7区5層
1445
S-10区5層
1446
R-13区5層
1447
M-7区5層
1448
R-8区5層
1449
N-7区5層
1450
O-3区ピット5層
1451
N-6区5層
1452
SD01
1453
M-7区5層
1454
M-7区ピット5層
1455
M-6区5層
1456
N-7区5層
1457
Q-7区5層
1458
SC01
1459
SD10
1460
G-15区5層
1461
L-5区5層
1462
N-9区5層
1463
SB53-5層
1464
N-7区5層
1465
O-4区5層
1466
P-5区5層
1467
R-7区ピット5層
1468
T-8区5層
1469
Q-7区5層
1470
L-6区2層
1471
U-7区5c層
1472
SD02最上層
1473
SD02最上層
1474
SD02最上層
1475
SD10
1476
SD15
1477
SB31-5層
1478
SB77-5層
1479
SB38-5層
1480
SB42-5層
1481
SB53-5層
1482
SB65
1483
SB65
1484
SB65-5層
1485
SC70
1486
SC125
1487
SC188
1488
SC222
1489
SC245
1490
SJ01
1491
SX01
1492
0
5
10cm

図112　貿易陶磁器(6)

かけてのものである。**1481**は皿の口縁～底部片であり、体部外面下位から底面は無釉である。口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ－２類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1482**は皿の口縁～体部片であり、口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1483**は皿の口縁～底部片であり、底面はハケヌリ施釉されている。口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ－１c類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1484**は皿の口縁～体部片であり、口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ－１c類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1485**は皿の口縁～体部片であり、口縁部が外反している。口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ－１d類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1486**は皿の底部片であり、内外面施釉で、底面はハケヌリ施釉されている。皿Ⅸ－１類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1487**～**1489**・**1491**は皿の口縁～体部片、**1490**・**1492**は皿の口縁部片であり、口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1493**・**1494**は皿の口縁～底部片であり、底面は無釉である。口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1495**・**1496**は皿の口縁～底部片であり、底面はハケヌリ施釉されている。口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1497**・**1498**は皿の口縁～底部片、**1499**・**1500**は皿の口縁～体部片であり、口縁端部が無釉でいわゆる口禿げである。皿Ⅸ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1501**は皿の底部片であり、皿Ⅲ－１類に相当するものと思われる。**1502**は皿の底部片であり、内面見込みに菊花文が施されている。15世紀後半から16世紀前半にかけてのものである。**1503**は皿の体～底部片であり、全面施釉で、底面はハケヌリ施釉されている。口禿げ皿と思われ、皿Ⅸ類に相当し、13世紀中頃から14世紀初頭にかけてのものである。**1504**は皿の口縁部片であり、皿Ⅷ－２類に相当するものである。

1505・**1506**は白磁合子である。**1505**は合子（身）の口縁～底部片であり、内外面に貫入がみられる。**1506**は合子（蓋）の天井～口縁部片であり、口唇部は無釉で、側面に線条文が施されている。

1507～**1511**は青白磁合子である。**1507**は合子（身）の口縁～底部片であり、体部外面上位および内面のみ施釉されている。**1508**は合子（身）の口縁～底部片であり、体部外面および内面のみ施釉されている。**1509**は合子（蓋）の天井～口縁部片であり、全体に菊弁文が施され、口唇部から内面下位は無釉である。**1510**は合子（蓋）の口縁部片であり、側面に菊弁文が施され、口唇部から内面下位は無釉である。**1511**は合子（蓋）の口縁部片であり、外面のみ施釉されている。

1512は青白磁瓶の体部片であり、外面に唐草文が施されている。

1513は青白磁小碗の体～底部片であり、12世紀から13世紀初頭にかけてのものである。

（４）滑石製品（図114）

1514～**1522**は滑石製石鍋である。**1514**～**1516**は石鍋の底部片であり、**1514**・**1515**は外面に著しくスス付着。**1517**は石鍋の口縁部片であり、削り出しによる断面三角形の鍔が付く。**1518**・**1519**は石鍋の口縁部片であり、削り出しによる断面不等辺台形の鍔が付き、外面に著しくスス付着。**1520**は石鍋の口縁部片であり、削り出しによる断面方形瘤状の把手が付き、外面に著しくスス付着。**1521**は石鍋の口縁部片であり、削り出しによる断面三角形の鍔が付き、外面の一部にスス付着。**1522**は石鍋の口縁部片であり、削り出しによる不等辺台形の鍔が付き、外面に著しくスス付着。

1523は滑石製の権で、重量84.0ｇである。権とは棹秤に用いられたおもりの事。

1524は滑石製紡錘車の未製品であり、精緻な成形を行なっている。**1523**・**1524**は福岡市『博多遺跡群』からも同様の物が出土している。

1525～**1529**は滑石製の石錘と思われ、縦方向に穿孔が為されている。

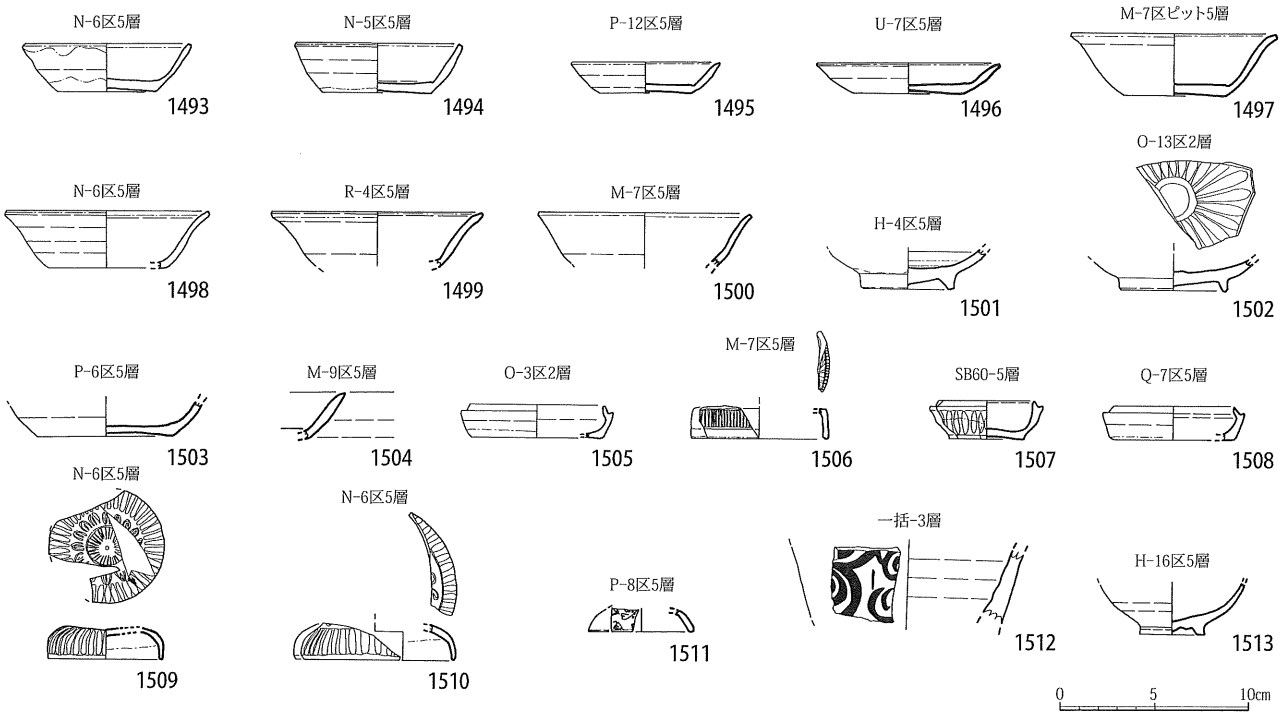


図113　貿易陶磁器(7)

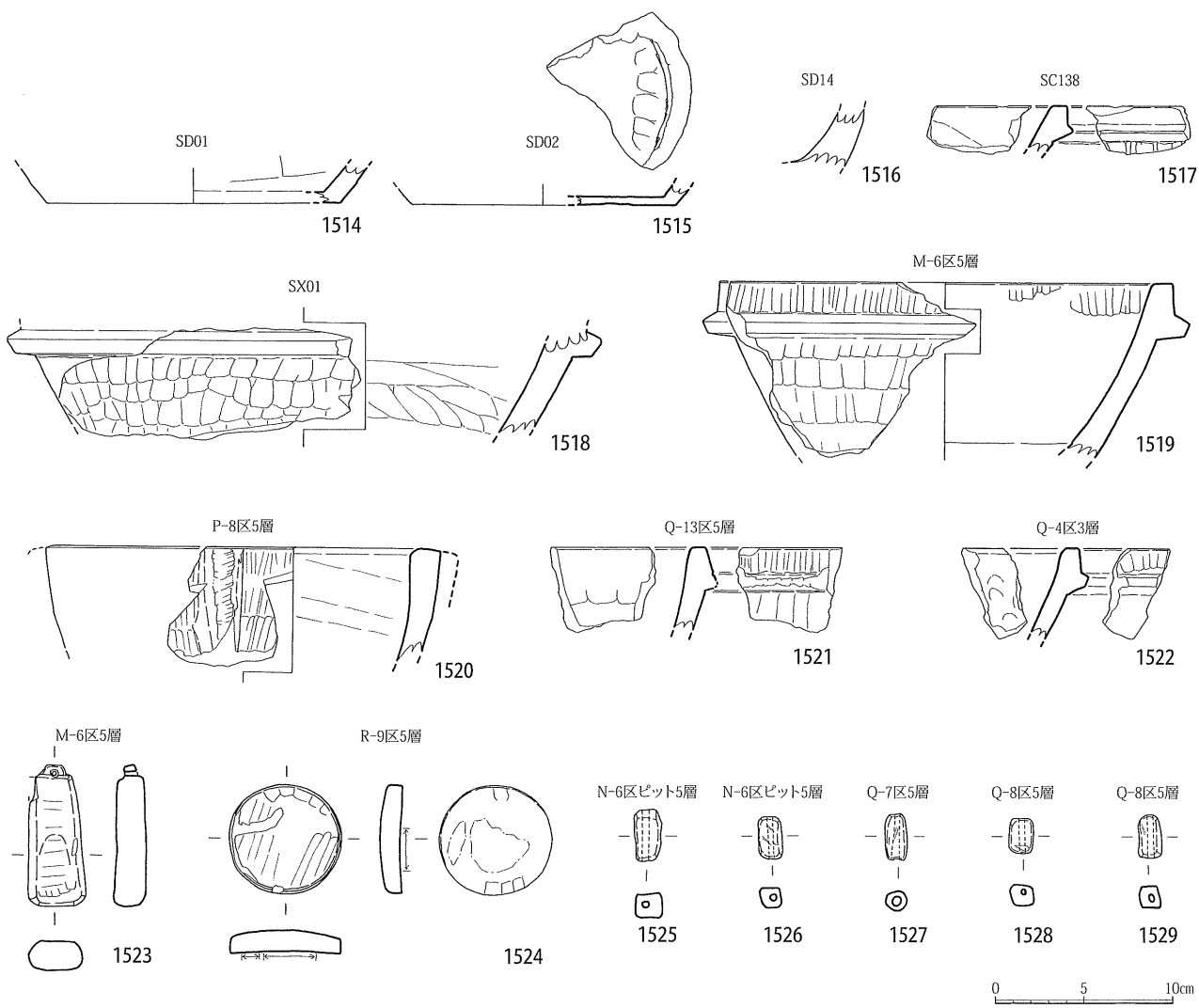


図114　滑石製品

（5）その他の土器・土製品（図115）

1530・1531は土師質土器鍋である。**1530**は土鍋の口縁部片であり、内面にハケメ調整痕を明瞭にのこし、口縁端部が受け口状に内湾している。**1531**は土鍋の胴部片であり、内面にハケメ調整痕を明瞭にのこし、外面の一部に著しくスス付着。**1530・1531**は瀬戸内系土師質土器鍋と思われる。

1532は瓦質土器壺の頸～肩部片であり、外面が著しく剥離している。

1533は瓦質土器擂鉢の胴部片であり、内外面が著しく剥離している。14世紀中頃以降の所産である。

1534は畿内系瓦器小碗の口縁～体部片であり、内面に疎らな圏線ヘラミガキ痕および指頭痕が認められる。

1535・1536は用途不明の粘土塊である。**1535**は籾痕跡がみられ、炭化物が混入している。

1537～1541は土錘である。孔径2.6㎜～4.6㎜である。

1542は勾玉状の土製品であり、縦方向に孔が貫通している。用途不明品である。

（6）石器・石製品（図116～118）

1543は砥石であり、表面および左右側面、上方側面に研磨痕をのこす。

1544～1553は磨石である。**1544**は磨石であり、表面に磨痕をのこす。**1545・1547**はいびつな球状をなす磨石であり、全面が研磨されている。**1546**は扁平な形状をなす磨石であり、表裏面に磨痕をのこす。**1548**は扁平な平面不整円形をした磨石であり、表面および側面に磨痕をのこす。**1549**は卵に似た形状をなす磨石であり、全面が研磨されている。**1550・1551**は扁平な球状をなす磨石であり、全面が研磨されている。**1552**はいびつな形状をなす磨石であり、全面が研磨されている。**1553**は扁平な平面円形をした磨石であり、全面が研磨されている。

1554～1561は磨・敲石である。**1554・1556**は磨・敲石であり、表裏面および片側面に磨痕をのこし、先端部に敲打痕が認められる。**1555**は磨・敲石であり、表裏面および左右側面に磨痕をのこし、３ヶ所に敲打痕がみられる。**1557**は磨・敲石であり、表裏面に磨痕をのこし、側面２ヶ所に敲打痕がみられる。**1558**は磨・敲石であり、表裏面に磨痕をのこし、側面３ヶ所に敲打痕がみられる。**1559**は平面楕円形をした磨・敲石であり、表裏面に磨痕をのこし、表面には敲打痕もみられる。**1560**は磨・敲石であり、表面に磨痕をのこし、一部に敲打痕がみられる。**1561**は磨・敲石であり、表面に磨痕をのこし、側面の一部に敲打痕がみられる。

1562～1575は砥石である。**1562**は砥石であり、表裏面の一部に研磨痕およびススの付着がみられる。**1563**は砥石であり、表裏面に研磨痕をのこす。**1564**は砥石であり、表裏面および片側面に研磨痕をのこし、表面は研ぎ減りにより凹んでいる。**1565**は砥石であり、表裏面および左右側面に研磨痕をのこす。**1566**は砥石であり、表裏面に研磨痕をのこす。**1567**は砥石であり、表裏面および左右側面、下方側面に研磨痕をのこす。**1568**は砥石であり、表面および左右側面に研磨痕をのこす。**1569**は砥石であり、表面に研磨痕をのこす。**1570**は砥石であり、全面に研磨痕をのこす。**1571**は砥石であり、表面および左右側面に研磨痕をのこす。**1572・1573**は砥石であり、表裏面および左右側面に研磨痕をのこす。**1574**は砥石であり、表面に研磨痕をのこす。**1575**は砥石であり、表面および全側面に研磨痕をのこす。

1576は石英製の火打石である。

1577は１面に磨痕をのこし、側端部に加工・使用痕が認められる。砥石として使用された後、切断具として二次転用されたものと推察される。

1578は台石である。表裏面、左右側面に磨痕をのこし、先端部両側面および表裏面に敲打痕を認める。

1579・1580は硯である。**1579**は下半分が欠損した硯である。細部が未仕上げであり、加工途中で破損したものと思われる。**1580**は上端部および下部が欠損した硯である。２面に自然面をのこし、上面に墨痕らしきものが認められる。

1581は用途不明の石製品である。1/2が欠損しており、３面に研磨痕をのこし、中心部に穿孔がみられる。砥石の二次転用品と思われる。

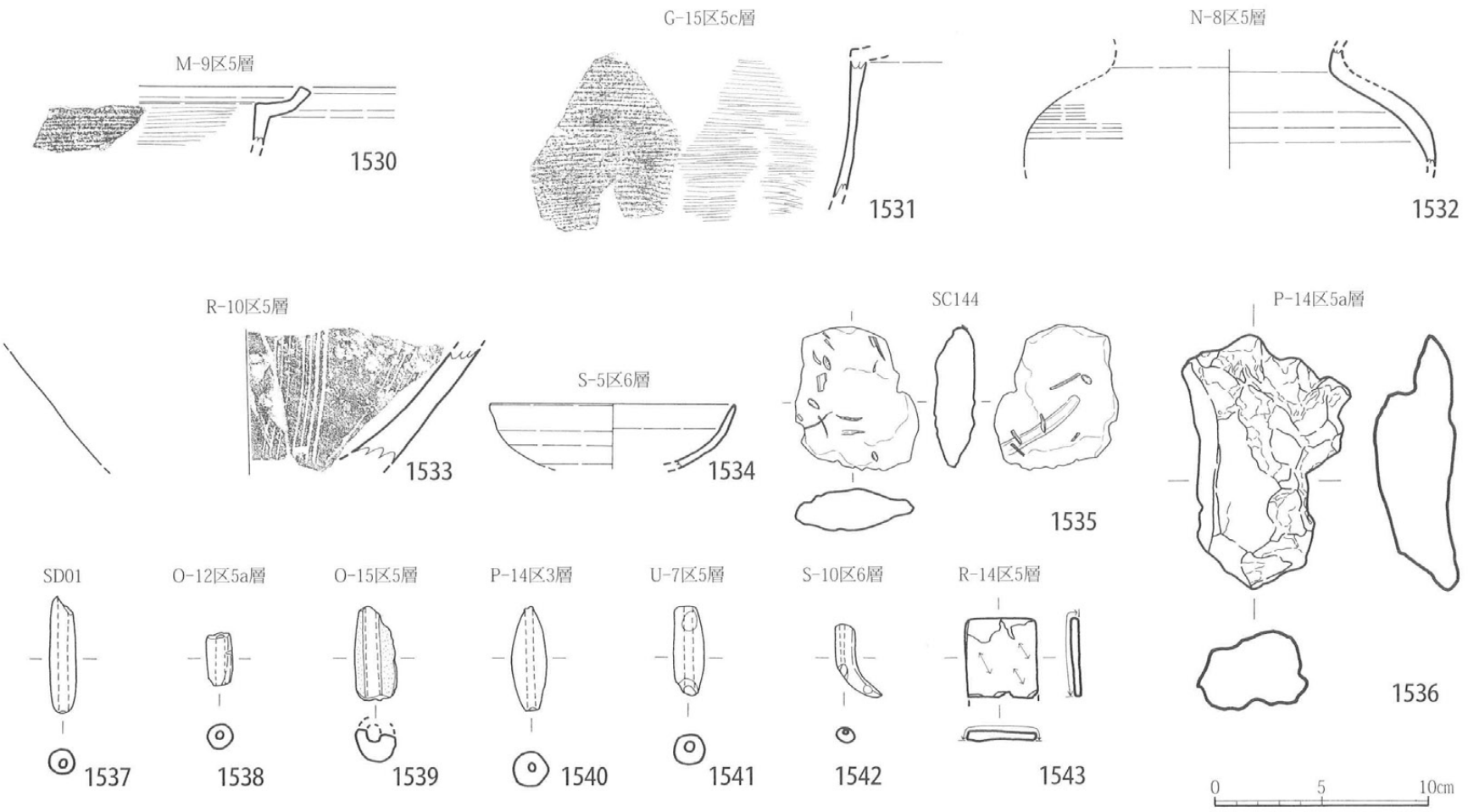
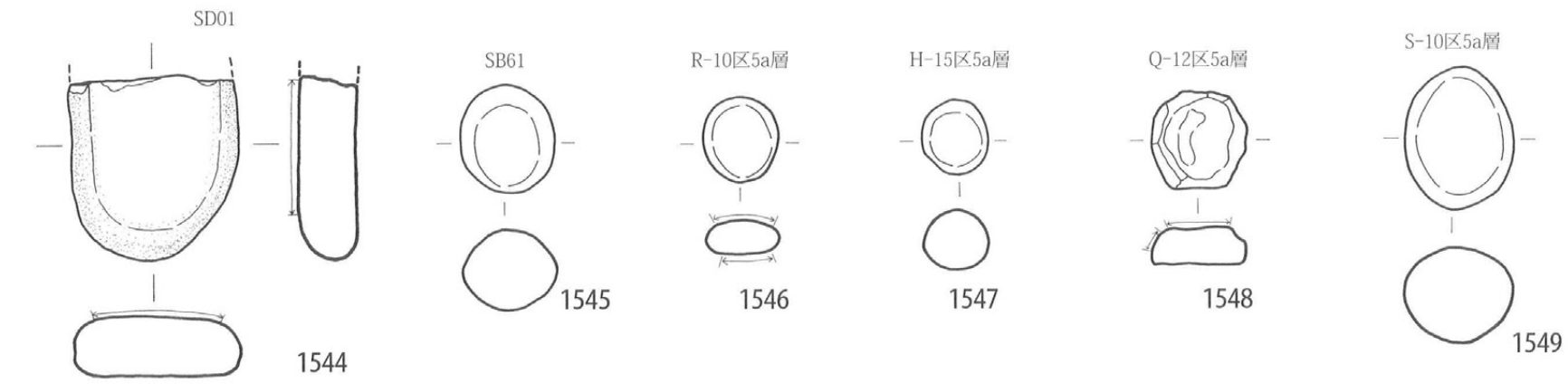


図115　その他の土器・土製品



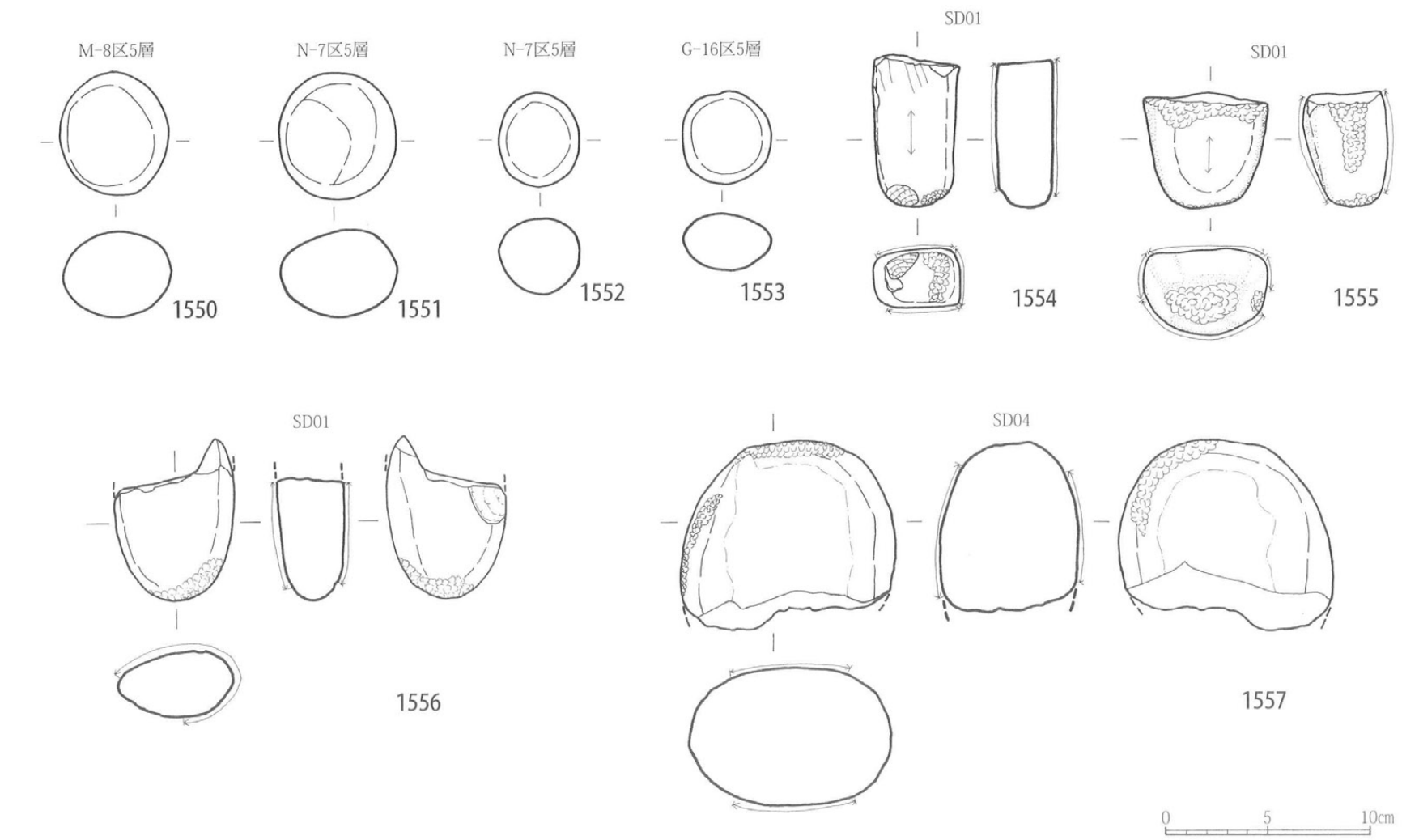


図116　石器・石製品(1)

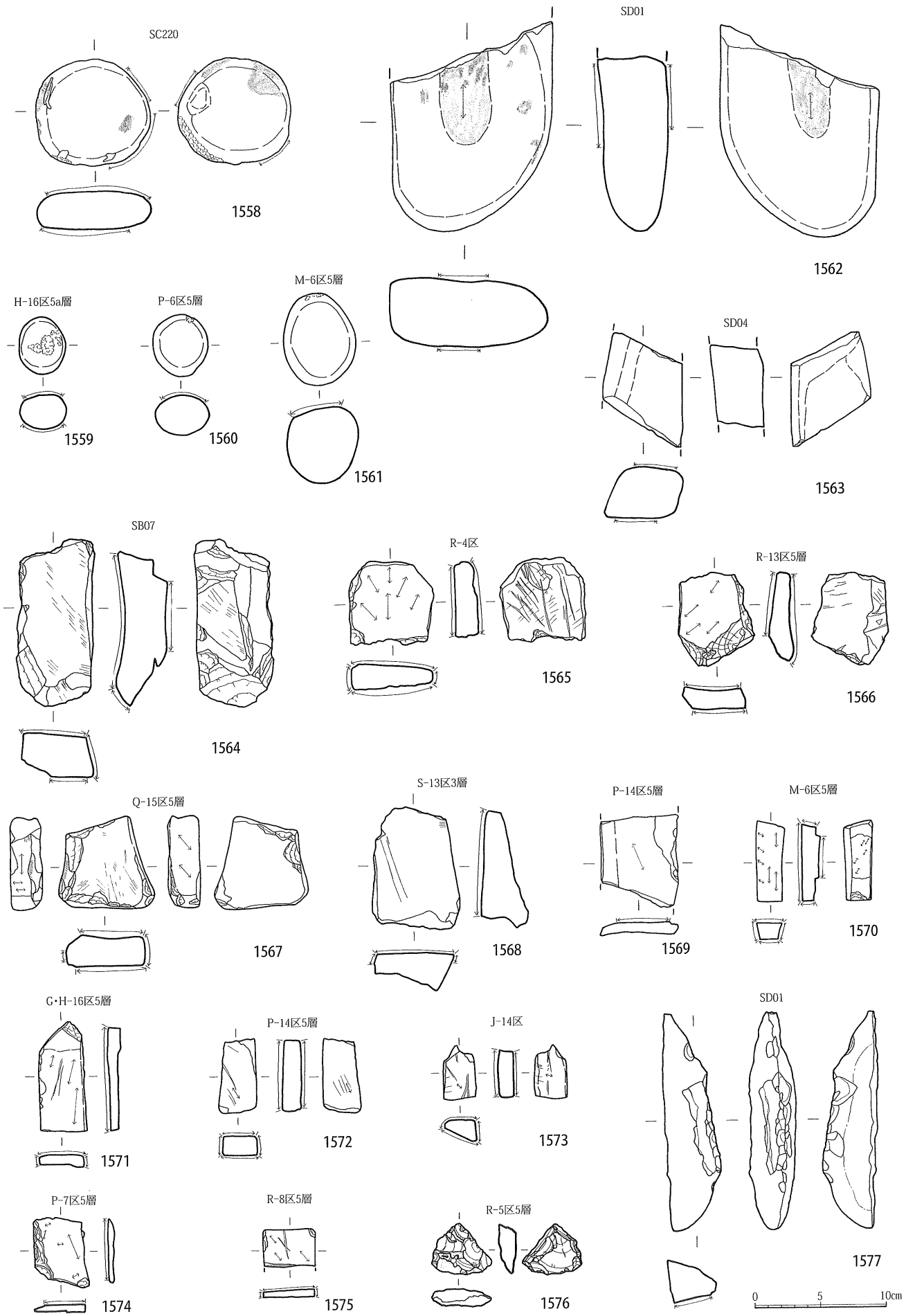

SC220
1558
SD01
1562
H-16区5a層
1559
P-6区5層
1560
M-6区5層
1561
SD04
1563
SB07
1564
R-4区
1565
R-13区5層
1566
Q-15区5層
1567
S-13区3層
1568
P-14区5層
1569
M-6区5層
1570
G・H-16区5層
1571
P-14区5層
1572
J-14区
1573
SD01
1577
P-7区5層
1574
R-8区5層
1575
R-5区5層
1576
0
5
10cm

図117　石器・石製品(2)

（７）軽石製品（図119～121）

1582～**1586**は五輪塔である。**1582**は五輪塔の「火輪」であり、６面が平坦に加工整形され、底面の中心が5.5×6.5cmの隅丸長方形に刳りぬかれている。**1583**は五輪塔の「火輪」の加工途中品と思われ、底面の中心が１辺７～８cmの四角形に刳りぬかれている。**1584**は五輪塔の「地輪」の加工途中品と思われ、４面が平坦に加工整形されている。**1585**は五輪塔の「空輪」の加工途中品と思われ、半球状に加工整形されている。**1586**は五輪塔の「風輪」と思われる。３面が加工整形され半円柱状をなしているが、本来円柱状であったものが破損したものと推察する。

1587は軽石製紡錘車の未製品と思われる。平面不整楕円形を呈し、一部欠損している。

1588～**1608**は用途不明の軽石加工品である。**1588**は扁平な形状をなし、表裏面および側面の一部が研磨され、一部欠損している。**1589**は扁平な形状をなし、表裏面および側面が研磨され、一部欠損している。**1590**は扁平な平面楕円形で全面が研磨され、一部欠損している。**1591**は平面舟形で表裏面が研磨され、一部欠損している。**1592**は２面が平坦に加工整形され、３面が欠損している。**1593**は２面および２面の一部が平坦に加工整形され、一部欠損している。**1594**は扁平な卵形で全面が研磨されている。**1595**は扁平な形状をなし、表裏面が研磨され、一部欠損している。**1596**は卵に似た形状をなし、全面が研磨され、一部欠損している。**1597**は扁平な形状をなし、表裏面が研磨され、一部欠損している。**1598**は扁平な平面楕円形に研磨され、一部欠損している。**1599**は平面二等辺三角形、断面ドーム形に加工整形され、加工痕（ノミ痕跡）をのこし、一部欠損している。**1600**は中心が肥厚した円盤状に加工整形され、一部欠損している。**1601**は扁平な形状で、１面に加工・使用痕をのこし、一部欠損している。**1602**は表面および左右側面に加工・使用痕をのこし、一部欠損している。**1603**・**1604**は角柱状に加工整形され、一部欠損している。２点とも柱穴より出土しており、柱の根固めに用いられた可能性がある。**1605**は扁平な平面不整楕円形で全面が研磨され、一部欠損している。**1606**は２面が平坦に加工整形され、一部欠損している。**1607**は扁平な平面円形で全面が研磨されている。**1608**は扁平な平面楕円形で全面が研磨され、表面にＶ字状の溝がみられる。

（８）鉄製品（図122・123）

1609～**1611**は鉄製火打金である。**1609**・**1611**は火打金のほぼ完形品であり、上部中央に穿孔がみられ、全体に著しい錆ぶくれが認められる。**1610**は一部欠損した火打金であり、上部に穿孔がみられ、全体に著しい錆ぶくれが認められる。

1612～**1615**は鉄製刀子である。**1612**は両端が欠損した刀子の茎であり、幅1.3cm・厚さ0.3cmである。**1613**は刀身側が欠損した刀子の茎であり、幅0.8cm・厚さ0.3cmである。**1614**は刀子の茎であり、目釘穴が半分欠損している。茎尻の方にいくにつれ細くなっており、幅1.0～1.3cm・厚さ0.2cm・目釘穴径0.6cmである。**1615**は刀子の刀身であり、刃関および棟関が確認できる。刃長11.2cm・刃幅1.2cm・刃厚0.3cmである。**1612**～**1615**はいずれも全体に著しい錆ぶくれが認められる。

1616～**1628**は鉄製角釘（和釘）である。**1616**は先端部が欠損した角釘である。断面長方形を呈し、平釘に類する。**1617**は先端部が欠損した角釘である。断面長方形を呈し、頭（かしら）部はＬ字状に造られており、折釘に類する。**1618**は先端部が欠損した角釘である。断面ほぼ正方形を呈し、頭部はＬ字状に造られており、折釘に類する。**1619**は先端部が欠損した角釘である。断面ほぼ正方形を呈し、頭部形態は腐食により不明である。**1620**は頭部が欠損した角釘である。断面平行四辺形を呈し、頭部形態は欠損により不明である。**1621**は角釘のほぼ完形品である。断面長方形を呈し、平釘に類する。**1622**は先端部が欠損した角釘である。断面正方形を呈し、切釘に類する。**1623**～**1625**は先端部が欠損した角釘である。断面ほぼ正方形を呈し、切釘に類する。**1626**は先端部が欠損した角釘である。断面正方形を呈し、頭部はＬ字状に造られており、折釘に類する。**1627**は先端部が欠損した角釘である。断面長方形を呈し、使用時の打撃により頭が二又に割れている。平釘に類する。**1628**は角釘のほぼ完形品である。断面長方形を呈し、使用時の打撃により頭が扁平につぶれている。平釘に類する。**1616**～**1628**はいずれも全体に錆ぶくれがみられ、なかでも**1616**～

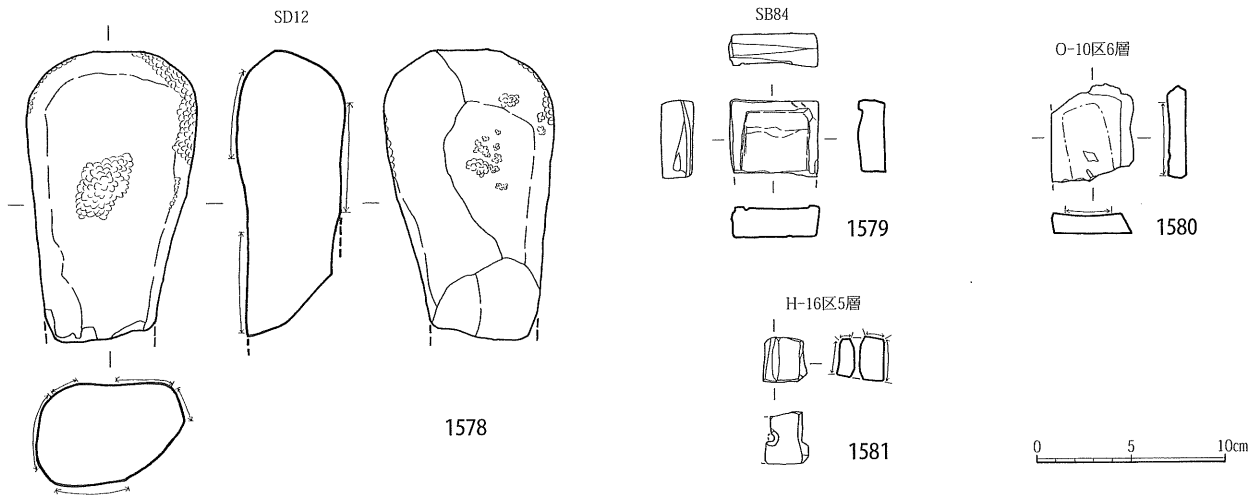


図118　石器・石製品(3)

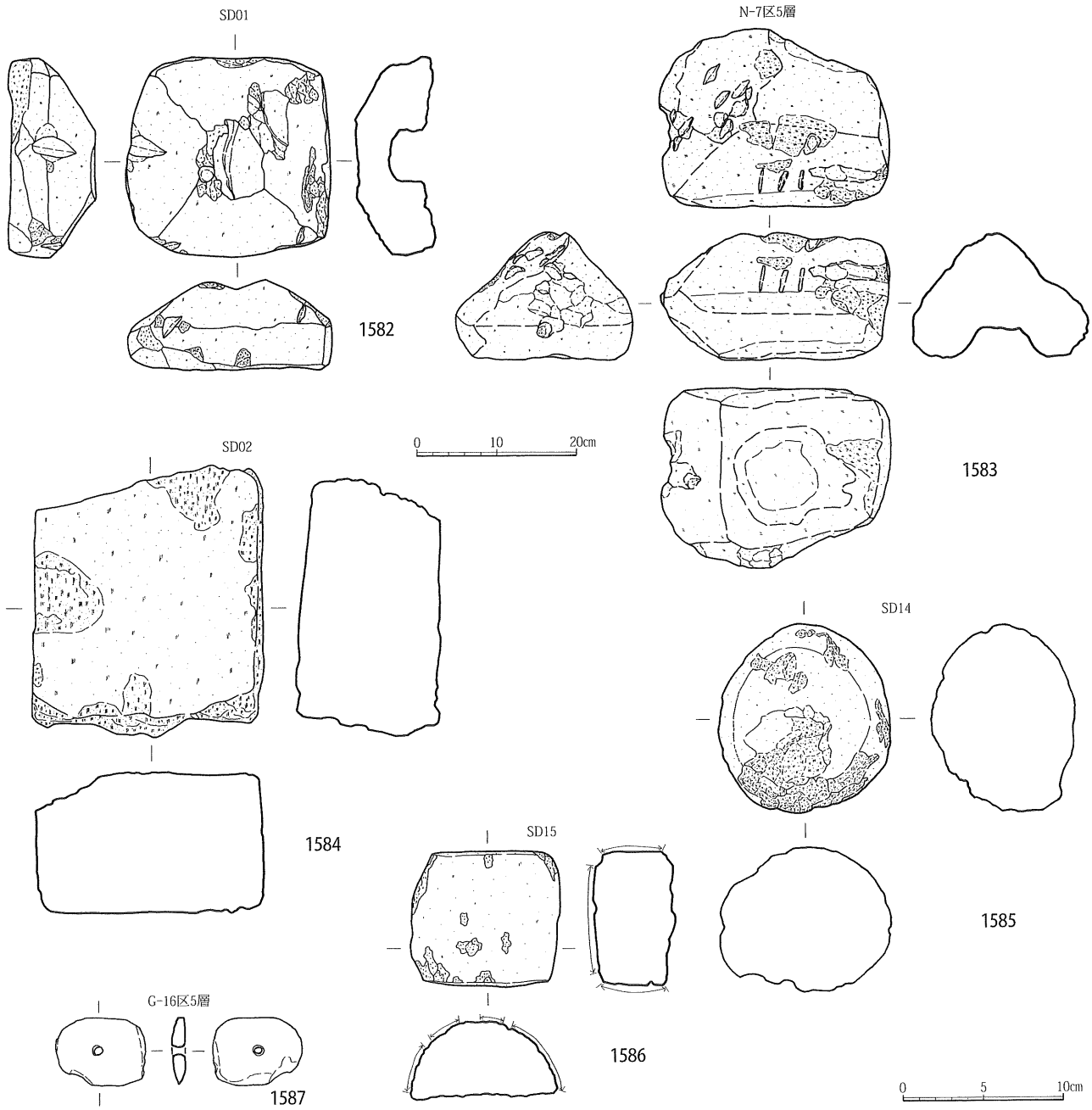


図119　軽石製品(1)

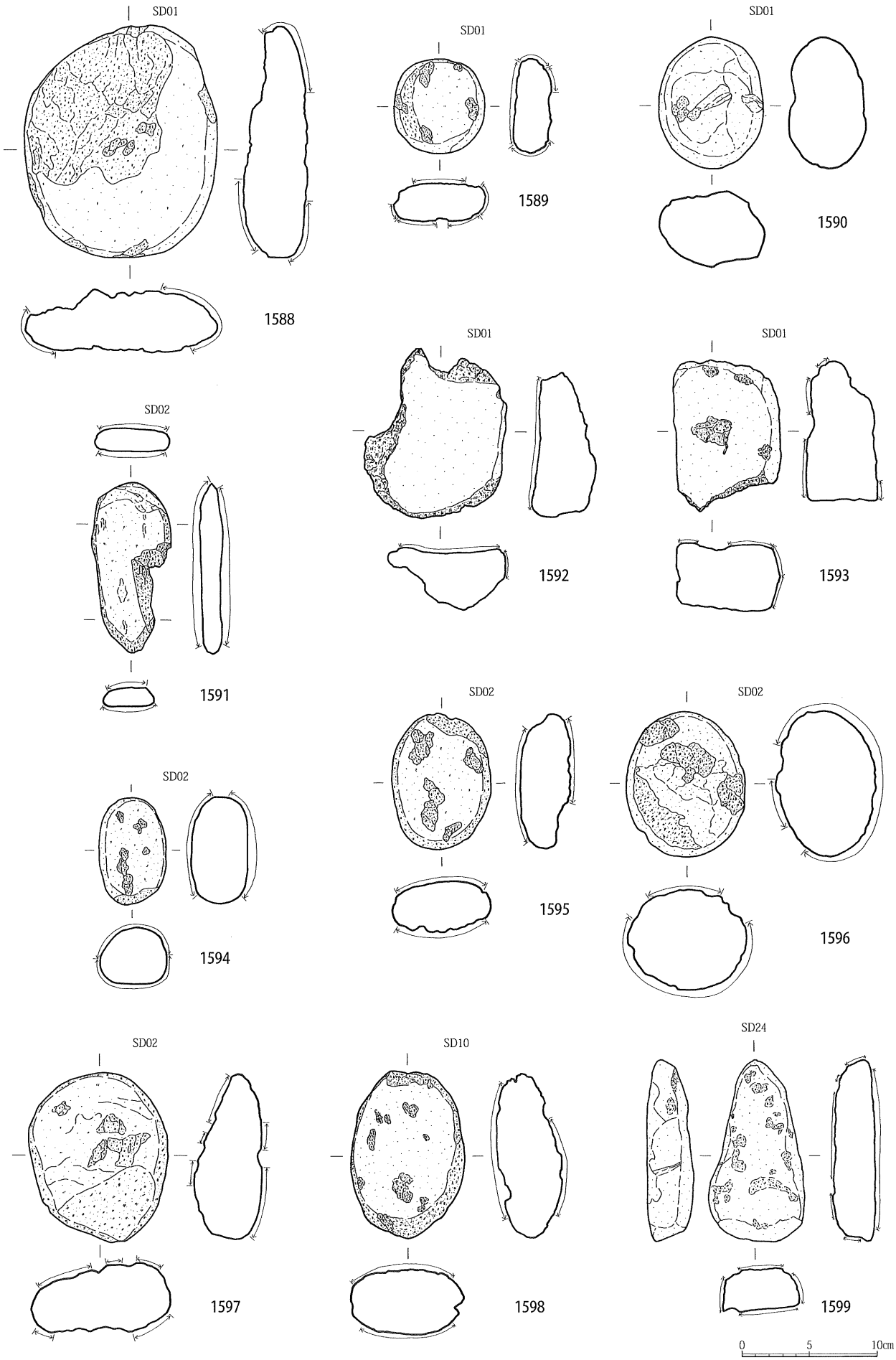

SD01
1588
SD01
1589
SD01
1590
SD02
1591
SD01
1592
SD01
1593
SD02
1594
SD02
1595
SD02
1596
SD02
1597
SD10
1598
SD24
1599
0
5
10cm

図120　軽石製品(2)

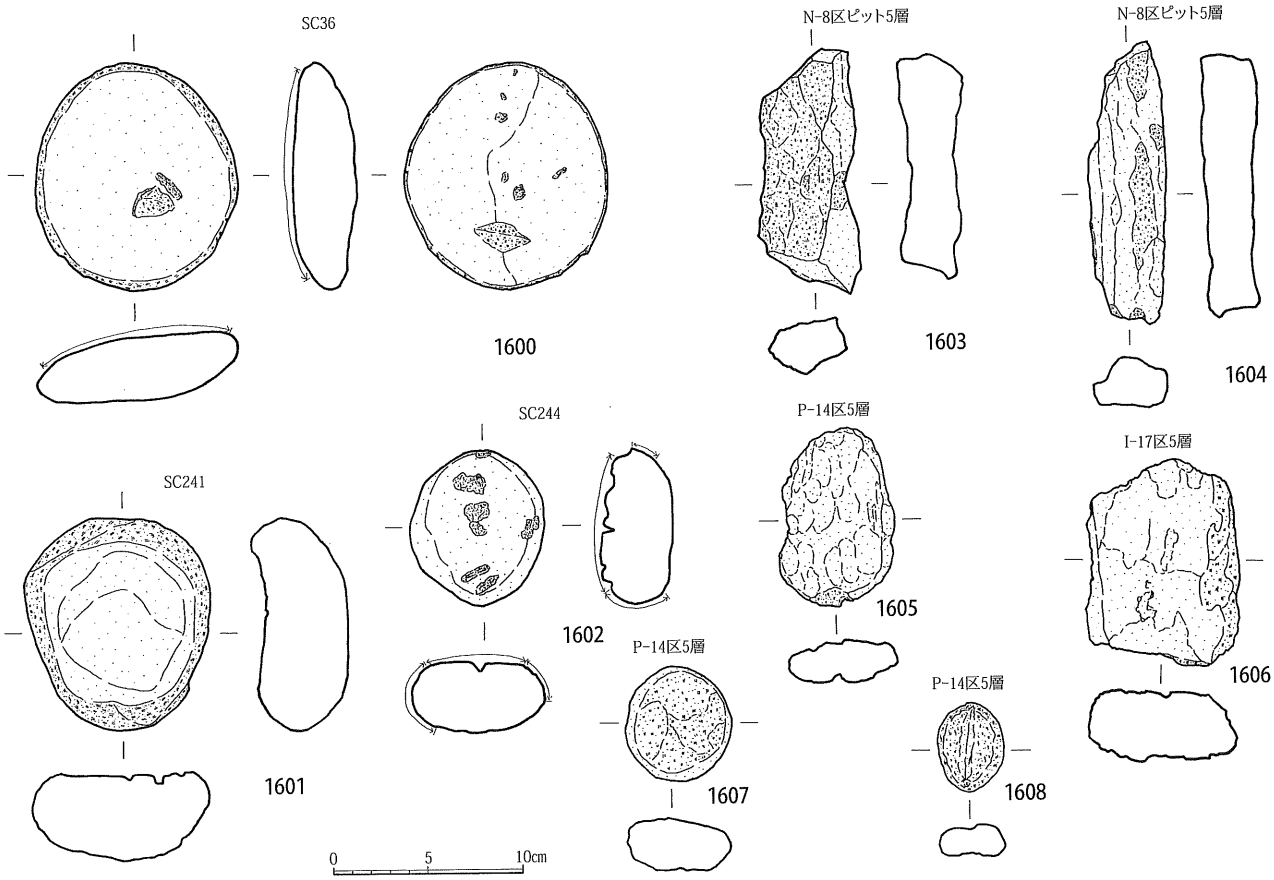


図121　軽石製品(3)

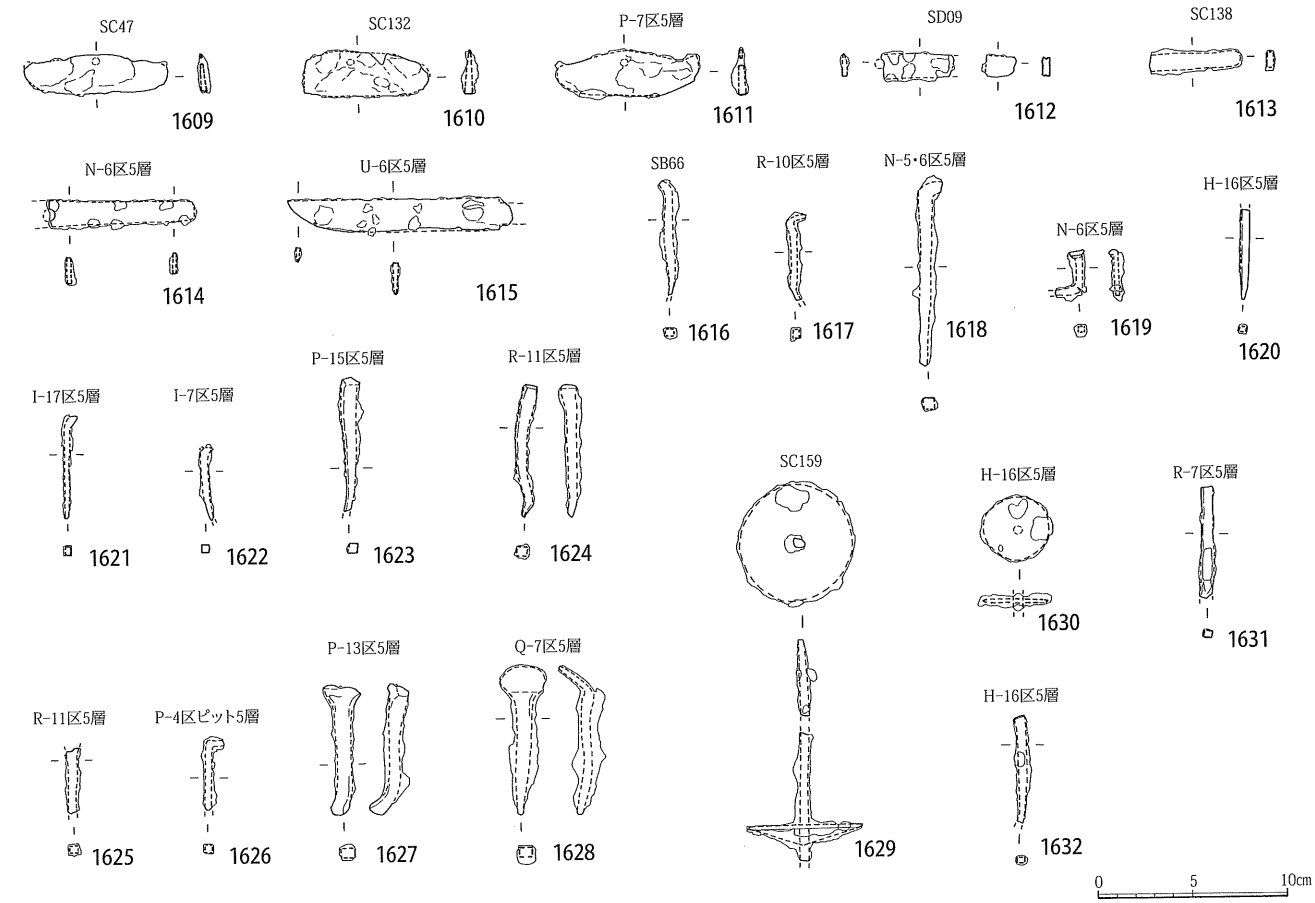


図122　鉄製品(1)

1619・1621・1623～1625・1627・1628の腐食が著しい。角釘（和釘）は、古代から近世終末期まで、長期にわたり使用された。

1629～1632は鉄製紡錘車である。**1629**は軸の一部が欠損した紡錘車であり、全体に著しい錆ぶくれが認められる。**1630**は軸が欠損した小型の紡錘車であり、全体に錆ぶくれがみられる。**1631・1632**は紡錘車の軸部分と思われ、全体に著しい錆ぶくれが認められる。金属製紡錘車は東北・中部地方で数多く出土しているが、九州での出土例は少数である。

1633は鉄鈴であり、全体に錆ぶくれがみられる。

1634～1636は鉄鏃（狩矢）である。**1634**は茎の先端部が欠損した雁又鏃であり、全体に錆ぶくれがみられる。**1635**は茎の先端部が欠損した方頭鏃であり、全体に錆ぶくれがみられる。**1636**は鋒および茎の先端部が欠損した鑿根鏃であり、全体に著しい錆ぶくれが認められる。

1637・1638は鉄製鎌である。**1637**は刃先および茎が欠損した曲刃鎌であり、全体に著しい錆ぶくれが認められる。刃幅2.7cm・背厚0.3cmである。**1638**は刃先が欠損した曲刃鎌であり、全体に著しい錆ぶくれが認められる。刃幅2.6cm・背厚0.3cmである。

1639・1640は欠損した鉄製鎹であり、全体に著しい錆ぶくれが認められる。

1641は先端部が欠損した鉄製鑿であり、全体に著しい錆ぶくれが認められる。

1642・1643は先端部が欠損した鉄製鑿であり、全体に著しい錆ぶくれが認められる。

1644は一部欠損した鉄製小札であり、全体に錆ぶくれがみられる。２列９孔が残存しており、長さ6.3cm（残存実測値）・幅2.2cm・厚さ0.2cm・孔径0.3cmである。

1645は一部欠損した鉄製建築用金具であり、全体に著しい錆ぶくれが認められる。

1646は鉄鍋の一部であり、全体に著しい錆ぶくれが認められる。

1647～1660は用途不明の鉄製品および鉄片である。**1651**は棒状で2/3が中は空洞である。**1652**は一端が空洞である。**1660**は錆により全体がひび割れている。鋳造品である。

（９）銅製品（図124）

1661は土坑（**SC246**）に埋納された、底部が欠損した銅製仏花（華）瓶である。全体に緑青の付着がみられ、広い口縁から細く狭まる頸が張った胴につき高台をもつ亜字形花瓶である。密教では「かびん」を「けびょう」と呼び習わす。密教法具の花瓶であり、本来は仏前の供花具である。当遺物は祭祀・儀礼に用いられた可能性がある。福井市『一乗谷朝倉氏遺跡・朝倉景鏡館跡』からは、米・麦・胡麻・琥珀などが入れられた銅製の仏花瓶が越前焼の小壺の中に納められた状態で出土しており、地鎮具とされている。

1662は一部欠損した銅製刀装具である。表面に毛彫りにて文様が施され、全体に緑青が付着している。

1663・1664は用途不明の銅製環状金具であり、**1663**は外径2.6cm、**1664**は外径1.1cmである。

（10）金属加工関連遺物（図125）

1665は鞴の羽口の先端部片であり、端部が滓化している。通風孔部は内径20～27㎜の漏斗状である。

1666は平面不整多角形をした椀型鍛冶滓であり、表面に木炭痕を数ヶ所確認できる。比重が低く、軽量である。**1667**は平面不整五角形をした椀型鍛冶滓である。比重が低く、軽量である。**1668**は平面不整楕円形をした含鉄椀型鍛冶滓である。比重が高く、重量感がある。**1666～1668**はいずれも表面に赤錆を帯びている。

（11）銭貨（図126）

1669～1677は中国で鋳造され、日本に輸入された渡来銭である。**1669**は銅銭「淳化元寶」（行書体）であり、初鋳年代は990年（北宋時代淳化元年）である。**1670**は銅銭「開元通寶」であり、初鋳年代は621年（唐時代武徳４年）である。**1671**は銅銭であるが、腐食および破損著しく判読不能である。**1672**は２枚が表面と背面で銹着した銅銭「聖宋元寶」（真書体）であり、初鋳年代は1101年（北宋時代建中靖国元年）である。

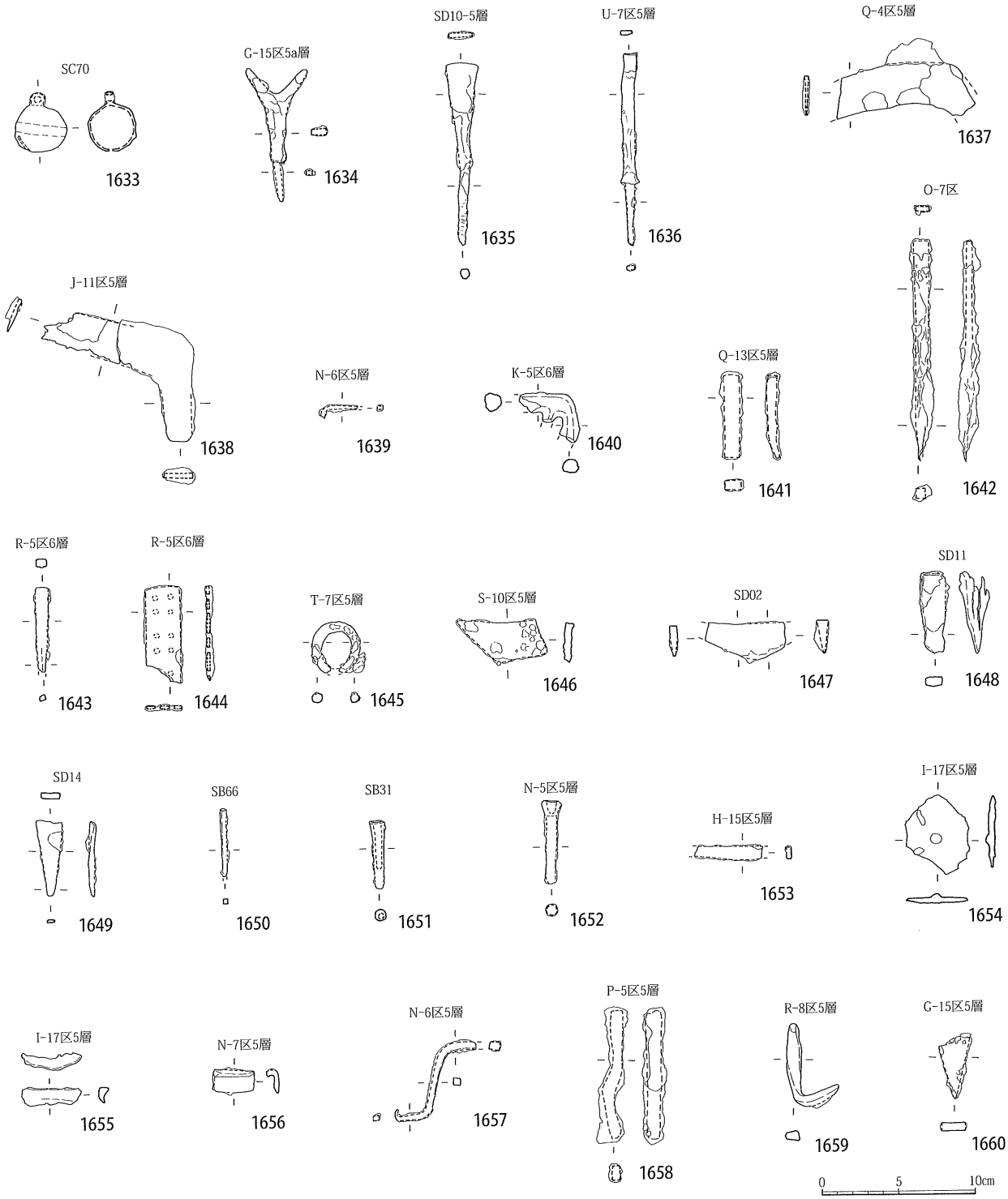


図123　鉄製品(2)

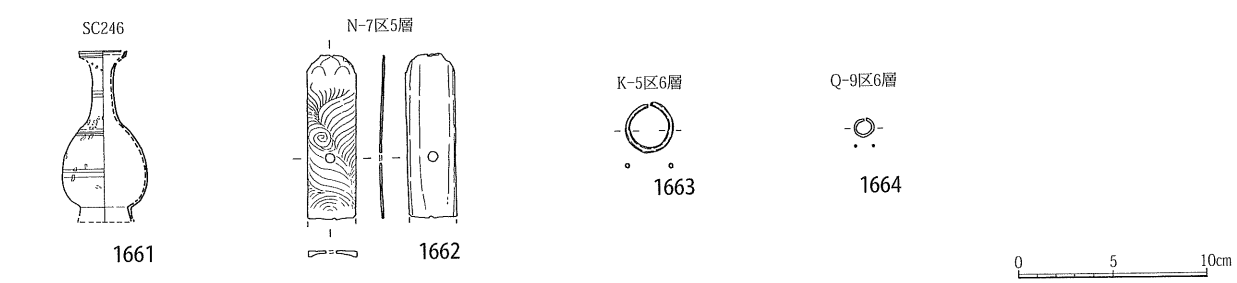


図124　銅製品

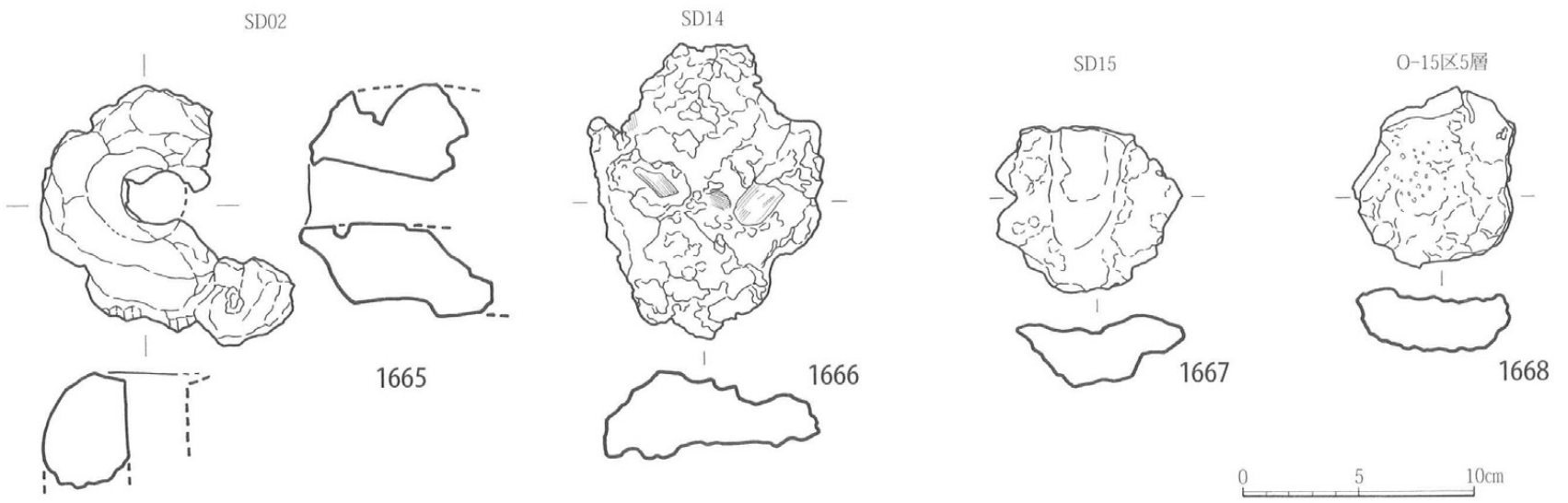


図125　金属加工関連遺物

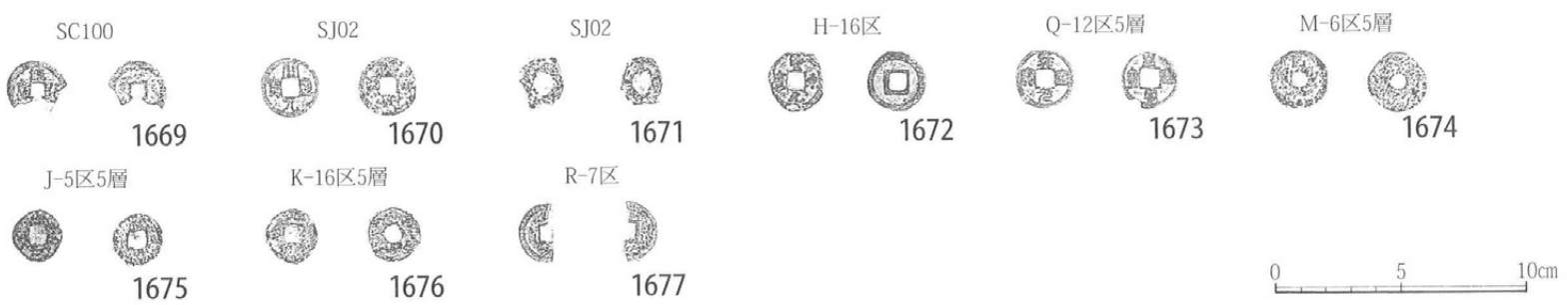


図126　銭貨

1673は銅銭「熙寧元寶」（篆書体）初鋳年代1068年（北宋時代熙寧元年）と銅銭「嘉祐通寶」（篆書体）初鋳年代1056年（嘉祐元年）が背面で銹着している。**1674**～**1676**は銅銭であるが、腐食著しく判読不能である。**1677**は1/2が欠損した銅銭であり、「　　寶」の一文字のみ判読可能である。

紙面スペースの都合上、遺物所見を簡略的に記述した。形態・法量など詳細は遺物実測図および遺物観察表を参考にしてもらいたい。

（文責：下田代清海）

- 貿易陶磁器の編年・分類は「太宰府土器型式と国産陶器・貿易陶磁器編年〔2000.２補訂〕」（太宰府市教育委員会　2000『太宰府　条坊跡ＸＶ－陶磁器分類編－』）に依った。

第６節　近世の成果

１．近世の遺構（図127）

近世の遺構は、表土を剥いだ後、部分的に残存する４層（桜島文明軽石）及び５層（黒色土）の上面をそろえる際に、輪郭を検出することができた。実際の遺構の調査は、事前の確認調査によって、より下層に中世・平安時代・弥生時代・縄文時代の各時代にわたる遺構・遺物の検出が予想されていたため、全体的な調査スケジュールを考慮して、平面プラン（分布状況）の実測といくつかの遺構の部分的な掘り下げにとどめた。

昭和60年以前は、第１次調査区域の北西部に舌状を呈する段丘がのびており、その部分に近世の墓地があったとされる。この墓地は昭和50年に改葬されて、調査着手時には舌状の段丘自体もすでに削平されていたため、墓壙等の遺構を確認することができなかった。

確認された遺構は、溝状遺構・竪穴状遺構・土坑・掘立柱建物跡がある。遺構内から出土した遺物の年代からは、17世紀代にさかのぼるものとは考えられず、大半は18世紀～19世紀に営まれたものと考えられる。

掘立柱建物跡や土坑は、第１次調査の北側調査区域（Ｉ～Ｌ-２～６区）と南側調査区域の西端（Ｏ～Ｖ-２～８区）、そして、第２次調査の南側調査区域（Ｒ～Ｔ-12～15区）で検出された。この分布状況からおおむね３つの屋敷地に分けることができる。掘立柱建物跡はそれぞれの屋敷地に、３棟、８棟（うち２棟は不確実）、３棟の合計14棟を確認した。Ｑ-５・６区にある掘立柱建物跡のピットのうち一つからは、炭化米がまとまって検出されている。炭化米は籾が付いた状態であることから、収納されているときに火熱を受けたものが、柱穴内に落ち込んだものと思われる。この炭化米はDNA分析の結果、温帯ジャポニカのウルチ米とモチ米の両方が混在していた可能性があるとされている。同じ屋敷地内に含まれるＲ-６区では、竪穴状遺構が２基検出された。

第１次調査の南側調査区域西端（Ｒ～Ｖ-３～６区）では、南北方向の溝状遺構が検出された。Ｕ-５区では、凝灰岩の角柱状切石（90cm×40cm）３個が横たわっており、石橋状の遺構と思われる。この溝状遺構は、調査区域の南側の低位段丘３面崖下に沿って設けられている用水路に接続しているものと想定され、より下位の低位段丘１面以下の水田に導水する用水路としての機能が想定される。　　（文責：桒畑光博）

２．近世の遺物（図128）

1678～**1681**は薩摩焼である。**1678**は鉢の口縁部片であり、口唇部に貝目痕をのこす。龍門司系で、17世紀後半から18世紀前半の所産と思われる。**1679**は鉢の口縁部片であり、口唇部のみ無釉である。龍門司系で、17世紀後半以降のものである。**1680**は瓶の口縁～胴部片であり、龍門司系「鮫肌手」である。**1681**は茶家（土瓶）の口縁～底部片であり、底部は無釉でスス付着。竪野系と思われ、17世紀初頭から19世紀にかけてのものである。

1682は備前壺（蓋）の天井部片であり、上面にヘラで文字か記号が刻まれており、「十一」ないし「土」と読める。

1683～**1685**は国産陶器である。**1683**は唐津系碗の底部片であり、内面見込みは蛇ノ目釉剥ぎで、高台は露胎している。兜巾高台をもち、内面見込みに砂目痕をのこす。**1684**は焙烙の口縁～底部片であり、底部外面および口縁端部周辺にスス付着。**1685**は焙烙の口縁～底部片であり、内外面に著しくスス付着。

1686～**1691**は染付である。**1686**は肥前系染付筒形碗の口縁～体部片であり、外面に雪持笹文が施描されている。18世紀後半から19世紀初頭にかけてのものである。**1687**は伊万里染付小碗の口縁～体部片である。**1688**は伊万里染付蕎麦猪口の体～底部片である。**1689**は肥前系染付皿の口縁～底部片であり、内面見込み中央に五弁花文が施描され、高台部内面に一重の染付圏線および「二重角枠内渦福」の銘款が認められる。ま

た高台部内面にハリ痕をのこす。Ⅳ期に相当し、1690年から1780年代にかけてのものである。**1690**は伊万里染付小皿のほぼ完形品であり、俗に砂目皿と言われる。内面見込みは蛇ノ目釉剥ぎで、高台畳付は無釉である。内面見込みに砂目痕をのこしており、肥前磁器草創期だけ行なわれた朝鮮的窯詰め法によって焼かれた事が窺える。Ⅱ－1期に相当し、1610年から1630年代にかけてのものである。明朝スタイルに変わる以前、李朝の影響を受けたこの時期の肥前磁器は「初期伊万里」と呼ばれている。**1691**は肥前系染付瓶の胴～底部片である。碁笥底をもち、胴部外面に四重の染付圏線が施描され、底面は無釉である。Ⅱ－2期に相当し、1630年から1650年代にかけてのものである。

1692は土師器椀の底部片である。H-17区溝から出土しているが、撹乱による流れ込みと思われる。

1693は軒平瓦の端部片である。

1694は砥石であり、表面に研磨痕をのこす。石材は三川内・亀山焼の原料にもなった天草陶石である。

1695～**1697**は銅製品である。**1695**は煙管の雁首、**1696**は煙管の吸口、**1697**は簪である。３点とも、全面に緑青が付着している。

1698・1699は鉛製の弾丸である。表面に緑青が付着しており、鉛に銅をコーティングしている可能性がある。

1700・1701は銭貨である。**1700**は「寛永通寶」である。新寛永銭で、背に「文」が鋳込まれており、初鋳年代は1668年（寛文８年）である。**1701**は穴銭であるが、腐食著しく判読不能であり、詳細不明。

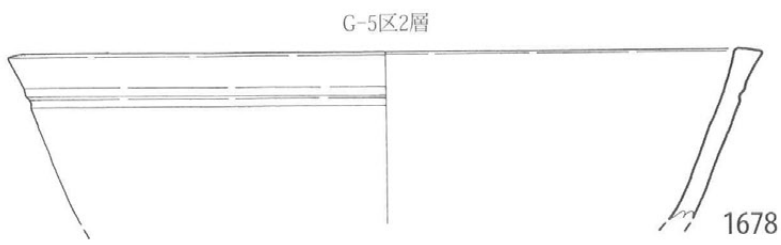
紙面スペースの都合上、遺物所見を簡略的に記述した。形態・法量など詳細は遺物実測図および遺物観察表を参考にしてもらいたい。　（文責：下田代清海）

・陶磁器の編年・分類は（九州近世陶磁学会　2000.2『九州陶磁の編年』）に依った。

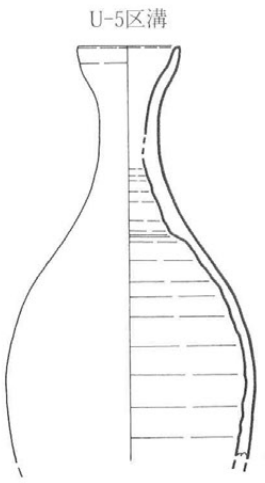
【参考文献】

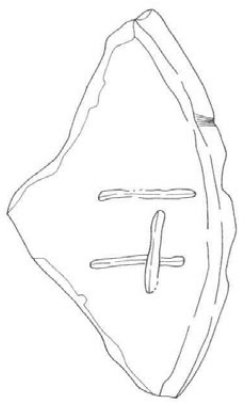
・「別冊太陽『染付の粋』」　大橋康二　（平凡社・1997年）
・『日本貨幣型録』　日本貨幣商協同組合　（1980年）
・『日本考古学事典』　田中　琢・佐原　真　（三省堂・2002年）
・岡崎譲治　1976　「密教法具」『新版仏教考古学講座』５
・津野　仁　2001　「中世鉄鏃の形成過程と北方系の鉄鏃」『土曜考古』第25号
・金箱文夫　1984　「近世の釘」『物質文化』　物質文化研究会
・津野　仁　2007　「古代西日本の鉄鏃　-地域性と古墳時代との関連-」『古墳文化Ⅱ』　國學院大學古墳時代研究会
・藤澤良祐　1996　「Ⅰ．古瀬戸の編年研究」『古瀬戸をめぐる中世陶器の世界』　㈶瀬戸市埋蔵文化財センター
・山本信夫　1999　「太宰府出土施釉陶器の編年について」　国立歴史民俗博物館研究報告　第82集
・九州近世陶磁学会　2000　『九州陶磁の編年』　九州近世陶磁学会10周年記念
・横浜市歴史博物館　㈶横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター　1998　「特別展『兵の時代』古代末期の東国社会」
・太宰府市教育委員会　2000　『太宰府条坊跡ⅩⅤ　－陶磁器分類編－』　太宰府市の文化財　第49集
・福岡市教育委員会　2003　『博多86　－博多遺跡群第95次調査報告－』　福岡市埋蔵文化財調査報告書　第757集
・鹿児島県知覧町教育委員会　2000　『厚地松山製鉄遺跡』　鹿児島県知覧町埋蔵文化財発掘調査報告書　第９集
・中野晴久　1995　「常滑・渥美」『概説　中世の土器・陶磁器』　真陽社
・森田　稔　1995　「中世須恵器」『概説　中世の土器・陶磁器』　真陽社

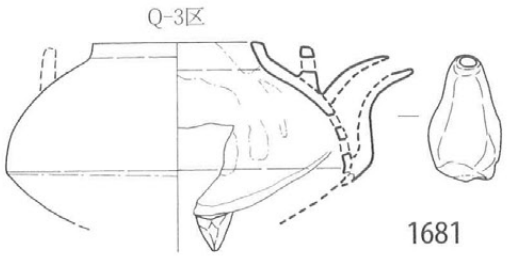
図127　近世遺構全体図

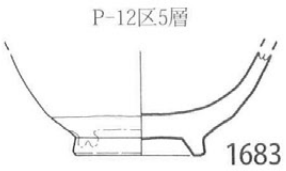

G-5区2層
1678

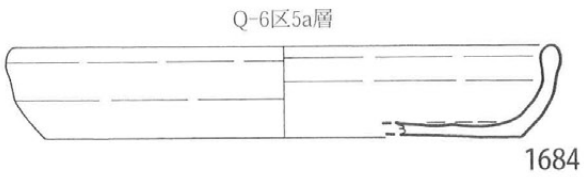
N-2区1層
1679

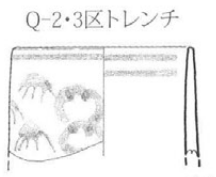

U-5区溝
1680

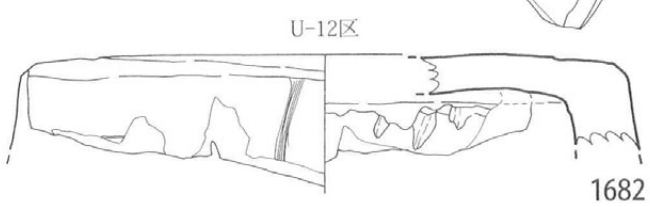


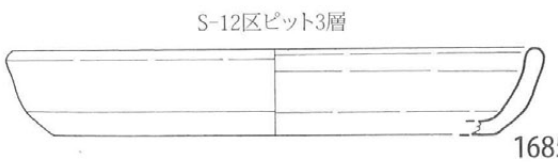

Q-3区
1681

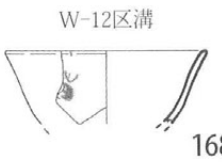

P-12区5層
1683

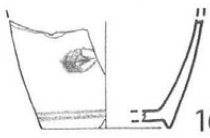

Q-6区5a層
1684


Q-2・3区トレンチ
1686

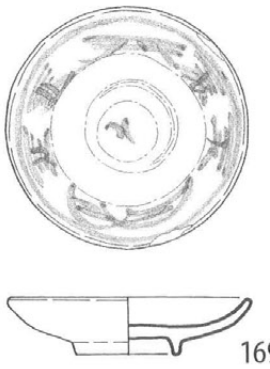

U-12区
1682

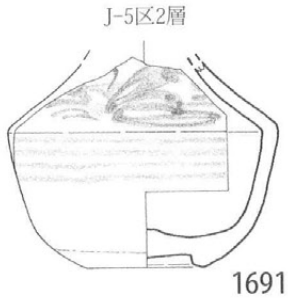

S-12区ピット3層
1685

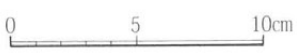

W-12区溝
1687

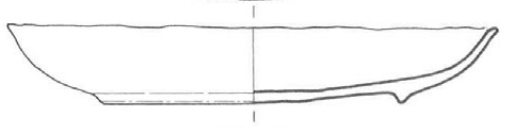

S-12区溝
1688

表採

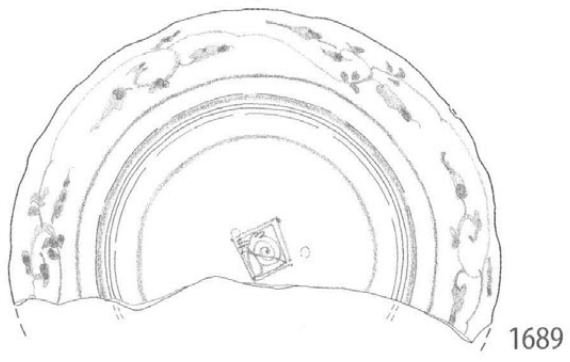

W-8区
1690

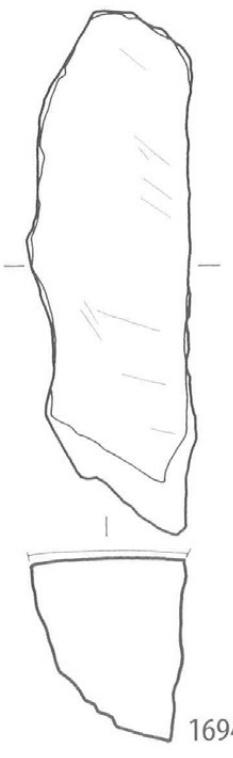

J-5区2層
1691

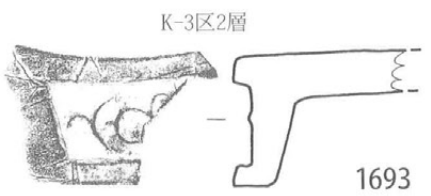

0
5
10cm



H-17区近世溝
1692

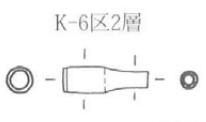

1689


S-12区ピット3層


K-3区2層
1693

1694

近世土坑
1695


K-6区2層
1696

K-3区2層
1697

表採
1698

J-5区6層
1699

Q-5区2層
1700

Q-5区2層
1701

0
5
10cm

図128　近世の遺物

表1　出土遺物観察表（1～70）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
1	土師器	坏	G-15区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	13.0	5.6	5.3	ヘラ切り
2	土師器	坏	SA07	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	精良	12.5	5.5	5.0	ヘラ切り
3	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	12.2	4.6	4.6	ヘラ切り
4	土師器	坏	H-16区5c層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	12.2	5.2	4.5	ヘラ切り
5	土師器	坏	I-16区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	12.2	5.0	5.0	ヘラ切り
6	土師器	坏	G-15区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	13.0	4.8	4.7	ヘラ切り
7	土師器	坏	SQ01	ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	砂粒	11.6	5.6	5.2	ヘラ切り
8	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	明黄橙色	にぶい黄橙色	透明の鉱物・砂粒	12.1	4.5	5.1	ヘラ切り
9	土師器	坏	SA07	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	黒色の鉱物・砂粒	11.6	4.6	4.7	ヘラ切り
10	土師器	坏	SA07床直	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	砂粒	6.0	4.6	4.6	ヘラ切り
11	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.4	5.2	4.4	ヘラ切り
12	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	11.8	5.0	4.3	ヘラ切り
13	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	精良	11.8	4.8	4.3	ヘラ切り
14	土師器	坏	SA08床直	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	11.6	4.4	4.8	ヘラ切り
15	土師器	坏	SQ01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	1.8	4.4	4.4	ヘラ切り
16	土師器	坏	SA08床直	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	11.4	4.9	4.8	ヘラ切り
17	土師器	坏	SA07	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	透明の鉱物・砂粒	11.5	4.5	4.9	ヘラ切り
18	土師器	坏	SR02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.2	4.5	4.6	ヘラ切り、圧痕
19	土師器	坏	I-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	11.0	4.6	4.5	ヘラ切り
20	土師器	坏	I-14区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	砂粒	11.4	4.3	4.0	ヘラ切り
21	土師器	坏	SA07床直	ナデ	ナデ	浅黄色	浅黄色	黒色・透明の鉱物・砂粒	11.2	4.6	4.4	ヘラ切り
22	土師器	坏	G-15区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	12.8	5.6	4.8	ヘラ切り
23	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	橙色	橙色	黒色・透明の鉱物・砂粒	12.3	4.9	5.1	ヘラ切り、外面スス付着
24	土師器	坏	SR01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.5	4.9	5.1	ヘラ切り、板状圧痕
25	土師器	坏	SR02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.1	4.8	4.9	ヘラ切り、板状圧痕?
26	土師器	坏	SR01	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.0	4.6	5.0	ヘラ切り、簾状圧痕
27	土師器	坏	H-15区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	12.0	5.4	4.4	ヘラ切り
28	土師器	坏	SC290	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	11.6	5.0	5.6	ヘラ切り
29	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.4	5.8	4.5	ヘラ切り
30	土師器	坏	H-15区5c層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	15.8	7.0	7.0	ヘラ切り
31	土師器	坏	H-15区5c層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	13.0	6.3	5.5	ヘラ切り
32	土師器	坏	SQ01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい橙色	砂粒	12.5	6.1	5.3	ヘラ切り
33	土師器	坏	H-15区5c層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	12.0	5.7	5.5	ヘラ切り
34	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	橙色	橙色	透明の鉱物・砂粒	12.2	5.3	5.0	ヘラ切り
35	土師器	坏	SQ01	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	12.3	5.2	5.0	ヘラ切り
36	土師器	坏	I-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	13.0	6.0	5.5	ヘラ切り
37	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	14.3	6.4	6.5	ヘラ切り
38	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	14.2	6.4	6.4	ヘラ切り
39	土師器	坏	SB107	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	13.5	6.8	6.1	ヘラ切り
40	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	にぶい橙色	橙色	白色の鉱物・砂粒	12.0	4.6	4.5	ヘラ切り、輪花状口縁
41	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	14.2	—	—	
42	土師器	坏	G-16区5c層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	—	5.3	—	ヘラ切り
43	土師器	坏	SB105	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	5.3	—	ヘラ切り
44	土師器	坏	SB104	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰白色	砂粒	—	5.0	—	ヘラ切り、内面スス付着
45	土師器	坏	F-15区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	4.6	—	ヘラ切り
46	土師器	坏	I-17区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	5.0	—	ヘラ切り
47	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	—	4.4	—	ヘラ切り
48	土師器	坏	SC276	ナデ	ナデ	橙色	橙色	黒色の鉱物・砂粒	—	5.0	—	ヘラ切り、外面スス付着
49	土師器	坏	H-17区5層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	砂粒	—	4.4	—	ヘラ切り
50	土師器	坏	H-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	6.0	—	ヘラ切り
51	土師器	坏	G-15区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	4.8	—	ヘラ切り
52	土師器	坏	G-16区5c層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	砂粒	—	5.0	—	ヘラ切り
53	土師器	坏	SA08床直	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	—	4.8	—	ヘラ切り
54	土師器	坏	H-16区5b層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	4.9	—	ヘラ切り
55	土師器	坏	SA07	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	—	5.4	—	ヘラ切り
56	土師器	坏	H-16区5c層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	4.0	—	ヘラ切り、内面スス付着
57	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	4.2	—	ヘラ切り
58	土師器	坏	P-14区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	—	5.8	—	ヘラ切り
59	土師器	坏	H-15区5c層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	5.6	—	ヘラ切り
60	土師器	坏	SB99	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	3.2	—	ヘラ切り
61	土師器	坏	P-14区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	—	6.3	—	ヘラ切り、板状圧痕
62	土師器	坏	H-16区5c層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	4.8	—	ヘラ切り
63	土師器	坏	SC283	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	4.9	—	ヘラ切り
64	土師器	坏	P-14区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	—	6.3	—	
65	土師器	坏	P-14区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄色	黒色の鉱物・砂粒	—	6.0	—	ヘラ切り、圧痕
66	土師器	坏	H-15区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	5.8	—	ヘラ切り
67	土師器	坏	H-16区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	5.4	—	ヘラ切り、外面スス付着
68	土師器	坏	H-17区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	5.6	—	ヘラ切り
69	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	—	5.9	—	ヘラ切り
70	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	橙色	橙色	黒色の鉱物・砂粒	—	6.0	—	ヘラ切り

表２　出土遺物観察表（71～140）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
71	土師器	坏	G-16区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.6	－	ヘラ切り
72	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	6.3	－	ヘラ切り、内面スス付着
73	土師器	坏	P-14区5層	ナデ	ナデ	橙色	にぶい橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	6.7	－	ヘラ切り
74	土師器	坏	H-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	6.5	－	ヘラ切り、側面穿孔、燈明皿？
75	土師器	坏	SB103	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	7.2	－	ヘラ切り、底部に未穿孔痕
76	土師器	坏	G-15区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	6.7	－	ヘラ切り
77	土師器	坏	G-16区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	橙色	砂粒	－	6.0	－	ヘラ切り
78	土師器	坏	G-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	橙色	砂粒	－	5.8	－	ヘラ切り、外面スス付着
79	土師器	坏	H-14区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.8	－	ヘラ切り
80	土師器	坏	G-16区5c層	ナデ	ナデ	浅橙色	浅橙色	砂粒	－	5.4	－	ヘラ切り
81	土師器	坏	SB105	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	6.0	－	ヘラ切り
82	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	7.0	－	ヘラ切り
83	土師器	坏	G-15区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.6	－	ヘラ切り
84	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	橙色	橙色	透明の鉱物・砂粒	－	6.0	－	ヘラ切り
85	土師器	坏	SC281	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	6.2	－	ヘラ切り
86	土師器	坏	SB105	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	砂粒	－	5.4	－	ヘラ切り
87	土師器	坏?	SA09	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	6.4	－	ヘラ切り
88	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	－	5.2	－	ヘラ切り
89	土師器	坏	G-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	4.8	－	ヘラ切り
90	土師器	坏	I-17区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	5.5	－	ヘラ切り
91	土師器	坏	I-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.2	－	ヘラ切り
92	土師器	坏	SD27	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	精良	－	5.2	－	ヘラ切り
93	土師器	坏	SQ01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.7	－	ヘラ切り
94	土師器	坏	SB97	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	6.0	－	ヘラ切り
95	土師器	坏	SB105	ナデ	ナデ	にぶい橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.4	－	ヘラ切り
96	土師器	坏	G-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	5.2	－	ヘラ切り
97	土師器	坏	SB97	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	砂粒	－	4.8	－	ヘラ切り
98	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.0	－	ヘラ切り
99	土師器	坏	I-17区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.3	－	ヘラ切り
100	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	5.4	－	ヘラ切り
101	土師器	坏	G-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	5.6	－	ヘラ切り、内外面スス付着
102	土師器	坏	G-15区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.2	－	ヘラ切り
103	土師器	坏	H-15区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	5.4	－	ヘラ切り
104	土師器	坏	G-15区5c層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	－	5.2	－	ヘラ切り
105	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	灰黄色	淡黄色	精良	－	5.4	－	ヘラ切り
106	土師器	坏	G-15区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.4	－	ヘラ切り
107	土師器	坏	G-14区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	5.0	－	ヘラ切り
108	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄褐色	透明の鉱物・砂粒	－	4.6	－	ヘラ切り
109	土師器	坏	SB104	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	4.8	－	ヘラ切り
110	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	4.6	－	ヘラ切り
111	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	4.6	－	ヘラ切り
112	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	砂粒	－	4.8	－	ヘラ切り
113	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	灰白色	淡黄色	黒色の鉱物・砂粒	－	4.7	－	ヘラ切り
114	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色・透明の鉱物・砂粒	－	4.0	－	ヘラ切り
115	土師器	坏	H-17区5層	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	砂粒	－	4.6	－	ヘラ切り、内外面スス付着
116	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	－	5.0	－	ヘラ切り
117	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	5.0	－	ヘラ切り
118	土師器	坏	SQ01	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	4.0	－	ヘラ切り
119	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	4.7	－	ヘラ切り
120	土師器	坏	H-15区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	5.0	－	ヘラ切り
121	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	4.0	－	ヘラ切り
122	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	4.6	－	ヘラ切り
123	土師器	坏	H-17区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	4.6	－	ヘラ切り
124	土師器	坏	H-16区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	5.0	－	ヘラ切り
125	土師器	坏	I-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	4.4	－	ヘラ切り
126	土師器	坏	H-17区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	4.6	－	ヘラ切り
127	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	－	4.8	－	ヘラ切り
128	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.2	－	ヘラ切り、外面スス付着
129	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	4.4	－	ヘラ切り
130	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.0	－	ヘラ切り
131	土師器	坏	G-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	4.8	－	ヘラ切り
132	土師器	坏	I-17区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	4.8	－	ヘラ切り
133	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	透明の鉱物・砂粒	－	4.4	－	ヘラ切り
134	土師器	坏	H-17区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	4.6	－	ヘラ切り
135	土師器	坏	I-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	4.6	－	ヘラ切り
136	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	4.6	－	ヘラ切り
137	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	4.4	－	ヘラ切り
138	土師器	坏	H-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	砂粒	－	4.6	－	ヘラ切り
139	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.0	－	ヘラ切り、内面スス付着
140	土師器	坏	H-17区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	4.4	－	ヘラ切り

表３　出土遺物観察表（141～210）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
141	土師器	坏?	SA06	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	明黄褐色	砂粒	—	4.8	—	ヘラ切り
142	土師器	坏	G-15区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	4.6	—	ヘラ切り
143	土師器	坏	H-16区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	4.6	—	ヘラ切り
144	土師器	坏	SA07	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	精良	—	4.6	—	ヘラ切り
145	土師器	坏	SB97	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	4.8	—	ヘラ切り、内面スス付着
146	土師器	坏	H-14区5c層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	—	5.0	—	ヘラ切り
147	土師器	坏	SQ01	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰色	砂粒	—	3.8	—	ヘラ切り
148	土師器	坏	H-17区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	3.2	—	ヘラ切り
149	土師器	坏	H-15区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	4.8	—	ヘラ切り、板状圧痕
150	土師器	坏	G-16区5層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	—	4.6	—	ヘラ切り
151	土師器	坏	SC290	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.0	—	ヘラ切り
152	土師器	坏	I-17区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	5.2	—	ヘラ切り
153	土師器	坏	G-15区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	浅黄橙色	砂粒	—	5.2	—	ヘラ切り
154	土師器	坏	H-17区5層	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	砂粒	—	4.4	—	ヘラ切り
155	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	4.0	—	ヘラ切り
156	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	4.8	—	ヘラ切り
157	土師器	坏	G-14区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	砂粒	—	4.2	—	ヘラ切り
158	土師器	坏	SN01	ナデ	ナデ	橙色	橙色	精良	—	4.7	—	ヘラ切り
159	土師器	坏	SF07	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	—	4.8	—	ヘラ切り
160	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	—	4.0	—	ヘラ切り
161	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	黒色・透明の鉱物・砂粒	—	4.5	—	ヘラ切り
162	土師器	坏	I-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.0	—	ヘラ切り、圧痕
163	土師器	坏	H-17区5c層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	5.4	—	ヘラ切り
164	土師器	坏	H-15区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	4.5	—	ヘラ切り
165	土師器	坏	I-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	4.6	—	ヘラ切り
166	土師器	坏	G-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	6.8	—	ヘラ切り
167	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	5.4	—	ヘラ切り
168	土師器	坏	SA07	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	4.9	—	ヘラ切り
169	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄色	透明の鉱物・砂粒	—	5.5	—	ヘラ切り、円盤高台?
170	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	透明の鉱物・砂粒	—	5.5	—	ヘラ切り、円盤高台?
171	土師器	坏	G-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	5.2	—	ヘラ切り、板状圧痕
172	土師器	坏	H-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	5.0	—	ヘラ切り、内面スス付着
173	土師器	坏	G-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	5.2	—	ヘラ切り
174	土師器	坏	SC279	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	—	5.0	—	ヘラ切り
175	土師器	坏	G-16区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	6.2	—	ヘラ切り
176	土師器	坏	G-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	7.2	—	ヘラ切り
177	土師器	坏	H-15区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	9.2	—	ヘラ切り
178	土師器	坏	G-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.8	—	ヘラ切り
179	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	6.4	—	ヘラ切り
180	土師器	坏	SD27	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	透明の鉱物・砂粒	—	6.0	—	ヘラ切り
181	土師器	坏	I-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.4	—	ヘラ切り
182	土師器	坏	SQ01	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	6.8	—	ヘラ切り
183	土師器	坏	G-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	6.8	—	ヘラ切り、底面スス付着
184	土師器	坏	H-15区5c層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	砂粒	—	6.8	—	ヘラ切り
185	土師器	坏	H-15区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.4	—	ヘラ切り
186	土師器	坏	SA07	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	7.0	—	ヘラ切り、円盤高台?
187	土師器	坏	G-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	7.4	—	ヘラ切り
188	土師器	坏	SB97	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	6.7	—	ヘラ切り、外面スス付着
189	土師器	坏	G-14区5c層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	—	6.8	—	ヘラ切り
190	土師器	坏	H-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	5.7	—	ヘラ切り
191	土師器	坏?	SA06	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	—	6.0	—	ヘラ切り
192	土師器	坏	H-17区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	5.6	—	ヘラ切り
193	土師器	坏	I-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.2	—	ヘラ切り、外面スス付着
194	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	—	5.9	—	ヘラ切り
195	土師器	坏	I-17区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.0	—	ヘラ切り
196	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.1	—	ヘラ切り
197	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.0	—	ヘラ切り
198	土師器	坏	H-17区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	6.0	—	ヘラ切り
199	土師器	坏	I-17区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.0	—	ヘラ切り
200	土師器	坏	I-17区5層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	—	6.2	—	ヘラ切り
201	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.2	—	ヘラ切り
202	土師器	坏	G-15区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	6.4	—	ヘラ切り
203	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	5.8	—	ヘラ切り
204	土師器	坏	H-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	—	6.2	—	ヘラ切り
205	土師器	坏	I-17区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.3	—	ヘラ切り
206	土師器	坏	G-14区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	6.4	—	ヘラ切り
207	土師器	坏	H-17区5c層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	6.2	—	ヘラ切り
208	土師器	坏	G-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	—	5.8	—	ヘラ切り
209	土師器	坏	H-15区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	—	5.7	—	ヘラ切り
210	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	透明の鉱物・砂粒	—	5.7	—	ヘラ切り、円盤高台?

表４　出土遺物観察表（211～280）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
211	土師器	坏	H-16区5b層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	6.0	－	ヘラ切り
212	土師器	坏	G-16区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.6	－	ヘラ切り
213	土師器	坏	I-16区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	6.0	－	ヘラ切り
214	土師器	坏	G-15区5c層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	砂粒	－	5.7	－	ヘラ切り、内面スス付着
215	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	5.5	－	ヘラ切り
216	土師器	坏	SA08	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄色	赤色の鉱物・砂粒	－	5.5	－	ヘラ切り
217	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.6	－	ヘラ切り
218	土師器	坏	H-16区5c層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	砂粒	－	5.2	－	ヘラ切り
219	土師器	坏	I-17区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	4.2	－	ヘラ切り
220	土師器	坏か椀	SQ01	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	16.0	－	－	
221	土師器	坏か椀	SQ01	ナデ	ナデ	黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	17.0	－	－	
222	土師器	坏か椀	SB103	ナデ	ナデ	黄橙色	橙色	砂粒	15.0	－	－	
223	土師器	坏か椀	SQ01	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	砂粒	13.8	－	－	
224	土師器	坏か椀	SB103	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	11.6	－	－	
225	土師器	坏か椀	SN01	ナデ	ナデ	橙色	にぶい橙色	黒色の鉱物・砂粒	12.0	－	－	
226	土師器	坏か椀	SN01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	12.0	－	－	
227	土師器	坏か椀	SN01	ナデ	ナデ	にぶい橙色	橙色	透明の鉱物・砂粒	12.0	－	－	
228	土師器	坏か椀	SN01	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	透明の鉱物・砂粒	15.2	－	－	
229	土師器	坏か椀	H-15区ピット5層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	13.8	－	－	
230	土師器	坏か椀	SN01	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	透明の鉱物・砂粒	12.0	－	－	
231	土師器	高台付椀	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	14.0	6.0	6.3	
232	土師器	高台付椀	SN01	ナデ	ナデ	橙色	にぶい橙色	精良	15.4	8.4	8.1	
233	土師器	高台付椀	SB106	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	16.0	9.0	6.7	
234	土師器	高台付椀	H-17区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	14.5	8.2	7.9	
235	土師器	高台付椀	H-15区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	14.2	8.5	7.7	
236	土師器	高台付椀	H-16区5c層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	12.8	8.2	7.2	脚接合痕
237	土師器	高台付椀	P-14区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	茶褐色の鉱物・砂粒	12.1	6.3	6.0	口縁部にミガキ
238	土師器	高台付椀	SC279	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	14.8	－	－	
239	土師器	高台付椀	SB98	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	12.6	－	－	
240	土師器	高台付椀	H-14区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	14.5	－	－	外面スス付着
241	土師器	高台付椀	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	黄橙色	砂粒	17.1	－	－	
242	土師器	高台付椀	SC263	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	底面未穿孔痕
243	土師器	高台付椀	I-17区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	－	－	内外面スス付着
244	土師器	高台付椀	SN01	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	
245	土師器	高台付椀	G-16区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	－	－	
246	土師器	高台付椀	G-16区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	－	－	
247	土師器	高台付椀	G-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	－	－	脚接合痕
248	土師器	高台付椀	G-14区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	浅黄橙色	砂粒	－	－	－	
249	土師器	高台付椀	I-17区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	－	－	
250	土師器	高台付椀	I-15区5層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	－	－	－	
251	土師器	高台付椀	SA08	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	精良	－	－	－	
252	土師器	高台付椀	SB95	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	－	－	
253	土師器	高台付椀	SF06	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	
254	土師器	高台付椀	I-17区5c層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	－	－	－	
255	土師器	高台付椀	G-16区5層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	－	－	－	
256	土師器	高台付椀	H-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	黄灰色	砂粒	－	－	－	
257	土師器	高台付椀	SQ01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	5.5	－	
258	土師器	高台付椀	P-14区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	浅黄橙色	茶褐色の鉱物・砂粒	－	8.0	－	脚接合痕
259	土師器	高台付椀	G-14区5c層	ナデ	ナデ	灰白色	褐灰色	砂粒	－	8.0	－	
260	土師器	高台付椀	I-16区5層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	－	8.0	－	
261	土師器	高台付椀	P-14区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	8.2	－	線刻
262	土師器	高台付椀	H-15区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	8.2	－	
263	土師器	高台付椀	I-15区5層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	－	7.7	－	脚接合痕
264	土師器	高台付椀	SQ01	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	砂粒	－	8.0	－	脚接合痕
265	土師器	高台付椀	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	橙色	砂粒	－	8.4	－	
266	土師器	高台付椀	G-15区5c層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	9.4	－	
267	土師器	高台付椀	I-17区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	砂粒	－	8.2	－	
268	土師器	高台付椀	G-14区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	－	7.2	－	
269	土師器	高台付椀	G-15区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	浅黄橙色	砂粒	－	7.1	－	
270	土師器	高台付椀	I-17区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	浅黄橙色	砂粒	－	7.3	－	外面スス付着
271	土師器	高台付椀	H-17区5c層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	6.8	－	
272	土師器	高台付椀	I-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	砂粒	－	7.5	－	内面スス付着
273	土師器	高台付椀	SA07	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	精良	－	8.2	－	
274	土師器	小皿	SF07	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	精良	9.0	7.5	1.3	糸切り
275	土師器	小皿	H-16区5b層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	7.5	5.0	1.7	ヘラ切り
276	土師器	甕	H-15区5c層	ナデ	ケズリ	にぶい橙色	にぶい褐色	赤色・透明の鉱物・砂粒	31.0	－	－	外面スス付着
277	土師器	甕	P-14区5層	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	赤色・透明の鉱物・砂粒	26.1	－	－	
278	土師器	甕	H-17区5層	ナデ	ケズリ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色・透明の鉱物・砂粒	25.0	－	－	外面スス付着
279	土師器	甕	H-15区5c層	ハケメ	ケズリ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	透明の鉱物・砂粒	22.6	－	－	外面スス付着
280	土師器	甕	H-15区5層	ナデ	ケズリ	にぶい橙色	にぶい橙色	黒色・褐色の鉱物・砂粒	29.8	－	－	輪積痕

表５　出土遺物観察表（281～350）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
281	土師器	甕	SN01	ナデ	ケズリ	にぶい橙色	橙色	白色・褐色の鉱物・砂粒	27.6	－	－	
282	土師器	甕	G-15区5c層	ナデ	ケズリ	橙色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	23.4	－	－	
283	土師器	甕	G-16区5層	ナデ	ケズリ	にぶい橙色	にぶい橙色	黒色・透明の鉱物・砂粒	28.0	－	－	外面ス ス付着
284	土師器	甕	O-14区5層	ナデ	ケズリ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	黒色・褐色の鉱物・砂粒	25.7	－	－	指頭痕、外面ス ス付着
285	土師器	甕	SQ01	ナデ	ケズリ	褐色	にぶい褐色	砂粒	25.8	－	－	外面ス ス付着
286	土師器	甕	SB103	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	23.4	－	－	
287	土師器	甕	G-15区5c層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	透明の鉱物・砂粒	24.1	－	－	
288	土師器	甕	SB98	ナデ	ナデ	橙色	橙色	砂粒	18.8	－	－	
289	土師器	甕	H-15区ピット5層	ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい褐色	砂粒	24.8	－	－	
290	土師器	甕	SN01	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	砂粒	20.4	－	－	
291	土師器	甕	SN01	ナデ	ナデ	にぶい褐色	黒褐色	砂粒	－	－	－	
292	土師器	甕	H-16区	ナデ	ナデ	橙色	橙色	透明の鉱物・砂粒	－	－	－	
293	土師器	甕	H-15区5c層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	透明の鉱物・砂粒	－	－	－	外面ス ス付着
294	土師器	甕	SA07	ナデ	ケズリ	にぶい橙色	にぶい橙色	白色・褐色の鉱物・砂粒	－	－	－	指頭痕
295	土師器	甕	H・I-15区5c層	ナデ	ケズリ	にぶい橙色	灰黄褐色	透明の鉱物・砂粒	－	－	－	外面ス ス付着
296	土師器	甕	G・H-15区5c層	ナデ	ケズリ	橙色	橙色	赤色・透明の鉱物・砂粒	－	－	－	
297	土師器	甕	H-15区5c層	ナデ	ケズリ	にぶい褐色	灰黄褐色	赤色・透明の鉱物・砂粒	－	－	－	内外面ス ス付着
298	土師器	甕	O-14区5層	ナデ	ケズリ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	黒色・褐色の鉱物・砂粒	－	－	－	外面ス ス付着
299	土師器	甕	P-14区5層	ハケメ	ナデ	にぶい赤褐色	橙色	赤色・透明の鉱物・砂粒	－	－	－	外面ス ス付着
300	土師器	甕	I-16区	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	透明の鉱物・砂粒	13.1	－	－	内面炭化物付着
301	土師器	甕	H-15区5c層	ナデ	ケズリ	明褐色	にぶい橙色	透明の鉱物・砂粒	11.6	－	－	内外面ス ス付着
302	土師器	甕	SN01	ナデ	ナデ	にぶい橙色	橙色	透明の鉱物・砂粒	12.0	－	－	外面ス ス付着
303	土師器	小壺?	SA07	ナデ	ナデ	橙色	橙色	黒色の鉱物・砂粒	4.8	－	－	外面ス ス付着
304	土師器	甑	SD01	ナデ	ケズリ	橙色	橙色	白色・褐色の鉱物・砂粒	－	17.4	－	外面ス ス付着
305	土師器	紡錘車	SD27	ナデ	ナデ	浅黄色	にぶい橙色	黒色の鉱物・砂粒	6.7	6.4	1.5	高台付椀転用、穿孔径1.0
306	黒色土器	高台付椀	G-15区5層	ナデ	ミガキ	にぶい橙色	黒色	透明の鉱物・砂粒	15.1	9.2	7.5	A類、口縁部外面線刻
307	黒色土器	高台付椀	G-15区5c層	ナデ	ミガキ	にぶい黄色	黒色	精良	16.0	8.0	7.6	A類
308	黒色土器	高台付椀	SB105	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	白色・透明の鉱物・砂粒	15.8	7.8	7.5	A類
309	黒色土器	高台付椀	G-15区5層	ナデ	ミガキ	橙色	黒色	透明の鉱物・砂粒	10.3	5.6	5.3	A類
310	黒色土器	高台付椀	I-16区5層	ナデ	ミガキ	浅黄橙色	黒色	赤色の鉱物・砂粒	17.0	－	－	A類
311	黒色土器	高台付椀	L-9区2層	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	黒色の鉱物・砂粒	17.0	－	－	A類
312	黒色土器	高台付椀	H-15区5層	ナデ	ミガキ	にぶい橙色	黒色	白色の鉱物・砂粒	16.0	－	－	A類
313	黒色土器	高台付椀	H-14区5層	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	白色の鉱物・砂粒	15.0	－	－	A類
314	黒色土器	高台付椀	H-16区5層	ナデ	ミガキ	にぶい橙色	黒色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	－	－	A類
315	黒色土器	高台付椀	SQ01-5c層	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	透明の鉱物・砂粒	9.8	－	－	A類
316	黒色土器	高台付椀	SD02	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	透明の鉱物・砂粒	－	－	－	A類
317	黒色土器	高台付椀	SC279	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	透明の鉱物・砂粒	－	－	－	A類
318	黒色土器	高台付椀	H-16区5層	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	A類
319	黒色土器	高台付椀	SB98	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	透明の鉱物・砂粒	－	－	－	A類
320	黒色土器	高台付椀	SD01	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	A類
321	黒色土器	高台付椀	SD02	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	－	A類
322	黒色土器	高台付椀	H-16区5層	ナデ	ミガキ	にぶい橙色	黒色	透明の鉱物・砂粒	－	－	－	A類
323	黒色土器	坏	H-15区5層	ナデ	ミガキ	浅黄橙色	黒色	透明の鉱物・砂粒	－	6.2	－	A類、円盤状底部
324	黒色土器	高台付椀	H-17区5層	ナデ	ミガキ	にぶい橙色	黒色	白色の鉱物・砂粒	－	6.3	－	A類、円盤状底部、
325	黒色土器	高台付椀	G-15区5層	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	赤色・透明の鉱物・砂粒	－	8.2	－	A類、底面菊花状調整痕
326	黒色土器	高台付椀	M-10区6層	ナデ	ミガキ	橙色	黒色	精良	－	7.8	－	A類
327	黒色土器	高台付椀	SN01-5c層	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	白色の鉱物・砂粒	－	9.0	－	A類
328	黒色土器	高台付椀	SA08	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	精良	－	8.4	－	A類
329	黒色土器	高台付椀	J-16区5層	ナデ	ミガキ	橙色	黒色	黒色の鉱物・砂粒	－	7.6	－	A類
330	黒色土器	高台付椀	H-15区5層	ナデ	ミガキ	にぶい橙色	黒色	精良	－	7.1	－	A類
331	黒色土器	高台付椀	H-14区5層	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	黒色の鉱物・砂粒	－	7.4	－	A類
332	黒色土器	高台付椀	SF05-5層	ナデ	ミガキ	灰黄色	黒色	精良	－	6.8	－	A類、底面菊花状調整痕
333	黒色土器	高台付椀	H-15区5層	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	精良	－	8.8	－	A類
334	黒色土器	高台付椀	O-14区5層	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	白色・赤色の鉱物・砂粒	－	6.9	－	A類
335	黒色土器	高台付椀	J-13区5層	ナデ	ミガキ	浅黄橙色	黒色	精良	－	6.0	－	A類
336	黒色土器	高台付椀	I-17区5層	ナデ	ミガキ	にぶい黄褐色	黒色	赤色の鉱物・砂粒	－	7.8	－	A類、底面菊花状調整痕
337	黒色土器	高台付椀	SC187	ナデ	ミガキ	にぶい黄橙色	黒色	精良	－	7.0	－	A類
338	黒色土器	高台付椀	I-17区5層	ナデ	ミガキ	橙色	黒色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	9.0	－	A類
339	黒色土器	高台付椀	H-15区5層	ナデ	ミガキ	橙色	黒色	精良	－	8.0	－	A類
340	黒色土器	高台付椀	H-16区5層	ナデ	ミガキ	にぶい橙色	黒色	透明の鉱物・砂粒	－	7.5	－	A類
341	黒色土器	甕	I-16区5層	ナデ	ミガキ	浅黄橙色	黒色	赤色の鉱物・砂粒	20.4	－	－	A類
342	黒色土器	高台付椀	G-16区5層	ミガキ	ミガキ	黒色	黒色	透明の鉱物・砂粒	14.2	－	－	B類
343	黒色土器	高台付椀	SQ01	ミガキ	ミガキ	黒色	黒色	透明の鉱物・砂粒	－	－	－	B類
344	墨書土器	高台付椀	G-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	13.0	6.0	6.4	ヘラ切り、底外面に墨書
345	墨書土器	高台付椀	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	14.5	－	－	墨書「上中」
346	墨書土器	坏か椀	H-16区5層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	墨書「上中」?
347	墨書土器	甕	H-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	白色・褐色の鉱物・砂粒	－	－	－	墨書、判読不能
348	墨書土器	坏か椀	H-16区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	墨書、判読不能
349	墨書土器	坏か椀	H-15区5層	ナデ	ナデ	明黄橙色	明黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	墨書「上中」?
350	墨書土器	坏か椀	H-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	墨書、判読不能

表６　出土遺物観察表（351～420）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
351	墨書土器	坏か椀	H-15区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	墨書、判読不能
352	墨書土器	坏か椀	SD25	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	墨書、判読不能
353	墨書土器	坏か椀	SD02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	—	—	墨書、判読不能
354	墨書土器	坏か椀	G-15区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	淡黄色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	墨書、判読不能
355	須恵器	坏	SC267	ナデ	ナデ	灰オリーブ色	灰オリーブ色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	
356	須恵器	坏身	G-15区5c層	ナデ	ナデ	褐灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	
357	須恵器	甕	H-16区5層	ナデ	ナデ	暗赤褐色	暗赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	34.8	—	—	
358	須恵器	甕	H-15区5層	ナデ	ナデ	褐灰色	暗灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	
359	須恵器	甕	SD01	ナデ	ナデ	褐灰色	茶褐色	白色・褐色の鉱物・砂粒	16.4	—	—	
360	須恵器	甕	SA08・SD01	格子タタキ	押え・ナデ	黄褐色	暗灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	16.0	—	—	
361	須恵器	甕	H-16区5層	平行タタキ	波状押え	褐灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	20.6	—	—	
362	須恵器	甕	G-16区5層	格子タタキ	押え・ナデ	褐灰色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	17.6	—	—	
363	須恵器	甕	H-16区5層	平行タタキ	平行押え	褐灰色	暗灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	18.0	—	—	
364	須恵器	甕	H-16区5層	平行タタキ	波状押え	暗赤褐色	暗灰色	白色の鉱物・砂粒	20.8	—	—	
365	須恵器	甕	I-16区5層・SD28	格子タタキ	押え・ナデ	暗灰色	灰色	白色・褐色の鉱物・砂粒	14.0	—	—	
366	須恵器	甕	SD01	タタキ・ナデ	タタキ・ナデ	褐灰色	褐灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	17.6	—	—	
367	須恵器	甕	G-15区5層	格子タタキ	押え・ナデ	灰色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	16.0	—	—	
368	須恵器	甕	I-16区5層	ナデ	押え・ナデ	褐灰色	黒灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	15.4	—	—	
369	須恵器	甕	I-16区5層	ナデ	ナデ	褐灰色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	16.4	—	—	
370	須恵器	甕	O-3区3層	ナデ	ナデ	褐灰色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	9.6	—	—	
371	須恵器	甕	H-16区5層	平行タタキ	波状押え	黄褐色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	
372	須恵器	甕	H-16区5層	平行タタキ	波状押え	灰色	暗灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	
373	須恵器	甕か壺	H-15区5層	平行タタキ	波状押え	暗灰黄色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	
374	須恵器	甕	SD15	格子タタキ	押え・ナデ	褐灰色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	
375	須恵器	甕	G-15区5層	格子タタキ	平行押え	黒灰色	黒灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	
376	須恵器	壺	H-16区5層	格子タタキ	波状押え	黒灰色	黒灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	12.8	—	—	外面自然釉
377	須恵器	壺	H-15区5層	ナデ	ナデ	褐灰色	黒灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	9.2	—	—	
378	須恵器	壺	H-16区5層	ナデ	ナデ	灰色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	
379	須恵器	短頸壺	H-15区5b層	格子タタキ	平行押え	灰色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	11.2	—	—	
380	須恵器	壺	I-16区5層	ナデ	ナデ	暗赤褐色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	8.0	—	—	
381	須恵器	短頸壺	H-16区5層	ナデ	ナデ	褐灰色	暗灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	8.0	—	—	
382	須恵器	壺	J-15区5層	ナデ	ナデ	褐灰色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	
383	須恵器	壺	G-16区5層	格子タタキ	押え・ナデ	褐灰色	黒灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	
384	須恵器	耳付壺	SD01	ナデ	タタキ・ナデ	黒褐色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	外面自然釉
385	須恵器	耳付壺	H-15区5層	格子タタキ	ナデ	灰色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	
386	須恵器	壺	G-16区5層	ナデ	ナデ	黒灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	
387	須恵器	壺	H-15区5層	ナデ	ナデ	黒灰色	黒灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	
388	須恵器	壺	G-15区5c層	平行タタキ	ナデ	黒灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	
389	須恵器	耳付壺	H-15区5層	格子タタキ	ナデ	暗赤褐色	灰色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	6.0	—	
390	須恵器	横瓶	G-16区5層	格子タタキ	波状押え	褐灰色	黒灰色	白色の鉱物・砂粒	19.0	—	—	
391	須恵器	転用硯	G-15区5層	格子タタキ	波状押え	暗赤褐色	黒灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	甕胴部転用、内面赤色顔料付着
392	緑釉陶器	小椀か小坏	H-17区5b層	ミガキ	ミガキ	淡緑黄色	淡緑黄色	黄褐色土	9.4	—	—	
393	緑釉陶器	小坏	H-15区5b層	ミガキ	ミガキ	淡緑黄色	淡緑黄色	黄褐色土	7.6	—	—	
394	緑釉陶器	小坏	H-16区5層	ミガキ	ミガキ	黄褐色	黄褐色	赤褐色土	—	3.8	—	洛北系
395	緑釉陶器	椀	SD01	ミガキ	ミガキ	淡緑黄色	淡緑黄色	褐灰色土	13.8	—	—	洛西系
396	緑釉陶器	小型椀	G-15区5c層	ミガキ	ミガキ	淡緑黄色	淡緑黄色	灰色土	10.0	—	—	
397	緑釉陶器	椀?	G-15区5b層	ミガキ	ミガキ	淡緑黄色	淡緑黄色	暗灰褐色土	—	—	—	
398	緑釉陶器	椀?	F-15区5c層	ミガキ	ミガキ	淡緑黄色	淡緑黄色	暗灰褐色土	13.2	—	—	
399	緑釉陶器	椀	G-15区5b層	ミガキ	ミガキ	萌葱色	萌葱色	暗褐色土	—	9.5	—	近江系、貼付高台(段付)
400	緑釉陶器	椀	I-16区5層	ミガキ	ミガキ	緑黄色	緑黄色	暗灰色土	—	6.8	—	洛西系、削り出し高台
401	緑釉陶器	椀	H-16区5b層	ミガキ	ミガキ	黄褐色	黄褐色	暗灰色土	—	5.7	—	洛西系、削り出し高台
402	緑釉陶器	皿(段皿)	SA07	ミガキ	ミガキ	淡緑黄色	淡緑黄色	黒褐色土	13.7	—	—	洛西系
403	緑釉陶器	皿(段皿)	G-15区5b層	ミガキ	ミガキ	淡緑黄色	淡緑黄色	赤褐色土	12.8	—	—	洛西系
404	緑釉陶器	皿?	SA08	ミガキ	ミガキ	淡緑黄色	淡緑黄色	暗灰色土	13.7	—	—	洛西系
405	緑釉陶器	皿	G-15区5b層	ミガキ	ミガキ	暗緑黄色	暗緑黄色	暗灰色土	14.8	—	—	
406	緑釉陶器	皿	G-15区5b層	ミガキ	ミガキ	暗緑黄色	暗緑黄色	暗灰色土	—	—	—	
407	緑釉陶器	皿?	SD25	ミガキ	ミガキ	暗緑黄色	暗緑黄色	褐灰色土	—	—	—	洛西系
408	緑釉陶器	皿?	G-15区5b層	ミガキ	ミガキ	淡緑黄色	淡緑黄色	暗灰褐色土	—	—	—	
409	緑釉陶器	皿	F-15区5c層	ミガキ	ミガキ	淡緑黄色	淡緑黄色	淡褐色土	13.4	—	—	洛西系
410	緑釉陶器	皿	F-14区ピット	ミガキ	ミガキ	オリーブ黄色	オリーブ黄色	暗灰色土	—	5.2	—	洛西系、砂目積痕、削り出し高台
411	青磁	椀	SC290・SA08	施釉	施釉	淡緑黄色	淡緑黄色	褐灰色土	20.6	11.4	6.4	越州窯系Ⅰ-2ウ類、目痕
412	青磁	椀	H-17区5層	施釉	施釉	淡緑黄色	淡緑黄色	褐灰色土	20.8	9.8	6.9	越州窯系Ⅱ-2b類、目痕
413	青磁	椀	K-13区5層	施釉	施釉	淡緑黄色	淡緑黄色	褐灰色土	19.6	9.4	6.1	越州窯系Ⅱ類
414	青磁	椀	H-16区5層	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	褐灰色土	19.0	—	—	越州窯系Ⅱ-1b?、内面目跡
415	青磁	輪花椀	G-14区5層	施釉	施釉	淡緑黄色	淡緑黄色	褐灰色土	17.4	—	—	越州窯系Ⅱ-2類
416	青磁	椀	H-17区5b層	施釉	施釉	淡緑黄色	淡緑黄色	灰褐色土	—	—	—	越州窯系Ⅰ類
417	青磁	椀	H-16区5層	施釉	施釉	淡緑黄色	淡緑黄色	褐灰色土	—	—	—	越州窯系Ⅰ類
418	青磁	椀	SC266	施釉	施釉	暗緑黄色	暗緑黄色	黒褐灰色土	—	—	—	越州窯系Ⅰ類
419	青磁	椀	H-15区5層	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	褐灰色土	—	8.8	—	越州窯系Ⅰ-2ウ類、目痕
420	青磁	椀	H-16区5b層	施釉	施釉	淡緑黄色	淡緑黄色	褐灰色土	—	6.4	—	越州窯系Ⅱ類、輪高台

表7　出土遺物観察表（421～490）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
421	青磁	壺（蓋）	I-16区5層	施釉	施釉	淡緑黄色	淡緑黄色	暗灰色土	11.0	—	—	越州窯系Ⅱ類
422	白磁	椀	SB77-5層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	16.6	—	—	椀Ⅳ類、玉縁口縁
423	白磁	椀	SC125	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	17.2	—	—	椀Ⅳ類、玉縁口縁
424	白磁	椀	SB87-5層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	16.2	—	—	椀Ⅳ類、玉縁口縁
425	白磁	椀	I-17区トレンチ	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	15.8	—	—	椀Ⅰ-1類、玉縁口縁
426	白磁	椀	M-4区5層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	—	—	椀Ⅳ類、玉縁口縁
427	白磁	椀	SC138	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	—	—	椀Ⅳ類、玉縁口縁
428	白磁	椀	P-13区5層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	—	—	椀Ⅳ類、玉縁口縁
429	白磁	椀	S-8区6層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	—	—	椀Ⅳ類、玉縁口縁
430	白磁	椀	SC132	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	—	—	椀Ⅳ類、玉縁口縁
431	白磁	椀	I-15区5層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	—	—	椀Ⅳ類、玉縁口縁
432	白磁	椀	M-8区5層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	—	—	椀Ⅴ-1類、内面沈線
433	白磁	椀	N-6区5層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	—	—	椀Ⅳ類、玉縁口縁
434	白磁	椀	N-7区5層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	—	—	椀Ⅴ類
435	白磁	椀	O-5区5層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	—	—	椀Ⅳ類
436	白磁	椀	SD01	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	6.6	—	椀Ⅳ-1a類、底部外面無釉、内面沈線
437	白磁	椀	P-15区5層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	7.3	—	椀Ⅳ-2a類、内面沈線
438	白磁	椀	SD01	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	6.4	—	椀Ⅳ-1a類、外面無釉、貫入、内面沈線
439	白磁	椀	SD14	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	6.3	—	椀Ⅴ類、高台無釉、内面沈線
440	白磁	水注	P-8区5層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	7.2	—	高台内面墨書「大示■」
441	白磁	小壺	P-3区ピット5層	施釉	施釉	淡灰白色	淡灰白色	灰白色土	—	—	—	広東省or福建省系、内面無釉、小壺Ⅱ類orⅣ類
442	製塩土器	塩焼壺	G-14区5c層	ナデ	布痕	にぶい褐色	橙色	砂粒	—	—	—	
443	製塩土器	塩焼壺	H-15区5c層	ナデ	布痕	橙色	橙色	透明の鉱物・砂粒	—	—	—	
444	製塩土器	塩焼壺	H-15区5c層	ナデ	布痕	浅黄橙色	浅黄橙色	透明の鉱物・砂粒	—	—	—	
445	製塩土器	塩焼壺	I-17区5c層	ナデ	布痕	にぶい褐色	にぶい橙色	雲母・白色の鉱物・砂粒	—	—	—	
446	製塩土器	塩焼壺	G-15区5c層	ナデ	布痕	橙色	橙色	白色・赤色の鉱物・砂粒	—	—	—	
447	製塩土器	塩焼壺	G-15区5c層	ナデ	布痕	褐色	橙色	雲母・白色の鉱物・砂粒	—	—	—	
448	製塩土器	塩焼壺	G-14区5c層	ナデ	布痕	明褐色	橙色	雲母・白色の鉱物・砂粒	—	—	—	
449	土製品	土錘	H-15区5c層	—	—	橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	3.8	1.8	1.7	穿孔径0.5、9.1g
450	土製品	土錘	F-15区5c層	—	—	橙色	橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	3.8	1.2	1.3	穿孔、3.8g
451	土製品	土錘	SA04	—	—	—	—	—	4.8	2.4	2.1	断面V字状切り目、18.4g
452	土製品	用途不明	H-14区5c層	—	—	にぶい橙色	にぶい橙色	砂粒	1.5	1.4	1.2	未穿孔痕2、2.5g
453	粘土塊	用途不明	SA08	—	—	にぶい黄橙色	橙色	砂粒	3.0	3.9	2.5	15.4g
454	粘土塊	用途不明	SA08	—	—	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	3.1	2.9	2.6	12.3g
455	石器	磨石・敲石	SC285	—	—	—	—	—	9.3	8.4	5.1	砂岩、560g
456	石器	磨石	I-17区5c層	—	—	—	—	—	4.5	4.3	2.1	砂岩、スス付着、56g
457	石器	磨石?	N-6区5c層	—	—	—	—	—	2.4	2.4	1.8	砂岩15.6g
458	石器	砥石	G-15区5c層	—	—	—	—	—	6	5.3	3.0	陶石137.9g
459	石器	砥石	SD34	—	—	—	—	—	14.4	6.1	4.3	砥面3、610g
460	石器	砥石	G-17区ピット	—	—	—	—	—	11.5	4.9	2.4	砥面2、210g
461	石器	台石	SA07	—	—	—	—	—	7.6	8.9	7.0	520g
462	石器	磨石	SA06	—	—	—	—	—	22.1	14.3	8.8	石皿?スス付着、4,400g
463	石製品	石製か具	G-16区5層	—	—	—	—	—	4.3	4.0	0.7	石帯（巡方）、27.1g
464	石製品	用途不明	J-16区ピット	—	—	—	—	—	3.1	2.7	2.7	35.1g
465	軽石製品	五輪塔	SA06	—	—	—	—	—	34.2	24.8	11.9	花輪?、3,340g
466	軽石製品	竈の支柱?	SA08	—	—	—	—	—	8.1	15.6	6.5	355g
467	軽石製品	用途不明	SN01	—	—	—	—	—	16.4	13.6	5.6	550g
468	軽石製品	用途不明	SA07	—	—	—	—	—	14.1	10.1	9.7	420g
469	軽石製品	用途不明	SD25	—	—	—	—	—	6.2	5.7	4.5	37g
470	軽石製品	用途不明	SA07	—	—	—	—	—	12.8	12.5	10.5	360g
471	軽石製品	用途不明	SC285	—	—	—	—	—	13.4	13.5	9.1	スス付着、410g
472	鉄製品	毛抜き	SA07	—	—	—	—	—	4.8	1.7	0.3	4.1g
473	鉄製品	用途不明	SA08	—	—	—	—	—	2.5	0.5	0.5	6.8g
474	土師器	坏	SD01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	10.0	7.4	2.3	糸切り
475	土師器	坏	SD01下層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	10.6	9.0	2.5	糸切り
476	土師器	坏	SD01下層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	10.8	7.6	2.8	糸切り
477	土師器	坏	SD01下層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.0	8.3	2.6	糸切り、板状圧痕
478	土師器	坏	SD01	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.4	9.2	2.3	糸切り
479	土師器	坏	SD01	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	11.5	5.5	2.1	糸切り
480	土師器	坏	SD01下層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.5	8.1	2.4	糸切り、簾状圧痕
481	土師器	坏	SD01	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.0	8.8	3.6	糸切り
482	土師器	坏	SD01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.2	9.8	2.8	糸切り
483	土師器	坏	SD01下層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.2	8.8	3.1	糸切り、板状圧痕
484	土師器	坏	SD01下層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.8	9.7	3.5	糸切り
485	土師器	坏	SD01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	13.3	11.2	2.5	糸切り
486	土師器	坏	SD01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.0	—	糸切り
487	土師器	坏	SD01	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	—	8.0	—	糸切り
488	土師器	坏	SD01	ナデ	ナデ	明黄褐色	にぶい黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	—	7.8	—	糸切り?
489	土師器	坏	SD01	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	—	8.0	—	糸切り
490	土師器	坏	SD01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	9.0	—	糸切り、工具痕

表８　出土遺物観察表（491～560）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
491	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.8	6.8	2.3	糸切り
492	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	10.2	9.5	2.4	糸切り、板状圧痕
493	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	10.4	8.0	2.3	糸切り
494	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	10.5	8.5	2.6	糸切り
495	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	10.5	8.5	2.3	糸切り、板状圧痕
496	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	10.5	8.7	2.8	糸切り、板状圧痕
497	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	10.6	7.6	2.7	糸切り
498	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	10.6	8.4	2.7	糸切り
499	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	10.6	8.7	2.6	糸切り
500	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	10.6	9.2	2.2	糸切り
501	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	10.7	8.8	3.1	糸切り
502	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	10.8	8.4	2.5	糸切り
503	土師器	坏	SD02下層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	11.0	7.4	2.1	糸切り
504	土師器	坏	SD02下層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.0	8.0	2.4	糸切り
505	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.0	8.2	2.3	糸切り
506	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.0	8.5	2.5	糸切り
507	土師器	坏	SD02	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.0	8.6	2.9	糸切り、板状圧痕
508	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.0	8.7	3.0	糸切り、板状圧痕
509	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.0	9.0	2.5	糸切り、板状圧痕
510	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.0	9.2	3.0	糸切り、板状圧痕
511	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	11.0	9.2	2.4	糸切り
512	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.2	8.2	2.3	糸切り
513	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.2	8.6	2.7	糸切り、板状圧痕
514	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.2	8.8	2.2	糸切り
515	土師器	坏	SD02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.2	9.0	2.8	糸切り
516	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.2	9.6	3.1	糸切り
517	土師器	坏	SD02下層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.2	10.0	2.2	糸切り
518	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.3	9.2	2.7	糸切り、板状圧痕
519	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.4	7.6	2.9	糸切り
520	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.4	8.5	2.7	糸切り
521	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.4	8.8	2.2	糸切り
522	土師器	坏	SD02	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.4	9.6	2.9	糸切り
523	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.5	8.4	2.4	糸切り
524	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.5	9.0	2.6	糸切り
525	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.5	9.5	3.2	糸切り、板状圧痕
526	土師器	坏	SD02	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	赤色の鉱物・砂粒	11.6	8.4	3.8	糸切り
527	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	11.6	9.2	2.4	糸切り
528	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	淡黄色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.6	10.0	2.8	糸切り
529	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.7	9.2	2.4	糸切り
530	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.8	8.6	2.5	糸切り
531	土師器	坏	SD02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.8	8.8	2.3	糸切り
532	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.8	9.0	2.6	糸切り、板状圧痕
533	土師器	坏	SD02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	11.8	9.2	2.2	糸切り、簾状圧痕
534	土師器	坏	SD02	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	9.0	2.4	糸切り
535	土師器	坏	SD02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	9.0	2.4	糸切り
536	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	10.2	2.6	糸切り
537	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.2	9.6	2.5	糸切り、簾状圧痕
538	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	12.2	9.8	2.9	糸切り
539	土師器	坏	SD02	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.2	10.0	3.0	糸切り
540	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.2	10.4	2.6	糸切り、圧痕
541	土師器	坏	SD02下層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.2	10.4	2.6	糸切り
542	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.4	10.2	2.7	糸切り
543	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.6	9.8	2.9	糸切り
544	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	12.7	9.8	2.4	糸切り
545	土師器	坏	SD02下層	ナデ	ナデ	灰白色	淡黄色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.8	9.4	2.9	糸切り
546	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.8	10.0	2.2	糸切り
547	土師器	坏	SD02下層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	13.0	9.3	2.5	糸切り、板状圧痕
548	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	13.0	10.2	2.2	糸切り
549	土師器	坏	SD02	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	13.0	11.2	2.6	糸切り
550	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	13.3	10.3	2.8	糸切り
551	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	13.5	9.8	2.8	糸切り
552	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	橙色	赤橙色	透明の鉱物・砂粒	10.7	－	－	
553	土師器	坏	SD02最下層	ナデ	ナデ	浅黄色	浅黄色	黒褐色の鉱物・砂粒	12.0	－	－	
554	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	－	5.8	－	ヘラ切り
555	土師器	坏	SD02	ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	－	6.8	－	糸切り
556	土師器	坏	SD02下層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	－	8.2	－	糸切り
557	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	褐灰色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	－	8.4	－	糸切り
558	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	－	8.6	－	糸切り
559	土師器	坏	SD02下層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	－	8.8	－	糸切り
560	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	9.2	－	糸切り

表９　出土遺物観察表（561～630）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
561	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	－	9.4	－	糸切り
562	土師器	坏	SD02最上層	ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	9.8	－	糸切り
563	土師器	坏	SD02下層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	10.2	－	糸切り
564	土師器	坏	SD03	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	12.1	8.2	2.9	糸切り
565	土師器	坏	SD03	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	12.6	8.5	2.8	糸切り
566	土師器	坏	SD03	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	8.5	－	糸切り
567	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.0	8.6	3.3	糸切り、圧痕
568	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	8.6	3.4	糸切り
569	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	にぶい黄橙色	精良	12.2	8.8	3.5	糸切り
570	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	13.0	9.5	3.0	糸切り
571	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.4	8.7	3.4	糸切り
572	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	精良	－	8.8	3.3	糸切り
573	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	3.2	糸切り、圧痕
574	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	3.4	糸切り
575	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	－	3.1	糸切り
576	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	精良	－	－	3.0	糸切り
577	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	精良	－	－	3.5	糸切り
578	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	3.5	糸切り
579	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	3.2	糸切り
580	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	－	－	2.7	
581	土師器	坏	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	8.6	－	糸切り
582	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	黒褐色の鉱物・砂粒	10.6	8.0	2.7	糸切り
583	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	10.7	9.4	2.8	糸切り
584	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	11.0	7.6	2.6	糸切り
585	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.0	8.6	3.3	糸切り
586	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.0	8.7	2.2	糸切り
587	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	11.0	8.8	2.3	糸切り
588	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.4	8.4	2.6	糸切り
589	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.8	8.2	2.7	糸切り
590	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.8	8.8	2.6	糸切り?
591	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	黒褐色の鉱物・砂粒	11.8	9.0	2.6	糸切り
592	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.0	7.8	3.2	糸切り
593	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	－	7.6	－	糸切り
594	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	－	8.6	－	糸切り
595	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	9.0	－	糸切り
596	土師器	坏	SD10	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	－	－	－	糸切り
597	土師器	坏	SD12	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	13.3	8.5	2.6	糸切り
598	土師器	坏	SD15	ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	10.6	8.4	2.8	糸切り
599	土師器	坏	SD15	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	9.2	－	糸切り
600	土師器	坏	SD15	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	11.2	－	糸切り
601	土師器	坏	SB09	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	精良	13.5	10.6	2.5	糸切り、板状圧痕
602	土師器	坏	SB16	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	8.0	3.0	糸切り
603	土師器	坏	SB16	ナデ	ナデ	淡黄色	灰白色	精良	12.2	8.1	3.1	糸切り
604	土師器	坏	SB24	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.9	10.1	2.3	糸切り
605	土師器	坏	SB24	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	13.0	10.2	2.5	糸切り、板状圧痕
606	土師器	坏	SB26	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	8.5	－	糸切り
607	土師器	坏	SB31	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	13.2	8.4	3.0	糸切り
608	土師器	坏	SB33	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	13.6	8.8	3.0	糸切り
609	土師器	坏	SB35	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	11.8	8.2	3.1	糸切り
610	土師器	坏	SB35	－	－	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・透明の鉱物・砂粒	－	－	－	糸切り
611	土師器	坏	SB48	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	9.2	2.5	糸切り、簾状圧痕
612	土師器	坏	SB48	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	12.4	8.5	2.6	糸切り
613	土師器	坏	SB53	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	7.0	－	糸切り
614	土師器	坏	SB53	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	11.2	8.0	2.6	糸切り
615	土師器	坏	SB55	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	白色の鉱物・砂粒	10.4	8.0	2.7	糸切り
616	土師器	坏	SB58	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	精良	10.8	9.0	2.4	糸切り
617	土師器	坏	SB60	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	11.0	8.4	3.3	板状圧痕
618	土師器	坏	SB60	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	12.0	10.2	3.0	糸切り
619	土師器	坏	SB61	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	赤色の鉱物・砂粒	9.6	8.0	2.4	糸切り
620	土師器	坏	SB61	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	白色の鉱物・砂粒	12.2	8.0	2.3	糸切り、板状圧痕
621	土師器	坏	SB61	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.6	8.8	2.9	糸切り
622	土師器	坏	SB61	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	赤色の鉱物・砂粒	－	8.0	－	糸切り
623	土師器	坏	SB62	ナデ	ナデ	浅黄橙色	淡黄色	赤色の鉱物・砂粒	13.5	8.8	3.0	糸切り
624	土師器	坏	SB64	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.6	8.6	3.4	糸切り、簾状圧痕
625	土師器	坏	SB64	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・褐色の鉱物・砂粒	12.0	9.2	2.5	糸切り、簾状圧痕
626	土師器	坏	SB65	ナデ	ナデ	灰白色	淡黄色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	10.0	8.4	2.5	糸切り
627	土師器	坏	SB66	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	10.2	7.5	2.8	糸切り
628	土師器	坏	SB66	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	茶褐色の鉱物・砂粒	11.0	8.4	2.5	糸切り
629	土師器	坏	SB67	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒褐色の鉱物・砂粒	－	8.0	－	糸切り
630	土師器	坏	SB67	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	－	8.4	－	糸切り

表10　出土遺物観察表（631～700）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
631	土師器	坏	SB76	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	13.6	9.3	3.3	糸切り
632	土師器	坏	SB77	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	12.2	9.8	3.0	糸切り
633	土師器	坏	SB77	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	透明の鉱物・砂粒	12.6	10.0	3.0	糸切り、板状圧痕
634	土師器	坏	SB77	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	11.8	8.9	2.6	糸切り
635	土師器	坏	SB77	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	12.0	8.9	2.7	糸切り
636	土師器	坏	SB77	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	12.4	9.6	3.0	糸切り、簾状圧痕
637	土師器	坏	SB78	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	12.8	9.0	2.7	糸切り、板状圧痕
638	土師器	坏	SB79	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	8.8	3.0	糸切り、板状圧痕
639	土師器	坏	SB79	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	7.8	2.3	糸切り
640	土師器	坏	SB82	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	10.9	8.0	2.2	糸切り
641	土師器	坏	SB87	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	11.2	8.0	3.1	糸切り
642	土師器	坏?	SA02	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	－	糸切り
643	土師器	坏	SA03	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	11.5	8.3	2.8	糸切り
644	土師器	坏	SA03	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	14.0	11.2	3.3	糸切り
645	土師器	坏	SA03	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	糸切り
646	土師器	坏?	SA03	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	糸切り
647	土師器	坏	SA03	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	糸切り
648	土師器	坏?	SA10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	7.6	－	糸切り
649	土師器	坏	SC03	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	10.8	8.0	2.3	糸切り
650	土師器	坏	SC29	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	－	10.0	－	
651	土師器	坏	SC37	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	12.5	8.8	2.2	糸切り、簾状圧痕
652	土師器	坏	SC37	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	13.4	10.0	3.0	糸切り
653	土師器	坏	SC37	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	13.5	10.7	3.2	糸切り
654	土師器	坏	SC37	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.4	－	－	
655	土師器	坏	SC42	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	精良	－	10.4	－	糸切り
656	土師器	坏	SC43	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	14.5	9.5	3.1	糸切り
657	土師器	坏	SC43	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	14.7	9.0	2.9	糸切り
658	土師器	坏	SC47	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.4	7.2	3.2	糸切り
659	土師器	坏	SC48	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.6	8.0	3.3	糸切り
660	土師器	坏	SC48	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	10.0	－	糸切り
661	土師器	坏	SC50	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	9.0	3.2	糸切り
662	土師器	坏	SC56	ナデ	ナデ	灰白色	淡黄色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	8.8	2.6	糸切り
663	土師器	坏	SC57	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	精良	－	7.4	－	糸切り
664	土師器	坏	SC70	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	10.8	9.0	2.7	糸切り、簾状圧痕
665	土師器	坏	SC70	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.0	8.4	2.7	糸切り、板状圧痕
666	土師器	坏	SC70	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.0	8.4	2.8	糸切り、板状圧痕
667	土師器	坏	SC70	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.1	9.0	2.3	糸切り
668	土師器	坏	SC70	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.5	8.4	3.2	糸切り
669	土師器	坏	SC70	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.2	9.2	2.8	糸切り
670	土師器	坏	SC70	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	12.3	8.4	2.1	糸切り
671	土師器	坏	SC71	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	8.4	－	糸切り、簾状圧痕
672	土師器	坏	SC90	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	－	7.0	－	糸切り
673	土師器	坏	SC95	ナデ	ナデ	灰白色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.7	10.4	2.9	糸切り
674	土師器	坏	SC96	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	7.0	－	糸切り
675	土師器	坏	SC96	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	白色の鉱物・砂粒	－	8.6	－	糸切り
676	土師器	坏	SC98	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	12.2	9.4	2.3	糸切り、板状圧痕
677	土師器	坏	SC98	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	9.2	－	糸切り、板状圧痕
678	土師器	坏	SC100	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.5	8.0	2.6	糸切り
679	土師器	坏	SC100	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	11.8	8.5	2.5	糸切り
680	土師器	坏	SC100	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	7.2	－	糸切り
681	土師器	坏	SC100	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	7.8	1.8	糸切り、圧痕
682	土師器	坏	SC100	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	8.8	－	糸切り
683	土師器	坏	SC100	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	9.2	－	糸切り、圧痕
684	土師器	坏	SC101	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	精良	13.2	－	－	
685	土師器	坏	SC101	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	精良	－	8.6	－	糸切り、圧痕
686	土師器	坏	SC102	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	－	8.0	－	糸切り
687	土師器	坏	SC109	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	8.2	－	糸切り
688	土師器	坏	SC109	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	5.2	－	糸切り
689	土師器	坏	SC120	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.6	9.0	2.5	糸切り
690	土師器	坏	SC120	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	11.6	9.2	2.5	糸切り、圧痕
691	土師器	坏	SC120	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.6	9.6	3.0	糸切り
692	土師器	坏	SC120	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	精良	12.0	8.5	2.5	糸切り
693	土師器	坏	SC120	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	12.3	9.0	2.3	糸切り、圧痕
694	土師器	坏	SC120	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	12.9	9.6	2.5	糸切り
695	土師器	坏	SC125	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.4	9.8	2.3	糸切り
696	土師器	坏	SC125	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	－	9.2	－	糸切り
697	土師器	坏	SC125	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	－	9.2	－	糸切り
698	土師器	坏	SC130	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	11.5	8.4	2.6	糸切り、圧痕
699	土師器	坏	SC131	ナデ	ナデ	浅黄橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	9.4	－	糸切り
700	土師器	坏	SC132	ナデ	ナデ	橙色	黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.0	8.2	3.3	糸切り、板状圧痕

表11　出土遺物観察表（701～770）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
701	土師器	坏	SC132	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.0	8.5	3.1	糸切り、圧痕
702	土師器	坏	SC132	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.8	—	糸切り
703	土師器	坏	SC137	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.4	—	糸切り
704	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.3	8.2	3.2	糸切り、板状圧痕
705	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい橙色	赤色の鉱物・砂粒	10.4	8.8	3.5	糸切り
706	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.5	8.2	3.4	糸切り
707	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.7	8.2	3.4	糸切り
708	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	明黄褐色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.0	8.8	3.4	糸切り
709	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.2	8.4	3.2	糸切り
710	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.0	—	糸切り
711	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.1	—	糸切り
712	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.1	—	糸切り
713	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.2	—	糸切り
714	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	8.2	—	糸切り
715	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.4	—	糸切り
716	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	8.4	—	糸切り
717	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.7	—	糸切り
718	土師器	坏	SC138	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.8	—	糸切り
719	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.5	8.5	3.2	糸切り
720	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.6	8.0	2.8	糸切り
721	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.7	8.4	4.1	糸切り
722	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	7.7	3.9	糸切り
723	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	12.2	9.0	3.5	糸切り
724	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	12.3	8.2	3.9	糸切り
725	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.6	9.0	3.3	糸切り
726	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	13.0	9.4	3.9	糸切り
727	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	13.1	9.5	4.1	糸切り
728	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	9.2	—	糸切り
729	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	11.6	3.0	糸切り
730	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	—	12.6	—	糸切り
731	土師器	坏	SC140	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	—	12.6	—	糸切り
732	土師器	坏	SC144	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	10.5	8.4	3.0	糸切り、圧痕
733	土師器	坏	SC158	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	赤色の鉱物・砂粒	—	8.0	—	糸切り
734	土師器	坏	SC156	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	11.8	8.7	2.5	糸切り、圧痕
735	土師器	坏	SC161	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.6	9.5	2.7	糸切り
736	土師器	坏	SC161	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	9.2	2.6	糸切り
737	土師器	坏	SC174	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	8.8	—	糸切り
738	土師器	坏	SC188	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.2	9.2	2.5	糸切り、圧痕
739	土師器	坏	SC231	ナデ	ナデ	黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	7.8	—	糸切り
740	土師器	坏	SC232	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.8	10.0	2.6	糸切り、圧痕
741	土師器	坏	SC240	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.4	—	糸切り
742	土師器	坏	SC241	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.7	8.8	2.9	糸切り
743	土師器	坏	SC241	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.2	—	糸切り
744	土師器	坏	SC241	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.4	—	糸切り
745	土師器	坏	SC241	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	8.6	—	糸切り
746	土師器	坏	SC241	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.6	—	糸切り
747	土師器	坏	SC241	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	9.0	—	糸切り、圧痕
748	土師器	坏	SC244	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.2	—	糸切り
749	土師器	坏	SC244	ナデ	ナデ	淡黄色	黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	9.8	—	糸切り、圧痕
750	土師器	坏	SC245	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒褐色の鉱物・砂粒	—	9.4	—	糸切り
751	土師器	坏	SC268	ナデ	ナデ	浅黄橙色	橙色	精良	10.9	8.8	3.3	糸切り
752	土師器	坏	SC274	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	黒色の鉱物・砂粒	—	8.3	—	糸切り
753	土師器	坏	SC278	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	—	5.8	—	糸切り
754	土師器	坏	SC280	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	—	4.9	—	ヘラ切り
755	土師器	坏	SC280	ナデ	ナデ	橙色	橙色	精良	—	5.0	—	ヘラ切り
756	土師器	坏	SC280	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	—	7.0	—	ヘラ切り
757	土師器	坏	SC280	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	—	8.2	—	ヘラ切り
758	土師器	坏	SC288	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	精良	—	8.4	—	糸切り
759	土師器	坏	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	9.6	8.0	2.6	糸切り
760	土師器	坏	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.0	—	糸切り、板状圧痕
761	土師器	坏	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.6	8.8	2.4	糸切り
762	土師器	坏	SX01	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	9.0	2.0	糸切り、板状圧痕
763	土師器	坏	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	橙色	精良	12.0	10.5	2.6	糸切り
764	土師器	坏	SJ01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.8	—	糸切り
765	土師器	坏	SJ01	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	10.0	—	糸切り、圧痕
766	土師器	坏	SJ02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.6	8.8	2.8	糸切り、圧痕
767	土師器	坏	SJ02	ナデ	ナデ	淡黄色	灰黄色	黒褐色の鉱物・砂粒	—	8.4	—	糸切り
768	土師器	坏	SJ02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	9.0	—	糸切り
769	土師器	坏	SJ02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	9.2	—	糸切り
770	土師器	坏	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	10.5	8.0	2.6	糸切り、板状圧痕

表12　出土遺物観察表（771～840）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
771	土師器	坏	N-6区5層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	褐色の鉱物・砂粒	10.5	9.0	2.5	糸切り
772	土師器	坏	U-7区5c層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	褐色の鉱物・砂粒	10.8	7.4	3.1	糸切り
773	土師器	坏	M-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.0	8.5	2.6	糸切り、板状圧痕
774	土師器	坏	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	11.1	7.8	2.6	糸切り、板状圧痕、ヘラケズリ、ススト付着
775	土師器	坏	N-6区5層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.2	7.9	3.2	糸切り、圧痕
776	土師器	坏	N-6区6層	ナデ	ナデ	灰白色	淡黄色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.2	8.5	2.7	糸切り、板状圧痕
777	土師器	坏	N-5区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・透明の鉱物・砂粒	11.4	9.0	2.2	糸切り、板状圧痕
778	土師器	坏	N-8区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	褐色の鉱物・砂粒	11.4	9.0	2.6	糸切り、板状圧痕
779	土師器	坏	M-7区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	精良	11.6	8.2	3.8	糸切り、圧痕
780	土師器	坏	R-5区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	11.6	8.3	2.2	糸切り、圧痕
781	土師器	坏	Q-10区5層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	褐色の鉱物・砂粒	11.6	8.4	3.4	糸切り、圧痕、ヘラケズリ
782	土師器	坏	N-5区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.6	8.7	2.6	糸切り
783	土師器	坏	M-7区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	精良	11.7	8.0	2.4	糸切り、ヘラケズリ
784	土師器	坏	N-7区ピット5層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	精良	11.7	9.3	2.5	糸切り
785	土師器	坏	M-6区5層	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	11.8	7.6	3.0	糸切り
786	土師器	坏	P-13区5層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	11.8	7.6	3.2	糸切り、板状圧痕
787	土師器	坏	M-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	11.8	8.6	3.2	糸切り
788	土師器	坏	N-6区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	11.8	8.6	2.5	糸切り、板状圧痕
789	土師器	坏	N-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	11.8	9.0	2.6	糸切り
790	土師器	坏	M-9区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	12.0	8.2	3.4	糸切り、板状圧痕
791	土師器	坏	Q-5区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.0	8.3	3.2	糸切り、板状圧痕
792	土師器	坏	S-8区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	12.0	8.4	3.2	糸切り、圧痕
793	土師器	坏	M-7区5層	ナデ	ナデ	淡黄色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.0	8.4	2.6	糸切り、板状圧痕
794	土師器	坏	N-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	褐色の鉱物・砂粒	12.0	8.8	2.6	糸切り
795	土師器	坏	Q-5区5層	ナデ	ナデ	明褐灰色	浅黄橙色	褐色の鉱物・砂粒	12.0	8.8	3.0	糸切り、板状圧痕
796	土師器	坏	Q-7区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	褐色の鉱物・砂粒	12.0	8.8	3.5	糸切り
797	土師器	坏	U-7区5層	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.0	9.0	2.2	糸切り、板状圧痕、ススト付着
798	土師器	坏	P-8区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.0	9.0	2.4	糸切り、簾状圧痕
799	土師器	坏	U-7区5c層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	褐色の鉱物・砂粒	12.0	10.0	2.7	糸切り、圧痕
800	土師器	坏	T-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.1	8.4	3.6	糸切り
801	土師器	坏	M-4区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.1	9.2	3.2	糸切り
802	土師器	坏	U-7区5c層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	12.2	7.8	3.5	糸切り
803	土師器	坏	R-5区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	12.2	8.0	3.5	糸切り、圧痕
804	土師器	坏	Q-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	褐色の鉱物・砂粒	12.2	8.6	3.4	糸切り
805	土師器	坏	T-7区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	精良	12.2	8.8	2.4	糸切り、板状圧痕
806	土師器	坏	N-6区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	褐色の鉱物・砂粒	12.2	9.4	2.1	糸切り、簾状圧痕
807	土師器	坏	O-5区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.3	8.0	2.5	糸切り、板状圧痕
808	土師器	坏	U-6区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.4	8.3	3.5	糸切り
809	土師器	坏	Q-5区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	褐色の鉱物・砂粒	12.4	9.6	3.1	糸切り、板状圧痕
810	土師器	坏	U-7区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	12.5	9.0	3.7	糸切り、ススト付着
811	土師器	坏	P-4区5層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	12.7	10.0	3.0	糸切り、圧痕
812	土師器	坏	N-6区ピット5層	ナデ	ナデ	灰白色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	12.8	9.6	2.5	糸切り、板状圧痕
813	土師器	坏	N-6区5層	ナデ	ナデ	褐灰色	灰白色	褐色の鉱物・砂粒	12.9	8.3	2.5	糸切り、簾状圧痕
814	土師器	坏	N-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	13.0	8.6	3.1	糸切り、板状圧痕
815	土師器	坏	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	13.0	9.6	2.8	糸切り
816	土師器	坏	H-16区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	13.2	8.8	2.2	糸切り
817	土師器	坏	N-6区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	13.4	9.5	2.6	糸切り
818	土師器	坏	U-7区5c層	ナデ	ナデ	灰白色	にぶい黄橙色	褐色の鉱物・砂粒	13.4	8.8	2.6	糸切り、圧痕
819	土師器	坏	P-8区6層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	15.0	9.3	3.0	糸切り
820	土師器	坏	P-7区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	—	7.5	—	糸切り
821	土師器	坏	P-5区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	9.0	—	糸切り
822	土師器	坏	M-7区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色・透明の鉱物・砂粒	—	9.1	—	糸切り、圧痕
823	土師器	坏	J-7区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	9.3	—	糸切り、圧痕
824	土師器	坏	N-9区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	—	9.7	—	糸切り
825	土師器	小皿	SD01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.0	5.5	1.5	糸切り
826	土師器	小皿	SD01下層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.0	6.3	1.0	糸切り
827	土師器	小皿	SD01	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.8	7.2	1.3	糸切り
828	土師器	小皿	SD01下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	5.2	—	糸切り
829	土師器	小皿	SD02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	5.8	5.0	1.1	糸切り
830	土師器	小皿	SD02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	5.8	5.4	1.2	糸切り
831	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.4	5.8	1.2	糸切り
832	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.6	6.0	1.0	糸切り
833	土師器	小皿	SD02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	6.6	6.0	1.2	糸切り
834	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.7	6.4	1.1	糸切り、板状圧痕
835	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	6.8	5.3	1.3	糸切り
836	土師器	小皿	SD02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	6.8	5.4	1.2	糸切り
837	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.9	5.7	1.3	糸切り
838	土師器	小皿	SD02下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	5.8	1.1	糸切り
839	土師器	小皿	SD02下層	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	5.8	1.4	糸切り
840	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	6.1	1.2	糸切り

表13　出土遺物観察表（841～910）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
841	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	6.2	1.0	糸切り
842	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	橙色	明黄褐色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	6.2	1.3	糸切り
843	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	6.2	1.3	糸切り
844	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.0	6.5	1.3	糸切り、圧痕
845	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.1	5.7	1.4	糸切り
846	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.2	5.5	1.2	糸切り
847	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	5.5	1.5	糸切り
848	土師器	小皿	SD02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.2	5.8	1.3	糸切り
849	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	6.3	1.0	糸切り
850	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	6.6	1.2	糸切り
851	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.3	5.5	1.1	糸切り
852	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.3	6.6	1.2	糸切り
853	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.4	5.6	1.4	糸切り
854	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	黒褐色の鉱物・砂粒	7.4	5.6	1.6	糸切り
855	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	5.8	1.7	糸切り、圧痕
856	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.5	5.8	1.2	糸切り
857	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.5	6.0	1.1	糸切り
858	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	5.3	2.5	糸切り
859	土師器	小皿	SD02下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.6	5.4	1.2	糸切り
860	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.6	5.8	1.2	糸切り
861	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	6.0	1.2	糸切り
862	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	6.0	1.4	糸切り
863	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	6.2	1.0	糸切り、板状圧痕
864	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.6	6.2	1.1	糸切り
865	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.7	6.3	1.2	糸切り
866	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	5.0	1.1	糸切り
867	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.8	5.4	1.4	糸切り、圧痕
868	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.8	5.7	1.2	糸切り
869	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.8	5.8	1.2	糸切り
870	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.8	5.8	1.3	糸切り
871	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.8	1.4	糸切り
872	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.9	5.8	1.1	糸切り
873	土師器	小皿	SD02	ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	白色の鉱物・砂粒	8.2	6.4	1.6	糸切り
874	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	8.2	6.6	1.3	糸切り、圧痕
875	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.7	9.2	2.4	糸切り
876	土師器	小皿	SD02最上層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	5.6	－	糸切り
877	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	精良	6.5	6.0	1.3	糸切り
878	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	6.6	5.6	1.3	糸切り
879	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	5.6	1.0	糸切り
880	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	6.7	1.3	糸切り
881	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	精良	7.4	5.8	1.4	糸切り
882	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	7.4	6.2	1.2	糸切り
883	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	6.3	1.5	糸切り
884	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	6.8	1.4	糸切り
885	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	6.5	1.2	糸切り、板状圧痕
886	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.5	1.4	糸切り
887	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	6.4	1.6	糸切り
888	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	9.8	8.8	1.7	糸切り
889	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	1.6	糸切り
890	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	1.4	糸切り
891	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	1.3	糸切り
892	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	精良	－	－	1.5	糸切り
893	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	－	2.0	糸切り
894	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	－	1.7	糸切り
895	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	－	1.3	糸切り
896	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	1.4	糸切り
897	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	－	－	0.9	糸切り
898	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	精良	－	－	1.6	糸切り
899	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	－	1.3	糸切り
900	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	1.7	糸切り
901	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	1.3	糸切り
902	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	1.2	糸切り
903	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	－	1.7	糸切り
904	土師器	小皿	SD09	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	－	糸切り
905	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.0	5.6	1.2	糸切り
906	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	赤色の鉱物・砂粒	6.2	4.9	1.4	糸切り
907	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	6.2	5.2	1.3	糸切り
908	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.3	5.5	0.8	糸切り
909	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.6	5.5	1.2	糸切り
910	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.8	5.2	1.2	糸切り

表14　出土遺物観察表（911～980）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
911	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	赤色の鉱物・砂粒	6.8	5.5	1.2	糸切り
912	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	6.8	5.8	1.1	糸切り
913	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	黒褐色の鉱物・砂粒	7.0	5.4	1.1	糸切り
914	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	6.0	1.5	糸切り
915	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	6.6	1.1	糸切り
916	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	6.4	1.2	糸切り
917	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.5	6.2	1.4	糸切り
918	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.7	6.0	1.3	糸切り
919	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.7	6.3	1.2	糸切り
920	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.8	6.0	1.2	糸切り
921	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.0	1.3	糸切り
922	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.0	1.3	糸切り
923	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.5	1.3	糸切り、板状圧痕
924	土師器	小皿	SD10	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	－	1.3	糸切り
925	土師器	小皿	SD12	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・透明の鉱物・砂粒	7.3	5.8	1.0	糸切り
926	土師器	小皿	SD14	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	6.4	1.2	糸切り
927	土師器	小皿	SD14	ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	精良	－	7.6	－	糸切り
928	土師器	小皿	SD14	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	精良	－	－	1.2	糸切り
929	土師器	小皿	SD15	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	7.0	1.3	糸切り
930	土師器	小皿	SD16	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	7.4	－	糸切り、板状圧痕
931	土師器	小皿	SD21	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	9.0	7.7	1.1	糸切り
932	土師器	小皿	SD21	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	9.5	7.6	1.3	糸切り
933	土師器	小皿	SB05	ナデ	ナデ	浅黄橙色	橙色	浅黄橙色	7.0	5.5	1.4	糸切り
934	土師器	小皿	SB05	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	7.0	1.4	糸切り
935	土師器	小皿	SB07	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	精良	9.3	7.4	1.4	糸切り、指頭圧痕
936	土師器	小皿	SB09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	9.0	6.8	1.5	糸切り
937	土師器	小皿	SB47	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	5.6	1.2	糸切り
938	土師器	小皿	SB47	ナデ	ナデ	浅黄橙色	橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.6	5.8	1.4	糸切り
939	土師器	小皿	SB47	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	6.0	1.6	糸切り
940	土師器	小皿	SB48	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	浅黄橙色	8.4	6.3	1.6	糸切り、板状圧痕
941	土師器	小皿	SB48	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.2	5.7	1.1	糸切り
942	土師器	小皿	SB48	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	6.0	1.5	糸切り
943	土師器	小皿	SB53	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	6.3	1.6	糸切り
944	土師器	小皿	SB53	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.2	6.3	1.2	糸切り
945	土師器	小皿	SB55	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	6.0	5.2	1.5	糸切り
946	土師器	小皿	SB55	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	6.0	1.3	糸切り
947	土師器	小皿	SB60	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	7.8	6.2	1.2	糸切り
948	土師器	小皿	SB60	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.2	7.0	1.2	糸切り
949	土師器	小皿	SB60	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	7.6	6.2	1.0	糸切り
950	土師器	小皿	SB61	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	7.8	5.8	1.0	糸切り
951	土師器	小皿	SB61	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.2	7.4	0.9	糸切り
952	土師器	小皿	SB61	ナデ	ナデ	浅黄橙色	淡黄色	赤色の鉱物・砂粒	8.3	6.6	1.5	糸切り
953	土師器	小皿	SB61	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	8.4	6.4	1.1	糸切り
954	土師器	小皿	SB61	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	5.4	－	糸切り
955	土師器	小皿	SB63	ナデ	ナデ	浅黄橙色	淡黄色	茶褐色の鉱物・砂粒	7.4	5.6	1.1	糸切り、板状圧痕
956	土師器	小皿	SB65	ナデ	ナデ	浅黄橙色	淡黄色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.6	6.0	1.2	糸切り
957	土師器	小皿	SB65	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.7	6.5	1.4	糸切り、板状圧痕
958	土師器	小皿	SB65	ナデ	ナデ	灰白色	淡黄色	黒褐色の鉱物・砂粒	8.2	5.8	1.2	糸切り、簾状圧痕
959	土師器	小皿	SB65	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.2	6.5	1.1	糸切り、圧痕
960	土師器	小皿	SB65	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	9.0	7.6	2.2	糸切り、外面にスス付着
961	土師器	小皿	SB66	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	6.8	5.0	1.7	糸切り
962	土師器	小皿	SB66	ナデ	ナデ	浅黄橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	5.5	1.8	糸切り
963	土師器	小皿	SB66	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	5.6	1.1	糸切り、外面下半にスス付着
964	土師器	小皿	SB66	ナデ	ナデ	淡黄色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	3.0	1.3	糸切り
965	土師器	小皿	SB66	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・褐色の鉱物・砂粒	8.2	7.4	1.0	糸切り
966	土師器	小皿	SB66	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・褐色の鉱物・砂粒	8.4	7.3	1.2	糸切り
967	土師器	小皿	SB66	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	茶褐色の鉱物・砂粒	8.4	7.8	1.1	糸切り
968	土師器	小皿	SB66	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	茶褐色の鉱物・砂粒	9.0	7.2	1.4	糸切り
969	土師器	小皿	SB67	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	6.0	1.3	糸切り
970	土師器	小皿	SB67	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	5.8	1.0	糸切り、板状圧痕、スス付着
971	土師器	小皿	SB67	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	8.0	7.1	1.3	糸切り、スス付着
972	土師器	小皿	SB67	－	－	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	5.3	－	糸切り、板状圧痕
973	土師器	小皿	SB75	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.4	1.1	糸切り
974	土師器	小皿	SB75	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	7.2	6.6	1.2	糸切り
975	土師器	小皿	SB77	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	5.7	1.2	糸切り、板状圧痕
976	土師器	小皿	SB77	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.7	1.3	糸切り、板状圧痕
977	土師器	小皿	SB77	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.0	6.6	1.5	糸切り、板状圧痕
978	土師器	小皿	SB77	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	8.0	6.0	1.4	糸切り
979	土師器	小皿	SB77	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	8.0	6.1	1.4	糸切り
980	土師器	小皿	SB77	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.7	6.2	1.2	糸切り

表15　出土遺物観察表（981～1050）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
981	土師器	小皿	SB77	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	透明の鉱物・砂粒	9.8	6.8	1.1	糸切り
982	土師器	小皿	SB77	ナデ	ナデ	橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	9.0	7.1	1.6	糸切り
983	土師器	小皿	SB79	ナデ	ナデ	灰白色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.6	5.2	1.0	糸切り、圧痕
984	土師器	小皿	SB79	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	5.6	1.5	糸切り
985	土師器	小皿	SB79	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	6.7	1.0	糸切り、簾状圧痕
986	土師器	小皿	SB79	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.2	6.7	1.0	糸切り
987	土師器	小皿	SB79	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.4	7.0	1.2	糸切り
988	土師器	小皿	SB84	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	6.2	1.4	糸切り
989	土師器	小皿	SB93	－	－	灰白色	浅黄橙色	赤色・白色の鉱物・砂粒	－	3.0	－	糸切り
990	土師器	小皿	SA02	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.1	6.0	1.0	糸切り
991	土師器	小皿？	SA02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	－	－	－	糸切り
992	土師器	小皿	SA03	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	8.3	7.2	1.1	糸切り
993	土師器	小皿	SC01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	6.1	1.0	糸切り
994	土師器	小皿	SC03	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.1	4.5	1.3	糸切り
995	土師器	小皿	SC03	ナデ	ナデ	浅黄橙色	明黄褐色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	5.7	1.1	糸切り
996	土師器	小皿	SC09	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	8.7	7.7	1.8	糸切り
997	土師器	小皿	SC22	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	7.6	－	糸切り
998	土師器	小皿	SC32	ナデ	ナデ	橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.4	7.0	1.1	糸切り
999	土師器	小皿	SC35	ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	7.4	－	糸切り
1000	土師器	小皿	SC36	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	6.6	1.5	糸切り
1001	土師器	小皿	SC37	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.0	5.0	1.2	糸切り
1002	土師器	小皿	SC37	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.8	6.5	1.5	糸切り
1003	土師器	小皿	SC37	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.1	7.1	1.6	糸切り、圧痕
1004	土師器	小皿	SC37	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.2	6.4	1.4	糸切り
1005	土師器	小皿	SC37	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.9	7.5	1.5	糸切り
1006	土師器	小皿	SC37	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	9.2	6.8	1.3	糸切り
1007	土師器	小皿	SC41	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	精良	8.2	7.2	1.3	糸切り
1008	土師器	小皿	SC43	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.5	7.0	1.3	糸切り
1009	土師器	小皿	SC43	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.8	7.2	1.1	糸切り
1010	土師器	小皿	SC43	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	9.8	7.4	1.4	糸切り
1011	土師器	小皿	SC46	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.6	7.8	1.3	糸切り
1012	土師器	小皿	SC47	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	6.4	5.2	1.3	糸切り
1013	土師器	小皿	SC49	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	－	9.0	－	糸切り
1014	土師器	小皿	SC50	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	橙色	白色の鉱物・砂粒	7.5	6.0	1.3	糸切り
1015	土師器	小皿	SC56	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄色	黒褐色の鉱物・砂粒	6.4	5.2	1.1	糸切り
1016	土師器	小皿	SC56	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.0	5.8	1.3	糸切り、圧痕
1017	土師器	小皿	SC57	ナデ	ナデ	浅黄橙色	褐灰色	黒色の鉱物・砂粒	8.5	7.5	1.1	糸切り、簾状圧痕
1018	土師器	小皿	SC60	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	6.8	－	糸切り
1019	土師器	小皿	SC70	ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	4.8	1.2	糸切り
1020	土師器	小皿	SC70	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	5.8	1.3	糸切り
1021	土師器	小皿	SC70	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	6.0	1.3	糸切り
1022	土師器	小皿	SC70	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.2	6.0	1.3	糸切り
1023	土師器	小皿	SC70	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.5	6.0	1.4	糸切り、圧痕
1024	土師器	小皿	SC70	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	6.0	1.5	糸切り
1025	土師器	小皿	SC70	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.0	6.0	1.7	糸切り
1026	土師器	小皿	SC70	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	6.3	1.1	糸切り、圧痕
1027	土師器	小皿	SC70	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	5.8	－	糸切り、簾状圧痕
1028	土師器	小皿	SC96	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	6.7	－	糸切り
1029	土師器	小皿	SC100	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	8.2	6.5	1.2	糸切り
1030	土師器	小皿	SC100	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.2	7.0	1.6	糸切り
1031	土師器	小皿	SC100	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	精良	－	5.8	－	糸切り
1032	土師器	小皿	SC100	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰黄褐色	赤色の鉱物・砂粒	－	6.8	－	糸切り
1033	土師器	小皿	SC109	ナデ	ナデ	灰白色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	6.2	1.1	糸切り
1034	土師器	小皿	SC109	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	6.8	1.1	糸切り、圧痕
1035	土師器	小皿	SC117	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	精良	－	6.0	1.3	糸切り、圧痕
1036	土師器	小皿	SC125	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	6.0	1.3	糸切り、圧痕
1037	土師器	小皿	SC125	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	－	6.6	－	糸切り、圧痕
1038	土師器	小皿	SC125	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	7.0	－	糸切り
1039	土師器	小皿	SC130	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.0	6.5	1.4	糸切り、圧痕
1040	土師器	小皿	SC130	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.0	7.0	1.2	糸切り、圧痕
1041	土師器	小皿	SC132	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.4	6.2	1.6	糸切り
1042	土師器	小皿	SC132	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.2	7.0	1.3	糸切り
1043	土師器	小皿	SC132	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.4	7.6	1.5	糸切り
1044	土師器	小皿	SC138	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.2	1.4	糸切り
1045	土師器	小皿	SC138	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	6.6	6.2	1.4	糸切り
1046	土師器	小皿	SC138	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	6.0	1.3	糸切り
1047	土師器	小皿	SC138	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.2	6.4	1.4	糸切り
1048	土師器	小皿	SC138	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.6	1.2	糸切り
1049	土師器	小皿	SC138	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	7.8	6.6	1.4	糸切り
1050	土師器	小皿	SC138	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.0	6.0	1.2	糸切り

表16　出土遺物観察表（1051～1120）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
1051	土師器	小皿	SC138	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.2	6.4	1.2	糸切り、圧痕
1052	土師器	小皿	SC138	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	5.8	－	糸切り
1053	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	6.8	5.6	1.3	糸切り
1054	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.2	5.5	1.3	糸切り
1055	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	橙色	にぶい橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.2	5.8	1.2	糸切り
1056	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	白色の鉱物・砂粒	7.2	6.0	1.3	糸切り
1057	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	橙色	橙色	透明の鉱物・砂粒	7.3	6.2	1.1	糸切り
1058	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.4	5.6	1.6	糸切り
1059	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.4	6.3	1.3	糸切り
1060	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	6.7	1.2	糸切り
1061	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.5	5.7	1.5	糸切り
1062	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.5	6.2	1.6	糸切り
1063	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.5	6.4	1.3	糸切り
1064	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.6	6.0	1.6	糸切り
1065	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	6.4	1.2	糸切り
1066	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.7	6.8	1.3	糸切り
1067	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.7	7.0	1.4	糸切り
1068	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	5.2	1.6	糸切り
1069	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	5.8	1.1	糸切り
1070	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.4	1.2	糸切り
1071	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.9	6.7	1.1	糸切り
1072	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	6.2	1.3	糸切り
1073	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	6.7	1.5	糸切り
1074	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	8.1	6.8	1.3	糸切り
1075	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	8.4	7.2	1.3	糸切り
1076	土師器	小皿	SC140	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	6.5	1.7	糸切り
1077	土師器	小皿	SC154	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	6.8	5.6	1.3	糸切り
1078	土師器	小皿	SC159	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	9.3	7.4	1.1	糸切り
1079	土師器	小皿	SC159	ナデ	ナデ	灰黄色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	9.1	7.2	1.3	糸切り
1080	土師器	小皿	SC159	ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	9.0	7.0	1.2	糸切り
1081	土師器	小皿	SC159	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄色	黒褐色の鉱物・砂粒	9.3	7.2	1.2	糸切り
1082	土師器	小皿	SC160	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	5.8	－	糸切り
1083	土師器	小皿	SC161	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	－	6.2	－	糸切り
1084	土師器	小皿	SC162	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.8	1.0	糸切り
1085	土師器	小皿	SC162	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	5.4	1.2	糸切り、圧痕
1086	土師器	小皿	SC168	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.3	6.2	1.5	糸切り
1087	土師器	小皿	SC230	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.1	5.8	1.3	糸切り
1088	土師器	小皿	SC240	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.5	6.0	1.3	糸切り
1089	土師器	小皿	SC241	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.5	6.4	1.4	糸切り
1090	土師器	小皿	SC241	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	6.1	1.3	糸切り
1091	土師器	小皿	SC242	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.0	6.4	1.2	糸切り
1092	土師器	小皿	SC242	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.8	6.4	1.0	糸切り
1093	土師器	小皿	SC244	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	－	6.4	－	糸切り
1094	土師器	小皿	SC245	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.5	6.0	1.5	糸切り、圧痕
1095	土師器	小皿	SC245	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	6.0	1.1	糸切り、圧痕
1096	土師器	小皿	SC245	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰黄色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.4	6.0	1.1	糸切り
1097	土師器	小皿	SC246	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	6.0	1.0	糸切り
1098	土師器	小皿	SC288	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	精良	8.1	6.6	1.0	糸切り
1099	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	6.3	5.6	1.0	糸切り、圧痕
1100	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.5	6.0	0.9	糸切り、板状圧痕
1101	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.6	5.8	1.0	糸切り、圧痕
1102	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.1	6.0	1.1	糸切り
1103	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	淡黄色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.2	6.0	1.3	糸切り、圧痕
1104	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	明黄褐色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.2	6.4	1.1	糸切り、圧痕
1105	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.2	6.4	1.1	糸切り、圧痕
1106	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.3	5.5	0.9	糸切り、板状圧痕
1107	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	5.0	1.1	糸切り、板状圧痕
1108	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	黒褐色の鉱物・砂粒	7.4	5.3	1.1	糸切り、板状圧痕
1109	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	6.0	1.1	糸切り、板状圧痕
1110	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	にぶい黄橙色	透明の鉱物・砂粒	7.4	6.2	1.0	糸切り
1111	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	明黄褐色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.6	5.6	1.3	糸切り、板状圧痕
1112	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.6	6.2	0.9	糸切り
1113	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	7.0	1.0	糸切り、板状圧痕
1114	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	7.0	1.2	糸切り
1115	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.0	6.0	1.3	糸切り、圧痕
1116	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	透明の鉱物・砂粒	8.0	6.3	1.5	糸切り、板状圧痕
1117	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.0	6.4	1.4	糸切り、圧痕
1118	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.0	6.5	0.9	糸切り、板状圧痕
1119	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	8.0	6.6	1.1	糸切り、板状圧痕
1120	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.4	7.8	1.2	糸切り

表17　出土遺物観察表（1121～1190）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
1121	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	透明の鉱物・砂粒	8.8	7.0	1.4	糸切り
1122	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.4	5.2	1.2	糸切り、圧痕
1123	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	5.3	1.3	糸切り
1124	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	6.0	1.2	糸切り
1125	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	6.0	1.2	糸切り
1126	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.2	6.2	1.1	糸切り
1127	土師器	小皿	SX01	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	8.8	6.6	1.5	糸切り
1128	土師器	小皿	SJ01	ナデ	ナデ	浅黄色	浅黄色	黒褐色の鉱物・砂粒	7.8	5.8	1.4	糸切り
1129	土師器	小皿	SJ01	ナデ	ナデ	灰黄色	灰黄色	黒褐色の鉱物・砂粒	7.8	6.0	1.4	糸切り
1130	土師器	小皿	SJ02	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	6.5	1.1	
1131	土師器	小皿	SJ02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	7.0	1.2	糸切り
1132	土師器	小皿	SJ02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.0	6.6	1.4	糸切り、圧痕
1133	土師器	小皿	SJ02	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	黒褐色の鉱物・砂粒	8.4	7.0	1.1	糸切り
1134	土師器	小皿	O-5区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.7	5.3	0.9	糸切り、板状圧痕
1135	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	6.8	6.0	1.1	糸切り、板状圧痕
1136	土師器	小皿	N-7区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.0	5.8	1.1	糸切り
1137	土師器	小皿	P-7区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.0	5.7	1.0	糸切り、板状圧痕
1138	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.0	6.0	1.2	糸切り、圧痕
1139	土師器	小皿	P-8区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.1	6.0	1.1	糸切り、板状圧痕
1140	土師器	小皿	Q-10区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	7.1	6.1	1.3	糸切り、圧痕
1141	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.1	6.3	1.0	糸切り、板状圧痕
1142	土師器	小皿	M-7区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	7.1	6.3	1.1	糸切り
1143	土師器	小皿	O-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	7.1	6.7	1.3	糸切り、圧痕
1144	土師器	小皿	J-7区5a層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.2	6.0	1.1	糸切り
1145	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.2	6.2	1.2	糸切り、圧痕
1146	土師器	小皿	M-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.2	6.3	1.4	糸切り、圧痕
1147	土師器	小皿	U-7区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	明黄褐色	黒褐色の鉱物・砂粒	7.2	6.4	1.0	糸切り、圧痕
1148	土師器	小皿	M-6区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	7.3	5.1	1.3	糸切り、圧痕
1149	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.3	5.3	1.0	糸切り、圧痕
1150	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	明黄褐色	明黄褐色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.3	5.4	1.1	糸切り、簾状圧痕、穿孔径0.4
1151	土師器	小皿	N-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	7.3	5.6	1.0	糸切り、板状圧痕
1152	土師器	小皿	U-7区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	7.3	5.7	1.6	糸切り
1153	土師器	小皿	P-2区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.3	5.8	1.5	糸切り
1154	土師器	小皿	N-5区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.3	6.2	1.0	糸切り、板状圧痕
1155	土師器	小皿	N-5区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.3	6.3	0.9	糸切り、簾状圧痕
1156	土師器	小皿	M-8区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	5.2	1.1	糸切り、板状圧痕
1157	土師器	小皿	M-6区5層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.4	5.6	1.4	糸切り
1158	土師器	小皿	P-5区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.4	5.7	1.4	糸切り
1159	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	褐色の鉱物・砂粒	7.4	5.9	1.1	糸切り、簾状圧痕
1160	土師器	小皿	M-10区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	7.4	6.0	0.9	糸切り、簾状圧痕
1161	土師器	小皿	N-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	6.0	1.0	糸切り、圧痕
1162	土師器	小皿	N-6区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.4	6.0	1.2	糸切り、圧痕
1163	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.4	6.2	1.4	糸切り、圧痕
1164	土師器	小皿	O-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	7.4	6.3	1.2	糸切り、板状圧痕
1165	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	7.5	5.5	1.1	糸切り、圧痕
1166	土師器	小皿	Q-12区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	赤褐色の鉱物・砂粒	7.5	5.5	1.3	糸切り、圧痕
1167	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.5	5.6	1.1	糸切り、板状圧痕
1168	土師器	小皿	N-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.5	5.9	0.9	糸切り、簾状圧痕
1169	土師器	小皿	N-6区ピット5層	ナデ	ナデ	橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.5	6.0	1.3	糸切り
1170	土師器	小皿	Q-10区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰白色	赤褐色の鉱物・砂粒	7.5	6.1	1.2	糸切り、圧痕
1171	土師器	小皿	N-5区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.5	6.7	1.4	糸切り、圧痕
1172	土師器	小皿	N-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	精良	7.6	6.0	1.3	糸切り
1173	土師器	小皿	Q-4・5区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	6.1	1.4	糸切り
1174	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	6.2	1.3	糸切り、圧痕
1175	土師器	小皿	N-6区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.6	6.6	1.1	糸切り、簾状圧痕
1176	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	褐色の鉱物・砂粒	7.7	5.3	1.3	糸切り、圧痕
1177	土師器	小皿	U-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.7	5.8	1.1	糸切り
1178	土師器	小皿	N-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	7.7	6.2	1.2	糸切り、板状圧痕
1179	土師器	小皿	P-7区5層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.7	6.4	1.3	糸切り、板状圧痕
1180	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.7	6.5	1.2	糸切り
1181	土師器	小皿	M-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.7	6.7	1.5	糸切り
1182	土師器	小皿	N-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・赤褐色の鉱物・砂粒	7.8	5.7	1.4	糸切り、圧痕
1183	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.8	6.2	1.1	糸切り、圧痕
1184	土師器	小皿	M-7区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.2	1.4	糸切り、板状圧痕
1185	土師器	小皿	N-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	7.8	6.2	1.4	糸切り
1186	土師器	小皿	N-5区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.3	1.1	糸切り、圧痕
1187	土師器	小皿	N-7区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.4	1.1	糸切り、圧痕
1188	土師器	小皿	M-7区6層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	7.8	6.5	0.9	糸切り、簾状圧痕
1189	土師器	小皿	N-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	7.8	6.5	1.5	糸切り
1190	土師器	小皿	P-8区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	7.9	6.5	1.3	糸切り、板状圧痕

表18　出土遺物観察表（1191～1260）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
1191	土師器	小皿	P-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.0	6.2	1.2	糸切り、板状圧痕
1192	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	8.0	6.4	1.3	糸切り、圧痕
1193	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.0	6.4	1.3	糸切り
1194	土師器	小皿	U-6区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	8.0	6.4	1.3	糸切り
1195	土師器	小皿	U-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.0	6.4	1.3	糸切り、板状圧痕
1196	土師器	小皿	M-7区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	橙色	白色・黒色の鉱物・砂粒	8.0	7.1	1.2	糸切り、圧痕
1197	土師器	小皿	Q-7区6層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.1	5.8	1.3	糸切り、圧痕
1198	土師器	小皿	M-7区5層	ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	8.1	6.1	1.3	糸切り、板状圧痕
1199	土師器	小皿	N-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.1	6.1	1.3	糸切り
1200	土師器	小皿	N-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.1	6.2	1.4	糸切り、板状圧痕
1201	土師器	小皿	U-7区5c層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤褐色の鉱物・砂粒	8.1	6.5	1.1	糸切り、板状圧痕
1202	土師器	小皿	N-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	8.1	6.6	1.4	糸切り、板状圧痕
1203	土師器	小皿	M-8区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	8.1	6.8	1.1	糸切り
1204	土師器	小皿	U-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.1	6.9	1.1	糸切り
1205	土師器	小皿	U-7区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.1	6.9	1.6	糸切り、圧痕
1206	土師器	小皿	O-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.2	6.0	1.2	糸切り、圧痕
1207	土師器	小皿	M-7区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	8.2	6.2	1.3	糸切り
1208	土師器	小皿	M-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.2	6.2	1.6	糸切り、板状圧痕
1209	土師器	小皿	N-7区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	精良	8.2	6.3	1.2	糸切り
1210	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.2	6.4	1.5	糸切り、板状圧痕
1211	土師器	小皿	M-7区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.2	6.5	1.2	糸切り
1212	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.2	6.8	1.5	糸切り、板状圧痕
1213	土師器	小皿	U-7区5c層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	8.2	7.6	0.9	糸切り
1214	土師器	小皿	N-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.3	6.0	1.2	糸切り
1215	土師器	小皿	N-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.3	6.2	1.5	糸切り
1216	土師器	小皿	P-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.3	6.6	0.9	糸切り、板状圧痕
1217	土師器	小皿	P-8区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.3	6.9	1.2	糸切り、板状圧痕
1218	土師器	小皿	M-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.3	7.2	1.4	糸切り、板状圧痕
1219	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	黒色の鉱物・砂粒	8.4	5.7	1.5	糸切り、板状圧痕
1220	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.4	6.3	1.3	糸切り、板状圧痕
1221	土師器	小皿	N-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.4	6.7	1.3	糸切り、圧痕
1222	土師器	小皿	M-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.4	6.9	1.3	糸切り
1223	土師器	小皿	M-7区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	精良	8.5	6.8	1.6	糸切り、板状圧痕
1224	土師器	小皿	N-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.5	6.9	1.4	糸切り、板状圧痕
1225	土師器	小皿	N-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.6	6.3	1.3	糸切り、簾状圧痕
1226	土師器	小皿	M-6区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.6	6.5	1.3	糸切り、板状圧痕
1227	土師器	小皿	M-7区6層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.6	6.9	1.2	糸切り、板状圧痕
1228	土師器	小皿	M-6区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	8.6	7.0	0.9	糸切り
1229	土師器	小皿	U-9区5層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	白色の鉱物・砂粒	8.6	7.6	1.1	ヘラ切り、瀬戸内系？
1230	土師器	小皿	M-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	8.6	7.6	0.9	糸切り、板状圧痕
1231	土師器	小皿	N-6区5層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤褐色の鉱物・砂粒	8.7	6.0	1.2	糸切り、圧痕
1232	土師器	小皿	S-8区5a層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	8.8	6.6	1.2	糸切り
1233	土師器	小皿	N-6区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	8.8	6.9	1.3	糸切り
1234	土師器	小皿	P-12区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	黒褐色の鉱物・砂粒	8.8	7.5	1.1	糸切り
1235	土師器	小皿	U-7区5a層	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤褐色の鉱物・砂粒	8.9	7.6	1.3	糸切り、圧痕
1236	土師器	小皿	I-17区5c層	ナデ	ナデ	浅黄色	浅黄色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	10.2	8.4	1.5	糸切り
1237	土師器	小皿	R-9区ピット5層	ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	10.3	6.4	1.5	糸切り、板状圧痕
1238	土師器	小皿	M-7区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	精良	10.4	8.2	1.6	糸切り、圧痕
1239	土師器	小皿	P-7区5層	ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	11.8	8.7	2.8	糸切り、圧痕
1240	土師器	小皿	M-7区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	8.8	6.5	—	糸切り
1241	土師器	小皿	O-7区5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤褐色の鉱物・砂粒	—	6.9	—	糸切り、板状圧痕
1242	土師器	小皿	Q-4区ピット5層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	5.6	—	糸切り
1243	土師器	紡錘車	P-6区5層	—	—	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	9.4	9.2	1.0	坏底部転用、77.3g
1244	土師器	紡錘車	G-16区5層	—	—	—	—	—	5.5	6.0	1.1	椀底部転用、孔径1.2cm、81.0g
1245	土師器	紡錘車	SC37	ナデ	ナデ	灰白色	灰白色	赤色の鉱物・砂粒	4.3	4.9	0.8	坏底部転用、13.7g
1246	土師器	紡錘車	SC73	—	ハケ目？	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	7.7	4.2	0.9	小皿底部転用、16.9g
1247	土師器	紡錘車	M-6区ピット5層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	精良	—	6.5	2.0	坏底部転用、未穿孔、55.8g
1248	土師器	用途不明	SC138	—	—	にぶい橙色	にぶい橙色	赤色・黒褐色の鉱物・砂粒	6.5	6.7	0.8	坏底部転用、穿孔2、30.0g
1249	東播系須恵器	鉢	SD01	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	23.8	—	—	自然釉
1250	東播系須恵器	鉢	SD01	—	—	浅黄色	浅黄色	黒色の鉱物・砂粒	23.4	—	—	
1251	東播系須恵器	鉢	SD01	—	—	灰色	灰色	黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	自然釉
1252	東播系須恵器	鉢	SD09	—	—	灰白色	灰黄色	微小砂粒	—	—	—	自然釉
1253	東播系須恵器	鉢	SD14	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	
1254	東播系須恵器	鉢	SD15	—	—	黄灰色	黄灰色	白色の鉱物・砂粒	22.0	—	—	自然釉
1255	東播系須恵器	鉢	SD15	—	—	黄灰色	黄灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	自然釉
1256	東播系須恵器	鉢	SD15	—	—	黄灰色	黄灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	自然釉
1257	東播系須恵器	鉢	SB96	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	自然釉
1258	東播系須恵器	鉢	SB96	—	—	灰色	灰色	微小砂粒	—	—	—	自然釉
1259	東播系須恵器	鉢	SC138	—	—	灰黄色	灰黄色	微小砂粒	24.4	—	—	自然釉
1260	東播系須恵器	鉢	SC192	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	自然釉

表19　出土遺物観察表（1261～1330）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整 外面	調整 内面	色調 外面	色調 内面	胎土	口径	底径 長さ	器高 幅	厚さ	備考
1261	東播系須恵器	鉢	R-11区5層	—	—	黄灰色	黄灰色	白色の鉱物・砂粒	21.0	—	—		
1262	東播系須恵器	鉢	N-7区ピット5層	—	—	淡灰色	淡灰色	微小砂粒	23.7	—	—		自然釉
1263	東播系須恵器	鉢	P-4区5層	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	23.7	—	—		自然釉
1264	東播系須恵器	鉢	P-7区5層	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	24.2	—	—		自然釉
1265	東播系須恵器	鉢	R-12区5層	—	—	灰黄色	灰黄色	黒色の鉱物・砂粒	24.3	—	—		
1266	東播系須恵器	鉢	H-16区5層	—	—	灰色	灰色	5mm程度の小石・砂粒	24.4	—	—		
1267	東播系須恵器	鉢	P-7区5層	—	—	灰色	灰色	黒色の鉱物・砂粒	24.5	—	—		
1268	東播系須恵器	鉢	P-7区5層	—	—	灰色	灰色	黒色の鉱物・砂粒	24.6	—	—		自然釉
1269	東播系須恵器	鉢	Q-4区5層	—	—	にぶい黄色	浅黄色	微小砂粒	24.6	—	—		自然釉
1270	東播系須恵器	鉢	M-7区5層	—	—	灰色	黄灰色	白色の鉱物・砂粒	24.8	—	—		自然釉
1271	東播系須恵器	鉢	U-7区5c層	—	—	灰黄色	灰黄色	微小砂粒	26.0	—	—		自然釉
1272	東播系須恵器	鉢	H-15区5a層	—	—	灰色	灰色	2mm程度の小石・砂粒	26.0	—	—		自然釉
1273	東播系須恵器	鉢	H-7区5層	—	—	灰色	灰色	微小砂粒	26.0	—	—		自然釉
1274	東播系須恵器	鉢	M-7区5層	—	—	灰黄色	灰色	5mm程度の小石・砂粒	26.2	—	—		自然釉
1275	東播系須恵器	鉢	M-4区5層	—	—	灰黄色	灰色	白色の鉱物・砂粒	25.4	—	—		自然釉
1276	東播系須恵器	鉢	N-7区5層	—	—	灰黄色	灰黄色	白色の鉱物・砂粒	26.8	—	—		自然釉
1277	東播系須恵器	鉢	O-5区5層	—	—	黄灰色	灰色	微小砂粒	28.0	—	—		自然釉
1278	東播系須恵器	鉢	SB31-5層	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	5.0	—		
1279	東播系須恵器	鉢	P-6区5c層	—	—	灰色	灰色	黒色の鉱物・砂粒	—	6.2	—		
1280	東播系須恵器	鉢	Q-12区5層	—	—	灰黄色	灰黄色	白色の鉱物・砂粒	—	6.6	—		
1281	東播系須恵器	鉢	G-15区5層	—	—	暗灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	7.8	—		
1282	東播系須恵器	鉢	Q-8区5層	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	8.2	—		
1283	東播系須恵器	鉢	S-10区	—	—	灰色	灰黄色	白色の鉱物・砂粒	—	8.6	—		
1284	東播系須恵器	鉢	M-4区5層	—	—	灰黄色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	10.0	—		
1285	東播系須恵器	鉢	R-15区5c層	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	10.0	—		
1286	東播系須恵器	鉢	U-7区5c層	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	12.5	—		
1287	東播系須恵器	鉢	G-15区5a層	—	—	暗灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—		自然釉
1288	東播系須恵器	鉢	H-15区5a層	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—		
1289	東播系須恵器	鉢	H-15区5a層	—	—	暗灰黄色	灰色	4mm程度の小石・砂粒	—	—	—		
1290	東播系須恵器	鉢	M-6区5層	—	—	灰黄色	灰黄色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—		自然釉
1291	東播系須恵器	鉢	M-6区5層	—	—	黄灰色	灰黄色	微小砂粒	—	—	—		
1292	東播系須恵器	鉢	Q-4区5層	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—		自然釉
1293	東播系須恵器	鉢	M-5区ピット5層	—	—	灰色	灰色	微小砂粒	—	—	—		自然釉
1294	東播系須恵器	鉢	Q-7区5層	—	—	灰色	黄灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—		自然釉
1295	東播系須恵器	鉢	Q-8区5層	—	—	灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—		自然釉
1296	東播系須恵器	鉢	Q-7区5層	—	—	灰黄色	灰黄色	微小砂粒	—	—	—		自然釉
1297	東播系須恵器	鉢	R-4区5層	—	—	灰黄色	灰黄色	黒色の鉱物・砂粒	—	—	—		自然釉
1298	東播系須恵器	鉢	S-10区5層	—	—	灰黄色	灰黄色	微小砂粒	—	—	—		自然釉
1299	東播系須恵器	鉢	Q-13区5層	—	—	黄灰色	灰黄色	4mm程度の小石・砂粒	—	—	—		
1300	東播系須恵器	鉢	V-8区6層	—	—	黄灰色	黄灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—		
1301	東播系須恵器	鉢	G-15区5c層	—	—	灰黄色	灰色	微小砂粒	—	—	—		
1302	東播系須恵器	片口鉢	O-9区ピット5層	—	—	灰色	灰色	微小砂粒	23.7	9.2	6.5		自然釉
1303	東播系須恵器	片口鉢	H-15区5b層	—	—	灰色	灰色	8mm程度の小石・砂粒	24.2	—	—		自然釉
1304	東播系須恵器	片口鉢	N-6区5層	—	—	灰黄色	灰黄色	白色の鉱物・砂粒	27.2	—	—		自然釉
1305	東播系須恵器	片口鉢	S-10区5a層	—	—	灰色	灰色	黒色の鉱物・砂粒	25.0	—	—		
1306	東播系須恵器	片口鉢	Q-8区5c層	—	—	黄灰色	灰黄色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—		自然釉
1307	東播系須恵器	壺	SC138	—	—	黄灰色	黄灰色	白色の鉱物・砂粒	17.0	—	—		
1308	東播系須恵器	壺	G-15区5a層	—	—	黄灰色	灰色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—		
1309	常滑	大甕	SD01・02他	—	—	茶褐色	暗赤色	微小砂粒	39.0	19.0	65.0		自然釉、押印
1310	常滑	大甕	SD02	—	—	赤褐色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	38.0	—	—		自然釉
1311	常滑	大甕	SD02	—	—	黒褐色	暗茶褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	30.4	—	—		自然釉
1312	常滑	大甕	SD02他	—	—	暗褐色	黒褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	56.0	—	—		自然釉
1313	常滑	大甕	SD01・02他	—	—	淡緑色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	46.6	19.0	64.5		自然釉、桟状押印
1314	常滑	大甕	SD01	—	—	茶褐色	茶褐色	白色の鉱物・砂粒	52.0	—	—		自然釉
1315	常滑	大甕	SD01・02	—	—	灰褐色	灰褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	23.2	—		自然釉、桟状押印
1316	常滑	大甕	R・S-11区5層	—	—	淡緑黄色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	39.4	—	—		自然釉
1317	常滑	甕か壺	G-15区5a層	—	—	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	微小砂粒	—	—	—		自然釉
1318	常滑	壺	SD01	—	—	深緑色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	17.8	—	—		自然釉、沈線
1319	常滑	壺	R-11区5層	—	—	淡緑色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	21.4	—	—		自然釉
1320	常滑	壺	SD02	—	—	淡緑色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—		自然釉
1321	常滑	壺	S-11区6層	—	—	深緑色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	18.5	—		自然釉
1322	常滑	壺	SD15	—	—	赤褐色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	9.6	—		自然釉
1323	常滑	広口壺	SD08	—	—	淡緑色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	29.6	—	—		自然釉
1324	常滑	広口壺	SC50	—	—	深緑色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	23.0	—	—		自然釉、沈線
1325	常滑	広口壺	P-4区5層	—	—	暗褐色	暗褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—		自然釉
1326	常滑	広口壺	R-8区6層	—	—	暗褐色	暗褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—		自然釉
1327	常滑	広口壺	P-7区5層	—	—	赤褐色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	18.4	—		自然釉
1328	常滑	片口椀	R-5区6層	—	—	暗赤褐色	茶褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	12.0	12.0	7.3		自然釉
1329	常滑	片口椀?	SD02	—	—	暗赤褐色	暗赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—		
1330	常滑	片口椀	M-7区5層	—	—	赤褐色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—		

表20　出土遺物観察表（1331～1400）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
1331	常滑	玉縁口縁壺	SD02・SC03	—	—	赤褐色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	8.8	—	自然釉、沈線
1332	常滑	片口鉢	SD14	—	—	暗赤褐色	暗赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	30.4	—	—	自然釉
1333	常滑	片口鉢	S-10区6層	—	—	暗赤褐色	暗赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	31.6	—	—	自然釉
1334	常滑	片口鉢	K-5区2層	—	—	赤褐色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	自然釉、沈線
1335	常滑	捏鉢	R-5区6層	—	—	暗赤褐色	暗赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	26.5	—	—	
1336	常滑	捏鉢	SD14	—	—	茶褐色	茶褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	
1337	常滑	鉢	P-8区5層	—	—	暗赤褐色	暗赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	自然釉
1338	常滑	鉢	SD14	—	—	暗赤褐色	暗赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	自然釉
1339	常滑	砥石	N-6区6層	—	—	赤褐色	赤褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	甕胴部転用
1340	古瀬戸	御皿	R-10区5層	—	—	—	—	—	16.5	—	—	灰釉
1341	古瀬戸	瓶子	N-6区5層	—	—	—	—	—	5.3	—	—	深緑色釉
1342	国産陶器	甕	SD02	—	—	褐色	にぶい黄橙色	白色の鉱物・砂粒	—	20.2	—	外面スス付着
1343	中国陶器	合子（蓋）	M-7区5層	施釉	施釉	褐色	褐色	白色土	7.2	—	—	福建省系、褐釉、甲-草花文、側面-線条文
1344	中国陶器	合子（蓋）	N-6区5層	施釉	施釉	褐色	褐色	白色土	—	—	—	褐釉、側面-線条文
1345	中国陶器	合子（身）	M・N-7区5層	施釉	施釉	褐色	褐色	白色土	7.4	—	—	角合子（八角形?）、福建省系、褐釉、側面-線条文
1346	中国陶器	壺か耳壺	H-15区5層	施釉	施釉	褐色	褐色	淡黄褐色土	—	—	—	黄釉
1347	中国陶器	茶入れ	O-11区5層	施釉	施釉	赤褐色	赤褐色	灰白色土	5.0	—	—	褐釉
1348	中国陶器	茶入れ	S-9区5層	施釉	施釉	赤褐色	赤褐色	暗赤褐色土	5.8	—	—	鉄釉
1349	中国陶器	鉢	R-4区ピット5層	施釉	施釉	赤褐色	赤褐色	灰褐色土	—	—	—	褐釉、鉢Ⅳ類
1350	中国陶磁	盤	M-6区5層	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰褐色土	40.0	34.2	11.4	黄釉、鉄絵
1351	中国陶磁	盤	M-6区5層	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰褐色土	38.4	28.4	12.0	黄釉、鉄絵
1352	中国陶磁	盤	SD02	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰褐色土	—	—	—	黄釉
1353	中国陶磁	盤	M-6区5層	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰褐色土	—	—	—	黄釉
1354	中国陶磁	盤	S-10区5層	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰褐色土	—	—	—	黄釉
1355	中国陶磁	盤	P-6区5層	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰褐色土	—	—	—	黄釉
1356	中国陶磁	盤	SB51-5層	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰褐色土	—	32.0	—	黄釉、鉄絵
1357	中国陶磁	盤	O-7区5層	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰褐色土	—	24.5	—	黄釉、鉄絵
1358	青磁	椀	SD01	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1359	青磁	椀	SD01	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1360	青磁	椀	SD01	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.5	—	龍泉窯系Ⅳ類
1361	青磁	椀	SD02下層	施釉	施釉	深緑色	深緑色	灰白色土	16.0	5.2	6.7	龍泉窯系Ⅱ-b類
1362	青磁	椀	SD02最上層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.5	5.4	6.6	龍泉窯系Ⅱ-c類、草花文印刻、高台内面墨書
1363	青磁	椀	SD02下層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.2	5.1	6.5	龍泉窯系Ⅱ-b類
1364	青磁	椀	SD02	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.2	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1365	青磁	椀	SD02	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	4.6	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1366	青磁	椀	SD02最上層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.8	—	龍泉窯系Ⅱ-c類、幾何学文印刻
1367	青磁	椀	SD02	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	4.2	—	龍泉窯系Ⅱ-c類、草花文印刻、高台内無釉
1368	青磁	椀	SD02	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.2	—	龍泉窯系Ⅱ-c類、幾何学文印刻、焼台痕跡
1369	青磁	椀	SD02	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	6.5	—	龍泉窯系Ⅱ-a類、片彫蓮弁文
1370	青磁	椀	SD02下層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	6.1	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1371	青磁	椀	SD02最上層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅰ類
1372	青磁	椀	SD09	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰白色土	15.6	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1373	青磁	椀	SD09	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-a類、片彫蓮弁文
1374	青磁	椀	SD09	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅲ類、片彫草花文
1375	青磁	椀	SD04	施釉	施釉	深緑色	深緑色	灰白色土	—	6.7	—	龍泉窯系Ⅰ-2類
1376	青磁	椀	SD09-5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1377	青磁	椀	SD10	施釉	施釉	深緑色	深緑色	灰白色土	16.1	5.6	6.7	龍泉窯系Ⅱ-b類
1378	青磁	椀	SD10	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.4	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1379	青磁	椀	SD10	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.4	—	龍泉窯系Ⅱ-c類、幾何学文
1380	青磁	椀	SD14	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.4	—	龍泉窯系Ⅱ-b類、内面環状沈線
1381	青磁	椀	SD15	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.2	5.4	7.1	龍泉窯系Ⅱ-b類
1382	青磁	椀	SD15	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.0	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1383	青磁	椀	SB38-5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1384	青磁	椀	SB38-5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1385	青磁	椀	SB41-5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1386	青磁	椀	SD27	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅰ類、ヘラ描文
1387	青磁	椀	SB15	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.6	5.3	7.0	龍泉窯系Ⅱ-b類
1388	青磁	椀	SB51	施釉	施釉	深緑色	深緑色	灰白色土	16.4	5.7	6.3	龍泉窯系Ⅱ-b類
1389	青磁	椀	SB53-5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.8	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1390	青磁	椀	SB62-5層	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1391	青磁	椀	SB62-5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅰ類
1392	青磁	椀	SB65	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.4	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1393	青磁	椀	SB65	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1394	青磁	椀	SB66-5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.4	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1395	青磁	椀	SB71-5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1396	青磁	椀	SB77-5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1397	青磁	椀	SB102	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1398	青磁	椀	SB83-5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1399	青磁	椀	SC03	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1400	青磁	椀	SC70	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	4.6	—	龍泉窯系Ⅱ-b類

表21　出土遺物観察表（1401～1470）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
1401	青磁	椀	SC70	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.2	—	龍泉窯系Ⅰorⅱ類
1402	青磁	椀	SC90	施釉	施釉	深緑色	深緑色	灰白色土	17.0	—	—	龍泉窯系Ⅰ類
1403	青磁	椀	SC46	施釉	施釉	黄褐色	黄褐色	灰白色土	15.8	5.0	6.4	龍泉窯系Ⅱ-b類
1404	青磁	椀	SC140	施釉	施釉	深緑色	深緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1405	青磁	椀	SC184	施釉	施釉	深緑色	深緑色	灰白色土	16.9	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1406	青磁	椀	SC245	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1407	青磁	椀	SC132	施釉	施釉	深緑色	深緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅰ-6類
1408	青磁	椀	SC100	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1409	青磁	椀	SC188	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1410	青磁	椀	M-7区ピット	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	15.6	5.7	6.0	龍泉窯系Ⅱ-b類
1411	青磁	椀	M-7区ピット	施釉	施釉	深緑色	深緑色	灰白色土	15.8	5.8	6.2	龍泉窯系Ⅱ-b類
1412	青磁	椀	Q-8区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	15.6	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1413	青磁	椀	N-5区ピット5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	15.8	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1414	青磁	椀	O-4区ピット5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.5	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1415	青磁	椀	M-6区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.2	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1416	青磁	椀	P-4区ピット5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.5	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1417	青磁	椀	P・S-8区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.5	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1418	青磁	椀	U-6区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	16.5	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1419	青磁	坏	R-13区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	12.0	—	—	龍泉窯系Ⅲ-4類
1420	青磁	椀	H-15区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	14.2	—	—	龍泉窯系Ⅰ-1b類
1421	青磁	椀	M-7区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1422	青磁	椀	G-15区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-a類
1423	青磁	椀	I-5区5a層	施釉	施釉	深緑色	深緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅲ-2c類
1424	青磁	椀	N-5区ピット5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1425	青磁	椀	N-6区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1426	青磁	椀	N-7区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1427	青磁	椀	N-8区6層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-a類
1428	青磁	椀	O-7区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1429	青磁	椀	O-4区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅰ-1類
1430	青磁	椀	P-7区ピット5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1431	青磁	椀	P-12区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1432	青磁	椀	P-2区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅰ類
1433	青磁	椀	Q-4区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅰ類
1434	青磁	椀	Q-10区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅰ-4類
1435	青磁	椀	R-7区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1436	青磁	椀	S-7区ピット5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1437	青磁	椀	S-12区ピット5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1438	青磁	椀	T-8区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1439	青磁	椀	U-7区5c層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1440	青磁	椀	T-7区ピット5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1441	青磁	椀	K-6区ピット5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1442	青磁	椀	T-7区5層	施釉	施釉	淡黄褐色	淡黄褐色	灰白色土	—	—	—	同安窯系Ⅰ類、櫛描文
1443	青磁	椀	N-6区ピット5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅱ-a類
1444	青磁	椀	M-7区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	4.8	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1445	青磁	椀	Q-7区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.0	—	龍泉窯系Ⅱ-c類、草花文印刻、高台内無釉
1446	青磁	椀	S-10区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.8	—	龍泉窯系Ⅱ-c類、草花文印刻、高台内無釉
1447	青磁	椀	R-13区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.8	—	龍泉窯系Ⅱ-c類、幾何学文印刻、高台内無釉
1448	青磁	椀	M-7区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.2	—	龍泉窯系Ⅱ-c類、花文印刻
1449	青磁	椀	R-8区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.1	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1450	青磁	椀	N-7区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	5.5	—	龍泉窯系Ⅱ-b類
1451	青磁	椀	O-3区ピット5層	施釉	施釉	淡黄褐色	淡黄褐色	灰白色土	—	5.4	—	同安窯系、高台無釉
1452	青磁	小椀	N-6区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	9.2	—	—	龍泉窯系Ⅲ-1A類
1453	青磁	輪花小椀	SD01	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	6.6	—	龍泉窯系Ⅰ-2類
1454	青磁	皿	M-7区5層	施釉	施釉	淡緑黄色	淡緑黄色	灰白色土	9.8	5.5	1.7	同安窯系Ⅰ-1a類、底外面無釉
1455	青磁	皿	M-7区ピット5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	12.2	—	—	龍泉窯系Ⅰ類
1456	青磁	皿	M-6区5層	施釉	施釉	淡緑黄色	淡緑黄色	灰白色土	—	5.2	—	同安窯系Ⅰ-2b類、櫛描文、底面釉ハギ
1457	青磁	皿	N-7区5層	施釉	施釉	淡青緑色	淡青緑色	灰白色土	—	6.3	—	同安窯系Ⅰ-1b類、櫛描文、底面釉ハギ
1458	青磁	皿	Q-7区5層	施釉	施釉	淡緑黄色	淡緑黄色	灰白色土	—	—	—	同安窯系
1459	青磁	小皿	SC01	施釉	施釉	黄色	黄色	淡褐色土	9.6	4.5	2.3	同安窯系Ⅰ-1a類、底部外面墨書、見込み沈線
1460	青磁	輪花皿	SD10	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	龍泉窯系Ⅳ類
1461	青磁	小壺	G-15区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	白色土	—	—	—	胴継ぎ痕、胴径3.1
1462	青磁	小壺	L-5区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	—	—	—	耳付か？
1463	青磁	坏	N-9区5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	11.0	—	—	龍泉窯系Ⅲ類
1464	青磁	大坏	SB53-5層	施釉	施釉	淡緑色	淡緑色	灰白色土	21.0	9.8	5.2	龍泉窯系Ⅲ-3a類
1465	白磁	椀	N-7区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	14.4	—	—	椀Ⅸ類、口ハゲ
1466	白磁	椀	O-4区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	14.7	—	—	椀Ⅸ類、口ハゲ
1467	白磁	椀	P-5区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	15.5	—	—	椀Ⅸ類、口ハゲ
1468	白磁	椀	R-7区ピット5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	16.0	—	—	椀Ⅸ類、口ハゲ
1469	白磁	椀	T-8区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	—	—	櫛描草花文
1470	白磁	椀	Q-7区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	—	—	椀Ⅸ類

表22　出土遺物観察表（1471～1540）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
1471	白磁	椀	L-6区2層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	4.6	—	椀Ⅷ類、見込み環状釉ハギ、高台無釉
1472	白磁	椀	U-7区5c層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	7.2	—	椀Ⅷ類、見込み環状釉ハギ、高台無釉
1473	白磁	皿	SD02最上層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	10.0	5.0	3.1	皿Ⅸ類、口ハゲ
1474	白磁	皿	SD02最上層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	5.2	—	皿Ⅸ類
1475	白磁	皿	SD02最上層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	5.8	—	皿Ⅸ類
1476	白磁	皿	SD10	施釉	施釉	—	—	灰白色土	10.7	—	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1477	白磁	皿	SD15	施釉	施釉	—	—	灰白色土	9.9	—	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1478	白磁	皿	SB31-5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	11.8	6.8	3.5	皿Ⅸ-1d類、口ハゲ
1479	白磁	皿	SB77-5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	9.2	5.8	2.1	皿Ⅸ-1a類、口ハゲ
1480	白磁	皿	SB38-5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	12.0	—	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1481	白磁	皿	SB42-5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	9.0	5.8	3.0	皿Ⅸ-2類、口ハゲ
1482	白磁	皿	SB53-5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	12.2	—	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1483	白磁	皿	SB65	施釉	施釉	—	—	灰白色土	11.1	5.6	3.4	皿Ⅸ-1c類、口ハゲ
1484	白磁	皿	SB65	施釉	施釉	—	—	灰白色土	11.4	—	—	皿Ⅸ-1c類、口ハゲ
1485	白磁	皿	SB65-5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	11.6	—	—	皿Ⅸ-1d類、口ハゲ、口縁部外反
1486	白磁	皿	SC70	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	6.7	—	皿Ⅸ-1類
1487	白磁	皿	SC125	施釉	施釉	—	—	灰白色土	9.6	—	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1488	白磁	皿	SC188	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	—	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1489	白磁	皿	SC222	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	8.0	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1490	白磁	皿	SC245	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	—	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1491	白磁	皿	SJ01	施釉	施釉	—	—	灰白色土	8.6	—	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1492	白磁	皿	SX01	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	—	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1493	白磁	皿	N-6区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	8.6	5.1	2.5	皿Ⅸ類、口ハゲ
1494	白磁	皿	N-5区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	9.0	5.6	2.6	皿Ⅸ類、口ハゲ
1495	白磁	皿	P-12区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	9.0	4.8	1.6	皿Ⅸ類、口ハゲ
1496	白磁	皿	U-7区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	9.8	5.8	1.6	皿Ⅸ類、口ハゲ
1497	白磁	皿	M-7区ピット5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	10.6	5.4	3.3	皿Ⅸ類、口ハゲ
1498	白磁	皿	N-6区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	10.8	6.0	3.0	皿Ⅸ類、口ハゲ
1499	白磁	皿	R-4区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	11.4	—	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1500	白磁	皿	M-7区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	11.4	—	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1501	白磁	皿	H-4区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	5.0	—	皿Ⅲ-1類
1502	白磁	皿	O-13区2層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	5.5	—	見込み菊花文
1503	白磁	皿	P-6区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	7.1	—	皿Ⅸ類、口ハゲ
1504	白磁	皿	M-9区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	—	—	—	皿Ⅷ-2類
1505	白磁	合子（身）	O-3区2層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	7.2	6.8	1.8	内外面貫入
1506	白磁	合子（蓋）	M-7区5層	施釉	施釉	—	—	灰白色土	7.2	—	—	側面線条文
1507	青白磁	合子（身）	SB60-5層	施釉	施釉	水色	水色	白色土	5.0	3.8	2.0	外面上位・内面施釉
1508	青白磁	合子（身）	Q-7区5層	施釉	施釉	水色	水色	白色土	6.4	6.4	1.8	外面上位・内面施釉
1509	青白磁	合子（蓋）	N-6区5層	施釉	施釉	水色	水色	白色土	6.0	—	1.7	菊弁文
1510	青白磁	合子（蓋）	N-6区5層	施釉	施釉	水色	水色	白色土	8.6	—	2.0	菊弁文
1511	青白磁	合子	P-8区5層	施釉	施釉	水色	水色	白色土	5.6	—	—	折枝花文
1512	青白磁	瓶	一括-3層	施釉	施釉	水色	水色	白色土	—	—	—	唐草文
1513	青白磁	小椀	H-16区5層	施釉	施釉	水色	水色	白色土	—	3.4	—	畳付・高台内無釉
1514	滑石製品	石鍋	SD01	—	—	—	—	—	—	16.6	—	外面スス付着
1515	滑石製品	石鍋	SD02	—	—	—	—	—	—	15.0	—	外面スス付着
1516	滑石製品	石鍋	SD14	—	—	—	—	—	—	—	—	底部付近
1517	滑石製品	石鍋	SC138	—	—	—	—	—	—	—	—	鍔付
1518	滑石製品	石鍋	SX01	—	—	—	—	—	24.4	—	—	鍔付、スス付着
1519	滑石製品	石鍋	M-6区5層	—	—	—	—	—	25.6	—	—	鍔付、スス付着
1520	滑石製品	石鍋	P-8区5層	—	—	—	—	—	22.2	—	—	方形把手、スス付着
1521	滑石製品	石鍋	Q-13区5層	—	—	—	—	—	—	—	—	鍔付、スス付着
1522	滑石製品	石鍋	Q-4区3層	—	—	—	—	—	—	—	—	鍔付、スス付着
1523	滑石製品	権	M-6区5層	—	—	—	—	—	7.9	3.4	1.6	錘?84.0g
1524	滑石製品	紡錘車	R-9区5層	—	—	—	—	—	6.1	6.2	1.3	未製品?87.7g
1525	滑石製品	石錘?	N-6区ピット5層	—	—	—	—	—	2.9	1.6	1.4	穿孔、11.3g
1526	滑石製品	石錘?	N-6区ピット5層	—	—	—	—	—	2.4	1.4	1.2	穿孔、6.9g
1527	滑石製品	石錘?	Q-7区5層	—	—	—	—	—	2.5	1.3	1.2	穿孔、5.5g
1528	滑石製品	石錘?	Q-8区5層	—	—	—	—	—	2.0	1.4	1.2	穿孔、7.2g
1529	滑石製品	石錘?	Q-8区5層	—	—	—	—	—	2.4	1.4	1.2	穿孔、6.6g
1530	土師質土器	土鍋	M-9区5層	ナデ	ハケメ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	
1531	土師質土器	土鍋	G-15区5c層	ナデ	ハケメ	灰色	灰色	黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	外面スス付着
1532	瓦質土器	壺	N-8区5層	—	—	黄灰色	浅黄色	黒色の鉱物・砂粒	—	—	—	
1533	瓦質土器	擂鉢	R-10区5層	—	—	暗灰色	黒色	白色の鉱物・砂粒	—	—	—	
1534	瓦器	小椀	S-5区6層	黒色	黒色	ミガキ?	—	—	11.5	—	—	畿内系（和泉・楠葉型）
1535	粘土塊	用途不明	SC144	—	—	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	6.7	5.8	1.9	炭化物、モミ殻痕、47.8g
1536	粘土塊	用途不明	P-14区5a層	—	—	にぶい黄橙色	—	砂粒	12.0	8.1	3.8	176.5g
1537	土製品	土錘	SD01	—	—	褐灰色	褐灰色	黒褐色の鉱物・砂粒	5.5	1.0	1.2	穿孔、7.3g
1538	土製品	土錘	O-12区5a層	—	—	灰白色	灰白色	黒褐色の鉱物・砂粒	2.4	1.8	1.7	穿孔、欠損品、2.8g
1539	土製品	土錘	O-15区5層	—	—	にぶい黄橙色	灰黄褐色	赤色の鉱物・砂粒	4.4	2.0	1.6	穿孔、欠損品、9.6g
1540	土製品	土錘	P-14区3層	—	—	浅黄橙色	灰黄色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	4.9	1.6	1.6	穿孔、10.0g

表23　出土遺物観察表（1541～1610）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
1541	土製品	土錘	U-7区5層	—	—	浅黄橙色	明黄褐色	赤色・黒色の鉱物・砂粒	4.2	1.5	1.4	穿孔、7.8g
1542	土製品	用途不明	S-10区6層	—	—	にぶい褐色	—	赤色の鉱物・砂粒	3.3	0.9	0.7	3.1g
1543	土製品	砥石	R-14区5層	—	—	—	—	—	3.6	3.3	0.5	土師器転用、8.0g
1544	石器	磨石	SD01	—	—	—	—	—	7.9	7.4	2.7	砂岩、一部欠損、260g
1545	石器	磨石	SB61	—	—	—	—	—	4.7	4.1	3.5	砂岩、88.6g
1546	石器	磨石	R-10区5a層	—	—	—	—	—	3.7	3.2	1.5	砂岩、30.0g
1547	石器	磨石	H-15区5a層	—	—	—	—	—	3.3	2.9	2.6	砂岩、36.4g
1548	石器	磨石	Q-12区5a層	—	—	—	—	—	4.3	4.3	1.7	砂岩、50.0g
1549	石器	磨石	S-10区5a層	—	—	—	—	—	6.2	6.8	4.2	安山岩、171.2g
1550	石器	磨石	M-8区5層	—	—	—	—	—	6.0	5.2	4.2	安山岩、190.0g
1551	石器	磨石	N-7区5層	—	—	—	—	—	6.1	5.7	4.2	安山岩、210.0g
1552	石器	磨石	N-7区5層	—	—	—	—	—	4.6	3.9	3.7	安山岩、126.0g
1553	石器	磨石	G-16区5層	—	—	—	—	—	2.4	2.4	1.8	砂岩、15.6g
1554	石器	磨石・敲石	SD01	—	—	—	—	—	7.2	4.1	2.9	砂岩、162g
1555	石器	磨石・敲石	SD01	—	—	—	—	—	5.5	6.1	4.2	砂岩、191g
1556	石器	磨石・敲石	SD01	—	—	—	—	—	7.9	5.9	3.1	砂岩、一部欠損、174g
1557	石器	磨石・敲石	SD04	—	—	—	—	—	9.2	10.3	6.8	安山岩、960g
1558	石器	磨石・敲石	SC220	—	—	—	—	—	8.2	8.6	3.0	砂岩、330g
1559	石器	磨石・敲石	H-16区5a層	—	—	—	—	—	4.3	3.5	2.7	砂岩、46.7g
1560	石器	磨石・敲石	P-6区5層	—	—	—	—	—	4.8	4.2	3.1	安山岩、74.0g
1561	石器	磨石・敲石	M-6区5層	—	—	—	—	—	6.8	6.1	5.4	砂岩、300.0g
1562	石器	砥石	SD01	—	—	—	—	—	16.2	12.3	5.2	砂岩、一部欠損、1,485g
1563	石器	砥石	SD04	—	—	—	—	—	6.2	6.1	3.9	砂岩、砥面2、270g
1564	石器	砥石	SB07	—	—	—	—	—	12.6	5.8	3.3	砂岩、砥面3、350g
1565	石器	砥石	R-4区	—	—	—	—	—	6.0	6.6	1.9	陶石、126.2g
1566	石器	砥石	R-13区5層	—	—	—	—	—	7.0	5.9	1.8	陶石、87.4g
1567	石器	砥石	Q-15区5層	—	—	—	—	—	7.0	6.1	2.3	砂岩、186.9g
1568	石器	砥石	S-13区3層	—	—	—	—	—	8.1	6.6	2.9	陶石、230.0g
1569	石器	砥石	P-14区5層	—	—	—	—	—	7.1	5.8	0.9	頁岩、60.8g
1570	石器	砥石	M-6区5層	—	—	—	—	—	6.1	7.1	1.3	砂岩、30.0g
1571	石器	砥石	G・H-16区5層	—	—	—	—	—	8.2	3.1	0.9	砂岩、43.1g
1572	石器	砥石	P-14区5層	—	—	—	—	—	5.5	2.8	1.5	陶石、40.1g
1573	石器	砥石	J-14区	—	—	—	—	—	4.2	2.4	1.8	陶石、19.7g
1574	石器	砥石	P-7区5層	—	—	—	—	—	5.2	4.2	0.6	頁岩、15.6g
1575	石器	砥石	R-8区5層	—	—	—	—	—	2.9	4.0	0.7	陶石、11.1g
1576	石器	火打石	R-5区5層	—	—	—	—	—	3.9	4.6	1.4	石英、21.5g
1577	石器	切断具？	SD01	—	—	—	—	—	16.5	3.6	3.3	砂岩、218g
1578	石器	台石	SD12	—	—	—	—	—	15.0	5.8	5.4	砂岩、1,100g
1579	石製品	硯	SB84	—	—	—	—	—	4.0	4.6	1.6	頁岩、56.5g
1580	石製品	硯	O-10区6層	—	—	—	—	—	5.1	4.4	1.1	砂岩、41.2g
1581	石製品	用途不明	H-16区5層	—	—	—	—	—	2.7	18.0	2.4	砂岩、穿孔、欠損品、砥石転用？、20.4g
1582	軽石製品	五輪塔	SD01	—	—	—	—	—	24.5	25.8	9.8	火輪、2,290g
1583	軽石製品	五輪塔	N-7区5層	—	—	—	—	—	28.8	22.3	15.3	火輪？、2,700g
1584	軽石製品	五輪塔？	SD02	—	—	—	—	—	16.0	14.3	8.8	地輪？、1,100g
1585	軽石製品	五輪塔？	SD14	—	—	—	—	—	11.8	10.9	9.0	空輪？、390g
1586	軽石製品	五輪塔？	SD15	—	—	—	—	—	8.3	9.4	4.6	風輪？、230g
1587	軽石製品	紡錘車	G-16区5層	—	—	—	—	—	4.2	5.6	0.9	穿孔径0.6、13.2g
1588	軽石製品	用途不明	SD01	—	—	—	—	—	16.9	14.2	4.7	135g
1589	軽石製品	用途不明	SD01	—	—	—	—	—	6.9	6.8	3.2	51g
1590	軽石製品	用途不明	SD01	—	—	—	—	—	9.6	7.8	5.6	177g
1591	軽石製品	用途不明	SD02	—	—	—	—	—	12.4	6.0	1.7	一部欠損、40g
1592	軽石製品	用途不明	SD01	—	—	—	—	—	12.5	10.3	4.5	151g
1593	軽石製品	用途不明	SD01	—	—	—	—	—	11.1	7.9	4.9	163g
1594	軽石製品	用途不明	SD02	—	—	—	—	—	7.8	5.0	4.2	75g
1595	軽石製品	用途不明	SD02	—	—	—	—	—	10.0	7.4	3.8	94g
1596	軽石製品	用途不明	SD02	—	—	—	—	—	10.6	9.0	7.5	173g
1597	軽石製品	用途不明	SD02	—	—	—	—	—	12.4	10.4	5.1	240g
1598	軽石製品	用途不明	SD10	—	—	—	—	—	12.3	8.4	4.9	183g
1599	軽石製品	用途不明	SD24	—	—	—	—	—	13.3	7.2	3.2	103g
1600	軽石製品	用途不明	SC36	—	—	—	—	—	12.0	10.9	3.5	220g
1601	石器	敲石？	SC241	—	—	—	—	—	11.2	9.9	4.5	安山岩、420g
1602	軽石製品	用途不明	SC244	—	—	—	—	—	8.3	7.1	3.7	76g
1603	軽石製品	用途不明	N-8区ピット5層	—	—	—	—	—	12.8	5.1	3.0	69g
1604	軽石製品	用途不明	N-8区ピット5層	—	—	—	—	—	14.9	4.2	2.6	67g
1605	軽石製品	用途不明	P-14区5層	—	—	—	—	—	9.3	6.3	2.4	42.7g
1606	軽石製品	用途不明	I-17区5層	—	—	—	—	—	11.1	7.8	3.9	110.9g
1607	軽石製品	用途不明	P-14区5層	—	—	—	—	—	6.1	5.8	2.8	36.0g
1608	軽石製品	用途不明	P-14区5層	—	—	—	—	—	4.7	3.6	1.7	中央に溝、砥石？、10.0g
1609	鉄製品	火打金	SC47	—	—	—	—	—	2.0	7.5	0.3	21.9g
1610	鉄製品	火打金	SC132	—	—	—	—	—	2.3	6.8	0.3	25.9g

表24　出土遺物観察表（1611～1680）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
1611	鉄製品	火打金	P-7区5層	—	—	—	—	—	2.5	7.5	0.3	27.7g
1612	鉄製品	刀子（茎）	SD09	—	—	—	—	—	1.4	3.7	0.3	穿孔、6.8g
1613	鉄製品	刀子（茎）	SC138	—	—	—	—	—	0.8	4.8	0.4	5.6g
1614	鉄製品	刀子（茎）	N-6区5層	—	—	—	—	—	1.6	7.9	0.2	目釘穴、13.9g
1615	鉄製品	刀子	U-6区5層	—	—	—	—	—	1.8	11.9	0.3	24.1g
1616	鉄製品	角釘（和釘）	SB66	—	—	—	—	—	6.0	0.5	0.4	6.5g
1617	鉄製品	角釘（和釘）	R-10区5層	—	—	—	—	—	4.6	0.6	0.8	4.8g
1618	鉄製品	角釘（和釘）	N-5・6区5層	—	—	—	—	—	9.8	0.7	0.6	20. 9g
1619	鉄製品	角釘（和釘）	N-6区5層	—	—	—	—	—	2.2	1.6	0.5	3.1g
1620	鉄製品	角釘（和釘）	H-16区5層	—	—	—	—	—	4.7	0.4	0.3	3.1g
1621	鉄製品	角釘（和釘）	I-17区5層	—	—	—	—	—	5.4	0.4	0.5	4.4g
1622	鉄製品	角釘（和釘）	I-7区5層	—	—	—	—	—	4.0	0.5	0.4	2.4g
1623	鉄製品	角釘（和釘）	P-15区5層	—	—	—	—	—	6.6	0.5	0.6	15.3g
1624	鉄製品	角釘（和釘）	R-11区5層	—	—	—	—	—	7.0	0.7	0.6	10.2g
1625	鉄製品	角釘（和釘）	R-11区5層	—	—	—	—	—	3.3	0.4	0.4	3.0g
1626	鉄製品	角釘（和釘）	P-4区ピット5層	—	—	—	—	—	3.5	0.9	0.4	5.1g
1627	鉄製品	角釘（和釘）	P-13区5層	—	—	—	—	—	6.3	1.4	0.4	21.5g
1628	鉄製品	角釘（和釘）	Q-7区5層	—	—	—	—	—	8.0	2.3	0.4	26.6g
1629	鉄製品	紡錘車	SC159	—	—	—	—	—	11.7	6.0	0.5	53.9g
1630	鉄製品	紡錘車	H-16区5層	—	—	—	—	—	3.6	3.6	0.2	8.1g
1631	鉄製品	紡錘車の軸?	R-7区5層	—	—	—	—	—	5.9	0.6	0.4	7.8g
1632	鉄製品	紡錘車の軸?	H-16区5層	—	—	—	—	—	5.6	0.4	0.3	4.8g
1633	鉄製品	鈴	SC70	—	—	—	—	—	3.9	3.2	—	27.2g
1634	鉄製品	鉄鏃（雁又）	G-15区5a層	—	—	—	—	—	8.8	3.9	0.3	15.8g
1635	鉄製品	鉄鏃（方頭）	SD10-5層	—	—	—	—	—	11.9	2.2	0.6	20.7g
1636	鉄製品	鉄鏃（鏃根）	U-7区5層	—	—	—	—	—	12.6	0.9	0.4	16.7g
1637	鉄製品	鎌	Q-4区5層	—	—	—	—	—	2.6	9.0	0.2	49.6g
1638	鉄製品	鎌	J-11区5層	—	—	—	—	—	8.5	9.8	0.3	56.5g
1639	鉄製品	鑿	N-6区5層	—	—	—	—	—	1.0	2.5	0.2	1.6g
1640	鉄製品	鑿	K-5区6層	—	—	—	—	—	3.2	4.0	1.0	11.2g
1641	鉄製品	鏨	Q-13区5層	—	—	—	—	—	5.5	1.0	0.6	15.3g
1642	鉄製品	鏨	O-7区	—	—	—	—	—	14.2	0.8	0.6	36.1g
1643	鉄製品	轡?	R-5区6層	—	—	—	—	—	5.5	0.7	0.5	6.2g
1644	鉄製品	小札	R-5区6層	—	—	—	—	—	6.2	2.4	0.3	穿孔8箇所、16.4g
1645	鉄製品	建築用金具	T-7区5層	—	—	—	—	—	3.3	3.1	0.6	リング状、9.5g
1646	鉄製品	鉄鍋	S-10区5層	—	—	—	—	—	2.5	5.8	0.4	26.9g
1647	鉄製品	用途不明	SD02	—	—	—	—	—	2.5	5.3	0.6	鉄片、14.3g
1648	鉄製品	用途不明	SD11	—	—	—	—	—	1.7	5.2	0.6	19.9g
1649	鉄製品	用途不明	SD14	—	—	—	—	—	4.9	1.7	0.3	鉄片、6.0g
1650	鉄製品	用途不明	SB66	—	—	—	—	—	4.2	0.3	0.3	1.6g
1651	鉄製品	用途不明	SB31	—	—	—	—	—	4.4	0.6	0.8	中空、4.1g
1652	鉄製品	用途不明	N-5区5層	—	—	—	—	—	5.3	1.3	0.8	13. 3g
1653	鉄製品	用途不明	H-15区5層	—	—	—	—	—	0.9	4.3	0.3	6.8g
1654	鉄製品	用途不明	I-17区5層	—	—	—	—	—	5.2	4.1	0.6	鉄片、13.9g
1655	鉄製品	用途不明	I-17区5層	—	—	—	—	—	1.0	3.9	0.6	鉄片、5.5g
1656	鉄製品	用途不明	N-7区5層	—	—	—	—	—	1.4	2.8	0.3	鉄片、5.8g
1657	鉄製品	用途不明	N-6区5層	—	—	—	—	—	5.4	—	0.5	フック?、10.6g
1658	鉄製品	用途不明	P-5区5層	—	—	—	—	—	8.3	0.8	1.0	断面方形、37.1g
1659	鉄製品	用途不明	R-8区5層	—	—	—	—	—	5.3	3.5	0.6	鏨?、18.7g
1660	鉄製品	用途不明	G-15区5層	—	—	—	—	—	4.2	2.0	0.5	鉄鏃?、9.8g
1661	銅製品	仏華瓶	SC246	—	—	—	—	—	2.6	2.9	9.0	沈線、緑青、60.2g
1662	銅製品	刀装具	N-7区5層	—	—	—	—	—	8.6	2.6	0.4	穿孔、毛彫り文様、緑青、21.3g
1663	銅製品	環状金具	K-5区6層	—	—	—	—	—	2.7	2.6	0.3	リング状、1.8g
1664	銅製品	環状金具	Q-9区6層	—	—	—	—	—	1.2	1.2	0.2	リング状、0.3g
1665	金属加工関連	フイゴ羽口	SD02	—	—	—	—	—	10.5	—	4.9	孔径3.4cm、240g
1666	金属加工関連	椀型鍛冶滓	SD14	—	—	—	—	—	12.8	10.0	3.9	330g
1667	金属加工関連	椀型鍛冶滓	SD15	—	—	—	—	—	7.2	8.0	3.0	124g
1668	金属加工関連	鉄塊系遺物	O-15区5層	—	—	—	—	—	7.8	6.5	2.7	192.0g
1669	銭貨	—	SC100	—	—	—	—	—	—	—	0.1	淳化元寶、0.9g
1670	銭貨	—	SJ02	—	—	—	—	—	2.3	2.3	0.1	開元通寶、2.4g
1671	銭貨	—	SJ02	—	—	—	—	—	—	—	0.1	判読不明、1.0g
1672	銭貨	—	H-16区	—	—	—	—	—	2.4	2.4	0.1	聖宋元寶、2.7g
1673	銭貨	—	Q-12区5層	—	—	—	—	—	2.4	2.4	0.3	熙寧元寶、嘉祐元寶、2枚重ね、4.4g
1674	銭貨	—	M-6区5層	—	—	—	—	—	2.3	2.3	0.1	判読不明、1.5g
1675	銭貨	—	J-5区5層	—	—	—	—	—	2.1	2.1	0.1	判読不明、1.3g
1676	銭貨	—	K-16区5層	—	—	—	—	—	2.3	2.3	0.1	判読不明、2.2g
1677	銭貨	—	R-7区	—	—	—	—	—	2.2	2.2	0.1	判読不明、1.4g
1678	薩摩焼	鉢	G-5区2層	—	—	暗茶褐色	暗茶褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	30.0	—	—	龍門司系、口唇部貝目痕
1679	薩摩焼	鉢	N-2区1層	—	—	暗茶褐色	暗茶褐色	白色・黒色の鉱物・砂粒	23.2	—	—	龍門司系、口唇部無釉
1680	薩摩焼	瓶	U-5区溝	—	—	灰黄褐色	灰黄褐色	赤色の鉱物・砂粒	4.0	—	—	龍門司系、「鮫肌手」

表25　出土遺物観察表（1681～1701）

単位：cm

掲載番号	種別	器種	出土層遺構	調整		色調		胎土	口径	底径	器高	備考
				外面	内面	外面	内面		長さ	幅	厚さ	
1681	薩摩焼	茶家（土瓶）	Q-3区	—	—	緑灰色	緑灰色	赤褐色の鉱物・砂粒	6.8	—	8.3	竪野系？
1682	備前焼	壺（蓋）	U-12区	—	—	にぶい赤褐色	明赤褐色	赤色の鉱物・砂粒	—	22.8	—	ヘラ刻印？
1683	国産陶器	椀	P-12区5層	—	—	緑灰色	緑灰色	白色の鉱物・砂粒	—	5.2	—	唐津系、見込み蛇目釉ハギ、兜巾高台
1684	国産陶器	焙烙	Q-6区5a層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	21.4	18.9	3.6	スス付着
1685	国産陶器	焙烙	S-12区ピット3層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	砂粒	21.4	17.5	3.4	スス付着
1686	染付	筒形椀	Q-2・3区トレンチ	—	—	—	—	—	7.3	—	—	肥前系、外面雪持笹文
1687	染付	小椀	W-12区溝	—	—	—	—	—	8.0	—	—	伊万里系
1688	染付	猪口	S-12区溝	—	—	—	—	—	—	5.0	—	伊万里系
1689	染付	皿	表採	—	—	—	—	—	19.5	12.0	3.0	肥前系、菱花、見込み五弁花文、底面二重角枠内渦福文
1690	染付	小皿	W-8区	—	—	—	—	—	9.6	4.1	2.2	伊万里系、見込み蛇目釉ハギ、砂目積痕、畳付無釉
1691	染付	瓶	J-5区2層	—	—	—	—	—	—	4.6	—	肥前系、底面無釉、碁笥底
1692	土師器	椀	H-17区近世溝	ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	赤色の鉱物・砂粒	—	8.6	—	
1693	瓦	軒平瓦	K-3区2層	—	—	灰褐色	灰褐色	黒色の鉱物・砂粒	5.5	6.9	—	
1694	石器	砥石	S-12区ピット3層	—	—	—	—	—	21	6.1	7.1	天草陶石、砥面2、1,180g
1695	銅製品	キセル（雁首）	近世土坑	—	—	—	—	—	0.8	3.2	0.8	2.2g
1696	銅製品	キセル（吸口）	K-6区2層	—	—	—	—	—	1.0	3.3	1.0	6.0g
1697	銅製品	簪	K-3区2層	—	—	—	—	—	5.6	0.8	0.2	3.9g
1698	鉛製品	弾丸	表採	—	—	—	—	—	0.9	0.8	0.7	円柱状、3.4g
1699	鉛製品	弾丸	J-5区6層	—	—	—	—	—	0.8	0.7	0.6	円柱状、2.2g
1700	銭貨	—	Q-5区2層	—	—	—	—	—	2.4	2.4	0.1	寛永通寶、2.4g
1701	銭貨	—	Q-5区2層	—	—	—	—	—	2.4	2.4	0.1	判読不明、1.7g

表26　遺構観察表　掘立柱建物（平安）

番号	間数	庇	方向	実長(m)			柱間(m)	方位	面積(㎡)			ピット数(個)		ピット径(cm)	ピット深(cm)	備考
						庇含			身舎	庇	総面積	身舎	庇含			
SB95	3×2	—	東西	桁	5.70	—	1.90	N80°W	—	—	20.10	10	—	22～34	20～62	
				梁	3.68	—	1.84									
SB96	2×2	—	南北	桁	4.85	—	2.42	N8°E	—	—	13.00	8	—	18～26	20～44	
				梁	2.68	—	1.34									
SB97	3×2	—	南北	桁	6.70	—	2.23	N21°W	—	—	31.15	10	—	32～50	36～75	
				梁	4.65	—	2.32									
SB98	3×2	—	南北	桁	5.85	—	1.95	N17°E	—	—	24.57	9	—	40～66	22～45	
				梁	4.20	—	2.10									
SB99	3×2	—	南北	桁	5.70	—	1.90	N12°E	—	—	23.90	8	—	36～64	15～106	
				梁	4.20	—	2.10									
SB100	3×2	一面	東西	桁	5.97	—	1.99	N101°E	24.30	9.10	33.40	9	13	16～28	22～40	
				梁	4.07	5.60	2.03									
SB103	3×2	総柱	東西	桁	6.85	—	2.28	N107°E	—	—	29.80	12	—	38～64	52～84	
				梁	4.35	—	2.17									
SB104	5×2	—	南北	桁	10.50	—	2.10	N25°E	—	—	37.20	14	—	34～65	24～96	
				梁	3.55	—	1.77									
SB105	4×2	四面?	南北	桁	7.35	10.35	1.83	N21°E	29.40	24.00	53.40	13	26	34～60	14～76	
				梁	4.00	7.10	2.00									
SB106	4×2	—	東西	桁	7.20	—	1.80	N114°E	—	—	25.20	15	—	16～62	12～66	
				梁	3.50	—	1.75									
SB107	3×2	一面?	東西	桁	5.40	—	7.15	N102°E	21.00	5.90	26.90	7	13	24～46	18～74	
				梁	3.90	5.45	1.95									
SB108	2×2	—	東西	桁	5.55	—	2.77	N108°E	—	—	19.50	8	—	32～67	21～52	
				梁	3.52	—	1.76									
SB109	3×2	—	南北	桁	6.00	—	3.00	N24°E	—	—	24. 00	10	—	25～45	30～48	
				梁	4.00	—	2.00									
SB110	3×2	—	南北	桁	6.20	—	2.06	N22°E	—	—	22.30	6	—	40～50	52～94	
				梁	3.60	—	1.80									
SB111	2×2	—	南北	桁	4.85	—	2.43	N20°E	—	—	18.28	8	—	35～40	10～40	
				梁	3.77	—	1.88									

表27　遺構観察表　掘立柱建物（中世１）

番号	間数	庇	方向	実長(m)			柱間(m)	方位	面積(㎡)			ピット数(個)		ピット径(cm)	ピット深(cm)	備考
						庇含			身舎	庇	総面積	身舎	庇含			
SB01	2×2	—	東西	桁	4.62	—	2.31	N86°W	—	—	19.40	8	—	22～42	37～60	
				梁	4.20	—	2.10									
SB02	3×2	二面?	東西	桁	6.91	7.87	2.30	N87°W	29.50	6.76	36.26	10	16	23～35	28～52	
				梁	4.27	5.20	2.13									
SB03	4×2	一面	東西	桁	7.28	—	1.82	N86°W	30.28	3.21	33.49	11	14	20～30	12～31	
				梁	4.16	5.00	2.08									
SB04	3×2	—	東西	桁	6.35	—	2.11	N90°E	—	—	27.70	10	—	20～30	14～33	
				梁	4.36	—	2.18									
SB05	3×2	—	東西	桁	7.30	—	2.43	N90°E	—	—	30.73	10	—	25～37	15～52	
				梁	4.39	—	2.19									
SB06	2×2	—	東西	桁	4.60	—	2.30	N82°W	—	—	16.46	8	—	20～35	15～42	
				梁	3.58	—	1.79									
SB07	3×2	—	東西	桁	6.63	—	2.21	N85°W	—	—	25.98	9	—	12～30	5～29	
				梁	3.92	—	1.96									
SB08	3×2	—	東西	桁	5.20	—	1.73	N74°W	—	—	17.31	10	—	20～25	14～34	
				梁	3.33	—	1.66									
SB09	3×1	二面	東西	桁	6.50	8.00	2.16	N78°W	22.10	13.38	35.48	8	14	24～45	16～45	
				梁	3.40	4.60	3.40									
SB10	2×2	一面 総柱	南北	桁	3.73	—	1.86	N19°E	12.04	2.50	14.54	8	10	26～42	19～60	
				梁	3.23	3.90	1.61									
SB11	3×1	—	東西	桁	6.65	—	2.21	N84°W	—	—	25.80	8	—	20～33	9～32	
				梁	3.88	—	3.88									
SB12	2×2	—	東西	桁	4.45	—	2.22	N78°W	—	—	15.75	8	—	17～25	8～16	
				梁	3.54	—	1.77									
SB13	3×2	—	南北	桁	6.13	—	2.04	N2°E	—	—	21. 82	10	—	28～38	30～65	
				梁	3.56	—	1.78									
SB14	2×2	—	東西	桁	4.81	—	2.40	N85°E	—	—	21.50	8	—	20～35	24～47	
				梁	4.47	—	2.23									
SB15	3×2	四面	東西	桁	6.10	8.37	2.03	N83°E	22.63	21.36	43.89	10	24	20～40	10～50	
				梁	3.71	5.75	1.85									
SB16	3×2	—	南北	桁	6.07	—	2.02	N9°E	—	—	20.09	9	—	30～60	18～45	
				梁	3.31	—	1.55									
SB17	2×2	総柱	東西	桁	4.70	—	2.35	N77°W	—	—	12.92	7	—	20～30	10～24	
				梁	2.75	—	1.37									
SB18	3×2	—	東西	桁	5.70	—	1.90	N79°W	—	—	19.38	10	—	18～26	20～42	
				梁	3.40	—	1.70									
SB19	3×2	—	東西	桁	5.79	—	1.93	N85°W	—	—	18.52	10	—	20～37	13～39	
				梁	3.20	—	1.60									
SB20	3×2	—	東西	桁	5.71	—	1.90	N85°W	—	—	20.67	10	—	20～30	14～35	
				梁	3.62	—	1.81									
SB21	3×2	—	東西	桁	4.79	—	1.56	N77°W	—	—	16.28	9	—	22～27	14～40	
				梁	3.40	—	1.70									
SB22	3×2	四面	東西	桁	6.03	7.60	2.01	N86°W	21.52	19.90	41.42	9	20	22～38	32～71	
				梁	3.57	5.45	1.78									
SB23	3×2	—	南北	桁	6.29	—	2.09	N4°E	—	—	22.76	10	—	22～32	26～46	
				梁	3.62	—	1.81									
SB24	3×2	—	南北	桁	5.13	—	1.71	N6°E	—	—	17.64	10	—	23～40	15～70	
				梁	3.44	—	1.72									
SB25	3×2	一面	東西	桁	6.04	7.16	2.01	N85°W	26.39	6.90	33.29	10	13	23～47	17～86	
				梁	4.37	—	2.18									
SB26	3×2	—	東西	桁	6.42	—	2.13	N90°E	—	—	21.69	10	—	24～35	25～43	
				梁	3.38	—	1.69									
SB27	3×2	二面	南北	桁	5.90	6.95	1.96	N4°E	20.29	10.15	30.44	10	18	25～35	30～52	
				梁	3.44	4.38	1.72									

表28　遺構観察表　掘立柱建物（中世２）

番号	間数	庇	方向	実長(m)			柱間(m)	方位	面積(㎡)			ピット数(個)		ピット径(cm)	ピット深(cm)	備　考
						庇含			身舎	庇	総面積	身舎	庇含			
SB28	3×1	—	東西	桁	6.05	—	2.01	N86°W	—	—	21.05	8	—	27～36	30～61	
				梁	3.48	—	3.48									
SB29	5×2	二面	南北	桁	11.85	—	2.37	N8°E	49.53	28.68	78.21	16	30	35～55	38～82	
				梁	4.18	6.60	2.09									
SB30	3×2	—	東西	桁	6.15	—	2.05	N86°E	—	—	22.75	10	—	27～40	11～50	
				梁	3.70	—	1.85									
SB31	5×2	四面	東西	桁	11.00	13.29	2.20	N87°W	50.93	37.84	88.77	16	40	25～41	49～93	
				梁	4.63	6.68	2.31									
SB32	3×3	—	東西	桁	5.12	—	1.70	N4°E	—	—	25.00	12	—	18～40	13～41	
				梁	4.89	—	1.63									
SB33	3×2	—	東西	桁	5.72	—	1.90	N84°W	—	—	17.50	10	—	26～37	17～30	
				梁	3.06	—	1.53									
SB34	3×2	—	東西	桁	5.51	—	1.83	N79°W	—	—	16.53	10	—	15～43	3～34	
				梁	3.00	—	1.50									
SB35	3×2	四面	東西	桁	7.57	9.96	2.52	N90°E	33.30	28.10	61.40	11	25	26～44	10～54	
				梁	4.40	6.40	2.20									
SB36	3×2	一面	東西	桁	5.35	6.32	1.78	N90°E	20.06	3.64	23.70	10	13	22～30	9～16	
				梁	3.75	—	1.87									
SB37	3×2	二面	南北	桁	7.70	7.75	2.56	N0°E	33.11	14.24	47.35	10	19	21～35	16～52	
				梁	4.30	6.15	2.15									
SB38	5×2	二面	東西	桁	11.43	—	2.28	N85°W	45.37	26.73	72.10	14	26	18～40	42～65	
				梁	3.97	6.31	1.98									
SB39	3×2	—	東西	桁	5.65	—	1.88	N88°W	–	–	19. 32	9	—	18～24	10～38	
				梁	3.42	—	1.71									
SB40	2×1	—	東西	桁	5.22	—	2.61	N85°W	—	—	16.91	6	—	12～18	10～36	
				梁	3.24	—	3.24									
SB41	2×2	二面	南北	桁	4.45	5.50	2.22	N1°E	16.68	9.55	26.23	8	15	22～40	10～49	
				梁	3.75	4.77	1.87									
SB42	3×2	—	南北	桁	5.82	—	1.94	N85°E	—	—	23.39	10	—	25～50	10～47	
				梁	4.02	—	2.01									
SB43	3×2	一面	南北	桁	5.80	6.70	1.93	N4°W	22.62	2.98	25.60	10	13	20～32	14～50	
				梁	3.90	—	1.95									
SB44	2×2	—	東西	桁	4.65	—	2.33	N85°E	—	—	19.66	7	—	22～37	18～27	
				梁	4.23	—	2.12									
SB45	3×2	—	南北	桁	5.82	—	1.94	N1°W	—	—	21.24	9	—	15～35	13～31	
				梁	3.65	—	1.82									
SB46	3×2	一面	南北	桁	6.27	—	2.09	N7°W	25.78	6.19	31.97	10	14	25～40	9～49	
				梁	4.10	5.10	2.05									
SB47	5×2	四面	南北	桁	10.17	12.61	2.03	N0°E	52.88	42.95	95.83	14	36	30～55	55～110	
				梁	5.20	7.60	2.65									
SB48	3×2	—	東西	桁	5.90	—	1.96	N86°W	—	—	20.65	10	—	23～40	15～46	
				梁	3.50	—	1.75									
SB49	3×2	—	東西	桁	5.60	—	1.86	N85°W	—	—	18.76	10	—	17～30	14～23	
				梁	3.35	—	1.67									
SB50	3×2	—	南北	桁	6.83	—	2.27	N9°E	—	—	30.39	10	—	30～42	28～37	
				梁	4.45	—	2.22									
SB51	3×2	一面	東西	桁	6.92	—	2.30	N90°E	25.95	7.41	33.36	10	14	20～35	12～43	
				梁	3.75	4.80	1.87									
SB52	3×2	四面	東西	桁	6.65	7.68	2.21	N88°W	27.26	19.97	47.23	10	22	16～40	10～47	
				梁	4.10	6.15	2.05									
SB53	5×2	二面	南北	桁	11.38	—	2.27	N9°W	48.93	26.37	75.30	14	26	25～40	22～46	
				梁	4.30	6.52	2.15									
SB54	2×2	一面	南北	桁	4.62	6.05	2.31	N0°E	17.78	5.51	23.29	8	11	15～38	12～55	
				梁	3.85	—	1.92									
SB55	3×2	一面	南北	桁	6.27	—	2.09	N5°W	24.45	6.27	30.72	10	14	30～40	25～52	
				梁	3.90	4.90	1.85									
SB56	3×2	一面	東西	桁	6.43	7.62	2.14	N86°E	22.69	4.11	26.80	10	13	25～36	22～39	
				梁	3.53	—	1.76									
SB57	3×2	二面	南北	桁	6.18	7.30	2.06	N10°W	20.70	11.06	31.70	10	14	20～32	18～26	
				梁	3.35	4.47	1.67									
SB58	5×2	二面	東西	桁	10.40	12.02	2.08	N83°E	34.84	18.40	52.80	14	24	22～40	15～63	
				梁	3.35	4.40	1.67									
SB59	3×2	一面	南北	桁	6.40	7.37	2.13	N3°E	26.24	3.97	30.21	10	13	27～40	8～48	
				梁	4.10	—	2.05									
SB60	3×2	一面	南北	桁	6.15	—	2.05	N3°W	22.93	6.77	29.70	10	14	25～40	9～57	
				梁	3.73	4.83	1.86									
SB61	5×2	二面	東西	桁	9.97	—	1.99	N88°W	49.85	8.41	58.26	14	25	24～45	44～76	
				梁	5.00	6.00	2.50									
SB62	2×2	—	東西	桁	4.27	—	2.13	N87°E	—	—	17.50	8	—	33～50	30～51	
				梁	4.10	—	2.05									
SB63	2+α×2	—	南北	桁	3.25+α	—	1.62	N0°E	—	—	—	7	—	15～40	17～34	
				梁	3.60	—	1.80									
SB64	3×2	総柱	南北	桁	6.30	—	2.10	N4°W	—	—	26.14	10	—	25～43	25～76	
				梁	4.15	—	2.07									
SB65	6×2	四面	東西	桁	13.40	15.65	2.23	N84°E	67.00	48.30	115.30	16	40	40～65	32～102	
				梁	5.00	7.37	2.50									
SB66	4×2	二面 総柱	東西	桁	7.60	—	1.90	N82°E	40.43	17.33	57.76	12	22	30～45	18～82	
				梁	5.32	7.60	2.66									
SB67	5×2	三面	南北	桁	11.02	12.17	2.20	N5°W	57.30	43.00	100.30	14	17	33～55	75～96	
				梁	5.20	8.40	2.60									
SB68	5×2	—	東西	桁	9.40	—	1.88	N81°W	—	—	35.25	14	—	20～33	8～25	
				梁	3.75	—	1.87									
SB69	2×2	—	南北	桁	3.67	—	1.83	N84°E	—	—	11.63	11	—	7～14	8～35	
				梁	3.17	—	1.58									
SB70	2×2	総柱	南北	桁	3.75	—	1.87	N7°W	—	—	14.25	7	—	12～17	21～44	
				梁	3.80	—	1.90									
SB71	3×3	—	南北	桁	7.20	—	2.40	N2°W	—	—	46.44	12	—	30～40	50～75	
				梁	6.45	—	2.15									
SB72	3×2	—	東西	桁	5.74	—	1.91	N80°E	—	—	17.25	10	—	20～30	17～30	
				梁	3.00	—	1.50									
SB73	2×1	—	南北	桁	2.95	—	1.47	N1°W	—	—	8.85	6	—	10～15	10～26	
				梁	3.00	—	3.00									

表29　遺構観察表　掘立柱建物（中世３）

番号	間数	庇	方向	実長(m)			柱間(m)	方位	面積(㎡)			ピット数(個)		ピット径(cm)	ピット深(cm)	備考
						庇含			身舎	庇	総面積	身舎	庇含			
SB74	3×2	—	東西	桁	6.50	—	2.16	N77°W	—	—	26.00	10	—	24～47	25～61	
				梁	4.00	—	2.00									
SB75	4×3	総柱	南北	桁	7.10	—	1.77	N6°E	—	—	43.66	20	—	15～35	15～55	
				梁	6.15	—	2.05									
SB76	3×2	二面	南北	桁	6.97	8.00	2.32	N2°W	28.22	9.16	37.38	17	—	24～36	42～60	
				梁	4.05	4.90	2.03									
SB77	8×2	総柱	南北	桁	16.85	—	2.10	N2°W	—	—	24.14	27	—	25～80	7～93	
				梁	4.40	—	2.20									
SB78	3×2	二面	南北	桁	7.50	8.50	2.50	N13°E	32.47	13.68	46.15	10	18	19～35	18～40	
				梁	4.33	5.43	2.16									
SB79	6×2	四面	東西	桁	13.50	15.80	2.70	N85°E	56.70	51.53	108.23	16	40	30～50	32～70	
				梁	4.20	6.85	2.10									
SB80	3×2	—	南北	桁	6.05	—	2.01	N11°E	—	—	21.00	10	—	22～34	8～32	
				梁	3.47	—	1.73									
SB81	3×2	—	東西	桁	6.00	—	2.00	N85°E	—	—	18.00	10	—	23～33	23～38	
				梁	3.00	—	1.50									
SB82	3×2	一部一面	東西	桁	9.45	—	3.15	N82°W	44.88	3.52	48.40	10	13	23～48	23～92	
				梁	4.75	—	2.37									
SB83	3×2	—	東西	桁	5.19	—	1.73	N88°W	—	—	16.60	9	—	18～40	19～42	
				梁	3.26	—	1.63									
SB84	3×2	三面	東西	桁	5.55	7.15	1.85	N89°E	19.70	6.30	27.00	10	18	25～48	8～43	
				梁	3.55	4.50	1.77									
SB85	3×2	二面	南北	桁	5.68	7.90	1.90	N0°E	18. 90	7. 40	26. 30	11	17	29～42	25～60	
				梁	3.33	—	1.66									
SB86	3×2	一面	東西	桁	6.93	8.00	2.31	N90°E	29.52	4.48	34.00	10	13	25～38	15～63	
				梁	4.26	—	2.13									
SB87	5×2	二面	東西	桁	11.05	—	2.30	N90°E	50.94	27.56	78.50	14	26	30～50	56～84	
				梁	4.43	6.83	2.21									
SB88	3×2	四面	東西	桁	5.12	6.65	1.70	N88°E	16.12	14.48	30.60	10	24	23～40	17～55	
				梁	3.15	4.60	1.57									
SB89	3×2	—	東西	桁	5.03	—	1.67	N88°E	—	—	15.00	10	—	20～40	16～28	
				梁	2.98	—	1.49									
SB90	3×2	—	南北	桁	5.25	—	1.75	N4°E	—	—	16.00	10	—	20～33	13～33	
				梁	3.05	—	1.52									
SB91	3×2	—	東西	桁	6.70	—	2.23	N84°E	—	—	25.80	10	—	20～38	15～32	
				梁	3.85	—	1.92									
SB92	2×1	—	南北	桁	4.25	—	2.12	N12°E	—	—	13.40	6	—	21～32	37～53	
				梁	3.15	—	3.15									
SB93	3×2	—	南北	桁	6.50	—	2.16	N4°E	—	—	25.00	9	—	22～34	16～55	
				梁	3.85	—	1.92									
SB94	3×2	—	南北	桁	5.80	—	1.93	N11°E	—	—	18.50	10	—	16～35	12～48	
				梁	3.20	—	1.60									
SB101	3×2	—	東西	桁	6.00	—	2.00	N89°W	—	—	21.30	8	—	20～30	21～46	
				梁	3.55	—	1.77									
SB102	3×2	—	南北	桁	7.10	—	2.36	N4°E	—	—	27.00	8	—	26～35	23～28	
				梁	3.80	—	1.90									
SB112	3×1	—	東西	桁	6.90	—	2.30	N87°E	—	—	21.59	7	—	20～30	34～40	
				梁	3.13	—	3.13									

表30　遺構観察表　土坑（平安）

番号	グリッド	層	長径	短径	深さ	形態	備考	番号	グリッド	層	長径	短径	深さ	形態	備考
SC263	I-16	5c	112	76	30	楕円形		SC283	F-15	5c	100	62	23	楕円形?	SD99に切られる
SC267	J-15	5c	195	136	15	楕円形		SC285	G-16	5c	232	140	8	長方形	炭化米出土
SC272	I-15	5c	—	—	30	不明	SD25に切られる	SC290	F-15	不明	140	130	27	不定形	
SC275	H・I-15	5c	94以上	90	27	楕円形	SC274(中世)に切られる	SC291	F-15	不明	190	68	9	不定形	
SC279	H-15・16	5c	138	118	80	楕円形		SC292	F-15	不明	82	70	7	円形	
SC281	H-14	5b	—	90	54	不明	SD27に切られる	SC293	F-15	不明	66	50	11	楕円形	
SC282	G-14	5c	163	107	115	楕円形	ピット状の落ち込み	SC294	I-16	不明	108	86	20	楕円形	

表31　遺構観察表　土坑（中世１）

番号	グリッド	層	長径	短径	深さ	形態	備考	番号	グリッド	層	長径	短径	深さ	形態	備考
SC01	U-9	5	170	130	25	楕円形		SC21	T-11	5b	67	60	8	楕円形	
SC02	J-6	5a	112	103	63	円形		SC22	T-10	5a	112	63	18	長方形	
SC03	J-6	5a	255	111	75	長方形		SC23	S-10	5a	113	96	9	長方形	
SC04	K-6	5a	115	105	15	円形		SC24	T-9	5a	121	57	22	不定形	
SC05	K-6	5b	124	117	12	楕円形		SC25	T-9	5a	94	87	5	楕円形	
SC06	K-6	5a	—	77	16	不定形		SC26	S-9	5a	85	56	11	不定形	
SC07	K-6	5a	114	65	17	楕円形		SC27	S-8	5a	109	100	10	不定形	
SC08	K-6	5b	80	74	16	円形		SC28	S-8	5a	106	96	7	不定形	
SC09	K-6	5b	83	73	5	楕円形		SC29	T-9	5a	81	81	32	不定形	
SC10	K・L-6	5b	93	82	10	楕円形		SC30	T-7	5a	72	60	16	不定形	
SC11	L-6	5a	94	83	21	楕円形		SC31	T-7	5a	65	55	11	不定形	
SC12	L-6	5a	113	106	9	円形		SC32	T-7	5a	82	—	7	不明	西側はトレンチによって切られる
SC13	K-6	5a	74	57	8	楕円形		SC33	T-7	5a	130	90	40	不定形	
SC14	K-4	5a	—	88	23	不明	南側が近世遺構に切られる	SC34	T-7	5b	103	56	15	楕円形	
SC15	J・K-4	5a	87	77	15	不定形	ピットを有する	SC35	S-7	5b?	—	60	12	不明	SD11に切られる
SC16	U-8	5a	83	74	11	楕円形		SC36	S-7	5b	124	107	9	不定形	
SC17	V-7	5a	86	86	13	楕円形		SC37	S-7	5b?	121	94	32	不定形	粘土・軽石が詰まる
SC18	V-7	5a	102	96	12	円形		SC38	S-7	5a	80	69	6	楕円形	
SC19	V-6	5a	100	80	13	不定形		SC39	S-11	5a	90	85	16	楕円形	
SC20	T-11	5b	110	63	12	不定形		SC40	Q・R-10	5a	117	93	6	楕円形	SB28と切りあい、新旧は不明

表32　遺構観察表　土坑（中世２）

番号	グリッド	層	長径	短径	深さ	形態	備　　考
SC41	Q-9	5a	96	75	5	楕円形	
SC42	Q-9	5a	117	87	17	楕円形	
SC43	Q-10	5a	223	120	69	長方形	供献土師器出土
SC44	Q-10	5a	127	105	126	楕円形	
SC45	Q-10	5a	92	71	57	楕円形	
SC46	Q-10	5b	100	90	83	方形	上層に軽石が詰まっている
SC47	Q-10	5b	120	80	46	長方形	火打ち金出土
SC48	Q-11	5a	100	96	90	円形	上～中層に軽石・礫・粘土が詰まる
SC49	Q-9	5a	105	96	8	楕円形	
SC50	R-9	5b	290	125	10	不定形	
SC51	Q-8	5b	130	80	17	不定形	
SC52	Q-8	5b	132	105	25	方形	
SC53	Q-8	5a	84	64	7	楕円形	
SC54	Q-7	5a	90	81	13	円形	
SC55	R-9	不明	92	76	17	楕円形	
SC56	P-9	5a	115	80	96	長方形	SD04と切りあい、新旧不明
SC57	P・Q-9	5a	10	－	35	不明	トレンチに切られる
SC58	Q-6・7	5b	－	95	11	不明	トレンチに切られる
SC59	Q-6・7	5a	113	67	7	楕円形	上層に軽石が入る
SC60	R-7	5a	145	94	63	長方形	砂岩による石組み土坑
SC61	R-6・7	5b?	230	130	13	長方形	SC60に切られる
SC62	U-6	5a	112	52	26	不定形	
SC63	S-6	5a	100	98	19	不定形	近世遺構に切られる
SC64	R-6	5a	128	90	13	楕円形	
SC65	R-6	5a	126	66	22	長方形	
SC66	R-5	5a	124	80	8	楕円形	
SC67	Q-4	5b	92	81	10	円形	
SC68	Q-4	5b	100	97	16	円形	
SC69	Q-4	5b	78	46	9	楕円形	
SC70	Q-4	5a	115	90	99	長方形	
SC71	Q-4	5b	112	101	12	楕円形	
SC72	Q-5	5a	95	90	16	方形	
SC73	Q-5	5a	105	90	12	不定形	
SC74	Q-5	5a	185	104	15	長方形	
SC75	Q-5	5a	90	71	11	楕円形	
SC76	Q-6	5b	160	110	22	長方形	
SC77	R-6	5b	155	105	18	長方形	
SC78	P-11	5a	103	82	15	方形	
SC79	P-10	5a	85	77	5	円形	
SC80	P-10	5a	122	85	70	長方形	
SC81	P-11	5a	104	85	4	楕円形	
SC82	O-10	5a	95	80	8	楕円形	
SC83	O-10	5a	79	64	20	不定形	
SC84	O-10	5a	83	62	5	長方形	
SC85	O-9	5a	105	103	18	楕円形	
SC86	O-9	5a	102	72	17	長方形	
SC87	O-9	5a	105	90	8	楕円形	
SC88	P-10	5a	72	68	15	円形	
SC89	P-9・10	5a	100	88	18	方形?	
SC90	N-9	5a	156	82	45	長方形	
SC91	N-9	5a	113	110	11	楕円形	
SC92	P-9	5a	151	90	4	長方形	SD04と切りあい、新旧不明
SC93	P-9	5a	－	58	14	不明	SD04と切りあい、新旧不明
SC94	N-8	5a	72	66	26	円形	
SC95	N-7	5b	153	－	71	不明	
SC96	N-6	5a	135	112	20	方形	
SC97	M-6	5b	85	73	9	楕円形	
SC98	M-6	5a	122	114	20	円形	SC99を切る。礫が入る
SC99	M-6	5a	125	－	19	円形	SC98に切られる。灰が入る
SC100	N-6	5a	175	94	47	長方形	供献土師器が入る
SC101	N-6	5a	90	80	10	不定形	
SC102	O-7	5b	135	80	32	不定形	
SC103	O-6	5a	62	50	7	円形	
SC104	O-6	5a	100	90	15	円形	
SC105	O-6	5a	134	102	11	楕円形	
SC106	O-6	5a	104	90	11	楕円形	
SC107	O-6	5a	85	78	10	円形	上部に軽石入る
SC108	O-6	5a	95	85	5	楕円形	
SC109	O-6	5a	－	85	11	楕円形	SC110に切られ、SC111を切る
SC110	O-6	5a	145	104	101	楕円形	SC109を切る
SC111	O-6	5a	100	96	10	円形	SC109に切られる
SC112	O-6	5a	－	57	14	円形	SC113と切りあい、新旧不明
SC113	O-6	5a	－	－	9	不明	SC114に切られ、SC112と切りあい
SC114	O-6	5a	138	120	16	不定形	SC113、SC115を切る
SC115	O-6	5a	－	98	14	不明	SC114に切られ、SB67を切る
SC116	O-6	5a	92	56	4	長方形	SC120を切る
SC117	O-6	5a	105	41	16	長方形	
SC118	O-5	5a	115	100	8	不定形	SB71を切る
SC119	O-5	5a	88	74	6	楕円形	
SC120	O-6	5a	187	86	18	長方形	SC116に切られる。土師器多い
SC121	O-5	5b	132	85	4	長方形	
SC122	O-5	5a	107	－	10	円形?	SC125に切られる
SC123	O-5	5a	105	70	12	楕円形?	SC125に切られる
SC124	O-5	5a	72	65	12	円形	
SC125	O-5	5a	175	120	70	長方形	輝石安山岩による石組土坑
SC126	P-6	5a	125	90	11	楕円形	
SC127	O・P-5	5a	78	72	13	円形	
SC128	P-5	5a	78	63	7	楕円形	
SC129	P-4	5a	100	76	9	楕円形	
SC130	P-5	5a	138	113	80	長方形	砂岩・軽石による石組土坑
SC131	P-5	5a	268	140	21	長方形	
SC132	P-4	5b	267	117	23	長方形	軽石が入る
SC133	P-4	5a	150	－	12	楕円形	
SC134	P-4	5a	88	78	9	楕円形	
SC135	P-4	5a	80	66	5	楕円形	
SC136	P-4	5a	116	96	11	不定形	
SC137	O-4	5a	108	65	30	長方形	
SC138	O・P-3・4	5a	185	168	27	方形	竪穴状遺構か？土師器多い
SC139	O-4	5a	140	123	18	不定形	
SC140	O-4	5b?	125	67	15	楕円形	
SC141	O-3	5a	70	65	12	円形	
SC142	O-3	5a	78	56	6	長方形	
SC143	N-3	5a	71	60	7	円形	
SC144	O-3	5b	96	74	11	楕円形	
SC145	O-3	5a	109	75	16	楕円形	
SC146	O-3	5b	85	80	15	円形	
SC147	O-2	5b	75	70	9	円形	
SC148	N-2	5a	120	92	70	円形	
SC149	N-3	5b	136	110	31	長方形	
SC150	N-2	5a	125	76	38	不定形	
SC151	O-4	5b	185	109	20	楕円形	
SC152	N-3	5a	84	80	22	方形	
SC153	N-4	5b	99	80	35	楕円形	
SC154	M-5	5a	77	65	7	楕円形	
SC155	M-6	5a	163	68	11	長方形	
SC156	O-6	5a	102	90	21	楕円形	
SC158	Q-9	不明	103	85	20	楕円形	SD04と切りあい、新旧不明
SC159	S-10	5b	208	59	22	長方形	SD04に切られる
SC160	P-4	5a	133	92	20	長方形	
SC161	M-5	5b	100	91	34	円形?	
SC162	M-7	5b	90	84	12	円形	
SC163	Q-5	5a	88	55	4	不定形	
SC164	R-5	5b	165	156	22	不定形	
SC165	O-3	5a	108	98	8	楕円形	
SC166	N-10	5a	78	68	5	楕円形	
SC167	P-2	2?	－	－	－	－	近世遺構の可能性あり
SC168	L-9・10	5a	131	97	9	楕円形	
SC169	L-10	5a	75	73	6	円形	
SC170	L-8	5a	53	44	10	楕円形	
SC171	L-7	5a	95	70	5	楕円形	
SC172	L-7	5b	107	105	19	円形	
SC173	M-10	不明	92	83	－	楕円形	SF01を切る
SC174	M-6	5b	－	－	36	不明	区域外、削平を受ける
SC175	P-2	不明	110	97	28	不定形	
SC176	T-12	5a	108	96	5	不定形	
SC177	S-12	5a	75	65	18	楕円形	
SC178	S-12・13	5a	87	70	5	楕円形	
SC179	S-13	5a	97	87	10	楕円形	
SC180	S-13	5a	90	86	6	方形	
SC181	S-13	5a	148	101	9	楕円形	
SC182	S-13	5a	85	75	5	円形	近世遺構の可能性あり
SC183	S-13	5a	95	90	7	円形	
SC184	S-13	5a	105	70	23	楕円形	SC185を切る
SC185	S-13	5a	108	70	25	楕円形	SC184に切られる
SC186	S-13	5a	112	91	51	楕円形	近世遺構に切られる
SC187	S-13	5b	－	－	28	不明	SC188に切られる
SC188	S-13	5b	114	95	67	円形	炭化材が入る
SC189	S-13	不明	110	90	93	長方形	
SC190	S-14	5b	110	95	145	方形	ピット状の落ち込みあり
SC191	T-13	5b	117	93	4	楕円形	

表33　遺構観察表　土坑（中世３）

番号	グリッド	層	長径	短径	深さ	形態	備　　考
SC192	S-14	5a	160	137	107	楕円形	袋状に張り出す
SC193	R・S-13	5a	90	83	25	楕円形	
SC194	R-13	5b	115	105	13	方形?	SD15と切りあい、新旧不明
SC195	R-13	5a	80	—	19	不明	
SC196	R-13	5a	97	72	7	楕円形	
SC197	R-13	5a	108	47	10	長方形	
SC198	R-13	5a	82	70	10	楕円形	
SC199	R・S-13	5a	96	78	15	楕円形	
SC200	Q-13	5a	104	80	16	楕円形	SD15を切る
SC201	Q-13	5a	112	88	24	不定形	SD15と切りあい、新旧不明
SC202	Q-13	5a	113	65	27	長方形	
SC203	R-14	5a	110	100	7	円形	
SC204	R-14	5a	141	105	17	楕円形	SC205を切る
SC205	R-14	5a	115	102	15	円形	SC204に切られる
SC206	R-14	5a	92	82	16	楕円形	
SC207	R-15	5a	95	85	9	楕円形	
SC208	R-14	5a	97	88	14	楕円形	
SC209	R-14	5b	117	72	11	楕円形	SB85に切られる
SC210	R-14	5b	81	75	17	円形	
SC211	Q-14	5a	73	70	11	円形	
SC212	Q-14	5a	75	68	13	円形	
SC213	Q-15	5a	107	67	4	楕円形	
SC214	Q-14	5b	111	83	13	楕円形	
SC215	Q-14	5b	64	56	9	円形	
SC216	P-15	5a	108	100	8	楕円形	
SC217	P-15	5a	77	70	10	円形	
SC218	Q-14	5a	97	82	10	楕円形	
SC219	P-14	5a	111	90	11	楕円形	
SC220	Q-12	5a	150	95	40	長方形	
SC221	P-14	5a	105	91	9	楕円形	
SC222	P-14	5a	95	85	13	円形	
SC223	O-14	5b	85	70	4	楕円形	
SC224	O-15	5b	81	62	18	楕円形	
SC225	O-14	5a	104	88	26	楕円形	
SC226	O-14	5a	77	66	4	楕円形	
SC227	O-14	5a	88	55	15	楕円形	
SC228	P-13	5b	106	77	21	楕円形	
SC229	O-12	5a	162	902	11	不定形	
SC230	O-13	5b	166	—	27	不明	SD15に切られる
SC231	S-12	5a	107	95	16	楕円形	SD21を切る
SC232	R-11	5a	170	125	15	不定形	SD21を切る
SC233	Q-11	5b	105	—	23	方形?	SD21を切る
SC234	Q-11	5a	98	90	9	楕円形	
SC235	P・Q-11	5a	106	—	37	不明	SD21に切られる
SC236	P-12	5a	97	88	15	円形	

番号	グリッド	層	長径	短径	深さ	形態	備　　考
SC237	O・P-11	5a	—	—	20	不明	近世の溝に切られる
SC238	O-14	5a	160	115	28	不定形	
SC239	S-12	5a	75	50	8	不定形	
SC240	L-7	5a	127	105	43	楕円形	
SC241	L-7	5a	156	95	49	長方形	上層に軽石が入る
SC242	K-7	5a	118	90	51	円形	SC243を切る
SC243	K-7	5a	132	85	54	長方形	SB91を切る。SC242に切られる
SC244	K-8	5b	100	88	21	方形	
SC245	J-7	5a	120	105	106	方形	軽石・焼土が入る
SC246	J-9	5b	173	113	79	長方形	青銅製花瓶出土
SC247	J-10	5b	—	62	43	不明	SD01に切られる
SC248	I-10	5a	177	133	45	楕円形	SD01を切る
SC249	I-11	5a	137	70	55	楕円形	SD01を切る
SC250	I-11	5a	97	75	38	楕円形	SD01を切る
SC251	I-11	5a	100	92	57	円形	SD01を切る
SC252	J-17	5a	90	86	17	円形	
SC253	J-17	5a	106	95	12	円形	
SC254	J-17	5a	75	65	9	円形	
SC255	J-16	5a	76	74	11	円形	
SC256	J-16	5a	140	87	4	楕円形	
SC257	J-16	5a	80	67	10	楕円形	
SC258	J-16	5a	92	78	13	楕円形	
SC259	J-17	5a	70	65	8	円形	
SC260	J-17	5a	90	86	7	円形	
SC261	I-17	5a	77	74	7	円形	
SC262	I-16	5a	97	86	7	円形	
SC264	I・J-16	5a	85	67	6	楕円形	
SC265	J-16	5a	133	88	5	長方形	
SC266	I・J-16	5a	100	90	10	楕円形	
SC268	I・J-15	5a	290	165	48	長方形	
SC269	I-15	5a	93	75	14	楕円形	
SC270	I-15	5a	75	71	15	円形	
SC271	I-15	5a	79	75	10	円形	
SC273	I-15	5a	105	83	5	楕円形	
SC274	H-15	5a	91	72	18	楕円形	
SC276	I-15	5a	80	76	17	円形	
SC277	I-15	5a	86	84	20	円形	
SC278	I-15	5a	114	100	10	円形	
SC280	H-15	5a	144	114	27	楕円形	
SC284	G-16	5a	80	72	14	円形	
SC286	G-17	5a	91	90	15	円形	
SC287	M-11	5b	80	—	6	円形?	
SC288	J-8	5a	95	57	26	不定形	
SC289	G-14	5a	110	58	25	楕円形	

表34　遺構観察表　道跡・竪穴状遺構・その他の遺構（平安）

番号	グリッド	層	長径	短径	深さ	形態	備　　考
SF01	—	—	—	—	—	—	SC173に切られる
SF03	—	—	—	—	—	—	SF03＜SD19＜SF03
SF04	—	—	—	—	—	—	SF04＜SD19＜SF04
SF05	—	—	—	—	—	—	
SF06	—	—	—	—	—	—	SD1、2に切られる
SF07	—	—	—	—	—	—	SF10につながるか
SF08	—	—	—	—	—	—	SB97に切られる
SF09	—	—	—	—	—	—	
SF10	—	—	—	—	—	—	SB08を切る
SA04	K-14	5c	320	310	22	隅丸方形	
SA05	J・K-15	5c	320	290	17	隅丸方形	
SA06	J-17・18	5a	340	320	35	隅丸方形	焼土、炭化材あり

番号	グリッド	層	長径	短径	深さ	形態	備　　考
SA07	G-16	5c	290	266	85	隅丸方形	黒色・黒褐色シルトの互層、2隅に完形土師器
SA08	G-15	5c	254	260	85	隅丸方形	焼土・炭・黒色シルト互層、越州破片
SA09	F-15・16	5c	—	約370	10	隅丸方形?	
SS01	I-17	—	—	—	—	—	
SS02	H-17	—	—	—	—	—	
SS03	H-15	—	—	—	—	—	
SS04	H-15	—	—	—	—	—	
SN01	H-16	—	—	—	—	—	
SQ01	G-16	—	—	—	—	—	
SR01	H-16	—	—	—	—	—	
SR02	G-16	—	—	—	—	—	

表35　遺構観察表　道跡・竪穴状遺構・その他の遺構（中世）

番号	グリッド	層	長径	短径	深さ	形態	備　　考
SF02	—	—	—	—	—	—	SB50＜SD11＜SF02
SA01	S-7	5a	250	227	26	隅丸方形	
SA02	R-11	5b	205以上	約200	34	隅丸方形?	SA02＜SD21＜SA10
SA03	S-5	5b	190	180	32	隅丸方形	焼土・炭化材あり、主柱穴が深い
SA10	T-12・13	5a	180	170	13	隅丸方形	炭化物・硬化部あり、SA02＜SD21＜SA10＜SB102

番号	グリッド	層	長径	短径	深さ	形態	備　　考
SJ01	M-7	—	340	180	20	—	被熱軽石・粘土・炭化物・灰・鉄滓
SJ02	N-8	—	180	110	20	—	完形土師坏
SI01	M・N-8	—	—	75	12	—	軽石石積み、粘土が混じる
SI02	N-7	—	—	50	60	—	軽石石積み、ピット状落ち込み
SI03	S-8	—	130	98	32	—	軽石石積み、灰混じる

第７節　歴史時代のまとめ

１．平安時代について

平安時代の遺構は、一部の道跡を除くと、主として調査区域北東部（第２次調査区域の北側）において確認された。遺構の種類は、掘立柱建物跡や竪穴状遺構、土坑、溝状遺構、道跡、土師器埋納遺構、焼土坑、土師器集積遺構、集石遺構がある。また、調査区域南部で数条確認された帯状の硬化面（道跡）は、いずれも平安時代の遺構が集中する地点である調査区域北東部へ向かってのびており、他の集落から本遺跡に至るルートであると推定される。

調査区域の北東部では、G-15・16区、H-15・16区において浅い谷地形が確認された。この浅い谷には黒色土（５b・ｃ層）が厚く堆積しており、比較的多くの遺物が出土した。遺物には、土師器・須恵器・貿易陶磁器・国産施釉陶器・墨書土器などがあり、注目される遺物として、G-16区から石製銙具（巡方）が１点出土した。貿易陶磁器（越州窯系青磁・白磁）の年代は、８世紀末～10世紀中頃にかけてのものであり、国産施釉陶器（京都産の緑釉陶器）の年代は９世紀中頃～10世紀前半にかけてのものである。土師器は、当地域の土師器編年案（桑畑光博編2004『馬渡遺跡』都城市文化財調査報告書第62集）を参照すると、坏は馬渡遺跡の２群（９世紀第３四半期）と３群（９世紀末～10世紀初頭）に該当すると思われる。なかでも、遺構内から出土した土師器の大半は３群に相当するとみられるので、遺跡の営まれた年代は、おおむね９世紀末～10世紀初頭を中心とする時期に絞り込むことができるのではないかと考えられる。

掘立柱建物跡群は主軸方位から３つのグループ（Ａ～Ｃ）に区分することができたが、柱穴埋土の観察結果によると、Ａ群の建物跡に基本土層の５c層に相当する土が入っており（SB104・109など）、Ｂ・Ｃ群の建物跡に５b層に類似する土が入っていた（SB99・105など）ことからすれば、古：Ａ群→新：Ｂ・Ｃ群ということになる。Ａ群のSB106、Ｂ群のSB105、Ｃ群のSB107の柱穴内からは、土師器が出土しているが、同一器種の出土がないため、それらを同じ基準で比較することができなかった。掘立柱建物跡の主軸方向のグループを考慮した上で、他遺構との切り合い関係をもとに、調査区北東部の平安時代主要遺構変遷案（図129）を作成したが、Ａ、Ｂ、Ｃ各群はあまり時間差をもたずに変遷した可能性があり、南側グループのSA４・５・６は同時期に存在していた可能性も否定できない。

６基検出された竪穴状遺構は、最北端で検出された、残存状況の悪いSA９（埋土は５c層に相当）を除くと、北側グループ（SA７・８）と南側のグループ（SA４・５・６）に分けられる。両グループは形態と内部構造に著しい違いが認められた。北側グループのSA７・８は、検出面からの深さが１ｍ前後と比較的深いもので、灰状物質と土壌が交互に堆積しており、底面や埋土中には土師器が配置されていた。内部で、土師器を用いた祭祀が行われていたことを示しているとともに、数次にわたって火を扱っていたことが推定される。底面から出土した土師器と上層から出土した土師器には、明確な形態上の差異は認められないため、この施設が機能していたのは比較的短期間であったと推察される。

一方、南側グループのSA４・５・６は、床面壁際に柱穴とみられるピットが確認され、竪穴建物跡としての性格が考えられる。これらの遺構内からは年代の決め手となる遺物が出土していないが、SA４の埋土が５c層に相当する土壌であることと、掘り直しの痕跡が認められたSA６の２次埋土中の炭化材（ヤブツバキ）の放射性炭素年代を測定した結果、11世紀中頃というデータが得られているので、機能していた年代は９世紀後半から10世紀代におさまるものと考えられる。

土坑の多くがその機能を明確にすることはできないが、平面プランが長方形の土坑SC285では、炭化米が出土しており、放射性炭素年代測定の結果、10世紀初頭前後というデータが得られている。この土坑の性格も確定しかねるが、墓壙の可能性も考慮する必要がある。

比較的古い段階（掘立柱建物跡の主軸方向Ａ・Ｂ群）には、道跡SF７やその東側に並走する溝状遺構SD29に並列するような掘立柱建物跡の配置が認められるが、平安時代を通じて、集落の南端部に住居か工房か特定はできない、竪穴SA４・５・６があり、その北側に掘立柱建物群があるという配置状況がうかがえる。

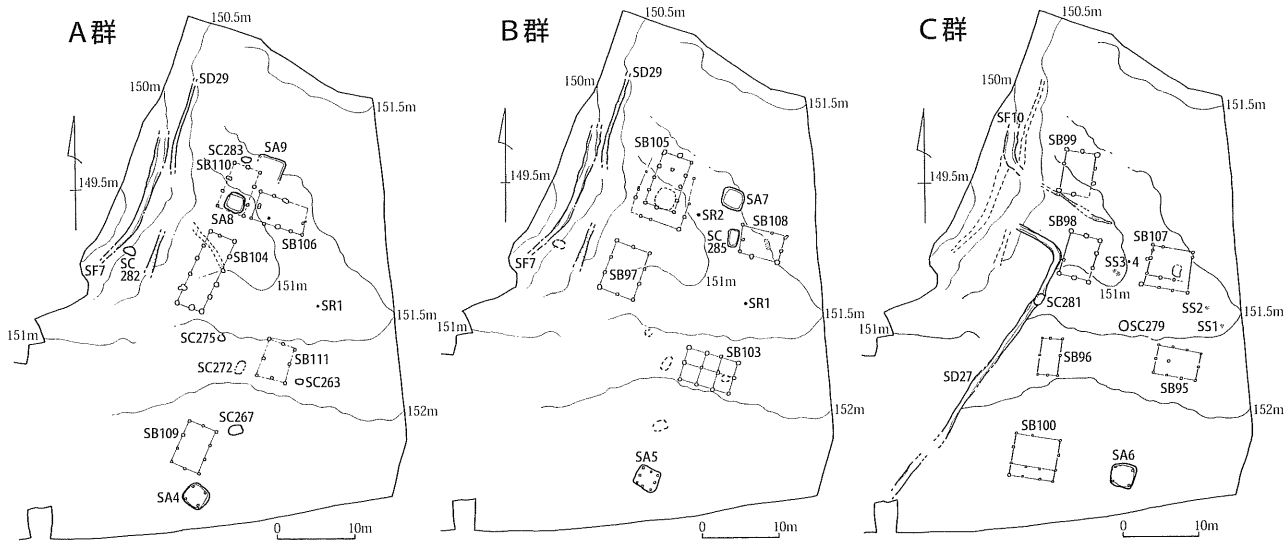


図129　調査区北東部の平安時代主要遺構変遷案

また、浅い谷の中と北側には、先述した竪穴状遺構SA７・８、土師器埋納遺構SR１・２、焼土や土師器が廃棄されていた焼土坑SN１、土師器集積遺構SQ１、集石遺構SS１～４、など、特殊な性格が推定される遺構が集まっている。SA７・８の北側はもともと小高くなっていたはずであるが、昭和30年代後半の耕地整理の際に、霧島御池軽石層（７層）まで削平されてしまっている。この付近では、その耕地整理の際に、須恵器瓶を利用した蔵骨器が２点発見されており（菜畑光博1992「都城盆地における骨蔵器集成」『宮崎考古　石川恒太郎先生追悼論文集』）、火葬墓の存在が推定されている。このような状況証拠から、竪穴状遺構SA７・８をはじめ、土師器埋納遺構、焼土坑、土師器集積遺構、集石遺構等は、火葬に伴う何らかの遺構とも考えられ、葬送儀礼等の特殊な業務に関わる施設の可能性も推定される。また、越州窯系青磁などの貿易陶磁器や京都産の緑釉陶器の保有状況、そして、石製銙具（巡方）が出土したことを考慮すると、この遺跡の形成には、下級官人クラスの人物が関わっていたものと推察される。

２．中世について

中世の遺構は、調査区域の北東端部を除く、ほぼ全域において高い密度で検出され、遺物はそれらの遺構内や第１次調査区南側北半部の包含層（５層）から多量に出土した。この遺跡は低位段丘２面に立地しているが、南側には成層シラス台地へと高まっていく低位段丘３面が控えており、北側と西側は沖積低地へ向かって急傾斜しており、段丘崖となっている。一方、遺跡の東側は低位段丘２面が続いている。遺跡の北面と東面を「Ｌ」字状に並行するようなかたちで走行する溝状遺構SD１・14とSD２・15・16は、東へと続く低位段丘２面を分断ないし区画するように掘削されており、検出された中世の掘立柱建物跡の総数97棟のうち、95棟という圧倒的多数が、溝状遺構SD１・14の南側と西側において検出された。溝状遺構SD１・14は、西側と南側の自然地形の傾斜面を利用して、95棟の掘立柱建物跡群を囲むように走行しており、溝状遺構SD１・14によって囲まれた範囲は最大で南北約140m、東西約140mを測る。

溝状遺構SD１は断面形が逆台形状で、検出面での最大幅が現状で5.5mであり、深さが1.6mであるが、上面が削平されていることを差し引くと、本来はもう少し大きな規模だったと推察される。SD１の溝底堆積土の珪藻分析の結果からは、一時的に水がたまることはあっても、基本的には乾燥した堆積環境が推定されている。溝底面付近に硬化面が形成されていることから、道としての機能も推定され、堀底道を伴う空堀状の遺構と考えられる。

遺構群の年代について述べる前に、中世土師器の分類と時間的位置づけを考えてみる。本来は鶴喰遺跡（近沢恒典2007「鶴喰遺跡出土土師器の分類と編年的位置付けについて」『鶴喰遺跡（中世編）』都城市文化財調査報告書第79集）で行われているように、坏・小皿ごとに器種別の形態分類と組列を行い、遺構内の共伴状況を加味してセッ

ト関係を提示して、時間的な位置づけを考えるのが順当な方法であるが、ここでは、本遺跡内において、比較的良好と思われる遺構内の一括資料を抽出して、次のようにおおまかなグルーピングを試みた。

1群：土坑SC43・SC159出土一括資料（坏は口径14cmを越え、体部の立ち上がりが丸みを帯びる。小皿は口径８cm台後半。）

2群：土坑SC37・200出土一括資料（坏は口径12～13cmで、体部の立ち上がりが丸みを帯びる。小皿は口径８cm前後。）

3群：溝状遺構SD２最上層出土一括資料（坏は口径10～11cmで、体部の立ち上がりが丸みを帯びるものと直立気味に立ち上がるものとがある。また、一部には底面下端が張り出し気味になるものがある。小皿は口径６～７cmで、内面見込みまでの深さが極端に浅いものがある。）

4群：土坑SC138・140出土一括資料（坏は口径11～12cmで、器高が3.5～４cmと比較的高い。また、底面下端が張り出し気味になるものが多い。成形が雑なものも多く、接合痕が明瞭に残るものがある。小皿は口径７～８cm。）

都城盆地における中世土師器編年試案（桒畑光博2004「都城盆地における中世土師器の編年に関する基礎的研究(1)」『宮崎考古第19号』）を参考としながら、各群の年代を推定すると、１群が12世紀末～13世紀初頭、２群が13世紀前半～中頃、４群が13世紀末～14世紀前半となる。３群は、編年試案のなかに対応する一括資料がないが、標識となる一括資料は、溝状遺構SD２の埋め立て土とみられる最上層から出土しており、常滑焼甕の中野晴久編年３型式、５型式、６型式と共伴している。このうち一番新しい６型式の年代をあてはめると、３群は13世紀後半に位置づけられるのではないかと考えられる。

掘立柱建物跡は、主軸方向による分類によって４つのグループに分けられ、各群の分布状況には偏りが認められる。具体的にみると、Ａ群は調査区域の南西部、Ｂ群は調査区域南半部と北側、Ｃ群は調査区域の中央部と南東部、Ｄ群は調査区域の中央部に分布する。これに、柱穴内から出土した土師器（ただし、混入や流れ込みと考えられる小破片は除く。）の類型を加味すると、Ａ群では、SB９から１群、SB78から２群が出土。Ｂ群では、SA７から１群、SA16から２群、SA61から２群と３群が出土。Ｃ群では、SB62・SB77・SB79から２群、SB47から３群が出土。Ｄ群では、SB65から１・２・３群、SB58から３群、SB66から４群が出土。以上のような事例から、一部、重なり合いながらも、Ａ群からＤ群へ漸移的により新しい土師器の類型が出土する傾向がうかがえる。これに加えて、貿易陶磁器についてみると、大宰府分類の龍泉窯系青磁Ⅱ類（大宰府編年のＥ期の標識磁器）が、Ａ群を除く、Ｂ群（SB38・102）、Ｃ群（SB41・62・71・77）、Ｄ群（SB53・65・66）で出土している。他方、Ｄ群のSB53から同分類の龍泉窯系青磁Ⅲ類（大宰府編年のＦ期の標識磁器）が出土し、SB65から白磁Ⅸ類（大宰府編年のF期の標識磁器）がまとまって出土しており、Ｄ群からは、Ｂ・Ｃ群より新しい磁器が出土していることが看取される。以上の結果、掘立柱建物跡群の各グループは年代差を反映していると判断され、Ａ→Ｂ→Ｃ→Ｄという変遷過程が推定される。このような掘立柱建物跡の各群の年代を土師器の年代観と重ね合わせて、出土遺物によって年代の推定できる溝状遺構や土坑を加えたのが、中世主要遺構変遷案（図130）である。Ａ群の時期は、小規模な建物が調査区域南西部に偏っており、その東側に土壙墓（SC43・159）がある。Ｂ群の時期に、最大幅約2.2m、深さ約１mの溝状遺構SD２がＬ字状に走行し、その内部は浅い区画溝で仕切られている。いわゆる方形館の成立時期と考えられ、調査区域南部を中心に中核的な建物群（５間×２間庇付のSB29・31・38など）が構築されており、その北側に屋敷墓とみられる土壙群（SC46～48など）が分布する。SD２の東側にも何らかの区画施設がみられる。Ｃ群の時期に、SD２を埋め立てて、その外側に、より規模の大きいSD１を掘削し、敷地の拡大が図られている。中核的建物群は調査区域中央部、館跡の中心部に移動し（６間×２間庇付のSB79、５間×２間庇付のSB47・67）、平面プラン「Ｌ」字状となる一連の建物（SB62＋77）もみられる。また、浅い区画溝を隔てた東側にも建物のまとまり（SB85・87・88など）がみられる。Ｄ群の時期は、中核的建物群（当遺跡、最大規模である６間×２間四面庇のSB65、５間×２間庇付のSB53）の位置は変わらないが、全体に建物の棟数が少なくなる。なお、各時期に少数の竪穴状遺構（竪穴建物跡）が伴うようである。

280基にのぼる土坑には平面形が、円形、方形、長方形を呈するものがあり、深さ50cm未満の比較的浅いもの、深さ50cmを超える比較的深いもの、下部が袋状になるものなど、さまざまである。その性格も不明なものが多い。これらのうち、22基の土坑を選んで、底面近くの土壌について、蛍光X線によるリン・カルシウム分析を行ったところ、円形プランの浅いものはリン酸の検出含量が低いのに対し、方形の深いものはリン酸の含量が高いことが判明した。後者は何らかの生物遺体の存在が推定されることから、墓の可能性も考えられる。土坑上部で銅製華瓶が出土した長方形プランのSC246もリン酸の含量が高く、墓の可能性が高い。しかしながら、供献品とみられる土師器が出土し、土壙墓の可能性が高いと思われた、長方形プランのSC43でリン酸含量が低かったのが不可解である。

3基見つかった石組遺構（SC60・SC125・SC130）は、いずれも内部で火を焚いた痕跡が認められたが、その機能は不明である。同じような遺構は、本遺跡例も含めて宮崎県内で13遺跡19例が確認されている（宮崎県埋蔵文化財センター2005『竹淵C遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第96集）、横市川流域では、加治

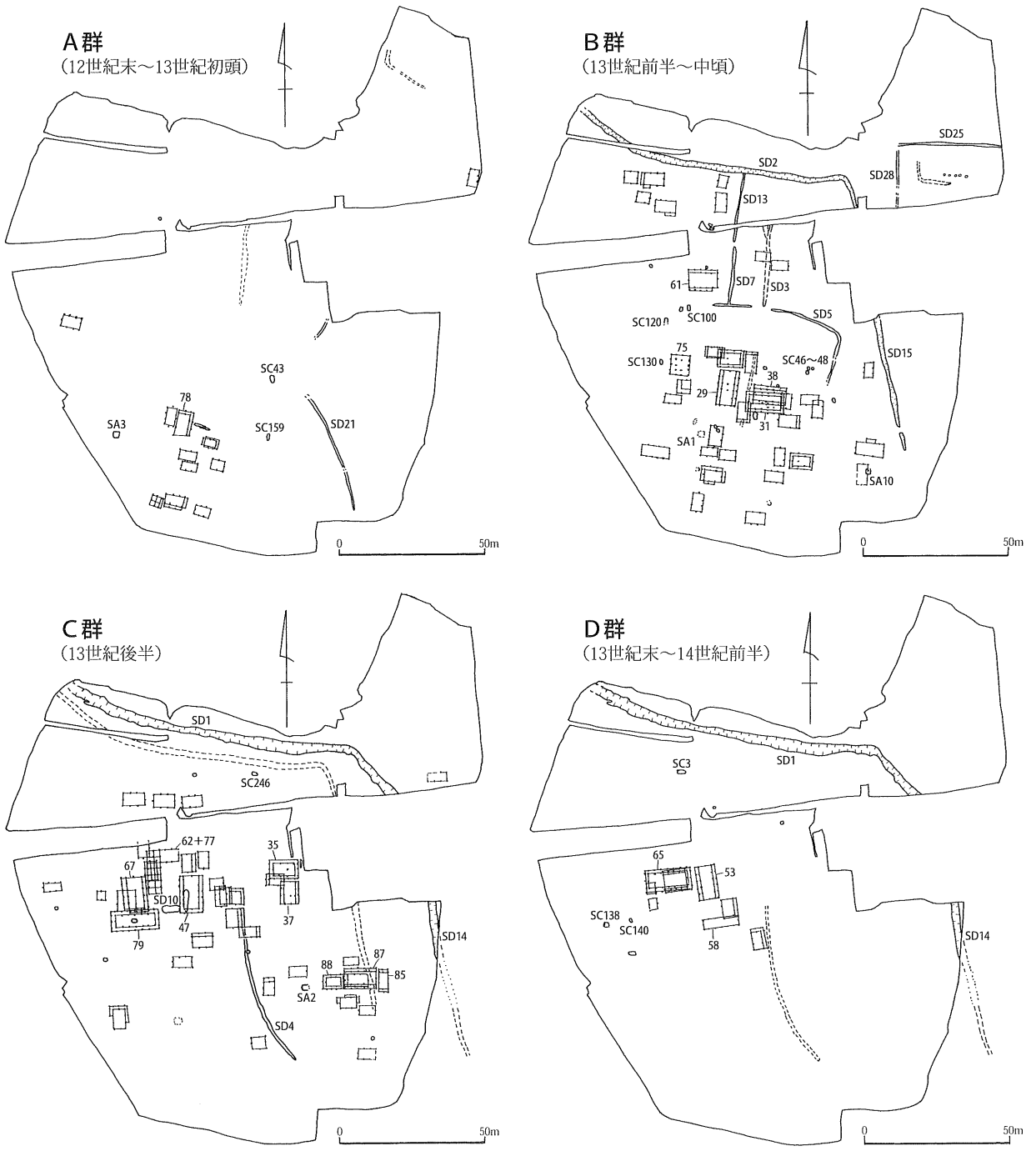


図130　中世主要遺構変遷案

※SDは溝状遺構、SCは土坑
番号は主な掘立柱建物跡の号数

屋Ｂ遺跡と同時期の鶴喰遺跡や蓑原遺跡で見つかっており、鎌倉時代に流行する施設の可能性がある。

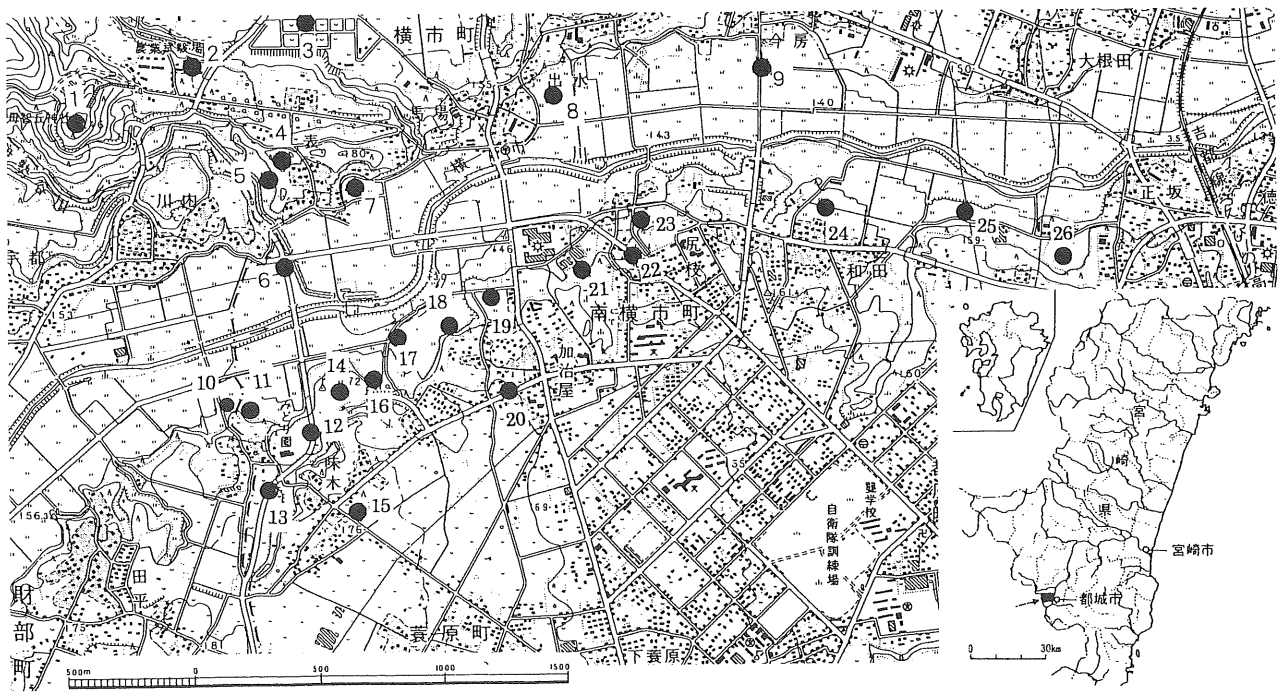
３．近世について

近世の遺構は、溝状遺構・竪穴状遺構・土坑・掘立柱建物跡があり、おおむね３つの屋敷地に分けることができた。遺構内から出土した遺物の年代からは、17世紀代にさかのぼるものとは考えられず、大半は18世紀代～19世紀に営まれたものと考えられる。第１次調査の南側調査区域西端（Ｒ～Ｖ-３～６区）で検出された南北方向の溝状遺構は、調査区域の南側の低位段丘３面の崖下に沿って設けられている用水路に接続しているものと推定され、より下位の低位段丘１面以下の水田に導水する用水路としての機能が考えられる。『庄内地理誌』に記載された新田開発の記録によれば、元禄年間に、鹿児島藩が財部郷南俣村田平に新溝（用水路）を開削して、新田開発を行うに際し、横市川下流域の都城領横市村加治屋・久味木にも新田をつくり、蔵入地とするという計画がもちあがり、これに対して都城領側が自分たちで開発し、本藩側の蔵入地化を阻止するという事件があったようである。加治屋Ｂ遺跡は、まさしくその問題の場所に立地しており、検出された近世遺構は、このような18世紀第１四半期の開発に伴って新たに形成された集落の可能性がある。

４．横市川流域の平安時代～中世の遺跡群の概観と加治屋Ｂ遺跡の中世遺構の位置付け

宮崎県都城市の横市地区（南横市町・横市町・蓑原町他）の横市川流域一帯では、平成８年度から農業基盤整備事業（県営ほ場整備事業）に伴って継続的な発掘調査が行われてきた。調査遺跡数は11ヶ所、総調査面積は約11haにおよぶ。これ以外の公共・民間事業に伴って調査した遺跡をあわせると、同川流域一帯ですでに二十数箇所の遺跡が見つかっており、都城市内でもっとも埋蔵文化財の調査密度の高いエリアということができる（図131）。

当該地区は都城市の西端、鹿児島県曽於市（旧曽於郡財部町）に接する。地区の中心部を大淀川の支流の横市川が成層シラス台地を開析しながら西から東へと流れており、同川の両岸には階段状に低位段丘と沖積段丘が形成される。遺跡群はその台地端部や各段丘面上に立地しており、その大半の遺跡で平安時代と中世の遺構・遺物を確認している。



1：母智丘原第１　2：母智丘原第２　3：牧の原第２　4：新宮城　5：畑田　6：母智丘谷　7：鶴喰　8：肱穴　9：今房　10：田平下
11：馬渡　12：中尾　13：蓑原　14：中尾山・馬渡　15：池原　16：江内谷　17：坂元Ａ　18：坂元Ｂ　19：加治屋Ｂ　20：加治屋Ａ　21：星原
22：田谷・尻枝　23：胡麻段　24：平田　25：早馬　26：正坂原

図131　横市川流域の遺跡分布図

横市川流域一帯は古代においては日向国諸県郡の財部郷に属する。同郷は、都城盆地中心域（大淀川の右岸）に推定される島津院の西隣にあたり、同院を核として11世紀の前半（万寿年間、1020年代）に大宰府府官の平季基が摂関家に寄進して成立した「島津荘」の一円荘に早い段階において取り込まれていた可能性が指摘されている（都城市1997『都城市史通史編　自然・原始・古代』）。

平安時代の前・中期の遺跡は、8世紀後半の集落跡である肱穴遺跡をはじめ、９世紀から10世紀前半にかけては、在地有力者の居宅跡とみられる馬渡遺跡の他、中尾山馬渡遺跡・江内谷遺跡・坂元Ｂ遺跡・鶴喰遺跡・加治屋Ｂ遺跡・星原遺跡・今房遺跡・平田遺跡など、特に低位段丘面と沖積段丘面における遺跡の密度が異常に高い。これらは一般の集落跡だけでなく公的な施設としての性格も考えられる。

ところが、島津荘立荘段階（11世紀前半）の遺跡としては、主要遺跡として坂元Ｂ遺跡をあげることができるくらいで、現時点では遺跡が激減したように見受けられる。

平安時代末期（11世紀後半～12世紀代）になると、加治屋Ｂ遺跡・肱穴遺跡・正坂原遺跡などがある。中でも大淀川との合流地点から約１キロの横市川右岸の低位段丘上にある正坂原遺跡（志比田町）では、当該期の掘立柱建物跡が40棟検出され、屋敷墓と考えられる大形の土壙墓もある。遺物には11世紀後半から12世紀にかけての貿易陶磁器も多く含まれる。屋敷地内では浅い区画溝が検出されている。近隣の平田遺跡では中世前期にさかのぼりうる水田跡が検出されており、正坂原遺跡は島津荘の拡大期における開発領主層の屋敷跡であると考えられる。

続く鎌倉時代の遺跡は、横市川左岸の鶴喰遺跡・今房遺跡、右岸の蓑原遺跡・馬渡遺跡・坂元Ｂ遺跡・加治屋Ｂ遺跡・平田遺跡などがある。このうち集落跡は馬渡遺跡・今房遺跡・坂元Ｂ遺跡・平田遺跡、生産遺跡としての水田跡は畑田遺跡・鶴喰遺跡・馬渡遺跡・坂元Ａ遺跡・肱穴遺跡・今房遺跡・平田遺跡などで検出しており、馬渡遺跡ではシラス台地裾部から沖積段丘１面に想定される水田に水を引くための用水路を検出している。

加治屋Ｂ遺跡の対岸にある鶴喰遺跡では、これまで都城市内で検出された掘立柱建物跡としては最大規模の建物跡が検出されたほか、礫敷きの特殊な基礎構造をもつ建物跡や回廊状の遺構も見つかっている。出土陶磁器から加治屋Ｂ遺跡とほぼ同時期のものと考えられるが、この遺跡では、中国からもたらされた貿易陶磁器をはじめ東海系や瀬戸内系の国産陶器類も多量かつ豊富なヴァリエーションが認められ、物資の集散地かそれに近い位置にある消費地としての性格も看取される。

加治屋Ｂ遺跡は、先述したように、最終段階には南北約140m・東西約140mにもおよぶ大規模な館跡であると推定される。溝で囲まれた内部には多数の掘立柱建物跡や土坑も確認された。この館の存続期間は13世紀から14世紀前半までとみられ、その後には継続していないようである。より古い正坂原遺跡の屋敷跡と比べると、防御性に優れており、いわゆる方形館の範疇でとらえられる。同様の事例は、市内では、松原地区第Ⅰ遺跡（郡元町）や上大五郎遺跡（丸谷町）などがある。

ところで、加治屋Ｂ遺跡で見つかった館の成立と終焉にはどのような背景が想定できるのであろうか。当時の政治的な情勢をみると、文治２年（1186）に鎌倉幕府から島津荘の惣地頭職に補任された惟宗（島津）忠久は、建仁２年（1203）に起きた比企氏の乱に連座して日向・大隅・薩摩の守護職を没収され、同時に島津荘の地頭職も失ったとされる。その後、建仁３年（1204）、忠久は薩摩国内の島津荘の地頭職だけを得るが、大隅国と日向国の島津荘地頭職は北条家（得宗）が占めるとされる（都城市2005『都城市史通史編　中世・近世』）。13世紀に加治屋Ｂ遺跡の館を構築した人物は北条氏（得宗）被官かそれに近い勢力である可能性も考えられる。また、館の終焉については、建武元年（1334）に、「島津庄日向方南郷」において、北条氏一族とその被官や彼らと結びついていた在地領主が起こした建武政権への反乱が起きている該期の政治的情勢を考慮すると、鎌倉幕府の滅亡と軌を一にして断絶した可能性を想定できるのではないかと考えられる。その後、加速していく動乱の情勢の中で登場するのが新宮城であり、建武３年（1336）、足利尊氏の命により日向に下った畠山直顕は、肝付党の下財部院新宮城を攻撃、畠山勢は暦応２年（1339）に同城を攻略している。

（文責：桒畑光博）

写真１　遺跡遠景

加治屋Ｂ遺跡遠景（南側上空から）

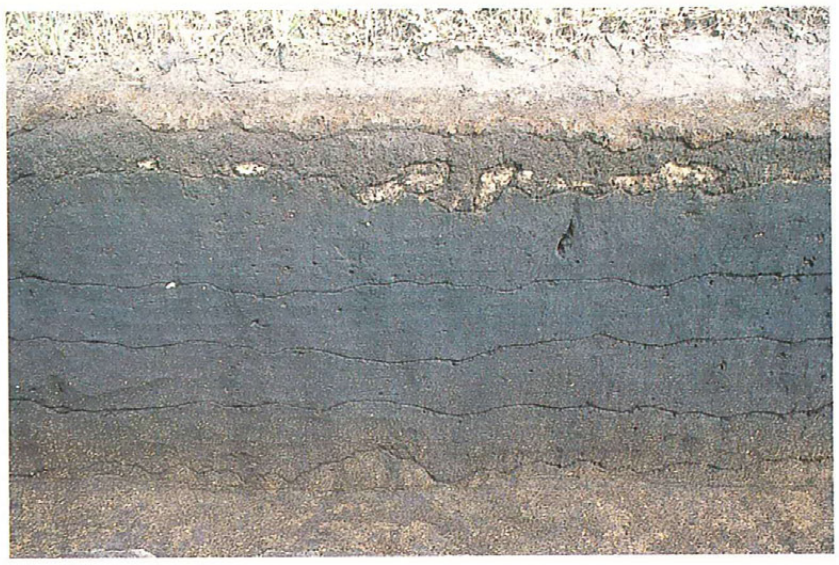
加治屋Ｂ遺跡中世館跡全景（１次調査と２次調査の合成写真）

写真２　平安時代・中世遺構全景

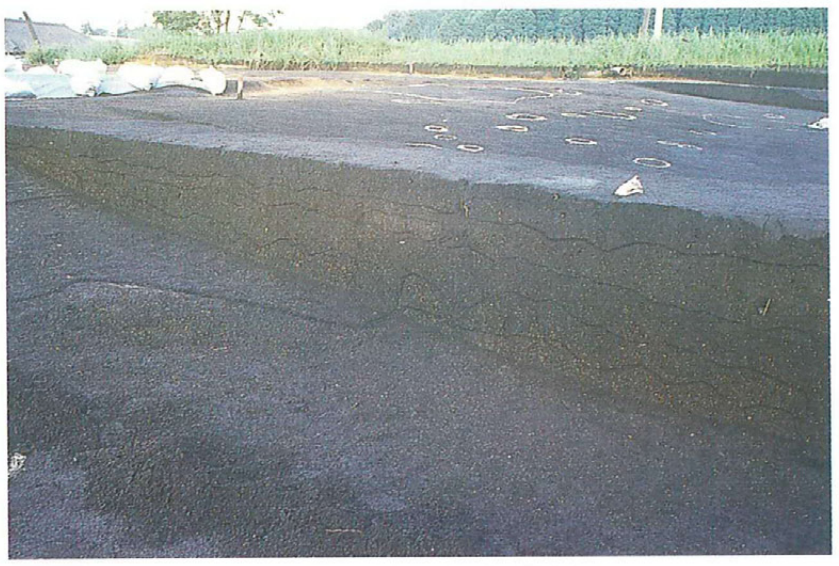
第１次調査遺構全景（真上から）

第２次調査遺構全景（真上から）

写真３　平安時代遺構・遺物出土状況



調査区域北東部東壁断面



G-15区　浅い谷土層断面

溝状遺構（SD29）

溝状遺構（SD27）

道跡（SF７）

道跡（SF７）土層断面

道跡（SF３・５）

I-16区　青磁出土状況